愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第222集

万瀬遺跡
（まんぜいせき）

2024

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

序

万瀬遺跡の所在する北設楽郡設楽町は愛知県の北東部に位置し、現在でも豊かな自然を残す地域であります。設楽町段戸山に源を発し、設楽町域を流れる寒狭川は、下流では豊川と名前を変え、東三河地域を潤して三河湾へと注ぐ重要な河川である反面、幾度となく洪水氾濫や渇水による被害が発生しており、水量の調節が必要とされてきました。そのために計画され、工事が進行している設楽ダムは、更なる東三河地域の発展に貢献することが期待される一方で、湛水によって水没する地域には多数の遺跡が確認されております。

それに伴い、愛知県埋蔵文化財センターでは平成26年度より設楽ダム事業関連の発掘調査を本格化させ、毎年調査を行ってまいりました。現在、既に発掘調査もピークを超え、多くの調査成果が蓄積されつつあります。成果の公表に目を向けますと、これまでに7冊、遺跡数では9遺跡にわたる発掘調査報告書が刊行され、本報告書以後にも続々と刊行が予定されております。

本報告書で扱う万瀬遺跡では、縄文時代草創期に遡る人類の活動痕跡が確認されたほか、縄文時代と中近世という隔たった2つの時期の集落が検出され、当地で生活していた人々による土地利用の一端が明らかになりました。

万瀬遺跡だけでなく、近隣の遺跡における調査成果が公表されることによって、研究者のみならず、多くの方々に考古学への興味を持っていただき、埋蔵文化財へのご理解を深めていただけることを願ってやみません。

最後になりましたが、万瀬遺跡の発掘調査を実施し、報告書を作成するにあたり、地元住民の方々をはじめ各方面の方々にご配慮いただき、さらに関係諸機関および関係者のご指導とご協力をいただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

令和6年3月31日

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

理事長　岡本　範重

例言

1.本書は、愛知県北設楽郡設楽町川向字マンゼに所在する万瀬遺跡 (県遺跡番号 700165) の発掘調査報告書である。

2.発掘調査は、設楽ダムの事前調査として、国土交通省中部地方整備局から愛知県教育委員会を通じて、公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センターが、管理委託を受けて実施した。

3.調査期間および調査面積は、平成 26 年 6 月～ 10 月に 2,050 m²、令和元年 6 月～令和 2 年 1 月に 8200㎡である。

4.調査は、平成 26 年度は鈴木正貴 (調査研究専門員、現調査課長) と川添和暁 (調査研究主任、現調査研究専門員)、令和元年度は酒井俊彦（主任専門員)、川添和暁 (調査研究専門員) と河嶋優輝（調査研究主事）が担当した。なお、平成 26 年度はナカシャ クリエイテブ株式会社、令和元年度は株式会社イビソクによる支援を受けて実施した。

5.調査にあたっては、愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室 (現・愛知県県民文化局文化部 文化芸術課文化財室)、愛知県埋蔵文化財調査センター、設楽町教育委員会、国土交通省中部地方整備局を始めとして、多くの関係諸機関のご協力を得た。

6.本書の執筆に伴う遺物の整理作業は、河嶋優輝・川添和暁が主に担当し、令和 4 年度に実施した。その際、遺物整理、製図については整理補助員および愛知県埋蔵文化財センター職員の方々のご協力を受けたほか、縄文土器のトレース作業および陶磁器･土師器の実測･トレース作業の一部は国際文化財株式会社に、石器の実測・トレース作業の一部は株式会社アルカに、木製品の実測・トレース作業の一部は株式会社文化財サービスに、土器付着炭化物放射性炭素年代測定（AMS 法）および木製品樹種同定は株式会社パレオ・ラボに、黒曜石産地推定は株式会社第四紀 地質研究所に、遺物の写真撮影は写真工房 遊に委託した。

7.本書の編集は河嶋優輝が行った。

8.本書の執筆者は､河嶋優輝､川添和暁､鬼頭　剛･古澤　明･パレオ･ラボ AMS 年代測定グループ、小林克也（パレオ・ラボ)、鈴木正貴、パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ、㈱ 第四紀 地質研究所（50 音順）である。執筆者は目次および各文頭に示した。なお、表記の無いものについては河嶋による執筆である。

9.遺物の登録は、本書図版の掲載番号を元に整理を行った。

10.調査区の座標は、国土交通省告示に定められた平面直角座標第 VII 系の新基準に準拠する。

11.写真および図面などの調査に係る記録類は、愛知県埋蔵文化財センターで保管している。

(公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

〒 498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24(0567-67-4161)

12.出土遺物は、愛知県埋蔵文化財調査センターで保管している。

愛知県埋蔵文化財調査センター

〒 498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24(0567-67-4164)

13.発掘調査の実施、報告書の作成にあたり、次の機関と方々から多くのご協力およびご指導とご助言を得た。記して感謝を申し上げる。

株式会社アーキジオ、荒井重勇、金子健一、国際文化財株式会社、名古屋大学微細構造解析プラットフォーム、平野吾郎、増子康眞、矢野健一 (敬称略・50 音順)

目次

挿図目次

表目次

第１章　調査の概要

第１節　調査の経緯と方法

万瀬遺跡 (県遺跡番号 700165) は、北設楽郡設楽町川向字マンゼ (北緯 35 度 06 分 43 秒・東経 137 度 33 分 54 秒) に所在し、愛知県教育委員会による詳細遺跡分布調査および愛知県埋蔵文化財センターによる範囲確認調査により、縄文時代から戦国時代までの遺物が採取されている。

発掘調査は国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所による設楽ダム工事関連事業として、二年度に分けて実施され、いずれも国土交通省中部地方整備局から愛知県教育委員会を通じた委託を受けて平成 26 年度および令和元年度に実施した。調査期間と調査面積は、平成 26 年度が平成 26 年 6 月から 10 月に 2050㎡、令和元年度が令和元年 6 月から令和 2 年 1 月に 8200㎡である。

調査区は、平成 26 年度調査区を 14 区とし、令和元年度調査区を 19 区とした。道路によって分断された 19 区は、19A 区・19B 区・19C 区の 3 区に分割し、更に、19A 区・19B 区は着手した順に 19Aa 区・19Ab 区、19Ba 区・19Bb 区に細分して調査を行った。したがって、報告中で単に 19A 区や 19B 区とした場合、それぞれ 19Aa 区・19Ab 区、19Ba 区・19Bb 区を包摂するものとする。

調査は、表土の除去を重機（バックホウ）によって行い、包含層掘削および遺構掘削は人力によって行った。

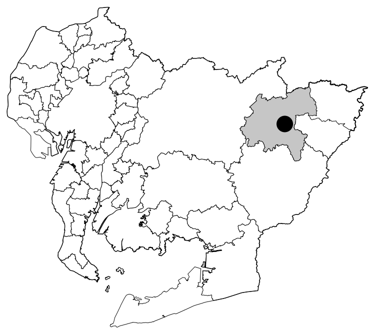


図１　北設楽郡設楽町および万瀬遺跡 位置図

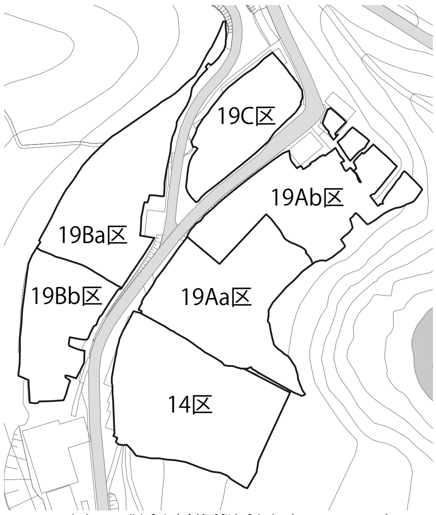


図２　調査区配置概略図（S=1/2400）

表１　万瀬遺跡 平成 26・令和元年度 調査工程表

	平成26(2014)年								
	4	5	6	7	8	9	10	11	12
14区									

	令和元 (2019)年									令和２(2020)年	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
19Aa区											
19Ab区											
19Ba区											
19Bb区											
19C区											

凡例　重機掘削　人力掘削

発掘調査報告書の作成に係る整理等の作業は令和４年度に実施し、令和６年３月に本書を刊行した。発掘調査の手続きは以下の通りである。

平成 26 年度：

発掘届出：26 教生第 566 号・平成２6 年５月２日／通知：26 埋セ第 88 号・平成 26 年 11 月 4 日／終了届・保管証・発見届：26 教生第 2082 号・平成 26 年 11 月 20 日／監査結果通知：26 埋セ第 28-1 号・平成２6 年５月２日

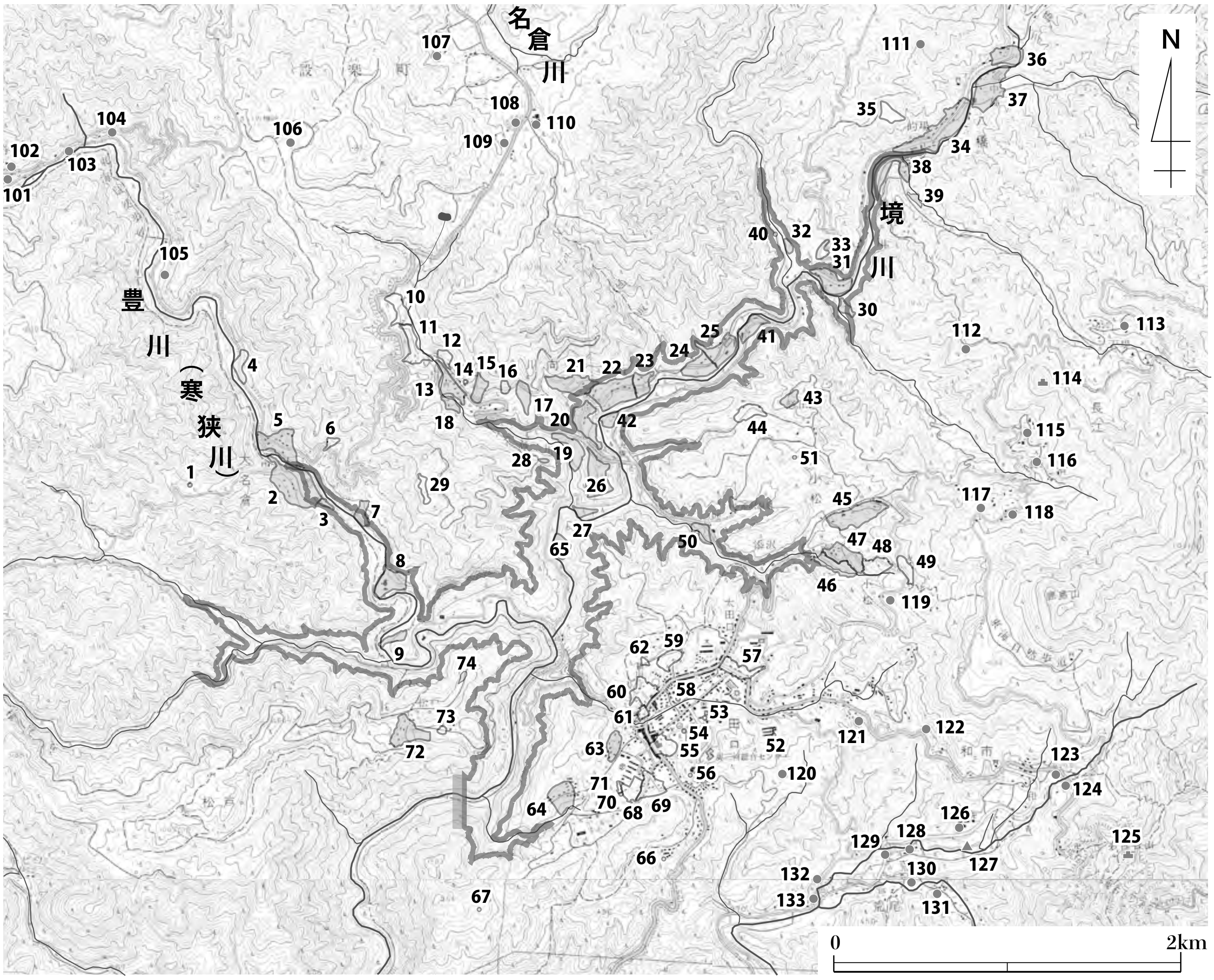
令和元年度：

発掘届出：31 教生第 277 号・平成 31 年４月 19 日／通知：31 埋セ第 117 号・令和２年１月 24 日／終了届・保管証・発見届：31 教生第 3671 号・令和２年２月 18 日／監査結果通知：31 埋セ第５号・平成 31 年４月 10 日

第２節　遺跡の地理的環境

　万瀬遺跡とその周辺の遺跡の立地に関して略述する。北設楽郡設楽町は愛知県の北東山間部に位置し、平成 17(2005) 年には旧津具村と合併して、東西約 22.4 km・南北 19.7 km・総面積 273.94k m² におよぶ範囲となった。町域内は大部分を山林が占めており、その間を縫うように複数の河川が流れる。設楽町内には豊川水系、矢作川水系、天竜川水系が存在するが、遺跡調査の端緒となった設楽ダムはそのうち豊川水系をなす寒狭川（豊川）に造られる。

　寒狭川およびそれに合流する境川などの沿岸には河岸段丘や緩斜面が形成され、多数の遺跡が所在することが確認されており、万瀬遺跡は境川右岸の東向き緩斜面、標高およそ 410 ～ 425m の地点に所在する。万瀬遺跡から東側の境川対岸には笹平遺跡が位置し、津具方面へ向かって境川右岸を北東に遡上していくと、上ヲロウ・下ヲロウ遺跡、川向近沢遺跡、石原遺跡、下延坂遺跡が連なる。



設楽ダム関連 遺跡分布図

国土地理員刊行　２万５千分の１地形図「田口」「海老」より

設楽ダム事業により影響を受ける遺跡（埋蔵文化財包蔵地）の範囲

設楽ダム常時満水437mの範囲

遺跡の範囲・地点

図３　設楽ダム関連遺跡分布図（愛知県埋蔵文化財センター 2019『西地・東地遺跡』より、一部改変）

表２　万瀬遺跡および周辺遺跡一覧（愛知県埋蔵文化財センター 2019『西地・東地遺跡』より、一部改変）

※　○・？は、詳細分布調査および遺跡地図による。◇は発掘調査で新たに見つかった時代

地区（旧大字）	番号	遺跡名	読み	県遺跡番号	所在地	後期旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥・奈良	平安	鎌倉	室町	戦国期—近世初頭	備考
大名倉	1	沢入り遺跡	さわいり	700155	大名倉字沢入り		○	?							
大名倉	2	大名倉遺跡	おおなぐら	700297	大名倉字滝ノ上・滝ノ下・下谷・南貝津		○	○			○	○	○	○	下谷遺跡
大名倉	3	日掛遺跡	ひかげ	700328	大名倉字日掛										
大名倉	4	栢ノ久保遺跡	かやのくぼ	700151	大名倉字新蔵		○								
大名倉	5	西地・東地遺跡	にしじ・ひがしじ	700152	大名倉字西地・東地		○				○	○	○	○	
大名倉	6	後沢遺跡	うしろざわ	700154	大名倉字後沢		○								
大名倉	7	ハラビ平遺跡	はらびだいら	700157	大名倉字ハラビ平		○				○	○		○	
大名倉	8	胡桃窪遺跡	くるみくぼ	700158	大名倉字胡桃窪・丸山		○				○	○	○	○	
大名倉	9	大名倉丸山遺跡	おおなぐらまるやま	700347	大名倉字丸山									?	
川向	10	川向田ノ入遺跡	かわむきたのいり	700351	川向字田ノ入						○				
川向	11	三軒屋遺跡	さんげんや	700159	川向字三ゲンヤ		○					○			
川向	12	梨子谷下遺跡	なしやげ	700329	川向字梨子谷下						○	○			
川向	13	上戸神遺跡	かみとがみ	700160	川向字上戸神・下戸神		○				○	○	○	○	
川向	14	道合遺跡	みちあい	700161	川向字道合		○								
川向	15	川向萩ノ平沢遺跡	かわむきはぎのひらさわ	700352	川向字萩ノ平沢・小万		○				○				
川向	16	道上遺跡	みちあげ	700345	川向字萩ノ平沢・小万		○				○				
川向	17	川向力石遺跡	かわむきちからいし	700353	川向字萩ノ平沢・小万						○	○			
川向	18	川向向山遺跡	かわむきむかいやま	700354	川向字向山									○	
川向	19	大栗遺跡	おおぐり	700163	川向字大栗		○	◇			○		○	○	
川向	20	万瀬遺跡	まんぜ	700165	川向字マンゼ		○				○	○	○	○	
川向	21	大空前遺跡	おおぞらまえ	700166	川向字大空前・新直		○				○	○	○	○	
川向	22	上ヲロウ・下ヲロウ遺跡	かみおろう・しもおろう	700167	川向字上ヲロウ・下ヲロウ・中空		○	◇			○	○	○	○	
川向	23	川向近沢遺跡	かわむきちかざわ	700355	川向字近沢・馬道		○				○	○	○	○	
川向	24	石原遺跡	いしはら	700170	川向字石原・ヒチコ		○								
川向	25	下延坂遺跡	しものべさか	700171	川向字下延坂・上延坂		○	○			○	○	◇		
川向	26	大畑遺跡	おおはた	700164	川向字大畑・東貝津		○								
川向	27	川向東貝津遺跡	かわむきひがしがいつ	700348	川向字東貝津	◇	○				○	○			
川向	28	南ヶ岳遺跡	みなみがたけ	700162	川向字南ヶ岳		?				○				
川向	29	光石山候補地	みつ（ひかり）いしやま	城館関連地 089-003	川向字向山									?	
八橋	30	八橋大平遺跡	やつはしおおびら	700349	八橋字大平		○				○				
八橋	31	滝瀬遺跡	たきせ	700174	八橋字タキセ		○	◇					○	○	
八橋	32	根道外遺跡	ねみちそと	700173	八橋字根道外		○								
八橋	33	長久保遺跡	ながくぼ	700331	八橋字長久保		○								
八橋	34	中村遺跡	なかむら	700176	八橋字道上・道下・西路		○				○	○	○		
八橋	35	八橋アテ遺跡	やつはしあて	700356	八橋字アテ		○				○			○	
八橋	36	八橋谷合遺跡	やつはしやわせ	700350	八橋字谷合						○				
八橋	37	向橋遺跡	むこうばし	700178	八橋字向橋						○	○			向林遺跡
八橋	38	永江沢遺跡	ながえさわ	700175	八橋字崩沢		○					○	○		
八橋	39	八橋崩沢遺跡	やつはしなぎさわ	700357	八橋字崩沢		○								
八橋	40	境川林道遺跡	さかいがわりんどう	700330	八橋字コハツカ		○								黒曜石の原石のみ採取
小松	41	マサノ沢遺跡	まさのさわ	700172	小松字マサノサワ		○	○							
小松	42	笹平遺跡	ささだいら	700169	小松字笹平		○	○			○				
小松	43	丸瀬遺跡	まるせ	700184	小松字丸瀬		○								
小松	44	小松沢上ゲ遺跡	こまつさやげ	700358	小松字沢上ゲ						○		○	○	
小松	45	柿平遺跡	かきだいら	700189	小松字波根・東沢						○	○	○	○	
小松	46	中屋地遺跡	なかやじ	700190	小松字中屋地						○	○	○	○	
小松	47	下り道遺跡	くだりみち	700191	小松字下り道・中貝津・下中熊		○				○	○	○	○	
小松	48	下中熊遺跡	しもなかぐま	700192	小松字下中熊・中貝津						○	○	○	○	
小松	49	上中熊遺跡	かみなかぐま	700193	小松字上中熊						○	○	○	○	
田口	50	添沢遺跡	そえざわ	700188	田口字添沢		○				○	○			
田口	51	添津遺跡	そえづ	700187	田口字添津		○	?							
田口	52	一ノ橋遺跡	いちのはし	700197	田口字杉平向		○								
田口	53	向木屋遺跡	むかいぎや	700201	田口字向木屋			○							
田口	54	城下遺跡	しろした	700202	田口字小木山							?			
田口	55	天白遺跡	てんぱく	700203	田口字広貝津		○	○				○			
田口	56	向木屋城跡	むかいぎやじょうあと	700206	田口字向木屋									?	
田口	57	東遺跡	ひがし	700198	田口字谷下・白根土							○	○	○	
田口	58	稲場遺跡	いなば	700333	田口字辻前		○								
田口	59	中島遺跡	なかじま	700199	田口字中島		○				○		○	○	
田口	60	居立遺跡	いだて	700200	田口字居立			○	○				○	○	
田口	61	半兵衛屋敷（田口村古屋敷）	はんべえやしき（たぐちむらふるやしき）	703001	田口字小貝津									○	
田口	62	田口大久保遺跡	たぐちおおくぼ	700359	田口字大久保		○								
田口	63	田口西貝津遺跡	たぐちにしがいつ	700360	田口字西貝津						○	○	○	○	
田口	64	田口シウキ遺跡	たぐちしうき	700361	田口字シウキ						○	○	○		
田口	65	大崎遺跡	おおさき	700195	田口字大崎		○				○	◇		?	
清崎	66	根ノ後遺跡	ねのご	700344	清崎字根ノ後		○								
清崎	67	大峯遺跡	おおみね	700226	清崎字大峯		○	?			○	○			
清崎	68	広畑遺跡	ひろはた	700204	清崎字広畑・狐洞						○	○	○	○	
清崎	69	萩平遺跡	はぎだいら	700205	清崎字山本・水口									○	
清崎	70	萩平村古屋敷	はぎだいらふるやしき	703005	清崎字狐洞									?	
清崎	71	重原藩田口代官所	しげはらはんたぐちだいかんしょ	703002	清崎字狐洞										近代
清崎	72	松戸遺跡	まつど	700334	松戸字家廻・向畑						○	○	○	○	
清崎	73	松戸下畑遺跡	まつどしたばた	700362	松戸字下畑							○	○		
清崎	74	松戸城跡	まつどじょうあと	703004	松戸字イサケトチ									?	
東納庫	101	大家下遺跡	おおやした	700147	東納庫字岩クラ							○	○		
東納庫	102	澄川口遺跡	すみかわぐち	700146	東納庫字澄川口								○		
東納庫	103	岩クラ遺跡	いわくら	700148	東納庫字岩クラ		○								
東納庫	104	長根遺跡	ながね	700149	東納庫字長根		○								
東納庫	105	長尾遺跡	ながお	700150	東納庫字長尾		○								
東納庫	106	菅沢山遺跡	すげさわやま	700143	東納庫字菅沢山			○							弥生は水神平式
川向	107	モロ田遺跡	もろだ	700137	川向字モロ田				○	○	○				
川向	108	市場口遺跡	いちばぐち	700138	川向字市場口	○									
川向	109	西長沢遺跡	にしながさわ	700139	川向字市場口		○								
川向	110	庄之子呂遺跡	しょうのころ	700140	川向字庄之子呂		○								
八橋	111	八橋杉平遺跡	やつはしすぎたいら	700177	八橋字杉平		○								
長江	112	御堂山遺跡	みどうやま	700181	長江字御堂山						○	○			
長江	113	天堤遺跡	あまづつみ	700180	長江字天堤			○							弥生は水神平式
長江	114	長江城跡	ながえじょう	700296	長江字松ヶ根							○	○		
長江	115	尊手平遺跡	そんでびら	700182	長江字尊手平		○								御物石器？
長江	116	本江遺跡	ほんえ	700183	長江字本江						○	○			
長江	117	寺トコ遺跡	てらとこ	700185	長江字田平							○			
長江	118	田平遺跡	ただいら	700184	長江字田平							○	○		
小松	119	下湯分沢遺跡	しもゆぶんざわ	700194	小松字下湯分沢		○					○			
田口	120	オリジ遺跡	おりじ	700207	田口字オリジ		○								
小松	121	小松杉平遺跡	こまつすぎだいら	700196	小松字杉平		○				○	○	○		
荒尾	122	寒相遺跡	かんぞう	700208	荒尾字寒相			○							弥生は水神平式含む
和市	123	清水遺跡	しみず	700209	和市字清水		○					○	○		
和市	124	和市場遺跡	わいちば	700210	和市字和市場		○						○		
荒尾	125	岩古谷城址	いわごや	700211	荒尾字岩古谷									○	
荒尾	126	宝ノ久保遺跡	ほうのくぼ	700212	荒尾字宝ノ久保		○					○			
荒尾	127	鐘鋳場跡	かねいば	700298	荒尾字欠田										近世
荒尾	128	欠田遺跡	かけだ	700213	荒尾字欠田		○						○		
荒尾	129	上杉沢遺跡	かみすぎのさわ	700214	荒尾字上杉沢		○								
荒尾	130	中村遺跡	なかむら	700215	荒尾字下貝津		○				○		○		
荒尾	131	上万場遺跡	かみまんば	700216	荒尾字上万場		○								
荒尾	132	野々瀬遺跡	ののせ	700217	荒尾字野々瀬		○								
荒尾	133	川角遺跡	かわかど	700218	荒尾字川角		○						○		

第３節　遺跡の歴史的環境

万瀬遺跡周辺の遺跡について概観する。遺跡に付す番号は図３および表２に対応する。

後期旧石器時代：市場口遺跡 (108) では、ナイフ形石器および剥片・石核が出土する。

縄文時代草創期：川向東貝津遺跡 (27) では、木葉形尖頭器および有舌尖頭器やその製作に関わる剥片石核類のほか、細石器も出土しており、一部は後期旧石器時代に遡る可能性がある。また、滝瀬遺跡 (31) では、縄文時代草創期末から早期初頭に遡る可能性のある、竪穴建物跡 10 基以上で構成された集落跡が確認された。

縄文時代早期：川向東貝津遺跡・滝瀬遺跡では集石炉跡が調査されており、状況から縄文時代早期に属する可能性がある。特に滝瀬遺跡では境川に接する緩斜面上に 10 基 以上がまとまって見つかっている。川向地区の大栗遺跡 (19) では、煙道付炉穴が少なくとも 1 基調査されており、複数基が存在していた可能性も考えられている。

縄文時代前期：遺物は各遺跡で散在的に確認されているものの遺構の例は少なく、大名倉地区の胡桃窪遺跡 (8) で前期後半の竪穴建物跡が検出されているのが挙げられるのみである。

縄文時代中期：縄文時代中期については、石原遺跡 (24) で山田平式期頃、笹平遺跡 (42)・滝瀬遺跡で中期後半の竪穴建物跡が見つかっている。集落跡としては川向東貝津遺跡と大畑遺跡 (26) があり、前者は丘陵裾部の南斜面、後者が同一丘陵の頂部に展開する位置関係にある。大崎遺跡では縄文時代中期後半から弥生時代中期後葉にかけての 19 基からなる竪穴建物跡群が見つかっており、縄文時代晩期〜弥生時代前期には希薄になるものの、連綿と建物が築かれている。

縄文時代後期：笹平遺跡では竪穴建物跡 30 基以上による後期初頭〜中葉にかけての集落跡が確認され、マサノ沢遺跡 (41) ではハート形土偶などの儀器類を伴う配石･集石墓群が検出されている。

縄文時代晩期：縄文時代晩期の遺物は、大名倉遺跡 (2)・笹平遺跡・滝瀬遺跡などで散発的に確認さ れる。マサノ沢遺跡では、晩期後葉の良好な遺物包含層が確認されている。

弥生時代：前期では笹平遺跡やマサノ沢遺跡で土器棺墓が確認されているほか、中期では上ヲロウ・下ヲロウ遺跡 (22) と大崎遺跡 (65) で竪穴建物跡が検出されている。

古墳時代：後期に比定される丸根古墳や根古屋古墳が名倉地区に所在することが戦前から知られているものの、集落遺跡などは確認されておらず、様相は不明瞭である。

古代：須恵器はごく少数が出土するのみで当該期の集落などは確認されていない。滝瀬遺跡、下延坂遺跡 (25)、胡桃窪遺跡、上ヲロウ・下ヲロウ遺跡などでは灰釉陶器の出土する竪穴状遺構が見つかっている。そのうち、滝瀬遺跡のものはカマドを伴い、下延坂遺跡のものは炉跡を伴い、胡桃窪遺跡のものは鉄製品、鍛造鉄片、粒状鉄滓が出土して鍛冶遺構としての性格が想定されている。

中世：西地・東地遺跡 (5) で検出された戦国期から近世初頭にかけての竪穴状遺構は、鉄滓や被熱した台石の出土から野鍛冶に関連するものと考えられる。上ヲロウ・下ヲロウ遺跡では中世前半以降の道路状遺構が見つかっている。大崎遺跡では緩斜面地を利用した大規模な水田関連遺構が見つかっており、山茶碗や伊勢型鍋などの遺物が出土する。

近世以降：上ヲロウ・下ヲロウ遺跡で柱穴に根石を伴う掘立柱建物が確認されているほか、滝瀬遺跡では旧伊那街道と考えられる道路状遺構が見つかっている。埋葬遺構としては、土葬土坑墓が上ヲロウ･下ヲロウ遺跡、下延坂遺跡といった境川右岸の遺跡のほか、西地･東地遺跡でも見つかっており、副葬品として銭貨や煙管が出土する例が多い。また、大栗遺跡では礫を方形に組んだ火葬施設と思われる遺構が確認されている。

第４節　基本層序

主に調査区の壁面で記録した土層堆積（図５～図９）をもとに万瀬遺跡の基本層序を示す。

万瀬遺跡は川へ向いた東向きの緩斜面地に立地しており、土層の堆積も全体に西から東へ傾斜する。そのため、土地利用にあたって一部が平場として削平されている。また、境川右岸に連なる他の遺跡では自然の谷地形に沿って土石流堆積が見られることがあるが、万瀬遺跡においては谷地形が２箇所に見られたものの、明瞭な土石流堆積は認められなかった。

各調査区で共通する堆積は上層から、黒褐色シルト等を主体とした近現代の表土層、中世～近代に堆積した黒褐色のシルト～粘土質シルト層、明黄褐色～褐色のシルト～粘土を主体とする基盤層である。このうち、中世～近代の層は縄文時代～近世の遺物を包含し、基盤層上では場所により、縄文時代早期から近世の遺構が検出される。

局所的な遺物包含層としては、19B 区から 14 区にかけて所在する自然の谷地形には縄文時代～近世の遺物包含層が見られる。19C 区南東部から 19A 区北東部にかけての浅い谷地形では、縄文時代早期前半以前の遺物を包含する堆積が見られ、19C 区ではその上面で縄文時代早期前半の集落跡が検出された。また、早期前半以前の包含層も存在する。19A 区東部の一部では縄文時代の遺物を包含する明黄褐色～黒褐色の包含層が確認された。

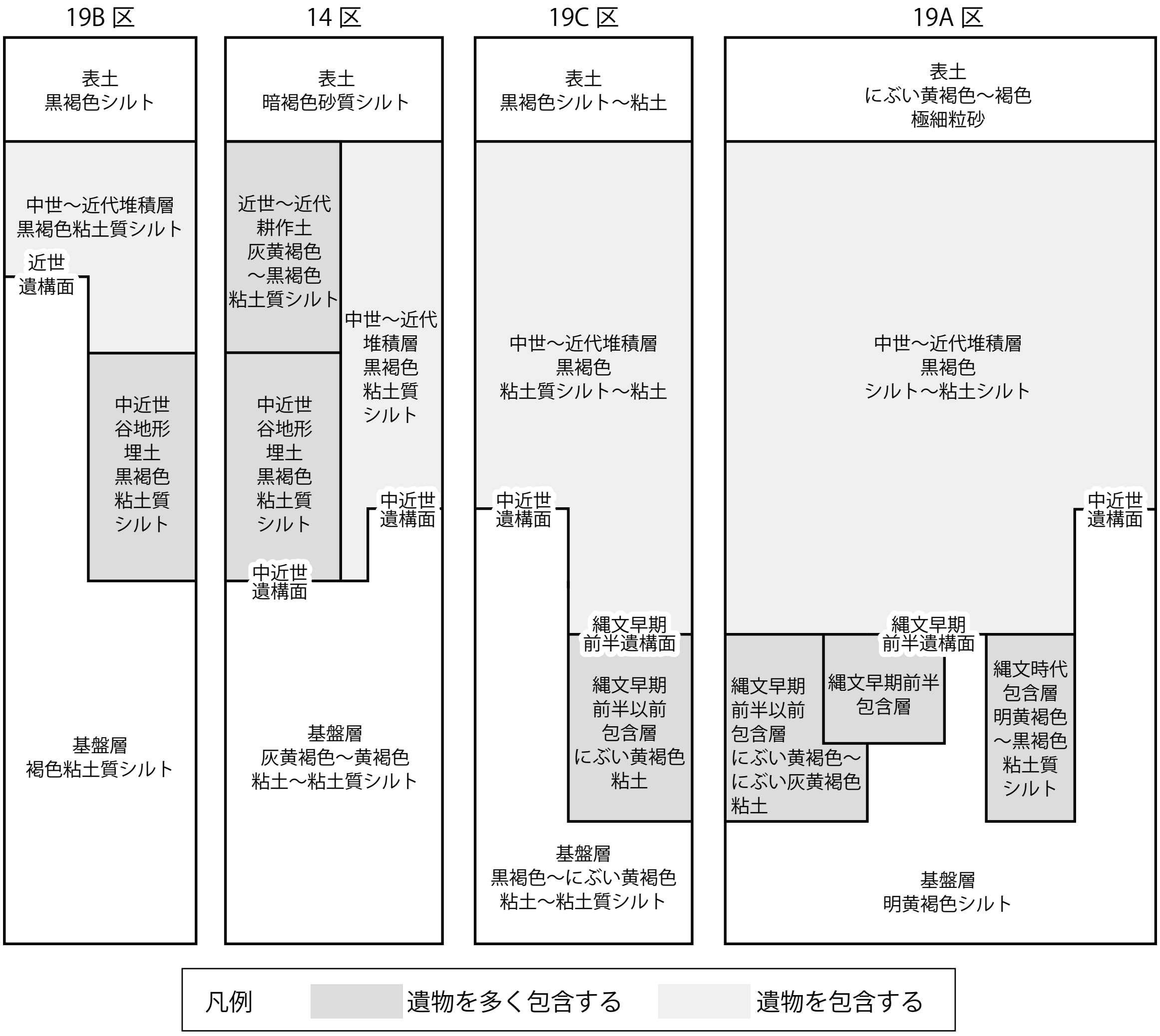


図４　平成 26・令和元年度調査区 基本層序模式図

19Ba区南壁

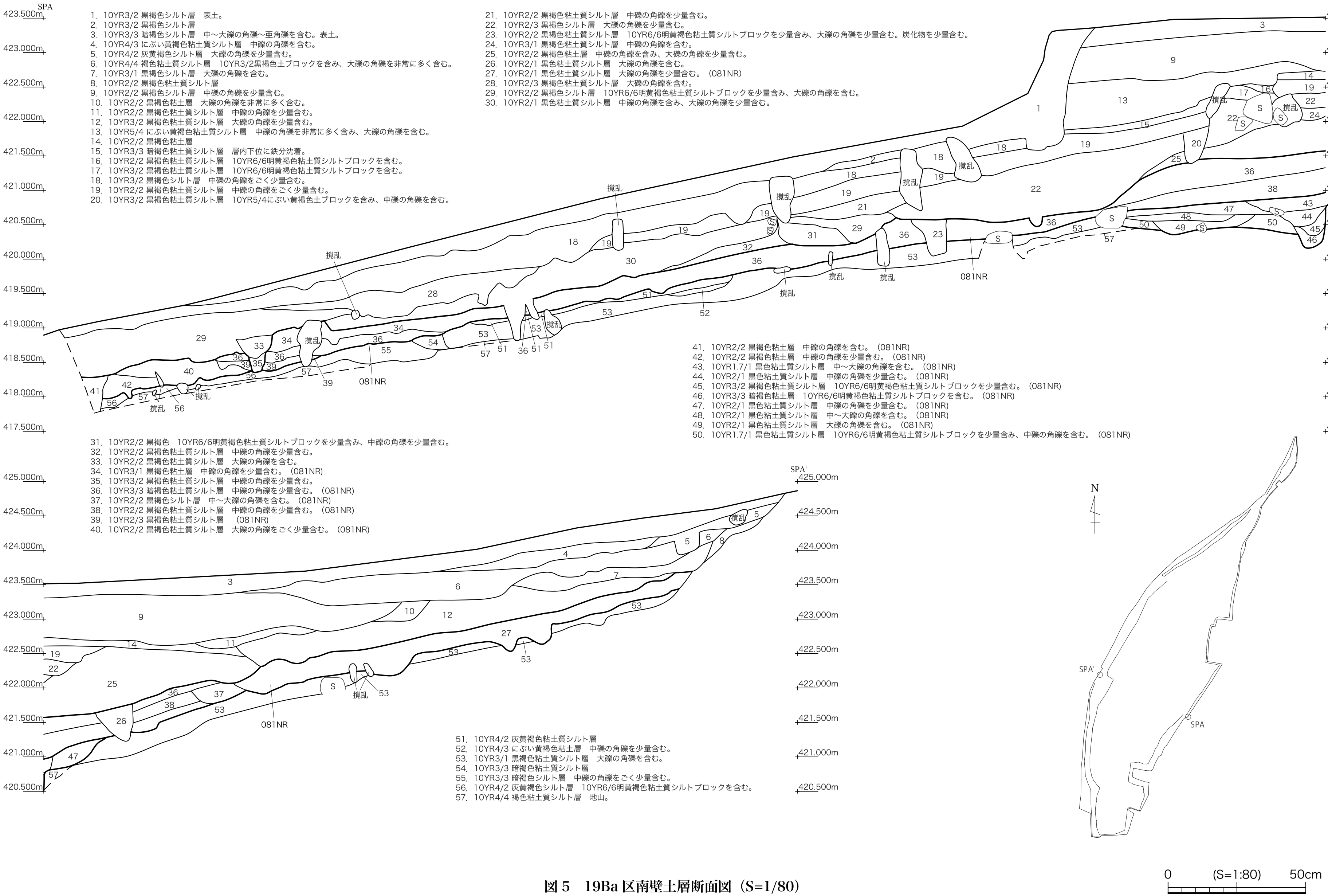
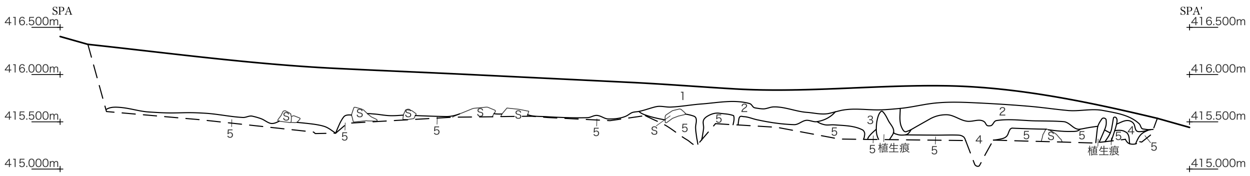
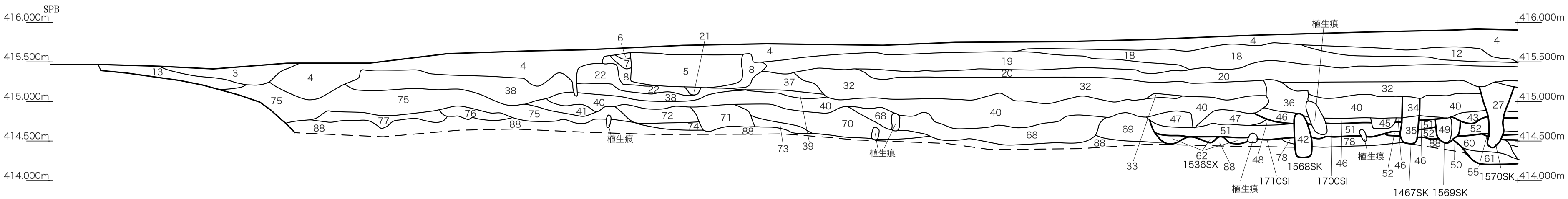


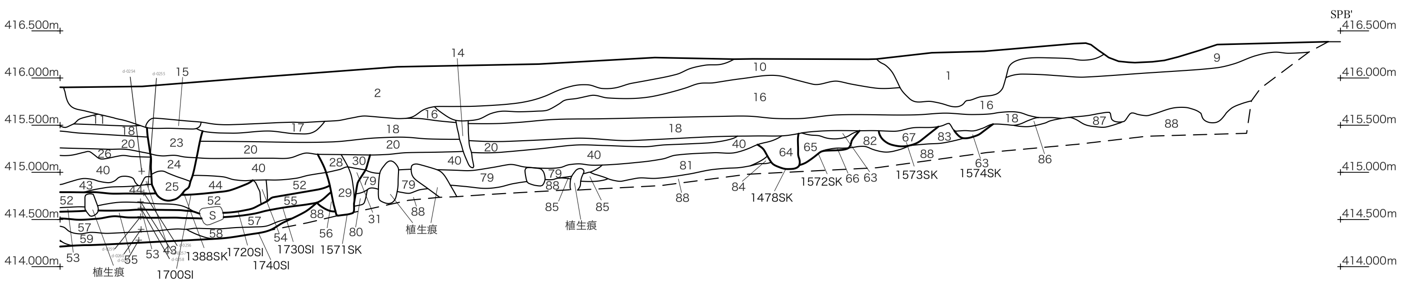
図５　19Ba 区南壁土層断面図（S=1/80）

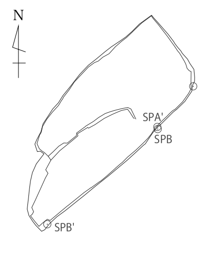
19C区東壁



1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、中礫の角礫を少量含む。
3. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　細礫～中礫の角礫を多く含む。
4. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中～大礫の角礫を少量含む。
5. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土層 地山。







1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大～巨礫の角礫を多く含む。（表土・現代）
2. 10YR3/1 黒褐色シルト層　大～巨礫の角礫を多く含む。コンクリート塊含む。（表土・現代）
3. 10YR3/2 黒褐色シルト層　細礫を非常に多く含む。（表土・現代）
4. 10YR3/1 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、細礫～大礫の角礫を多く含む。
5. 10YR4/2 灰黄褐色シルト層　5YR5/6明赤褐色土ブロック、10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、中～大礫の角礫を少量含む。（表土・現代）
6. 7.5YR4/4 褐色シルト層　（表土・現代）
7. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト層　（表土・現代）
8. 7.5YR4/6 褐色シルト層　（表土・現代）
9. 10YR2/2 黒褐色極細粒砂質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を少量含む。（表土・現代）
10. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を多く含む。（表土・現代）
11. 10YR2/2 黒褐色粘土層　大礫の角礫を非常に多く含む。（表土・現代）
12. 10YR1.7/1 粘土質シルト層　大礫の角礫を含む。（表土・現代）
13. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　細礫～大礫の角礫を含む。（表土・現代）
14. 10YR3/1 黒褐色粘土層　大礫の角礫を少量含む。（表土・現代）
15. 10YR3/1 黒褐色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大礫の角礫を少量含む。（表土・現代）
16. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、中～巨礫の角礫を少量含む。（表土・現代）
17. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、大礫の角礫を少量含む。（表土・現代）
18. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、大礫の角礫を少量含む。（表土・現代）
19. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含み、細礫～大礫の角礫を含む。（表土・現代）
20. 10YR3/1 黒褐色粘土層　中礫の角礫を少量含む。（表土・現代）
21. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土層　細礫～中礫の角礫を非常に多く含む。（表土・現代）
22. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含み、細礫～大礫の角礫を含む。（表土・現代）
23. 10YR3/1 黒褐色粘土層　中礫の角礫を少量含む。（1388SK）
24. 10YR3/1 黒褐色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、大礫の角礫を少量含む。（1388SK）
25. 10YR3/1 黒褐色粘土層　中礫の角礫を少量含む。（1388SK）
26. 10YR3/1 黒褐色粘土層　中礫の角礫を少量含む。（表土・現代）
27. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を少量含む。（1570SK）
28. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　（1571SK）
29. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、中～大礫の角礫を少量含む。（1571SK）
30. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を少量含む。（1571SK）
31. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。（1571SK）
32. 10YR3/1 黒褐色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、中～大礫の角礫を少量含む。（中世～近世）
33. 7.5YR5/6 明褐色粘土質シルト層　（中世～近世）
34. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を少量含む。（1467SK）
35. 10YR2/1 黒色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中礫の角礫を少量含む。（1467SK）
36. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を少量含む。（中世～近世）
37. 10YR2/1 黒色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、細礫～大礫の角礫を多く含む。（中世～近世）
38. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　中～巨礫の角礫を含む。（中世～近世）
39. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　5YR4/8赤褐色土ブロックを含み、細礫を少量含む。（中世～近世）
40. 10YR3/1 黒褐色粘土層　（中世～近世）

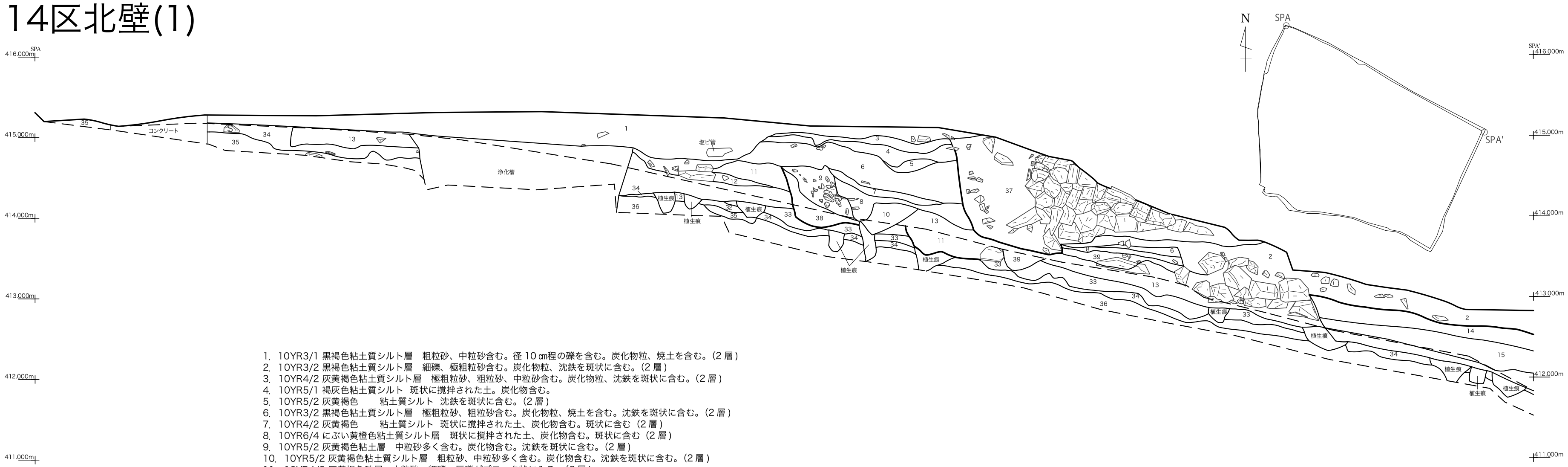
図 6　19C 区東壁土層断面図（S=1/80）

0　(S=1:80)　50cm

19C区東壁 土層註記

41. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を少量含む。
42. 10YR3/1 黒褐色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を含む。（1568SK）
43. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層　径5㎝程の礫を少量含み、粗粒砂、中粒砂を多く含む。炭化物粒を含む。（1700SI）
44. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土層　中礫の角礫を多く含む。（1700SI）
45. 10YR2/1 黒色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。（1700SI)
46. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層　径2㎝程の角礫を含み、粗粒砂、中粒砂を多く含む。炭化物粒を含む。（1700SI）
47. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を多く含む。
48. 10YR5/2 灰黄褐色粘土層　径5㎝程の礫を多く含む。炭化物粒を少量含む。
49. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を含む。（1569SK）
50. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　（1569SK）
51. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　大礫の角礫を多く含む。（1710SI)
52. 10YR6/3 にぶい黄橙色粘土層　径1㎝程の礫を多く含む。炭化物粒を多く含む。（1720SI）
53. 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト層　（1720SI)
54. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、大礫の角礫を含む。
55. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、
中礫の角礫を少量含む。炭化物を少量含む。（1730SI）
56. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含む。
57. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中～巨礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。（1740SI）
58. 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。炭化物を少量含む。（1740SI）
59. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含む。（1740SI）
60. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。炭化物を少量含む。（1740SI）
61. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含む。炭化物を少量含む。（1740SI）
62. 10YR6/3 にぶい黄橙色粘土層
10YR7/6明黄褐色粘土を斑状に含み、径1㎝程の礫を多く含む。（植生による作用）（1536SX）
63. 10YR3/1 黒褐色極細粒砂質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。（1574SK）
64. 10YR2/2 黒褐色シルト層　中礫の角礫を少量含む。（1478SK）
65. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土層　径1～5㎝程の礫を多く含む。（1572SK）
66. 10YR4/2 灰黄褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。（1572SK）
67. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土層　径5㎜程の礫を多く含む。（1573SK）
68. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。（遺物包含層・旧表土）
69. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含む。（〃）
70. 10YR3/2 黒褐色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を少量含む。（〃）
71. 10YR3/2 黒褐色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、中礫の角礫を少量含む。（〃）
72. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　大礫の角礫を少量含む。（〃）
73. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　大礫の角礫を少量含む。（〃）
74. 10YR3/3 暗褐色粘土層　中礫の角礫を少量含む。（〃）
75. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　中～巨礫の角礫を含む。（〃）
76. 10YR4/4 褐色粘土層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、細礫を少量含む。（〃）
77. 10YR4/2 灰黄褐色粘土層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。（〃）
78. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。（〃）
79. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土層　径1㎝程の礫を多く含む。炭化物粒を多く含む。（〃）
80. 10YR7/3 にぶい黄橙色粘土層　10YR7/6明黄褐色粘土をブロック状に含む。（〃）
81. 10YR7/3 にぶい黄橙色粘土層　径1～2㎝程の礫を多く含む。（〃）
82. 10YR4/1 褐灰色粘土層　10YR7/6明黄褐色粘土を斑状に含む。（植生痕）
83. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　（遺物包含層・旧表土）
84. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、細礫を多く含む。（遺物包含層・旧表土）
85. 10YR7/3 にぶい黄橙色粘土層　径1～2㎝程の礫を多く含む。（遺物包含層・旧表土）
86. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含む。（地山）
87. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を含む。（地山）
88. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土層　大～巨礫の角礫を含む。（地山）

14区北壁(1)



1. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　粗粒砂、中粒砂含む。径 10 ㎝程の礫を含む。炭化物粒、焼土を含む。(2 層)
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　細礫、極粗粒砂含む。炭化物粒、沈鉄を斑状に含む。(2 層)
3. 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト層　極粗粒砂、粗粒砂、中粒砂含む。炭化物粒、沈鉄を斑状に含む。(2 層)
4. 10YR5/1 褐灰色粘土質シルト　斑状に撹拌された土。炭化物含む。
5. 10YR5/2 灰黄褐色　　粘土質シルト　沈鉄を斑状に含む。(2 層)
6. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　極粗粒砂、粗粒砂含む。炭化物粒、焼土を含む。沈鉄を斑状に含む。(2 層)
7. 10YR4/2 灰黄褐色　　粘土質シルト　斑状に撹拌された土、炭化物含む。斑状に含む（2 層)
8. 10YR6/4 にぶい黄橙色粘土質シルト層　斑状に撹拌された土、炭化物含む。斑状に含む（2 層)
9. 10YR5/2 灰黄褐色粘土層　中粒砂多く含む。炭化物含む。沈鉄を斑状に含む。(2 層)
10. 10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト層　粗粒砂、中粒砂多く含む。炭化物含む。沈鉄を斑状に含む。(2 層)
11. 10YR4/2 灰黄褐色砂層　中粒砂、細礫、巨礫がブロック状に入る。(2 層)
12. 10YR6/1 褐灰色粘土層　細粒砂、極粗粒砂含む。　炭化物含む。(2 層)
13. 10YR3/2 黒褐色粘土層　中礫、巨礫を含む。炭化物を含む。(植生痕)
14. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂含む。(植生痕)

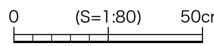
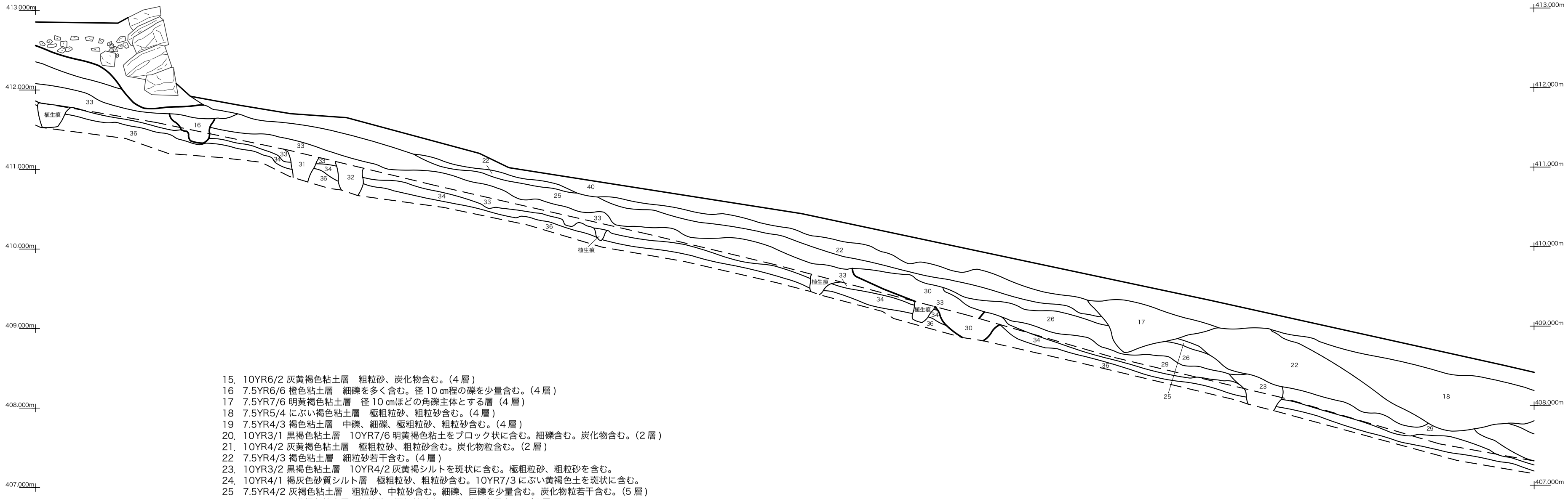
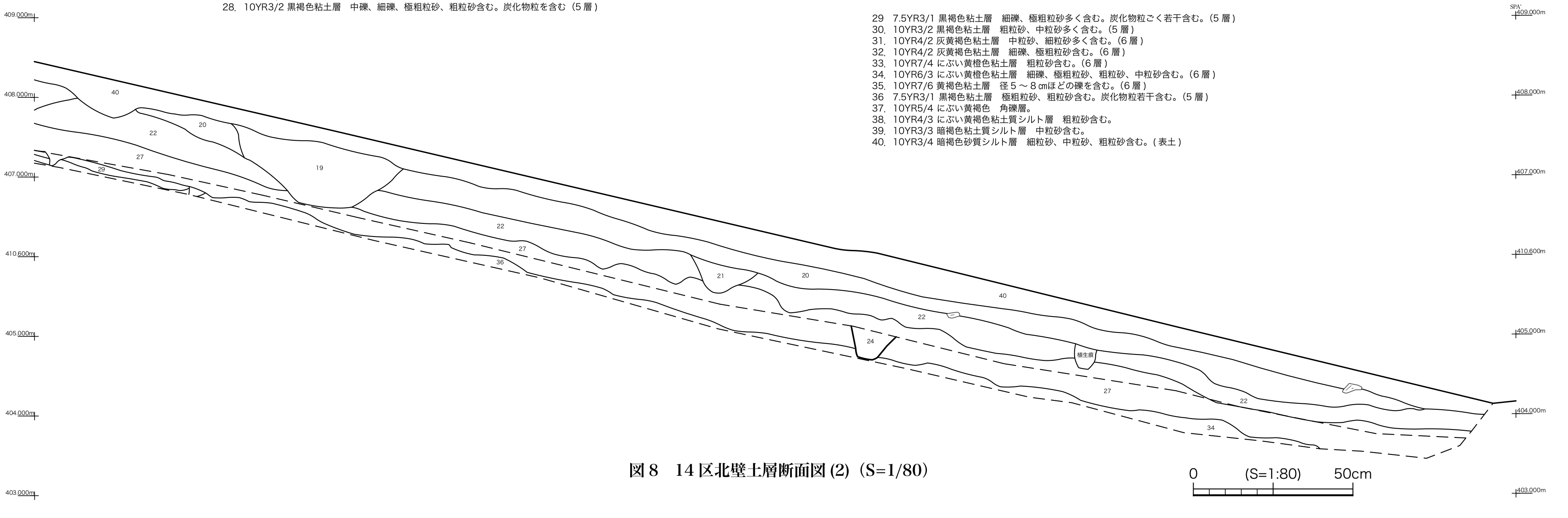


図7　19C区東壁土層註記、14区北壁土層断面図(1)（S=1/80）

14区北壁(2)



15. 10YR6/2 灰黄褐色粘土層　粗粒砂、炭化物含む。(4 層)
16　7.5YR6/6 橙色粘土層　細礫を多く含む。径 10 ㎝程の礫を少量含む。(4 層)
17　7.5YR7/6 明黄褐色粘土層　径 10 ㎝ほどの角礫主体とする層 (4 層)
18　7.5YR5/4 にぶい褐色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂含む。(4 層)
19　7.5YR4/3 褐色粘土層　中礫、細礫、極粗粒砂、粗粒砂含む。(4 層)
20. 10YR3/1 黒褐色粘土層　10YR7/6 明黄褐色粘土をブロック状に含む。細礫含む。炭化物含む。(2 層)
21. 10YR4/2 灰黄褐色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂含む。炭化物粒含む。(2 層)
22　7.5YR4/3 褐色粘土層　細粒砂若干含む。(4 層)
23. 10YR3/2 黒褐色粘土層　10YR4/2 灰黄褐シルトを斑状に含む。極粗粒砂、粗粒砂を含む。
24. 10YR4/1 褐灰色砂質シルト層　極粗粒砂、粗粒砂含む。10YR7/3 にぶい黄褐色土を斑状に含む。
25　7.5YR4/2 灰褐色粘土層　粗粒砂、中粒砂含む。細礫、巨礫を少量含む。炭化物粒若干含む。(5 層)
26. 10YR5/2 灰黄褐色粘土層　細粒砂、極細粒砂含む。細礫を少量含む。(5 層)
27　7.5YR2/1 黒色粘土層　中礫、細礫多く含む。炭化物粒若干含む。(5 層)
28. 10YR3/2 黒褐色粘土層　中礫、細礫、極粗粒砂、粗粒砂含む。炭化物粒を含む (5 層)

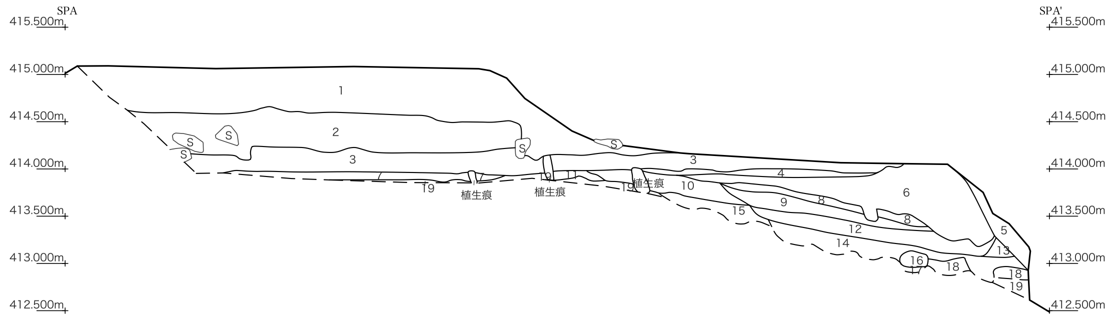


29　7.5YR3/1 黒褐色粘土層　細礫、極粗粒砂多く含む。炭化物粒ごく若干含む。(5 層)
30. 10YR3/2 黒褐色粘土層　粗粒砂、中粒砂多く含む。(5 層)
31. 10YR4/2 灰黄褐色粘土層　中粒砂、細粒砂多く含む。(6 層)
32. 10YR4/2 灰黄褐色粘土層　細礫、極粗粒砂含む。(6 層)
33. 10YR7/4 にぶい黄橙色粘土層　粗粒砂含む。(6 層)
34. 10YR6/3 にぶい黄橙色粘土層　細礫、極粗粒砂、粗粒砂、中粒砂含む。(6 層)
35. 10YR7/6 黄褐色粘土層　径 5 ～ 8 ㎝ほどの礫を含む。(6 層)
36　7.5YR3/1 黒褐色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂含む。炭化物粒若干含む。(5 層)
37. 10YR5/4 にぶい黄褐色　角礫層。
38. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。
39. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　中粒砂含む。
40. 10YR3/4 暗褐色砂質シルト層　細粒砂、中粒砂、粗粒砂含む。(表土)

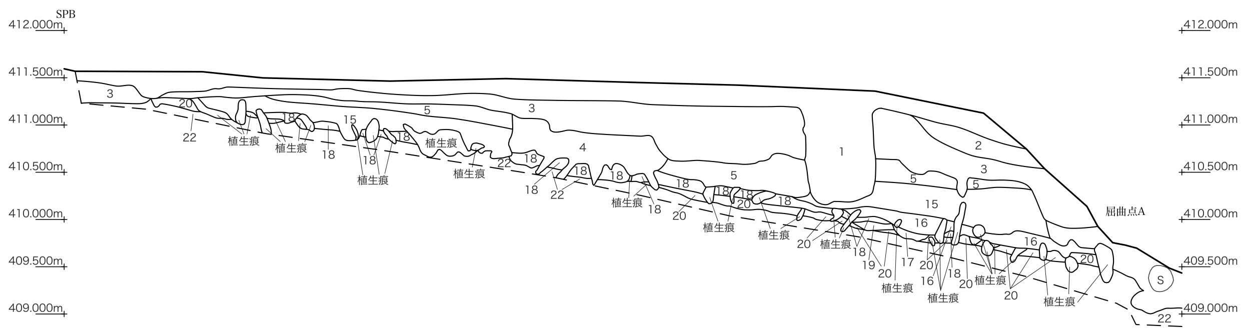
図 8　14 区北壁土層断面図 (2) (S=1/80)

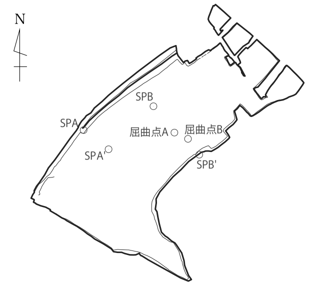
0　(S=1:80)　50cm

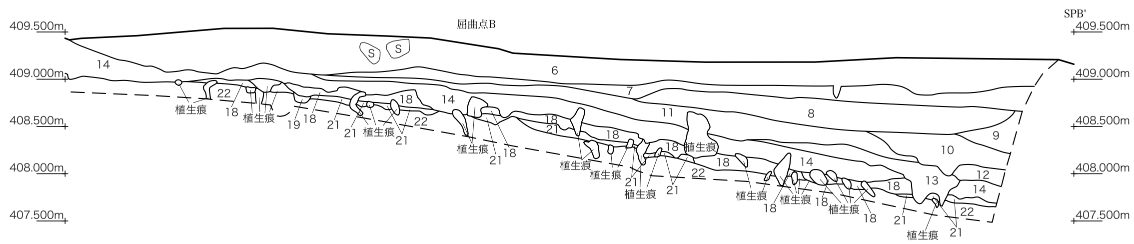
19Aa区北壁



1. 10YR5/4 にぶい黄褐色極細粒砂層　細礫～大礫の角礫を非常に多く含む。
2. 10YR4/6 褐色極細粒砂層　中～巨礫の角礫を多く含む。
3. 10YR3/2 黒褐色シルト層　細礫を少量含む。
4. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層　鉄分沈着。
5. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。
6. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを非常に多く含み、中～大礫の角礫を多く含む。
7. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含み、細礫を含む。
8. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルト粒～ブロックを含み、中礫の角礫をごく少量含む。
9. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。
10. 10YR3/2 黒褐色シルト層　細礫を少量含む。
11. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含み、中礫の角礫を少量含む。
12. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルト粒を少量含み、中礫の角礫を少量含む。
13. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックをごく少量含む。
14. 10YR3/2 黒褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックをごく少量含み、中礫の角礫を少量含む。
15. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、中～大礫の角礫を含む。
16. 10YR3/2 黒褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色シルト粒をごく少量含み、中礫の角礫を含む。
17. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土層　10YR3/2黒褐色土ブロックを少量含む。
18. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含む。
19. 10YR6/6 明黄褐色シルト層 地山。







1. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含み、中～大礫の角礫を少量含む。
2. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を含む。
3. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックをごく少量含み、細～中礫の角礫を含む。
4. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックをごく少量含み、中～大礫の角礫をごく少量含む。
5. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　中礫の角礫をごく少量含む。
6. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　中～巨礫の角礫を含む。
7. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含み、中礫の角礫を少量含む。
8. 10YR2/1 黒色シルト層　中礫の角礫を含む。
9. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックをごく少量含み、大礫の角礫をごく少量含む。
10. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　中礫の角礫をごく少量含む。
11. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　中礫の角礫をごく少量含む。
12. 10YR3/1 粘土質シルト層　13. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　中礫の角礫をごく少量含む。
14. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を含む。
15. 10YR2/1 黒色シルト層　中礫の角礫をごく少量含む。
16. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックをごく少量含み、細礫を少量含む。
17. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含む。
18. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を少量含む。縄文時代遺物包含層。
19. 10YR4/2 灰黄褐色シルト層　細礫を少量含む。縄文時代遺物包含層。
20. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、中礫の角礫をごく少量含む。旧表土。
21. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、中礫の角礫をごく少量含む。旧表土。
22. 10YR6/6 明黄褐色シルト層 地山。

0　(S=1:80)　50cm

図9　19Aa区北壁土層断面図（S=1/80）

第2章　遺構

万瀬遺跡では縄文時代早期前半から近世にかけての遺構が検出された。本章では、縄文時代に属する竪穴建物、炉穴・集石炉跡について記述したのち、中世以降の各種遺構について記述している。各遺構は遺構番号順に配列した。遺構番号は14区が001～333、19B区が001～350、19C区が1001～1740、19A区が2001～2610である（欠番含む）。14区と19B区では遺構番号の重複があるため、14区の遺構にのみ先頭に調査区名を付し、他の調査区の遺構については調査区名を省略した。

第1節　縄文時代　竪穴建物跡

19C区　19C区では、竪穴建物跡5基が重複した建物群が、3333・3432・3433グリッドにかけて黒色土中から検出された。全て19C区南西端に掛かっており、平面形状の全体を把握できるものはない。各建物跡の位置関係は巻末の調査区平面図31を参照されたい。

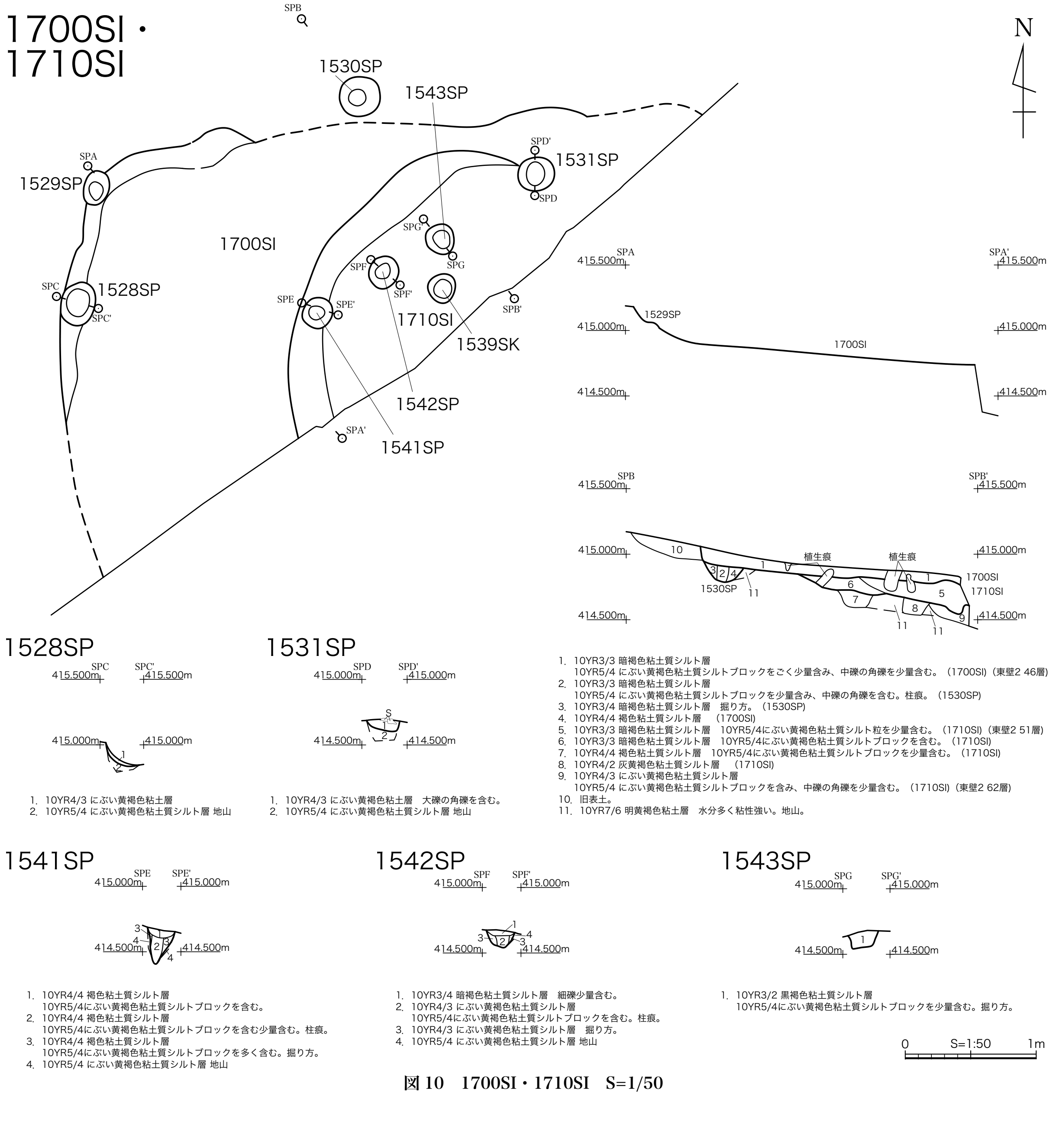


図10　1700SI・1710SI　S=1/50

１７００ＳＩ　長軸 5m 以上、短軸 3m 以上で、隅丸方形と思われる。埋土は大部分が削平されている。対応する柱穴３基が検出され、壁柱列構造を持っていた可能性が考えられる。

１７１０ＳＩ　少なくとも 1m 以上の規模を持ち、平面形状は不明。1700SI の南東方向に図位置し、1700SI に切られる。対応する柱穴４基が検出され、1700SI 同様壁柱列構造が考えられる。

１７２０ＳＩ　直径（または１辺）約 3.7m の円形または隅丸方形と推定される。埋土には炭化物粒が多く含まれる。対応する柱穴は竪穴の掘方外で２基、内で７基が検出され、壁柱列構造を持つと推定される。

１７３０ＳＩ　1720SI と位置・規模がほぼ一致し、1720SI に切られる。埋土には炭化物粒が多く含まれる。検出された柱穴が外側２基と内側３基の２列に分かれる点も 1720SI と一致するが、形状は五角形または六角形を呈する可能性がある。

１７４０ＳＩ　少なくとも 2.9m 以上の規模を持ち、平面形状は不明。1730SI に切られる。埋土には炭化物粒が多く含まれる。他の竪穴建物同様、壁面に沿って３基の柱穴が検出されるが、1740SI では内側でも２基が検出されている。ただし、明瞭な柱痕跡は確認されておらず、柱穴ではない可能性も考えられる。

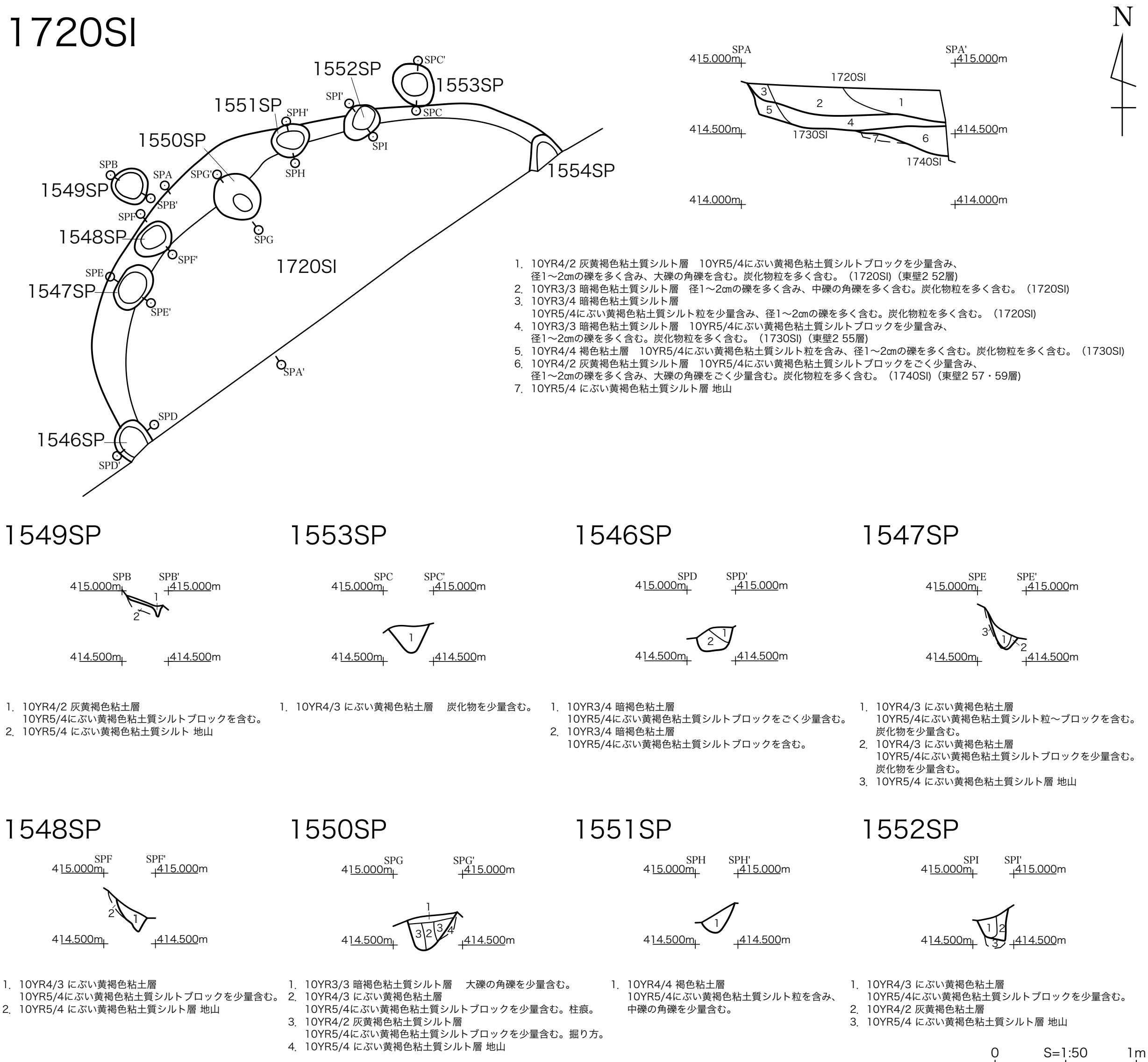


図 11　1720SI　S=1/50

建物群の時期　1700~1740SIでは礫器、磨石・敲石類、石核のほか、剥片が多く出土するものの、土器の出土には乏しい。ただし、1740SIで縄文時代早期前半に比定される土器片が出土しており、当該期の竪穴建物群と想定される。

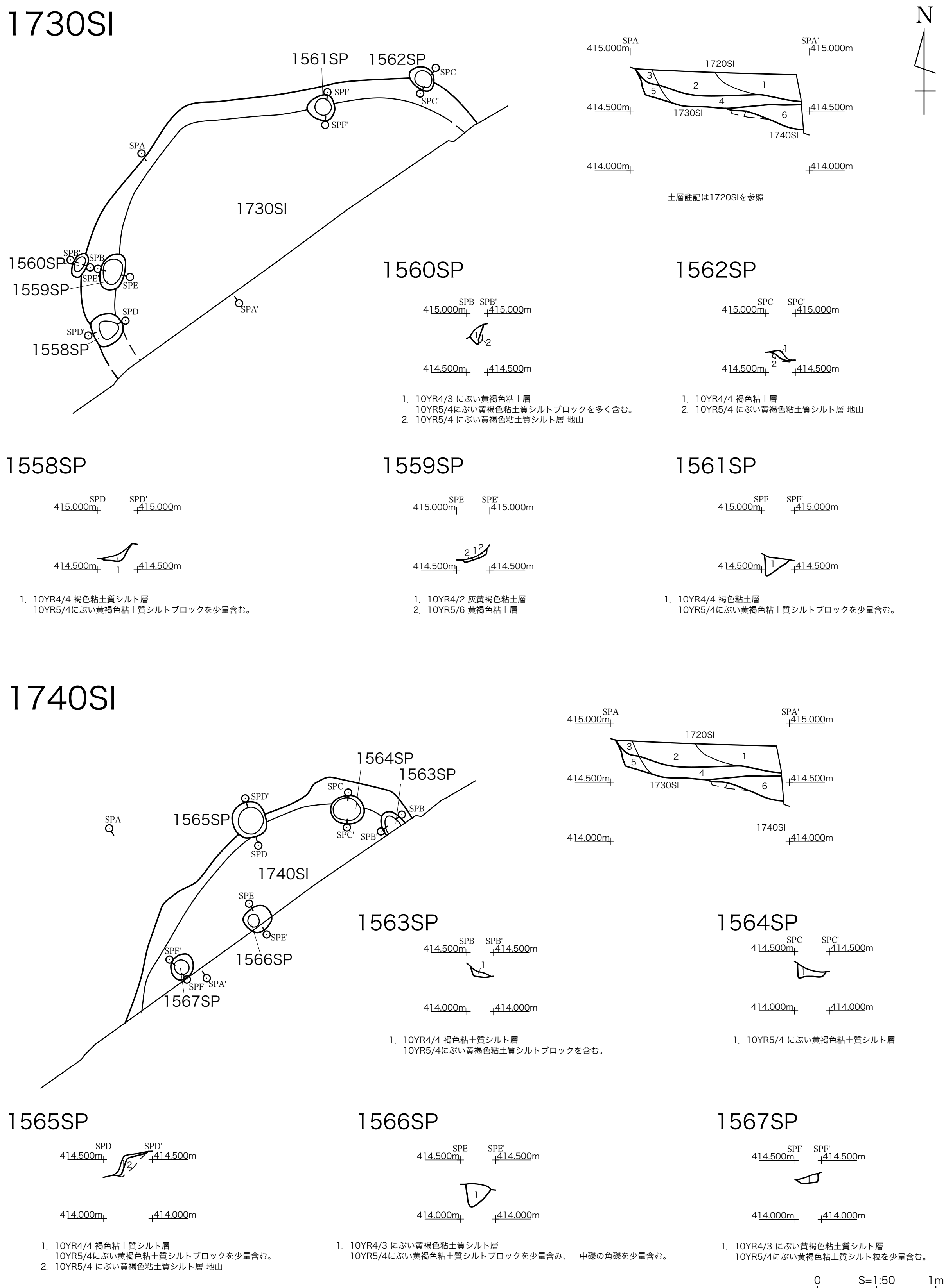


図12　1730SI・1740SI　S=1/50

１９Ａ区　19A区では3734・3735グリッドにかけて、黄褐色の基盤層上面で竪穴建物跡と想定される円形の落ち込みが検出された。遺構検出面で既に集石が見られたため、廃絶後に礫が投入された竪穴建物と想定したが、土層断面の検討から、竪穴建物の廃絶後に土坑や集石炉が掘り込まれており、集石はそれらに伴うものであることが確認された。集石炉跡については次節で記述する。

２４００ＳＩ　長軸約3.9m、短軸2.6m以上を測り、円形を呈するものと推定される。南東側は削平により遺存しない。廃絶後に複数の土坑・集石炉が掘り込まれていることもあり、2400SI本来の埋土はほぼ残っていないものの、早期前半大川式の土器片が複数点出土する。北東約5.3m（中心間距離）に当該期の煙道付き炉穴跡2127SLが所在し、2400SIと同時期に利用されていたものと想定される。

建物に重なるように複数の土坑が確認されるが、全て廃絶後のもので、柱穴ではない。

2400SI

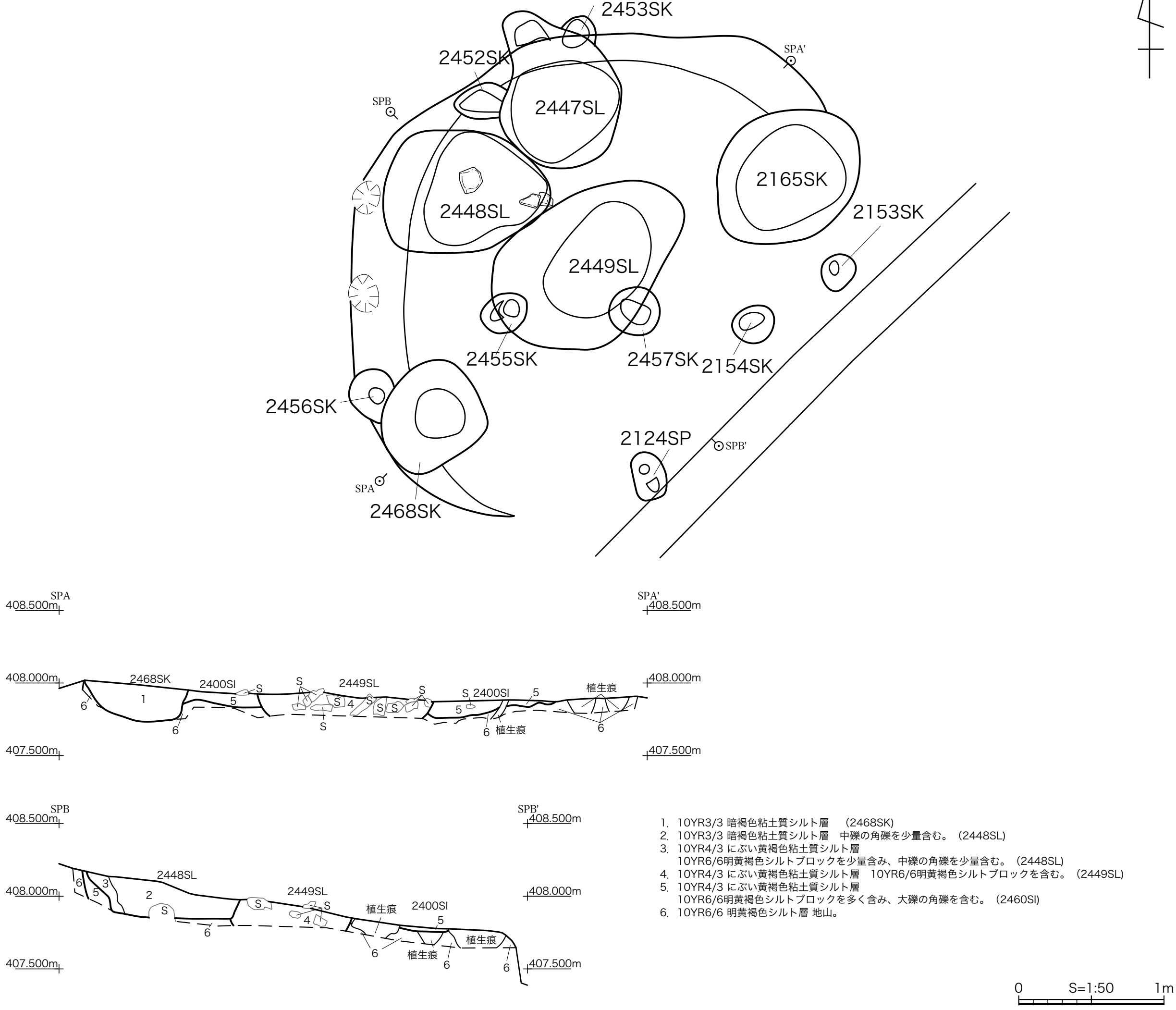


図13　2460SI　S=1/50

第２節　縄文時代　炉穴・集石炉跡

１９Ｃ　区　19C 区では炉穴 1 基が検出された。

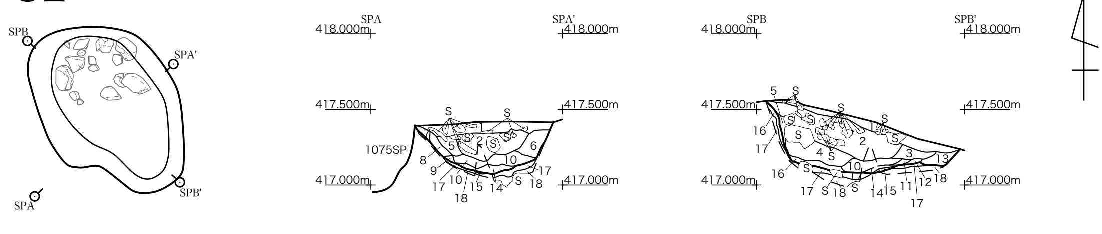
１５２７ＳＬ　19C 区北部、3233 グリッドの斜面部で検出された炉穴である。長軸約 0.9m、短軸約 0.6m で、長軸が地形の傾斜方向と一致する。炉の北西側は広くて深く、埋土に炭化物、焼土が含まれるほか、地山に明瞭な被熱痕が確認される。一方の南東側は狭くて浅く、炭化物、焼土がより多量に含まれる層 (3・13 層) が確認されるため、灰原のような機能を持った部分と推定される。埋土上層の礫を多量に含む層 (2 層) は廃絶に伴うものと考えられる。縄文時代早期前半の大川式の土器片が複数点出土する。

１９Ａ　区　19A 区では炉穴 3 基と集石炉跡 3 基が検出された。

２１１６ＳＬ　19A 区西部、3631・3731 グリッドの斜面部で検出された炉穴である。長軸 0.7m 以上、短軸約 0.6m で、長軸が地形の傾斜方向と一致し、東側は近現代の耕作痕によって破壊されているが、楕円形を呈するものと思われる。出土遺物はないものの、平面形状と主軸方向、遺構壁面の被熱痕、埋土に含まれる焼土、炭化物から縄文時代の炉穴と認定した。

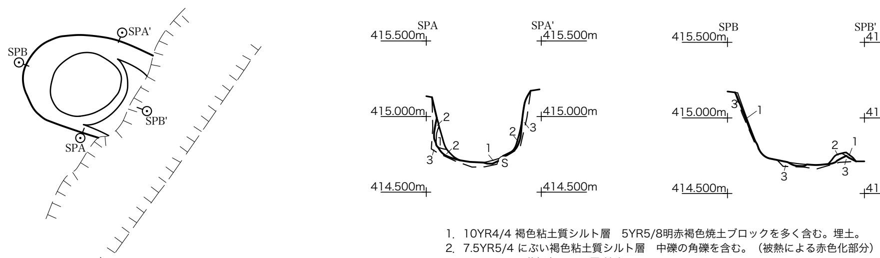
２１２７ＳＬ　19A 区中葉部、3635・3735 グリッドの斜面部で検出された煙道付き炉穴である。長軸約 2.0m、短軸約 0.8m で楕円形を呈し、長軸は地形の傾斜方向と一致する。短軸方向の断面図からはややオーバーハングした様子が見られ、トンネル部の天井が崩れた痕跡と考えられる。南東側に開口部があり、中央が炉の本体、北西側に煙道が付き、壁面の地山には被熱痕が、埋土には焼土と炭化物が含まれる。また、煙道と本体部の接続部付近に板石が入れられており、構造を変えつつ使われたものと想定される。出土遺物から早期前半のものと想定される。

1527SL



1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中～大礫の角礫を含む。
2. 7.5YR4/1 褐灰色粘土層　径5～10㎝程の礫を多く含み、粗粒砂、中粒砂を含む。焼土、炭化物粒を含む。
3. 2.5YR5/2 灰赤色粘土層　中粒砂、細粒砂を含む。焼土粒、炭化物粒を多く含む。
4. 7.5YR3/1 黒褐色粘土層　粗粒砂、中粒砂を含む。炭化物粒、焼土塊を斑状に少量含む。
5. 10YR5/2 灰黄褐色粘土層　径5㎝程の礫、中粒砂、細粒砂を含む。焼土、炭化物粒を含む。
6. 10YR6/4 にぶい黄燈色粘土層　中粒砂、細粒砂を含む。
7. 10YR7/4 にぶい黄燈色粘土層　径1㎝程の礫を含む。
8. 10YR6/2 灰黄褐色粘土層　中粒砂、細粒砂を含む。焼土塊、炭化物粒を含む。
9. 5YR6/6 橙色粘土層　径5㎝程の礫を含み、焼土ブロックを含む。
10. 2.5YR5/6 明赤褐色粘土層　焼土ブロック、炭化物粒を含む。
11. 2.5YR5/3 にぶい赤褐色粘土層　焼土ブロック、炭化物粒を含む。
12. 10YR7/4 にぶい黄燈色粘土層　焼土粒、炭化物粒を含む。10、11層などの被熱していない状態か。
13. 10YR7/3 にぶい黄燈色粘土層　10YR7/6明黄褐色粘土を斑状に含む。焼土粒、炭化物粒を多く含む。
14. 2.5YR5/6 明赤褐色粘土層　焼土ブロック、炭化物粒を含む。
15. 2.5YR5/4 にぶい赤褐色粘土層　焼土ブロック、炭化物粒を含む。
16. 10YR4/2 灰黄褐色粘土層　中粒砂を多く含む。焼土塊、炭化物を含む。
17. 10YR7/4 にぶい黄燈色粘土層　18層の被熱部分。
18. 10YR7/6 明黄褐色粘土層　径1㎝程の礫を含む。均質な粘土。地山。

2116SL



1. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　5YR5/8明赤褐色焼土ブロックを多く含む。埋土。
2. 7.5YR5/4 にぶい褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を含む。（被熱による赤色化部分）
3. 10YR6/6 明黄褐色シルト層 地山。

0　S=1:50　1m

図 14　1527SL・2116SL　S=1/50

２４４５ＳＬ　19A 区中央部の 3534 グリッドで検出された炉穴である。長軸約 1.4m、短軸約 0.6m の楕円形を呈す。主軸方向は前述の３基と異なり、地形の傾斜方向に平行からやや傾く。土色や粒径から埋土は３段階に分かれ、I 段階から II 段階には焼土と炭化物が共に含まれるのに対し、III 段階では炭化物のみになるほか、礫が投入されている。I・II 段階が炉として利用された際に形成された埋土、III 段階は廃絶に伴うものと推定される。出土遺物から早期前半のものと想定される。

２４４７ＳＬ
２４４８ＳＬ
２４４９ＳＬ　2447SL ～ 2449SL は３基とも竪穴建物跡 2400SI の埋没後に掘り込まれた集石炉跡であり、建物跡の床面を破壊している。各炉跡の規模は、2447SL が長軸約 1.2m、短軸約 0.9m、2448SL が長軸約 1.1m、短軸約 0.8m、2449SL が長軸約 1.4m、短軸約 1.0m であり、全て被熱痕のある拳大から人頭大の角礫を中心とした集石を伴う。また、2449SL は土層の状況から２度に渡って掘り込まれた可能性がある。

埋土には炭化物、焼土を多く含むほか、縄文時代早期前半大川式の土器片が含まれるが、建物跡を破壊した際に混ざった可能性があり、明確に集石炉の時期とは言い難い。とはいえ、時期の隔たる遺物は出土していないため、建物跡の廃絶からあまり期間を開けず掘り込まれたものと想定される。

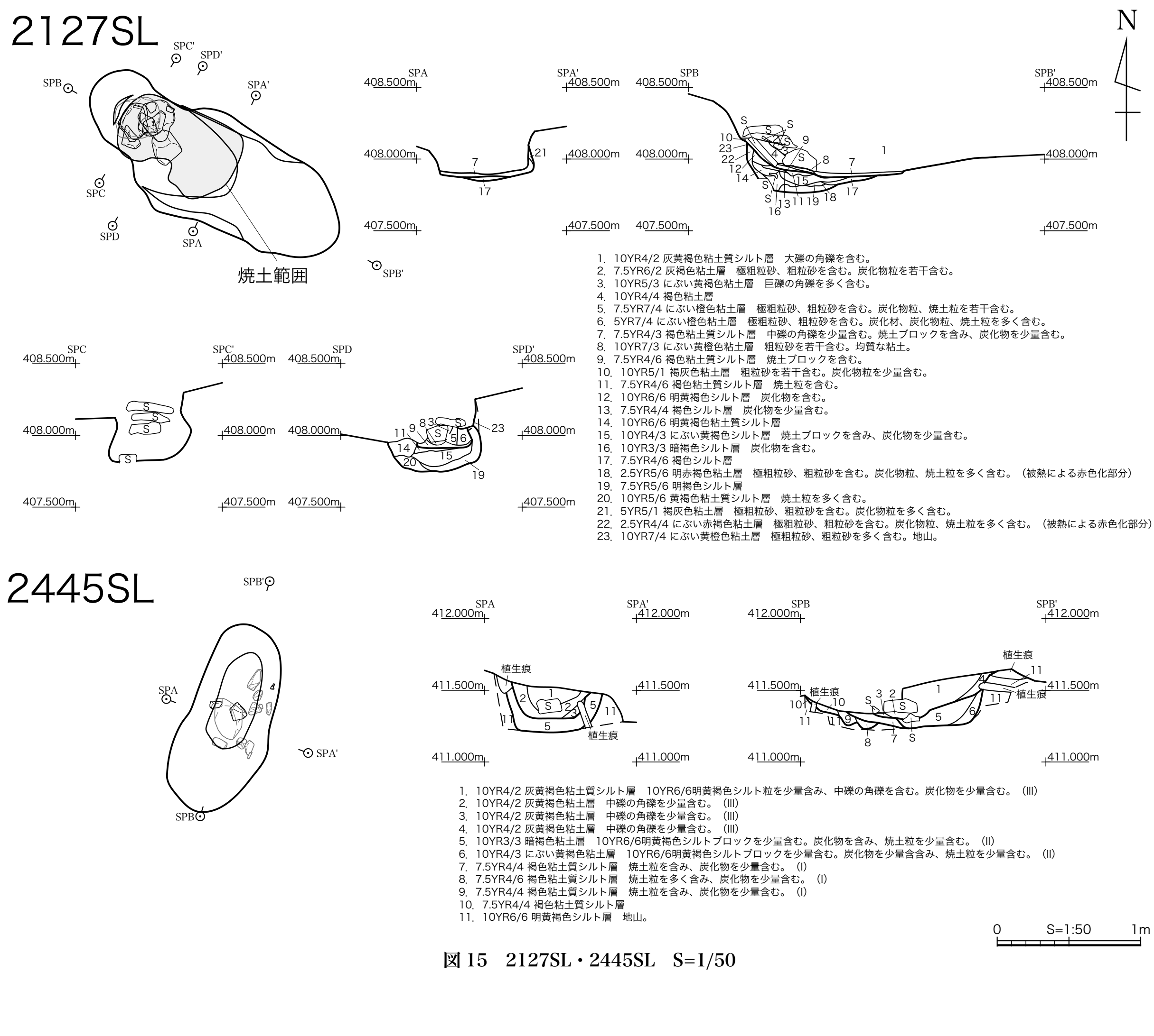
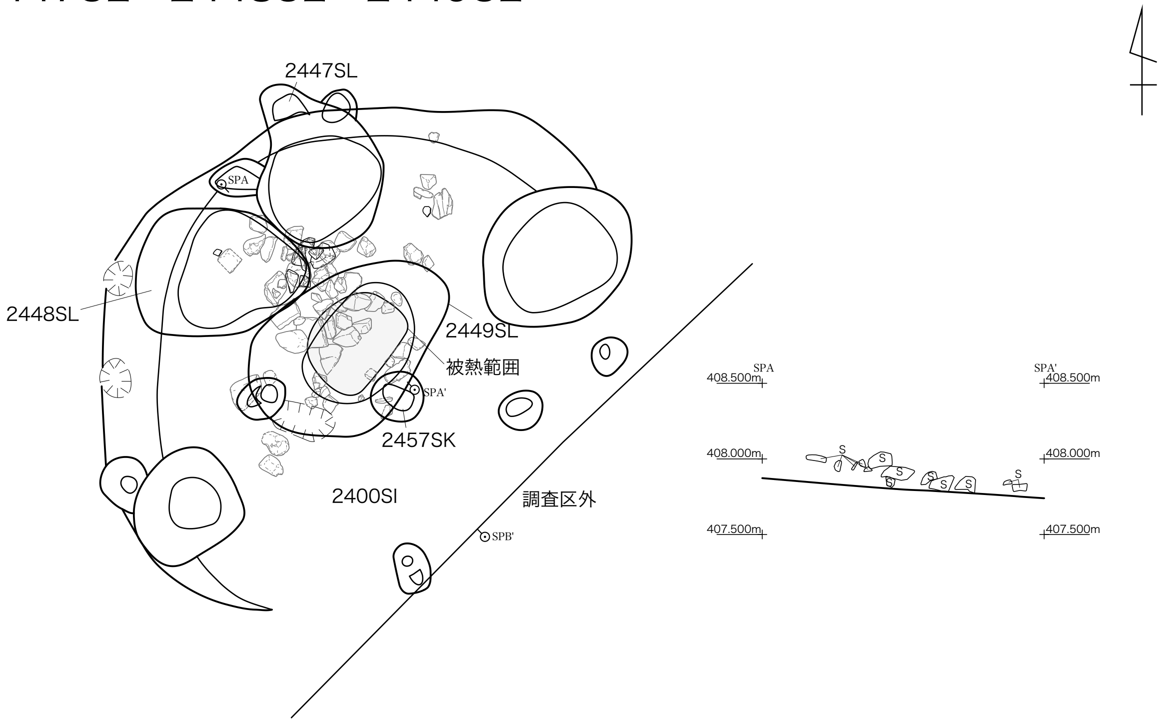
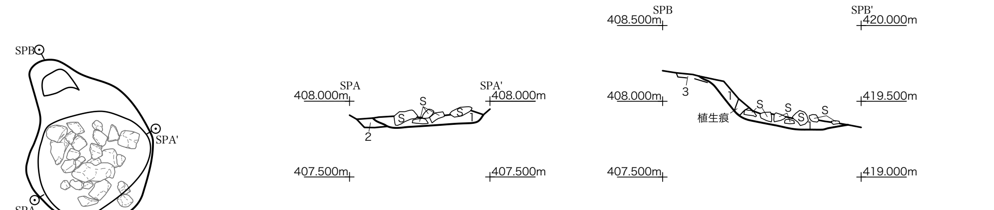


図 15　2127SL・2445SL　S=1/50

2447SL・2448SL・2449SL

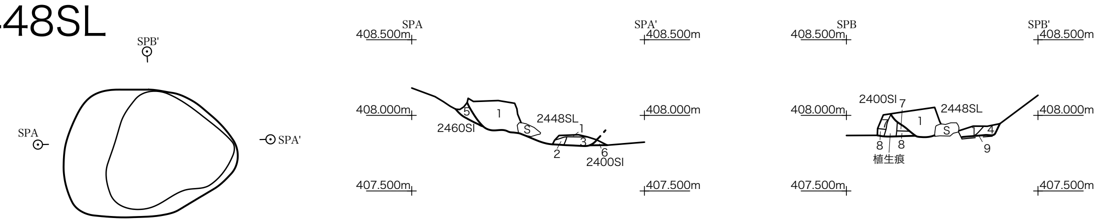


2447SL



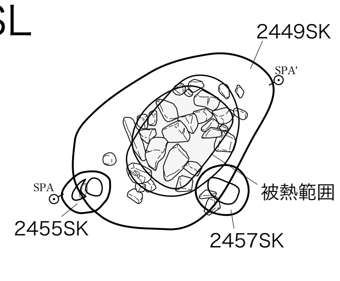
1. 10YR4/2 灰黄褐色粘土層　大礫の角礫を多く含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルト粒を含む。（2460SI埋土）
3. 10YR6/6 明黄褐色粘土層　地山。

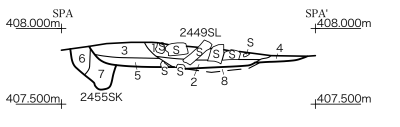
2448SL



1. 5YR4/1 褐灰色粘土層　径1㎝程の角礫を若干含み、極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒を多く含む。
2. 7.5YR4/1 褐灰色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒を多く含む。
3. 7.5YR5/1 褐灰色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒を多く含む。
4. 7.5YR6/3 にぶい褐色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒を多く含む。
5. 7.5YR5/2 灰褐色粘土層　径1㎝程の角礫を若干含み、極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒を若干含む。
6. 7.5YR5/2 灰褐色粘土層　径3㎝程の角礫を多く含む。
7. 7.5YR6/2 灰褐色粘土層　径1㎝程の角礫、極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒を若干含む。（2460SI埋土）
8. 7.5YR6/3 にぶい褐色粘土層　径1㎝程の角礫、極粗粒砂、粗粒砂を含む。（2460SI埋土）
9. 10YR7/4 にぶい黄橙色粘土層　極粗粒砂を多く含む。均質な粘土。地山。

2449SL





1. 5YR5/1 灰褐色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒、焼土粒を含む。（2449SL）
2. 5YR6/2 灰褐色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒、焼土塊を多く含む。（2449SL）
3. 7.5YR4/1 褐灰色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒を若干含む。（2449SL）
4. 5YR6/3 にぶい橙色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒を若干含む。（2449SL）
5. 5YR4/1 褐灰色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂を含む。炭化物粒を多く含む。（2449SL）
6. 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　大礫の角礫を少量含む。（2455SK）
7. 10YR4/4 褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含む。（2455SK）
8. 10YR7/4 にぶい黄橙色粘土層　極粗粒砂、粗粒砂を若干含む。均質な粘土。地山。

0　S=1:50　1m

図 16　2447SL・2448SL・2449SL　S=1/50

第３節　掘立柱建物跡

１９Ｂ区　19B 区では４棟の掘立柱建物跡を検出した。うち３棟は 19B 区中央西部の平坦面に集中している。

３００ＳＢ　3032 グリッドに位置する桁行４間（南東辺は２間）・梁間１間の竪穴建物跡である。西端部の柱穴は調査区外になるが、土層堆積を確認できた全ての柱穴で柱痕跡が検出されている。そのうち 005SP・006SP では柱穴掘方の北西側に礫を詰めた様子が見られるほか、007SP では柱痕跡直下に平石が検出された。これらは柱の安定を目的としたものと想定される。柱穴からの出土遺物は確認されていないものの、周辺の出土遺物から近世の建物跡である可能性が考えられる。

３１０ＳＢ　3428・3429 グリッドの平坦面に位置する桁行３間・梁間１間の掘立柱建物跡である。一部の柱穴では柱痕跡が見られ、019SP・049SP・071SK では柱の抜き取り後に礫を投入したような様子も見られる。024SK から江戸時代中期～後期、027SK から江戸時代後期、061SK から江戸時代中期～後期の遺物が出土する。

３２０ＳＢ　310SB と重なる位置に、異なる主軸方位で存在する桁行２間・梁間１間の掘立柱建物跡である。036SK では江戸時代前期から後期までの遺物が出土する。より古い時期の遺物

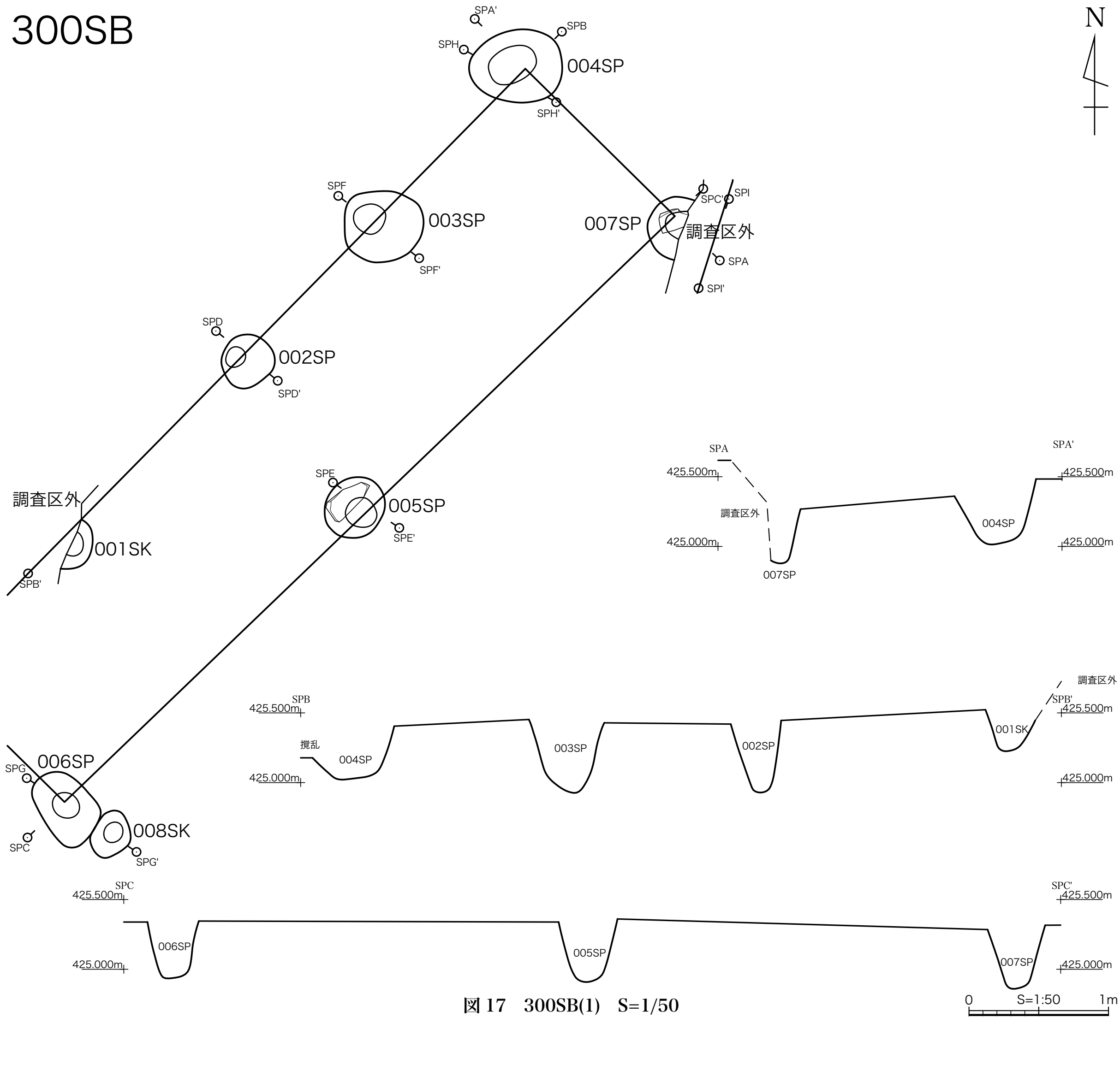


図 17　300SB(1)　S=1/50

が出土すること、また、310SB を構成する 028SK が 320SB を構成する 146SK を切ること、形態が類似することから、310SB は先行する 320SB を建て替えたものと想定される。

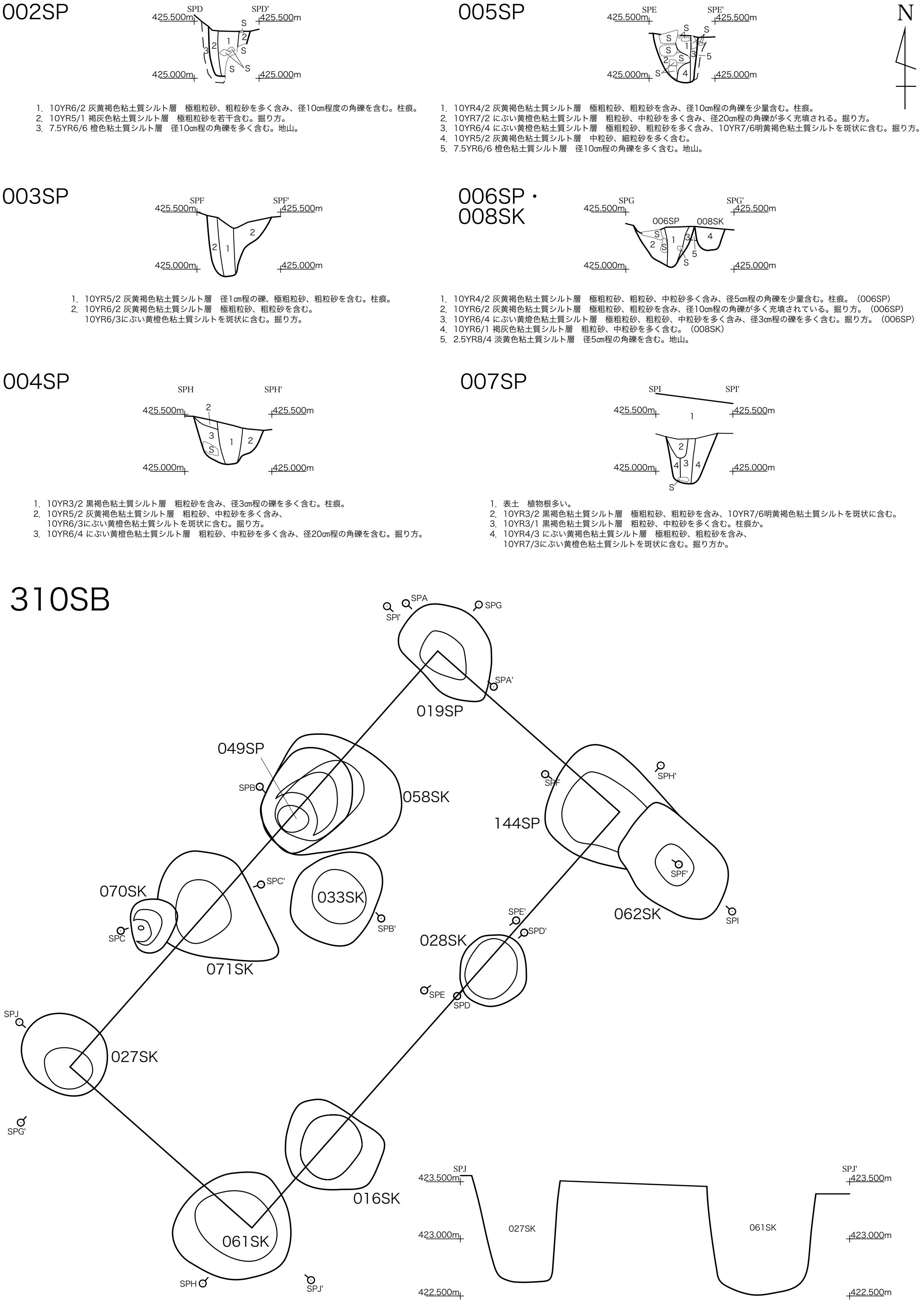
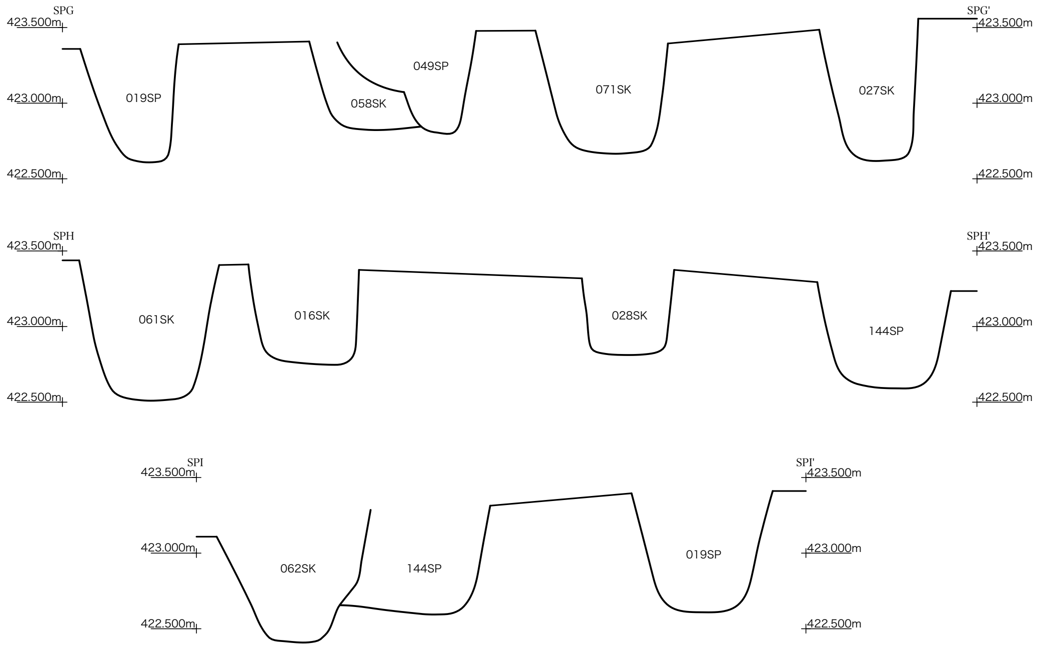


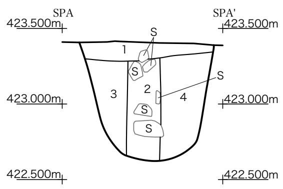
図 18　300SB(2)・310SB(1)　S=1/50

３１０ＳＢ・３２０ＳＢ 310SB・320SB 両方の柱筋上に位置する 016SK・061SK がどちらに属するかは判断が困難であるが、建て替えの際に一部の柱穴を再利用した可能性が考えられる。

310SB

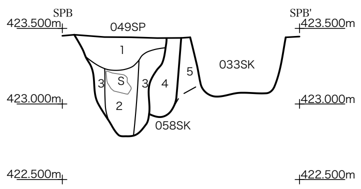


019SP



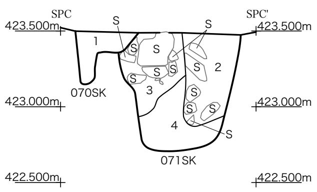
1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　中～大礫の角礫を含み、10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を含む。柱痕。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。

049SP・058SK



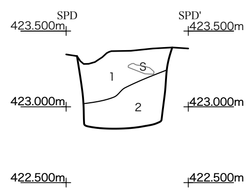
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂質シルト層　中礫の角礫を含み、大礫の角礫を多く含む。（049SP）
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層
10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。柱痕。（049SP）
3. 10YR4/4 褐色シルト層　中礫の角礫を含む。掘り方。（049SP）
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR2/3黒褐色土ブロックを含み、
10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。（058SK）
5. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

070SK・071SK



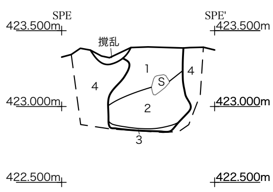
1. 10YR2/3 黒褐色シルト層　中～大礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。（070SK）
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層10YR3/3暗褐色土ブロックを含み、
10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中～大礫の角礫を含む。（071SK）
3. 10YR4/2 灰黄褐色極細粒砂質シルト層　10YR3/3暗褐色土ブロックを多く含み、中～巨礫の角礫を含む。（071SK）
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層
10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。（071SK）

028SK



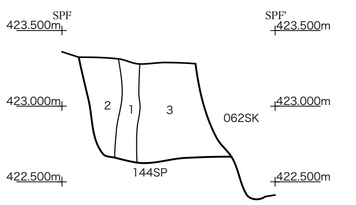
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中～大礫の角礫を含む。

028SK



1. 10YR2/3 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大礫の角礫を含む。
2. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。
4. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

144SP

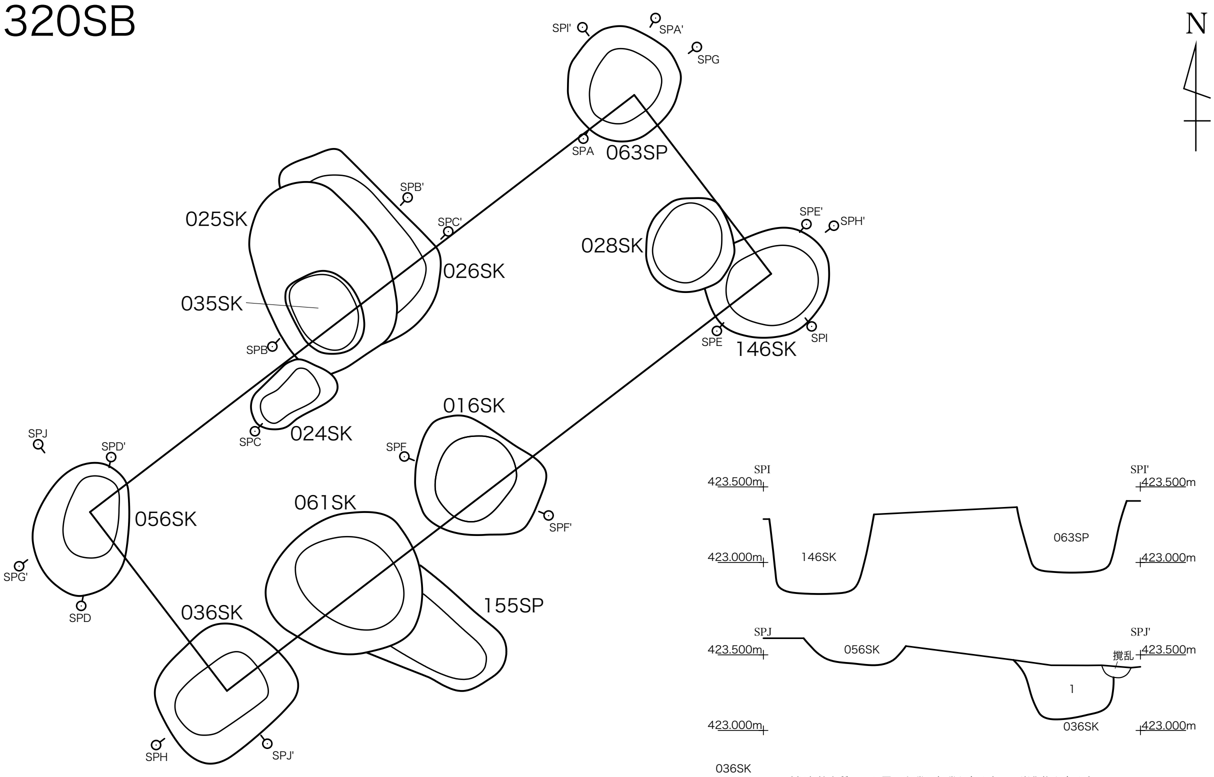


1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、中礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、中礫の角礫を含む。掘り方。
3. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中礫の角礫を含む。掘り方。

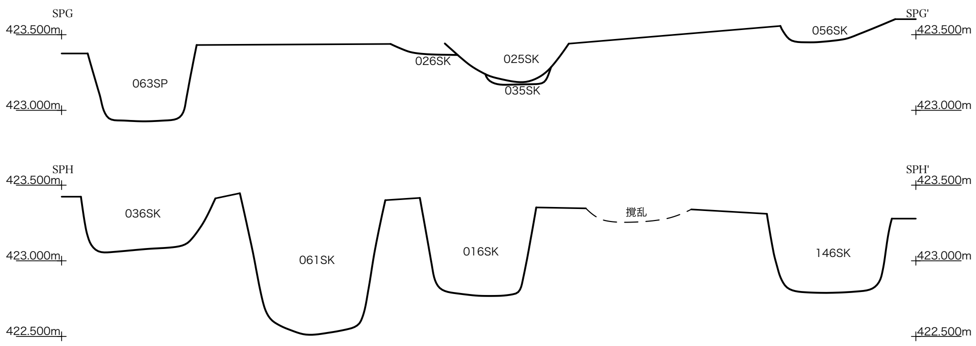
0　S=1:50　1m

図 19　310SB(2)　S=1/50

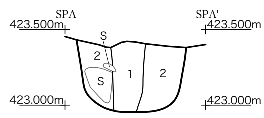
320SB



036SK
1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　大礫の角礫を多く含む。炭化物を多く含む。

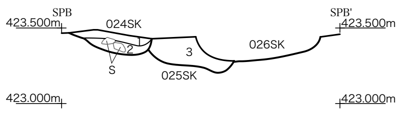


063SP



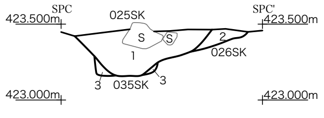
1. 10YR3/2 黒褐色シルト層　地山粒を少量含み、中礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層　地山ブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。掘り方。

024SK・025SK



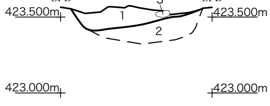
1. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　均質で混入物見当たらず。（024SK）
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含み、大礫の角礫を含む。（024SK）
3. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中～大礫の角礫を含む。（025SK）

025SK・026SK・035SK



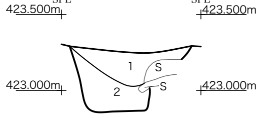
1. 10YR3/4 暗褐色極細粒砂質シルト層
10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大～巨礫の角礫を含む。（025SK）
2. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。（026SK）
3. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。（035SK）

056SK



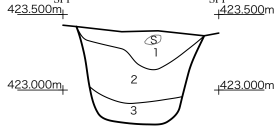
1. 10YR4/4 褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

146SK



1. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　10YR2/2黒褐色土ブロックを含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含む。

016SK



1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを非常に多く含み、中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR2/1 黒色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。

図 20　320SB　S=1/50

0　S=1:50　1m

３１０ＳＢ・ 061SK からは連房式第５・６小期と連房式第９・10 小期に比定される陶磁器が出土して
３２０ＳＢおり、061SK に切られる柱穴 155SP からは連房式第７小期の陶器が出土する。個体数が
少ないため確実ではないものの、310SB の存続時期を 18 世紀中葉～ 19 世紀前半、320SB の廃絶時期を 17 世紀後葉～ 18 世紀中葉と考えたい。

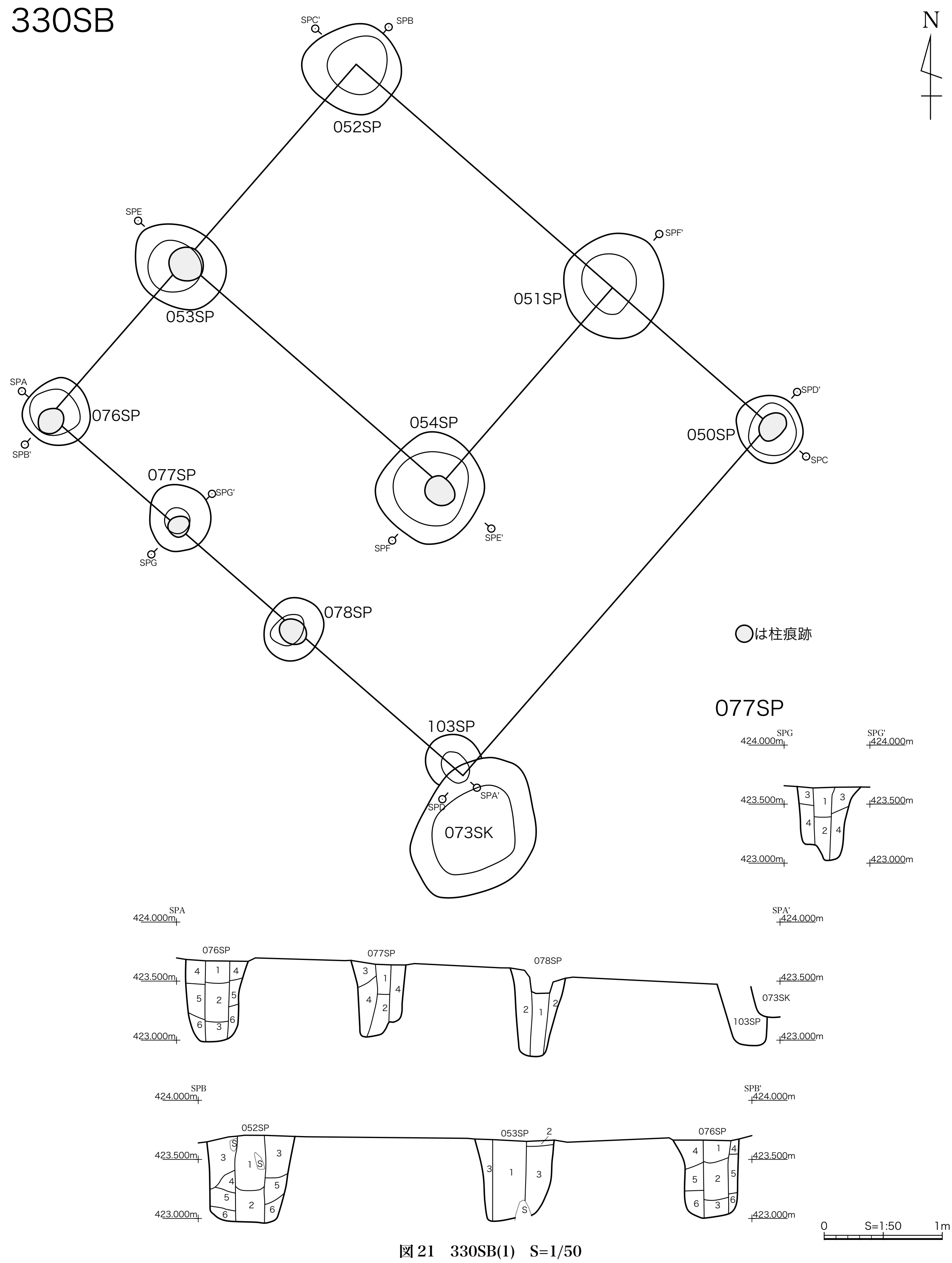
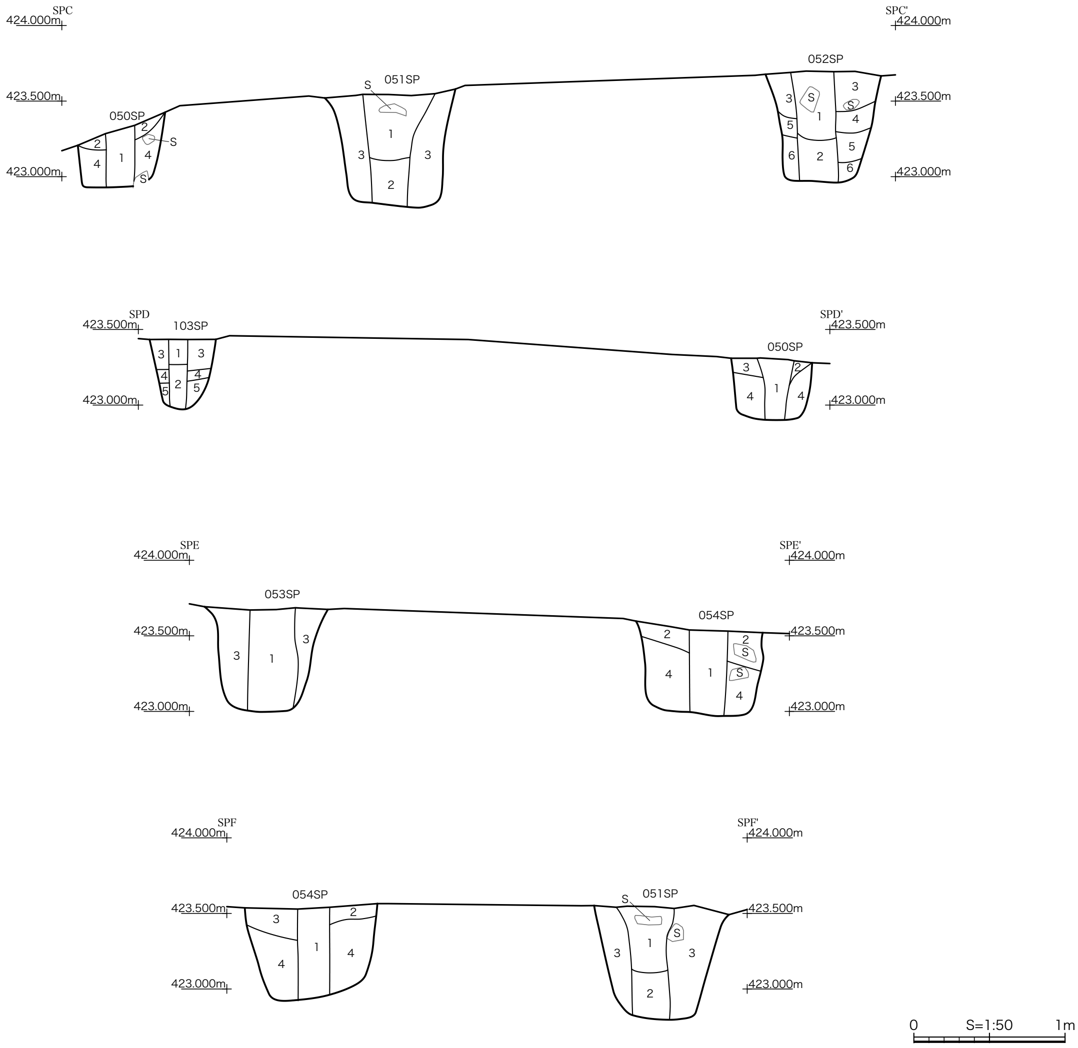


図 21　330SB(1)　S=1/50

３３０ＳＢ　310SB・320SB の南側、3528 グリッドに位置する桁行３間・梁行２間の掘立柱建物跡である。９基の柱穴は掘方および柱痕跡の規模から大小２種に分かれ、北側の４基（051SP・052SP・053SP・054SP）は大、残る５基は小である。051SP で江戸時代中期、053SP で江戸時代後期の遺物が出土する。

330SB



050SP1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中〜大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR2/2 黒褐色シルト層　掘り方。
3. 10YR3/4 暗褐色細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。掘り方。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中礫の角礫を含む。掘り方。

051SP
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、中〜大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　柱痕。
3. 10YR4/4 褐色極細粒砂質シルト層
10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中〜大礫の角礫を含む。掘り方。

052SP
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを非常に多く含む。柱痕。
3. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中〜大礫の角礫を含む。掘り方。
4. 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを非常に多く含み、中礫の角礫を含む。掘り方。
5. 10YR1.7/1 黒色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含む。掘り方。
6. 10YR3/2 黒褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。掘り方。

053SP
1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒〜ブロックを含み、中礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。掘り方。
3. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒〜ブロックを含み、中礫の角礫を含む。掘り方。

054SP
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層
10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中礫の角礫を含み、大礫の角礫を多く含む。柱痕。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂質シルト層
10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中礫の角礫を含む。掘り方。
3. 10YR4/6 褐色シルト層　中〜大礫の角礫を含む。掘り方。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト層　中礫の角礫を含む。掘り方。

076SP
1. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　柱痕。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層　柱痕。
4. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　10YR3/2黒褐色土ブロックを含む。掘り方。
5. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/6黄褐色土ブロックを多く含む。掘り方。
6. 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　中〜大礫の角礫を含む。掘り方。

077SP
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含む。柱痕。
3. 10YR4/4 褐色シルト層　10YR3/4暗褐色土ブロックを含み、中〜大礫の角礫を含む。掘り方。
4. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　暗褐色土粒を少量含む。掘り方。

078SP
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、中〜大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR4/4 褐色シルト層　10YR3/4暗褐色土ブロックを多く含む。掘り方。

103SP
1. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含み、中礫の角礫を少量含む。柱痕。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を非常に多く含み、大礫の角礫を含む。柱痕。
3. 10YR4/6 褐色シルト層　10YR3/3暗褐色土ブロックを多く含む。掘り方。
4. 10YR4/6 褐色シルト層　10YR3/3暗褐色土ブロックを多く含む。掘り方。
5. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含む。掘り方。

図 22　330SB(2)　S=1/50

１９Ｃ区　19C 区では北側平坦面で１棟、南側平坦面で３棟の掘立柱建物を検出した。

１６００ＳＢ　3034・3134 グリッドに位置する桁行２間 (南東辺は１間)・梁間１間の掘立柱建物跡である。出土遺物がなく帰属時期は不明。

1630SB・　3233・3234・3333・3334 グリッドに、２棟が重なって位置する掘立柱建物跡である。

１６４０ＳＢ　1630SB は 1205SP・1239SK・1240SK・1170SP・1184SP・1182SK・1345SP から構成され、桁行３間 (南西辺は２間)・梁間１間である。1640SB は 1204SP・1287SK・1170SP・1183SK・1206SK・1344SK から構成され、桁行２間・梁間１間である。総じて、1640SB の柱穴は 1630SB のそれより深く掘り込まれていることが土層断面から観察される。

主軸方位がほぼ一致し、1204SP・1205SP や 1183SP・1184SP で切合関係が見られることから、1630SB は 1640SB を建て替えたものと想定される。1170SP から尾呂茶碗が出土しており、近世に属する。

１６５０ＳＢ　3232・3233・3332・3333 グリッドにまたがって位置する桁行５間、梁間１間の掘立柱建物跡であり、14 区・19 区で検出された竪穴建物跡の中で最大の規模を持つ。柱穴の規模は他の建物跡より大きく、１２基の柱穴すべてで柱痕跡が検出されている。

出土遺物は、1063SP から古瀬戸後期Ⅳ期新段階の陶器と 17 世紀後半の肥前磁器が出

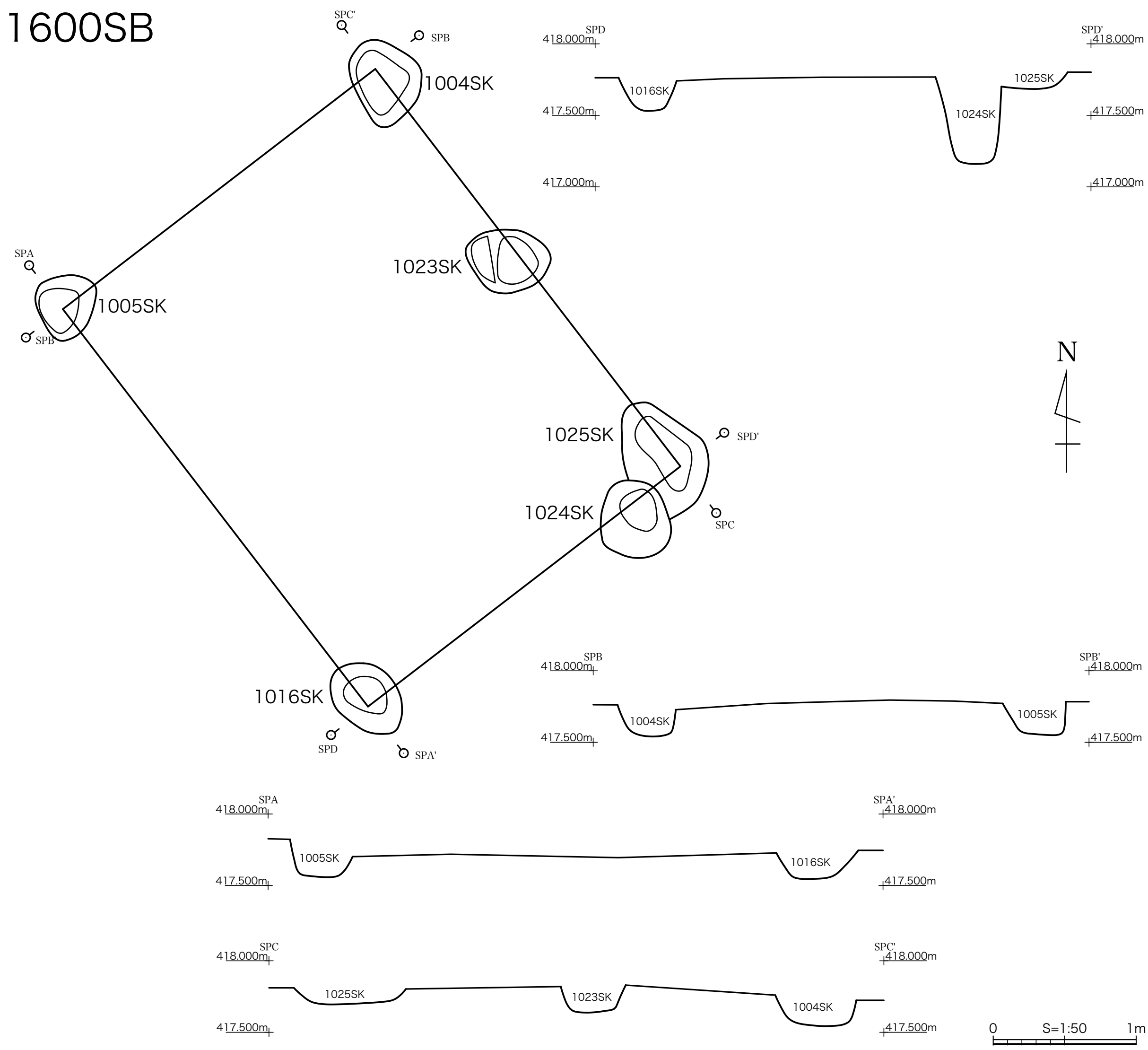


図 23　1600SB　S=1/50

1630SB・
1640SB

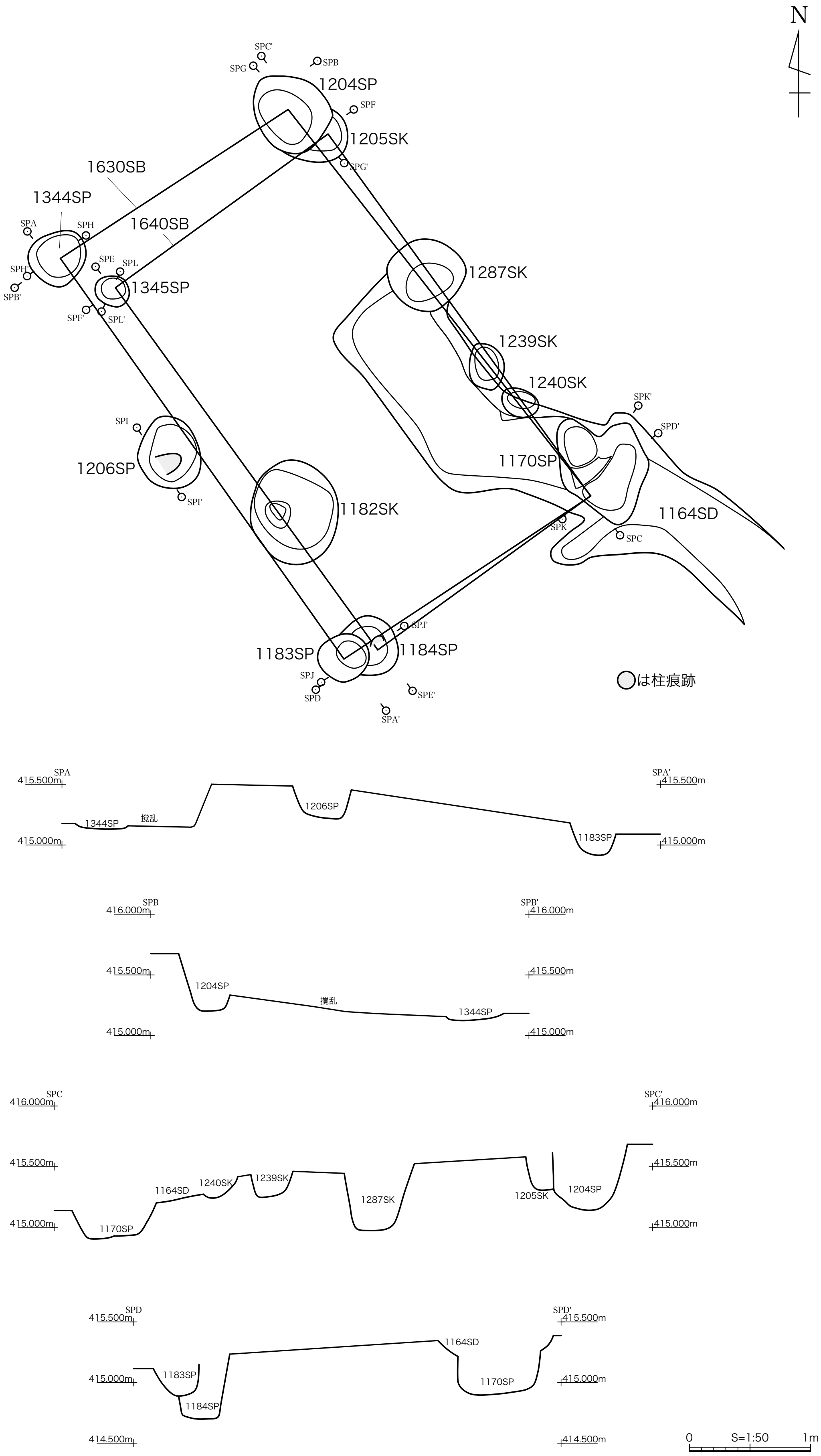


図24　1630SB・1640SB　S=1/50

土しており、それに切られる土坑 1264SK で古瀬戸後期Ⅳ期の陶器２点が出土する。したがって、1263SP 出土の古瀬戸製品は掘削により 1265SK を破壊した際の混入と考え、肥前磁器の年代を 1650SB の廃絶時期とすると、建物の存続時期は 15 世紀後葉から 17 世紀後半と推定される。単一の建物跡としては時期幅が広すぎるため、同位置で何度か建て替えが行われたものと推定される。

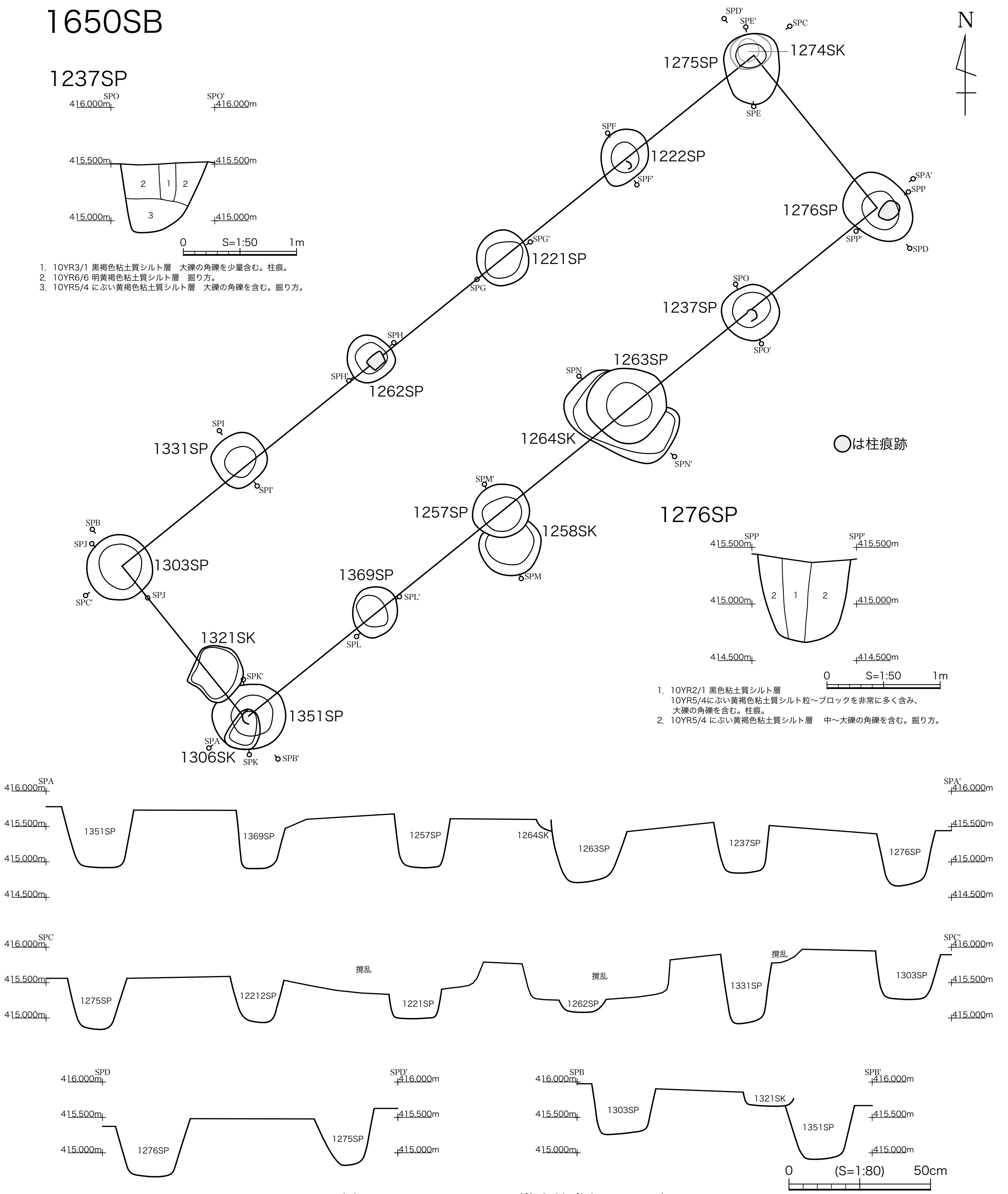
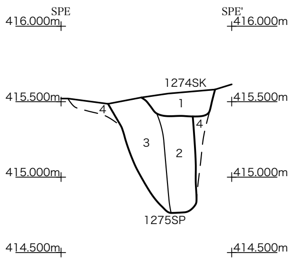


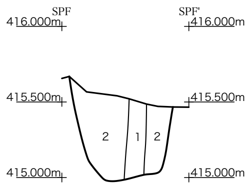
図 25　1650SB　S=1/80（柱穴断面図は S=1/50）

1274SK・1275SP



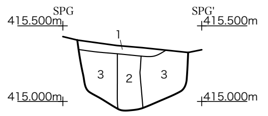
1. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、中礫の角礫を含む。（1274SK）
2. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含み、大礫の角礫を少量含む。柱痕。（1275SP）
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大礫の角礫を含む。掘り方。（1275SP）
4. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト層 地山。

1222SP



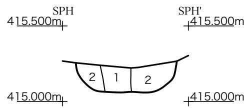
1. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を少量含む。柱痕。
2. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層　10YR3/2黒褐色土ブロックを含み、大礫の角礫を少量含む。掘り方。

1221SP



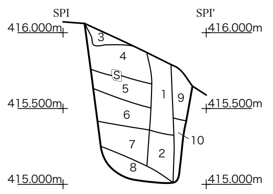
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。
2. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR1.7/1黒色土ブロックを含み、
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。柱痕。
3. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大礫の角礫を少量含む。掘り方。

1262SP



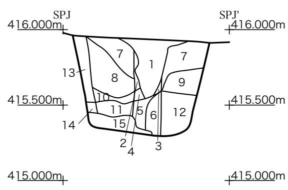
1. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR6/4 にぶい黄橙色粘土質シルト層　大礫の角礫を含む。掘り方。

1331SP



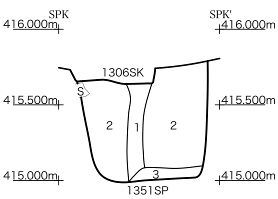
1. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。柱痕。
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。掘り方。
4. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層　中～大礫の角礫を含む。掘り方。
5. 10YR6/4 にぶい黄橙色粘土質シルト層　中～大礫の角礫を含む。掘り方。
6. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中礫の角礫を少量含む。掘り方。
7. 10YR2/2 黒褐色　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、中礫の角礫を少量含む。掘り方。
8. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを非常に多く含む。掘り方。
9. 10YR6/4 にぶい黄橙色粘土質シルト層　大礫の角礫を少量含む。掘り方。
10. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。

1303SP



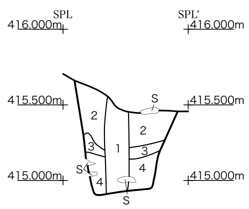
1. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量み、大礫の角礫を多く含む。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。
3. 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　10YR3/1黒褐色土ブロックを少量含む。柱痕。
4. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含む。柱痕。
5. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。柱痕。
6. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含む。柱痕。
7. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層　10YR3/1黒褐色土ブロックを少量含み、大礫の角礫を少量含む。掘り方。
8. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR4/2灰黄褐色土ブロックを少量含み、
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を少量含む。掘り方。
9. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を含む。掘り方。
10. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を含む。掘り方。
11. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　10YR3/1黒褐色土ブロックを少量含む。掘り方。
12. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含む。掘り方。
13. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含む。掘り方。
14. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を含む。掘り方。
15. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　10YR4/2灰黄褐色土ブロックを少量含む。掘り方。

1351SP



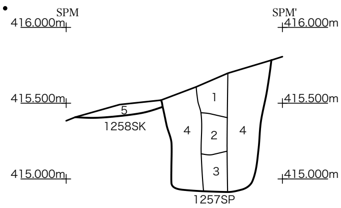
1. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。柱痕。
2. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　大礫の角礫を含む。掘り方。
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　掘り方。

1369SP



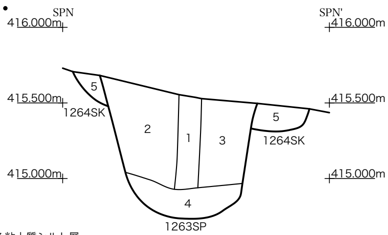
1. 10YR2/1 黒色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を少量含む。柱痕。
2. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを非常に多く含み、中～大礫の角礫を含む。掘り方。
3. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　掘り方。
4. 10YR3/3 暗褐色　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大礫の角礫を含む。掘り方。

1257SP・1258SK



1. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中～大礫の角礫を含む。柱痕。（1257SP）
2. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。柱痕。（1257SP）
3. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を含む。柱痕。（1257SP）
4. 10YR3/1 黒褐色シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを非常に多く含み、中～大礫の角礫を少量含む。掘り方。（1257SP）
5. 10YR2/1 黒色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、大礫の角礫を少量含む。（1258SK）

1263SP・1264SK



1. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中礫の角礫を少量含む。柱痕。（1263SP）
2. 10YR2/2 黒褐色シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中～大礫の角礫を含む。掘り方。（1263SP）
3. 10YR2/2 黒褐色シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、中～大礫の角礫を少量含む。掘り方。（1263SP）
4. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層
10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を少量含む。掘り方。（1263SP）
5. 10YR2/2 黒褐色シルト層　中礫の角礫を少量含む。（1264SK）

0　S=1:50　1m

図 26　1650SB　柱穴断面図　S=1/50

第４節　柱穴列

１　４　区　14 区では多数の土坑が検出されており、柱穴と考えられるものも多い。しかし、調査区全体が傾斜地となっているため掘立柱建物が存在した可能性は低いものと考えられ、これらについては柱穴列として捉えることとした。その認定に関しては、３基以上の柱穴がある程度一定の間隔をもって直線状に並ぶことを基準とし、12 条の柱穴列を検出した。なお、個々の柱穴列の平面形状については巻末の調査区平面図を参照されたい。また、取り挙げた柱穴列からの出土遺物はなく、時期は不明である。

14区 400SA　3930 グリッドに位置し、地形の傾斜方向に沿う柱穴列である。029SP、034SP、035SP から構成され、全長は約 1.9m である。

14区 410SA　4031 グリッドから 4133 グリッドにかけて位置し、地形の傾斜方向にほぼ平行する柱穴列である。020SP、262SP、272SP、275SP、277SP、284SK、286SK から構成され、275P を基準に若干屈折する。全長は約 19.1m である。

14区 420SA　4133 グリッドに位置する柱穴列である。300SP、304SP、306SP から構成され、全長は約 4.0m である。

14区 430SA　4133 グリッドから 4233 グリッドにかけて位置する柱穴列である。295SP、296SP、297SP、307SP、315SP から構成され、全長は約 6.6m である。

14区 440SA　4130 グリッドに位置し、地形の傾斜方向と直交する柱穴列である。206SP、209SP、210SP から構成され、全長は約 2.1m である。

14区 450SA　4130 グリッドに位置し、地形の傾斜方向と直交し 440SA と隣接する柱穴列である。204SP、205SP、207SP、208SP から構成され、全長は約 3.8m である。

14区 460SA　4130 グリッドに位置し、地形の傾斜方向に平行し 450SA と交わる柱穴列である。202SP、204SP、215SP、244SP から構成され、全長は約 3.1m である。

14区 470SA　4229 グリッドに位置する柱穴列である。101SP、104SP、105SP、141SP、142SP から構成され、全長は約 5.1m である。

14区 480SA　4229 グリッドから 4230 グリッドにかけて位置する柱穴列である。131SP、132SP、133SP から構成され、全長は約 0.9m である。

14区 490SA　4229 グリッドから 4230 グリッドにかけて位置し、480SA と交わる柱穴列である。137SP、138SP、268SP から構成され、全長は約 3.6m である。

14区 500SA　4231 グリッドから 4331 グリッドにかけて位置する柱穴列である。217SP、218SP、219SP から構成され、全長は約 4.7m である。

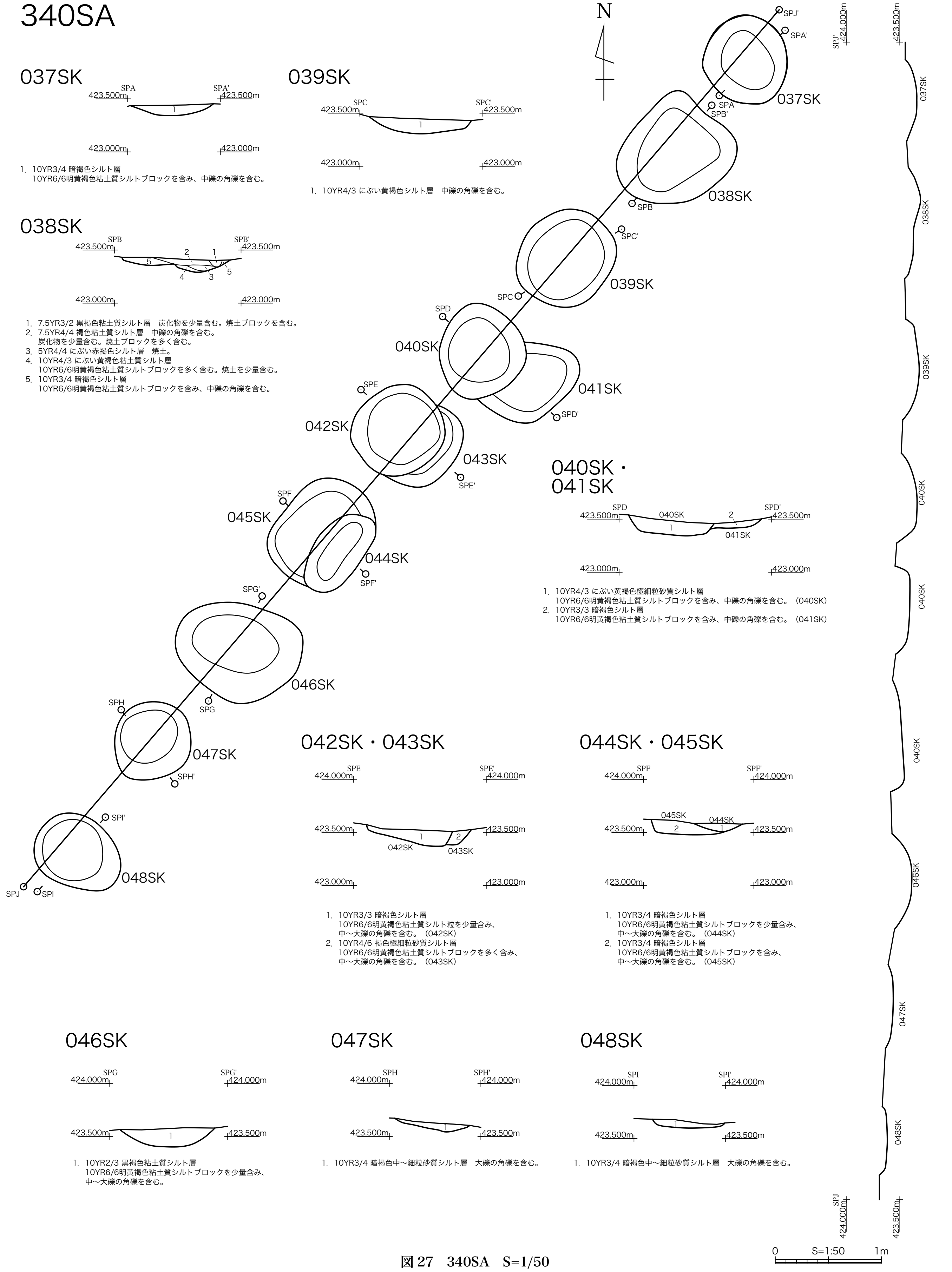
14区 510SA　4333 グリッドに位置する柱穴列である。321SP、323SP、324SP、326SP から構成され、全長は約 3.4m である。

１　９　Ｂ　区　19B 区では２条の柱穴列を検出した。どちらも地形の傾斜方向に直交する。

３　４　０　Ｓ　Ａ　3428 グリッドに、19B 区中央西部の平坦面の北西端に沿う形で位置する柱穴列である。037SK、038SK、039SK、040SK、042SK、045SK、046SK、047SK、048SK から構成され、全長は約 9.8m である。位置から、平坦面に展開する掘立柱建物を保護するための土留めの柵などの機能が想定される。主に連房式第５～８小期の陶器が出土する。

３　５　０　Ｓ　Ａ　3529 グリッドから 2629 グリッドにかけて位置する柱穴列である。091SK、101SP、114SK、129SP、151SP、163SP から構成され、全長は約 10.6m である。連房式第１～

340SA



037SK

1. 10YR3/4 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。

039SK

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト層　中礫の角礫を含む。

038SK

1. 7.5YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　炭化物を少量含む。焼土ブロックを含む。
2. 7.5YR4/4 褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を含む。
   炭化物を少量含む。焼土ブロックを多く含む。
3. 5YR4/4 にぶい赤褐色シルト層　焼土。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。焼土を少量含む。
5. 10YR3/4 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。

040SK・041SK

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。（040SK）
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。（041SK）

042SK・043SK

1. 10YR3/3 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、
   中～大礫の角礫を含む。（042SK）
2. 10YR4/6 褐色極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、
   中～大礫の角礫を含む。（043SK）

044SK・045SK

1. 10YR3/4 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、
   中～大礫の角礫を含む。（044SK）
2. 10YR3/4 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、
   中～大礫の角礫を含む。（045SK）

046SK

1. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、
   中～大礫の角礫を含む。

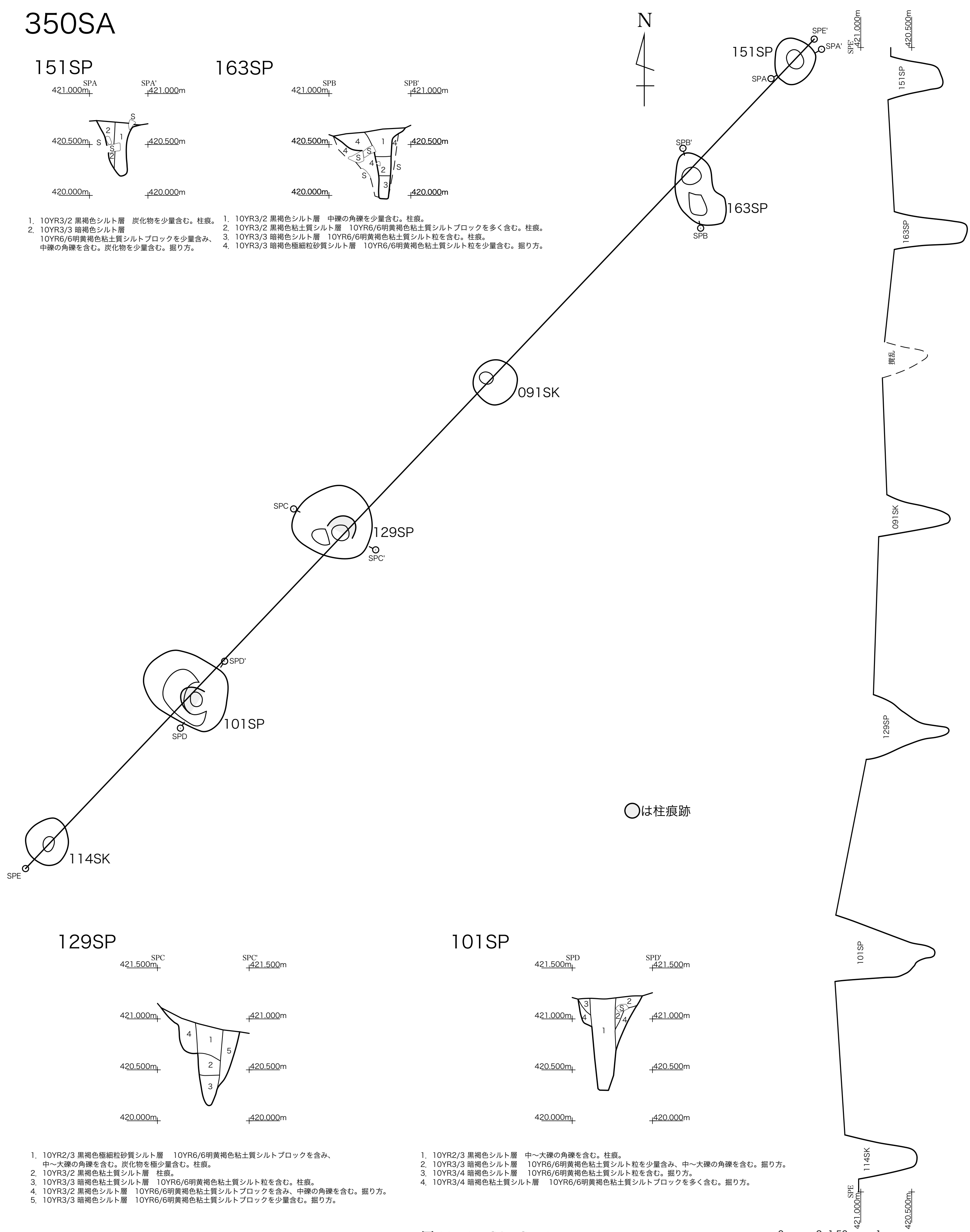
047SK

1. 10YR3/4 暗褐色中～細粒砂質シルト層　大礫の角礫を含む。

048SK

1. 10YR3/4 暗褐色中～細粒砂質シルト層　大礫の角礫を含む。

図 27　340SA　S=1/50



151SP

1. 10YR3/2 黒褐色シルト層　炭化物を少量含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、
   中礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。掘り方。

163SP

1. 10YR3/2 黒褐色シルト層　中礫の角礫を少量含む。柱痕。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。柱痕。
3. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含む。柱痕。
4. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。掘り方。

129SP

1. 10YR2/3 黒褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、
   中～大礫の角礫を含む。炭化物を極少量含む。柱痕。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　柱痕。
3. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含む。柱痕。
4. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。掘り方。
5. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。掘り方。

101SP

1. 10YR2/3 黒褐色シルト層　中～大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中～大礫の角礫を含む。掘り方。
3. 10YR3/4 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含む。掘り方。
4. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。

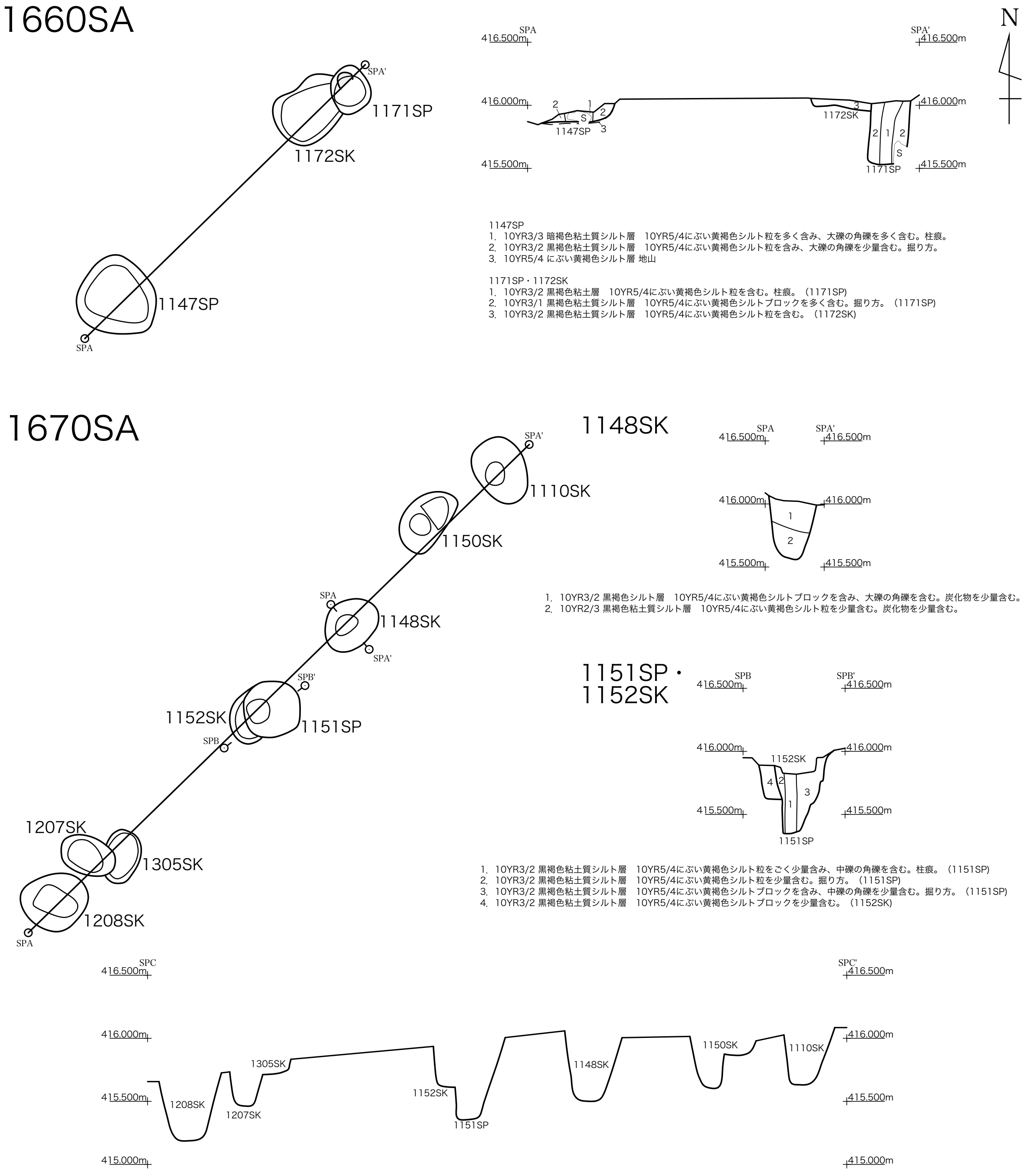
図 28　350SA　S=1/50

8小期の陶器が出土する。

１９Ｃ区　19C区では４条の柱穴列を検出した。主軸方向はほぼ一致しており、大型掘立柱建物1650SBのそれとも一致する。

１６６０ＳＡ　3234グリッドに位置する柱穴列である。1147SP、1171SPから構成され、全長は約2.5mである。出土遺物がないため時期は不明である。

１６７０ＳＡ　3234グリッドに1660SAに平行して位置する柱穴列である。1110SK、1148SK、1150SK、1151SP、1207SK、1208SKから構成され、全長は約4.9mである。1151SKから石器１点が出土するが、周辺の状況も考慮すると中〜近世の遺構と考えられる。



0　S=1:50　1m

図29　1660SA・1670SA　S=1/50

１６８０ＳＡ　3233 から 3333 グリッドにかけて、1650SB の内部に位置する柱穴列である。1236SK、1302SP、1413SP、1448SK から構成され、全長は約 6.9m である。1448SP では方形の柱痕跡が確認された。

1650SB とは主軸方位が一致するが、柱穴の配置は互い違いで、柱筋は通らない。また柱穴の規模も 1650SB と比較すると小規模であるため、別の遺構と考えられる。1236SK で 16 ～ 17 世紀の土師器鍋の胴部の細片が出土すること、1650SB が 17 世紀後半頃に廃絶するものと考えられることから、17 世紀後半以降に位置づけられるか。

１６９０ＳＡ　3333 グリッドに位置する柱穴列である。1234SK、1245SK、1283SK、1289SK、1555SP から構成され、全長は約 6.8m である。主軸方位は 1650SB・1680SA と平行し、特に 1680SA とは対応する位置関係にあり、1 棟の掘立柱建物跡を構成するようにも捉えうるが、妻側の柱が確認できないこと、柱穴の規模の違いなどから別の遺構と捉えた。出土遺物はないものの、1680SA 同様に近世の遺構と推定される。

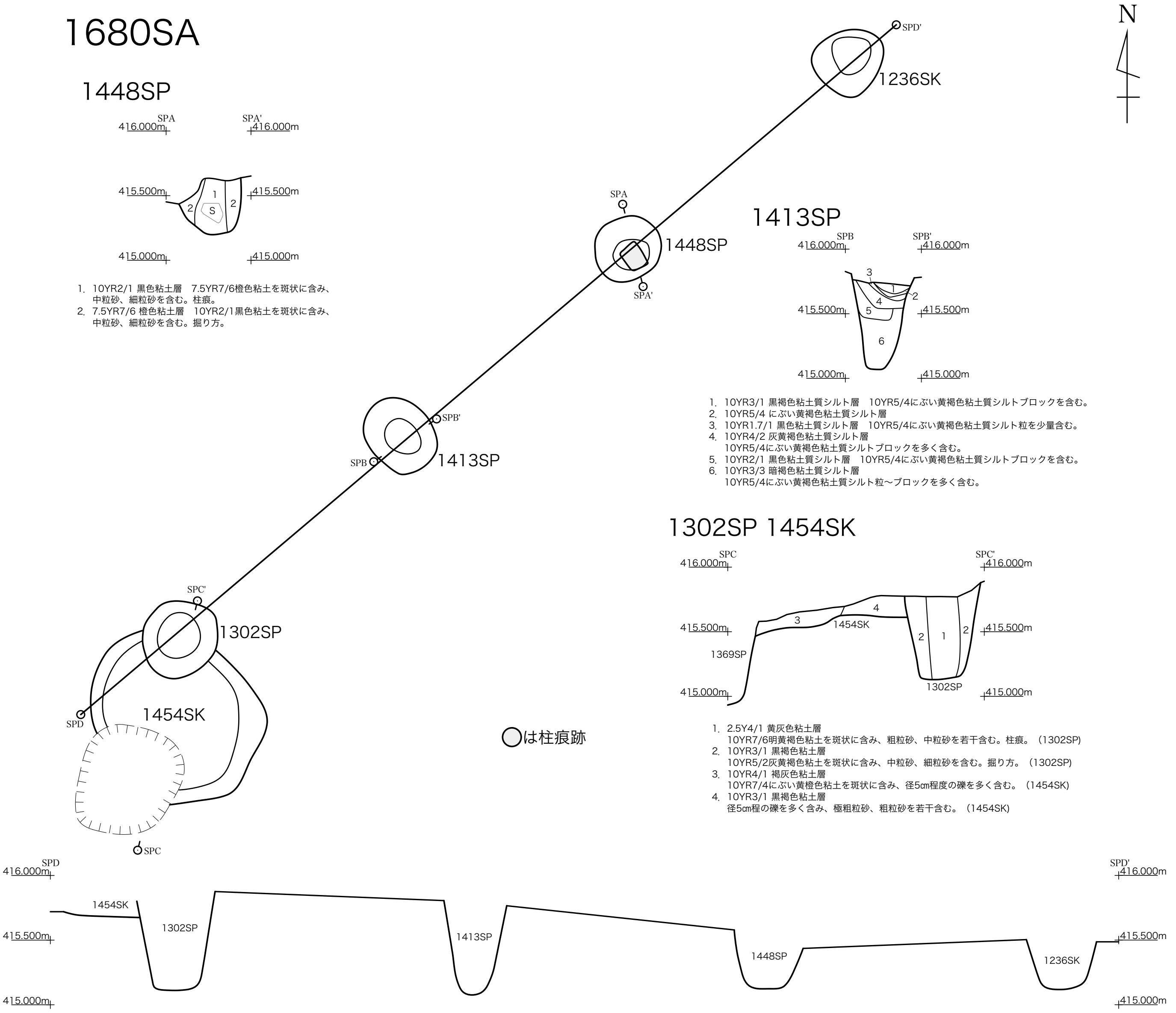
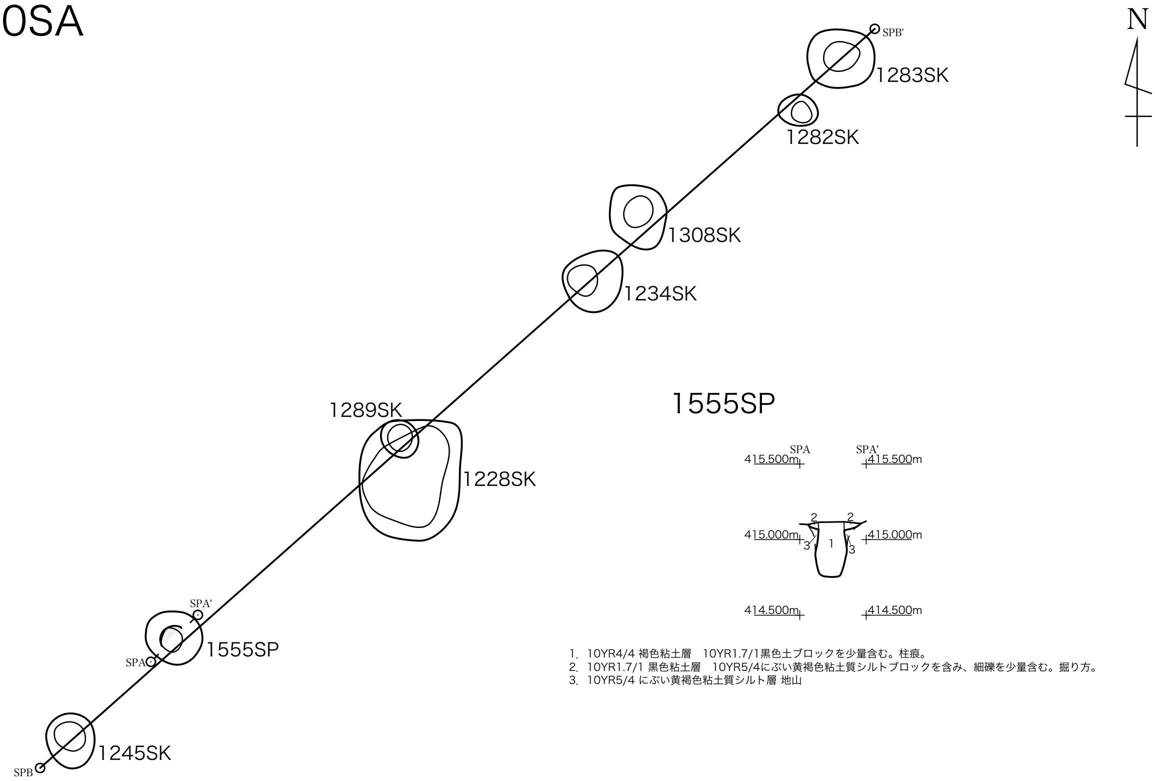
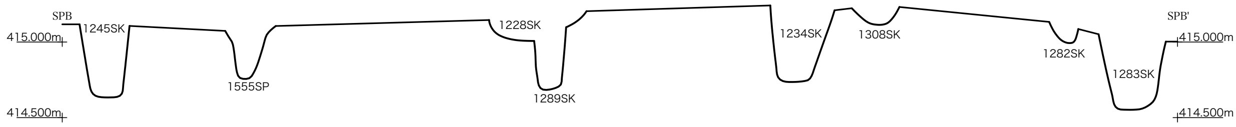


図 30　1680SA　S=1/50

1690SA

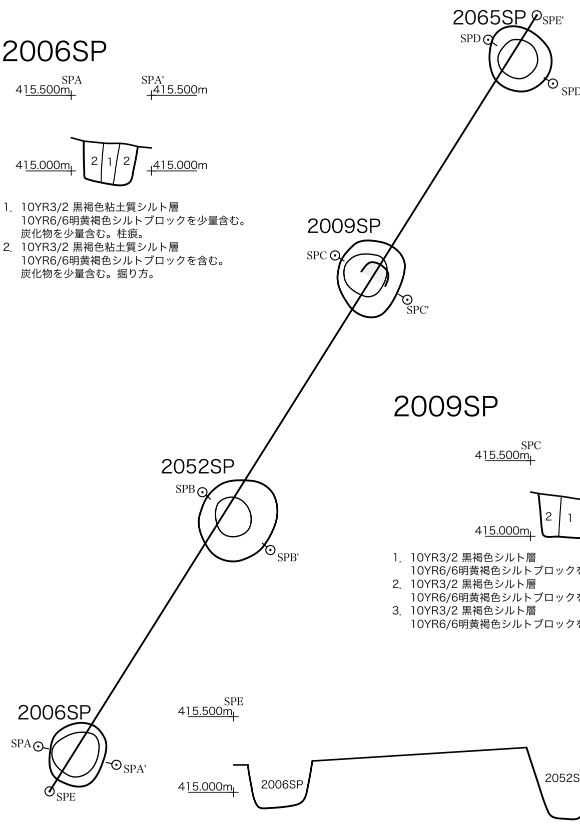




1555SP

1. 10YR4/4 褐色粘土層　10YR1.7/1黒色土ブロックを少量含む。柱痕。
2. 10YR1.7/1 黒色粘土層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含み、細礫を少量含む。掘り方。
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト層 地山

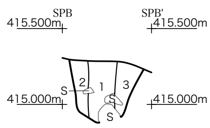
2600SA



2006SP

1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含む。
   炭化物を少量含む。柱痕。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含む。
   炭化物を少量含む。掘り方。

2052SP

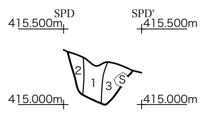


1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR3/2黒褐色土ブロックを少量含み、
   10YR6/6明黄褐色シルト粒を少量含み、　大礫の角礫を含む。焼土粒、炭化物粒を少量含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　7.5YR5/8明褐色焼土ブロックを含み、
   10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含み、大礫の角礫を含む。掘り方。
3. 10YR3/3 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。掘り方。

2009SP

1. 10YR3/2 黒褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含む。柱痕。
2. 10YR3/2 黒褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含み、大礫の角礫を少量含む。掘り方。
3. 10YR3/2 黒褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色シルトブロックをごく少量含む。掘り方。

2065SP



1. 10YR3/2 黒褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色シルトブロックを多く含む。掘り方。
3. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色シルトブロックをごく少量含み、
   中礫の角礫を少量含み、大礫の円礫を含む。掘り方。

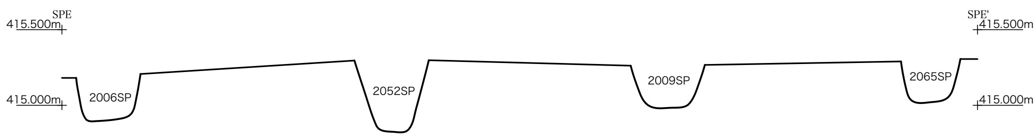


図 31　1690SA・2600SA　S=1/50

0　S=1:50　1m

２６００ＳＡ　3731・3830・3831グリッドに位置する柱穴列である。2006SP、2009SP、2052SP、2065SPから構成され、全長は約5.5mである。全ての柱穴で柱痕跡が確認された。2065SPから大窯第５～８小期の丸皿および連房式第１小期の段付き天目が出土しており、近世初頭に位置づけられる。

２６１０ＳＡ　3731・3831グリッドに、2600SAに平行して位置する柱穴列である。2012SP、2013SP、2033SP、2039SPから構成され、全長は約5.2mである。全ての柱穴で柱痕跡が確認され、2013SP、2039Pでは柱痕跡の直下で礫が検出されている。

出土遺物には陶器があり、2033SPで大窯第１・２小期が１点、2039SPで連房式第２小期および第１～４小期が各１点、2053SPで大窯期と連房式第２小期が各１点出土する。一部に大窯期のものが含まれるものの、2600SAからやや下る時期のものが中心であり、2600SAの廃絶後にやや位置をずらして建て替えられたものと想定できる。

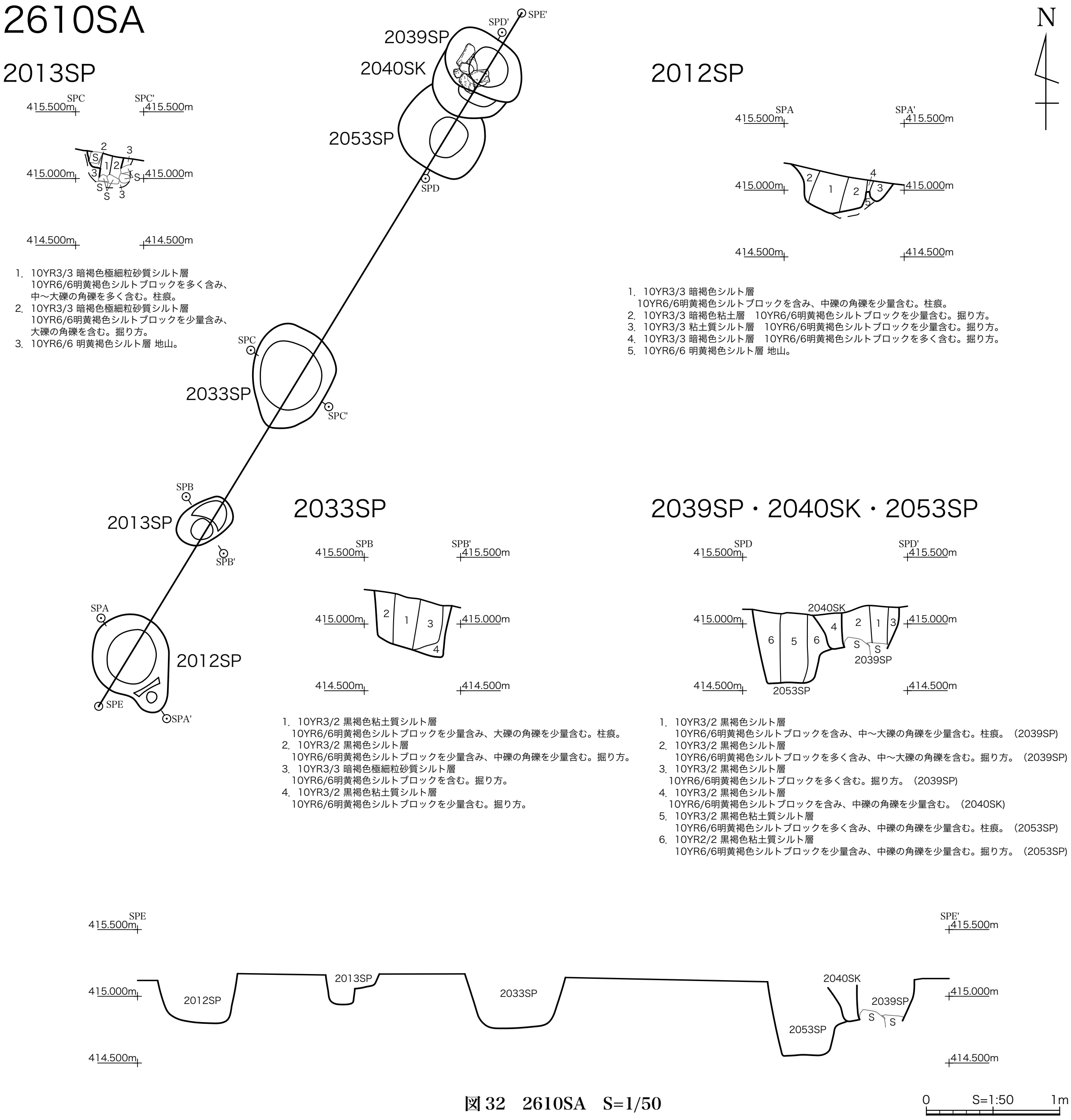


図32　2610SA　S=1/50

第５節　柱穴・土坑

本節では紙幅の都合上、主にまとまった量の遺物が出土し時期がある程度推定できるもの、特筆すべきものについてのみ記述し、ほかは平面図・断面図の掲載に留めた。

１　４　区　14 区では多数の土坑が検出され、一部では縄文時代の遺物も出土するが、土層の堆積状況から中世以降の遺構と推定される。

14区 017SK　3931 グリッドに位置する最大径約 1.3m の不整円形の土坑である。縄文時代後期の深鉢が出土する。

14区 052SK　3930 グリッドに位置する長径約 4.6m、短径約 2.7m の楕円形の土坑である。縄文時代後期中葉を中心とした深鉢、注口土器のほか、片麻岩を中心とした礫がまとまって出土する。

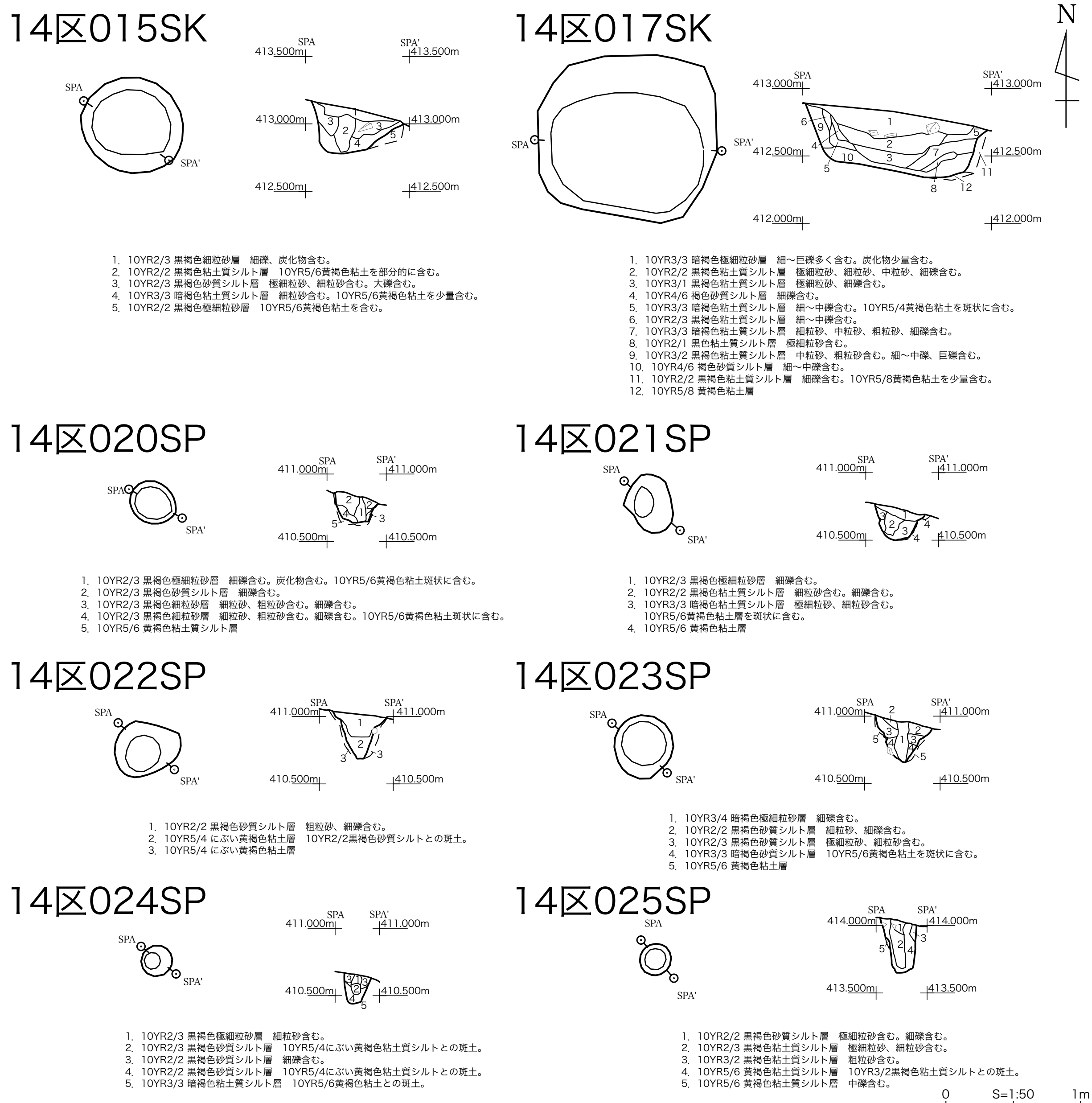
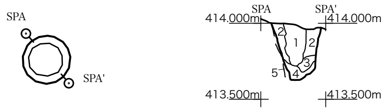


図 33　14 区 015SK ～ 14 区 025SP　S=1/50

14区026SP



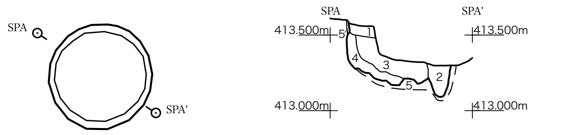
1. 10YR2/2 黒褐色砂質シルト層　極細粒砂含む。細礫含む。
2. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。
4. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　10YR3/2黒褐色粘土質シルトとの斑土。
5. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　中礫含む。

14区027SP

1 10YR2/2 黒褐色シルト層　極細粒砂含む。炭化物少量含む。
2. 10YR2/3 黒褐色砂質シルト層　細礫含む。
3. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　細粒砂、細礫含む。10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
4. 10YR5/6 黄褐色粘土層　(地山)

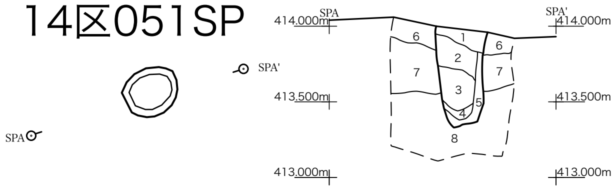
N

14区046SK



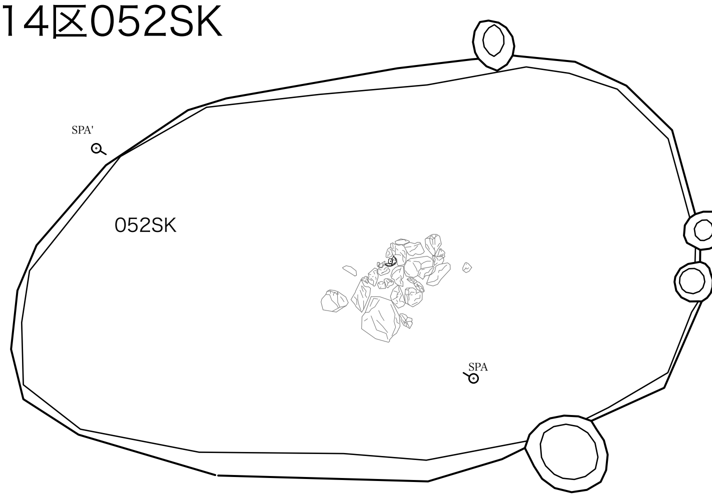
1. 10YR2/3 黒褐色砂質シルト層　極細粒砂含む。細礫含む。
2. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　炭化物少量含む。
3. 10YR2/1 黒褐色砂質シルト層　極細粒砂含む。
4. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。細礫含む。
5. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。(地山)

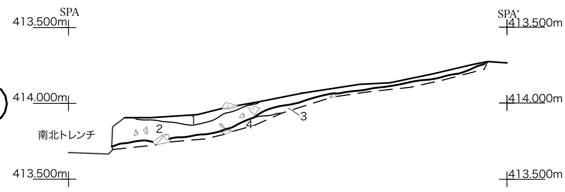
14区051SP



1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　中礫含む。10YR4/4褐色粘土、斑状に含む。
2. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　中礫含む。粗粒砂、わずかに含む。
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　中粒砂、粗粒砂含む。10YR4/6黄褐色粘土、斑状に含む。
4. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。炭化物含む。
5. 10YR2/1 黒褐色粘土層　細礫含む。炭化物少量含む。
6. 10YR4/4 褐色粘土層　細粒砂、中粒砂、細～中礫含む。10YR2/2黒褐色粘土をブロック状に含む。
7. 10YR5/6 黄褐色粘土層　細粒砂、細～中礫含む。
8. 10YR5/6 黄褐色粘土層　細粒砂、細～中礫含む。

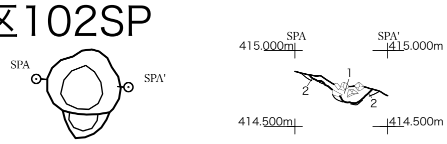
14区052SK





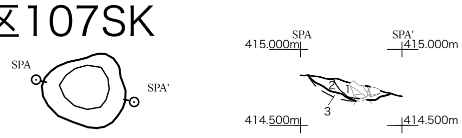
1. 10YR3/3 暗褐色砂質シルト層　中礫含む。
2. 10YR3/4 暗褐色極細粒砂層　細粒砂含む。細礫多く含む。
3.7.5YR4/4 褐色粘土質シルト層　細粒砂含む。
4. 10YR2/1 黒褐色粘土質シルト層　細粒砂、中粒砂、細～中礫含む。

14区102SP



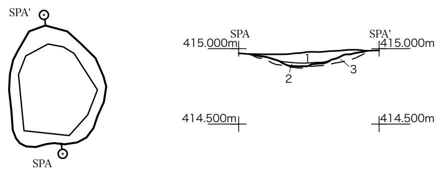
1. 10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト層　粗粒砂含む。径6～10cmの大礫多く含む。
2. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　細礫含む。

14区107SK



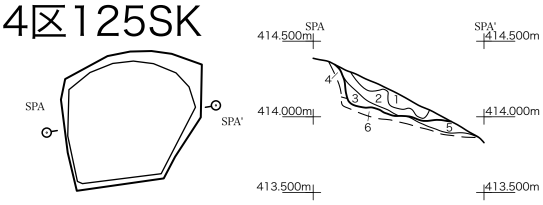
1. 10YR3/4 暗褐色砂質シルト層　径20cm程の大礫含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト層　細粒砂含む。細礫含む。
3. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　径20cm程の大礫含む。

14区112SK



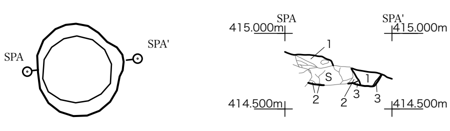
1. 10YR3/4 暗褐色砂質シルト層　粗粒砂含む。炭化物、焼土含む。10YR5/6黄褐色粘質シルトを斑状に含む。
2. 10YR4/6 褐色細粒砂層　焼土、上面に10YR6/1褐灰色、極細粒砂、灰を含む。
3. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　極粗粒砂、細粒砂含む。

14区125SK



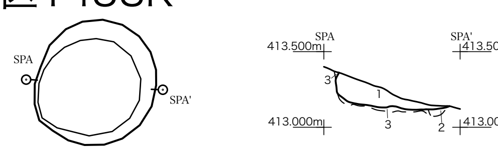
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　細礫含む。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　細粒砂含む。炭化物含む。
3. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。 細礫含む。10YR4/6褐色粘土質シルトをわずかに含む。
4. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。
5. 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。
6. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。径10㎝程の大礫含む。

14区126SP



1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。炭化物わずかに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト層　径15～30cmの礫含む。
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト層　細礫含む。

14区143SK

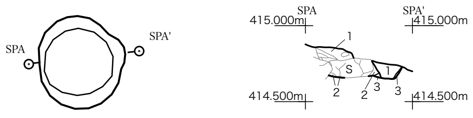


1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
2. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。細粒砂含む。(植生痕)
3. 10YR5/6 黄褐色粘土層

0　S=1:50　1m

図 34　14 区 026SP ～ 14 区 143SK　S=1/50

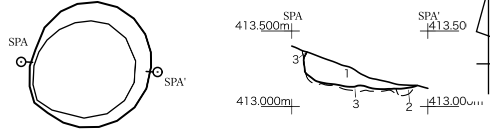
14区126SP



1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。炭化物わずかに含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト層　径15～30cmの礫含む。
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト層　細礫含む。

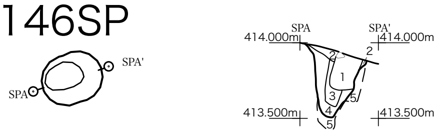
14区143SK

N



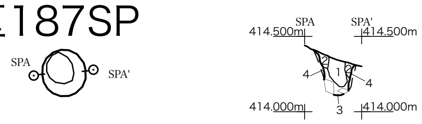
1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
2. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。細粒砂含む。(植生痕)
3. 10YR5/6 黄褐色粘土層

14区146SP



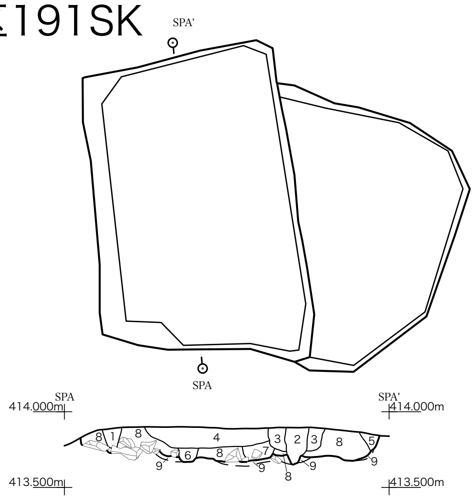
1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
5. 10YR5/6 黄褐色粘土層

14区187SP



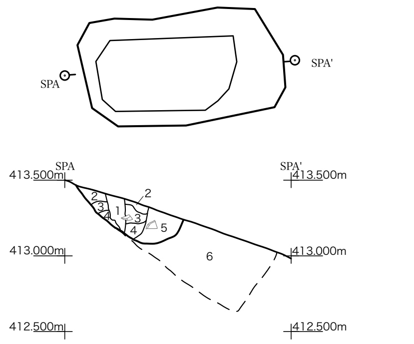
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。細粒砂含む。
2. 10YR2/3 暗褐色砂質シルト層　細粒砂含む。
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/6黄褐色粘土質シルトを少量含む。
4. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。細礫含む。

14区191SK



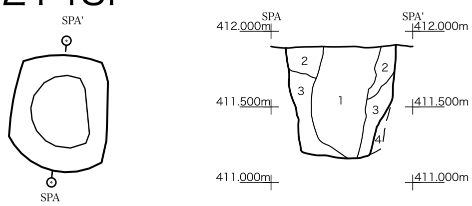
1. 10YR3/3 暗褐色砂質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。細礫含む。10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトを含む。
3. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　細粒砂含む。細礫、中礫含む。
4. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。細礫、中礫含む。
5. 10YR3/4 暗褐色砂質シルト層
6. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。細礫含む。炭化物わずかに含む。
7. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトを斑状に含む。粗粒砂含む。径3cm程の礫含む。
8 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　細粒砂含む。細礫含む。大礫多く含む。
9 10YR5/6 黄褐色粘土層　大礫含む。

14区193SK



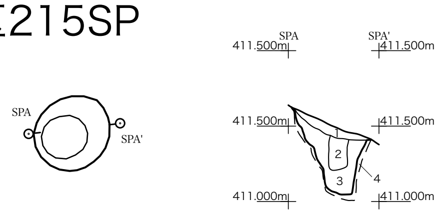
1. 10YR3/3 暗褐色砂質シルト層　細粒砂含む。細礫含む。
2. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。細礫含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト層　10YR5/6黄褐色粗粒砂含む。中～大礫含む。
4. 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト層　細粒砂含む。
5. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。細礫含む。
6. 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　細礫に含む。

14区214SP



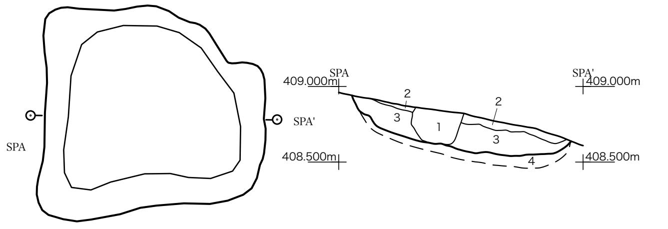
1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。粗粒砂含む。細礫含む。
2. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。細礫含む。
3. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土との斑土。
4. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土層

14区215SP



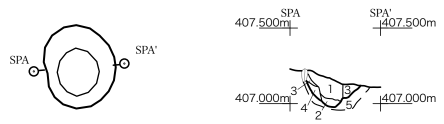
1. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。細礫含む。
3. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　細粒砂含む。10YR5/4にぶい黄褐色粘土との斑土。
4. 10YR5/6 黄褐色粘土層

14区216SK



1. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　細礫含む。
2 7.5YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　細粒砂含む。
3. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　細礫含む。7.5YR3/4暗褐色粘土質シルトを部分的に含む。
4. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　細～中礫含む。(谷埋土)

14区217SP

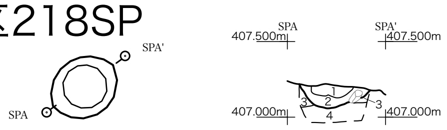


1. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。細礫含む。炭化物少量含む。
2. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　細礫含む。
3. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。
4. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層
　極細粒砂、細粒砂含む。10YR3/3暗褐色粘土質シルトとの斑土。
5. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　細粒砂含む。細礫含む。

0　S=1:50　1m

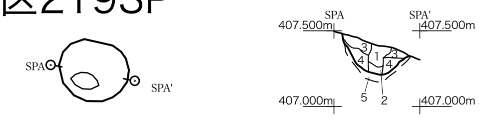
図 35　14 区 126SK ～ 14 区 217SP　S=1/50

14区218SP



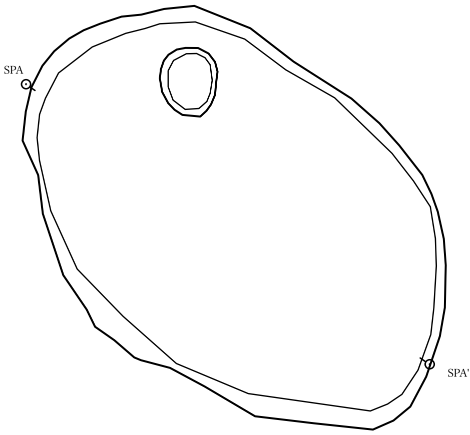
1. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。細礫含む。炭化物少量含む。
2. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　細礫含む。
3. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。
4. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　細粒砂含む。細礫含む。10YR5/6黄褐色粘土との斑土。

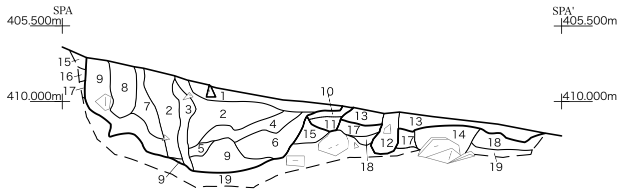
14区219SP



1. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。細礫含む。炭化物わずかに含む。
2. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　細礫含む。
3. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　極砂粒砂、細粒砂含む。
4. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層
極砂粒砂、細粒砂含む。10YR3/3暗褐色粘土質シルトとの斑土。
5. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　粗粒砂含む。細礫含む。

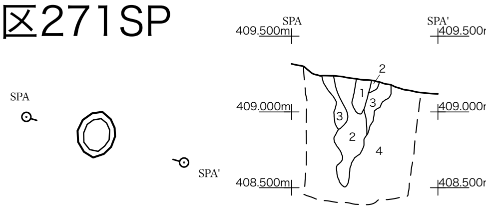
14区267SK





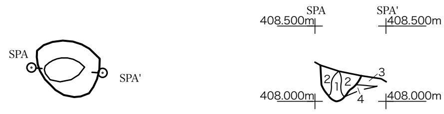
1. 10YR3/4 暗褐色層　極細粒砂、中粒砂含む。細～大礫含む。
2. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　細～大礫含む。炭化物少量含む。
3. 10YR2/1 黒褐色粘土質シルト層　細礫含む。10YR3/4暗褐色粘土、10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
4. 7.5YR5/8 明褐色粘土層　焼土、炭化物含む。
5. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　4.を少量含む。
6. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR2/3粘土質シルトとの斑土
7. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　細粒砂、中粒砂含む。
8. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　細礫含む。10YR2/1黒色粘土質シルトを斑状に含む。
9. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　巨礫含む。10YR2/1黒色粘土質シルト、10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
10. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂層　粗粒砂含む。
11. 10YR2/1 黒色粘土層　細粒砂含む。
12. 10YR2/3 黒褐色粘土層　細礫、大礫含む。
13. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　中粒砂、粗粒砂含む。
14. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　細流砂、中粒砂含む。細礫少量含む。
15. 10YR2/1 黒褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。細礫含む。
16. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　細粒砂、中粒砂含む。細礫含む。
17. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4黄褐色粘土を斑状に含む。
18. 15と17の斑土層
19. 10YR5/4 黄褐色粘土層　中粒砂含む。部分的に中～巨礫含む。

14区271SP



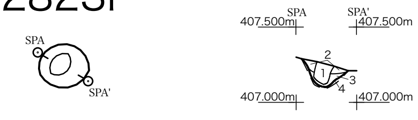
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　粗粒砂、細～中礫含む。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　細粒砂、粗粒砂含む。細～中礫含む。
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　細粒砂含む。細～中礫含む。10YR6/6明黄褐色粘土を斑状に含む。
4. 10YR6/6 明黄褐色粘土層　粗粒砂、中～大礫含む。植生痕の可能性が高い。

14区277SP



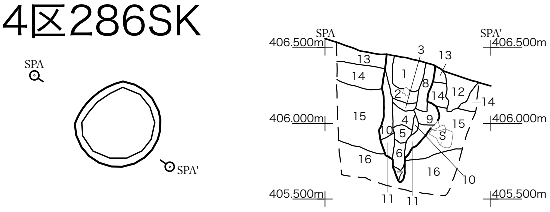
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　粗粒砂、細礫含む。
2. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　中粒砂、粗粒砂、細礫含む。
3. 10YR2/3 黒褐色砂質シルト層　細礫含む。
4. 10YR2/3 黒褐色砂質シルト層　細礫含む。10YR5/4黄褐色粘土混じる。

14区282SP



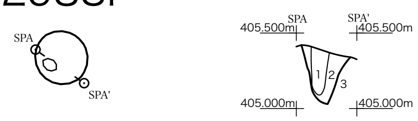
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　極細粒砂含む。
2. 10YR2/2 黒褐色砂質シルト　　極細粒砂、細粒砂含む。
3. 10YR3/3 黒褐色砂質シルト　　10YR5/4黄褐色粘土を斑状に含む。
4. 10YR5/4 黄褐色粘土質シルト

14区286SK



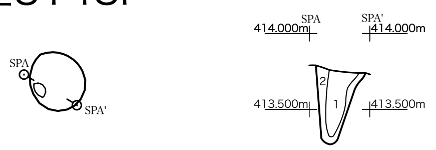
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　細粒砂、粗粒砂含む。
2. 10YR2/1 黒色粘土層　粗粒砂、中礫含む。10YR5/6黄褐色粘土を少量含む。
3. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　粗粒砂少量含む。10YR5/6黄褐色粘土を少量含む。
4. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　極細粒砂、細粒砂含む。10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
5. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/6黄褐色粘土をブロック状に含む。
6. 10YR3/3 暗褐色粘土層　10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
7. 10YR5/6 黄褐色粘土層　10YR3/3暗褐色粘土を少量含む。
8. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　粗粒砂、細礫含む。
9. 10YR4/6 褐色粘土層　細～中礫含む。
10. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/6黄褐色粘土を斑状に含む。
11. 10YR5/6 黄褐色粘土層　10YR2/2黒褐色粘土質シルト層　をブロック状に含む。
12. 10YR2/4 暗褐色粘土質シルト層　細粒砂、細礫含む。
13. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR4/6褐色粘土を含む。
14. 10YR4/6 褐色粘土層　粗粒砂含む。中礫含む。
15. 10YR5/6 黄褐色粘土層　大礫多く含む。
16. 10YR5/6 黄褐色粘土層

14区298SP



1. 10YR2/3 黒褐色極細粒砂層　細礫含む。
2. 10YR2/3 暗褐色極細粒砂層　細～中礫含む。
3. 10YR5/4 黄褐色極細粒砂層　粘土含む。

14区314SP



1. 10YR2/3 黒褐色砂質シルト層　粗粒砂、中礫含む。
2. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂層　細礫含む。

14区312SP

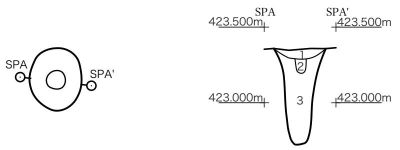
1. 10YR2/3 黒褐色砂質シルト層　中粒砂含む。
2. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂層　粗粒砂、細～中礫含む。
3. 10YR3/4 暗褐色極細粒砂層　粘土質シルトを斑状に含む。

0　S=1:50　1m

図 36　14 区 218SP ～ 312SP　S=1/50

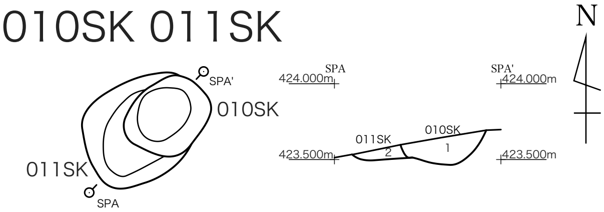
０２２ＳＰ　3429 グリッドに位置する柱穴である。柱痕跡内に平坦な面を上にした礫が検出されたほか、310SB の柱筋の延長線上にあり、その一部であった可能性がある。

009SK



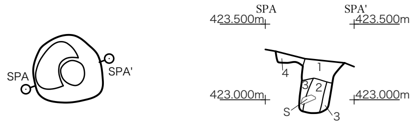
1. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　中〜大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を含み、10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含む。
3. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　中〜大礫の角礫を含み、10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。

010SK 011SK



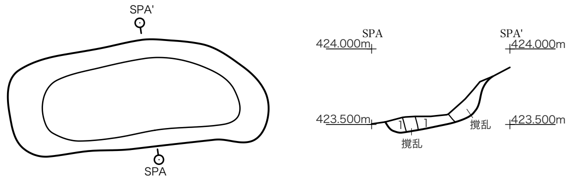
1. 10YR2/1 黒色シルト層　中礫の角礫を含む。（010SK）
2. 10YR2/3 黒褐色シルト層　中礫の角礫を含み、10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。（011SK）

012SP



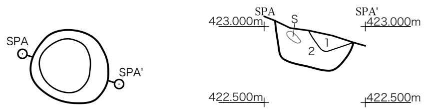
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。しまり強い。
2. 10YR2/3 黒褐色シルト層　柱痕。
3. 10YR2/3 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。掘り方。
4. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR2/1黒色土ブロックを含む。

013SK



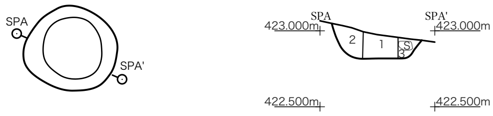
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含む。

014SP



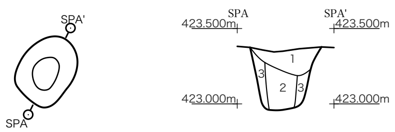
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。柱痕。
2. 10YR3/4 暗褐色砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。掘り方。
3. 10YR3/4 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。掘り方。

015SK



1. 10YR2/3 黒褐色砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。

018SP

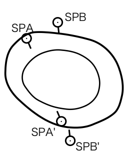


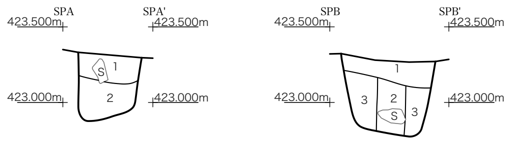
1. 10YR3/4 暗褐色中粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。柱痕。
3. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。

021SP

1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。

022SP

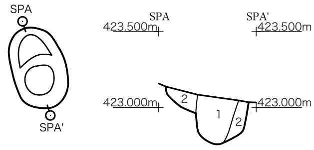




1. 10YR3/4 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。
2. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含む。

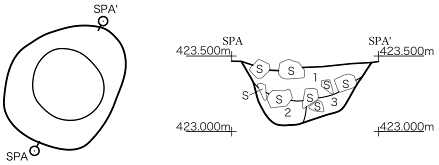
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中〜大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/4 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。柱痕。
3. 10YR3/3 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を含む。掘り方。

023SK



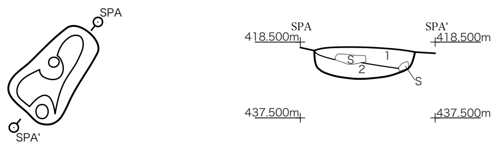
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中〜大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層　中〜巨礫の角礫を含む。

033SK



1. 10YR3/3 暗褐色中粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を多く含む。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　大礫の角礫を含む。
3. 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大礫の角礫を含む。

034SK(SX)



1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含み、大礫の角礫を含む。
2. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　10YR2/2黒褐色土ブロックを少量含む。

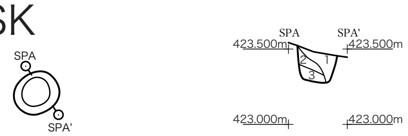
0　S=1:50　1m

図 37　009SK ～ 033SK　S=1/50

055SK

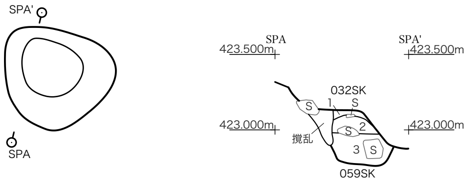
1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。

057SK



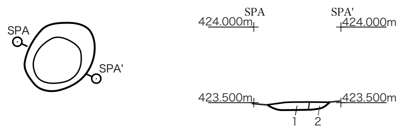
1. 10YR2/3 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。
2. 10YR2/3 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を含む。
3. 10YR4/4 褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。

059SK



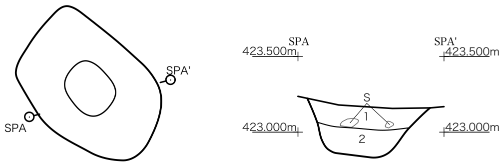
1. 10YR3/2 黒褐色細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。
2. 10YR3/3 暗褐色細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。
3. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、大礫の角礫を含む。

060SK



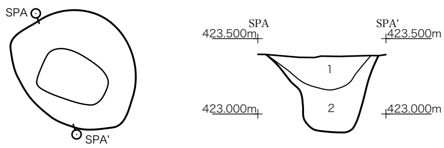
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色極細粒砂質シルト層　中礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。

062SK



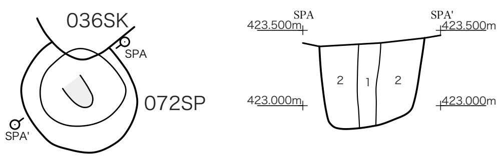
1. 10YR3/4 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/2 黒褐色細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中礫の角礫を含む。

066SK



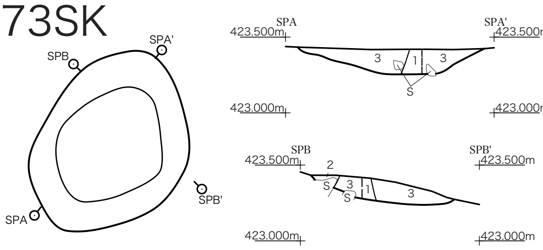
1. 10YR3/4 暗褐色細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中～大礫の角礫を含む。

072SP



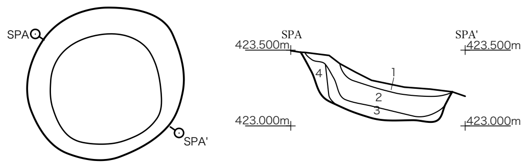
1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を少量含む。炭化物を少量含む。柱痕。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。掘り方。

073SK



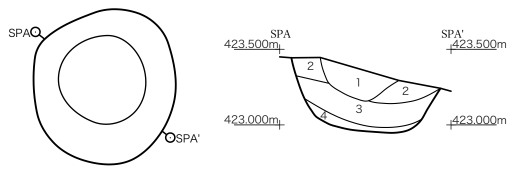
1. 10YR2/3 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。
2. 10YR4/4 褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。
3. 10YR2/3 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中～大礫の角礫を含む。

079SK



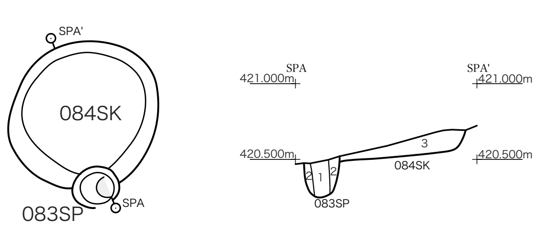
1. 10YR2/3 黒褐色シルト層　中礫の角礫を少量含む。
2. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含み、中礫の角礫を含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を非常に多く含む。
4. 10YR3/4 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含み、中礫の角礫を含む。

080SK



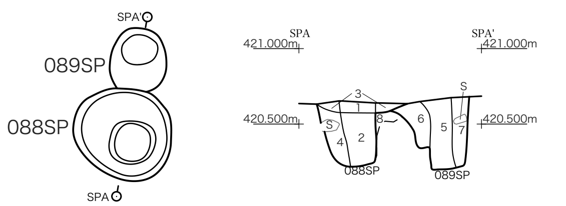
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含み、中～大礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中～大礫の角礫を含む。
3. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、中礫の角礫を含む。
4. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　10YR4/2灰黄褐色土ブロックを少量含む。

083SP・084SK



1. 10YR2/3 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。柱痕。（083SP）
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含む。掘り方。（083SP）
3. 10YR2/2 黒褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。（084SK）

088SP・089SP



1. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　柱痕。（088SP）
2. 10YR3/3 暗褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含む。柱痕。（088SP）
3. 10YR3/2 黒褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを少量含む。掘り方。（088SP）
4. 10YR3/3 暗褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを非常に多く含む。掘り方。（088SP）
5. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含み、中礫の角礫を含む。柱痕。（089SP）
6. 10YR4/6 褐色シルト層　10YR3/4暗褐色土粒を含む。掘り方。（089SP）
7. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含み、大礫の角礫を含む。掘り方。（089SP）
8. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

○は柱痕跡

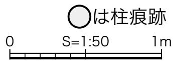


図 38 055SK ～ 089SP　S=1/50

０９３ＳＫ　3630 グリッドに位置する、最大径約 1.4m の不整円形の土坑である。弥生時代後期の壺および高坏・器台類が出土する。

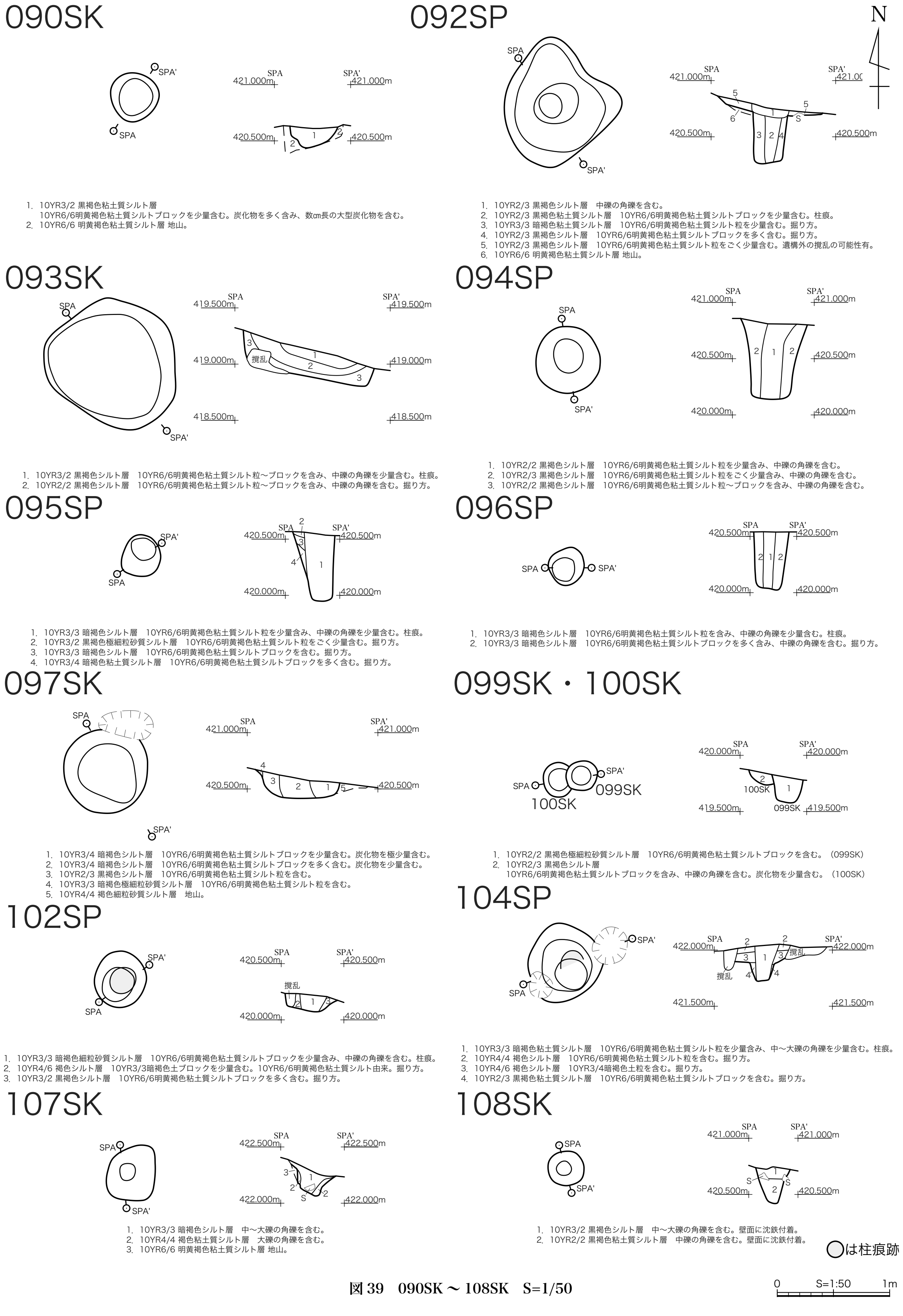
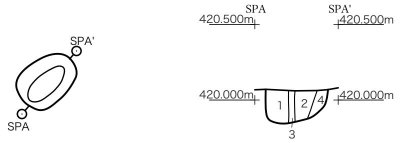


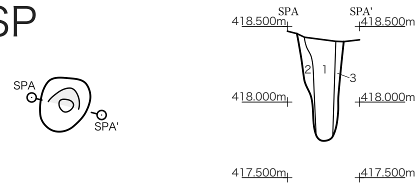
図 39　090SK ～ 108SK　S=1/50

110SP



1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。
2. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中礫の角礫を含む。
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含む。
4. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　10YR3/3暗褐色土ブロックを含む。

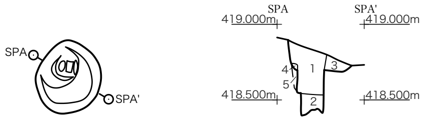
111SP



N

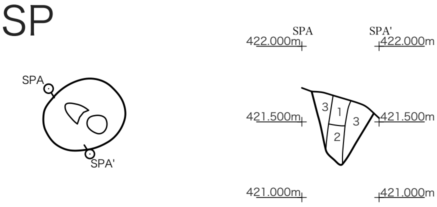
1. 10YR2/2 黒褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを少量含む。柱痕。
2. 10YR2/2 黒褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含む。掘り方。
3. 10YR2/2 黒褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含む。掘り方。

112SP



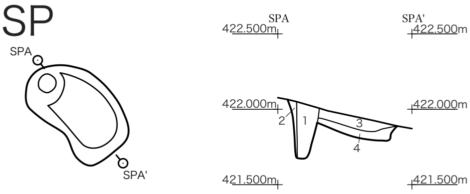
1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。しまりごく弱い。柱痕。
2. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。
3. 10YR4/2 灰黄褐色粘土層　中礫の角礫を多く含む。
4. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。
5. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

113SP



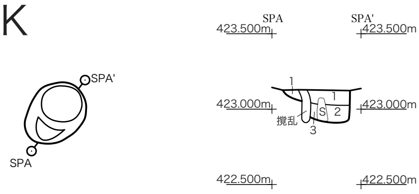
1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　柱痕。
3. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　掘り方。

115SP



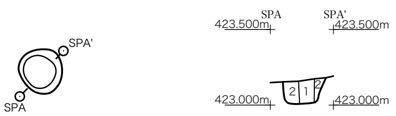
1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中礫の角礫を少量含む。柱痕。
2. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含む。掘り方。
3. 10YR3/4 暗褐色シルト層　中礫の角礫を含む。掘り方。
4. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　中礫の角礫を多く含む。掘り方。

116SK



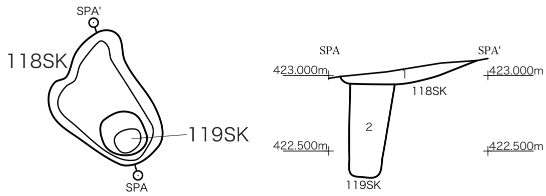
1. 10YR3/3 暗褐色細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。
2. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックをごく少量含む。
3. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。

117SP



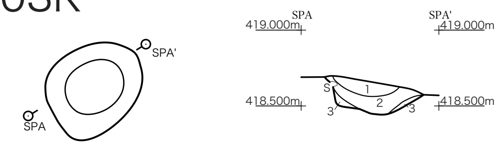
1. 10YR3/3 暗褐色細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含み、中礫の角礫を少量含む。柱痕。
2. 10YR2/3 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を含む。掘り方。

118SK・119SK



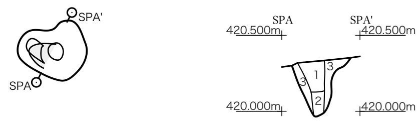
1. 10YR3/4 暗褐色極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、中礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。(118SK)
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中礫の角礫を少量含む。(119SK)

120SK



1. 10YR2/3 黒褐色シルト層　中礫の角礫を少量含む。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、大礫の角礫を多く含む。
3. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。

121SP

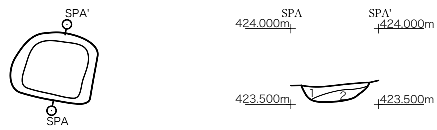


1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　柱痕。
3. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。

123SK

1. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。一部に大礫が集中する。
2. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。
3. 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　10YR3/2黒褐色土ブロックを含む。
4. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

124SK



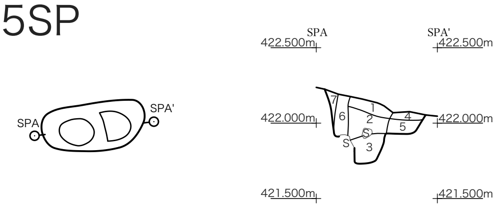
1. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂質シルト層　炭化物を極少量含む。
2. 10YR4/4 褐色シルト層　10YR3/2黒褐色土ブロックを少量含む。

○は柱痕跡

図 40　110SP ～ 124SK　S=1/50

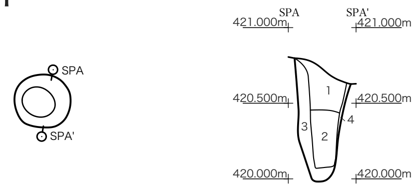
0　S=1:50　1m

125SP



1. 10YR3/4 暗褐色極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中～大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR3/4 暗褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含み、大礫の角礫を含む。柱痕。
3. 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　10YR3/2黒褐色土ブロックを含む。柱痕。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含む。掘り方。
5. 10YR4/6 褐色シルト層　10YR3/2黒褐色土ブロックを多く含み、中礫の角礫を含む。掘り方。
6. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。掘り方。
7. 10YR4/6 褐色粘土質シルト層　10YR3/3暗褐色土ブロックを少量含む。掘り方。

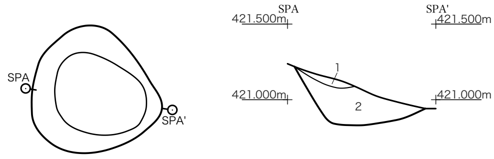
130SP



N

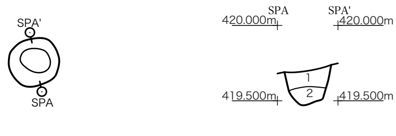
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、中礫の角礫を少量含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。柱痕。
3. 10YR3/2 粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。
4. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。掘り方。

132SK



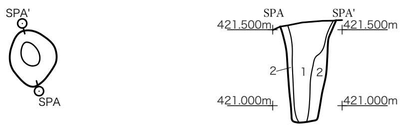
1. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。
2. 10YR4/6 褐色シルト層　10YR4/2灰黄褐色土ブロックを含み、中～大礫の角礫を多く含む。

133SK



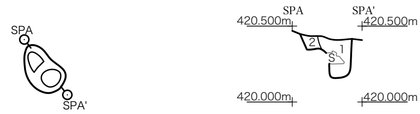
1. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。
2. 10YR2/3 黒褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。

134SP



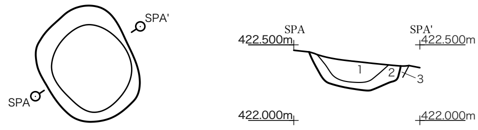
1. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。掘り方。

135SK



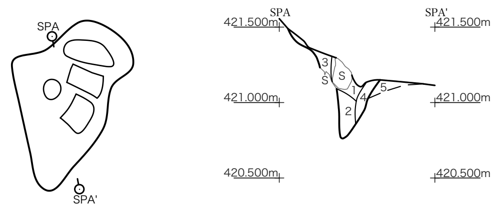
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　中礫の角礫を多く含む。
2. 10YR3/3 暗褐色細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。

136SK



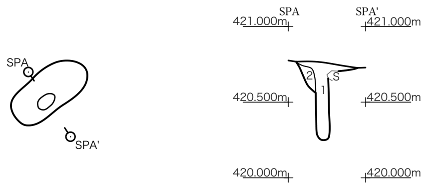
1. 10YR3/3 極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中～大礫の角礫を含む。炭化物をごく少量含む。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中礫の角礫を含む。
3. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

139SP



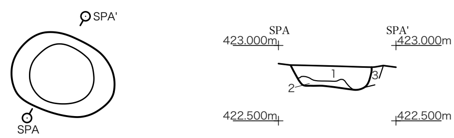
1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中～大礫の角礫を多く含む。柱痕。
2. 10YR2/3 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含む。柱痕。
3. 10YR2/3 黒褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含み、大礫の角礫を多く含む。掘り方。
4. 10YR3/3 暗褐色細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。
5. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

140SP



1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含み、中礫の角礫を含む。掘り方。

142SK

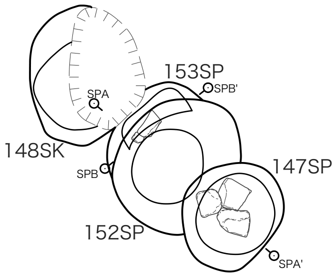


1. 10YR2/2 黒褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、中礫の角礫を含む。
2. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　10YR2/3黒褐色土ブロックを含み、中礫の角礫を含む。
3. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

0　S=1:50　1m

図41　125SP ～ 142SK　S=1/50

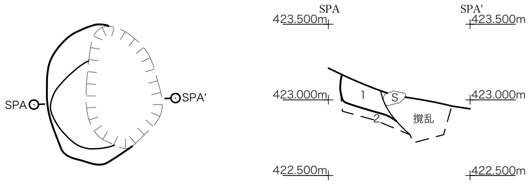
147SP・152SP・153SP



1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、大礫の角礫・円礫を含む。炭化物を含む。柱痕。（147SP）
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR2/2黒褐色土ブロックを含み、
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、大礫の亜円礫を含む。掘り方。（147SP）
3. 10YR3/2 黒褐色シルト層
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。（152SP）
4. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。柱痕。（152SP）
5. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含み、中～大礫の角礫を含む。掘り方。（152SP）
6. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。（153SP）

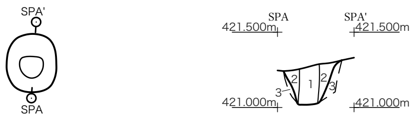
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、
 中礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。掘り方。

148SK



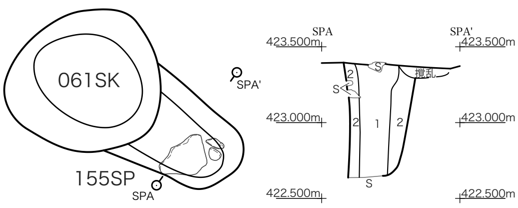
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を含む。植生痕の可能性有。
2. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

150SP



1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含む。柱痕。
2. 10YR2/3 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含む。掘り方。
3. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

155SP

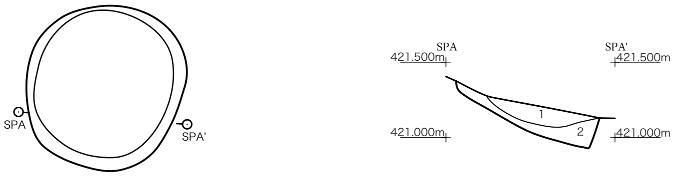


1. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含み、中～大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含み、中～大礫の角礫を含む。掘り方。

159SP

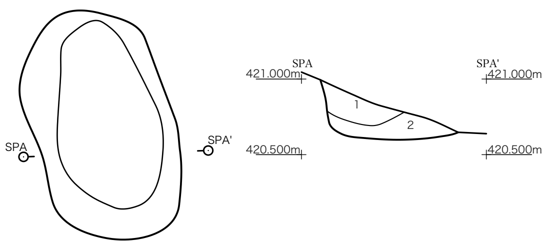
1. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
3. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。
4. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

182SK



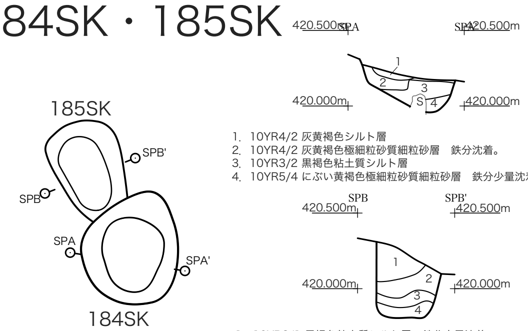
1. 10YR4/2 灰黄褐色極細粒砂質細粒砂層　中礫の角礫を含む。
2. 2.5Y5/4 黄褐色極細粒砂質細粒砂層

183SK



1. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層
 10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/1 黒褐色極細粒砂質シルト層

184SK・185SK



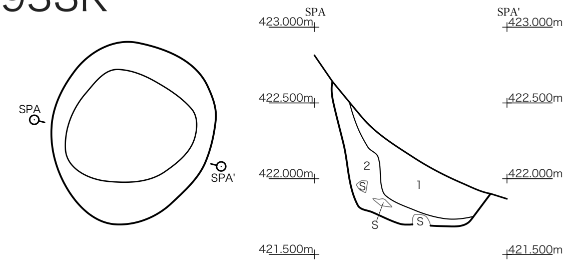
1. 10YR4/2 灰黄褐色シルト層
2. 10YR4/2 灰黄褐色極細粒砂質細粒砂層　鉄分沈着。
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
4. 10YR5/4 にぶい黄褐色極細粒砂質細粒砂層　鉄分少量沈着。

1. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　鉄分少量沈着。
2. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂質細粒砂層　鉄分少量沈着。
3. 10YR3/2 黒褐色シルト層
4. 10YR5/3 にぶい黄褐色細粒砂質シルト層　大礫の角礫を少量含む。

0　S=1:50　1m

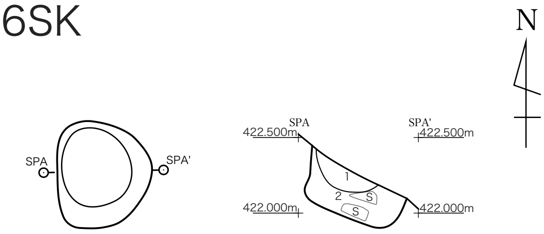
図 42　147SP ～ 185SK　S=1/50

193SK



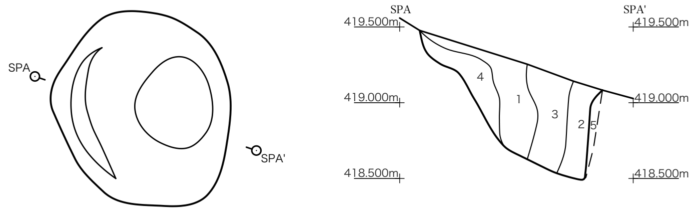
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含み、中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、中～大礫の角礫を含む。

196SK



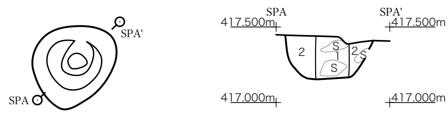
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、中礫の角礫を少量含む。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を多く含む。

209SK



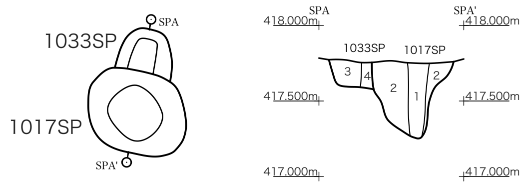
1. 10YR3/3 暗褐色粘土層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、細礫を少量含む。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、細礫を少量含む。
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、細礫を少量含む。
5. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

1010SP



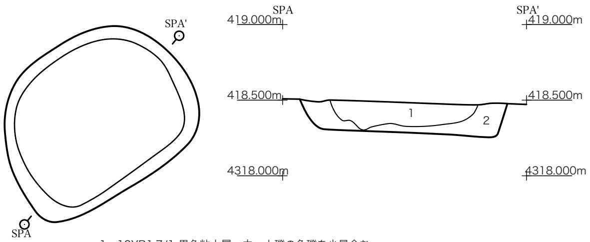
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を多く含む。柱痕。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト層
   10YR3/2黒褐色土ブロックを含み、大礫の角礫を含む。掘り方。

1017SP・1033SP



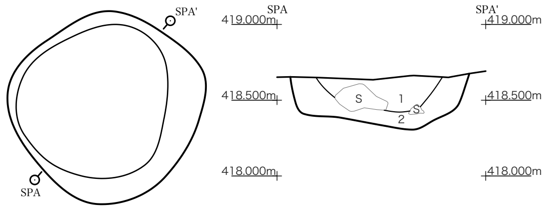
1. 10YR1.7/1 黒色粘土質シルト層　中礫の角礫をごく少量含む。柱痕。（1017SP）
2. 10YR4/4 褐色粘土質シルト層　10YR3/3暗褐色土ブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。掘り方。（1017SP）
3. 10YR3/2 黒褐色シルト層　中礫の角礫を含む。柱痕。（1033SP）
4. 10YR4/6 褐色シルト層　大礫の角礫を多く含む。掘り方。（1033SP）

1019SK



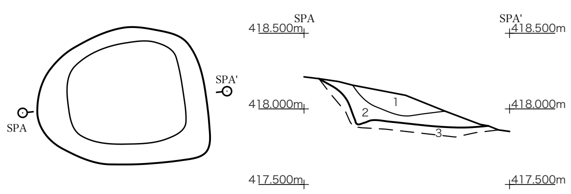
1. 10YR1.7/1 黒色粘土層　中～大礫の角礫を少量含む。
2. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を含み、
   10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫をごく少量含む。

1021SK

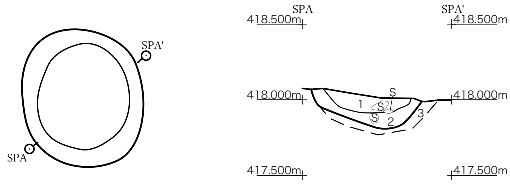


1. 10YR1.7/1 黒色シルト層　巨礫の角礫を含み、大礫の角礫を少量含む。
2. 10YR2/1 黒色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、大礫の角礫を少量含む。

1031SK



1032SK



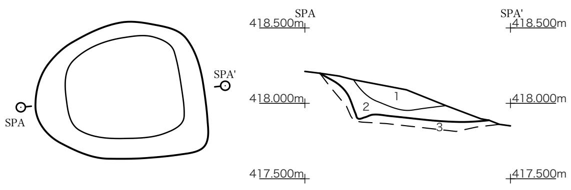
1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含み、大礫の角礫を含む。
2. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含み、中礫の角礫をごく少量含む。
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト層 地山。

1. 10YR2/1 黒色極細粒砂質シルト層　中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/1 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、中～大礫の角礫を含む。
3. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

図 43　193SK ～ 209SK、1010SP ～ 1032SK　S=1/50

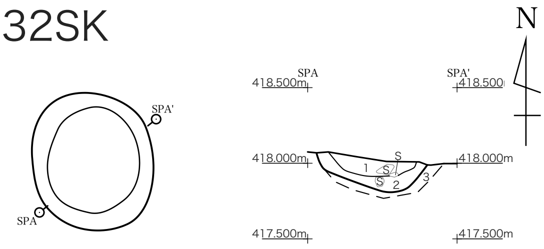
１９Ｃ区 3134 グリッドに位置する、直径約 0.3m の円形の柱穴である。柱痕跡が深さ 0.5m 以上
１０８５ＳＰに渡って残る。江戸時代後期の擂鉢が出土する。

1031SK



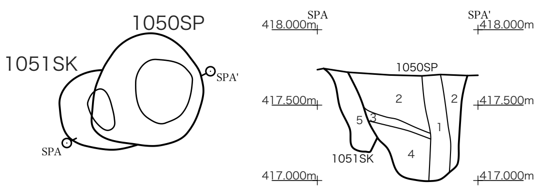
1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含み、大礫の角礫を含む。
2. 10YR2/2 黒褐色シルト層
   10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含み、中礫の角礫をごく少量含む。
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト層 地山。

1032SK



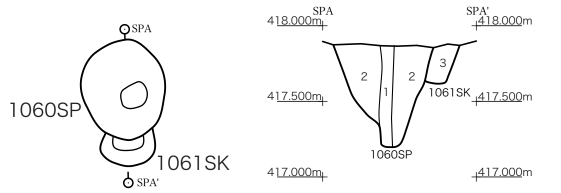
1. 10YR2/1 黒色極細粒砂質シルト層　中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/1 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、中～大礫の角礫を含む。
3. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

1050SP・1051SK



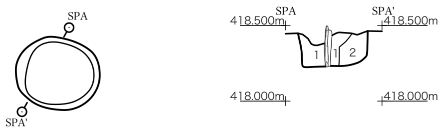
1. 10YR1.7/1 黒色粘土質シルト層　10YR3/2黒褐色土ブロックを含み、
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、中礫の角礫を少量含む。柱痕。（1050SP）
2. 10YR3/2 黒褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含み、中礫の角礫をごく少量含む。掘り方。（1050SP）
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を非常に多く含む。掘り方。（1050SP）
4. 10YR3/1 黒褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含み、中礫の角礫を少量含む。掘り方。（1050SP）
5. 10YR2/2 黒褐色極細粒砂質シルト層　中～大礫の角礫を少量含む。（1051SK）

1060SP・1061SK



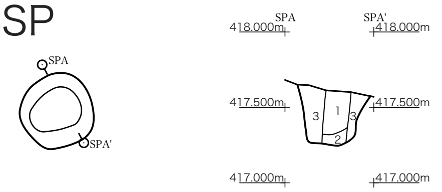
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを多く含む。柱痕。（1060SP)
2. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　大礫の角礫をごく少量含む。掘り方。（1060SP)
3. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒をごく多く含み、大礫の角礫を少量含む。（1061SK)

1062SP



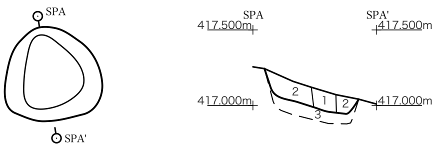
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含む。杭を含む。柱痕。
2. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層
   10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。掘り方。

1064SP



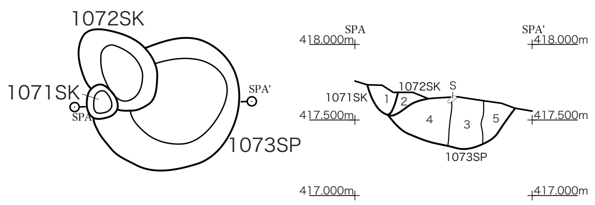
1. 10YR1.7/1 黒色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含み、中礫の角礫をごく少量含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を多く含む。柱痕。
3. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、中礫の角礫を少量含む。掘り方。

1067SP



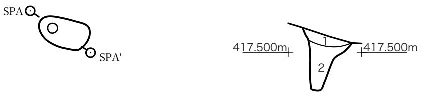
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを少量含み、中礫の角礫をごく少量含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層
   10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを少量含み、中礫の角礫をごく少量含む。掘り方。
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト層 地山。

1071SK・1072SK・1073SP



1. 10YR3/4 暗褐色シルト層　5YR5/8明赤褐色土ブロックを少量含む。炭化物を少量含む。（1071SK)
2. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大礫の角礫を少量含む。（1072SK)
3. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　中～大礫の角礫を含む。柱痕。（1073SP)
4. 10YR2/2 黒褐色シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒をごく少量含み、大礫の角礫を少量含む。掘り方。（1073SP)
5. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層
   10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含み、中礫の角礫を少量含む。掘り方。（1073SP)

1081SK



1. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂質シルト層
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。

1085SP

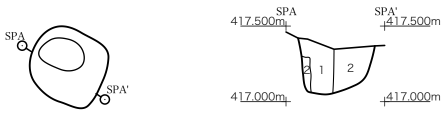
1. 10YR2/1 黒色シルト層　柱痕。
2. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を多く含み、中礫の角礫を含む。掘り方。

図 44　1031SK ～ 1085SP　S=1/50

0　S=1:50　1m

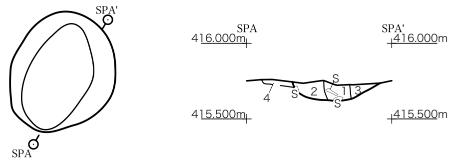
１２１１ＳＰ　3234 グリッドに位置する、直径約 0.6m の柱穴である。縄文時代早期初頭の深鉢胴部片が出土する。

1105SK



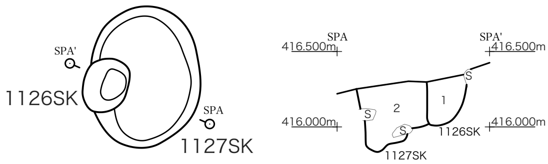
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　5YR3/6暗赤褐色土ブロックを少量含み、
　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中〜大礫の角礫を多く含む。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　5YR3/6暗赤褐色土ブロックを少量含み、
　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく多く含み、中〜大礫の角礫を含む。

1107SP



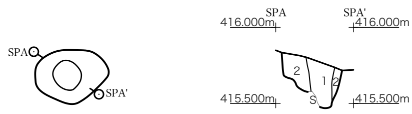
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色シルト粒を少量含み、大礫の角礫を多く含む。柱痕。
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト層
　10YR5/4にぶい黄褐色シルトブロックを多く含み、中礫の角礫を少量含む。掘り方。
3. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色シルトブロックをごく多く含む。掘り方。
4. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト層 地山。

1126SK・1127SK



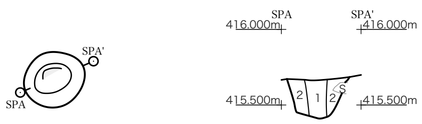
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色シルトブロックをごく少量含み、中礫の角礫を少量含む。（1126SK）
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色シルトブロックを少量含み、中〜大礫の角礫を少量含む。（1127SK）

1144SP



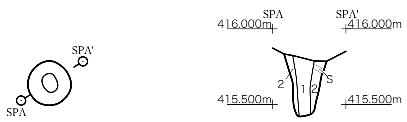
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　中礫の角礫を少量含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色シルトブロックを少量含む。掘り方。

1192SP



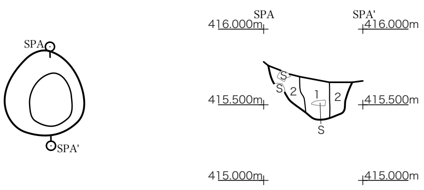
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。鉄分沈着。柱痕。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含む。掘り方。

1195SP



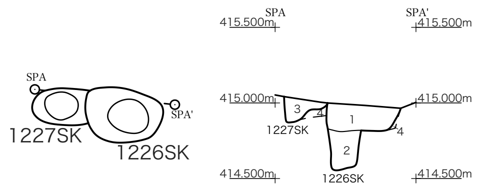
1. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色シルトブロックを少量含む。柱痕。
2. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色シルトブロックを含み、中〜大礫の角礫を少量含む。掘り方。

1211SP



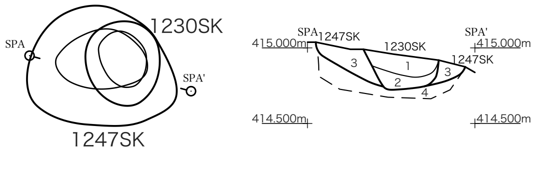
1. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色シルトブロックを少量含み、中〜大礫の角礫を含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層
　10YR5/4にぶい黄褐色シルト粒〜ブロックを多く含み、中〜大礫の角礫を少量含む。掘り方。

1226SK・1227SK



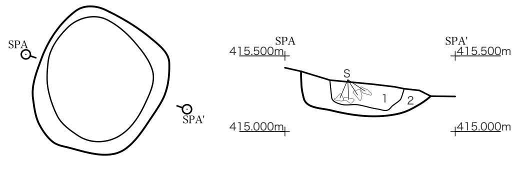
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトを少量含む。（1226SK）
2. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトを少量含む。炭化物を少量含む。（1226SK）
3. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　（1227SK）
4. 10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト層 地山。

1230SK・1247SK



1. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、大礫の角礫を含む。（1230SK）
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　（1230SK）
3. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層
　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒〜ブロックを含み、大礫の角礫を少量含む。（1247SK）
4. 10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト層 地山。

1246SK



1. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックをごく少量含み、大礫の角礫を多く含む。
2. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒〜ブロックを多く含む。

0　S=1:50　1m

図 45　1105SK 〜 1246SK　S=1/50

１２６６ＳＫ　3333 グリッドに位置する直径約 0.8m の不整円形の土坑で、柱穴 1268SP などと切り合い関係を持つ。古瀬戸の腰折皿が出土する。

１３０９ＳＫ　3333 グリッドに位置する長径約 1.1m、短径約 0.6m の長楕円形の土坑で、伊勢型鍋の口縁部から胴部が出土する。

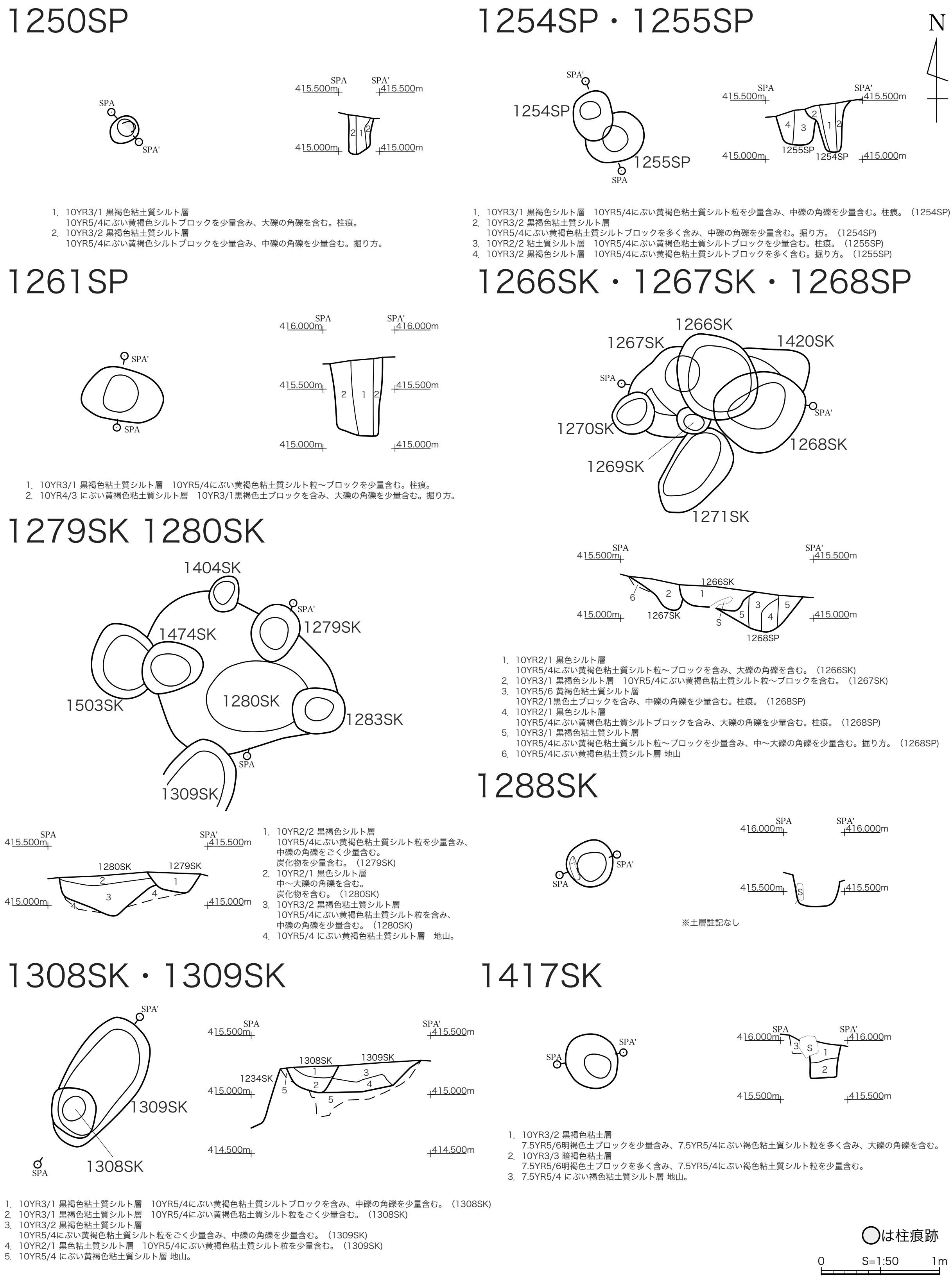


図 46　1250SP ～ 1417SK　S=1/50

１４６８ＳＫ　3332グリッドに位置する、最大径約2.6mの不整形の土坑である。埋土に礫を多く含み、古瀬戸の筒型香炉および器種不明の陶器が出土する。

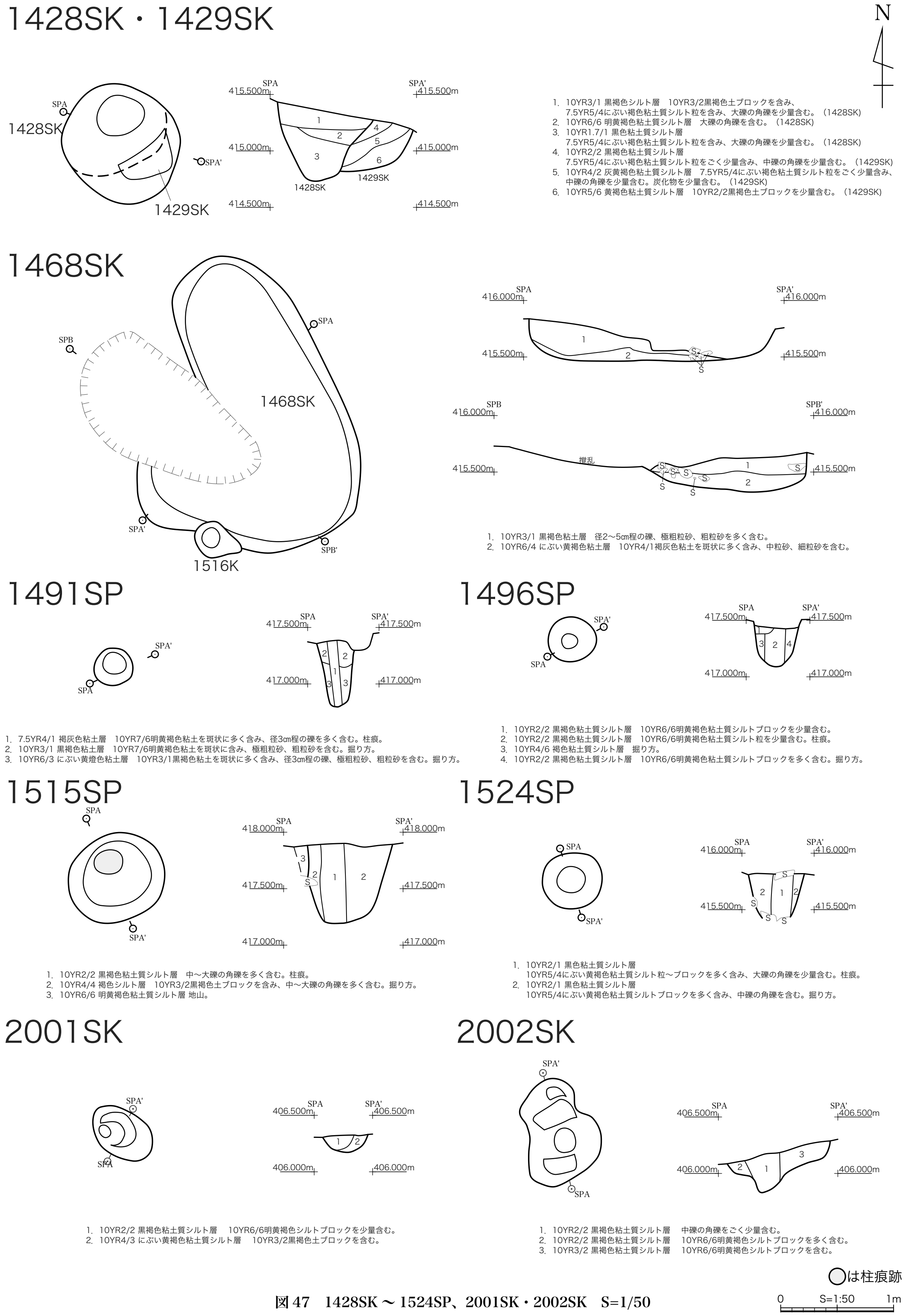


図47　1428SK～1524SP、2001SK・2002SK　S=1/50

１９Ａ区 2073ＳＰ 3830 グリッドに位置する、直径約 0.3m の円形の柱穴である。連房式第 5・6 小期のほぼ完形の端反椀が出土する。

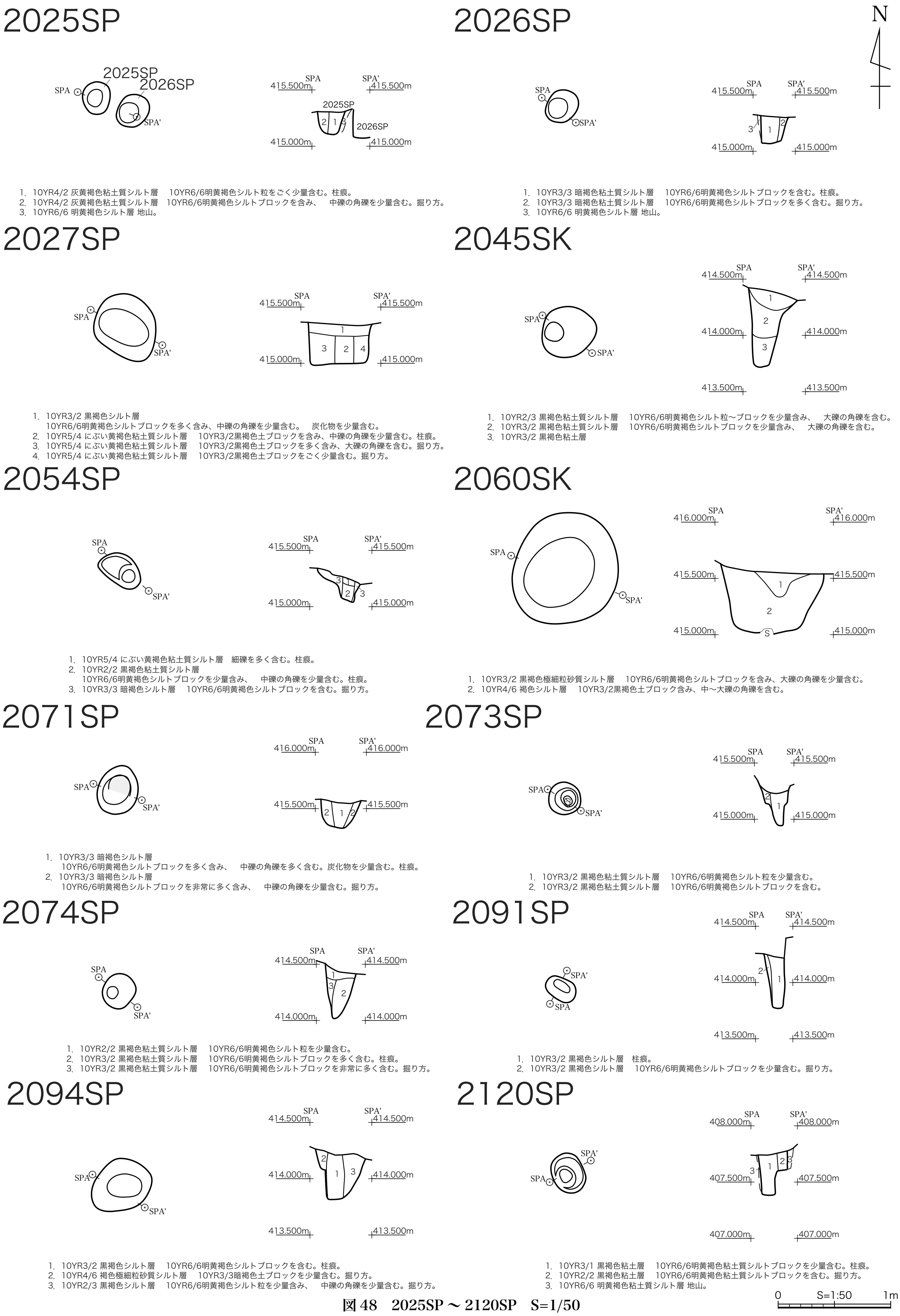


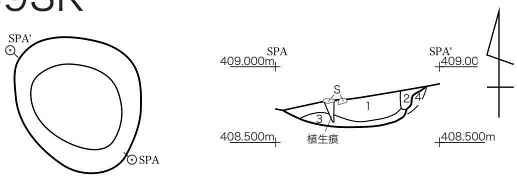
図 48　2025SP ～ 2120SP　S=1/50

2301SK・2302SP 3436グリッドに位置し、長径約0.9mの楕円形の柱穴2301SPが埋没したのち、土坑2301SKが掘り込まれる。出土層位は不明なものの、縄文時代後晩期の深鉢が出土する。

2124SP

1. 10YR3/1 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを少量含む。柱痕。
2. 10YR2/1 黒色粘土質シルト層　掘り方。3. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

2139SK

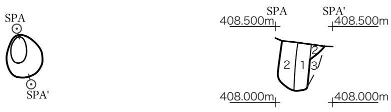


1. 10YR4/3 にぶい黄褐色粘土層　大礫の角礫を少量含む。
2. 10YR4/4 褐色粘土層
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土層
4. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

2157SP

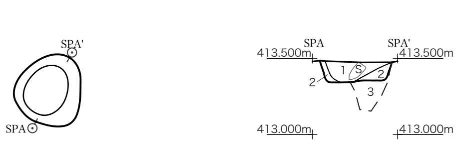
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。柱痕。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　掘り方。
3. 10YR3/3 暗褐色粘土層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。掘り方。
4. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

2159SP



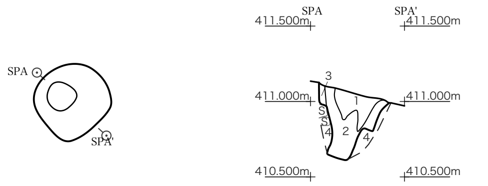
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。柱痕。
2. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを少量含む。掘り方。
3. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

2180SK



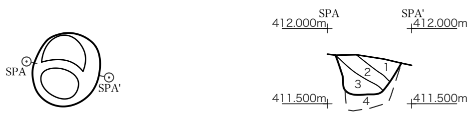
1. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、　大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルト粒～ブロックを含み、　中礫の角礫を含む。
3. 10YR6/6 明黄褐色シルト層 地山。

2183SK



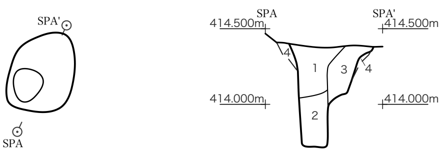
1. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、　細礫を少量含む。
2. 10YR3/1 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルト粒～ブロックを多く含み、　中礫の角礫を少量含む。
3. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含む。
4. 10YR6/6 明黄褐色シルト層 地山。

2217SK



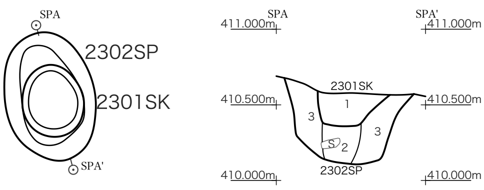
1. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含む。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを多く含む。
3. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを多く含む。
4. 10YR6/6 明黄褐色シルト層 地山。

2278SP



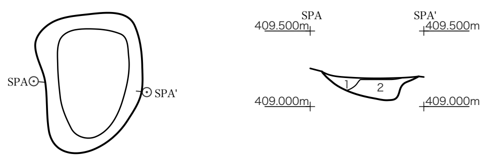
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含む。柱痕。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　大礫の角礫を多く含む。柱痕。
3. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含み、　大礫の角礫を多く含む。掘り方。
4. 10YR6/6 明黄褐色シルト層 地山。

2301SK・2302SP



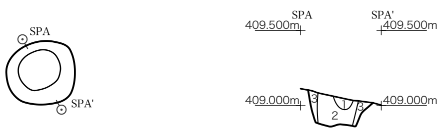
1. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含む。(2301SK)
2. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　中～大礫の角礫を多く含む。柱痕。(2302SP)
3. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを含む。掘り方。(2302SP)

2308SK



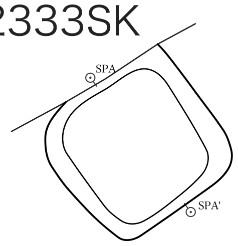
1. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを多く含む。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層

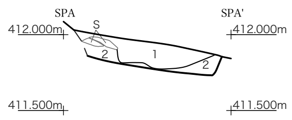
2318SP



1. 10YR2/1 黒色粘土層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含む。
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含む。柱痕。
3. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　10YR2/1黒色土ブロックを少量含む。掘り方。

2333SK





1. 10YR2/2 黒褐色粘土層　中～大礫の角礫を少量含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色粘土層　中～大礫の角礫を少量含む。

図49　2124SP～2333SK　S=1/50

0　S=1:50　1m

２４２９ＳＫ　3336 グリッドに位置する、長径約 1.9m、短径約 1.3m の不整な隅丸方形の土坑である。中央からやや外れた位置において、縄文時代早期前半の深鉢 (0408) が横位で圧し潰された状態で出土した。土器は口縁部から胴部下半までが残存する。平面図上では便宜的に 1~3 面に分けたが、実際には土器は単一の層中から出土している。その上にはやや外れた位置で 0.2m 四方ほどの大きさの礫が検出されており、土器とともに設置された可能性も考えられる。また、最終的に土坑の埋没後には上から複数の土坑が掘り込まれる。

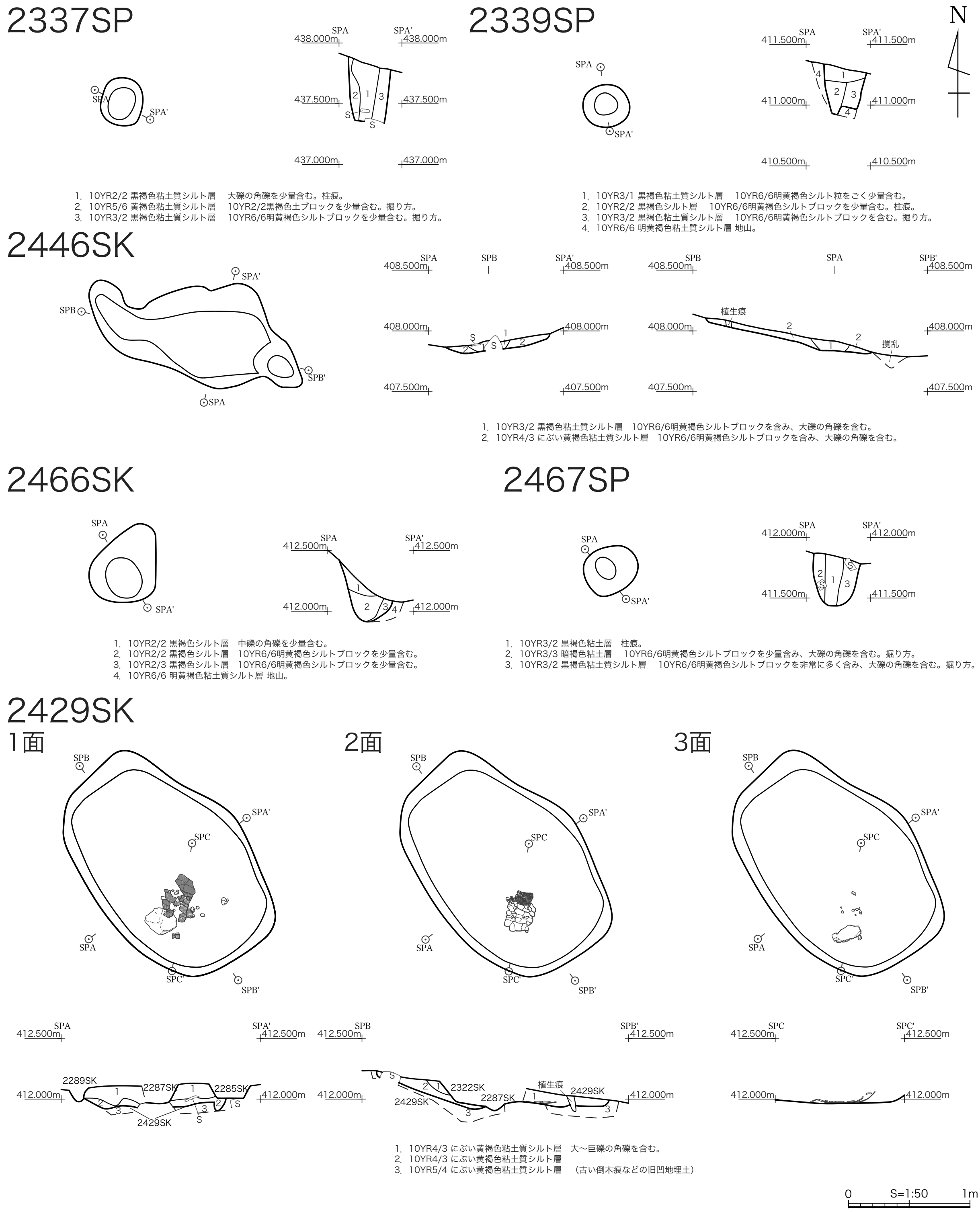


図 50　2337SP ～ 2429SK　S=1/50

第６節　炉跡

焼土・炭化物が多く堆積するものを炉跡とした。14 区で 1 箇所、19B 区で 2 箇所、19C 区で 2 箇所が確認された。

14区 013SL　3930 グリッドに位置する直径約 1.0m の不整円形の炉跡で、竪穴状遺構 043SI の内部に位置する。縄文時代後期の深鉢の破片が出土するが、付近で碗型鉄滓や炭化物が出土し、043SI 床面で山茶碗が出土することから、13 世紀前葉の鍛冶遺構としての性格が想定される。

１０５ＳＬ　3528･3529 グリッドを中心に位置する、約 3.4m×3.0m の範囲に広がる炉跡群である。310SB・320SB・330SB と同一の平坦面にあり、それらに挟まれるように位置する。掘り込みは 7 回分確認でき、重なり合って繰り返し掘り込まれている。それぞれ 105SL-1~7 として示した。全て埋土に炭化物、焼土を含み、一部には被熱痕を残す礫も多く含まれるが、炉の構造として据えられた様子は確認できない。出土遺物は古いもので大窯期の陶器、新しいもので近代の磁器が含まれるが、大半は連房式期、特に第 8 ～ 11 小期に比定されるものが多い。また、各掘り込みごとの出土遺物に明確な時期差は見られない。被熱による地山の硬化面などが確認できず、付近に併行する時期の建物跡が見つかっていることを考慮すると、炉跡ではなく焼土・炭化物を含む廃棄土坑と考えることも可能である。

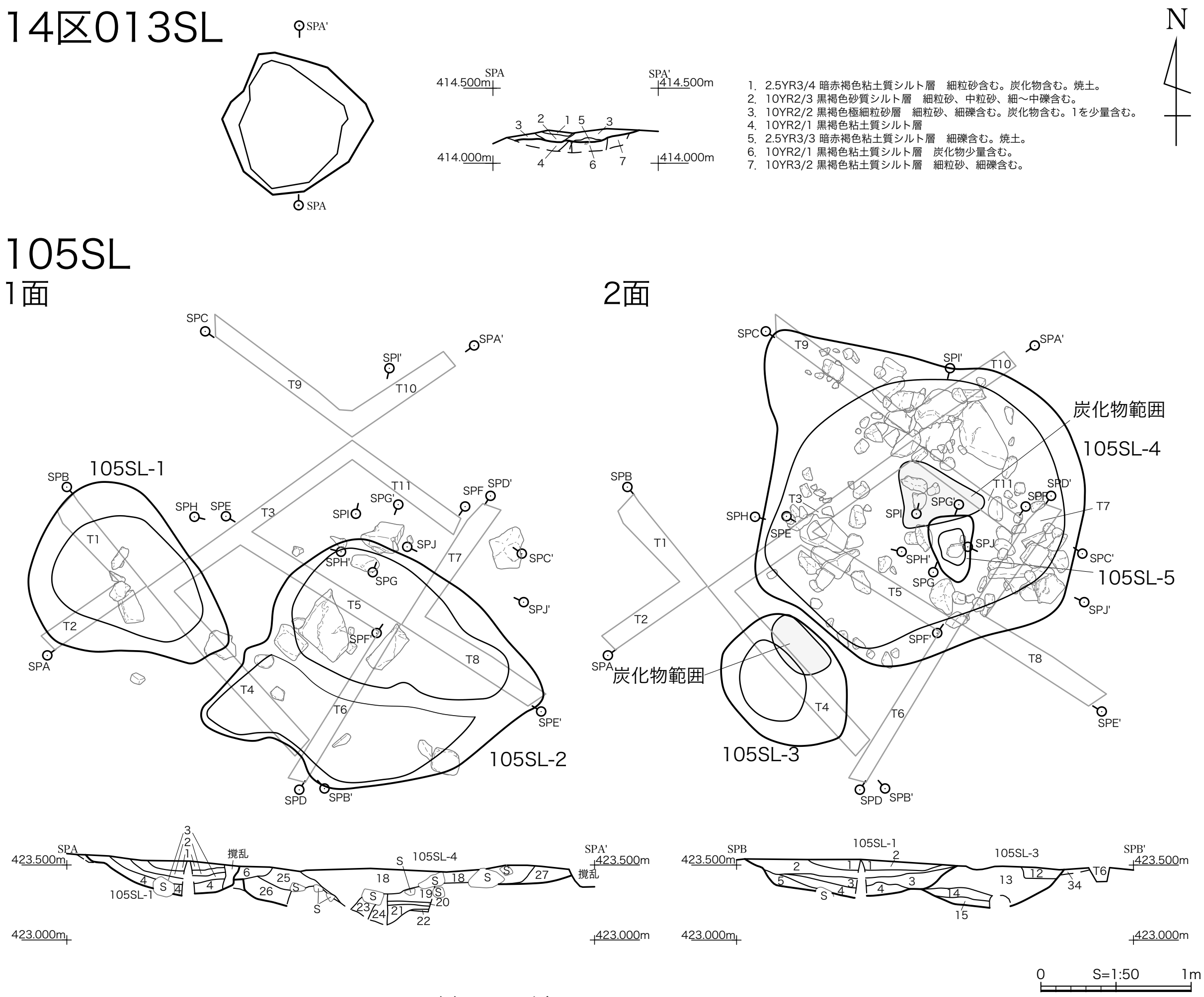
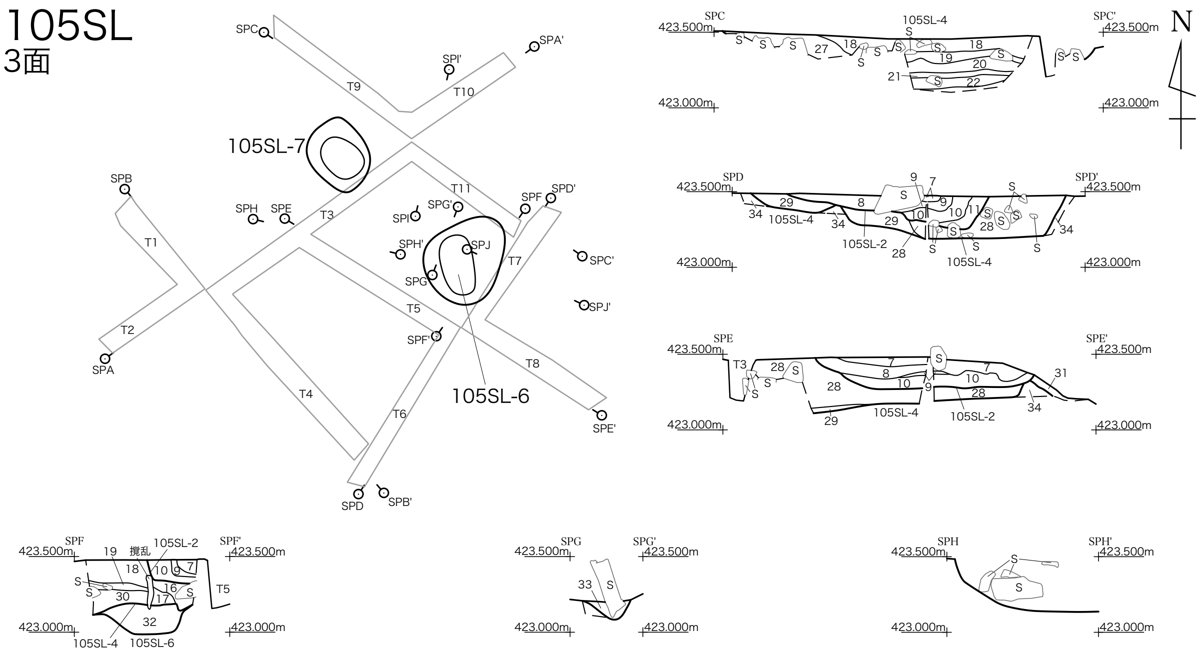
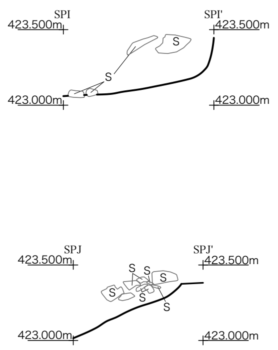


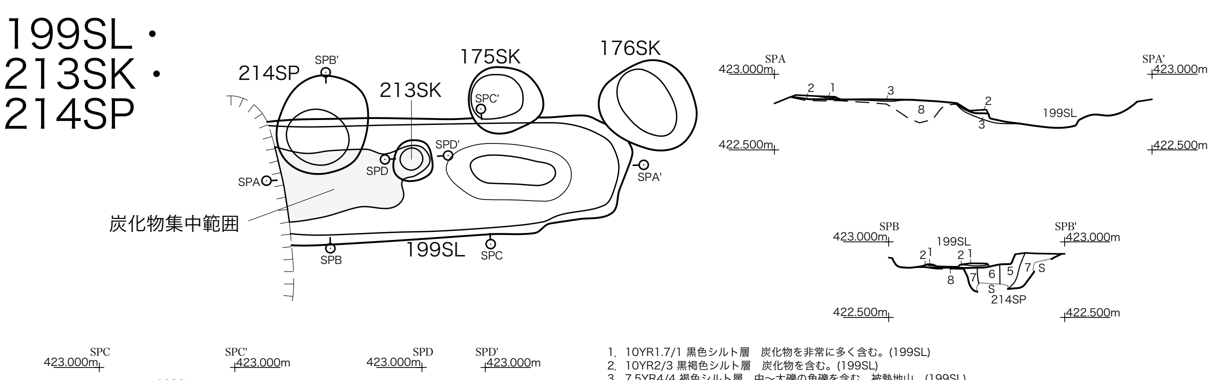
図 51　14 区 013SL、105SL(1)　S=1/50

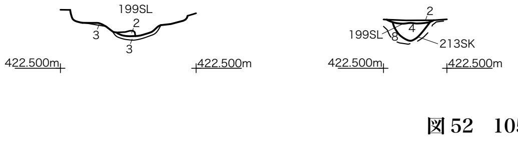
１９９ＳＬ　4127グリッドに位置する、長軸2.3m以上、短軸約0.8mの隅丸長方形の炉跡である。19B区南端部の平坦面に位置し、土坑213SK、柱穴214SPを壊して掘り込まれる。底部は平坦で、東寄りを１段深く掘り下げる。炭化物が広範囲に遺存し、特に西側に集中する。床面では被熱痕が確認できる。出土遺物がないため帰属時期は不明である。





1. 10YR3/4 極細粒砂質シルト層　5Y4/8赤褐色土ブロックを少量含み、　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。炭化物を含む。（105SL-1）
2. 7.5YR3/4 暗褐色極細粒砂層　5YR4/8赤褐色土ブロックを含み、10YR3/3暗褐色土ブロックを少量含み、大礫の角礫を少量含む。（105SL-1）
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色極細粒砂質シルト層　大礫の角礫を含む。（105SL-1）
4. 5YR4/4 にぶい赤褐色極細粒砂質シルト層　7.5YR3/2黒褐色土ブロックを少量含む。炭化物を少量含む。（105SL-1）
5. 7.5YR4/3 褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。（105SL-1）
6. 10YR4/3 にぶい黄褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含む。炭化物を含む。
7. 7.5YR4/4 褐色極細粒砂質シルト層　5YR4/4にぶい赤褐色土ブロックを少量含む。炭化物を含む。（105SL-2）
8. 10YR4/6 褐色シルト層　5YR4/4にぶい赤褐色土ブロックを含み、　10YR3/3暗褐色土ブロックを少量含み、10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。（105SL-2）
9. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。（105SL-2）
10. 5YR3/6 暗赤褐色極細粒砂質シルト層　10YR4/4褐色土ブロックを含み、中礫の角礫を含む。（105SL-2）
11. 7.5YR4/4 褐色極細粒砂質シルト層　5YR4/4にぶい赤褐色土ブロックを含む。（105SL-2）
12. 5YR4/8 赤褐色極細粒砂層　10YR4/3にぶい黄褐色土ブロックを少量含む。（105SL-3）
13. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。炭化物を少量含む。（105SL-3）
14. 5YR4/4 にぶい赤褐色極細粒砂質シルト層　（105SL-3）
15. 10YR5/6 黄褐色シルト層　10YR3/2黒褐色土ブロックを含む。（105SL-3）
16. 7.5YR4/4 褐色極細粒砂質シルト層　5YR4/4にぶい赤褐色土ブロックを含む。（105SL-4）
17. 10YR4/6 褐色シルト層　5YR4/4にぶい赤褐色土ブロックを含み、中礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。（105SL-4）
18. 10YR4/4 褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大～巨礫の角礫・亜円礫を含む。炭化物を含む。（105SL-4）
19. 10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大礫の角礫を含む。（105SL-4）
20. 10YR4/6 褐色シルト層　5YR4/4にぶい赤褐色土ブロックを含み、中礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。（105SL-4）
21. 7.5YR3/2 黒褐色極細粒砂質シルト層　炭化物を多く含む。（105SL-4）
22. 5YR4/4 にぶい赤褐色極細粒砂質シルト層　大礫の角礫を含む。（105SL-4）
23. 10YR3/3 暗褐色シルト層　7.5YR4/6褐色土ブロックを少量含み、　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。（105SL-4）
24. 10YR4/4 褐色極細粒砂質シルト層　5YR4/4にぶい赤褐色土ブロックを少量含む。炭化物を少量含む。（105SL-4）
25. 7.5YR4/4 褐色極細粒砂質シルト層　5YR4/4にぶい赤褐色土ブロックを少量含み、
10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を多く含む。炭化物を少量含む。（105SL-4）
26. 5YR4/4 にぶい赤褐色シルト層　（105SL-4）
27. 7.5YR4/4 褐色極細粒砂質シルト層　大礫の角礫を含む。（105SL-4）
28. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層　5YR4/6赤褐色土粒をごく少量含み、　10YR2/2黒褐色土ブロックを少量含み、10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。（105SL-4）
29. 5YR4/4 にぶい赤褐色粘土質シルト層　炭化物を含む。（105SL-4）
30. 10YR4/6 褐色シルト層　5YR4/4にぶい赤褐色土ブロックを含み、中礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。（105SL-4）
31. 10YR3/4 暗褐色シルト層　7.5YR4/4褐色土ブロックを含み、10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を含む。
32. 10YR4/4 褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。（105SL-6）
33. 10YR4/4 褐色細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。炭化物を少量含む。（105SL-5）
34. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　地山。





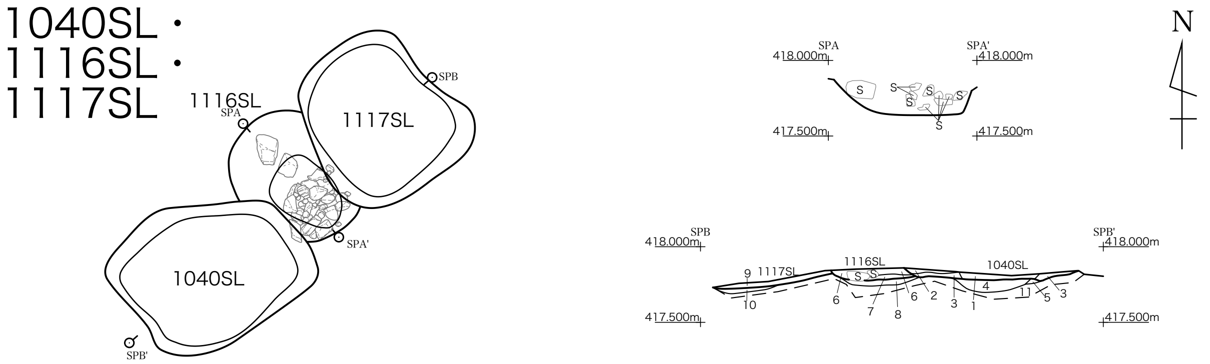
1. 10YR1.7/1 黒色シルト層　炭化物を非常に多く含む。(199SL)
2. 10YR2/3 黒褐色シルト層　炭化物を含む。(199SL)
3. 7.5YR4/4 褐色シルト層　中～大礫の角礫を含む。被熱地山。(199SL)
4. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。(213SK)
5. 10YR3/2 黒褐色シルト層　細礫を少量含む。植生痕か。(214SP)
6. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を含む。柱痕。(214SP)
7. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、細礫を少量含む。掘り方。(214
8. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層　地山。

図52　105SL(2)・199SL　S=1/50

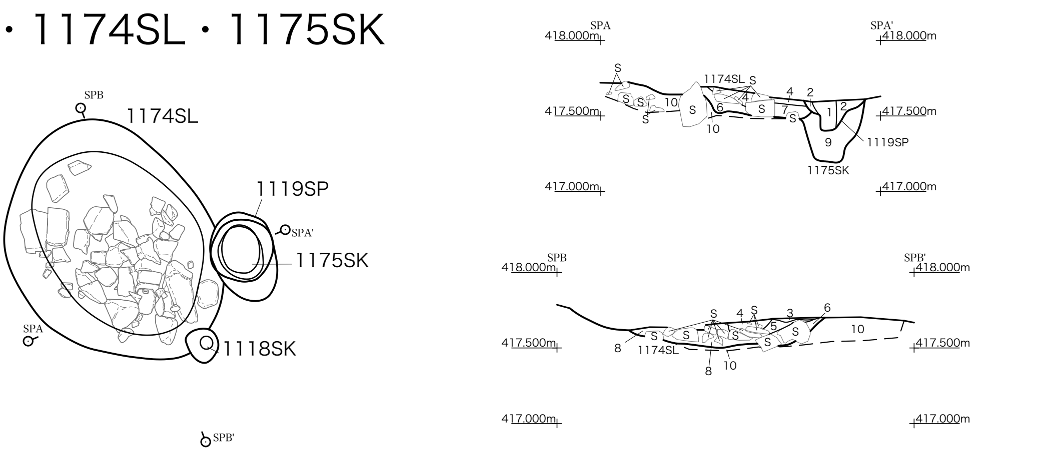
0　S=1:50　1m

１０４０ＳＬ 3134 グリッドに位置する、３基が切りあった炉跡群である。それぞれ約 1.2×1.0m、
１１１６ＳＬ 約 0.9×0.8m、約 1.1×1.0m と似通った規模を持ち、平面形状は不整円形から隅丸方形
１１１７ＳＬ である。３基とも炭化物の堆積と被熱によると思われる硬化面が確認されており、３基の中で最も古い 1116SL では礫がまとまって出土する。1040SL から鉄製品が出土することから、鍛冶遺構とも考えうる。出土遺物はないため時期は不明であるが、周辺の遺構から中近世のものと考えられる。

１１７４ＳＬ 3134 グリッド、1117SL の北東に位置する、長軸 1.7m、短軸 1.3m の楕円形の炉跡である。1040SL から４基が連なる形となり、土坑 1175SK を破壊して掘り込み、埋没後に柱穴 1119SP が上から掘り込まれる。被熱痕のある礫がまとまって出土するが、被熱による硬化面などは確認できない。1040SL 等と同様に出土遺物はないものの、同じく中近世の遺構と考えられる。



1．10YR5/4 にぶい黄褐色極細粒砂質シルト層　10YR2/1黒色土ブロックを少量含む。炭化物を少量含む。（1040SL）
2．10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含み、中礫の角礫を少量含む。（1040SL）
3．10YR4/3 にぶい黄褐色シルト層　炭化物を少量含む。（1040SL）
4．5YR5/6 明赤褐色極細粒砂質シルト層　中礫の角礫を含む。焼けた地山か。
5．10YR4/4 褐色シルト層　大礫の角礫を含む。
6．10YR3/3 暗褐色シルト層　中～大礫の角礫を多く含む。（1116SL）
7．10YR6/3 にぶい黄燈色シルト層　（1116SL）
8．5YR4/6 赤褐色極細粒砂質シルト層　中～大礫の角礫を含む。焼けた地山か。
9．10YR2/2 黒褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト粒を少量含む。（1117SL）
10．7.5YR4/6 褐色極細粒砂質シルト層　焼けた地山か。
11．10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト層 地山。



1．10YR2/1 黒色シルト層　5YR5/8明赤褐色土ブロックをごく少量含み、10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを含む。柱痕。（1119SP）
2．10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR2/1黒色土ブロックをごく少量含み、10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を少量含む。掘り方。（1119SP）
3．7.5YR4/4 褐色シルト層　5YR4/8赤褐色土ブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。（1174SL）
4．10YR2/2 黒褐色シルト層　2.5YR4/6赤褐色土ブロックを含み、10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを多く含み、大～巨礫の角礫を多く含む。（1174SL）
5．10YR4/6 褐色極細粒砂質シルト層　5YR5/8明赤褐色土ブロックを少量含み、10YR1.7/1黒色土ブロックを少量含み、大礫の角礫を多く含む。（1174SL）
6．10YR2/2 黒褐色シルト層　大～巨礫の角礫を多く含む。（1174SL）
7．10YR4/4 褐色シルト層　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、大礫の角礫を多く含む。（1174SL）
8．2.5YR5/8 明赤褐色シルト層　大礫の角礫を多く含む。（1174SL）
9．10YR6/3 にぶい黄橙粘土層　10YR2/1黒色粘土を斑状に含み、径1㎝ほどの角礫を含む。（1175SK）
10．10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト層 地山。

図 53　1040SL ～ 1174SL　S=1/50

0　S=1:50　1m

第７節　井戸跡

1　4　区　14 区では、調査区北西部に 6 基が確認された。南東に向けて傾斜する谷地形の凹部に位置しており、湧水しやすい地点に掘られたものと思われる。構造は全て素掘りで、出土遺物はなく時期は不明である。

14区 058SE　3929 グリッドに位置する直径約 0.9m、深さ 0.7m 以上の井戸跡である。上層には砂、下層には粘土が堆積する。

14区 059SE　3930 グリッドに位置する直径約 0.9m、深さ 0.1m 以上の井戸跡である。

14区 060SE　4030 グリッドに位置する直径約 0.9m、深さ 0.5m 以上の井戸跡である。上層には砂、下層には粘土が堆積し、鉄分の沈着が多く見られる。

14区 061SE　3930 グリッドに位置する直径約 1.0m、深さ 0.4m 以上の井戸跡である。下部がやや袋状に広がる構造を持つ。

14区 327SE　4030 グリッドに位置する直径約 1.0m、深さ 1.2m 以上の井戸跡である。堆積は粘土質土が中心で、底部に向かって徐々に径が狭まる。

14区 328SE　4030 グリッドに位置する直径約 0.7m、深さ 0.8m 以上の井戸跡である。堆積状況、構造など 327SE との類似点が多い。

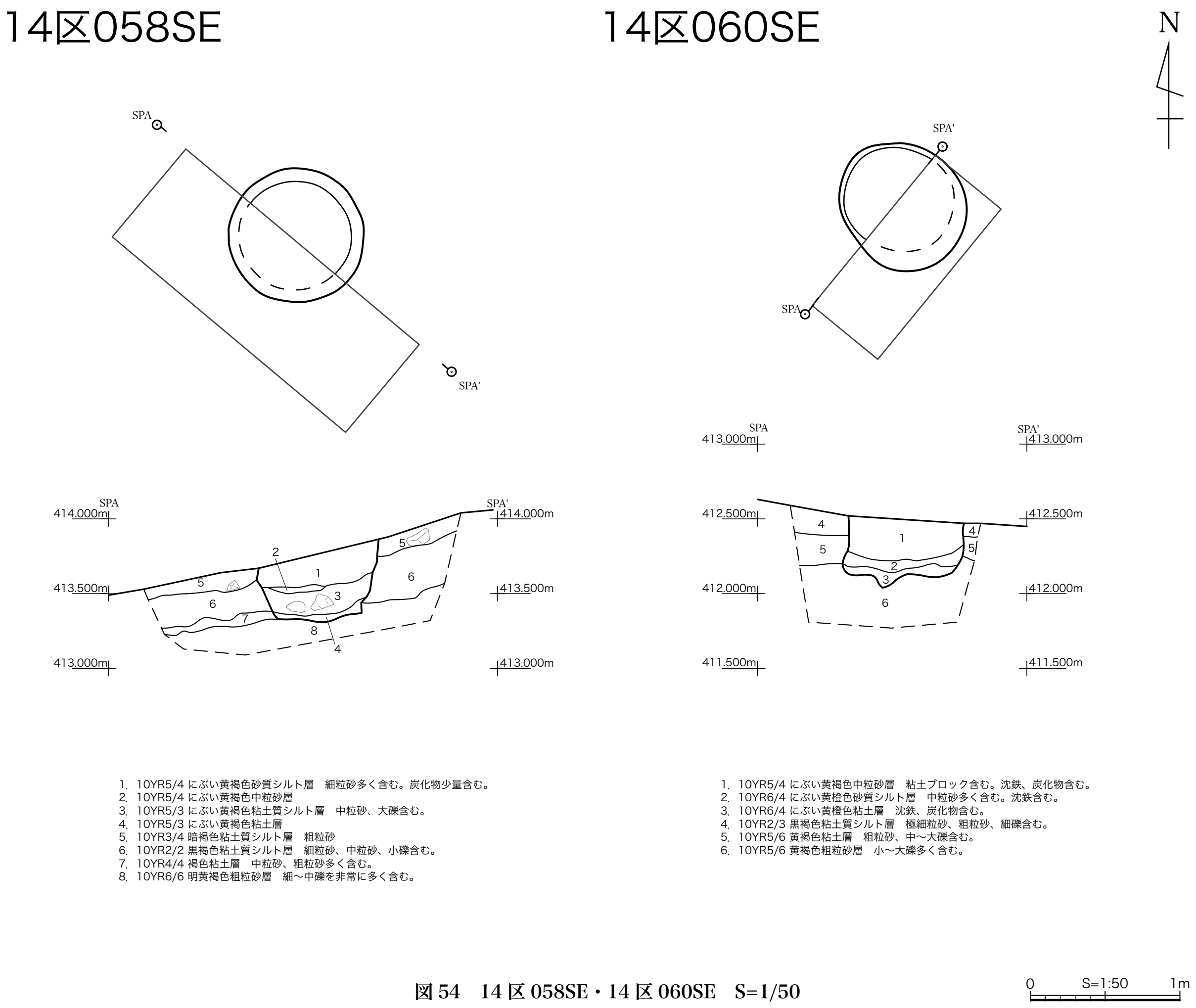


図 54　14 区 058SE・14 区 060SE　S=1/50

１９Ｂ区　令和元年度調査で検出された井戸は３基で、全て 19B 区に所在する。

１８１ＳＥ　4027 グリッドの谷地形斜面部に位置する、最大径約 1.4m、深さ 0.8m 以上の不整円形の素掘り井戸である。出土遺物がないため時期は不明である。

２１２ＳＥ　4027 グリッド、谷地形斜面部の傾斜の緩く平場状になった一角に位置する、長径約 1.4m、短径約 1.2m、深さ 1.7m 以上の楕円形の井戸である。構造は上下３段に分かれ、上段はマツ属複維管束亜属の板材を立てて円形に並べ、少なくとも１条の箍で固定していたことが痕跡から確認できる。また、北東側では板材の外側に裏込めのように礫を詰めた様子が観察できる。中段は礫を円形に積み上げるもので、最上部は上段の板材を据

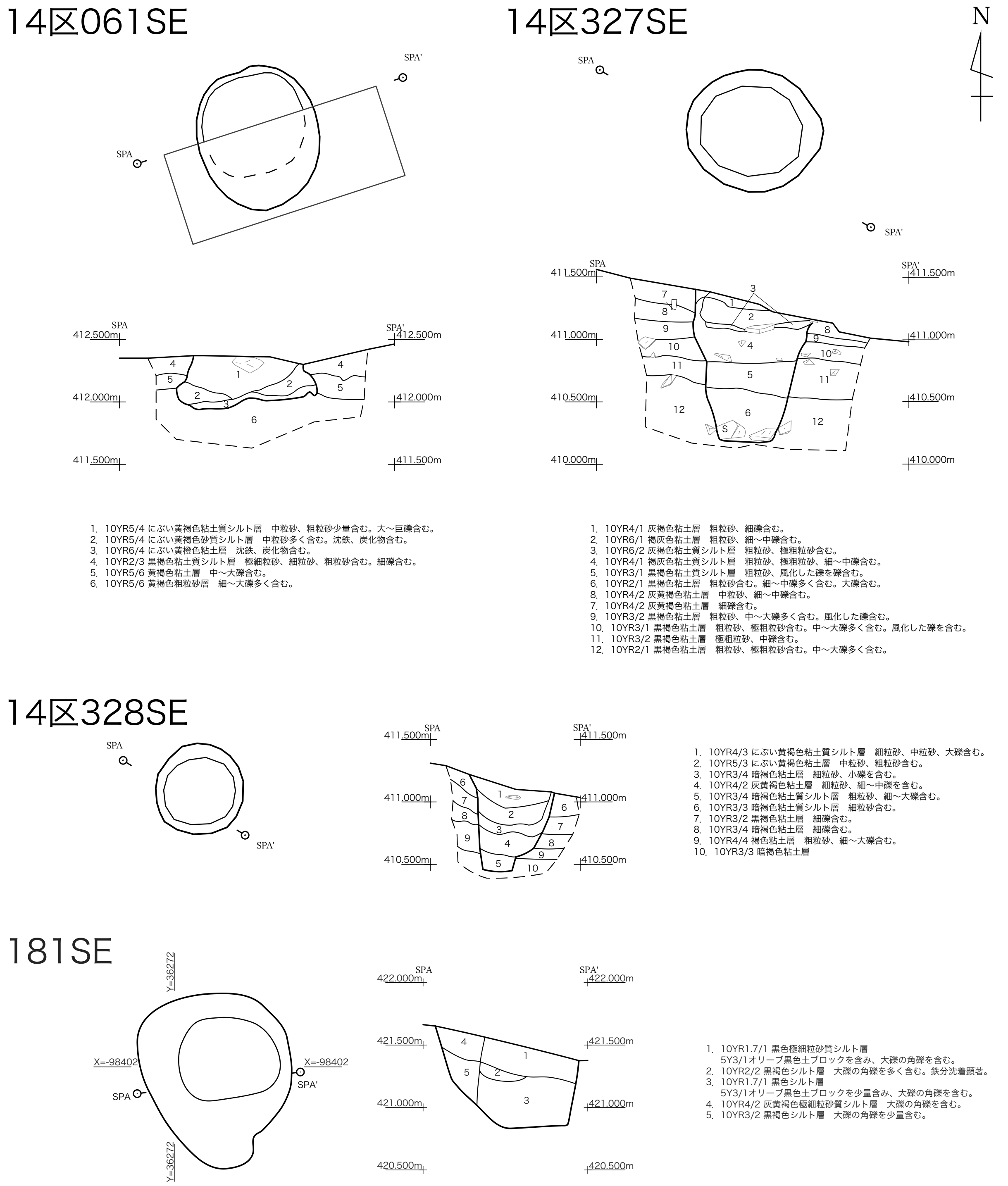


図 55　14 区 061SE ～ 14 区 328SE、181SE　S=1/50

0　S=1:50　1m

えるため、上面が平滑な礫が選択されている。下段は加工したカエデ属の丸太材を方形に組む。出土遺物には江戸時代前半と思われる水滴があるが、連房式第７小期に比定される尾呂茶碗やそれ以後の時期の仏餉具が含まれるため、廃絶時期は江戸後期と考えられる。

２２２ＳＥ　3727グリッドの谷地形の中心部近くに位置する、直径約1.6m、深さ5.0m以上の円形の素掘り井戸である。出土遺物がなく、また他の井戸と比べて深すぎるため、井戸ではないか、または近現代に属する掘り込みである可能性も考えられる。

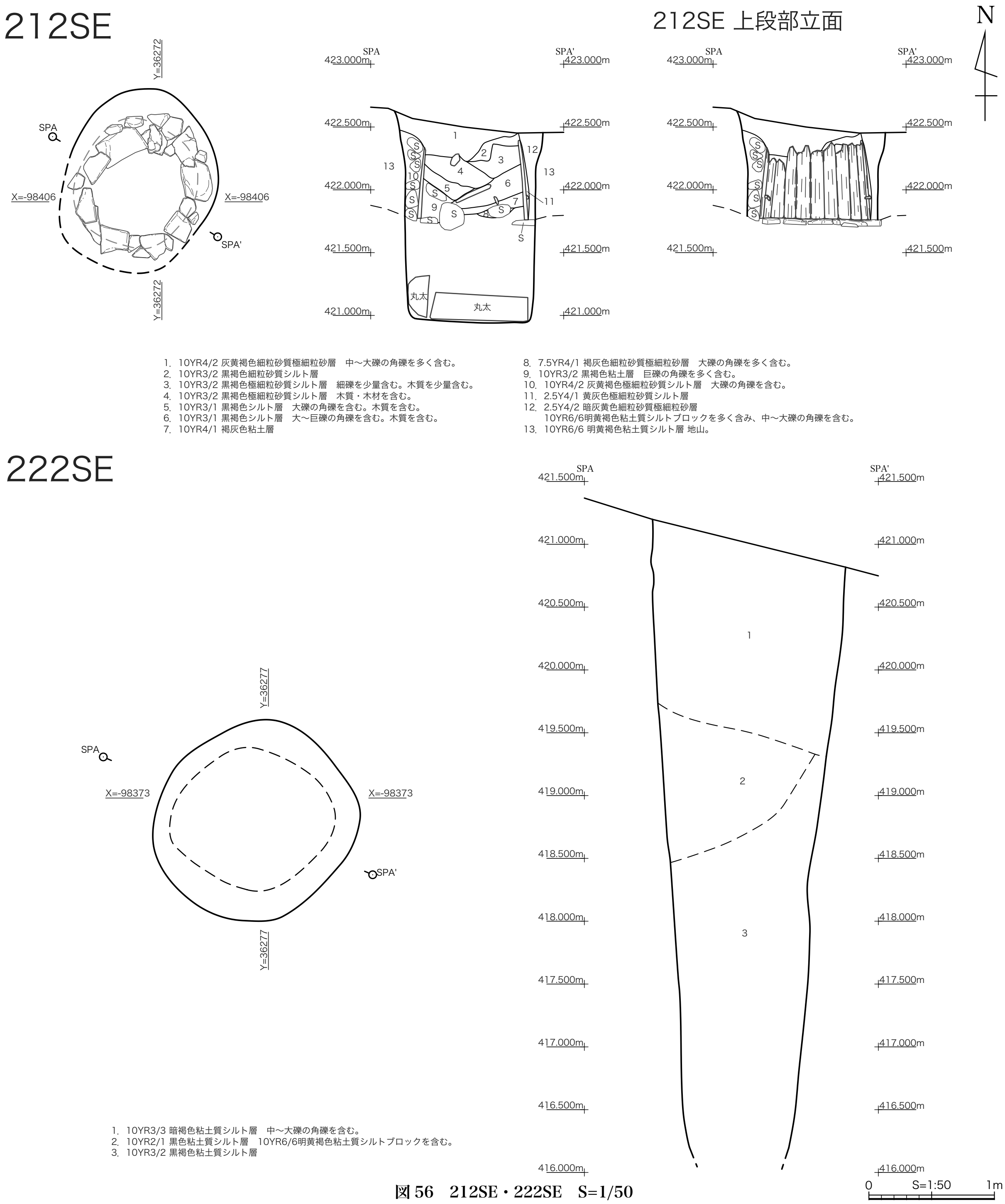


図56　212SE・222SE　S=1/50

第８節　土葬土坑墓

１　９　Ａ　区　万瀬遺跡では 19A 区で土葬土坑墓が４基確認されている。構造上の特徴としては隅丸方形または隅丸長方形の平面形、床面がほぼ平坦であることが挙げられ、出土遺物には副葬品と考えられる銭貨、煙管が含まれる。焼土・炭化物など火葬を思わせる特徴は見られず、棺の類に関しても痕跡は確認されていない。

２１７８ＳＺ　3833 グリッドに位置する長軸約 1.1m、短軸約 0.6m の隅丸長方形の土葬土坑墓である。出土遺物は北宋銭のみで、帰属時期は中世となる。

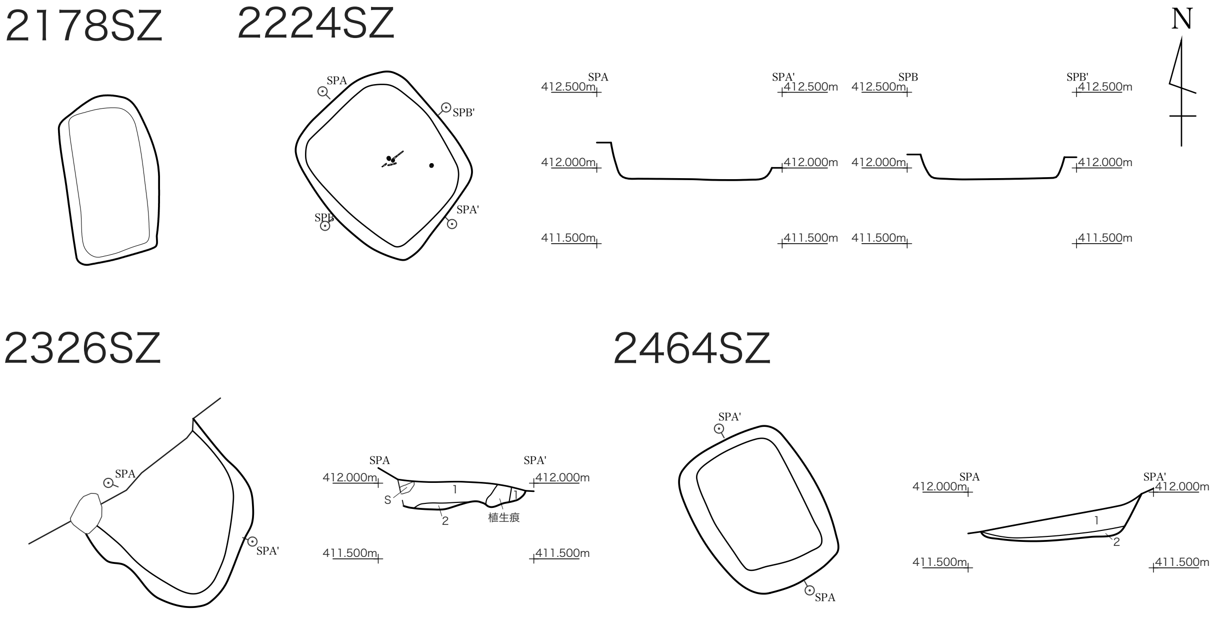
２２２４ＳＺ　3831・3832 グリッドにまたがって位置する、長軸約 1.0m、短軸約 1.0m の隅丸方形の土葬土坑墓である。床面上、中央部付近で煙管と銭貨、やや東に離れた位置で銭貨が出土しており、出土する銭貨から時期は 18 世紀以降と考えられる。

２３２６ＳＺ　3435 グリッドに位置する長軸 1.0m、短軸 0.9m 以上の不整形の土葬土坑墓である。床面上およびやや浮いた位置で銭貨が出土しており、時期は 18 世紀以降と考えられる。

　なお、南西に隣接する 2333SK は 2326SZ と形状・規模が類似しているものの、副葬品類の出土が確認できなかったため単純な土坑とした。

２４６４ＳＺ　3435 グリッドに位置する長軸 1.1m、短軸 0.8m の隅丸方形の土葬土坑墓である。床面上で煙管の雁首・羅宇部が出土する。

　2464SZ の東に位置する 2465SD では煙管吸口部が出土しており、2464SD の雁首・吸口部と組み合う可能性がある。あるいは、2465SD に破壊されている 2373SK が土葬土坑墓であった可能性も考えられる。



1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを少量含み、中礫の角礫を少量含む。
2. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト層

1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルト粒を少量含み、大礫の角礫を含む。
2. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色シルトブロックを非常に多く含み、中礫の角礫を含む。

図 57　2224SZ ～ 2464SZ　S=1/50

0　S=1:50　1m

第９節　その他の遺構・自然地形

14区001SX～006SX

3930グリッドを中心に、東西約12.8m、南北約9.8mの範囲に広がる集石遺構である。礫の分布には一定のまとまりが見られるため、それぞれ001SX～006SXとし、001SXはさらに001SX-1～3に細分した。礫は大部分が角礫で、最下部では敲打痕・被熱痕のある礫も確認されている。縄文時代後期中葉から後期末を中心とした土器や磨石・敲石類、打製石斧がまとまって出土しており、特に001SXの範囲に集中する。下層から

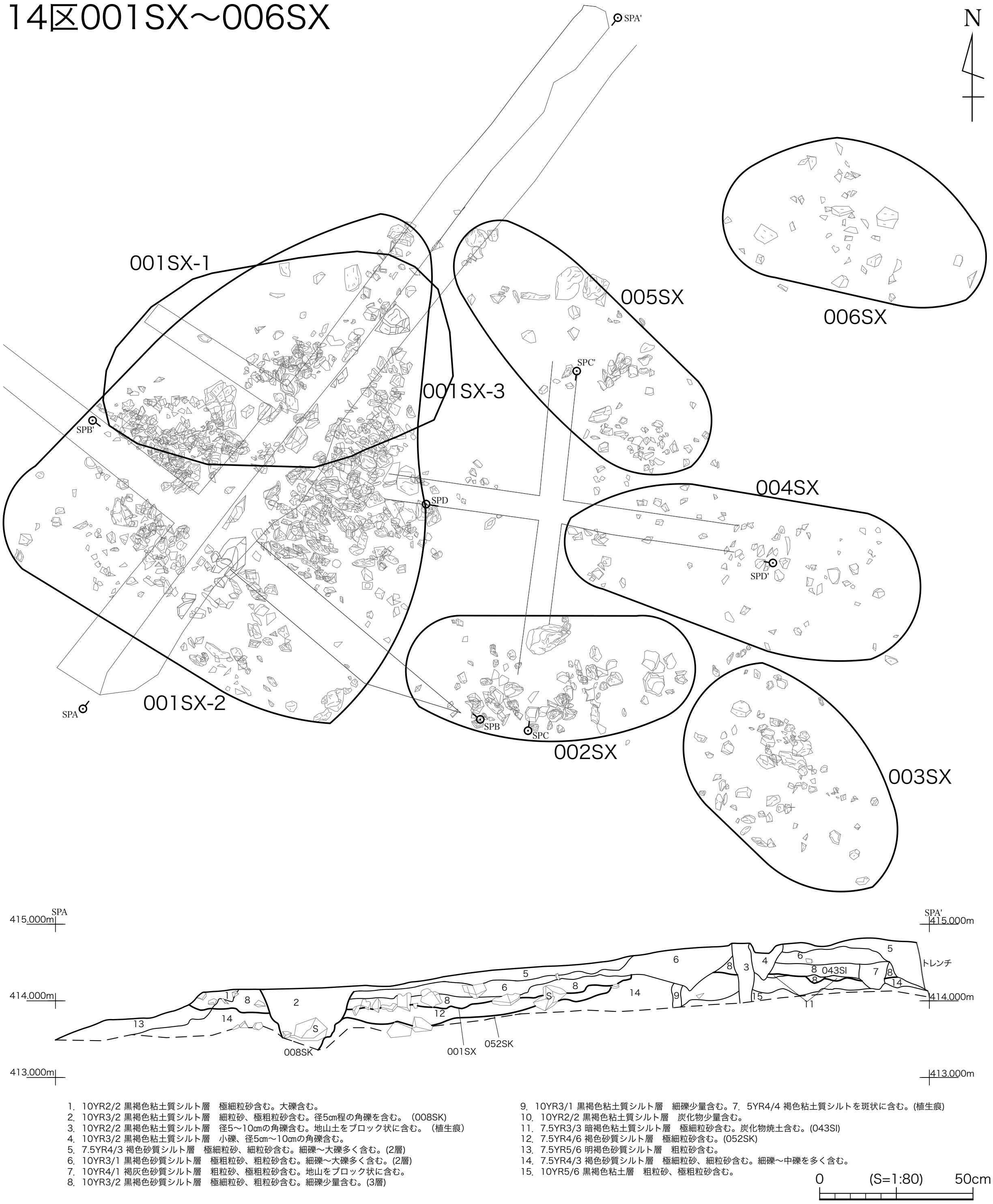


図58　14区001SX～14区006SX(1)　S=1/80

中世以降の遺構が検出されるため、遺構としての帰属時期は中世以降となり、礫については不要な石材などをまとめて廃棄したものと推測される。

14区 009SI 3930グリッドに位置する長軸約2.0m、短軸1.0m以上の隅丸方形の竪穴状遺構で、出土遺物はない。埋没後に掘り込まれる046SKから縄文時代晩期の深鉢片が出土するが、001～006SXと同様に二次堆積の可能性があり、正確な帰属時期は不明である。

14区 043SI 3930グリッドを中心に広がる、緩斜面を削平して作られた規模2.2m以上×約3.0mの竪穴状の平坦面である。南端部に鍛冶遺構と考えられる炉跡013SLがあり、その作業場としての性格が考えられる。床面上で山茶碗が出土しており、13世紀前葉に位置づけられる。

074SK・075SD 3528・3529グリッドに位置する土坑と溝が切りあった遺構である。19B区中央部の平坦面の南端に当たり、075SDの方位は310SB、330SB、340SAと平行する。074SKの埋没後、075SDが上から掘り込まれており、両者の埋土の境から連房式第4・5小期の筒型香炉が2個体出土する。

017SX 3429グリッドに位置する長径約2.5m、短径約1.3mの不整形の大型土坑であり、中央部に多量の角礫が詰められている。礫に被熱の痕跡はない。出土遺物がないため時期は不明であるが、隣接する310SBや同一の平坦面に展開する他の遺構の時期から近世の遺構と考えられる。

031SX・032SX 3329グリッドに位置する2基の大型土坑が切りあった遺構で、19B区中央部の平坦面の北西端に当たり、031SXの長軸の方位が310SB、340SA等と直交する。出土遺物から時期は18世紀後葉以降と考えられる。

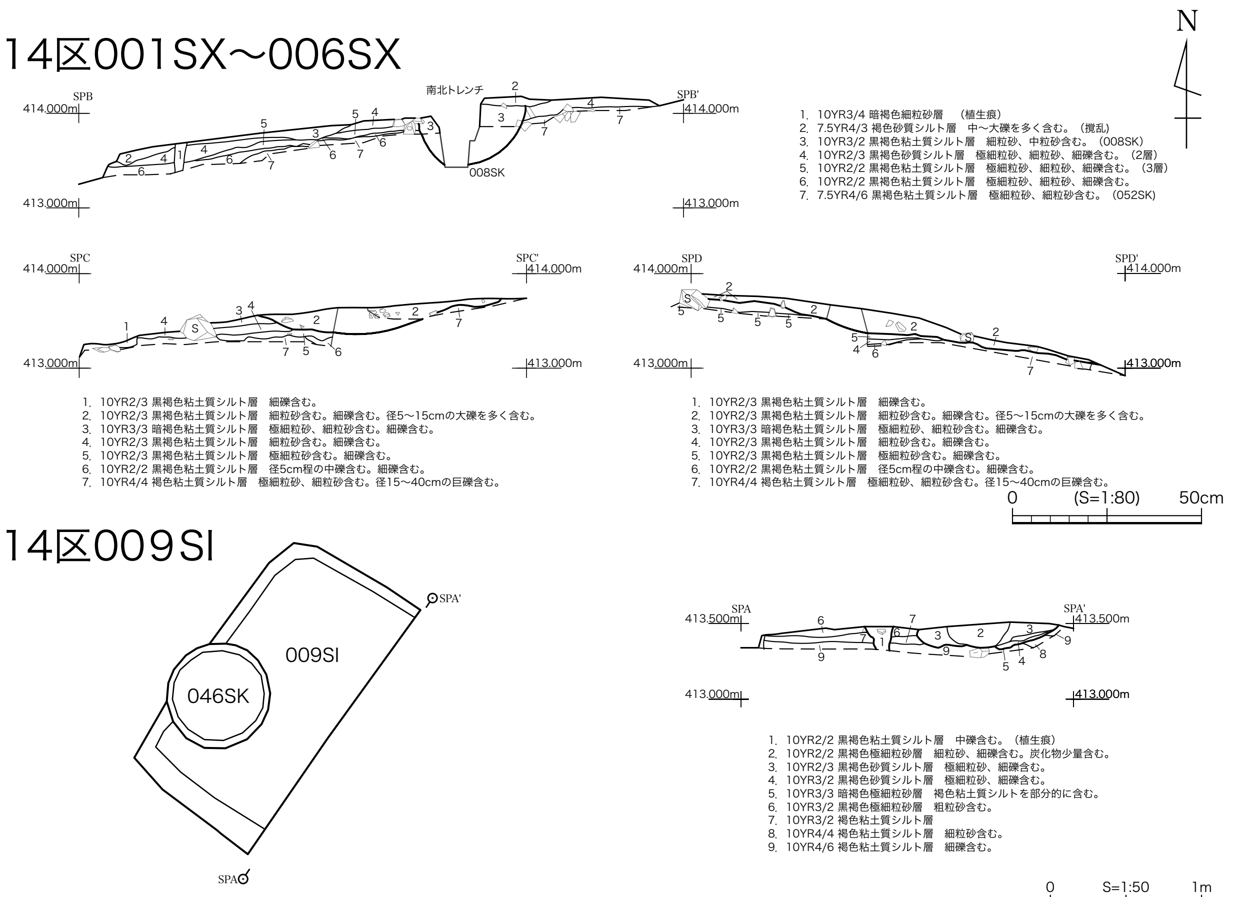
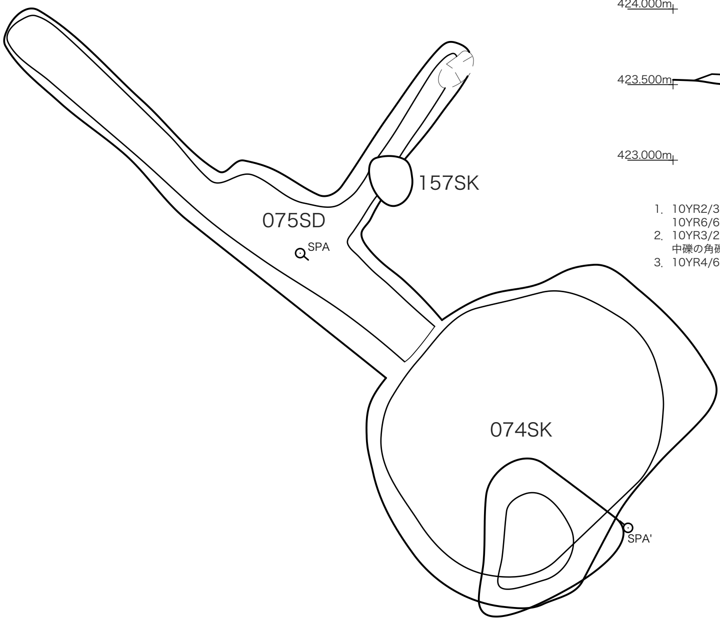
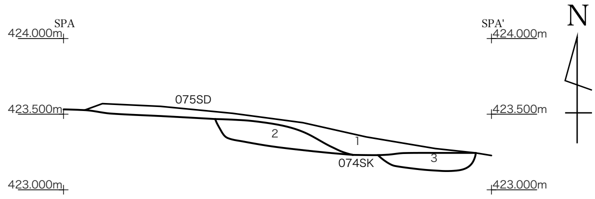


図59 14区001SX～14区006SX(2)、14区009SI S=1/50,1/80

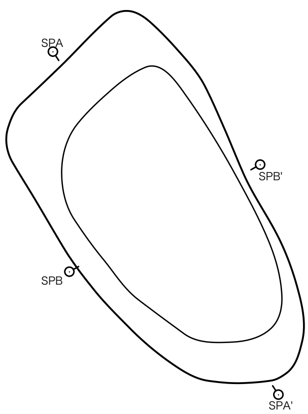
074SK・075SD

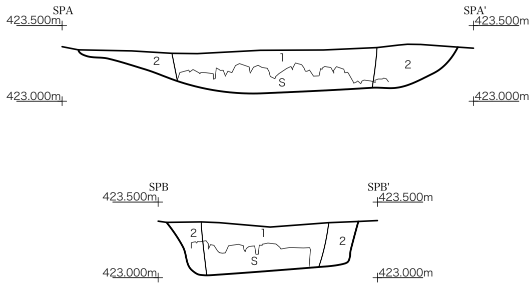




1. 10YR2/3 黒褐色シルト層
　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中～大礫の角礫を含む。（075SD）
2. 10YR3/2 黒褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒～ブロックを含み、
　中礫の角礫を含み、大礫の角礫を多く含む。（074SK）
3. 10YR4/6 褐色シルト層　10YR3/3暗褐色土ブロックを含み、中礫の角礫を含む。（074SK）

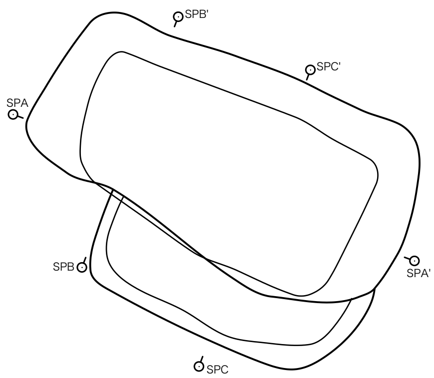
017SX

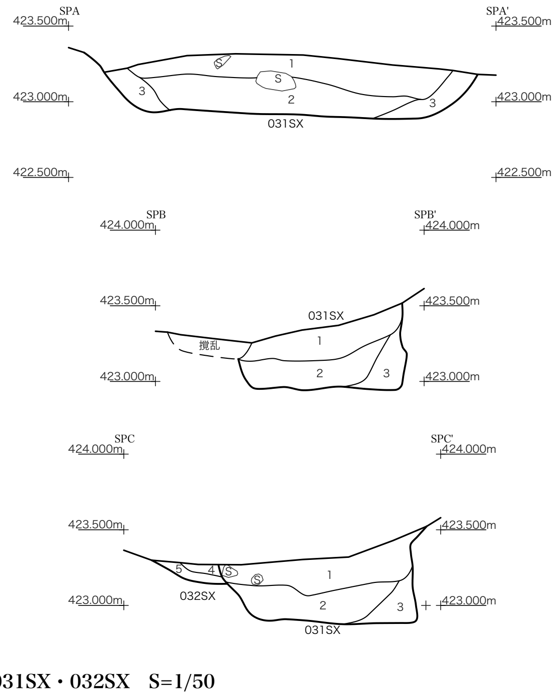




1. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　中～大礫の角礫を含む。
2. 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含み、中～大礫の角礫を含む。

031SX・032SX





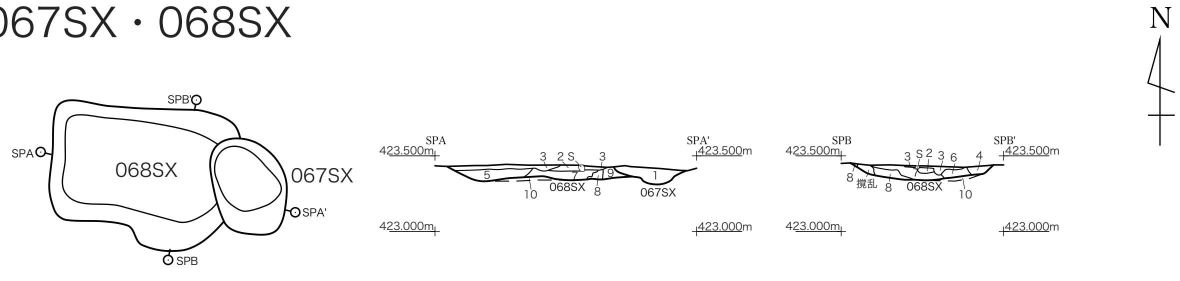
1. 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層　中～大礫の角礫を含む。（031SX）
2. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を少量含み、中～大礫の角礫を含む。（031SX）
3. 10YR2/3 黒褐色粘土質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルト粒を含む。（031SX）
4. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む。（032SX）
5. 10YR3/3 暗褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含む。（032SX）

図 60　075SD・017SX・031SX・032SX　S=1/50

０８１ＮＲ　3627 から 3829 グリッドにわたって流れる谷地形である。位置関係上、14 区を北西から南東へ流れる谷地形に接続するものと考えられる。平面図には堆積層の断面記録を行った地点付近を抜粋した。全体像は巻末調査区平面図を参照されたい。

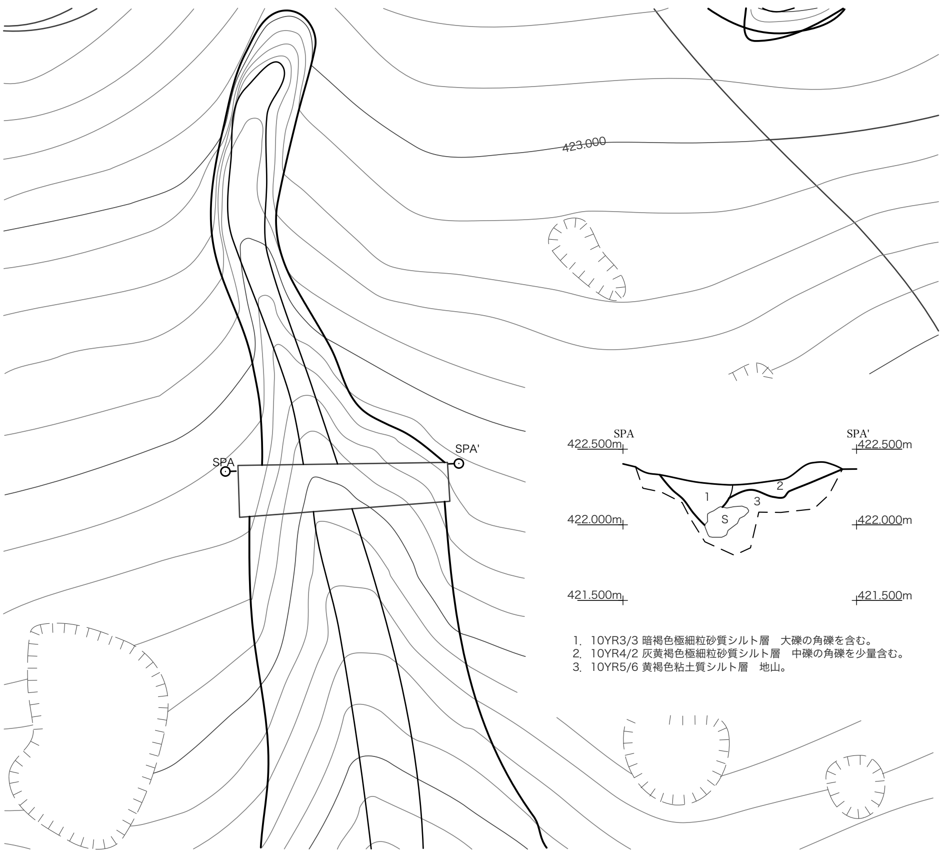
埋土には大量の礫とともに縄文時代晩期～弥生時代前期の土器片がまとまって含まれるが、連房式期の陶器も含まれるほか、14 区では中世以降の遺構を覆っていたことから、081NR は近世に埋没したものであり、土器については二次堆積によるものと考えられる。

067SX・068SX



1. 10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂質シルト層　炭化物を少量含む。焼土ブロックを少量含む。（067SX）
2. 7.5YR4/4 褐色シルト層　3層中にブロック状に入る層。（068SX）
3. 10YR2/2 黒褐色極細粒砂質シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを含み、大礫の角礫を含む。焼土ブロックを含む。2層をブロック状に含む。（068SX）
4. 7.5YR4/4 褐色シルト層　焼土ブロックを少量含む。（068SX）
5. 10YR3/4 暗褐色シルト層　中礫の角礫を含む。炭化物を少量含む。焼土ブロックを少量含む。（068SX）
6. 7.5YR4/6 褐色シルト層　焼土を含む。（068SX）
7. 10YR4/6 褐色シルト層　焼土ブロックを含む。（068SX）
8. 7.5YR4/4 褐色細～極細粒砂質シルト層　7.5YR5/8明褐色土ブロックを含む。焼土ブロックを含む。（068SX）
9. 10YR4/6 褐色シルト層　10YR6/6明黄褐色粘土質シルトブロックを多く含む。（068SX）
10. 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト層 地山。

081NR



1. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂質シルト層　大礫の角礫を含む。
2. 10YR4/2 灰黄褐色極細粒砂質シルト層　中礫の角礫を少量含む。
3. 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト層　地山。

図 61　067SX・068SX・081NR　S=1/50

２５００ＳＸ　19A 区北部、3434 グリッドから 3536 グリッドにかけて広がる、浅い自然の谷地形に形成された包含層である。出土遺物には土器、石器があり、土器は縄文時代草創期～早期前半のものがまとまって出土する。石器は石鏃、礫器、剥片・石核類、磨石・敲石類、石皿・台石類などがあり、下層では草創期に遡る有舌尖頭器と木葉形尖頭器が各 1 点出土した。土器の時期は 2500SX の北西に位置する竪穴建物群 1700 ～ 1740SI や 19C 区・19A 区に点在する炉穴と一致しており、それらの集落に対する捨て場として自然の谷地形を利用していた様子が想定できる。

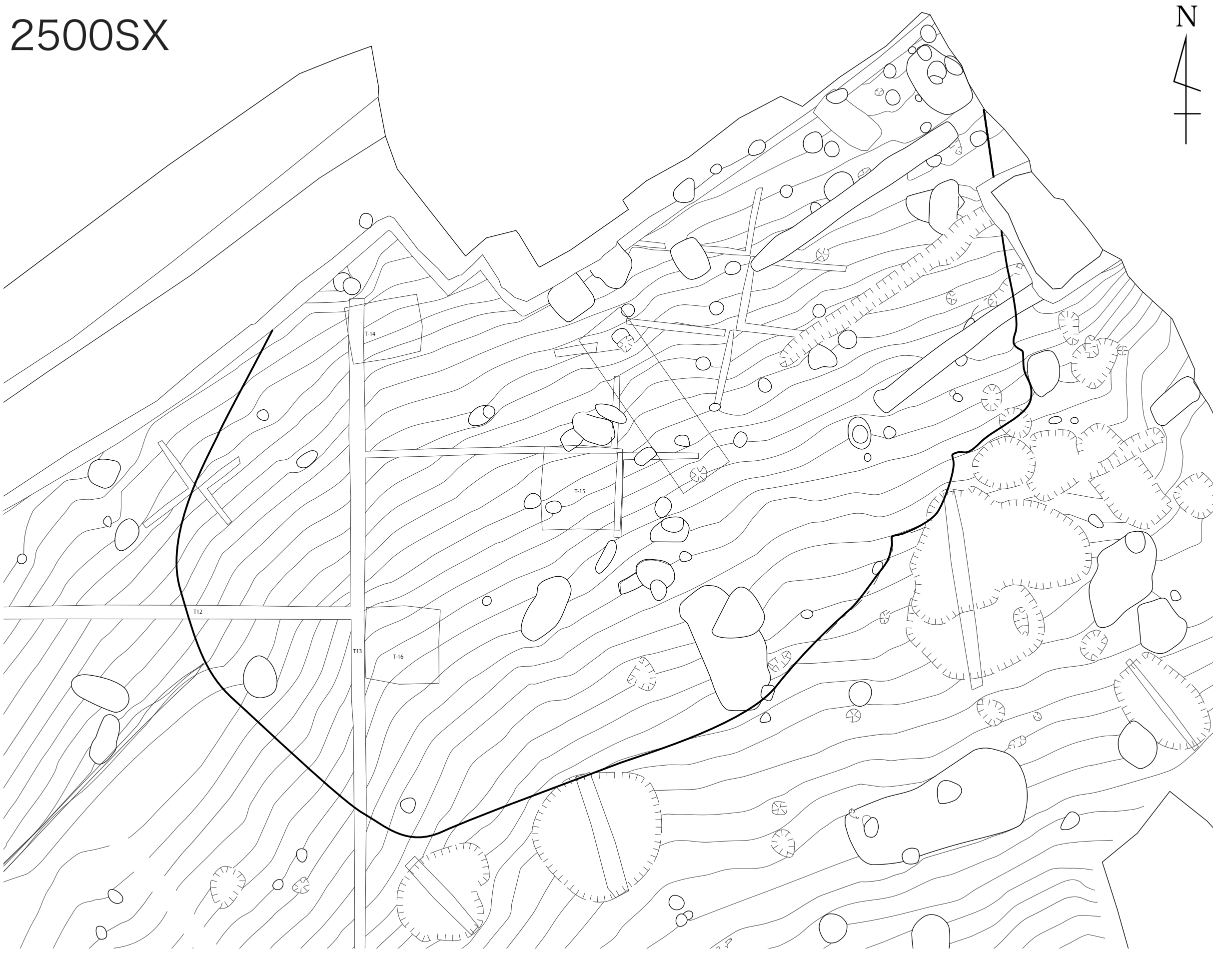


図 62　2500SX　S=1/200

第３章　遺物

第１節　土器

川添和暁

万瀬遺跡では、総計 900 点程度、総重量 8,930.5g の土器が出土している。第２章の各遺構で報告したように、14 区では縄文時代後期中葉・後期末、19B 区では縄文時代晩期～弥生時代前期、19A 区および 19C 区では縄文時代草創期～早期の土器がまとまって出土した。また、19B 区では土坑内から弥生時代後期の資料も出土している。

時期別に群分けをすると以下のようになる。遺物図面は、遺構順などの出土状況に基づく配列となっているため、出土時代・時期の様相は、表３を参照されたい。なお、破片数などの集計は、残存径 1cm 以上の資料を対象に実施した。

表３　万瀬遺跡出土縄文土器・弥生土器 分類群別一覧

群大別	群細別	総破片数	総重量(g)	図化資料番号（掲載番号）
第１群土器 縄文時代草創期～早期前半【深鉢もしくは鉢】	A　縄文施文土器 （表裏縄文・押捺縄文など）	6	1175.7	369・406・408・424・428・438
	B　ネガティブ押型文土器	48	314.9	371・372・373・374・375・376・377・378・379・380・381・382・383・385・386・391・392・393・394・395・396・397・403・404・407・409・410・411・412・413・414・415・416・417・418・419・420・421・436・437
	C　山形押型文土器	2	7.0	405・422
	D　ポジティブ押型文土器 （円・楕円）	1	23.4	367
	E　撚糸文土器	3	14.6	370・423・426
	F　その他土器１	4	207.0	398・399・400・401
	G　その他土器2	10	54.2	425・427・429・430・431・432
第２群土器　縄文時代早期後半【深鉢もしくは鉢】		2	8.7	402
第３群土器 縄文時代中期初頭および後半【深鉢もしくは鉢】	A　縄文時代中期初頭土器	2	16.6	301・302
	B　縄文時代中期後半土器	2	47.5	206・288
第４群土器 縄文時代後期前葉～中葉前半【深鉢もしくは鉢】	A　口縁部・胴部 有文土器	78	511.9	1・2・3・4・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17・18・19・20・21・22・23・24・25・26・ 27・102・105・125・126・127・128・130・131・132・168・174・179・180・184・185・186・187・188・189・190・191・192・193・194・195・196・197・198・199・200・201・202・263・264・298・303・304・305・384・435
	B　口縁部・胴部 地文・調整痕のみの土器 （いわゆる無文土器）	203	1184.0	28・29・30・31・32・33・34・35・36・37・38・39・40・41・42・43・44・46・47・48・49・50・51・52・53・54・55・56・57・58・59・60・62・63・88・89・91・93・94・95・98・99・101・103・109・110・111・112・113・114・115・135・136・ 138・139・140・144・145・146・147・149・152・163・165・166・170・175・176・177・207・208・209・210・211・212・213・214・215・216・217・218・219・220・221・222・223・224・226・227・228・230・231・232・235・236・237・238・240・241・242・243・244・245・246・247・249・250・251・254・256・257・258・259・260・261・265・266・267・268・278・279・280・283・287・290・291・292・293・295・296・297・308・311・334・387・388・390・433・434・439
	C　装飾部	1	14.8	272
第５群土器 縄文時代後期後葉～末【深鉢もしくは鉢】	A　有文土器	8	100.6	5・6・133・134・203・204・205・285
	B　地文・調整痕 のみの土器	40	488.7	45・96・106・107・129・137・142・143・151・153・154 ・155・157・158・159・160・161・162・164・169・229・233・248・253・255・282・284・286・289・306・307・309・310
第６群土器　縄文時代後期末以前の浅鉢もしくは鉢		7	65.4	61・167・269・354・355・357・389
第７群土器 縄文時代後期末以前の壺もしくは注口土器	A　口縁部・胴部	53	110.8	64・65・67・68・69・70・71・72・73・74・75・76・77・78・79・80・90・100・117・118・119・120・121・122・123・178・181・183・262・271・273・274・281・299・300・368
	B　注口部	4	57.2	66・116・270
第８群土器 縄文時代晩期中葉～弥生時代前期・中期前半	A　深鉢もしくは鉢	87	1731.3	104・141・148・150・156・225・234・239・252・313・314・315・316・317・318・319・320・321・322・323・324・325・326・327・328・329・330・331・332・333・335・336・337・338・340・341・342・343・344・345・346・347・348・349・350・351・352・353・356・360・361
	B　浅鉢あるいは鉢	1	9.3	312
	C　壺	2	39.2	339・358
第９群土器　縄文時代後期～弥生時代前期・中期前半		258	2084.2	
第10群土器　底部【深鉢・鉢・浅鉢・注口土器】		25	354.8	81・82・83・84・85・86・87・92・97・108・124・171・172 ・173・182・275・276・277・294・359・440
第11群土器　弥生時代後期【甕・壺・高坏】		6	208.2	362・363・364・365・366

以下、各土器群の特徴的なものについて報告する。

第1群土器　縄文時代草創期～早期前半【深鉢もしくは鉢】

第1群土器 - A　縄文施文土器（表裏縄文・押捺縄文など）

369は深鉢小片で、表面に押捺縄文が認められる。406は表面が少々荒れてはいるが、表裏に回転縄文が施されているか。408は口縁部から胴部下半まである本遺跡で最も残存状況が良好な土器である。口縁端部がやや尖る形状の砲弾形の深鉢で、口縁部は緩やかな小波状を呈するか。表裏には回転縄文が施されており、表面（外面）は全面、裏面（内面）は口縁部に集中している。原体も、表面はLRを主体とする一方、内面はrやRLがあるなど、複数の異なる撚りの原体が用いられていたようである。胎土は厚さが5～7mm程度と薄手である。424は深鉢胴部で、表面に回転縄文が認められる。428はやや外反する深鉢口縁部で、口縁端部と器面表裏ともにLRによる回転縄文が施されている。表面では表面が剥落した部分にも縄文が認められ、粘土の輪積み中にも回転縄文が施されていたことが分かる。408と比較すると器壁はやや厚手であり、草創期にさかのぼる可能性がある。438は胴部片で、RLによる回転縄文が認められる。

第1群土器 - B　ネガティブ押型文土器（方形あるいは長菱形）

372・417は深鉢口縁部、それ以外は深鉢胴部である。押型文は表面（外面）側のみであり、395はやや菱形に近い形状を呈しているものの、その他の押型文は細長い長方形が連続して認められる。押型文は互い違い状に出現するものが多いものの、381は押型文の端部が一直線上に存在する。これらは、概ね大川式の新段階に比定されるものと考えられ、万瀬遺跡において縄文時代早期土器の主体となるものである。

第1群土器 - C　山形押型文土器

405・422ともに深鉢胴部小片である。特に422は立野式に比定されるものと考えられる。

第1群土器 - D　ポジティブ押型文土器（円・楕円）

367は深鉢胴部で、下半部分と推測される。楕円の形状が小さく、より正円に近い。胎土に繊維を含む。黄島式に比定されるものであろう。

第1群土器 - E　撚糸文土器

370は深鉢口縁部で、表面にはℓ撚りの撚糸文が施されている。内面にも浅いながらも同様の痕跡があり、撚糸文が施されていた可能性があるか。423は表面にRLによる撚糸文が認められる。426は原体が細かいものの、r撚りの撚糸文が施されている。

第1群土器 - F　その他土器1

398～401は同一個体の土器片で、最も残存が良好なものは口縁部形状の明らかな398である。口縁端部に向かって直立気味に立ち上がる形状を呈する深鉢で、胎土に繊維を含む厚手の土器である。口縁端部と表面（外面）には径5～7mm程度の浅くて楕円状の粒が連なった状態の原体が回転施文されている。原体は太い繊維による縄文もしくは枝とも考えられる。口縁端部には補修孔が認められる。

第１群土器 - G　その他土器２

425 は深鉢胴部片で、外面の文様は長い押型文のようにも短い条痕のようにも観察できる。427 も深鉢胴部片で、外面には微隆起状の貼付が認められる。429 は口縁部片で、表裏ともにナデ調整で、胎土には繊維を含む。430･431 も表裏ともにナデ調整で、430 の器面は平滑な状態である。

第２群土器　縄文時代早期後半【深鉢もしくは鉢】

402 は胴部小片で、表裏ともにナデ調整である。胎土には繊維を含むものである。文様・調整の特徴認められず、ここでは早期後半まで下る可能性をしていているが、第１群土器に含まれる可能性も否定できない。

第３群土器　縄文時代中期初頭および後半【深鉢もしくは鉢】

第３群土器 - A　縄文時代中期初頭土器

301・302 は同一個体と考えられる。胴部屈曲部に横方向に凹線状の沈線が認められる。中期初頭の北裏Ｃ１式と考えられる。

第３群土器 - B　縄文時代中期後半土器

206 は深鉢胴部片で、幅太い隆帯が縦に貼り付けられている。288 は口縁部から胴部への屈曲部で、屈曲部端を中心に弧状に隆帯が貼り付けられている。いずれも破片の範囲の中では縄文・沈線などの装飾は認められない。

第４群土器　縄文時代後期前葉～中葉前半【深鉢もしくは鉢】

第４群土器 - A　口縁部・胴部　有文土器

沈線および縄文が施された有文土器を一括している。1・2 は対向する弧状の沈線とそこから派生する横沈線が特徴的で、堀之内２式に比定されるものである。その他は、並行する２本沈線内やその中に縄文 LR や RL が充填されているものなどがあり、概ね八王子式（八王子１式）に比定されるものと考えられる。7 ～ 9 は大きな波状を呈する器形で、9 では波頂部に上下刺突列が施されている。器面調整は一般的にはナデやケズリなどと言われるものであるが、数条が併走していたりするものが多く、報告書はかつて壊れたアカニシなどでの器面調整の可能性を示したことがあり、これらを中型巻貝調整と呼称した（川添 2017[※]）。この中型巻貝調整は、中期後半以降に散発的に登場し、後期後葉まで認められようであるが、後期前葉から中葉前半までの、いわゆる巻貝条痕が盛行するまでの時期が主体である。本群の器面調整はこの中型巻貝調整を基本とすると考えている。

第４群土器 - B　口縁部・胴部　地文・調整痕のみの土器（いわゆる無文土器）

本群は、器形や上述したものと同様の器面調整の見られる資料を一括した。時期比定の可能な土器群の中ではこの群の資料が最も多い。

第４群土器 - C　装飾部

272 は角状に突出する把手で、表側（外側）と裏側（内側）からの盲孔が直交方向に施されている。この穿孔には渦を巻いているような工具痕跡がある。巻貝工具によるものの可能性が高い。加曽利Ｂ式の精製深鉢土器に見られる装飾に比定されるものである。

※　川添和暁 2017「器面調整から見た土器様相 ―西尾市八王子貝塚出土土器を中心に―」『東海縄文論集Ⅱ』pp.1 ～ 22　東海縄文研究会

第５群土器　縄文時代後期後葉～末【深鉢もしくは鉢】

第５群土器 - A　有文土器

５は接合しない口縁２片である。口縁端部は直立する器形で、縄文 LR の上に横方向になでられていない凹線が施されている。寺津下層式（神谷沢段階）に比定される。6 は折り返しのある口縁端部で、表裏には巻貝による調整が認められる。133 は弱い波状を呈する深鉢片で、表裏には巻貝条痕、口縁端部にはいわゆる区史状工具による施文がある。134 も同様の土器であるが平縁であることと、いわゆる櫛描文が弧状を呈する。この櫛描文は実際にはカワアイなどの巻貝による施文の可能性が高い。後期末伊川津２式に比定されるものである。203・204 は凹線文土器で、凹線内がなでられているものである。元住吉山Ⅱ式に比定されるものである。一方、205 は同じ凹線文土器でも、凹線内がなでられていないものである。こちらは宮滝式に比定されるものと考えられる。285 は表裏および口縁端部上面にも巻貝条痕が施されており、口縁部にはなでられていない三条の凹線が併走する。伊川津１式に比定されよう。

第５群土器 - B　地文・調整痕のみの土器（いわゆる無文土器）

この群の土器は、特に表面に巻貝条痕の認められるもので、裏面（内面）はナデのものもあるが、137・142・143 など多くのものには巻貝条痕が施されている。この巻貝条痕調整は、東海地域では縄文時代後期中葉後半以降（西北出式・八王寺２式）以降、晩期中葉（桜井式）まで主体的に認められる調整技法であるが、特に後期後葉から晩期前葉にかけてが最も盛行する。

第６群土器　縄文時代後期末以前の浅鉢もしくは鉢

61・167・269・354・355・357 は、器面調整がナデなどで施文などの加飾性が見られないものがおおい。一方、389 は横方向の沈線と格子目状の沈線が施されているもので、晩期前半の橿原系文様である可能性があろう。

第７群土器　縄文時代後期末以前の壺もしくは注口土器

第７群土器 - A　口縁部・胴部

壺形を呈する器形を一括した。残存破片でみると文様などでの装飾が施されている破片は多くはない。その中でも､文様の認められる２個体分のみを示しておく。64 は、口縁部から胴部上半までと最も残存状況の良好なものである。並行する２本沈線内に縄文 LR が充填されているもので、口縁部の沈線端部には工具による押圧があり、中央にはＶ字状の沈線が認められる。口縁には突起が付いており、側面と上面からは工具による盲孔が施されている。盲孔には工具痕跡があり渦を巻いている。文様のない所では中型巻貝による器面調整痕が認められる。八王子式（八王子１式）に比定される。117 ～ 120 は同一個体と考えられる。いずれも沈線区画内に LR の縄文が施されている。118 は注口部との接点で､ここでは注口の根の部分で環状の文様構成となっている。

第７群土器 - B　注口部

口縁部・胴部片の比べて注口部片の出土は極めて少ない。66 は根の部分に扁平な貼付が認められるものである。116・270 には、文様や装飾などは認められなかった。

第 8 群土器　縄文時代晩期中葉～弥生時代前期・中期前半

第 8 群土器 - A　深鉢もしくは鉢

二枚貝条痕を器面調整とする土器を集めた。当地では、二枚貝条痕は縄文時代晩期前半のある段階から出現し、晩期後半以降に盛行するようである。今回、最も残存状況の良い 317 について特に報告する。317 は胴部上半から下半、そして底部にかけて残存している個体である。土器棺墓であった可能性も否定できないが、谷内からの出土で、積極的に埋納状態にあったとすることもできなかった。表面（外面）は横方向を主体とする二枚貝条痕が、裏面（内面）にはナデ調整が主体となる。底部はごく若干の凹み状を呈するもので底部外面にも条痕調整で整えられてるようである。後述するように、器面表面からは種実圧痕が複数確認された。時期は弥生時代前期の樫王式期になると思われる。

第 8 群土器 - B　浅鉢あるいは鉢

312 は口縁部で、端部に向かって内湾気味の器形となる。端部上面は凹み、外面も凹線状に凹む。一部に赤彩痕跡が認められる。

第 8 群土器 - C　壺

339 は口縁部から頸部片で、口縁端部に厚みがある。口縁部上端には工具による刺突列、外面には二枚貝条痕が施されている。弥生時代中期前半か。358 は大型壺の口縁部で、外反気味の形状で、端部外面には袋状突帯が認められる。弥生時代前期水神平式と思われる。

第 9 群土器　縄文時代後期～弥生時代前期・中期前半【深鉢の胴部・口縁部】

詳細な時期の特定に至らなかった土器群を一括した。主に胴部片で、器面調整はナデのものが多い。第 4 群土器もしくは第 8 群土器に伴うものと考えられる。表 3 でも明らかなように、今回の出土資料の中では最も多くの点数・量を占める。

第 10 群土器　底部【深鉢・鉢・浅鉢・注口土器】

器種に関係なく底部を一括した。第 4 群土器・第 6 群土器・第 7 群土器に伴うものが主体であり、87・182 が壺もしくは注口土器の底部である以外は、深鉢・鉢・浅鉢である。底部外面には編組製品圧痕が多数認められる。編組技術で見るといずれも組み技術で、81 が 3 本越え・ 3 本潜り・ 1 本送りのゴザ目、83 が 2 本越え・ 2 本潜り・ 1 本送りのゴザ目、84 が網代、85 が 2 本越え・ 1 本潜り・ 1 本送りのゴザ目、87 が網代、108 が 2 本越え・2 本潜り・1 本送りゴザ目、124 が 2 本越え・ 2 本潜り・ 1 本送りゴザ目、173 が 2 本越え・ 2 本潜りのゴザ目で、172・276・277・400 には編組製品圧痕が認められるものの技術名は不明である。なお、294 には木葉痕が確認される。

第 11 群土器　弥生時代後期【甕・壺・高杯】

362 は甕胴部、363・364 は壺で 363 は口縁部側、364 は底部側である。365 も壺で底部、366 は高杯もしくは器台の脚部である。362・363 にはハケ目調整があり、366 には念密なタテミガキが施されている。いずれも欠山式に属するものと考えられる。

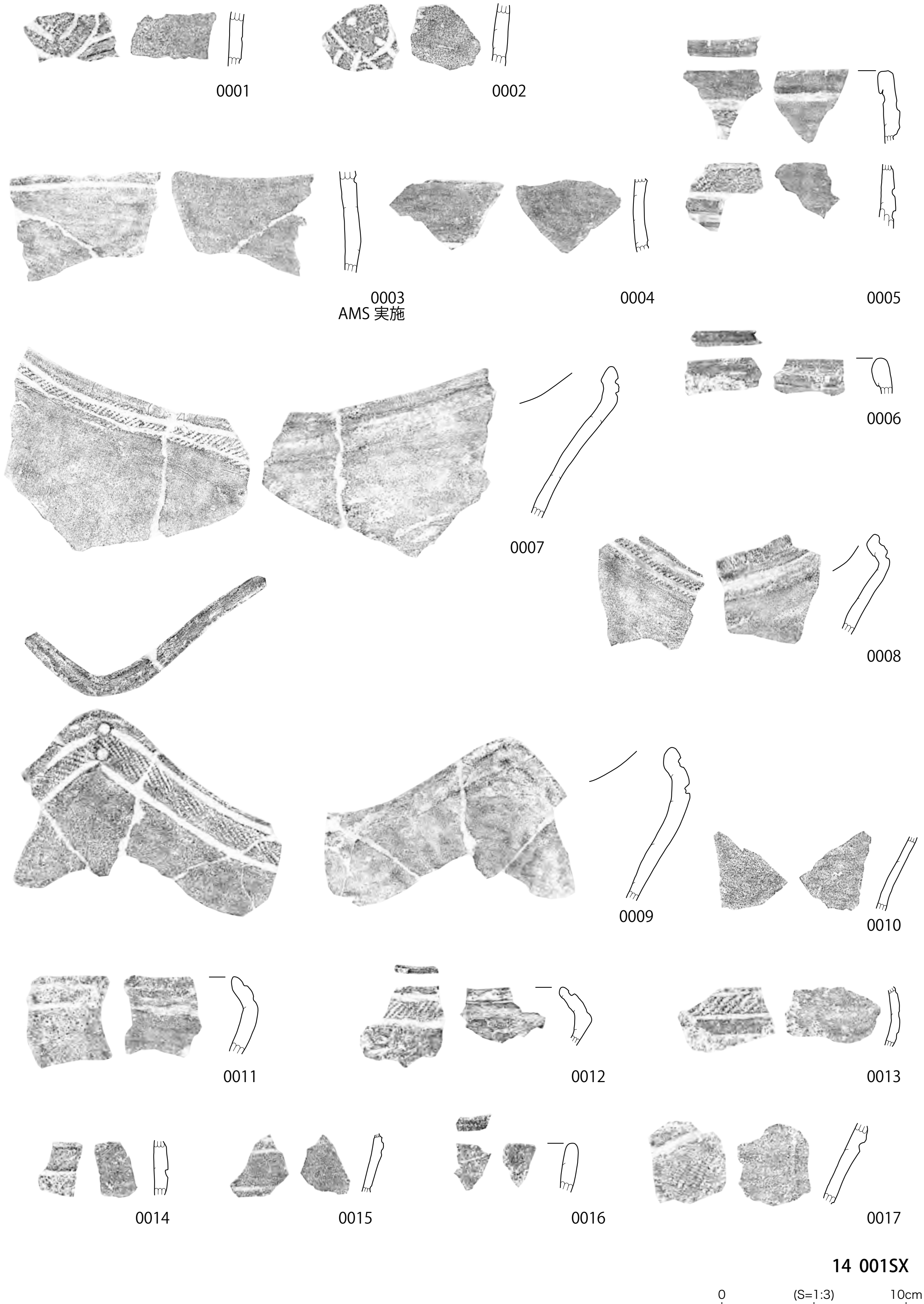


図 63　土器 1　14 区 001SX 出土 (1)　S=1/3

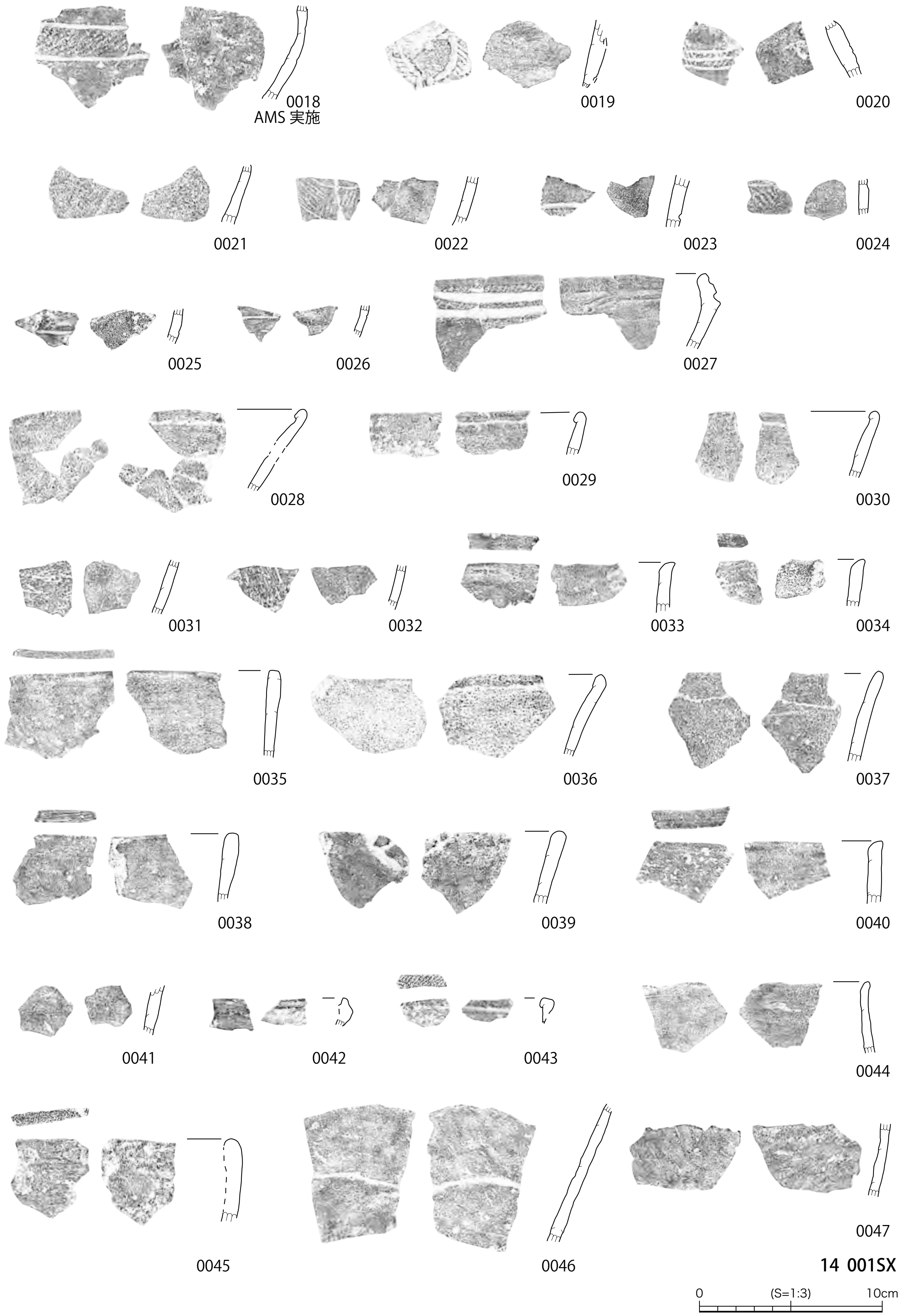


図 64　土器 2　14 区 001SX 出土 (2)　S=1/3

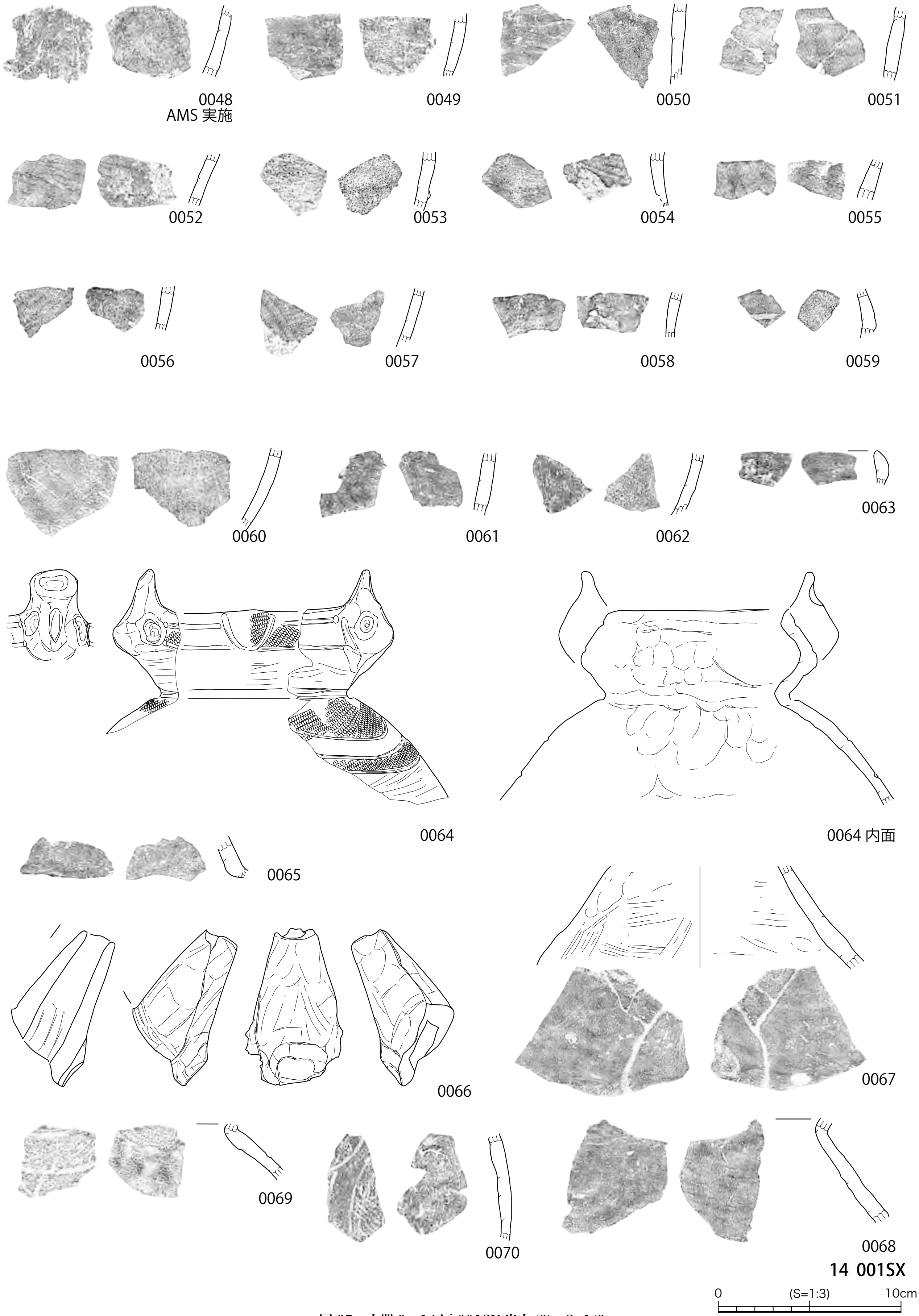


図 65　土器 3　14 区 001SX 出土 (3)　S=1/3

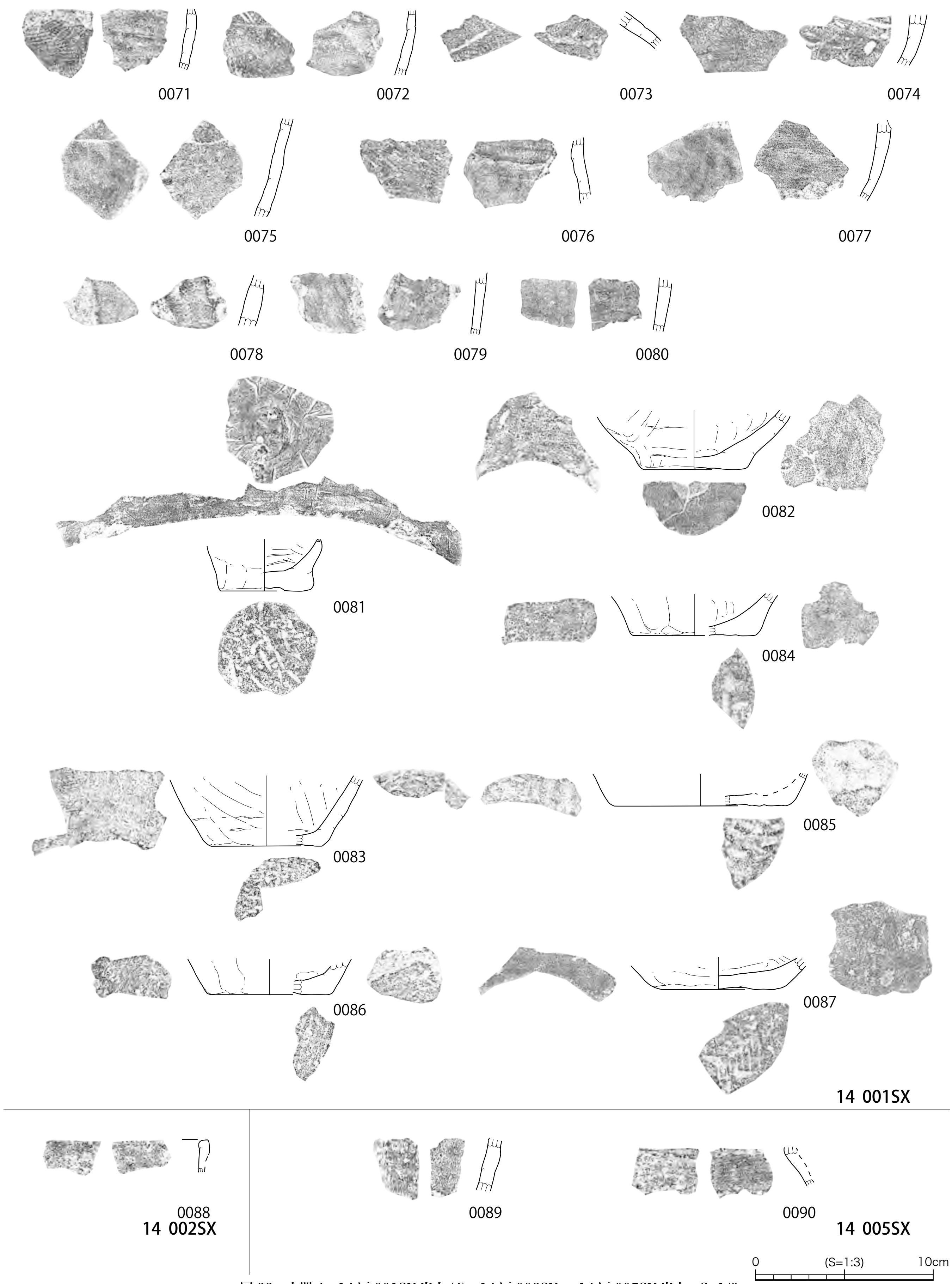


図 66　土器 4　14 区 001SX 出土 (4)、14 区 002SX ～ 14 区 005SX 出土　S=1/3

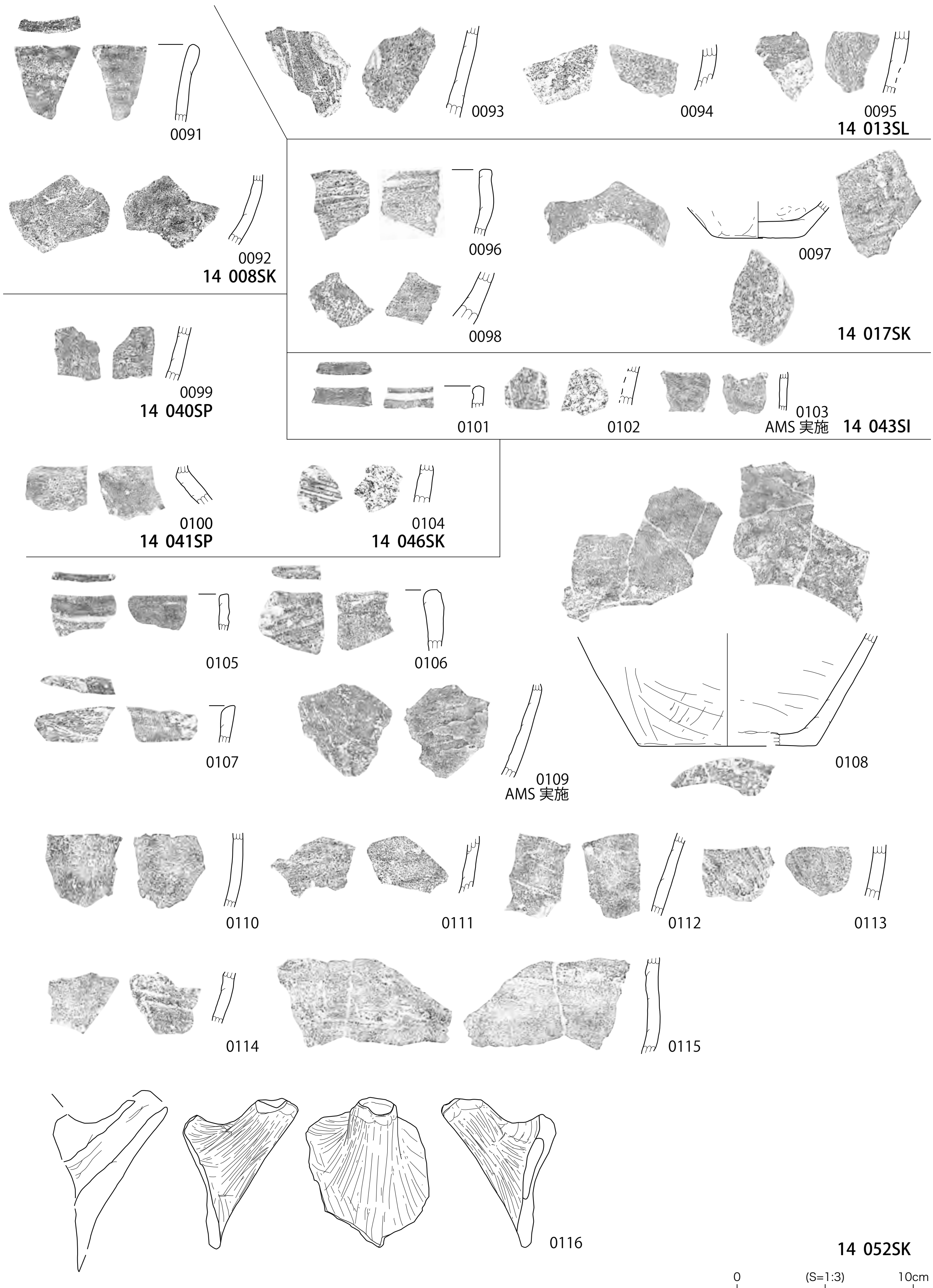


図 67　土器 5　14 区 004SK ～ 046SK 出土、14 区 052SK 出土 (1)　S=1/3

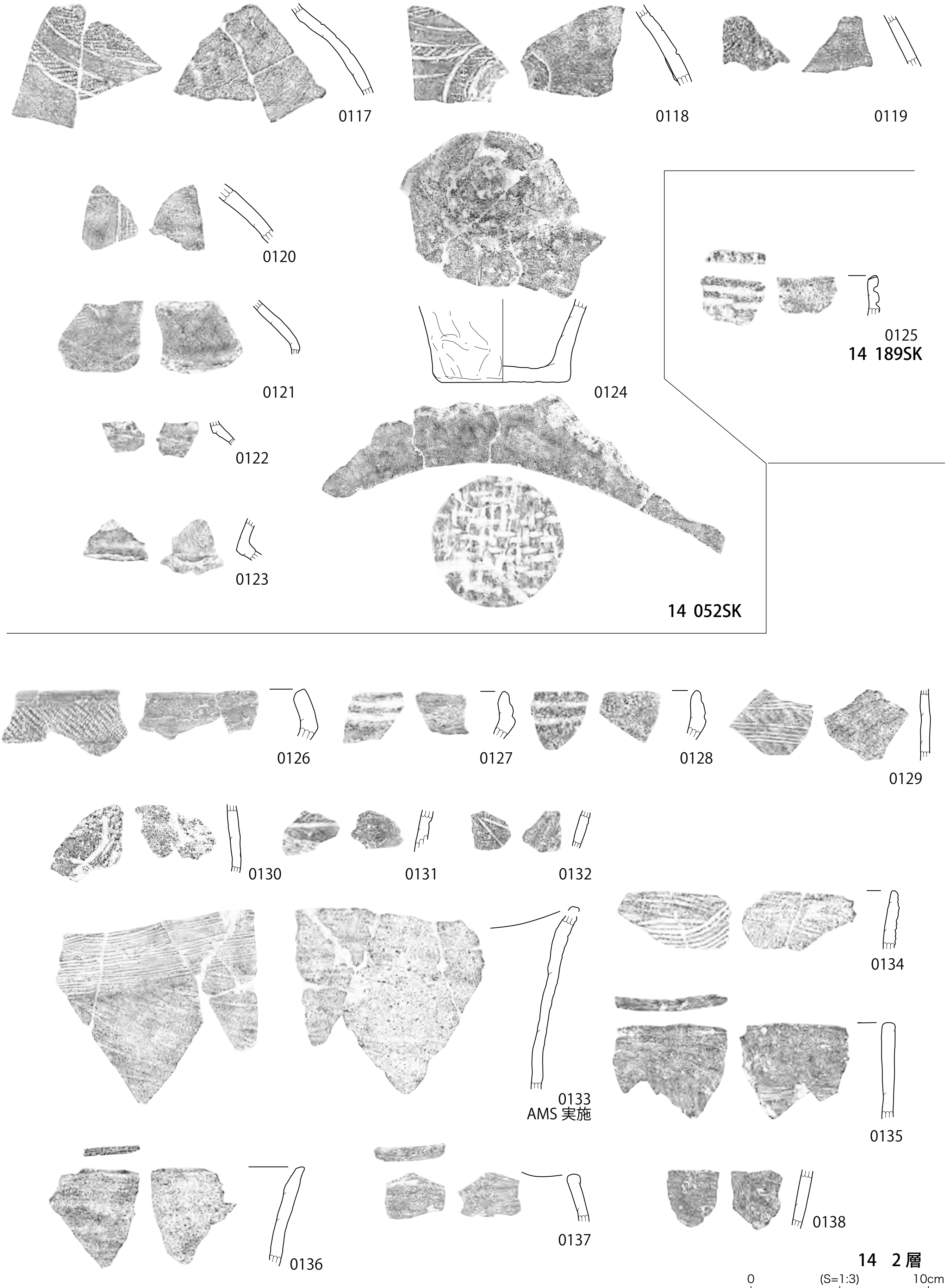


図68　土器6　14区052SK出土(2)、14区189SK出土、14区2層出土(1)　S=1/3

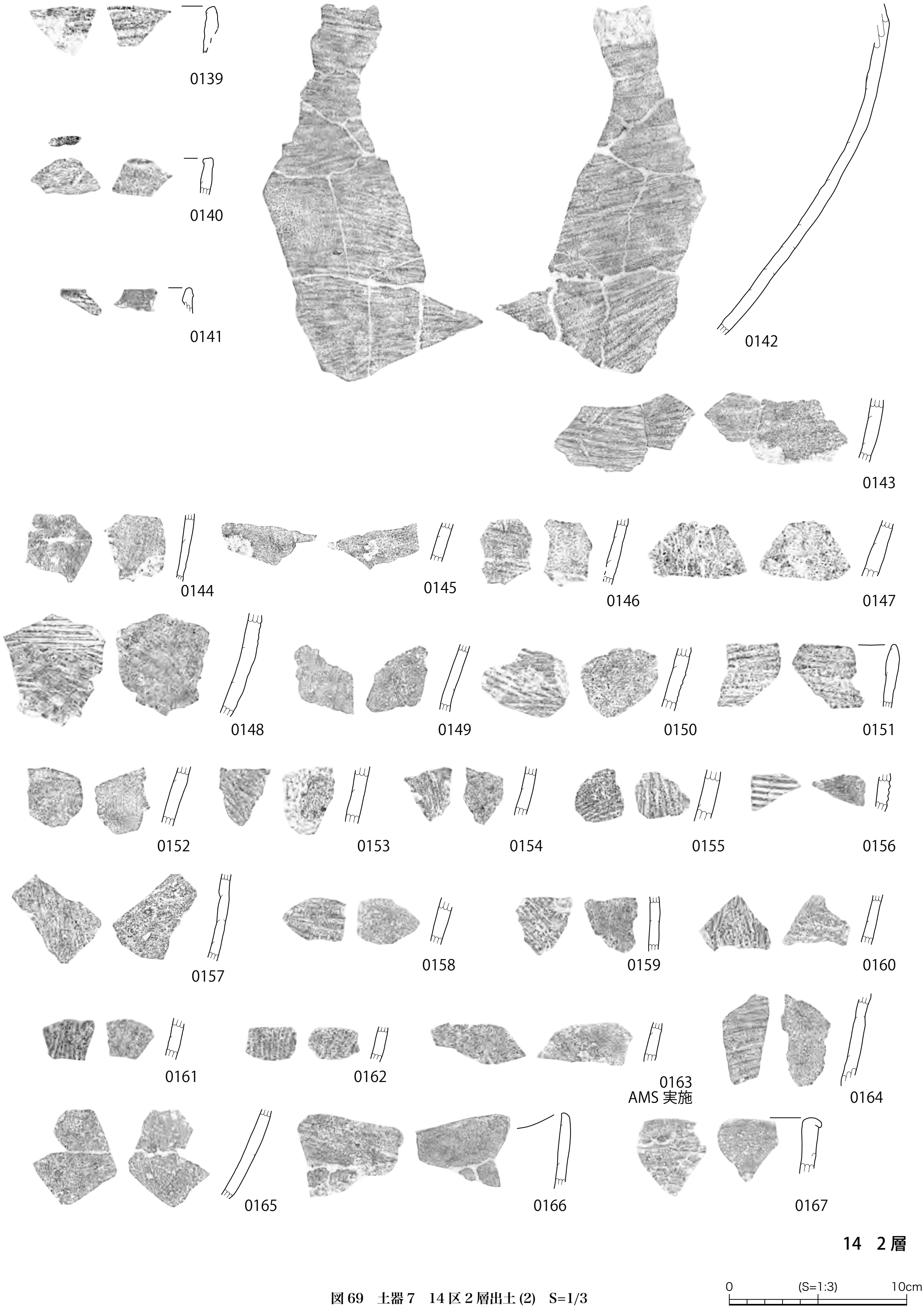
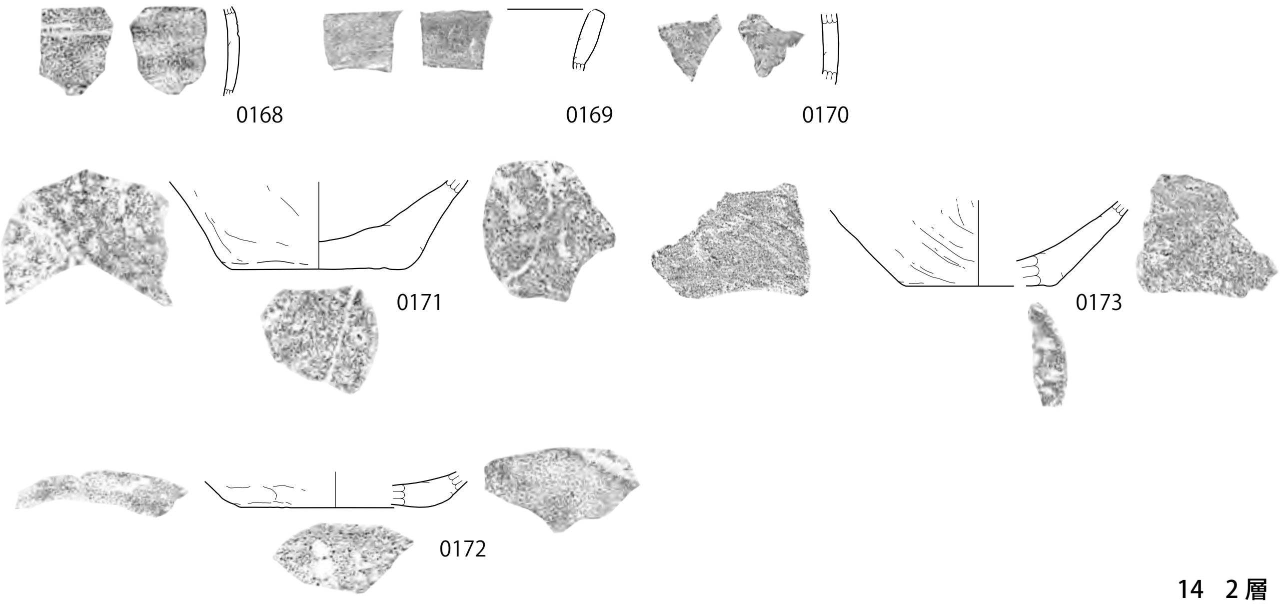
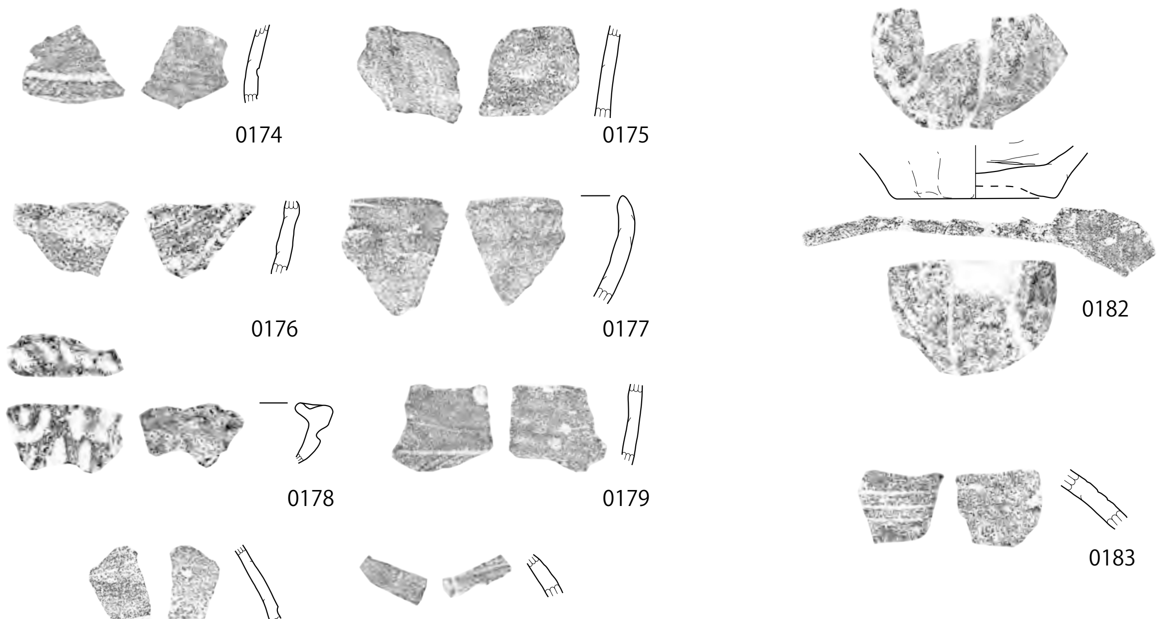


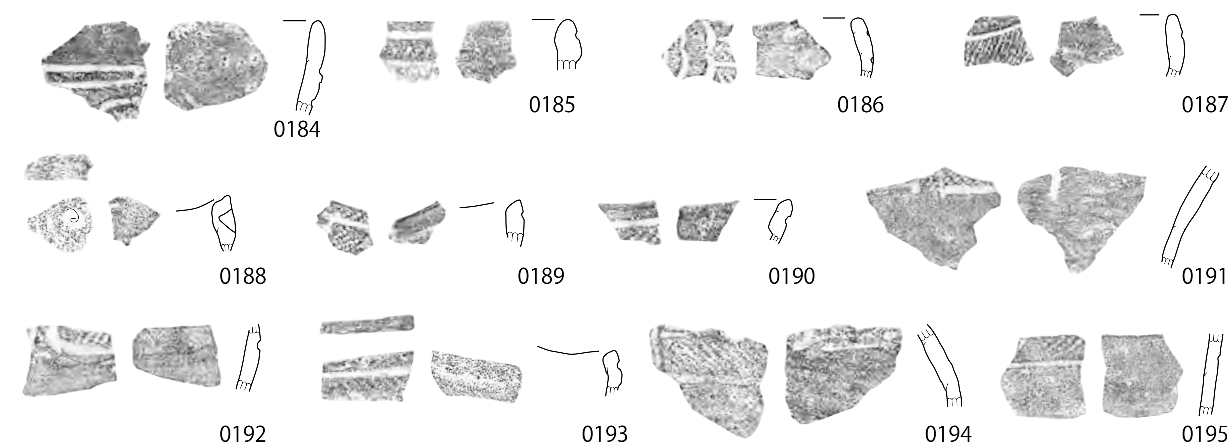
図 69　土器 7　14 区 2 層出土 (2)　S=1/3



14　2層



14　3層 集石付近



14　3層

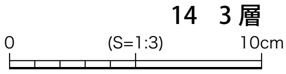


図70　土器8　14区2層出土(3)、14区3層集石付近出土、14区3層出土(1)　S=1/3

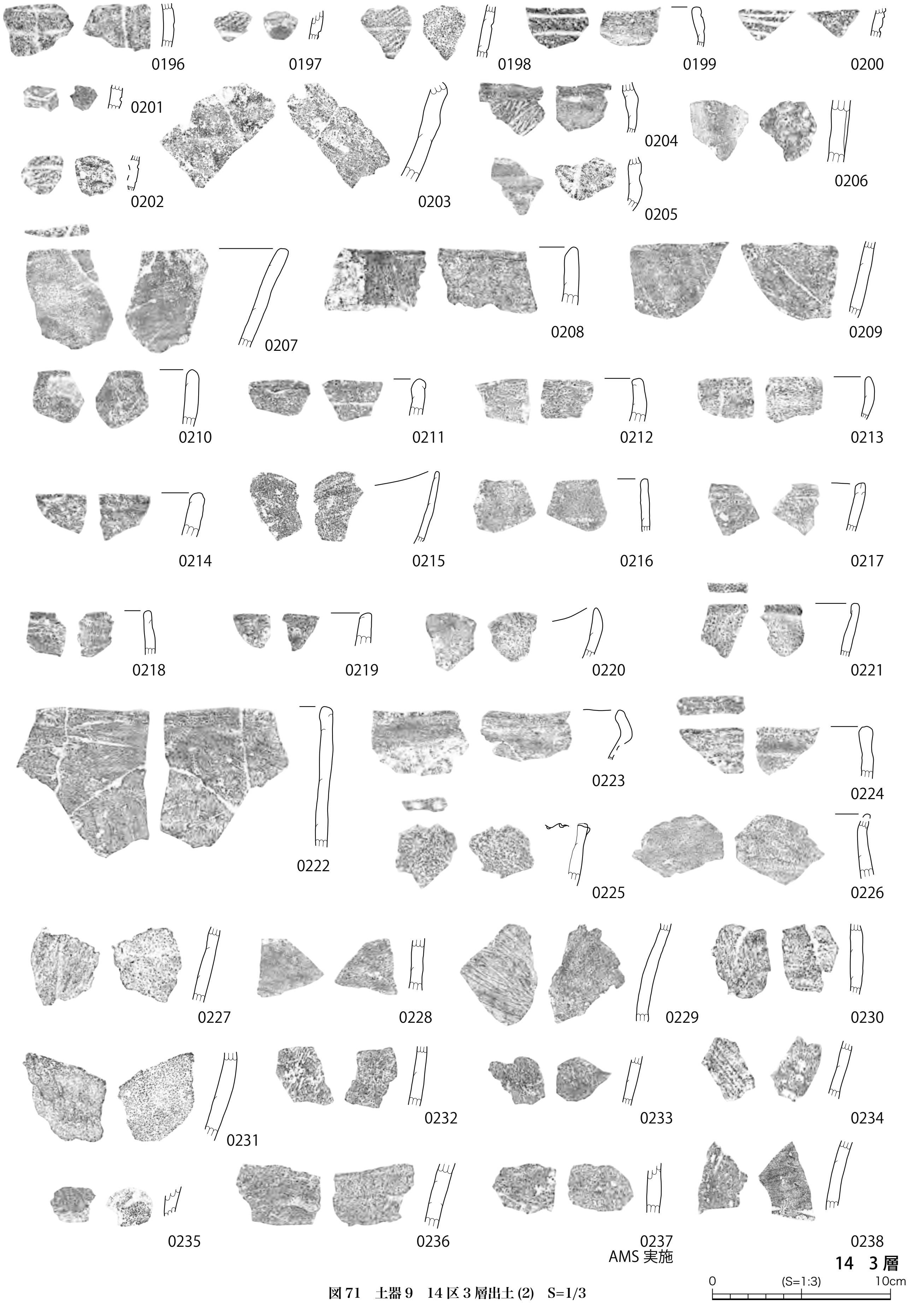
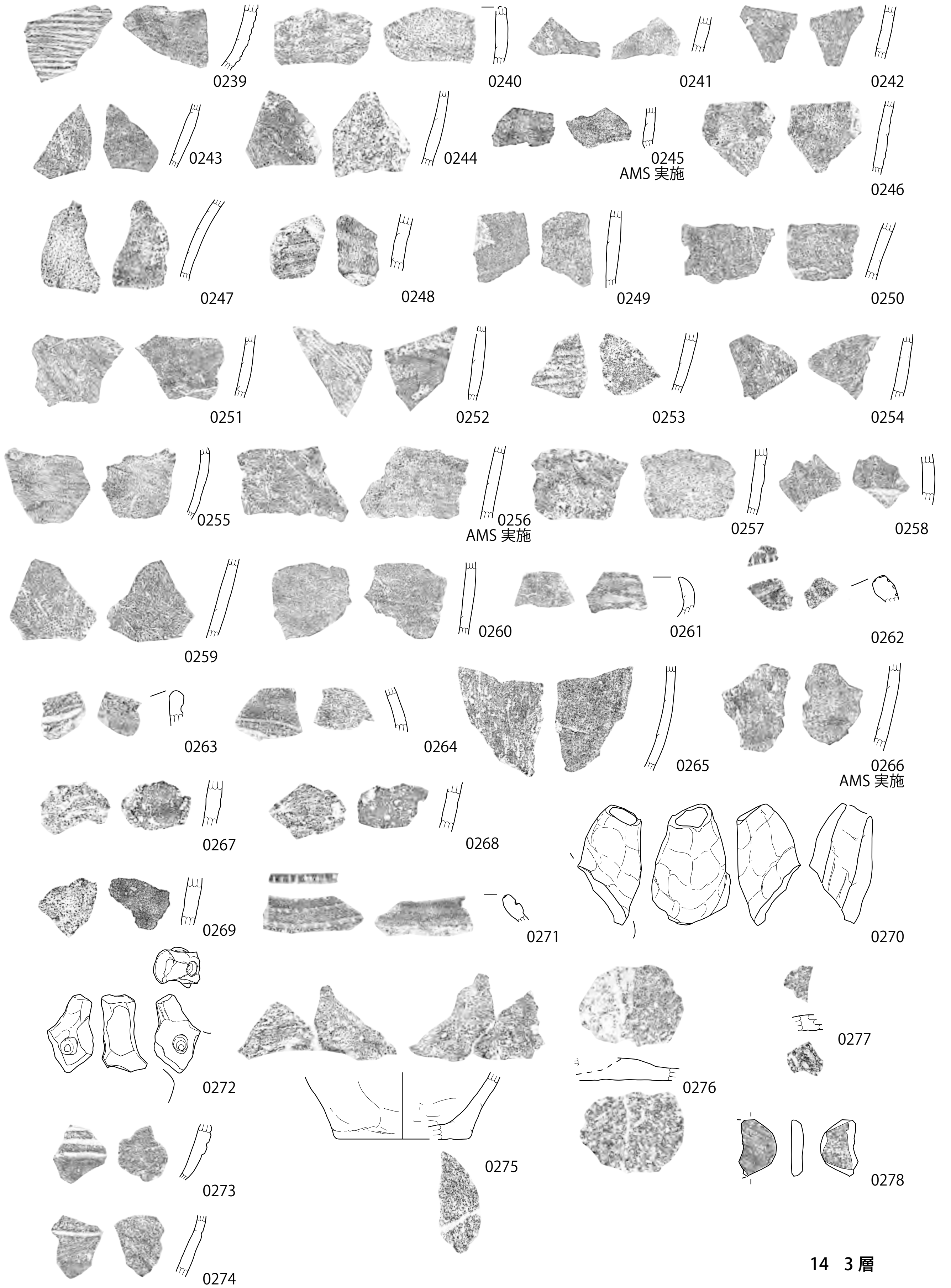


図 71　土器 9　14 区 3 層出土 (2)　S=1/3



0　(S=1:3)　10cm

図 72　土器 10　14 区 3 層出土 (3)　S=1/3

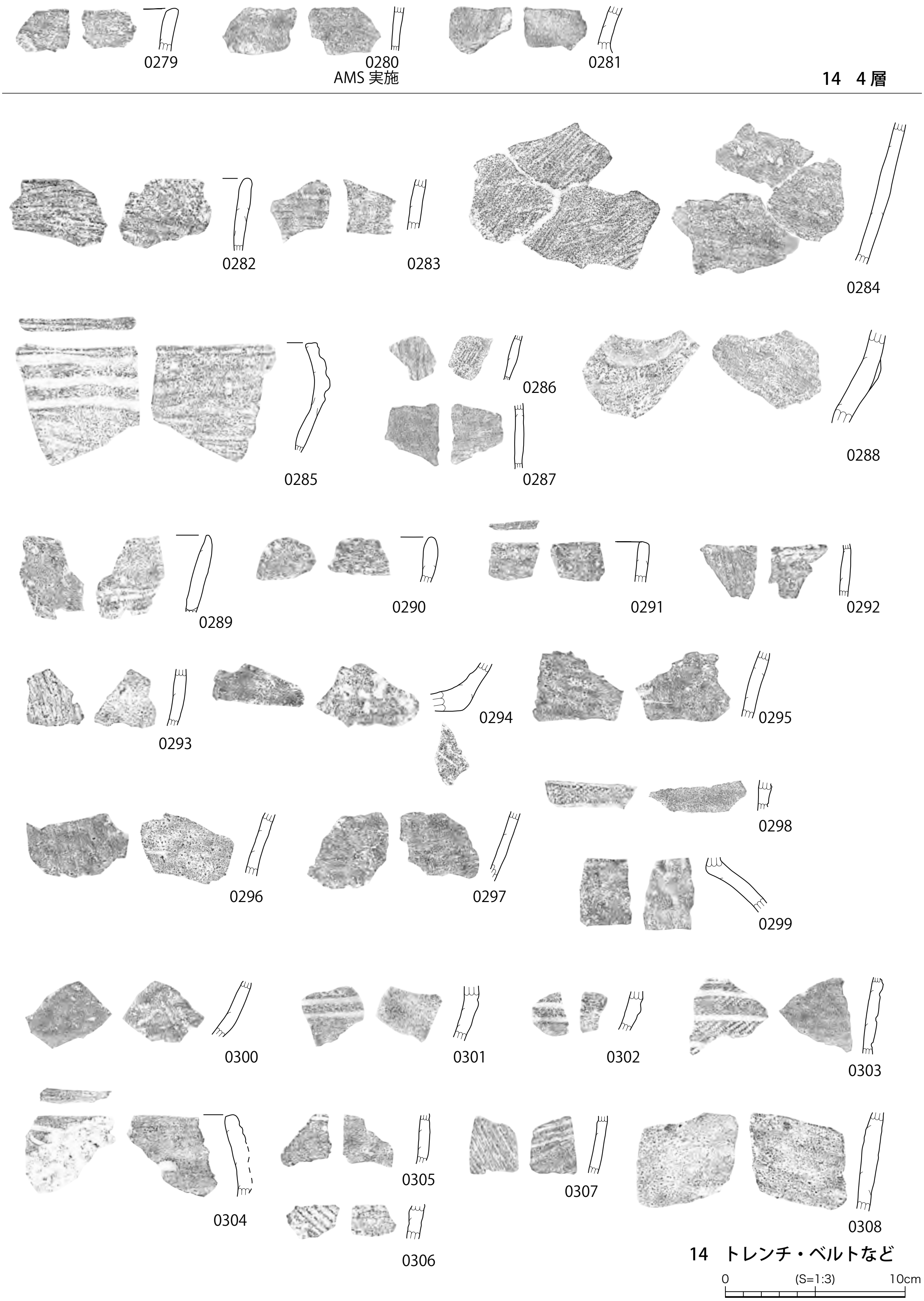


図 73　土器 11　14 区トレンチ・ベルトなど出土　S=1/3

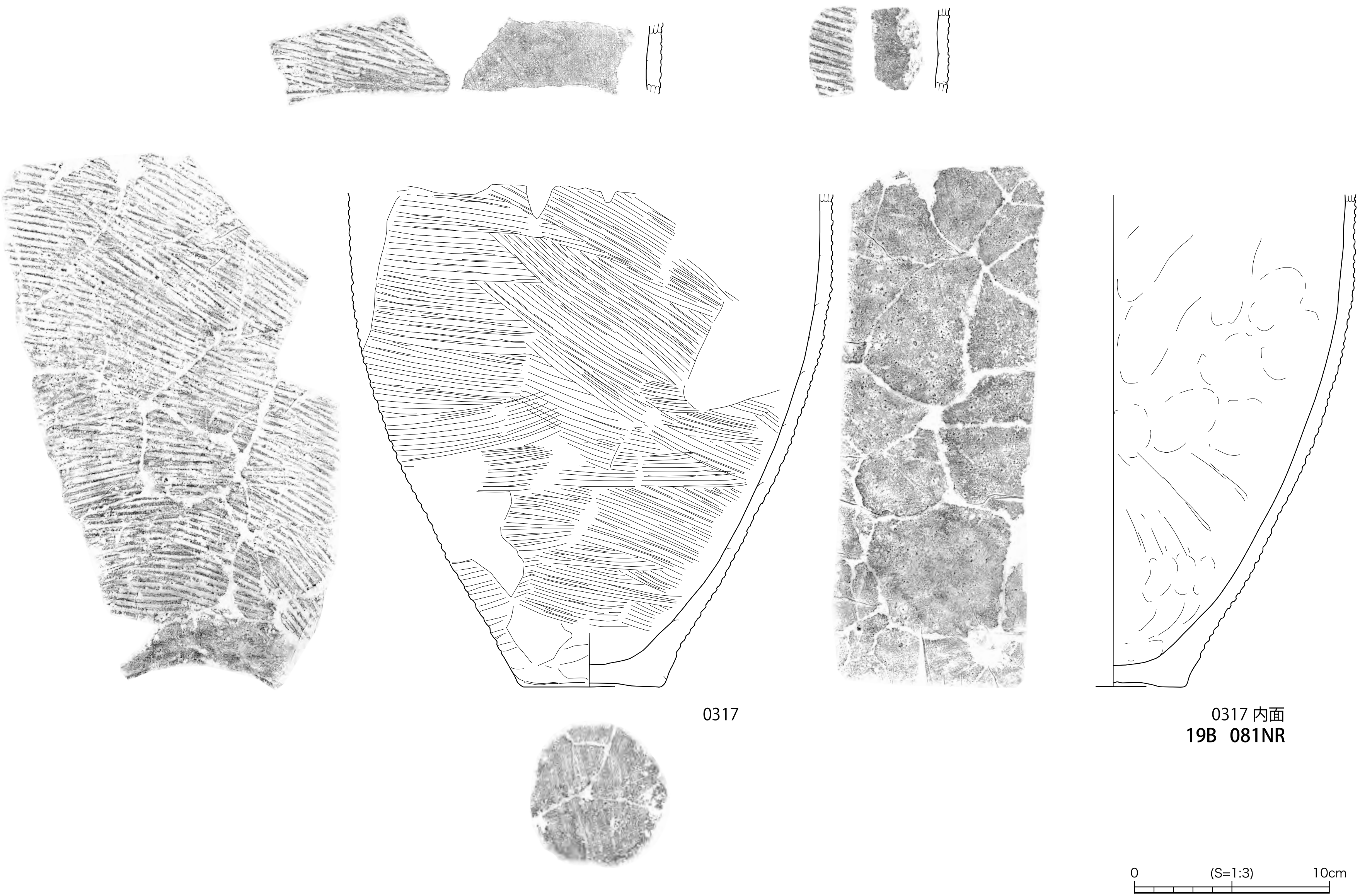


図 74 土器 12 081NR 出土 (1) S=1/3

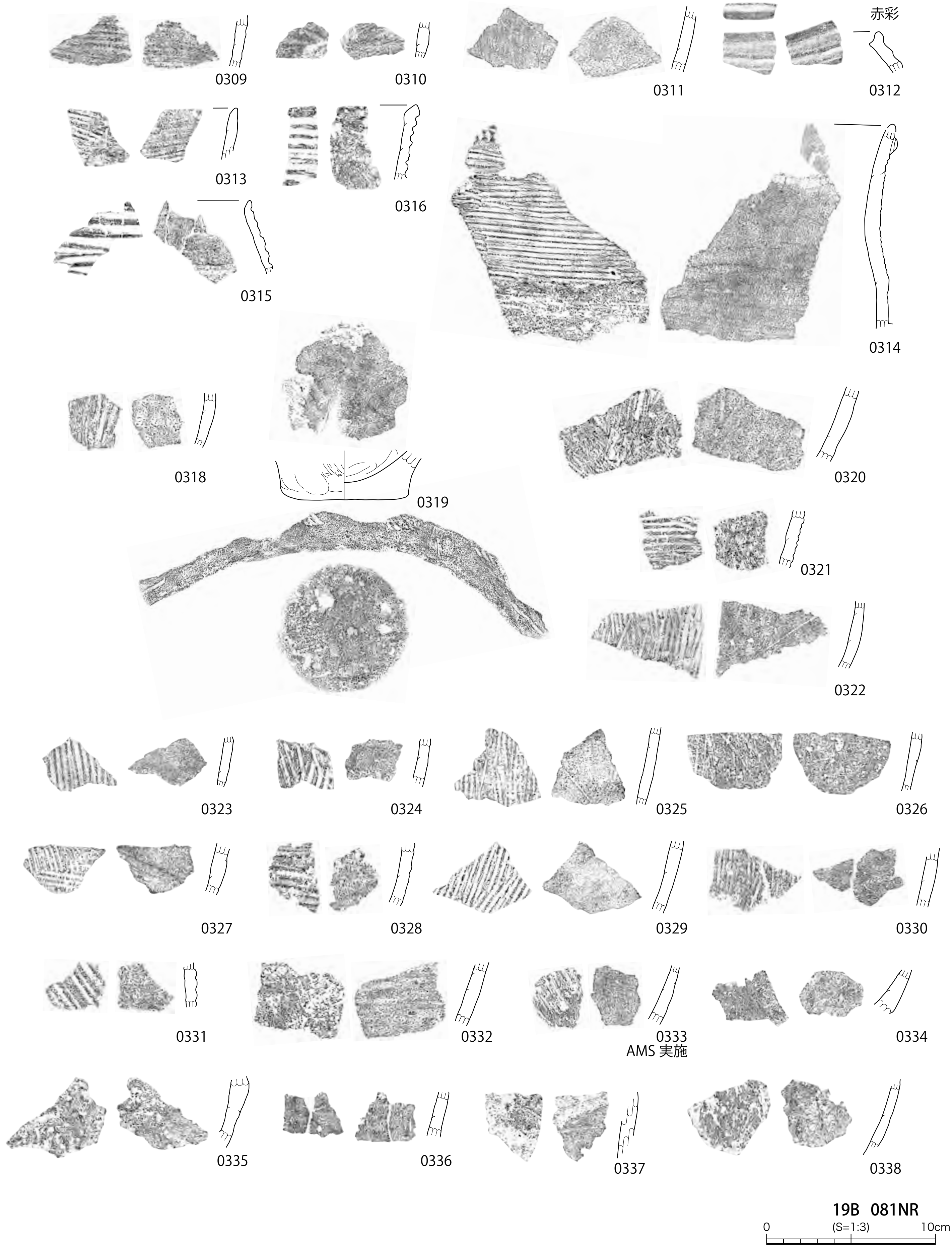


図 75　土器 13　081NR 出土 (2)　S=1/3

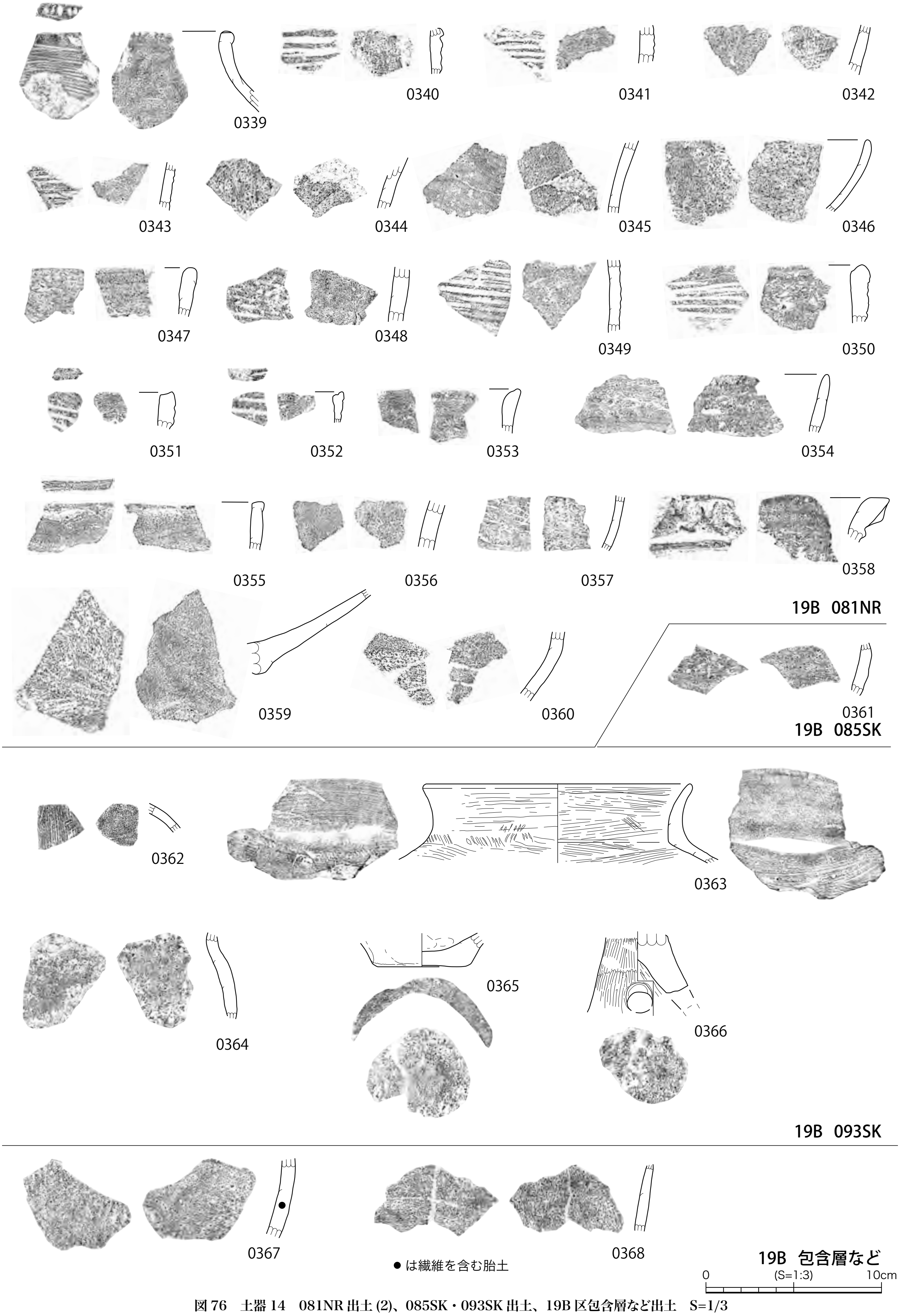


図 76　土器 14　081NR 出土 (2)、085SK・093SK 出土、19B 区包含層など出土　S=1/3

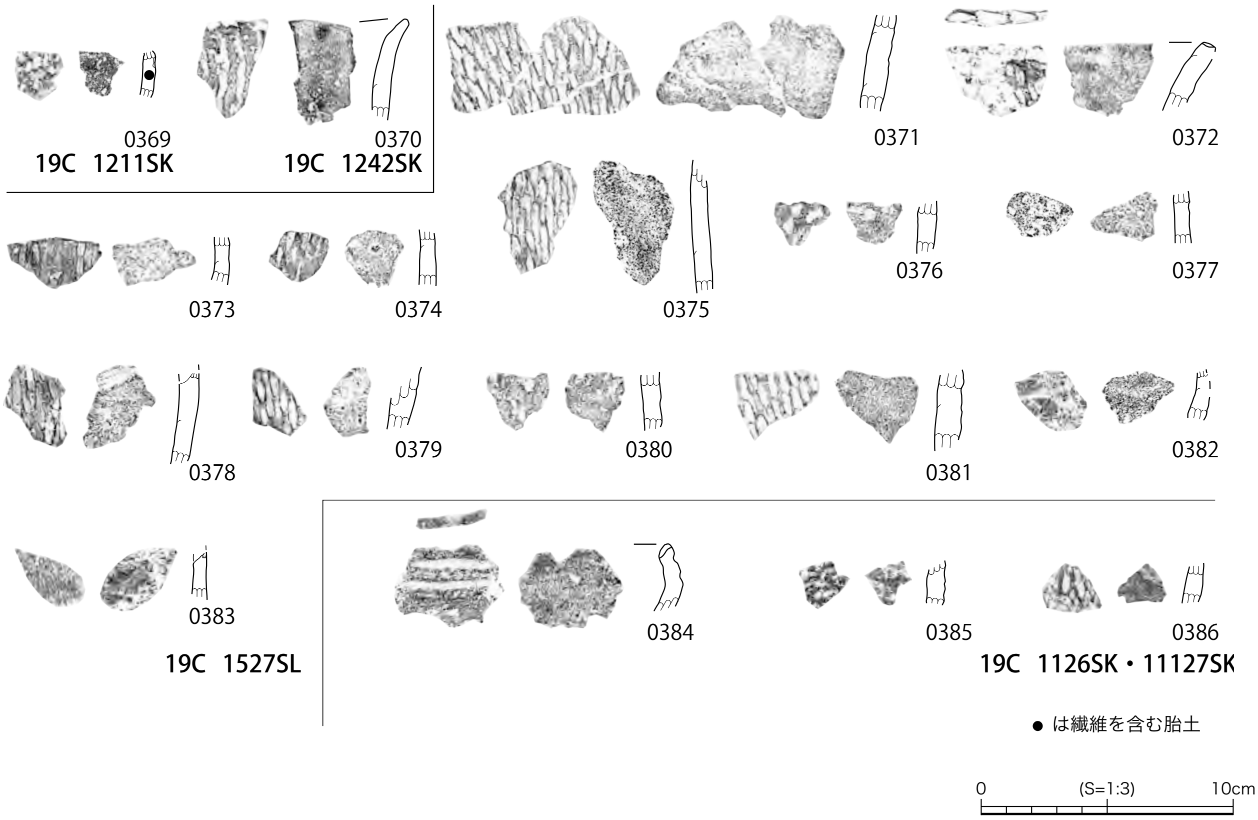


図 77　土器 15　1211SK ～ 1127SK 出土　S=1/3

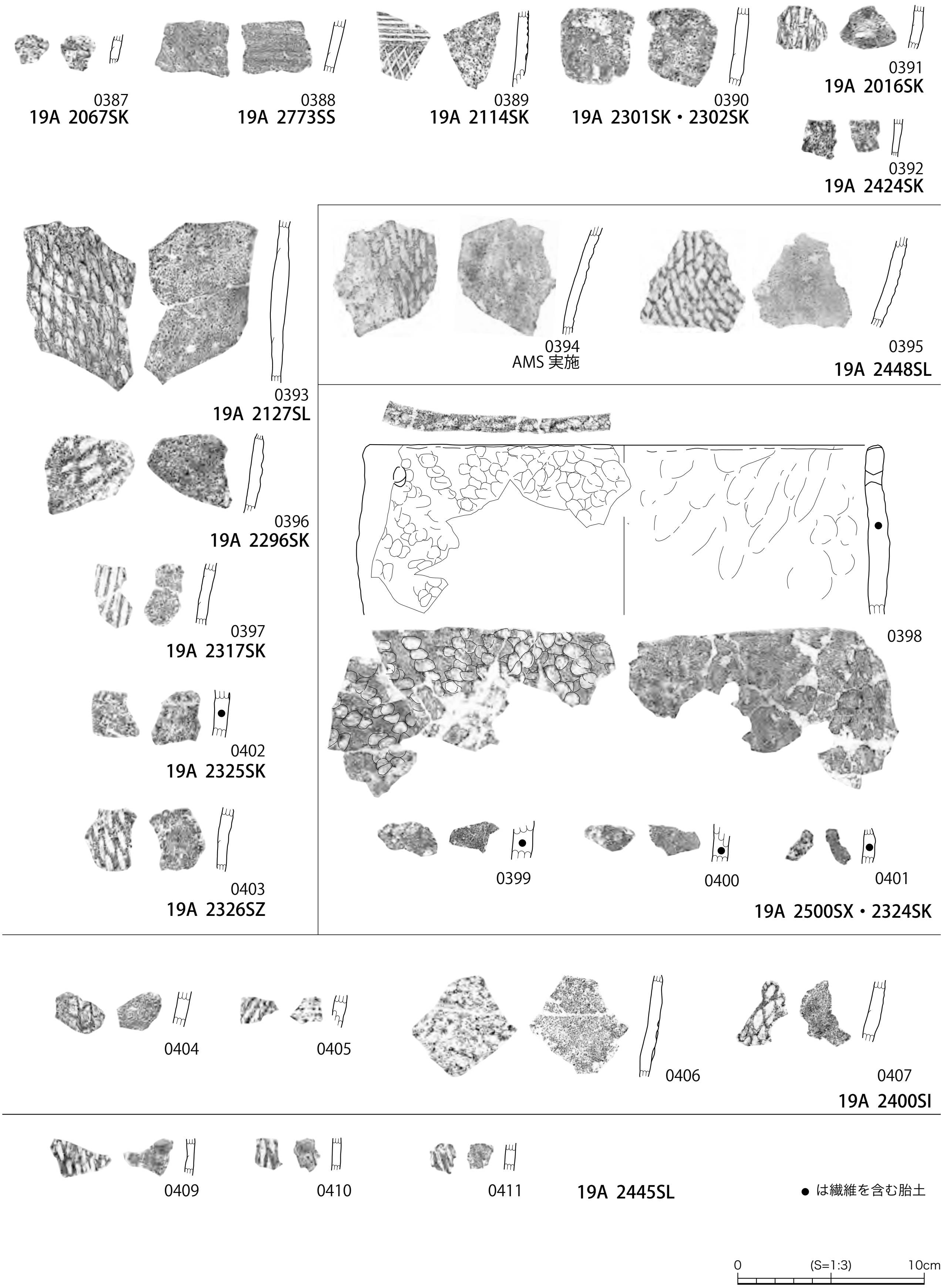


図 78　土器 16　2067SK ～ 2445SL 出土　S=1/3

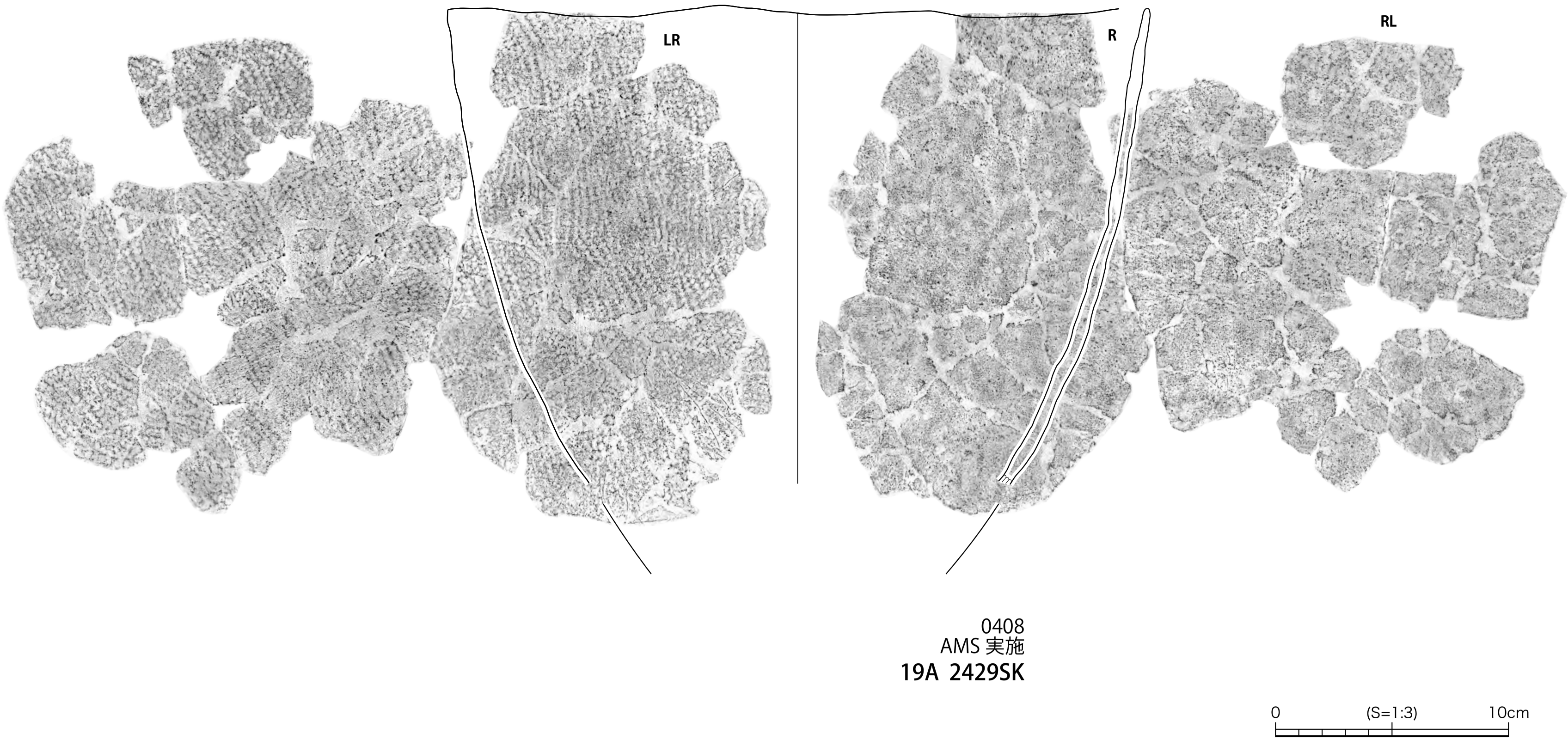


図 79　土器 17　2429SK 出土　S=1/3

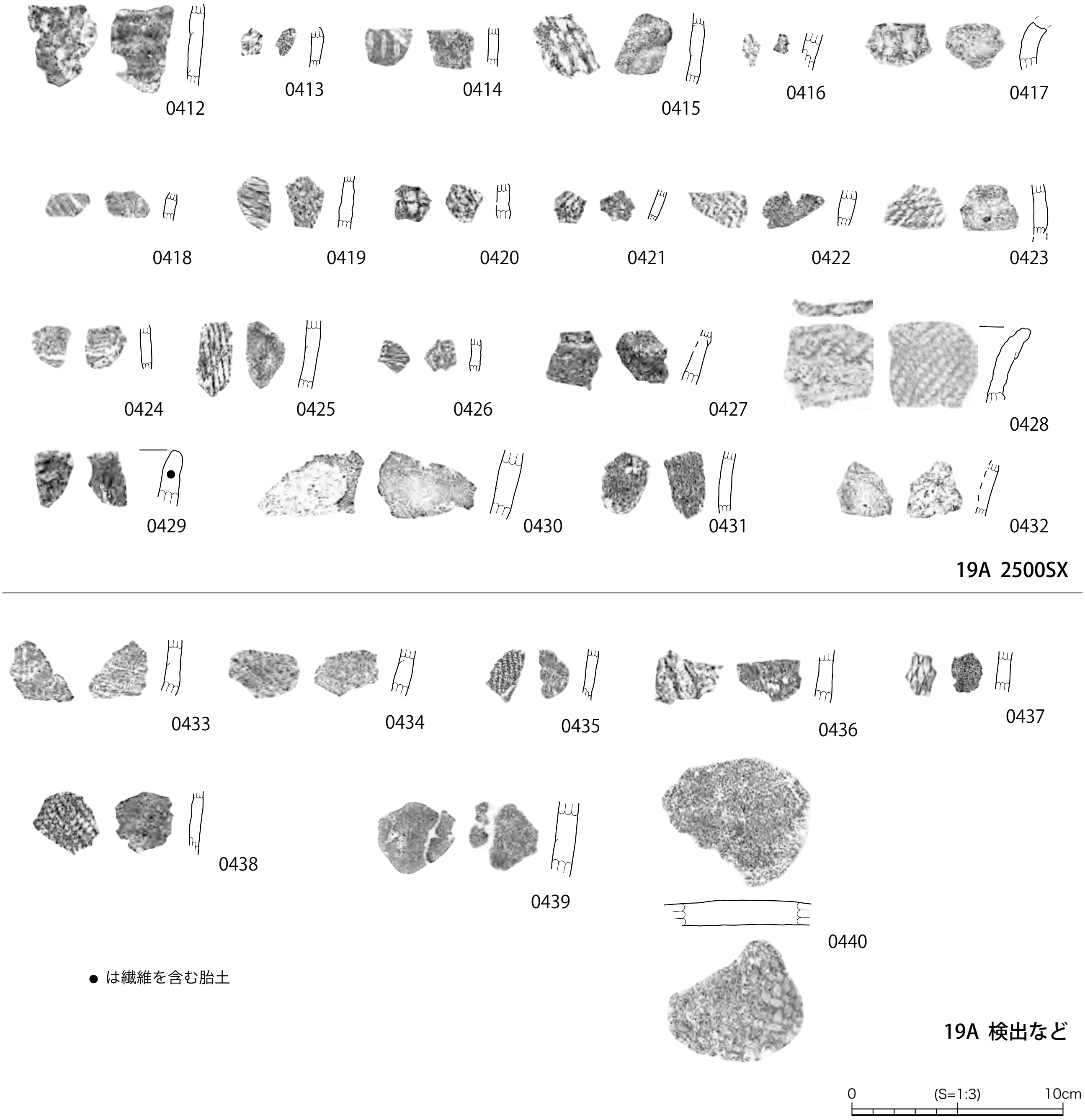


図 80　土器 18　2500SX 出土、19A 区検出面出土など　S=1/3

第２節　石器

川添和暁

万瀬遺跡では、総計 866 点の石器・石製品が出土している。第２章の各遺構で報告したように、14 区では縄文時代後期中葉・後期末、19B 区では縄文時代晩期～弥生時代前期、19A 区および 19C 区では縄文時代草創期～早期の土器がまとまって出土した。従って、表４に示した、調査区別の石器一覧表は、おおよそその出土土器に対応した石器群の組成を示しているといえよう。

本章で報告する石器・石製品は、圧倒的に多いのは縄文時代の資料であるが、1104 および 1501 ～ 1510 は中世以降に属するものであり、これは別途報告する。

表 5-1~3 は、この遺構番号順に出土石器・石製品の出土点数を示したものである。また遺物図面は、遺構順などの出土状況に基づく配列にしてある。この両者から遺構別の出土様相は確認されたい。一方、紙面の都合上、資料の報告は器種別に実施することにする。

なお、石材の同定は堀木真美子によるが、安山岩の分類は第 211 集『西地・東地遺跡』報告書に従っている（堀木 2019※）。

表４　万瀬遺跡出土石器・石製品　調査区別出土器種点数表

調査区	石器器種																												石製品器種		
	木葉形尖頭器	有舌尖頭器	丸ノミ形石斧	石鏃	石錐	スクレイパー	使用痕のある小型剥片	小型剥片石器	二次加工のある小型剥片	縦長剥片	小型剥片	小型剥片石核	微細剥片	打製石斧	刃器	使用痕のある剥片	二次加工のある剥片	剥片	礫器	礫器もしくは石核	石核	原石もしくは石核	磨製石斧	砥石	磨石敲石類	石皿台石類	敲打のある礫	被熱礫	大型石棒？	岩版岩偶類	石製品？
14				2		1					9			8			2	60	4	1	1	1	1	5	10	1	2	15			1
19Aa（19A）		1					1		3		28	3	4	2			3	30	2	1		1		5	13		2	58		1	
19Ab	1	1	1	6	1	4	2	1	6	1	133	10	19	3	1	2	6	173	8	1	6	2		4	18	4		4			
19B						2						1		10			5	19	1					1	12	1		9			
19C							1		3		24	3	5	1			2	39	1		1			2	16		1	5	1		
器種総計	1	2	1	8	1	7	4	1	12	1	194	17	28	24	1	2	18	321	16	3	8	4	1	17	69	6	5	91	1	1	1

※　堀木真美子 2019「石材分類について」『西地・東地遺跡』pp.205 ～ 206
愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 211 集

表 5-1　万瀬遺跡出土石器・石製品　遺構別出土器種点数表（1）

調査区	遺構・層など	木葉形尖頭器	有舌尖頭器	丸ノミ形石斧	石器器種																									石製品器種		
					石鏃	石錐	スクレイパー	使用痕のある小型剝片	小型剝片石器	二次加工のある小型剝片	縦長剝片	小型剝片	小型剝片石核	微細剝片	打製石斧	刃器	使用痕のある剝片	二次加工のある剝片	剝片	礫器	礫器もしくは石核	石核	原石もしくは石核	磨製石斧	砥石	磨石敲石類	石皿台石類	敲打のある礫	被熱礫	大型石棒？	岩版岩偶類	石製品？
14	001SX																		1													
14	001SX-1																									2	1		2			
14	001SX-1（2面）														1				4										1			
14	001SX-1（3面）																											1				
14	001SX-2																								1	1						
14	001SX-2(2面)																															
14	001SX-3																		2							3			3			
14	001SX-3(2面)																		1				1						2			
14	004SX														1																	
14	005SX																												2			
14	006SX																												1			
14	008SK																		11													
14	027SE																															
14	043SI						1					1																	1			
14	052SK																		2													
14	058SE																		1													
14	061SE																			2												
14	壁際トレンチ																	1														
14	南北トレンチ																									1			1			
14	サブトレンチ																		1													
14	谷トレンチ																				1											
14	谷トレンチ2																		1										1			
14	2層				2							7			3				6							1		1				1
14	3層											1			1				16					1	2				1			
14	4層														1				1													
14	検出																	1	9	1						2						
14	北壁																		1													
14	表土掘削																		3	1					1							
14	表採・排土														1							1			1							
19Aa（19A）	2014SK																								1							
19Aa（19A）	2017																									1						
19Aa（19A）	2018SK																		1													
19Aa（19A）	2019SK		1																													
19Aa（19A）	2020											1																				
19Aa（19A）	2023											1																				
19Aa（19A）	2062SK																								1							
19Aa（19A）	2065SP																												1			
19Aa（19A）	2072											1																				
19Aa（19A）	2090SK																		1													
19Aa（19A）	2112SX																								1							
19Aa（19A）	2121SK											1																				
19Aa（19A）	2126SK																									1						
19Aa（19A）	2127SL																		2							1		1				
19Aa（19A）	2132SK																		1													
19Aa（19A）	2139SK																		1							1						
19Aa（19A）	2165SK									1		1	1	1					1													
19Aa（19A）	2217SK																		1													
19Aa（19A）	2221SK													1					1													
19Aa（19A）	2281SK																															
19Aa（19A）	2284SK											1																				
19Aa（19A）	2326SZ																		1													
19Aa（19A）	2363SK											1																				
19Aa（19A）	2400SI											5	1					2	4									1	12			
19Aa（19A）	2445SL											1	1	1					1										6			
19Aa（19A）	2446SL																		1													
19Aa（19A）	2447SL																												11			
19Aa（19A）	2448SL																												2			
19Aa（19A）	2449SL																				1					3			22			
19Aa（19A）	2450SL											1		1																		
19Aa（19A）	2465SD									1									3													
19Aa（19A）	T14											2																				
19Aa（19A）	T16											2																				
19Aa（19A）	北壁-2																		1													
19Aa（19A）	検出							1		1		9						1	7	1			1		1	3			1			
19Aa（19A）	表土											1			2				3	1					1	3			3		1	
19Ab	2282SK																	1														
19Ab	2284SK											1																				
19Ab	2290SK											1							1													
19Ab	2292SK																		2													
19Ab	2297SD																		1													

表 5-2　万瀬遺跡出土石器・石製品　遺構別出土器種点数表（2）

調査区	遺構・層など				石器器種																									石製品器種		
		木葉形尖頭器	有舌尖頭器	丸ノミ形石斧	石鏃	石錐	スクレイパー	使用痕のある小型剝片	小型剝片石器	二次加工のある小型剝片	縦長剝片	小型剝片	小型剝片石核	微細剝片	打製石斧	刃器	使用痕のある剝片	二次加工のある剝片	剝片	礫器	礫器もしくは石核	石核	原石もしくは石核	磨製石斧	砥石	磨石敲石類	石皿台石類	敲打のある礫	被熱礫	大型石棒？	岩版岩偶類	石製品？
19Ab	2300SK																		1													
19Ab	2301SK																		2													
19Ab	2302SK																		3								1					
19Ab	2305SK																		1													
19Ab	2312SK																	1	1													
19Ab	2314SK													1				1	1							1						
19Ab	2320SK																									1						
19Ab	2321SK																		1													
19Ab	2324SK													1				1														
19Ab	2331SK											1																				
19Ab	2333SZ																		1													
19Ab	2335SK									1												1										
19Ab	2339SK																		1													
19Ab	2340SK																		1													
19Ab	2343SK													1																		
19Ab	2344SK											2																				
19Ab	2345SK											1							1													
19Ab	2350SK											1																				
19Ab	2351SK											1		1					1													
19Ab	2354SK																		1													
19Ab	2361SK													1					1													
19Ab	2363SK											1																				
19Ab	2368SK																		1													
19Ab	2376SK											3							1													
19Ab	2386SK											1																				
19Ab	2387SK																		1													
19Ab	2388SK												1						2													
19Ab	2391SK											1			1				2													
19Ab	2411SK																		1													
19Ab	2420SK									1																						
19Ab	2421SK											1							1													
19Ab	2424																		1													
19Ab	2427SK						1					1							1													
19Ab	2429SK				1							6		7					3													
19Ab	2433SK									1																						
19Ab	2434SK											1																				
19Ab	2439SK													1																		
19Ab	2440SK													1																		
19Ab	2441SK											1																				
19Ab	2464SZ																		1													
19Ab	2466SK											1													1				1			
19Ab	2470SK												1																			
19Ab	2500SX にぶい黄褐色土						1		1			18	2			1			40	2		1	1			4						
19Ab	2500SX にぶい黄褐色土 下	1	1	1	4	1		2		3		80	3	4			2	1	78	5	1	3	1		1	9	2		3			
19C	2500SX にぶい黄褐色土											4							3							1						
19Ab	2701SD																		1													
19Ab	北西壁																		1													
19Ab	北西壁トレンチ						1					1														1						
19Ab	検出										1	7	2	1	1			1	13			1			2	2						
19Ab	試掘坑				1																											
19Ab	表採											2	1						1	1							1					
19Ab	表土・カクラン・排土						1								1				2													
19B	050SP																									1						
19B	071SK																								1							
19B	073SK														1																	
19B	074SK																									1						
19B	081NR						2								9			4	17							1						
19B	102SK																		1													
19B	105SL																												8			
19B	105SL-1																															
19B	105SL-2																															
19B	105SL-4																															
19B	109SK																									1						
19B	118SK																									1						
19B	133SK																															
19B	147SP																									3			1			

表 5-3　万瀬遺跡出土石器・石製品　遺構別出土器種点数表（3）

調査区	遺構・層など				石器器種																									石製品器種		
		木葉形尖頭器	有舌尖頭器	丸ノミ形石斧	石鏃	石錐	スクレイパー	使用痕のある小型剥片	小型剥片石器	二次加工のある小型剥片	縦長剥片	小型剥片	小型剥片石核	微細剥片	打製石斧	刃器	使用痕のある剥片	二次加工のある剥片	剥片	礫器	礫器もしくは石核	石核	原石もしくは石核	磨製石斧	砥石	磨石敲石類	石皿台石類	敲打のある礫	被熱礫	大型石棒？	岩版岩偶類	石製品？
19B	153SP																																
19B	155SP																																
19B	⑤トレンチ																	1																
19B	東壁																												1						
19B	検出															1													1						
19B	表土																						1	1							1	1					
19B	表採																												1						
19C	1015SK							1																									
19C	1018SK																														1		1		
19C	1024SK											1																					
19C	1050SP																					1					1						
19C	1089SK																	1																
19C	1100SP									1									1															
19C	1102SP																												1						
19C	1109SK																		1															
19C	1112SK											1																					
19C	1121SK											1																					
19C	1134SD																		3															
19C	1137SD																												1						
19C	1144SK													1					2															
19C	1145SK													1					1															
19C	1147SK													1																					
19C	1151SK																		1															
19C	1153SK																																
19C	1168SK																																
19C	1170SK																		1															
19C	1174SL																																2			
19C	1210SK																		1															
19C	1211SP																		2															
19C	1228SK																	1																
19C	1239SK																																
19C	1259SK																											1							
19C	1266SK																																1			
19C	1274SP																																
19C	1280SK																											1	1						
19C	1288SK																																
19C	1291SK																		1									1						
19C	1307SK											1																					
19C	1316SK													1																					
19C	1317SK											1							2															
19C	1328SK											1																					
19C	1393SK																		1															
19C	1461SX																		1															
19C	1466SK											1																					
19C	1467SK																		1															
19C	1468SK														1													1						
19C	1475SK																												1						
19C	1495SK																												1						
19C	1527SL												2	1					3												2			
19C	1533SK											1																					
19C	1536SX											4																					
19C	1538SK											1																					
19C	1556SK																		1															
19C	1568SK																		1															
19C	1700SI																		1	1														
19Ab	1720SI																		1															
19C	1720SI											4	1						4															
19C	1730SI									1		1																1						
19C	検出									1									2									2						
19C	表土																		1									4						
19C	攪乱																		2															
器種総計		1	2	1	8	1	7	4	1	11	1	194	17	28	24	1	2	19	321	17	4	6	4	1	17	69	6	5	91	1	1	1

縄文時代の石器・石製品

木葉形尖頭器【1083】

完形資料で、長さ5.9cm・幅3.2cm・厚さ1.0cmを測る。基部側は円基状を呈するもので、縁辺から身部中央にかけての深い剥離によって製作されており、その様子は両平面とも同様である。断面形状は扁平な菱形を呈している。側辺の湾曲具合は左右非対称となっている。溶結凝灰岩製である。

有舌尖頭器【1046・1105】

いずれも身部一部のみの残存である。1046は、残存で長さ2.5cm・幅1.5cmを測る。両面ともに斜行剥離が認められ、断面形状は菱形を呈する。泥質凝灰岩製である。1105は残存で長さ3.7cm・幅3.2cmを測り、1046よりも幅広である。両面ともに斜行剥離が認められるが、一平面では身部中央で剥離が留まったことにより大きなコブ状を形成している。使用による先端部からの衝撃で、大きく剥離状に欠損をしている。凝灰岩製である。

丸ノミ形石斧【1137】

完形資料で、長さ13.6cm・幅4.7cm・厚さ3.0cmを測る。平面形状は短冊形を呈するもので、厚みのある形状となっている。石材表面の風化が著しいものの、刃部には研磨調整があり、局部磨製石斧であると考えられる。閃緑岩製である。

石鏃【1005・1006・1071・1107・1108・1109・1199】

７点出土し、すべてを図化した。いずれも凹基無茎鏃である。1005と1006は14区出土で、縄文時代後期以降に属するものと考えられる。両平面で剥離調整の程度の差が著しいようである。黒曜石と安山岩製である。一方、1071・1107・1108・1109・1199はAb区出土で、縄文時代早期前半に属するものと考えられる。両平面加工の程度に著しい差は無いようで、より小振りのものが主体である。特に1107は側辺が身内部に湾曲する平面形状であり、欠損のため断言はできないが、脚の片側のみ長脚であった可能性があろう。溶結凝灰岩と黒曜石製であるが、溶結凝灰岩の使用が圧倒的に多い。

石錐【1110】

定型器種として特定できた点数は極めて少ない。長さ2.3cm・幅1.2cmの小型剝片を素材としており、尖った端部には回転使用による微細剥離・磨滅が形成されている。黒曜石製である。

スクレイパー【1003・1016・1017・1070・1188・1198・1200】

７点確認し、すべてを図化した。刃部剥離調整のあるものを集めたが、実際のところ使用による剥離との峻別が難しい資料もある。1003は貝殻状剝片の端部に刃部が形成されているものである。1016は打点側には素材礫面が残るもので、長い横長剝片の端部に刃部形成が認められる。時期を特定できるものではないが、縄文時代後期・晩期によく見られる形態である。1017は小型剝片の一側辺に調整の認められるものである。1070は貝殻状の剝片の対向する２辺に刃部形成が認められる。1188は剝片側辺に刃部のあるもの、1198は長い横長剝片の端部に刃部が形成されているものである。1200は対向する原石両端に剥離が認められるもので、楔形石器である可能性もある。使用石材には、安山岩Ｂ・黒曜石・溶結凝灰岩がある。

使用痕のある小型剥片【1030・1114・1115・1194】

４点確認し、すべて図化した。1030 は貝殻状剥片の側辺に微細剥離が認められる。1114 は貝殻状剥片の端辺に不連続な微細剥離が認められる。1115・1194 は剥片の側辺に不連続な微細剥離が認められる。石材は、溶結凝灰岩・凝灰岩・オパールがある。

小型剥片石器【1085】

使用痕のある剥片、あるいは楔形にも思われるものである。剥片両端に剥離が集中している。身部は厚みがある。黒曜石製である。

二次加工のある小型剥片【1033・1039・1040・1049・1058・1068・1072・1111・1112・1113・1193】

定型器種の加工途上段階と考えられる資料群である。11 点を確認し、10 点を図化した。特に、1039・1040・1049・1058・1193 は石鏃製作途上段階と考えられ、より石鏃に近い形状となっている。石材には溶結凝灰岩・凝灰岩・黒曜石を確認したが、溶結凝灰岩が圧倒的に多い。

縦長剥片【1192】

打面の調整後、連続した縦長剥片の作出が窺える資料である。断面形状は扁平な三角形状を呈する。溶結凝灰岩製で、縄文時代草創期や後期旧石器時代にまでさかのぼりうる資料かも知れない。

小型剥片【1041・1042・1043・1044・1061・1116・1117・1118・1119・1120・1121・1122・1123・1124・1125・1126・1127・1128・1129・1130・1131・1132・1133・1189・1190・1191】

主に石鏃などに対応する石材由来の剥片で、200 点確認し、26 点を図化した。図化資料は、19C 区および 19Aa 区の包含層からの出土で、縄文時代早期前半を主体とする時期資料である。菱形および貝殻状を呈するなど横長気味の剥片が多いなか、1191 など縦長気味の剥片も認められる。使用石材は溶結凝灰岩・凝灰岩・黒曜石で、溶結凝灰岩の比率が極めて高い。

小型剥片石核【1035・1037・1050・1059・1062・1073・1082・1084・1086・1134・1135・1136】

上述した小型剥片に対応する石核である。17 点を確認し、10 点を図化した。1059・1062・1136 はサイコロ状などの形状、1050・1134・1135 は細長の形状を呈しており、打面転移をさせながら周囲から剥片を作出を連続したものと思われる。使用石材には溶結凝灰岩・凝灰岩・黒曜石があり、溶結凝灰岩が圧倒的に多い。1050 は松脂石である。

打製石斧【1101・1002・1007・1008・1009・1010・1012・1014・1018・1019・1020・1021・1022・1023・1060・1195・1201】

24 点確認し、17 点を図化した。平面形状が窺える資料でみると、1001・1010・1012・1018 ～ 1020・1022 が撥形、1002・1007 ～ 1009・1014・1060 が短冊形、1021 が分銅形でである。身部中央に認められる大きな剥離と縁辺に連続して認められる小さなな剥離とは剥離作用が一致しないものか散見されるようで、大きく形を成形する剥離と側辺などを最終的に調整する剥離とは動作・作用が異なる可能性がある。刃部が残存しているもので見ると、端部には階段状のツブれや磨滅痕が観察される。使用石材は、安山岩Ｂ・安山岩Ｄ・安山岩Ｅ・安山岩Ｆ・その他安山岩・閃緑岩で、安山岩Ｂの使用

が多い。また、出土調査区が 14 区と 19B 区に集中している。縄文時代後期以降の資料であることをよく示しているといえる。

刃器および使用痕のある剝片【1090・1145・1146】

確認できたのは 1 点のみであった。貝殻状剝片の側辺および端部に使用によると思わせる剥離が認められるものである。石材は安山岩Ｂと凝灰岩である。

二次加工のある剝片【1013・1024・1025・1026・1028・1032・1034・1051・1053・1054・1056・1058・1065・1066・1144】

中型・大型の打製石器の製作途上と考えられる石器を一括した。19 点のうち 15 点を図化した。このうち、1013・1024 ～ 1026・1032・1034・1051・1054・1056・1065 は打製石斧の製作途上資料と考えられる。石材には安山岩Ｂ・安山岩Ｄ・安山岩Ｅ・その他安山岩・砂質凝灰岩・泥質凝灰岩がある。

剝片【1045・1063・1064・1067・1069・1074・1079・1080・1091・1092・1093・1094・1095・1096・1097・1098・1099・1100・1147・1148・1149・1150・1151・1152・1153・1154・1155・1156・1157・1158・1159・1160・1161・1162・1163・1164・1165・1166・1167・1168・1169・1170・1171・1172・1173・1176】

中型・大型の打製石器に対応する剝片を一括している。326 点のうち、47 点を図化した。小型剝片同様に、菱形および貝殻状を呈するなど横長気味の剝片が多い。石材には、安山岩Ａ・安山岩Ｂ・安山岩Ｄ・安山岩Ｅ・安山岩Ｆ・その他安安山岩・凝灰岩・凝灰質泥岩・砂質凝灰岩・泥質凝灰岩・溶結凝灰岩がある。

石核【1015・1031・1057・1087・1174・1175・1177・1196】

8 点確認し、すべて図化した。1174・1175 などは、打面転移をして連続して剝片が作出されている。1177 は片面のみで、上下から剝片作出が行われている。1196 は打面調整の後、同一方向から剝片を連続的に作出している。縄文時代草創期以前、場合によっては後期旧石器時代にまでさかのぼる資料かも知れない。石材には、安山岩Ｂ・安山岩Ｄ・安山岩Ｅ・その他安山岩がある。

礫器（礫器もしくは石核）【1027・1036・1075・1088・1089・1138・1139・1140・1141・1142・1143・1197】

19 点確認し、12 点を図化した。1027・1197 は棒状礫の端部が片刃状になっているものである。1140 は剝片状となった端部に刃部が形成されており、刃器に近いかもしれない。石材には、安山岩Ｂ・安山岩Ｄ・安山岩Ｅ・凝灰岩がある。

磨製石斧【1011】

磨製石斧身部のごく一部のみが残存しているものである。使用などの欠損によって剝片状となったものである。石材は塩基性岩で、縄文時代晩期以降に属するものと考えられる。

砥石【1081・1178】

２点確認し、すべてを図化した。1981 は有溝砥石である。側面には敲打などした整形の痕があり、その上で両平面には使用による磨痕が著しく残る。有溝は浅く、小刻みに使用痕跡を確認することができる。縄文時代草創期に属するものか。砂質凝灰岩製である。1178 は側面と一平面に磨痕が明瞭に残る。凝灰質砂岩製である。

磨石敲石類【1038・1047・1048・1055・1076・1077・1078・1101・1102・1103・1104・1179・1180・1181・1182・1183・1184・1185】

69点確認し、18点を図化した。多くは、磨痕と敲打痕の両方が認められる。69点のうち凹み明瞭のいわゆる凹石も3点確認できた（未図化）。楕円形・円形の河原石を使用する道具であるが、1185のように石鹸形を呈するものもある。石材は、花こう岩・片麻岩・砂岩・凝灰岩・閃緑岩・ハンレイ岩・アプライトなどがある。

石皿台石類【1029・1052・1186・1187・1202】

6点確認し、5点を図化した。板石状のものをそのまま使用しており、局所的に磨滅痕が認められる。石材は、花こう岩・片麻岩である。

大型石棒？【1301】

現存で、長さ37cm・幅11.9cmを測る棒状の製品である。表面の剥落が著しいものの、自然石などを大型石棒として使用した可能性も考えられるものである。閃緑岩製である。

岩偶岩版類【1302】

残存部分でみると扁平な円盤状を呈するもので、特に両平面には研磨調整が著しい。研磨の後に両面からの穿孔が行われており、貫通している。岩偶岩版類であれば、頭部の可能性があろう。砂質凝灰岩製である。

使用石材について

器種別報告でも使用石材について触れたが、石材別に対応器種の傾向を見たのが、表6である。石鏃などの小型剥片石器について、今回の調査では、黒曜石の使用よりもむしろ溶結凝灰岩の使用が顕著である。また、スクレイパー・使用痕剥片からやや大型の石器に対応する石材として各種安山岩の使用が著しく、特に安山岩Bと安山岩Dは多用されている。安山岩Bと安山岩Dは、遺跡の東を南流する境川の河床に転石としして多くあり、そこから採取された原石が遺跡に持ち込まれて加工がなされている様子は、後期旧石器時代から縄文時代・弥生時代にかけて変わらないことが、今回の報告資料でもいえることである。

今回の報告資料は、縄文時代後期以降の14区および19B区が主に情報からの土石流堆積など二次堆積資料で、19A区・19C区の縄文時代草創期～早期前半の資料は安定的であることを勘案する必要があろう。

中世以降の石器・石製品

石皿台石類【1004】

14区052SK底面から出土したもので、両平面ともに平坦である。使用痕としては敲打などによるアレと、線状の細い工具の当たった痕がある。工具痕は鋭く、金属によるものと考えられる。また、この資料は全体的に被熱により赤色化をしている。野鍛冶などを行うに際して、製品を当てた台石（いわゆる金床石）になると考えられる。花こう岩の板石を利用している。

砥石【1501・1502・1503・1504・1505・1506・1507・1508・1509・1510】

1501・1502・1510は置砥石である。1501は枕石のような形状で、一部に著しい磨滅痕と敲打などによるアレが認められる。いずれも片麻岩を使用している。その他は手持砥石などにも使用されたものであろうか。側面の使用も著しい。1503・1505は、特に金属工具の痕跡が明瞭に残る。凝灰岩・砂質凝灰岩が主体で、片麻岩も使用されている。

表６　万瀬遺跡出土石器・石製品　石材別点数と重量表

石材【総重量g】	点数・重量集計	石器器種																								石製品器種		
		木葉形尖頭器	有舌尖頭器	丸ノミ形石斧	石鏃	石錐	スクレイパー	使用痕のある小型剥片	小型剥片石器	二次加工のある小型剥片	縦長剥片	小型剥片	小型剥片石核	打製石斧	刃器	使用痕のある剥片	二次加工のある剥片	剥片	礫器	礫器もしくは石核	石核	原石もしくは石核	磨製石斧	砥石	磨石敲石類	石皿台石類	大型石棒？	岩版岩偶類	石製品？
黒曜石【49.0g】	点数				3	1	2		1	1		19	4																
	点数合計重量				1.2	1.3	8.6		4.4	5.4		16.7	11.4																
	点数合計重量/点数				0.4	1.3	4.3		4.4	5.4		0.9	2.9																
下呂石【2.6g】	点数											2																	
	点数合計重量											2.6																	
	点数合計重量/点数											1.3																	
チャート？【15.0g】	点数											6										1							
	点数合計重量											15.0										41.4							
	点数合計重量/点数											2.5										41.4							
オパール【15.5g】	点数							1				2																	
	点数合計重量							11.2				4.3																	
	点数合計重量/点数							11.2				2.1																	
溶結凝灰岩【1540.4g】	点数	1	1		4		2	2		9	1	114					1	9	1						1				
	点数合計重量	17.9	1.6		2.2		38.7	20.2		40.7	2.3	424.3					256.8	65.4	284.1						386.2				
	点数合計重量/点数	17.9	1.6		0.6		19.3	10.1		5.0	2.3	3.7					128.6	7.3	284.1						386.2				
凝灰岩【2813.8g】	点数		1					1		2		49	1			1	1	34	1					5	5				
	点数合計重量		8.3					7.8		27.0		207.2	14.2			18.5	2.2	466.9	125.7					362.1	1573.9				
	点数合計重量/点数		8.3					7.8		13.5		4.2	14.2			18.5	2.2	13.7	125.7					72.4	314.8				
砂質凝灰岩【833.5g】	点数												9				1	5						4	2			1	
	点数合計重量												312.7				74.2	73.2						230.1	136.9			6.4	
	点数合計重量/点数												34.7				74.2	14.6						57.5	68.5			6.4	
泥質凝灰岩【342.4g】	点数											5	1				1	2							1				
	点数合計重量											61.4	20.4				49.3	13.3							198.0				
	点数合計重量/点数											12.3	20.4				49.3	6.6							198.0				
松脂石【4.5g】	点数												1																
	点数合計重量												4.5																
	点数合計重量/点数												4.5																
安山岩Ａ【23.6g】	点数																	1											
	点数合計重量																	23.6											
	点数合計重量/点数																	23.6											
安山岩Ｂ【11735.6g】	点数				1		3							13	1	1	8	193	4	1	3	1			1				
	点数合計重量				0.3		191.4							1376.9	168.0	36.3	781.1	5048.9	1674.6	294.3	659.8	1102.5			401.5				
	点数合計重量/点数				0.3		63.8							105.9	168.0	36.3	97.6	26.2	418.7	294.3	219.9	1102.5			401.5				
安山岩Ｄ【11135.0g】	点数											1		5			2	15	4		1	1			1				
	点数合計重量											1.0		456.8			87.6	921.5	2922.7		112.5	6400.0			232.9				
	点数合計重量/点数											1.0		91.4			43.8	61.4	730.7		112.5	6400.0			232.9				
安山岩Ｅ【7481.2g】	点数													3			4	59	4	2	3	1							
	点数合計重量													316.3			568.7	2103.8	1019.9	2308.9	835.2	328.4							
	点数合計重量/点数													105.4			142.2	34.1	255.0	1154.5	278.4	328.4							
安山岩Ｆ【92.7g】	点数													1				1											
	点数合計重量													84.3				8.4											
	点数合計重量/点数													84.3				8.4											
その他安山岩【2944.5g】	点数													1				4			1				6				
	点数合計重量													149.4				82.9			72.5				2639.7				
	点数合計重量/点数													149.4				20.7			72.5				440.0				
塩基性岩【7.1g】	点数																						1						
	点数合計重量																						7.1						
	点数合計重量/点数																						7.1						
閃緑岩【2050.7g】	点数			1										1											7				
	点数合計重量			301.6										108.4											1942.3				
	点数合計重量/点数			301.6										108.4											277.5				
黒色片岩【9.1g】	点数																							1					
	点数合計重量																							9.1					
	点数合計重量/点数																							9.1					
凝灰質砂岩【648.0g】	点数																							1	3				
	点数合計重量																							34.2	613.8				
	点数合計重量/点数																							34.2	204.6				
砂岩【553.0g】	点数																								2				
	点数合計重量																								553.0				
	点数合計重量/点数																								276.5				
泥岩【18.1g】	点数																												1
	点数合計重量																												18.1
	点数合計重量/点数																												18.1
凝灰質泥岩【249.1g】	点数																	3	1										
	点数合計重量																	47.2	201.9										
	点数合計重量/点数																	15.7	201.9										
ハンレイ岩【6624.4g】	点数																								2		1		
	点数合計重量																								624.4		6000.0		
	点数合計重量/点数																								312.2		6000.0		
アプライト【1872.1g】	点数																								3				
	点数合計重量																								1872.1				
	点数合計重量/点数																								624.0				
珪質岩【661.7g】	点数																								1				
	点数合計重量																								661.7				
	点数合計重量/点数																								661.7				
片麻岩【40516.8g】	点数																		1					6	19.0	3			
	点数合計重量																		1282.0					6044.4	9648.6	23541.8			
	点数合計重量/点数																		1282.0					1007.4	597.8	7847.3			
花こう岩【31857.4g】	点数																								11	3			
	点数合計重量																								6991.4	24866.0			
	点数合計重量/点数																								635.6	8288.6			

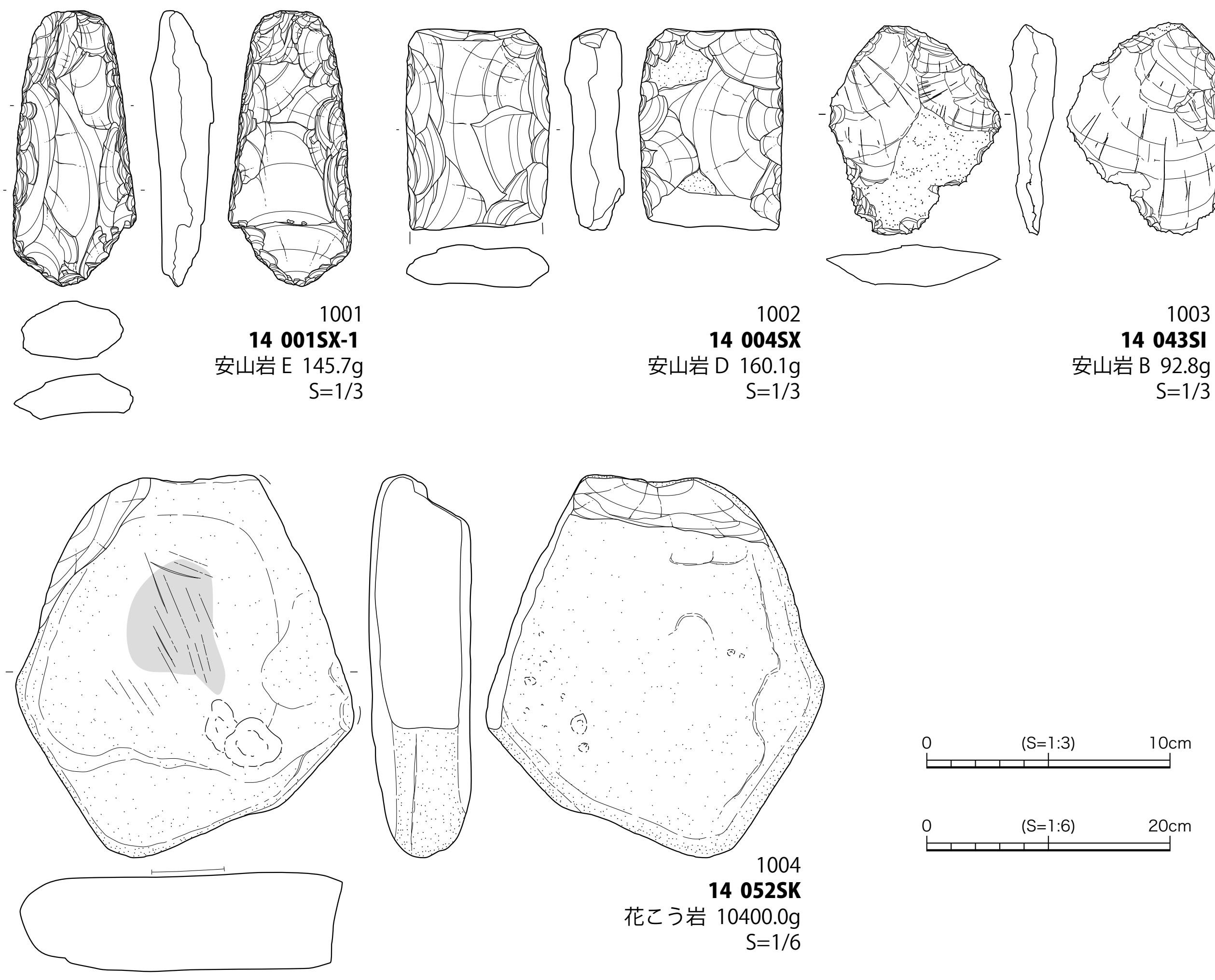
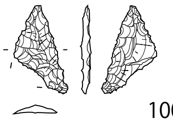
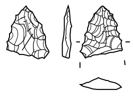


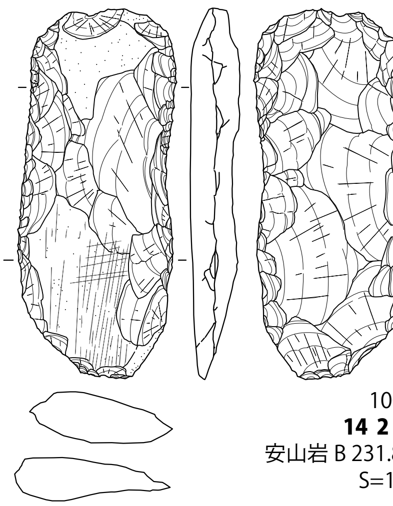
図 81　石器・石製品 1　14 区 001SX ～ 14 区 052SK 出土　S=1/3,1/6



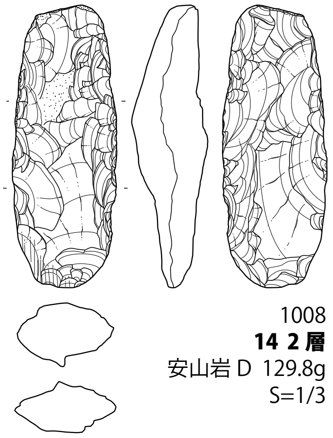
1005
14 2 層
黒曜石 0.5g
S=1/2



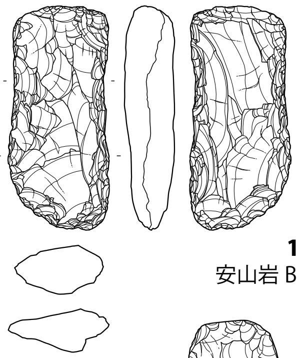
1006
14 2 層
安山岩 B 0.3g
S=1/2



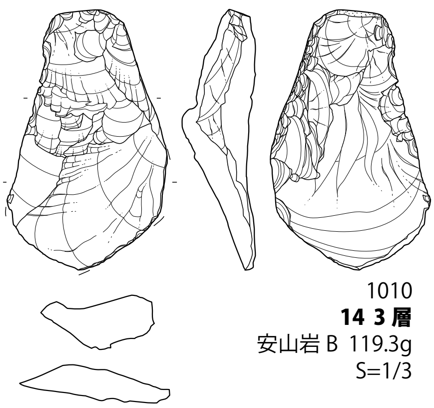
1007
14 2 層
安山岩 B 231.8g
S=1/3



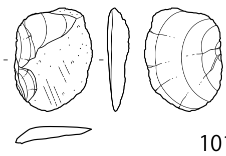
1008
14 2 層
安山岩 D 129.8g
S=1/3



1009
14 2 層
安山岩 B 82.3g
S=1/3



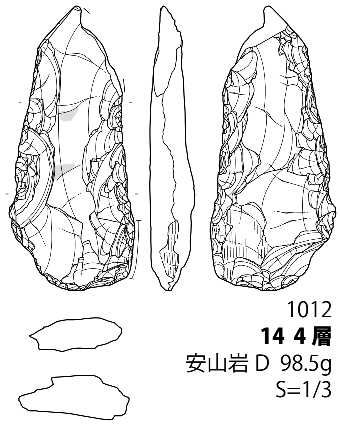
1010
14 3 層
安山岩 B 119.3g
S=1/3



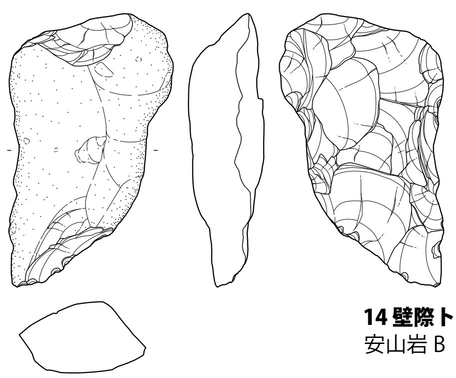
1011
14 3 層
塩基性岩 7.1g
S=1/3

0 (S=1:2) 5cm

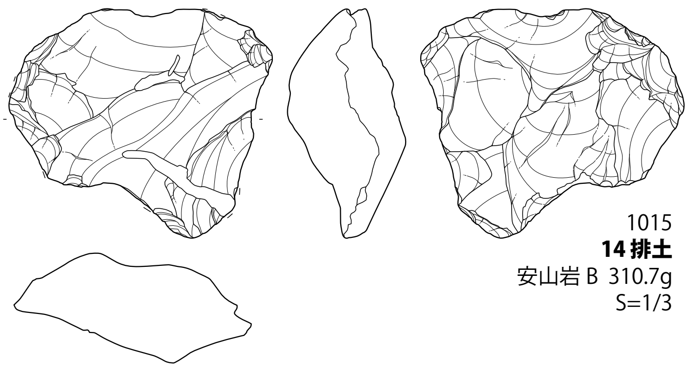
0 (S=1:3) 10cm



1012
14 4 層
安山岩 D 98.5g
S=1/3

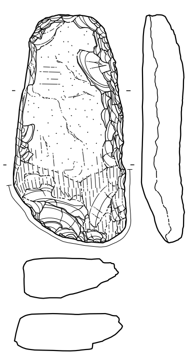


1013
14 壁際トレンチ
安山岩 B 183.9g
S=1/3



1015
14 排土
安山岩 B 310.7g
S=1/3

0 (S=1:3) 10cm



1014
14 排土
安山岩 B 85.9g
S=1/3

図 82　石器・石製品 2　14 区 2 層出土、14 区トレンチ出土、14 区排土出土　S=1/2,1/3

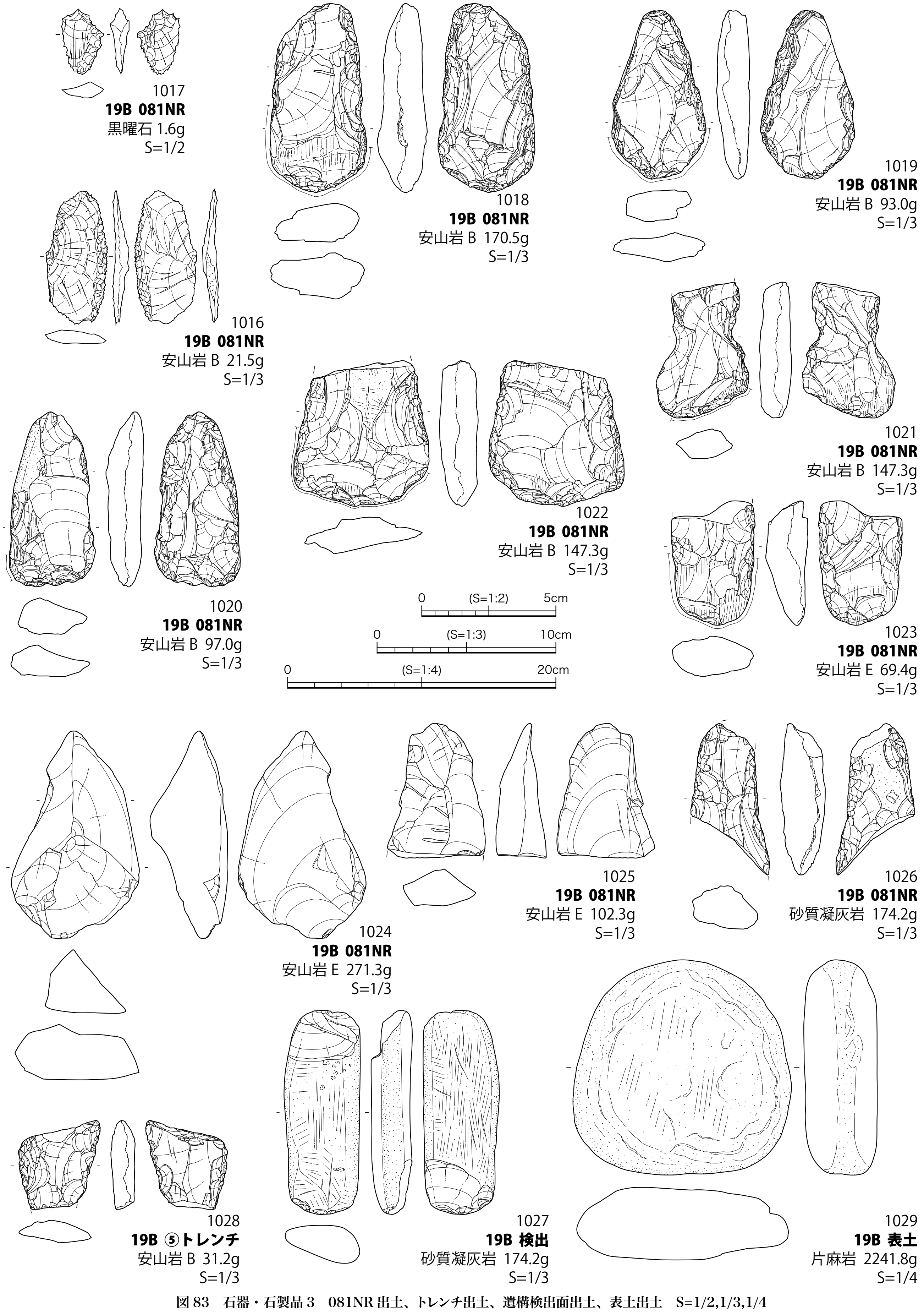
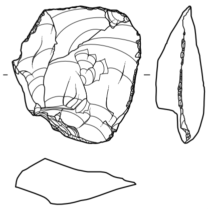
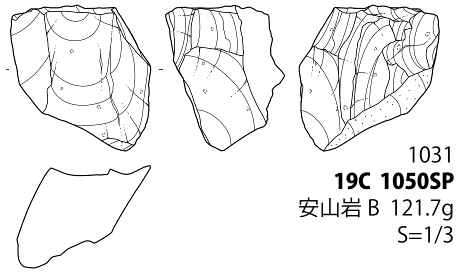


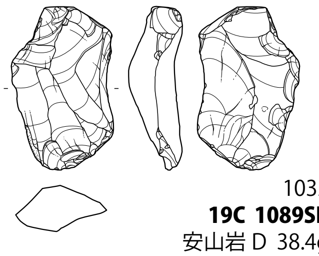
図 83　石器・石製品 3　081NR 出土、トレンチ出土、遺構検出面出土、表土出土　S=1/2,1/3,1/4



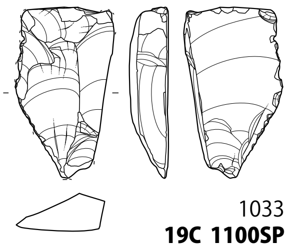
1030
19C 1050SP
オパール？ 11.2g
S=1/2



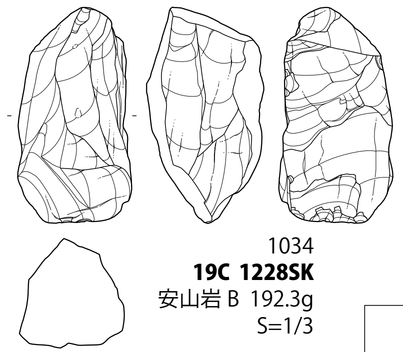
1031
19C 1050SP
安山岩 B 121.7g
S=1/3



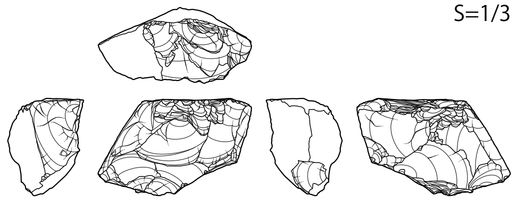
1032
19C 1089SK
安山岩 D 38.4g
S=1/3



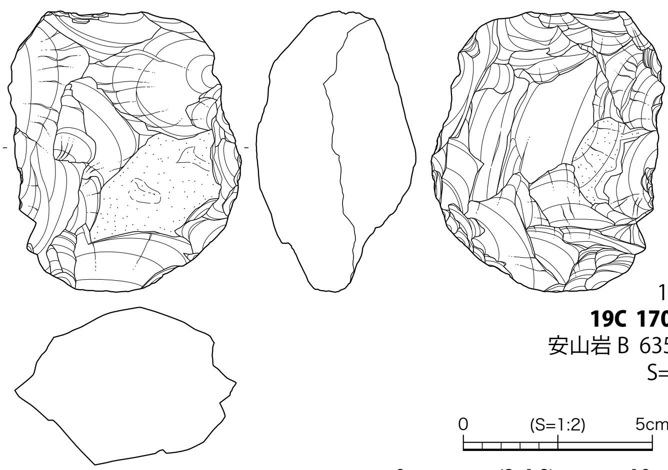
1033
19C 1100SP
安山岩 D 38.4g
S=1/2



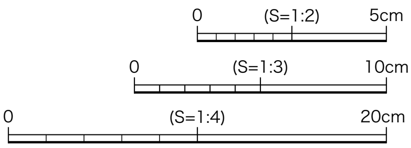
1034
19C 1228SK
安山岩 B 192.3g
S=1/3

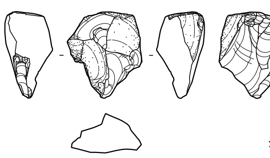


1035
19C 1527SL
溶結凝灰岩 17.7g
S=1/2

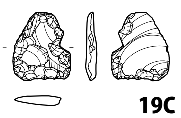


1036
19C 1700SI
安山岩 B 635.2g
S=1/3

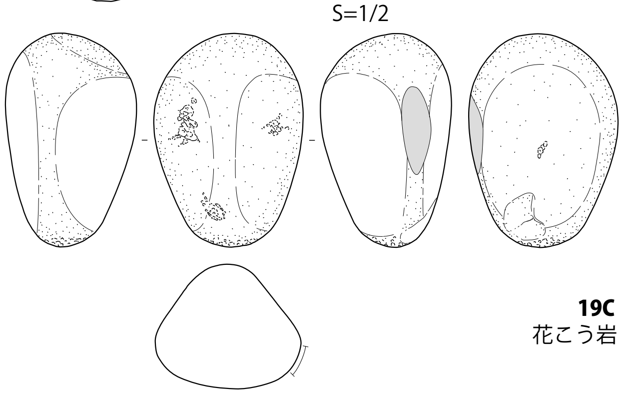




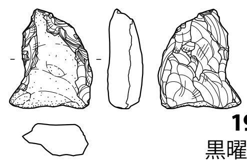
1037
19C 1720SI
黒曜石 3.7g
S=1/2



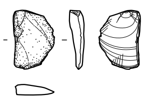
1039
19C 1730SI
溶結凝灰岩 0.7g
S=1/2



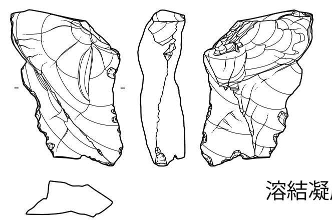
1038
19C 1730SI
花こう岩 765.2g
S=1/4



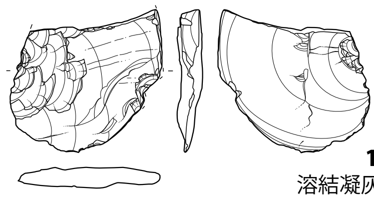
1040
19C 検出
黒曜石 5.4g
S=1/2



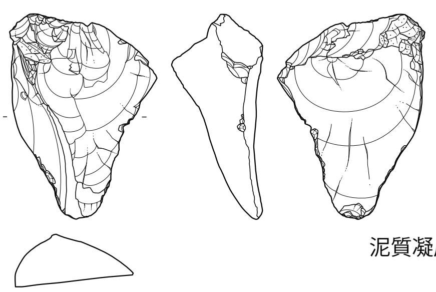
1041
19C 検出
黒曜石 0.6g
S=1/2



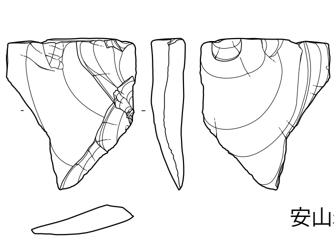
1042
19C 検出
溶結凝灰岩 11.3g
S=1/2



1043
19C 検出
溶結凝灰岩 7.0g
S=1/2



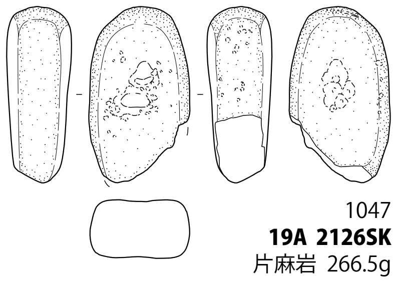
1044
19C 検出
泥質凝灰岩 26.9g
S=1/2



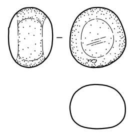
1045
19C 検出
安山岩 B 26.2g
S=1/3

図 84　石器・石製品 4　1050SP ～ 1730SI 出土、19C 区遺構検出面出土　S=1/2,1/3,1/4

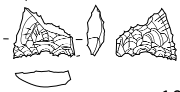
1046
19A 2019SK
泥質凝灰岩 1.6g
S=1/2



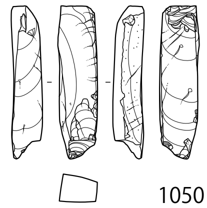
1047
19A 2126SK
片麻岩 266.5g
S=1/4



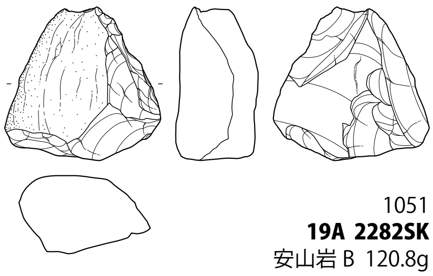
1048
19A 2139SK
砂質凝灰岩 30.0g
S=1/4



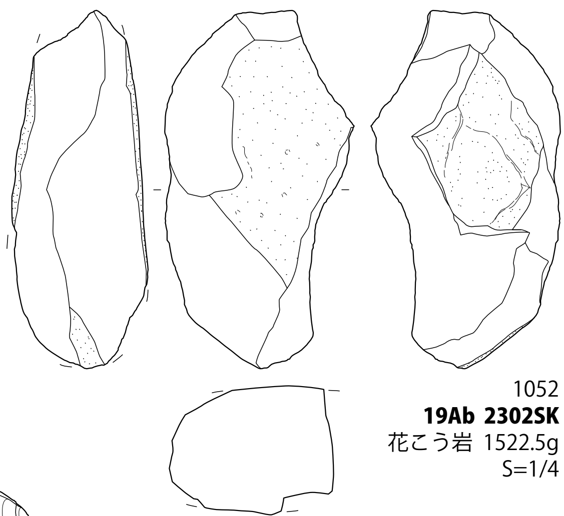
1049
19A 2165SK
泥質凝灰岩 0.8g
S=1/2



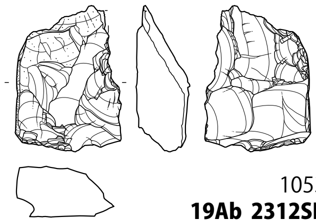
1050
19A 2165SK
松脂岩 4.5g
S=1/2



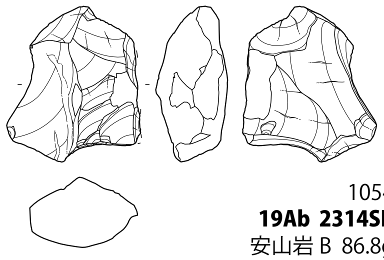
1051
19A 2282SK
安山岩 B 120.8g
S=1/3



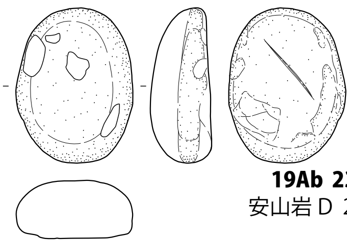
1052
19Ab 2302SK
花こう岩 1522.5g
S=1/4



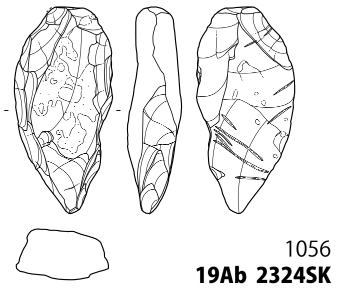
1053
19Ab 2312SK
泥質凝灰岩 49.3g
S=1/3



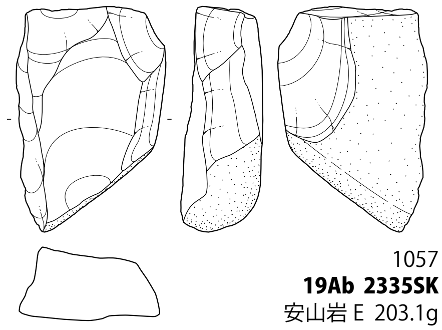
1054
19Ab 2314SK
安山岩 B 86.8g
S=1/3



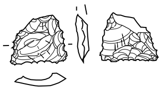
1055
19Ab 2320SK
安山岩 D 232.9g
S=1/4



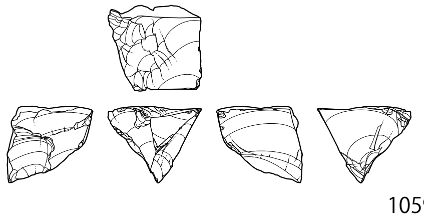
1056
19Ab 2324SK
安山岩 B 65.5g
S=1/3



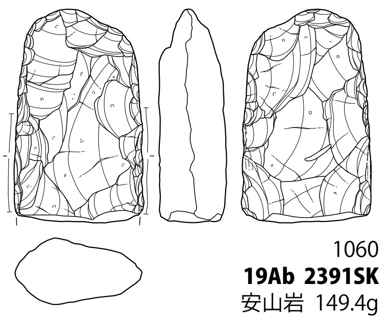
1057
19Ab 2335SK
安山岩 E 203.1g
S=1/3



1058
19Ab 2335SK
溶結凝灰岩 0.4g
S=2/3



1059
19Ab 2338SK
溶結凝灰岩 8.1g
S=2/3



1060
19Ab 2391SK
安山岩 149.4g
S=1/2

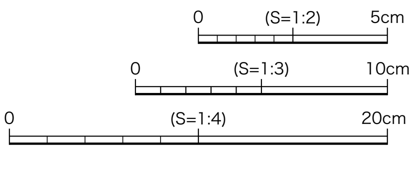
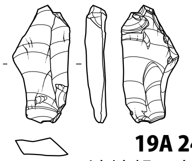
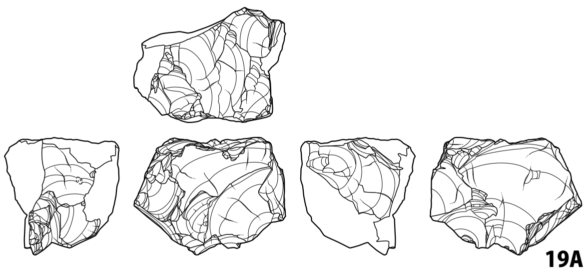


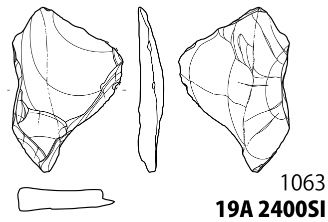
図 85　石器・石製品 5　2019SK ～ 2391SK 出土　S=1/2,1/3,1/4



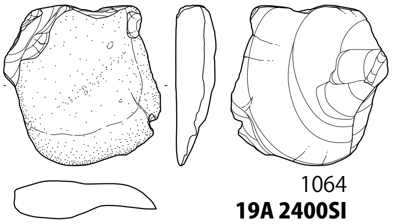
1061
19A 2400SI
溶結凝灰岩 2.3g
S=1/2



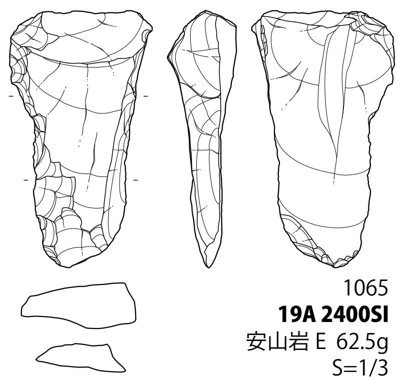
1062
19A 2400SI
溶結凝灰岩 36.4g
S=1/2



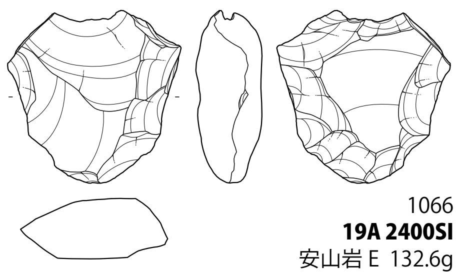
1063
19A 2400SI
安山岩 E 23.8g
S=1/3



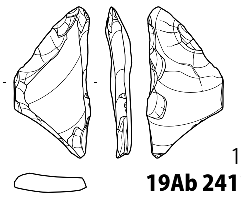
1064
19A 2400SI
安山岩 D 59.3g
S=1/3



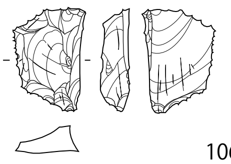
1065
19A 2400SI
安山岩 E 62.5g
S=1/3



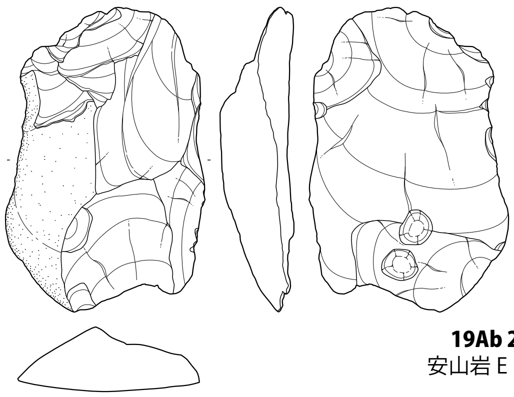
1066
19A 2400SI
安山岩 E 132.6g
S=1/3



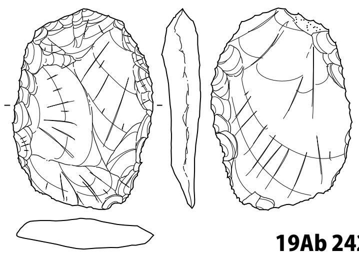
1067
19Ab 2411SK
安山岩 E 15.5g
S=1/3



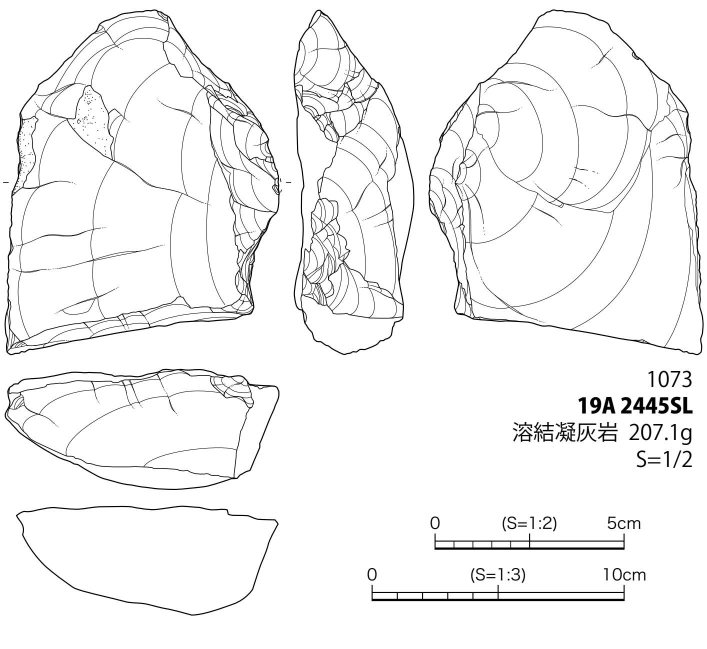
1068
19Ab 2420SK
安山岩 E 3.4g
S=1/2



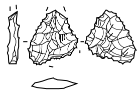
1069
19Ab 2424SK
安山岩 E 225.8g
S=1/3



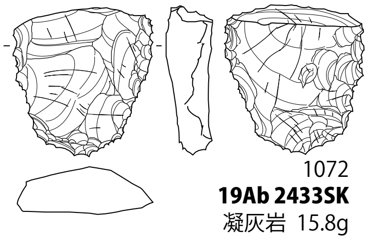
1070
19Ab 2427SK
安山岩 B 77.1g
S=1/3



1073
19A 2445SL
溶結凝灰岩 207.1g
S=1/2



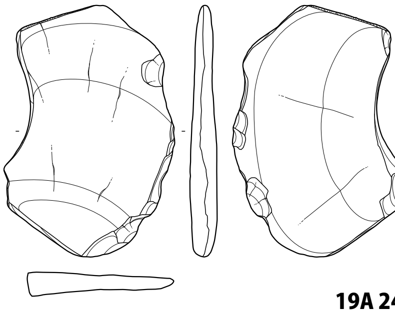
1071
19Ab 2429SK
黒曜石 0.4g
S=1/2



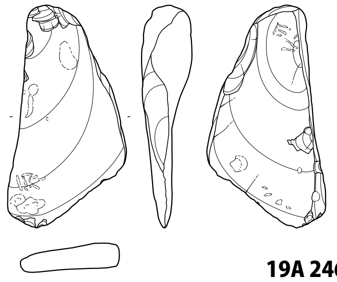
1072
19Ab 2433SK
凝灰岩 15.8g
S=1/2

0 (S=1:2) 5cm
0 (S=1:3) 10cm

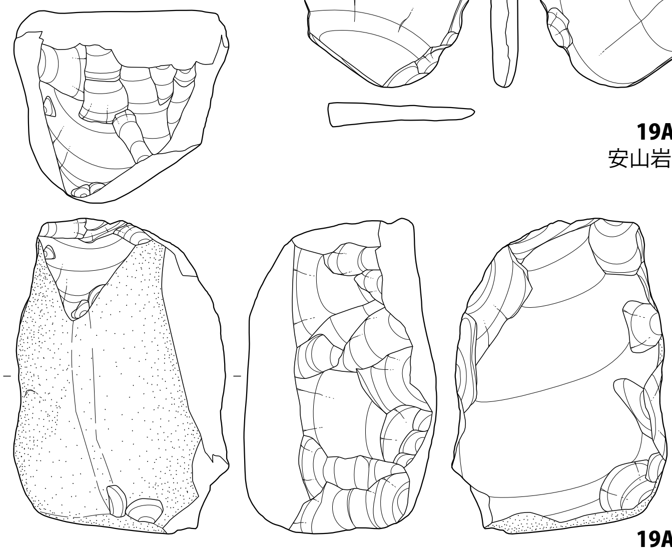
図 86　石器・石製品 6　19C 区 2400SI ～ 2445SL 出土　S=1/2,1/3



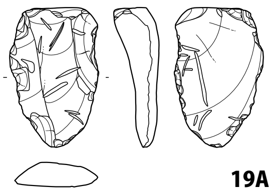
1074
19A 2446SL
安山岩 B 74.9g
S=1/3



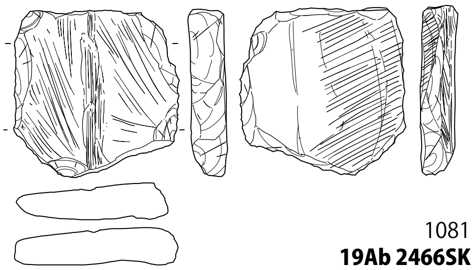
1079
19A 2465SD
安山岩 D 48.1g
S=1/3



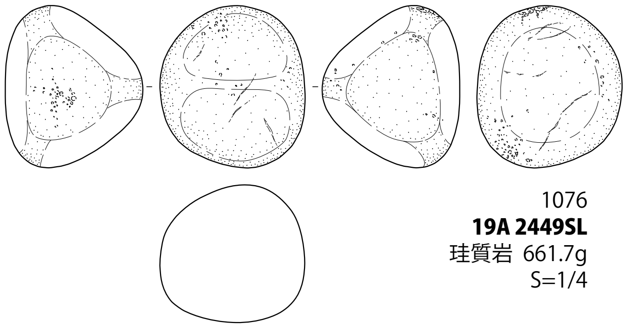
1075
19A 2449SL
安山岩 E 1161.1g
S=1/3



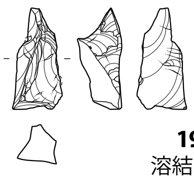
1080
19A 2465SD
安山岩 E 29.3g
S=1/3



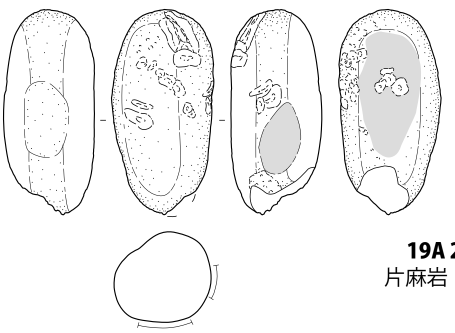
1081
19Ab 2466SK
砂質凝灰岩 78.9g
S=1/3



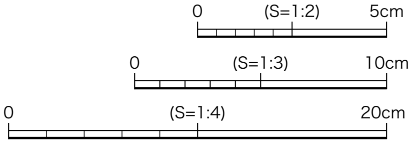
1076
19A 2449SL
珪質岩 661.7g
S=1/4

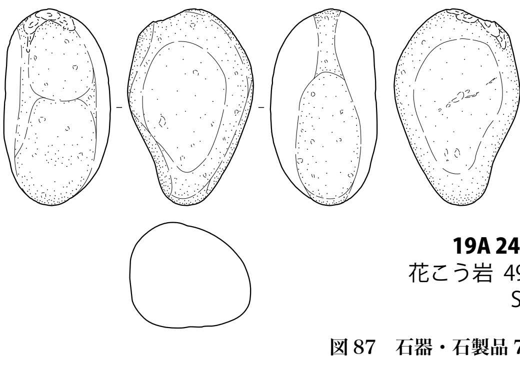


1082
19Ab 2470SK
溶結凝灰岩 2.5g
S=1/2



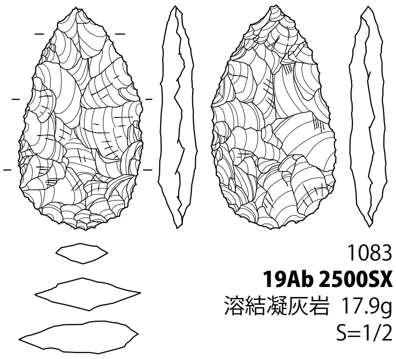
1077
19A 2449SL
片麻岩 367.4g
S=1/4



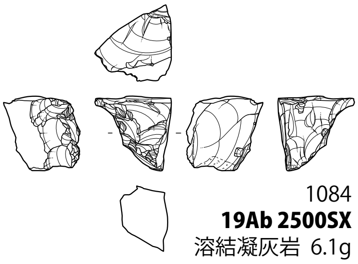


1078
19A 2449SL
花こう岩 492.4g
S=1/4

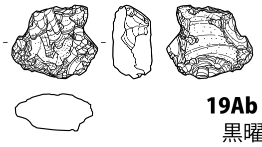
図 87　石器・石製品 7　2446SL ～ 2470SK 出土　S=1/2,1/3,1/4



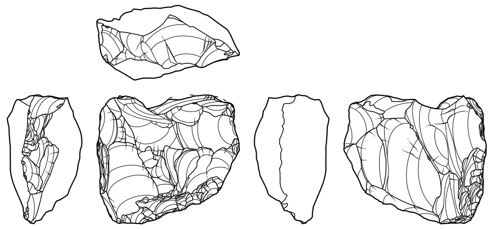
1083
19Ab 2500SX
溶結凝灰岩 17.9g
S=1/2



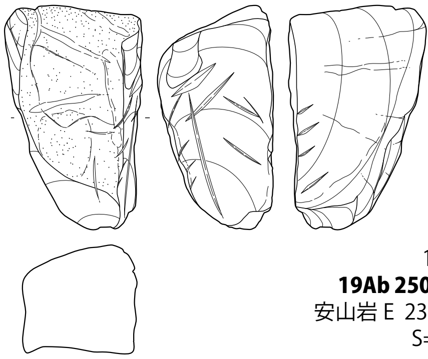
1084
19Ab 2500SX
溶結凝灰岩 6.1g
S=1/2



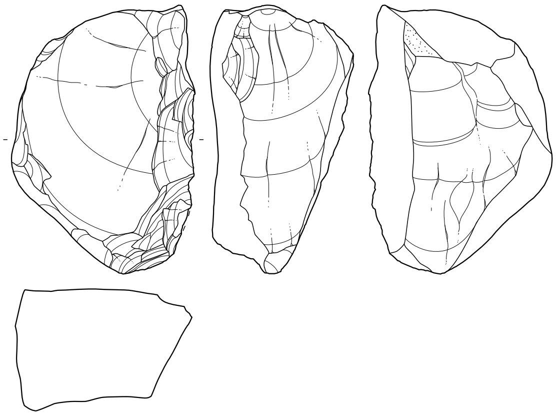
1085
19Ab 2500SX
黒曜石 4.4g
S=1/2



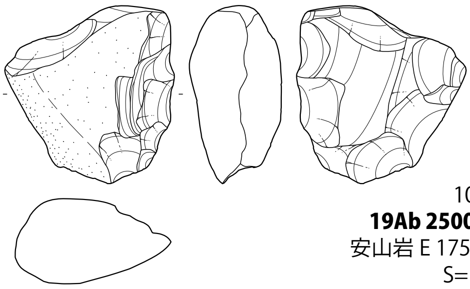
1086
19Ab 2500SX
溶結凝灰岩 22.9g
S=1/2



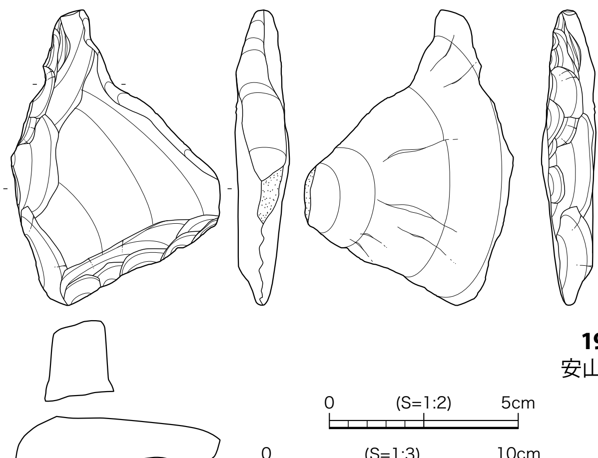
1087
19Ab 2500SX
安山岩 E 238.2g
S=1/3



1088
19Ab 2500SX
安山岩 B 501.8g
S=1/3



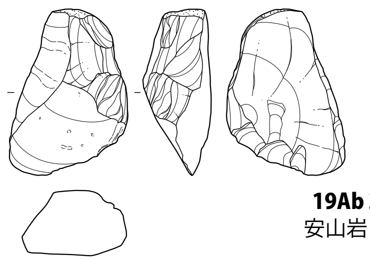
1089
19Ab 2500SX
安山岩 E 175.8g
S=1/3



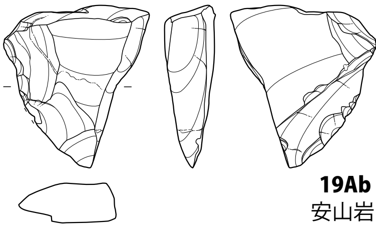
1090
19Ab 2500SX
安山岩 B 168.0g
S=1/3

0 (S=1:2) 5cm

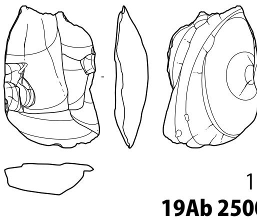
0 (S=1:3) 10cm



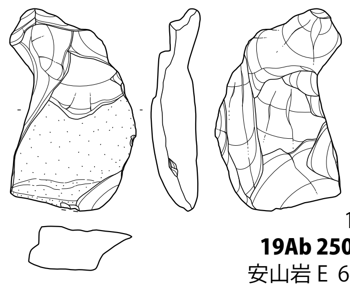
1091
19Ab 2500SX
安山岩 B 80.0g
S=1/3



1092
19Ab 2500SX
安山岩 B 67.0g
S=1/3

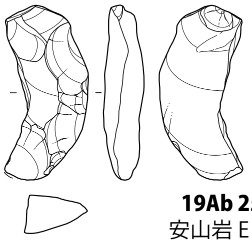


1093
19Ab 2500SX
安山岩 B 26.2g
S=1/3

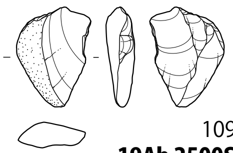


1094
19Ab 2500SX
安山岩 E 64.7g
S=1/3

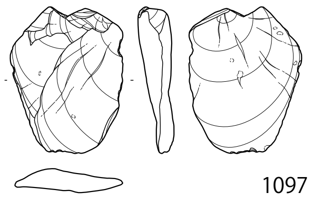
図 88 石器・石製品 8 2500SX 出土 (1) S=1/2,1/3



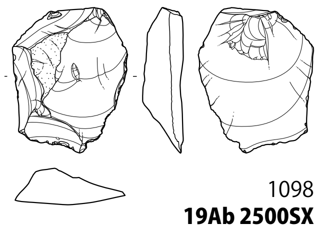
1095
19Ab 2500SX
安山岩 E 34.1g
S=1/3



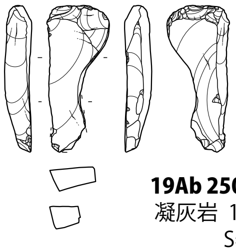
1096
19Ab 2500SX
安山岩 E 10.3g
S=1/3



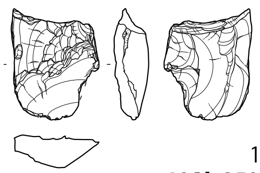
1097
19Ab 2500SX
安山岩 22.8g
S=1/3



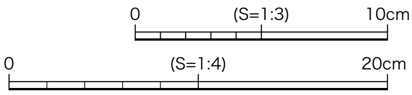
1098
19Ab 2500SX
凝灰岩 29.3g
S=1/3

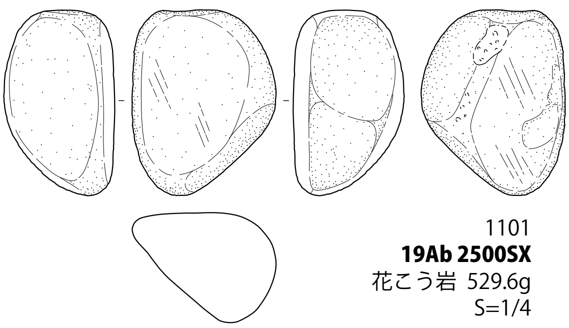


1099
19Ab 2500SX
凝灰岩 11.4g
S=1/3

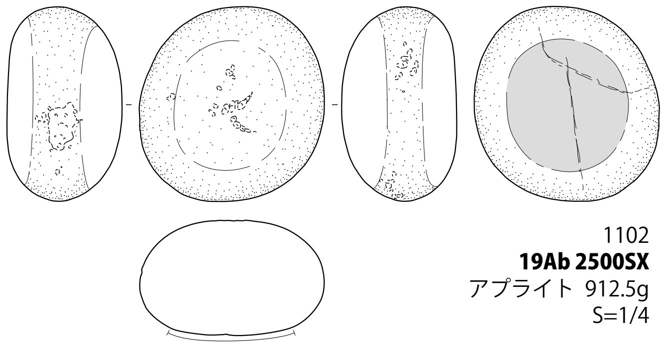


1100
19Ab 2500SX
凝灰質泥岩 16.7g
S=1/3

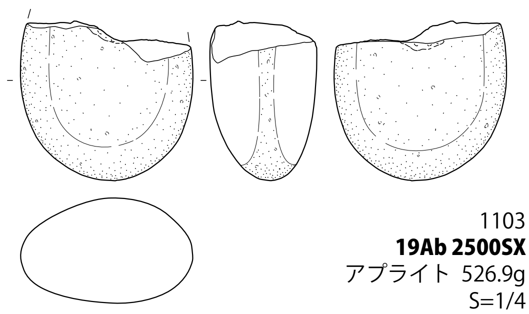




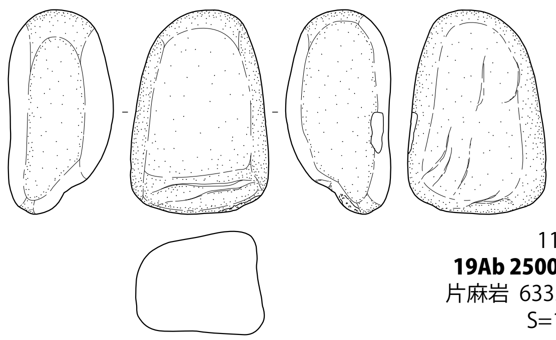
1101
19Ab 2500SX
花こう岩 529.6g
S=1/4



1102
19Ab 2500SX
アプライト 912.5g
S=1/4



1103
19Ab 2500SX
アプライト 526.9g
S=1/4



1104
19Ab 2500SX
片麻岩 633.3g
S=1/4

図 89　石器・石製品 9　2500SX 出土 (2)　S=1/3,1/4

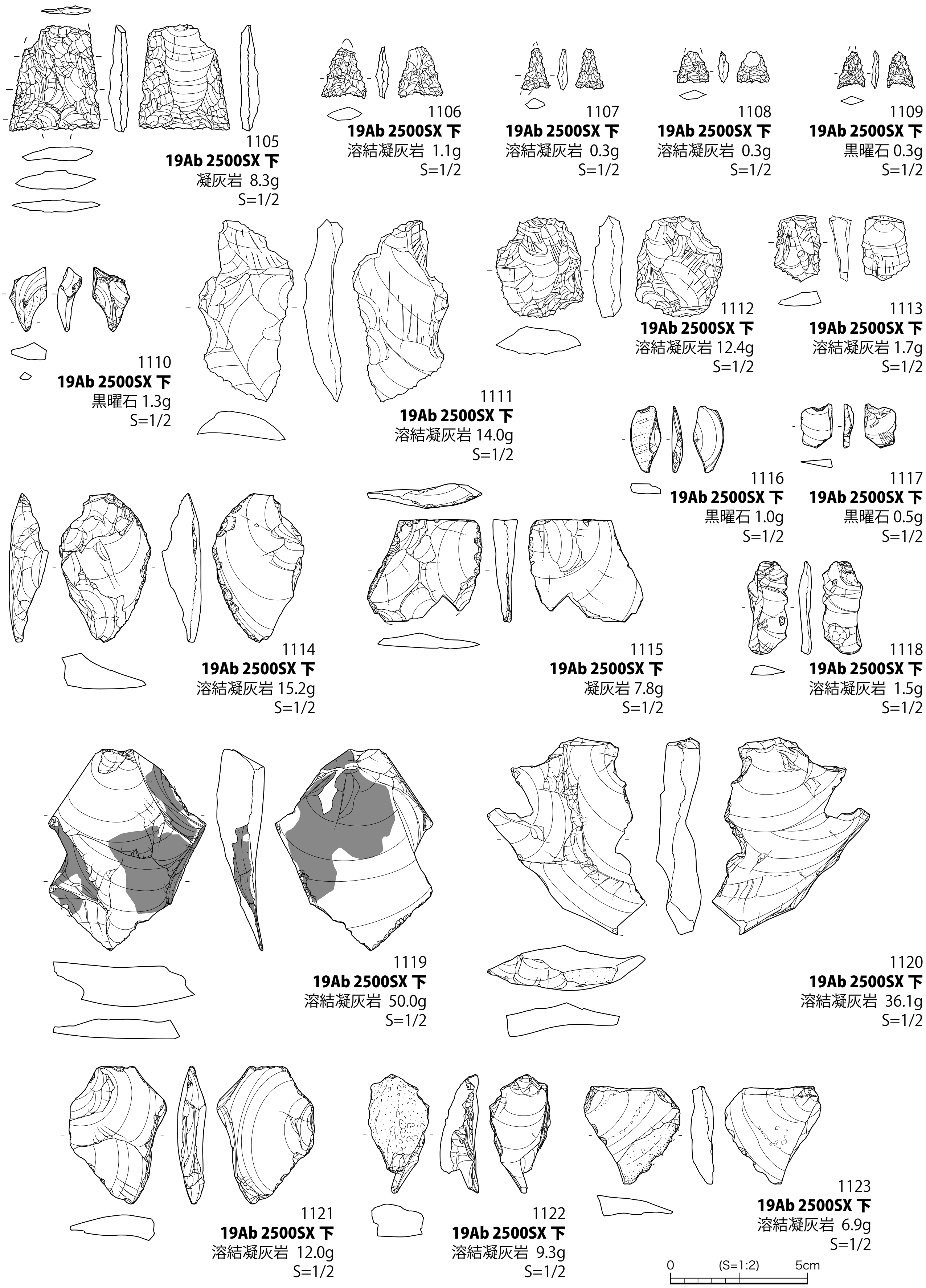
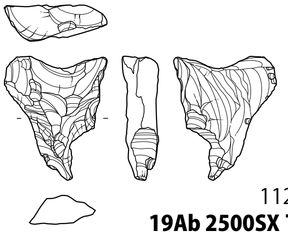
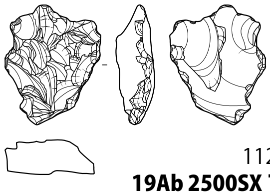


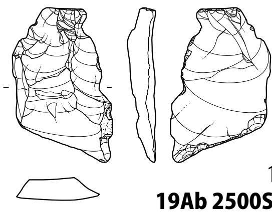
図 90　石器・石製品 10　2500SX 下層出土 (1)　S=1/2



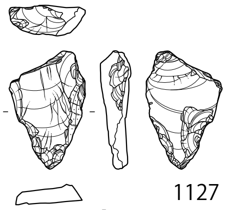
1124
19Ab 2500SX 下
溶結凝灰岩 6.2g
S=1/2



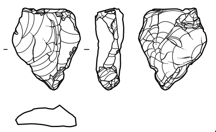
1125
19Ab 2500SX 下
溶結凝灰岩 6.0g
S=1/2



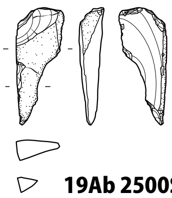
1126
19Ab 2500SX 下
溶結凝灰岩 5.2g
S=1/2



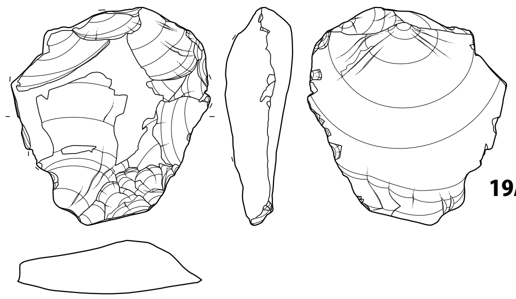
1127
19Ab 2500SX 下
溶結凝灰岩 3.5g
S=1/2



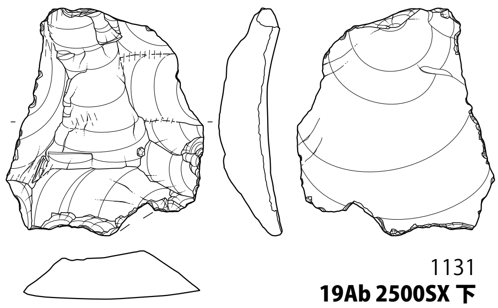
1128
19Ab 2500SX 下
溶結凝灰岩 2.4g
S=1/2



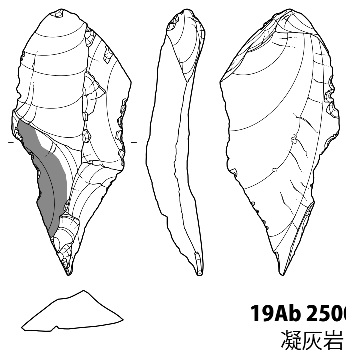
1129
19Ab 2500SX 下
溶結凝灰岩 1.5g
S=1/2



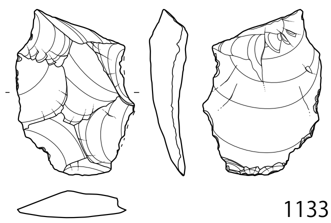
1130
19Ab 2500SX 下
凝灰岩 32.4g
S=1/2



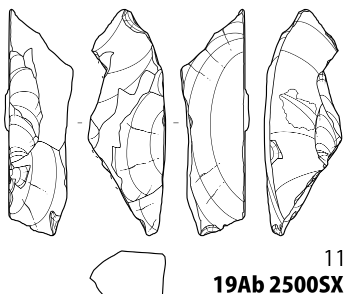
1131
19Ab 2500SX 下
凝灰岩 27.5g
S=1/2



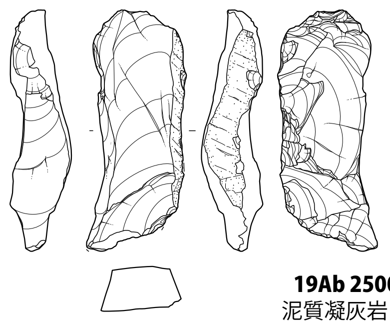
1132
19Ab 2500SX 下
凝灰岩 14.3g
S=1/2



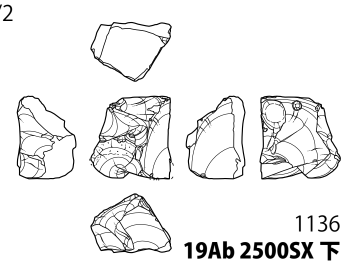
1133
19Ab 2500SX 下
凝灰岩 8.5g
S=1/2



1134
19Ab 2500SX 下
凝灰岩 14.2g
S=1/2



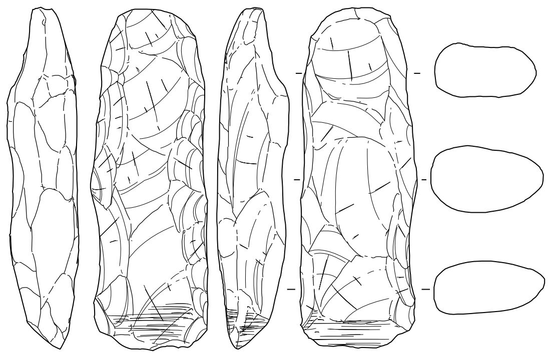
1135
19Ab 2500SX 下
泥質凝灰岩 20.4g
S=1/2



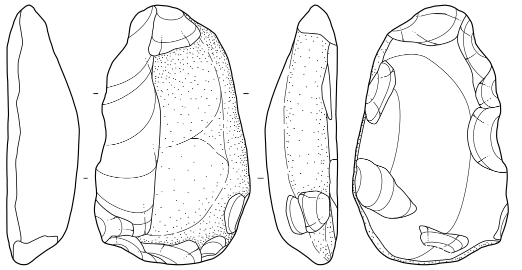
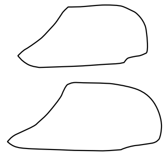
1136
19Ab 2500SX 下
溶結凝灰岩 5.9g
S=1/2

0 (S=1:2) 5cm

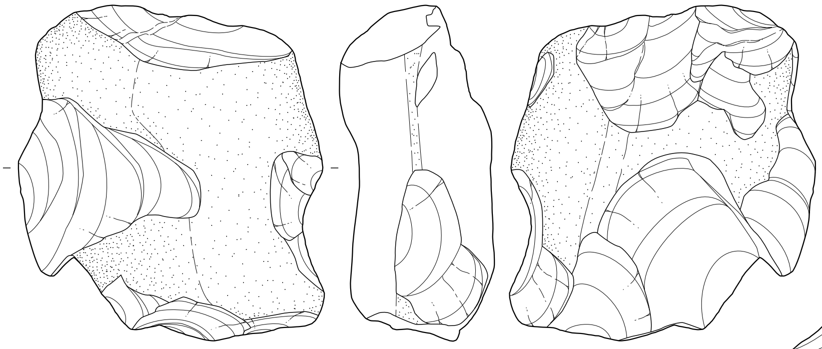
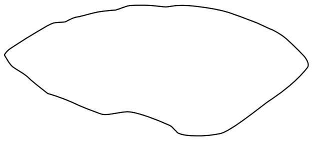
図 91　石器・石製品 11　2500SX 下層出土 (2)　S=1/2

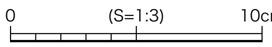


1137
19Ab 2500SX 下
閃緑岩 310.6g
S=1/3

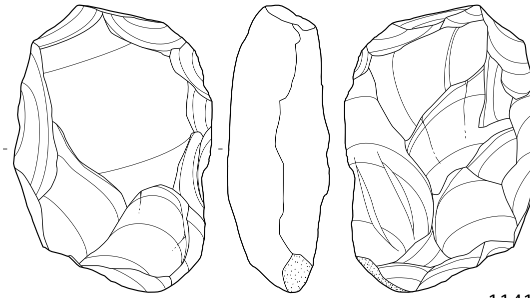
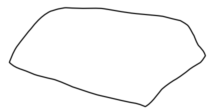



1139
19Ab 2500SX 下
安山岩 E 225.4g
S=1/3

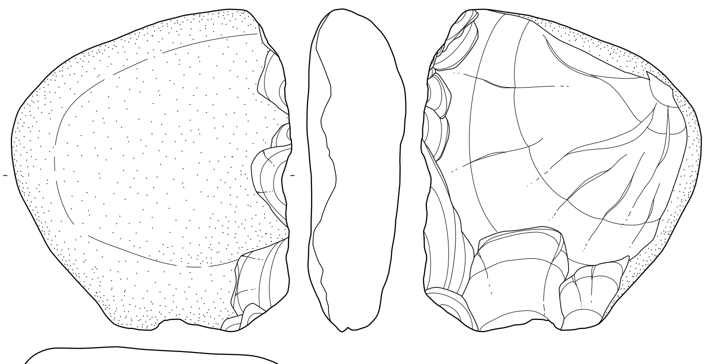
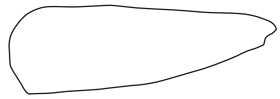





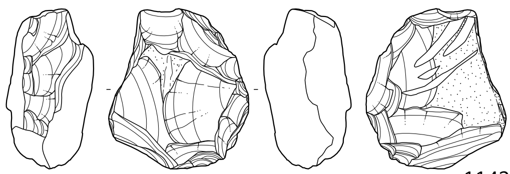
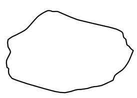
1138
19Ab 2500SX 下
安山岩 E 1147.8g
S=1/3

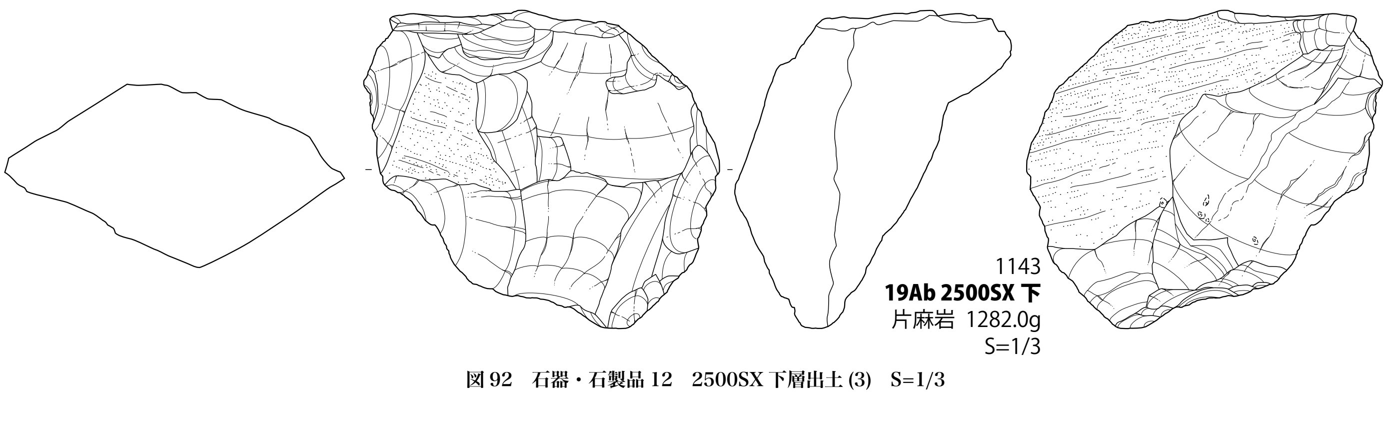
1141
19Ab 2500SX 下
安山岩 E 225.4g
S=1/3

1140
19Ab 2500SX 下
安山岩 D 668.5g
S=1/3

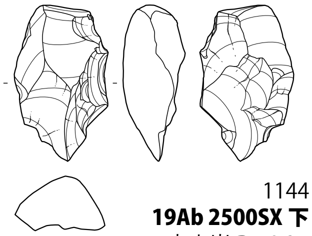



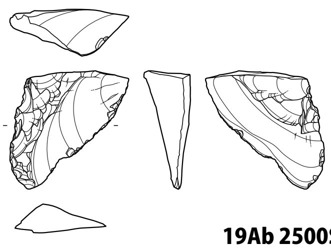
1142
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 121.8g
S=1/3

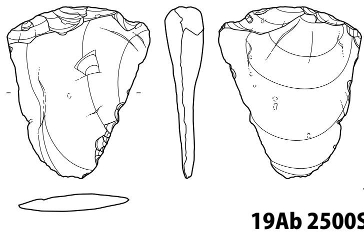


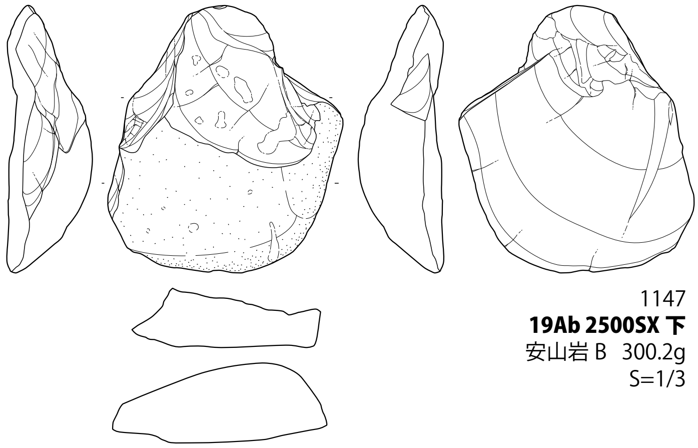
1143
19Ab 2500SX 下
片麻岩 1282.0g
S=1/3

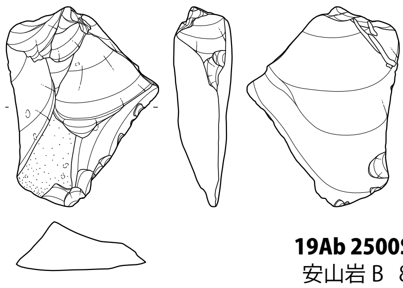
図 92　石器・石製品 12　2500SX 下層出土 (3)　S=1/3

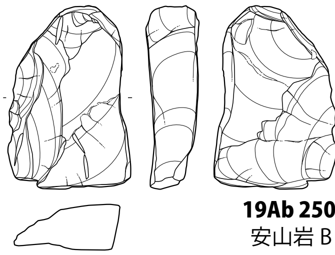

1144
19Ab 2500SX 下
安山岩 D 49.2g
S=1/3

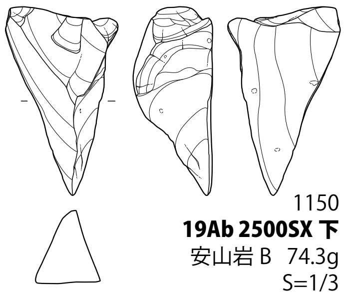

1145
19Ab 2500SX 下
凝灰岩 18.5g
S=1/3

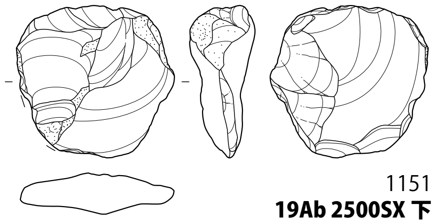

1146
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 36.3g
S=1/3

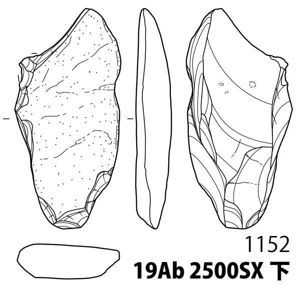

1147
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 300.2g
S=1/3

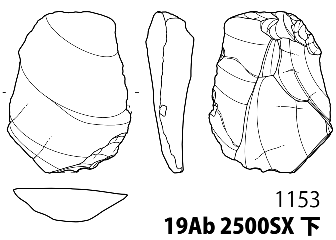

1148
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 85.3g
S=1/3

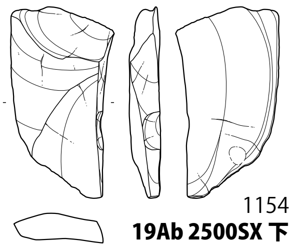

1149
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 85.0g
S=1/3

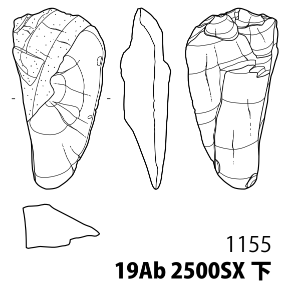

1150
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 74.3g
S=1/3

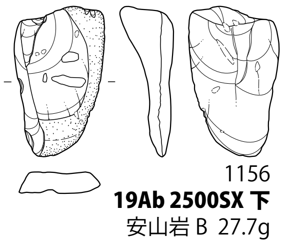

1151
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 73.5g
S=1/3

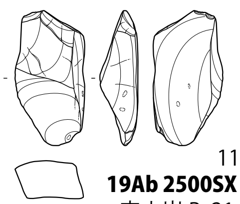

1152
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 54.5g
S=1/3

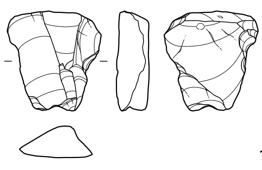

1153
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 45.1g
S=1/3

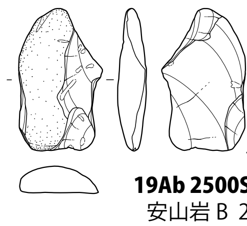

1154
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 39.9g
S=1/3


1155
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 38.1g
S=1/3


1156
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 27.7g
S=1/3


1157
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 21.8g
S=1/3


1158
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 18.0g
S=1/3


1159
19Ab 2500SX 下
安山岩 B 20.3g
S=1/3

0 (S=1:3) 10cm

図 93　石器・石製品 13　2500SX 下層出土 (4)　S=1/3

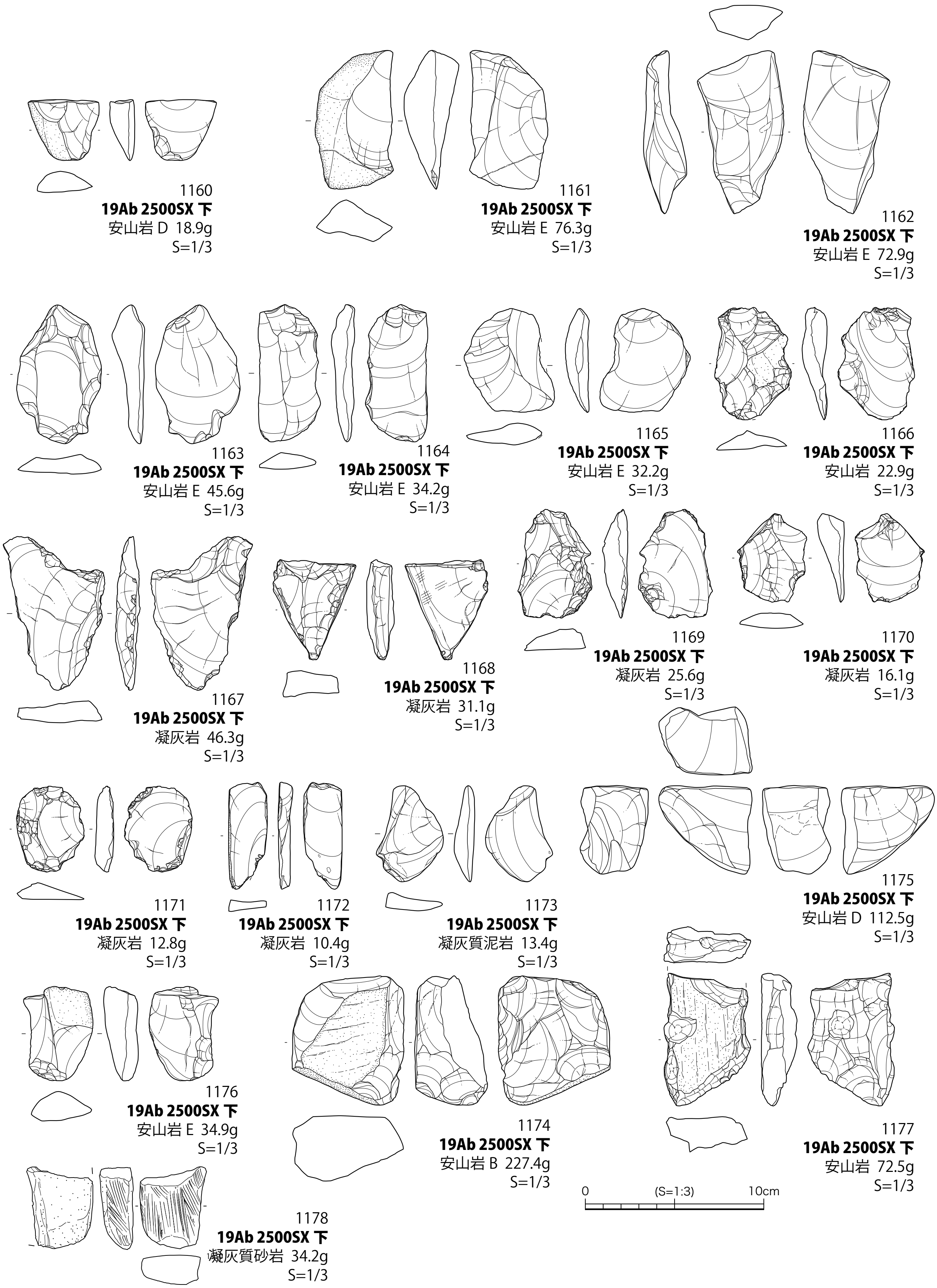
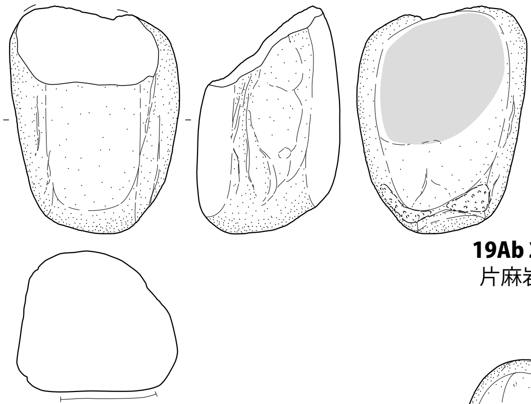
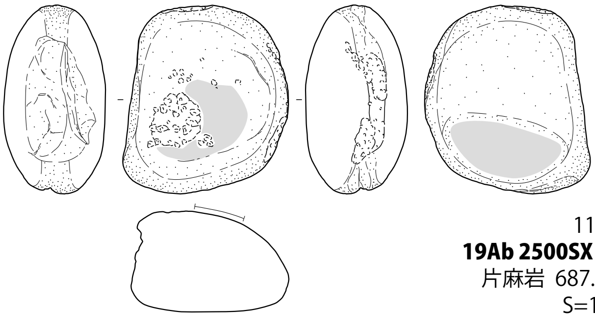


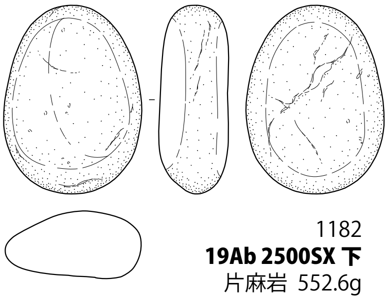
図 94　石器・石製品 14　2500SX 下層出土 (5)　S=1/3



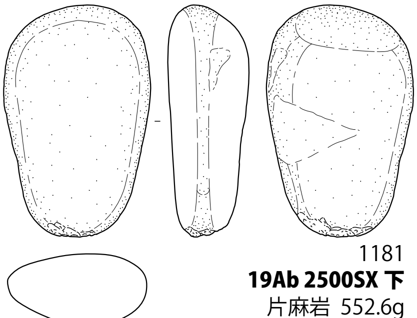
1179
19Ab 2500SX 下
片麻岩 1075.0g
S=1/4



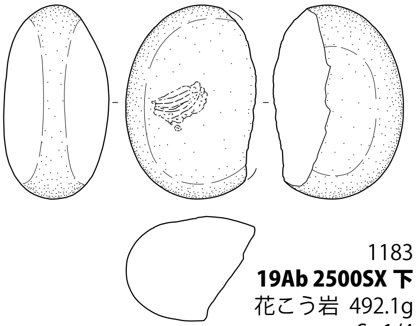
1180
19Ab 2500SX 下
片麻岩 687.8g
S=1/4



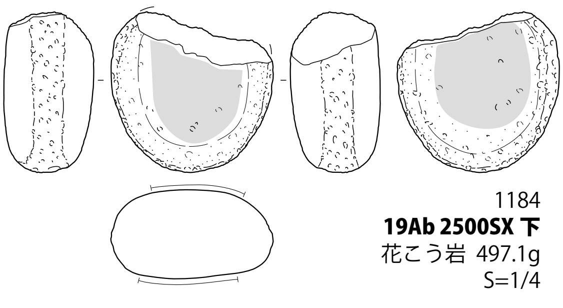
1182
19Ab 2500SX 下
片麻岩 552.6g
S=1/4



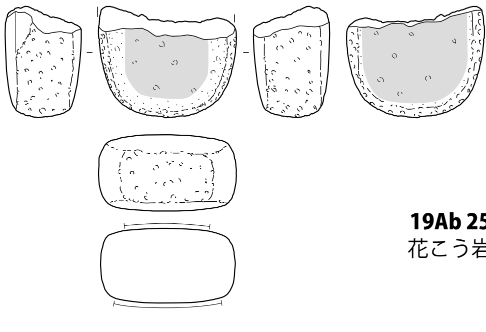
1181
19Ab 2500SX 下
片麻岩 552.6g
S=1/4



1183
19Ab 2500SX 下
花こう岩 492.1g
S=1/4



1184
19Ab 2500SX 下
花こう岩 497.1g
S=1/4



1185
19Ab 2500SX 下
花こう岩 467.1g
S=1/4

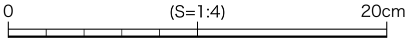
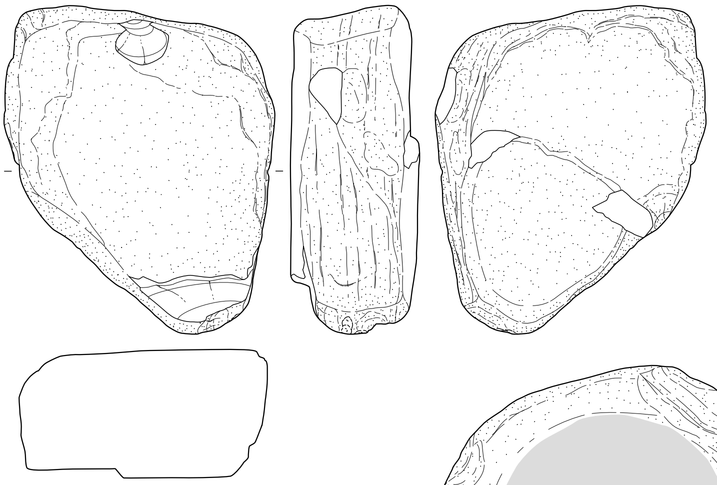
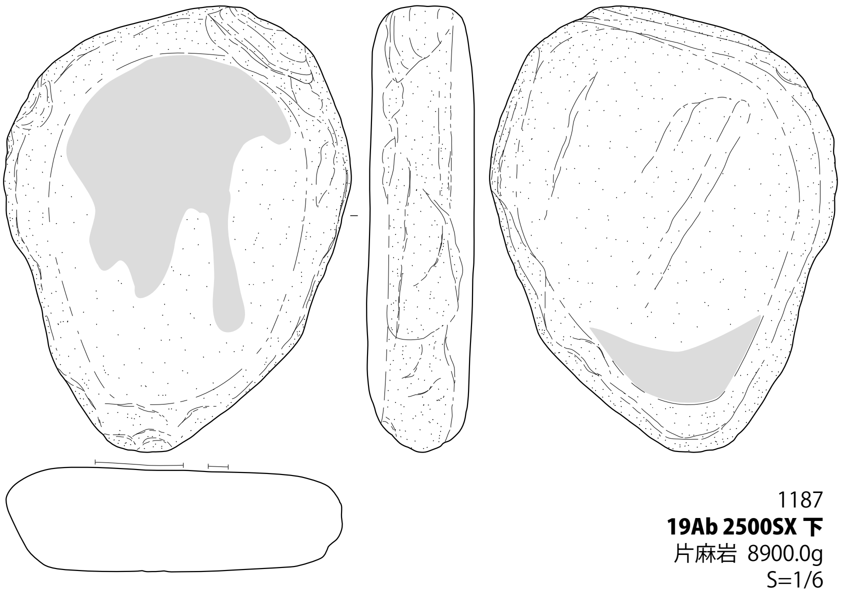


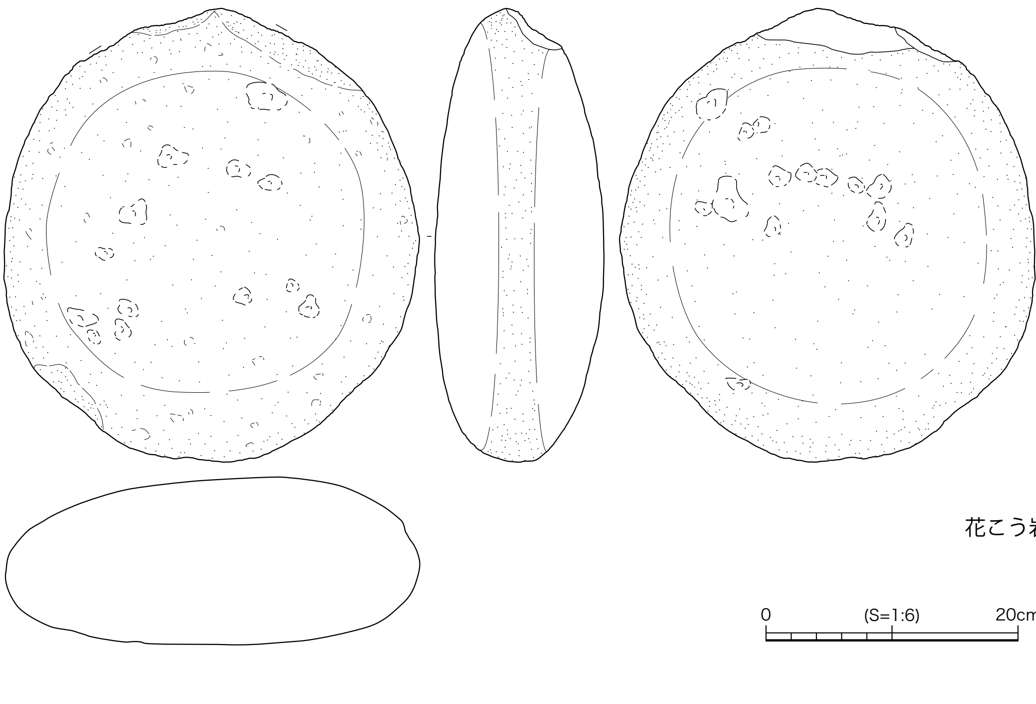
図 95　石器・石製品 15　2500SX 下層出土 (6)　S=1/4



1186
19Ab 2500SX 下
片麻岩 12400.0g
S=1/6



1187
19Ab 2500SX 下
片麻岩 8900.0g
S=1/6



1202
19A 表採
花こう岩 222600.0g
S=1/6

0 (S=1:6) 20cm

図 96　石器・石製品 16　2500SX 下層出土 (7)、19A 区表採　S=1/6

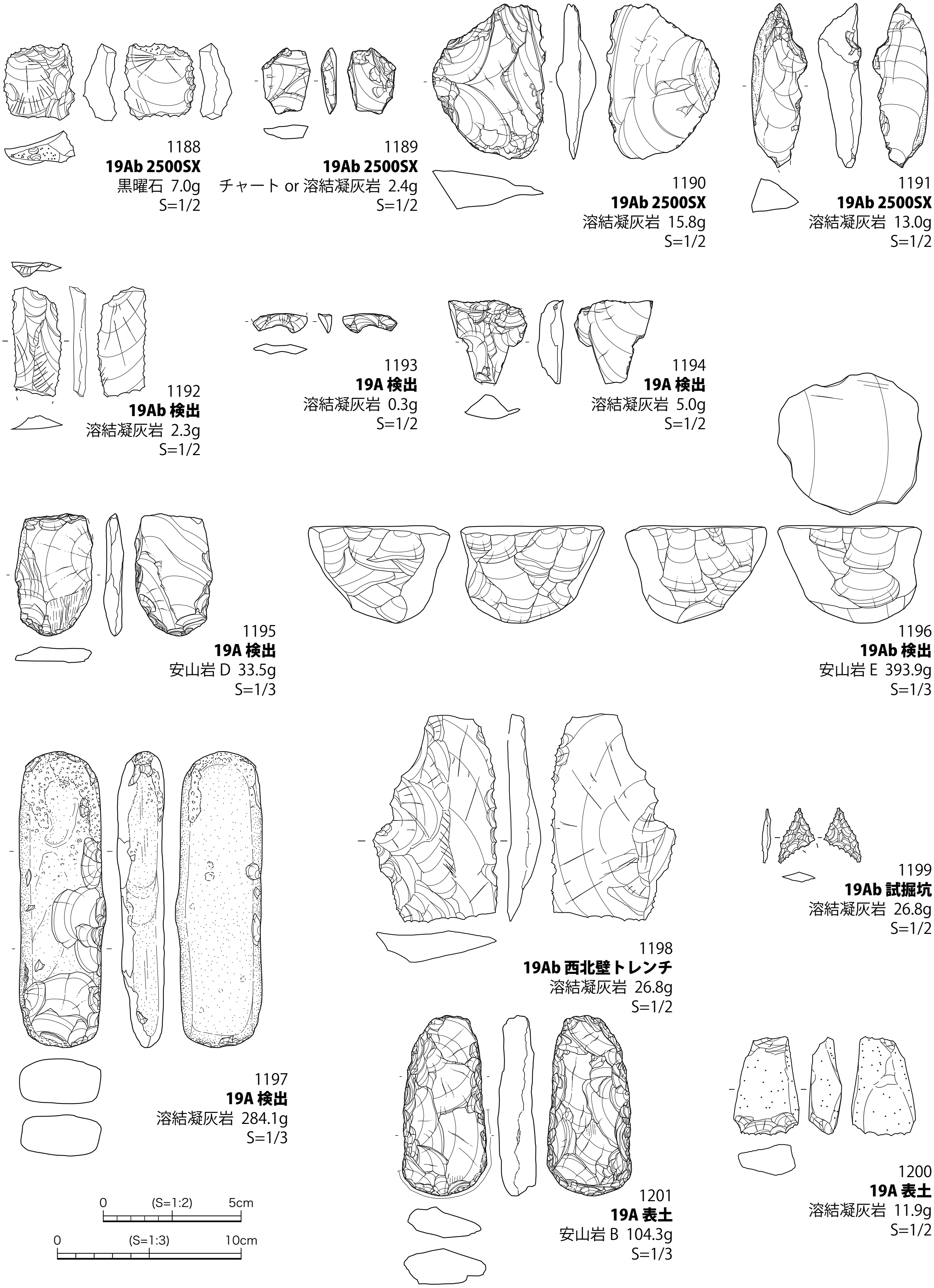
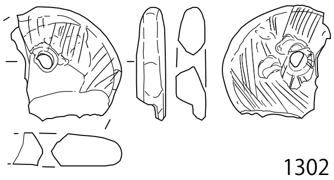
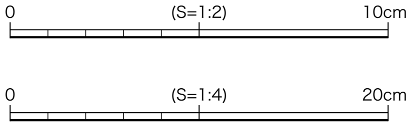
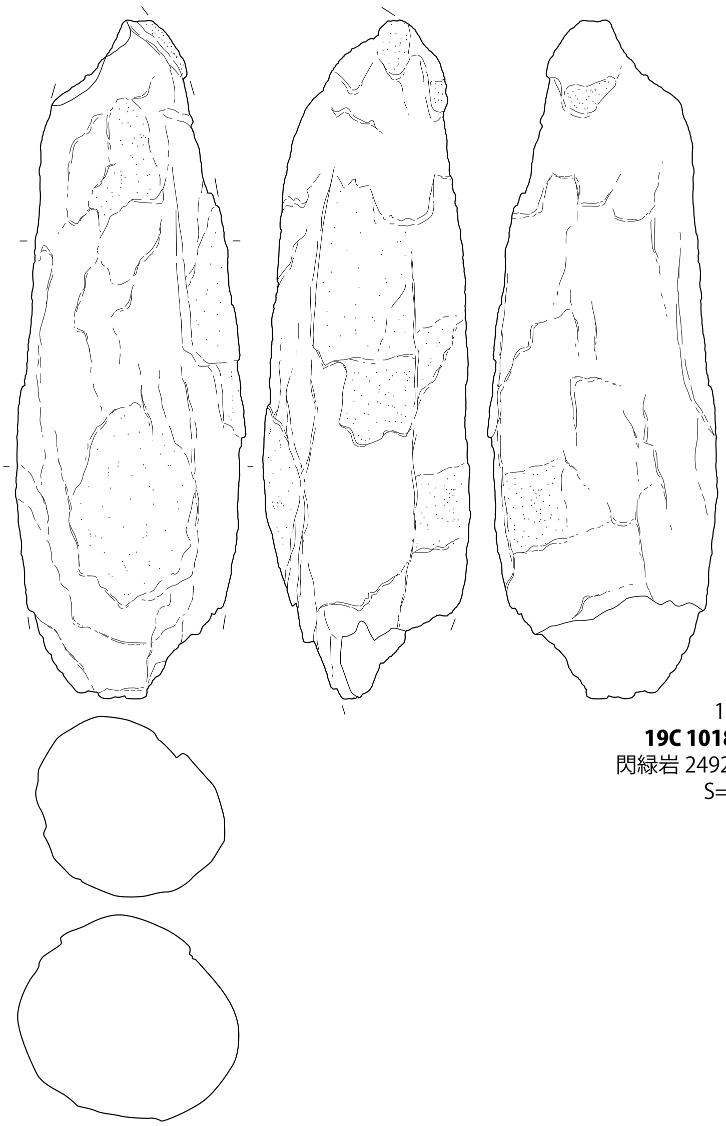


図 97　石器・石製品 17　2500SX 出土 (3)、19A 区遺構検出面出土、19A 区トレンチ出土、19A 区表土出土　S=1/2,1/3



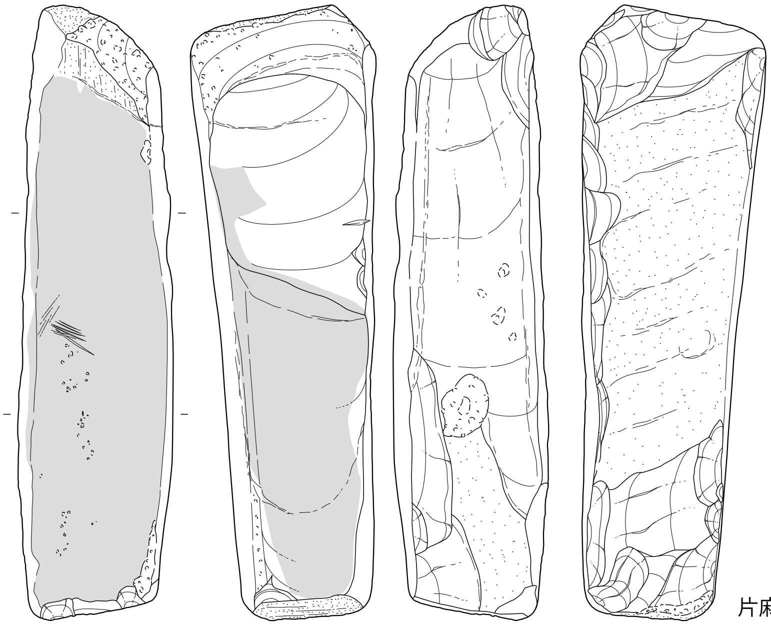
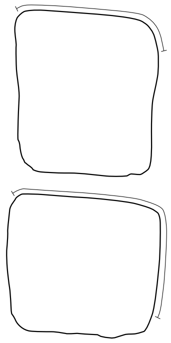
1302
19A 表土
砂質凝灰岩 6.4g
S=1/2



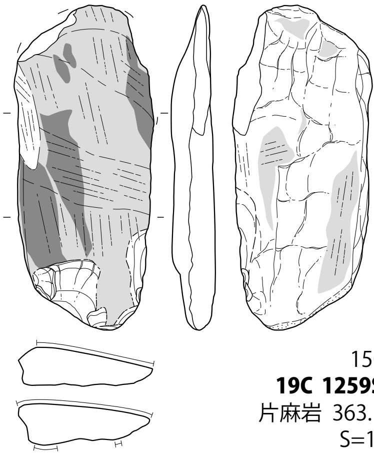


1301
19C 1018SK
閃緑岩 2492.8g
S=1/4

図 98　石器・石製品 18　石製品類　S=1/2,1/4

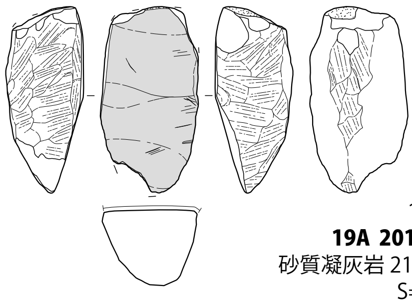



1501
19B 071SK
片麻岩 4300.0g
S=1/4



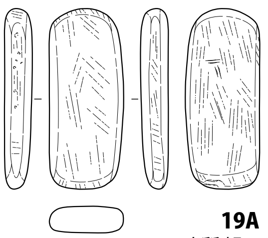
1502
19C 1259SK
片麻岩 363.1g
S=1/4

1503
19C 1280SK
凝灰岩 98.0g
S=1/4

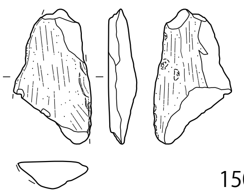


1504
19A 2014SK
砂質凝灰岩 214.5g
S=1/4

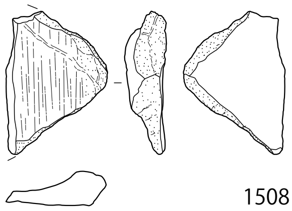
1505
19A 2062SK
砂質凝灰岩 13.0g
S=1/4



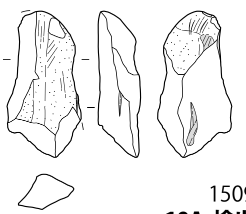
1506
19A 2112SX
砂質凝灰岩 88.0g
S=1/4



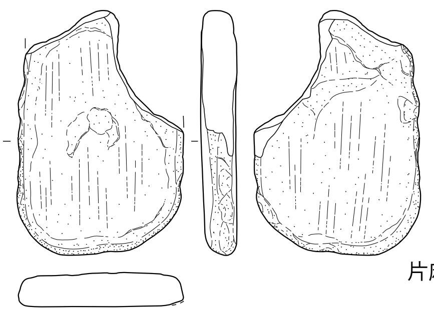
1507
19Ab 検出
片麻岩 40.9g
S=1/4



1508
19Ab 検出
片麻岩 58.5g
S=1/4



1509
19A 検出
片麻岩 340.0g
S=1/4



1510
19A 表土
片麻岩 340.0g
S=1/4

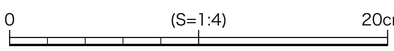


図99 石器・石製品19 中世以降の石器・石製品 S=1/4

第３節　陶磁器類・土師器

万瀬遺跡では陶磁器類・土師器その他の遺物が 729 点（残存長 1cm 以上の破片を１点と認識、明らかに同一個体の破片は合わせて１点と認識）出土した。古代では須恵器、中世では山茶碗や古瀬戸含む施釉陶器、土師器、近世では施釉陶器、炻器、磁器、土師器、近代では施釉陶器、磁器のほか、ガラス製品などが確認されている。本節では、そのうち図化できたもの 161 点について取り上げる。

遺物は、土師器・施釉陶器といったカテゴリ、瀬戸美濃・肥前といった産地等、天目茶碗・広東碗といった器種で分類を行った。それらの比定については瀬戸市文化振興財団の金子健一氏のご教示を賜り、反映した。なお、本報告に係る文責は当センターの報告担当者にある。

本節においては原則として、出土した遺構、カテゴリ、器種によって配列した。なお、紙幅の都合上記述を一部省略している。カテゴリについては、主体となる施釉陶器の場合は省略し、型式・時期の比定についても基本的に省略した。省略事項については陶磁器類・土師器掲載遺物一覧表（193 頁～ 195 頁）を参照されたい。

14区 043SI	2001 は渥美・湖西型山茶碗の碗。内面と高台端部は摩耗する。
14区 025SP	2002 は東濃型山茶碗の碗。内面全体に自然釉が掛かる。
14区 053SP	2003 は美濃炻器の染付広東碗。内面口縁部下には１条の横線を描き、外面は不詳。
14区 101SP	2004 は美濃の掛け分け鉢。鉄釉、灰釉の順で施釉がされる。
０２４ＳＫ	2005 は瀬戸の皿で、器形は梅文皿に似る。高台周辺を除いて灰釉を施したのち、鉄釉、緑色釉で上絵付けを行う。鉄釉は遺存するが、緑色釉は剥落が著しく、やや膨らんだ痕跡と僅かに緑色が残る。文様は草花文か。
０２７ＳＫ	2006 は美濃の尾呂茶碗。2007 は肥前磁器の染付丸碗で、外面口縁部下に２条の横線、その下に草花文を描く。
０３３ＳＫ	2008 は美濃炻器の箱型湯呑。外面は菊花文と斜格子文、内面は口縁部下に２条、屈曲部に１条の横線を描く。
０３６ＳＫ	2009,2010 は瀬戸美濃の鉄釉丸碗。2009 は外面に灰釉の流し掛けがある。2011 は瀬戸美濃の御室茶碗。2012 は文様部分が遺存しないが、胎土、釉、器形から美濃の摺絵皿と推定される。
０４２ＳＫ	2013 は美濃の擂鉢。外面の一部に炭化物が付着する。
０４５ＳＫ	2014 は手捏ねのかわらけ。
０４６ＳＫ	2015 は瀬戸美濃の灰釉の輪禿皿。内面の無釉部分にはやや自然釉が掛かる。
０７４ＳＫ	2016,2017 は筒型香炉で、2016 は瀬戸美濃、2017 は瀬戸。器形は類似するが 2016 は外面上方に５条以上の沈線を施す。2016 は飴釉、2017 は灰釉を外面全体と内面上方に施す。
１４５ＳＫ	2018 は美濃の灰釉の丸碗。2019 は美濃炻器の灰釉の鉢か。2020 は瀬戸の湯呑で、鉄絵の上に透明釉を施す。文様は文字か。2021 は瀬戸の灰釉大皿。
１５５ＳＰ	2022 は輪禿部が残存しないが、器形と釉調から美濃の灰釉の折縁輪禿鉢と推定される。2023 は瀬戸美濃の黄瀬戸鉢。櫛描き波状文と緑釉・鉄釉の流し掛けのある体部片も出土している。
１０５ＳＬ	2024 は瀬戸美濃の鉄釉の丸碗。2025 は美濃の拳骨茶碗。2026 は瀬戸の腰錆湯呑。

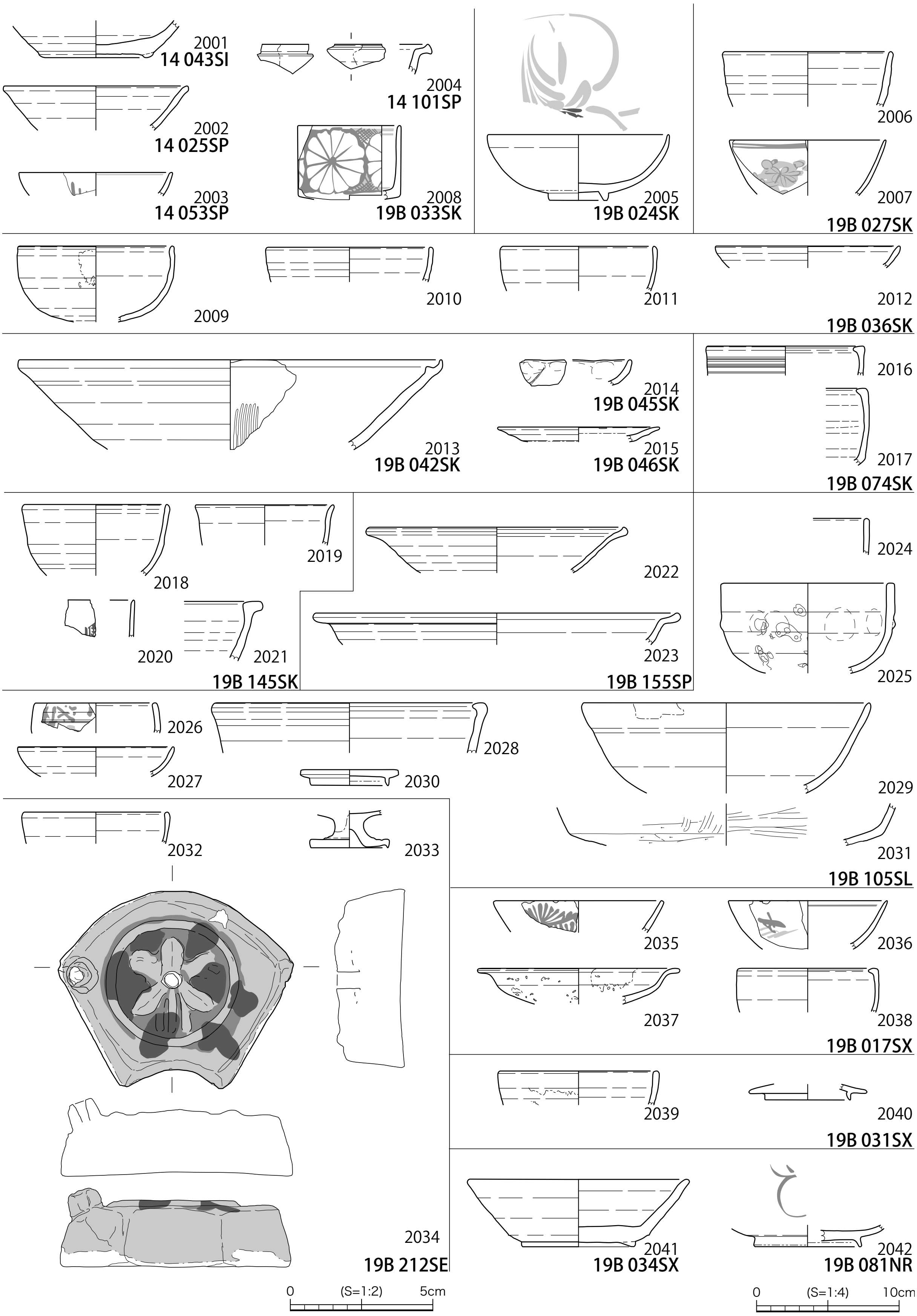


図 100　陶磁器類・土師器 1　14 区・19B 区遺構内出土　S=1/4（2034 のみ S=1/2）

体部上方しか残存しないが、体部下方は鉄釉、上方は染付と透明釉を施し、少なくとも2条の沈線が巡る。2027は瀬戸の灰釉丸皿。2028は瀬戸美濃の飴釉片口鉢。2029は瀬戸の灰釉鉢。2030は瀬戸美濃の盒子蓋で、上面全体と下面中央に灰釉を施す。2031は瓦質土器の鍋類。

212SE　2032は美濃の尾呂茶碗。2033は美濃の仏餉具で、脚部中ほどから下を除いて灰釉を施す。2034は瀬戸美濃の水滴。扇面形で、上面には凸線で円と立ち沢瀉文が造り出される。側面の下方およそ1/3と底面を除いた全体に御深井釉を施し、上面には凸線周辺の内部に灰釉を掛け、まだらに鉄釉を掛ける。特注品の類と想定される。

017SX　2035,2036は染付広東碗。2035は瀬戸陶器で文様は松枝文か。2036は美濃炻器で文様は帆掛け船か。2037は瀬戸の鉄釉皿。内面口縁部付近の一部に灰釉を流し掛ける。2038は美濃の鉄釉筒型香炉か。

031SX　2039は瀬戸美濃の鉄釉丸碗で、外面に灰釉を流し掛ける。2040は瀬戸美濃の土瓶類の蓋で、上面に鉄釉を施す。

034SX　2041は渥美・湖西型山茶碗の碗。内面、特に底部は摩耗する。高台端部には籾殻痕が僅かに残る。高台内の中央には糸切り痕が残るが、周縁部はナデ消す。

081NR　2042は瀬戸美濃の陶器染付の皿。上面に染付をし、高台端部を除いた全体に灰釉を施す。文様はごく薄く、不詳。破断部の一部は研磨されたように摩耗する。

1263SP　2043は古瀬戸の擂鉢。2044は肥前磁器の丸碗で、外面に染付で一重網目文を描く。

1022SK　2045は瀬戸の行平鍋。蓋の受け口と体部下方を除く全面に灰釉を施す。体部外面の露胎部には煤が付着し、施釉部と露胎部にかけて7条の沈線が巡る。

1085SP　2046は瀬戸の擂鉢。体部内面の下方は激しい摩耗により櫛目外の釉が剥げており、底部はほとんど櫛目が消失している。内面には黒色の付着物があるが、使用によるものかは不明。底部には回転糸切り痕とヘラを差し込んだような痕が残る。

1123SK　2047は瀬戸美濃の灰釉の端反皿。

1126SK　2048は半球型内耳鍋で、外面には炭化物が付着する。

1235SK　2049は瀬戸の飴釉の皿。

1143SK　2050は瀬戸美濃の天目茶碗。

1149SK　2051は古瀬戸の平椀。

1214SK　2052は古瀬戸の擂鉢。

1224SK　2053は半球型内耳鍋で、外面には一部炭化物が付着する。

1226SK　2054は渥美・湖西型山茶碗の碗。口縁部内側がやや摩耗する。

1265SK　2055は古瀬戸の擂鉢。

1266SK　2056は古瀬戸の腰折皿で、内面全体と外面上半部に灰釉を施す。内面2箇所に目痕が残る。

1300SK　2057は山茶碗の碗。内面はやや摩耗する。2058は山茶碗の輪花碗。不明瞭だが薄く灰釉漬け掛けの痕跡が残る。

1309SK　2059は伊勢型鍋。胴部片も遺存するが接合、復元には至らなかった。

1310SK　2060は瀬戸の擂鉢。

1360SK　2061は瀬戸の腰錆湯呑。外面は高台端部を除いて鉄釉を施し、内面は灰釉を施す。体部の破断部近くには沈線が見られる。

1378SK　2062は古瀬戸の折縁深皿か直縁大皿。内面には灰釉をハケ塗り、外面にも一部灰釉が付着する。底部内面と外面それぞれ1箇所に目跡が残る。

1426SK　2063は瀬戸の天目茶碗で、高台周辺を除き鉄釉を施す。

1468SK　2064は古瀬戸の筒型香炉。外面から口縁部に灰釉を施し、内面は全体が無釉である。体部外面に菊花文の印花を施す。2065は器種不明。残存部の上面と外面には鉄釉を施し、脚状部の内面は無釉。燭台の上部にも似るが、上面中央に穿孔はない。釉調などから古瀬戸後期の製品と思われ、高盤のような製品か。

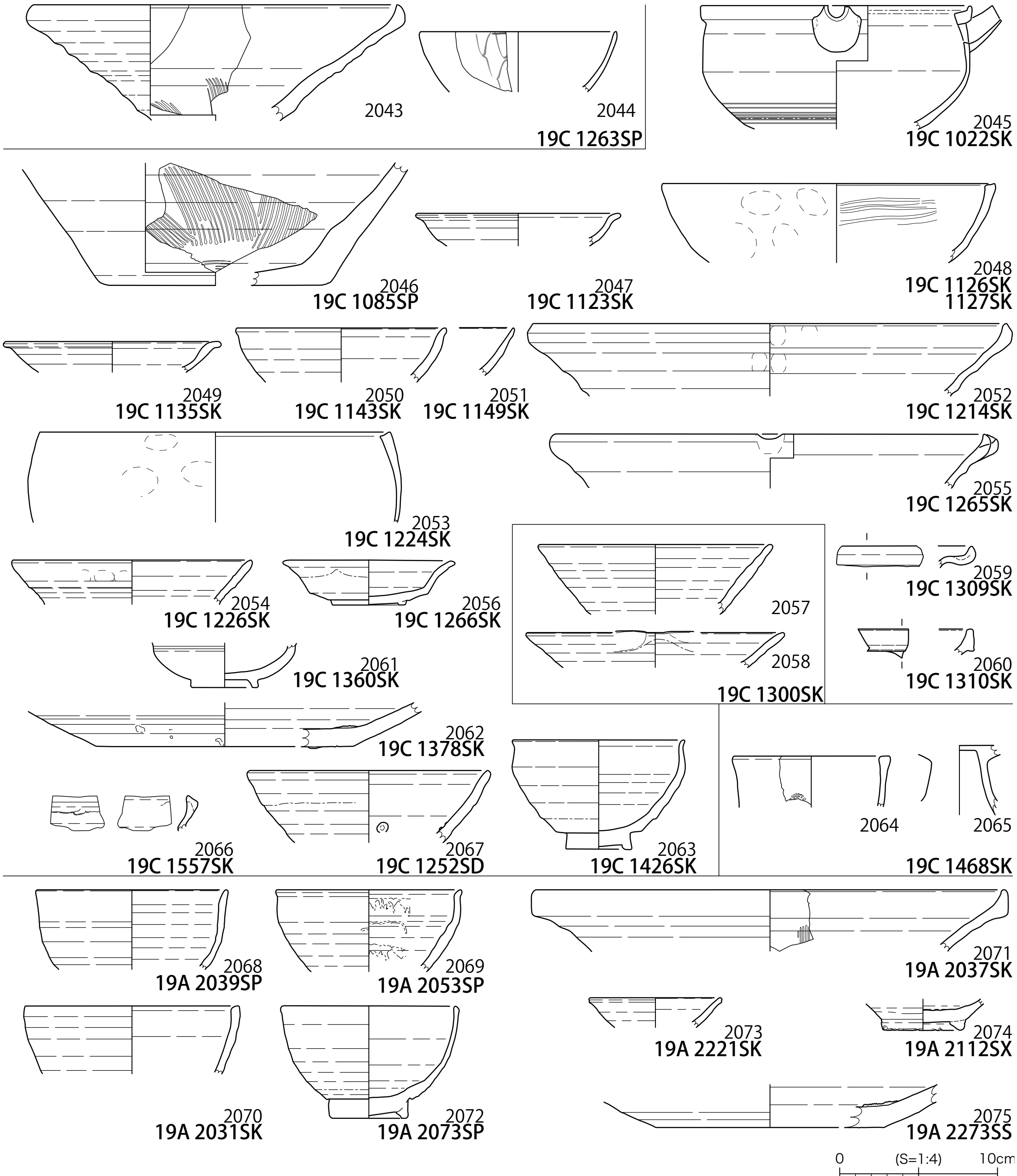


図101　陶磁器類・土師器2　19C・19A区遺構内出土　S=1/4

１５５７ＳＫ　2066 はくの字型内耳鍋。
１２５２ＳＤ　2067 は古瀬戸の平椀。内面 1 箇所に目跡が残る。
２０３９ＳＰ　2068 は瀬戸美濃の鉄釉の碗で、口縁部はやや反り気味で直線的。
２０５３ＳＰ　2069 は瀬戸美濃の天目茶碗で、内面に灰釉を流し掛ける。
２０３１ＳＫ　2070 は瀬戸の灰釉の片口鉢。
２０３７ＳＫ　2071 は瀬戸美濃の擂鉢。
２０７３ＳＰ　2072 は瀬戸美濃の鉄釉の端反椀。
２２２１ＳＫ　2073 は渥美・湖西型山茶碗の小皿で、内面は摩耗する。
２１１２ＳＸ　2074 は尾張型山茶碗の小碗。高台端部に明瞭な籾殻痕が残り、高台内の中心に静止糸切り痕、周縁部にナデ消し痕が残る。内面は摩耗し、一部には自然釉が付着する。
２２７３ＳＳ　2075 は古瀬戸の折縁深皿か直縁大皿で、内面には灰釉をハケ塗りし、内面 1 箇所に目跡が残る。
１４区ベルト　2076 は尾張型山茶碗の碗で、内面は摩耗する。2077 は加工円盤。瀬戸美濃の丸碗の加工品と思われ、高台端部を除いて長石釉または灰釉を施すが、著しく焼成が不良。
14区トレンチ　2078,2079 は瀬戸美濃の志野丸皿。2078 は高台内部 2 箇所に目跡が残る。2079 は外面の釉が薄く一部で剥げている。

2080 は尾張型山茶碗の小碗。外面に黒色の付着物がある。

19B区トレンチ　2081 は美濃の飴釉の鉢類。
１４区遺構検出面　2082 ～ 2084 は尾張型山茶碗で、2082 は片口鉢。高台内の中央には糸切り痕、周縁部はナデ消し痕が残る。内面は一部摩耗する。2083 は碗。高台端部には籾殻痕が残り、高台端部と内面は著しく摩耗する。2084 は小碗で、口縁部と内面は摩耗する。

2085 は美濃の灰釉の折縁輪禿鉢。2086 は美濃の灰釉の湯呑。

14区 2層・3層　2087 ～ 2096 は山茶碗で、2087、2089、2093、2094、2096 は尾張型、その他は渥美・湖西型。2091 は輪花碗で、内面は薄く自然釉が掛かる。2087 ～ 2090、2092 ～ 2095 は碗。2087 は口縁部外面に自然釉が掛かり、口縁部内面は摩耗する。2088 は内面に自然釉が掛かり、内面は摩耗する。2089 は外面に薄く、内面に厚く自然釉が掛かる。2090 は口縁部内面が摩耗する。2092 は口縁部内面が帯状に著しく摩耗する。2094 は外面から口縁部内面にかけて自然釉が掛かる。2095 は内面に薄く自然釉が掛かる。2096 は小碗。

2097 は美濃の長石釉の折縁小皿。2098 ～ 2105 は瀬戸美濃の陶器。2098 ～ 2100 は天目茶碗で、2100 は内面に灰釉を流し掛ける。2101 は天目形の小杯で、体部外面下方以外に灰釉を施す。2102 ～ 2104 は志野丸皿。2105 は瀬戸の鉄釉の皿で、体部外面下方は露胎。2106 は瀬戸の鉢で、内面に鉄絵を描いた後、全体に透明釉を施す。2107 は瀬戸の擂鉢で、外面に 3 条の沈線が巡る。2108,2109 は加工円盤で、瀬戸美濃の丸碗底部の加工品か。どちらも内面に鉄釉を施す。
１９Ｂ区遺構検出面　2110 ～ 2112 は染付広東碗で、2110 は瀬戸美濃磁器、2111,2112 は美濃炻器。2110 は外面は不詳、内面は口縁部下と中ほどに横線を描く。2111 は外面は無文、内面は口縁部下に横線を描く。2112 の外面は鹿を描いたものか。内面口縁部下の横線は途中で途切れるものと、その下を流れる薄く細いものの 2 条となる。

2113 ～ 2115 は染付箱型湯呑で、2113 は瀬戸陶器、2114 は美濃炻器、2115 は瀬

戸炻器。2113 の外面の文様は不詳であるが、内面は口縁部下に 1 条の横線を描く。2114,2115 の文様は外面は菊花文と斜格子文、内面は口縁部下に 2 条の横線を描き、2114 は屈曲部にも 1 条の横線が描かれる。2116 は瀬戸の灰釉の小碗。

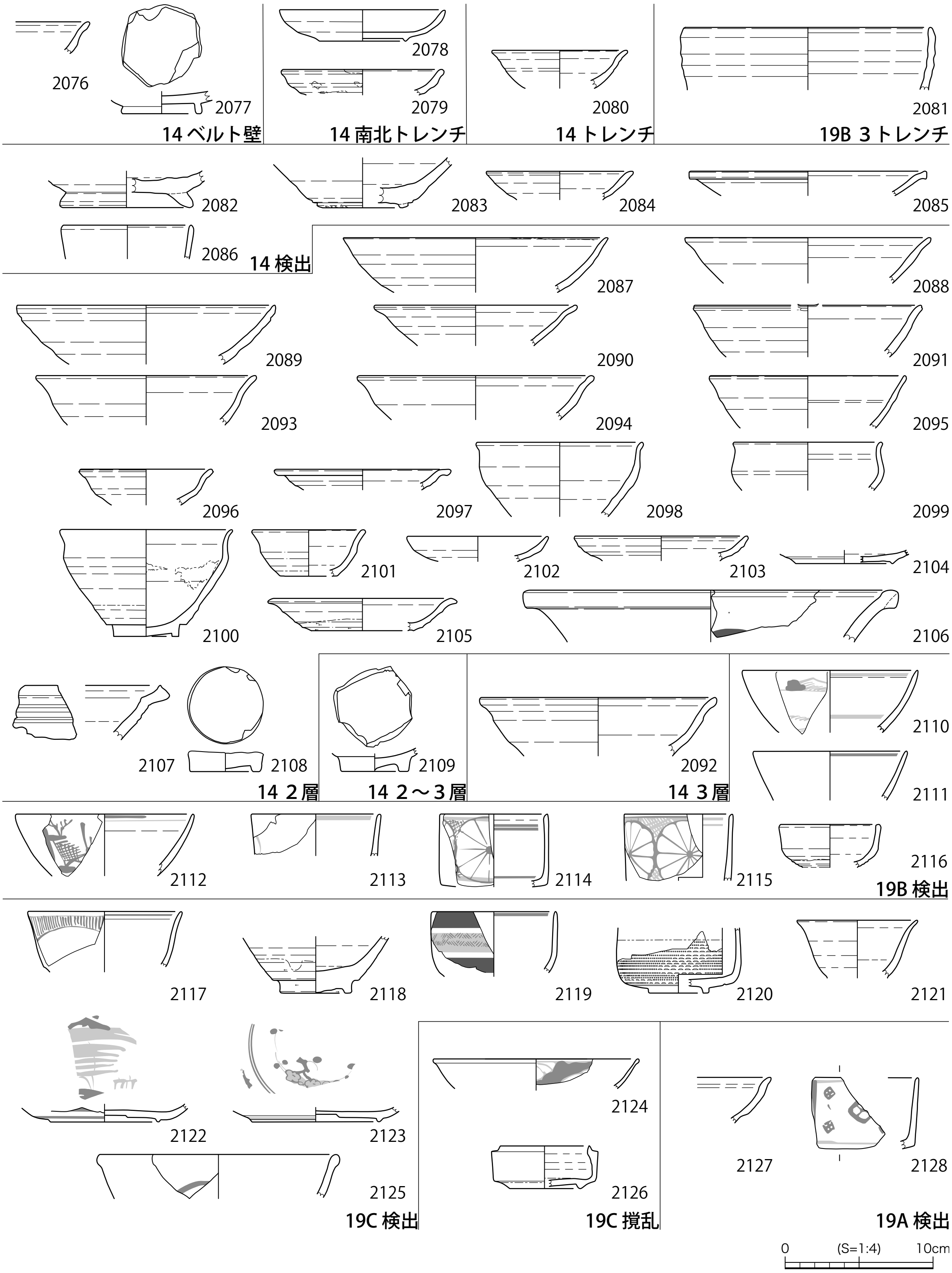


図 102　陶磁器類・土師器 3　遺構検出面・包含層等出土　S=1/4

１９Ｃ区遺構検出面・撹乱　2117は瀬戸美濃磁器の染付端反椀Ｌで、外面は口縁部下に１状の横線、体部に１状の弧線を描き、その間を縦線で充填する。内面は口縁部下に２条の横線を描く。2118は瀬戸美濃の天目茶碗。2119は美濃炻器の湯呑。体部外面上下に鉄釉で横線を描いた後、間に鋸歯文を帯状に刻み、上から呉須で横線を描き、内外面に透明釉を施す。2120は美濃の鎧湯呑。施文ののち、外面は高台端部を除いて飴釉、体部外面上方から内面は鉄釉を施す。2121は肥前磁器の小杯。2122,2123は磁器の染付皿で、2122は瀬戸美濃、2123は肥前。どちらも底部外面は蛇の目状に釉を剥ぎ、中央を凹ませる。2122の文様は不詳だが、簡素な楼閣山水文か。2123は上面に２条の圏線と梅文を描く。松竹梅文の一部か。圏線の外側にも文様はあるが不詳。2124は瀬戸磁器の染付端反皿で、内面に半菊を描く。2125は瀬戸磁器の鉢類で文様は不詳。2126は瀬戸美濃の盒子。底部内外面と上面の蓋に覆われる部分を除いて灰釉を施す。底部外面の外縁部と中心部には墨痕が見られるが、文字や図形としては読み取れない。

１９Ａ区検出　2127は古瀬戸の平椀。2128は美濃炻器の染付箱型湯呑。外面は斜格子文、内面は口縁部下に２条の横線を描く。

１４区表土・調査区壁面　2129,2130は天目茶碗で、2129は瀬戸、2130は瀬戸美濃。2130は灰釉を施す。2131は美濃炻器の染付箱型湯呑で、外面は菊花文と斜格子文、内面は口縁部下に２条の横線を描く。

１９Ｂ区表土　2132,2133は天目茶碗。2132は瀬戸、2133は瀬戸美濃で破断面に漆による補修の痕跡が見られる。2134は美濃の尾呂茶碗。2135は瀬戸美濃磁器の染付端反椀Ｌで、外面は草花文、内面は１条の横線を描く。焼成が不良。2136は美濃炻器の染付箱型湯呑で、外面は口縁部下に１状の横線と斜格子文、内面は口縁部下に２条の横線を描く。2137は錆徳利で、肩に１条の小凸線を巡らせ、全面に飴釉を施す。2138は蓋で行平鍋に対応し、鍋と接する端部を除いて全体に灰釉を施す。器形の歪みが大きい。2139はくの字形内耳鍋。2140はロクロ造りのかわらけ。底部には回転糸切り痕が残り、一部被熱する。

１９Ｃ区表土　2141は尾張型山茶碗の片口鉢。体部外面下方はヘラケズリを施す。内面は著しく摩耗する。2142は美濃の尾呂茶碗。2143は瀬戸美濃の鉄釉の湯呑。体部外面に太く浅い沈線が２条巡る。2144は瀬戸の天目茶碗。2145は瀬戸美濃磁器の染付小碗で、外面は不詳、内面は口縁部下に１条の横線を描く。2146,2147は瀬戸美濃磁器の染付端反椀Ｌ。外面は2146が2145と同系統の文様、2147が半菊文で、内面はどちらも荒い筆致の横線を描く。2148は瀬戸陶器の染付広東碗で、外面は高台部に１条、体部下端に１条の横線を巡らせる。体部の文様も一部が残るが不詳。内面は１条の横線と五弁花を描く。2149は瀬戸磁器の染付端反椀Ｍで、外面は三方に間弁を持つ四弁花と、口縁部下に１条、体部下方から高台にかけて３条の横線を描き、内面は口縁部下に２条、体部下方に１条の横線を描く。内面中心にも文様があるが不詳。2150,2151は染付箱型湯呑で、2150は肥前磁器、2151は美濃炻器。2150は外面に菊花文と斜格子文、内面は口縁部下に２条、屈曲部に１条の横線を描く。2151は外面に半菊文と斜格子文、内面は口縁部下に太い横線を１条描く。2152は瀬戸の灰釉の輪禿皿。高台周辺を除いて灰釉を施し、内面は輪状に釉を剥ぐ。底部内面中央は２段になって凹み、中心は突出して尖る。2153は美濃の灰釉の片口鉢。2154は瀬戸美

濃の行平鍋。蓋の受け口を除いて灰釉を施すが、被熱によるものか外面は灰色に変色する。蓋の受け口に炭化物の付着がある。

１９Ａ区表土　2155 は瀬戸美濃の天目茶碗。2156 は産地不明の輪禿皿。高台周辺を除いて灰釉を施し、上面は輪状に釉を剥ぐ。高台は外側は直線的に立ち上がり、内側は反る。2157 は瀬戸美濃の鉄釉の鉢。2158 は瀬戸の擂鉢。2159 は美濃の瓢箪型徳利。内面は錆釉、外面は鉄釉で、頸部から肩部にかけて灰釉を流し掛ける。2160 は瀬戸美濃の擂鉢体部の加工品で、砥石として利用したものか。

トレンチ TT04　2161 は美濃の灰釉の小碗。

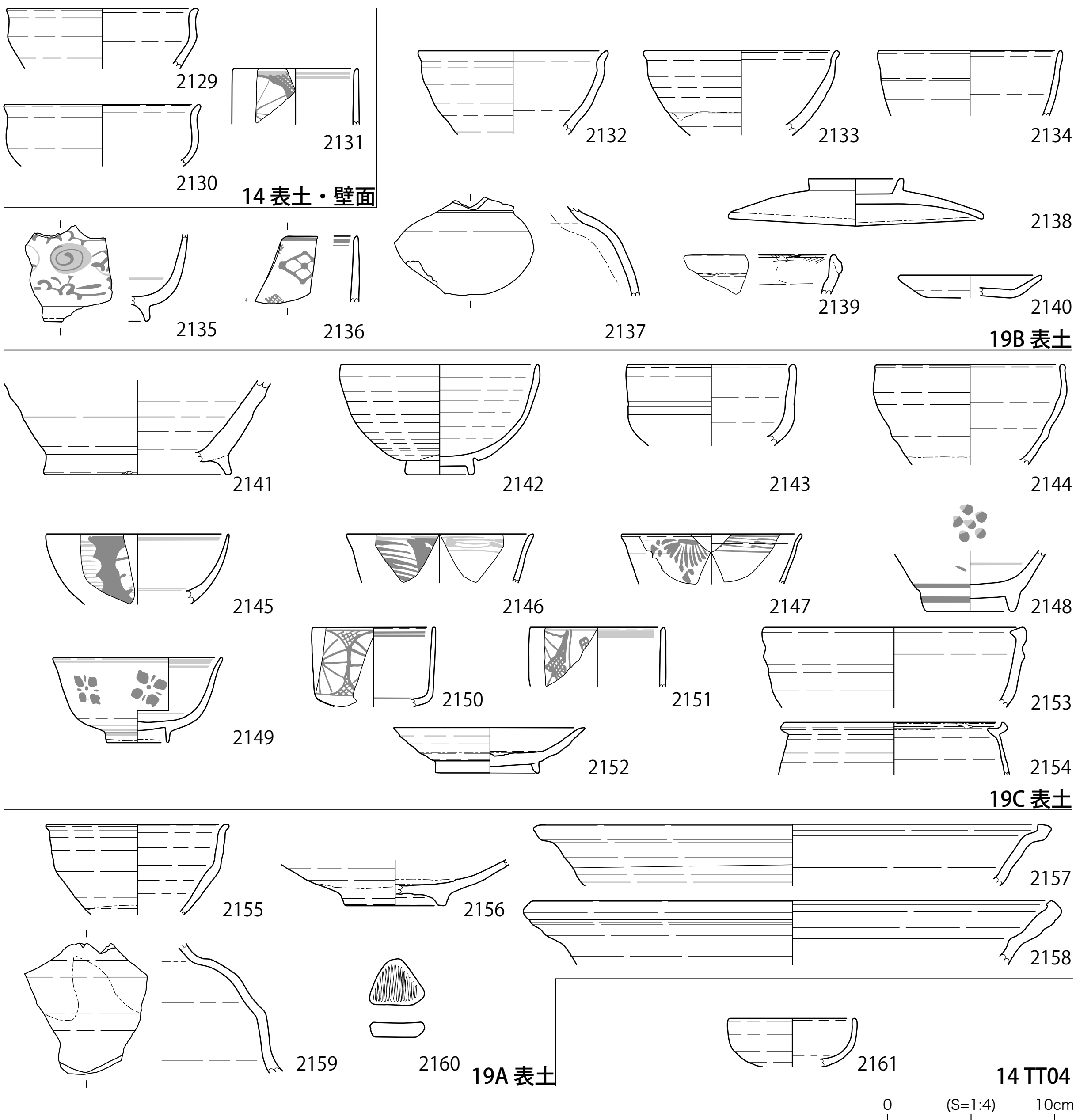


図 103　陶磁器類・土師器4　表土出土・表採・試掘トレンチ出土　S=1/4

第４節　木製品

万瀬遺跡では木製品として２遺構から 74 点以上を取り上げた。そのうち、自然木と考えられるものなどを除き、32 点を図化した。なお、文中の樹種や木取りについては第４章第２節に依る。

212SE　3001 ～ 3029 は全て井戸 212SE を構成する部材である。

3001 ～ 3024 は井戸上部の側板で、上部は割れているものが多いが、長さは最大で 65.5cm。幅は最小 10.7cm、最大 12.3cm で中央値・平均値は 11.3cm。厚さは最小 2.9cm、最大 3.4cm で中央値・平均値は 3.1cm。明確なサイズ差は見られず、同じ規格で作られたものと思われる。全て同じマツ属複維管束亜属で木取りは追柾目、長軸方向にチョウナ痕が残る。

3025 ～ 3029 は井戸下部から出土した部材で、厳密な出土状況は不明であるものの、方形または井桁状に組まれていたものである。加工には主に２種があり、材の両端を上下から切り欠いて尖らせるもの（2025 ～ 2027）と、上側のみを切り欠いて両端に平坦面を造り出すもの（2028,2029）が見られる。また、芯持丸木材（2025,2026）と、半割材（2027 ～ 2029）にも二分でき、いずれも加工にはチョウナが用いられている。

1062SK　3030,3031 は曲物の側板。3030 は３枚、3031 は２枚を重ねており、黒色の樹皮と見られるもので綴じる。3032 は加工痕の確認できる木材で、柱材などであった可能性がある。

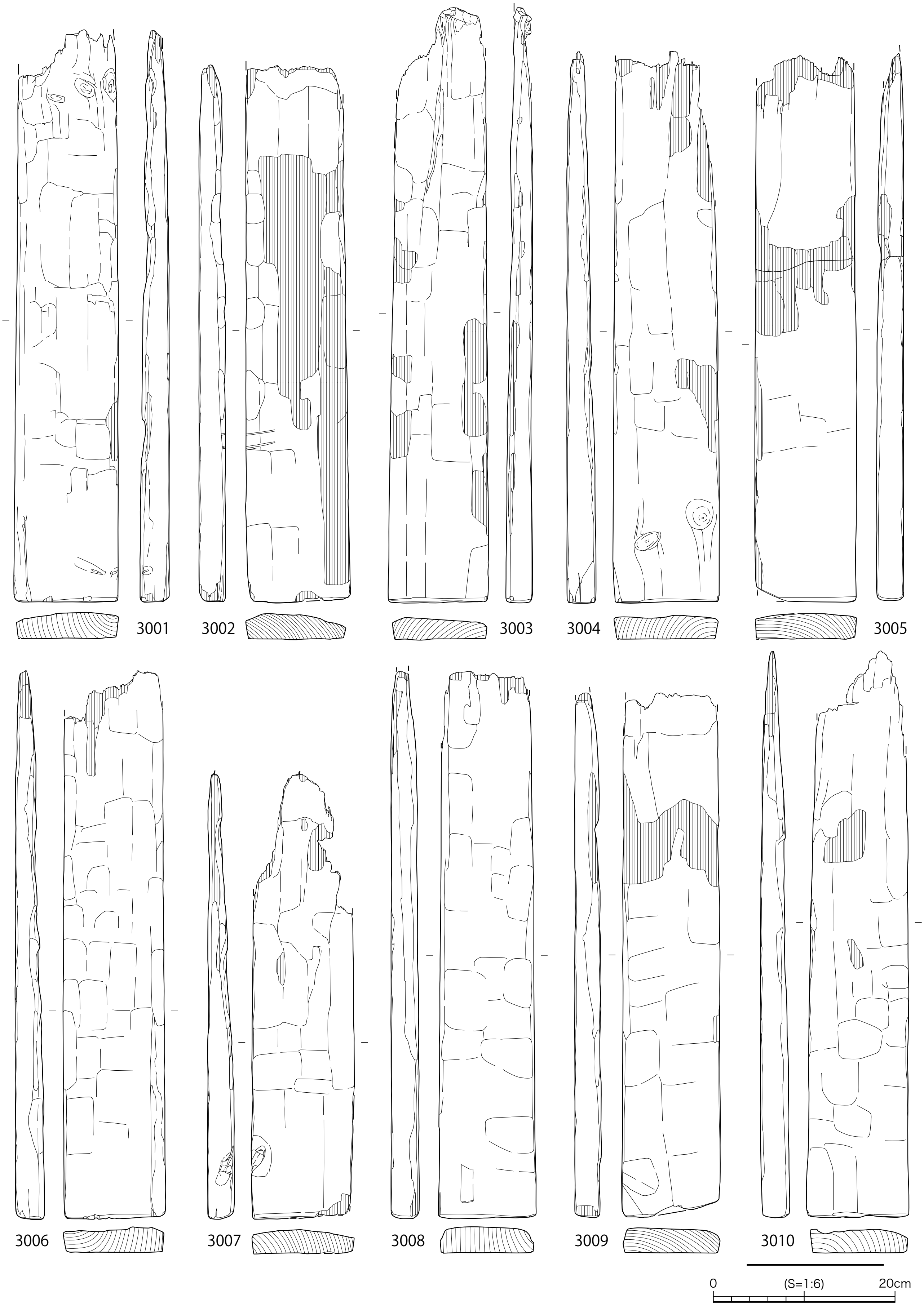


図 104　木製品 1　212SE 出土 (1)　S=1/6

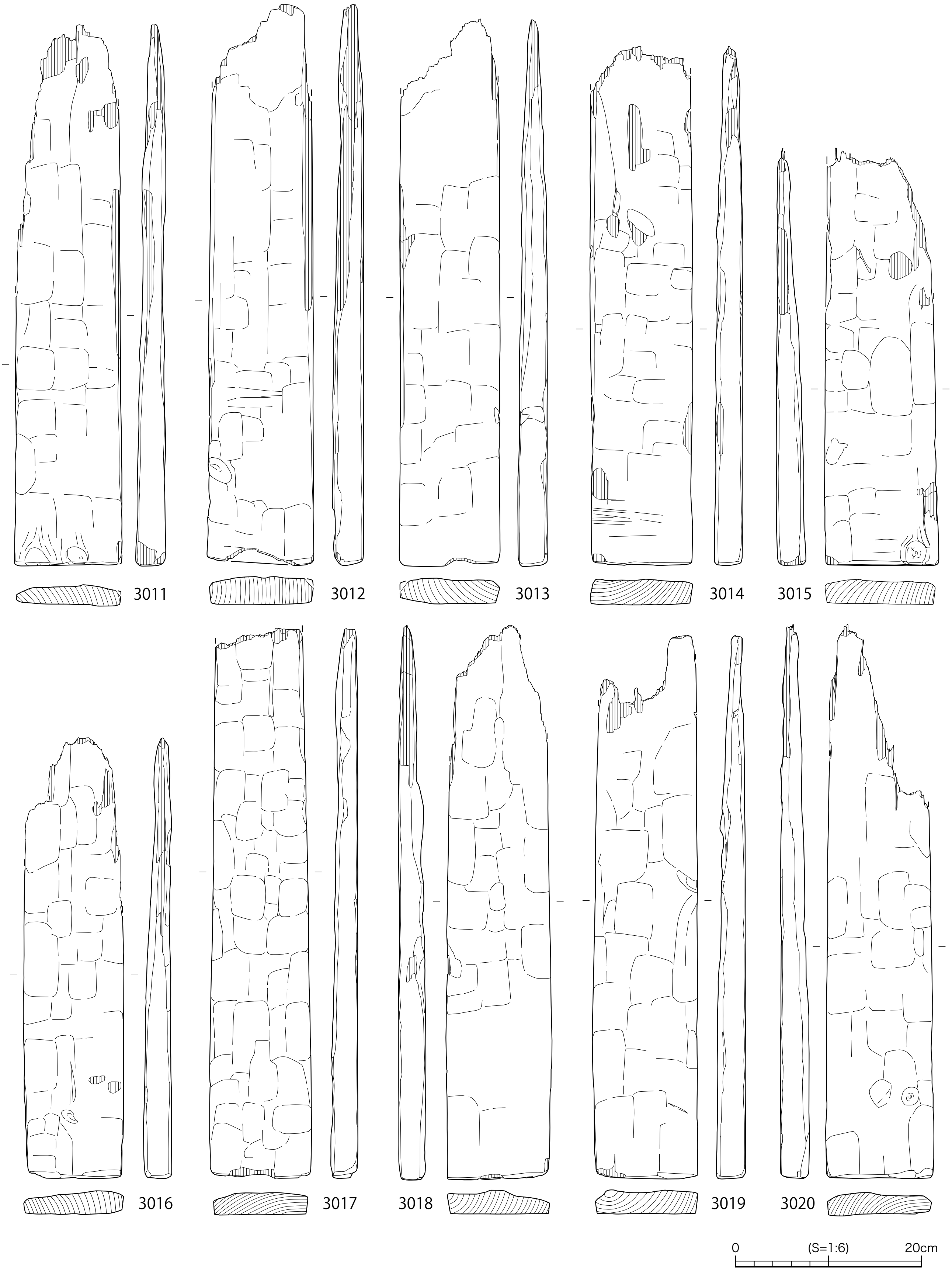
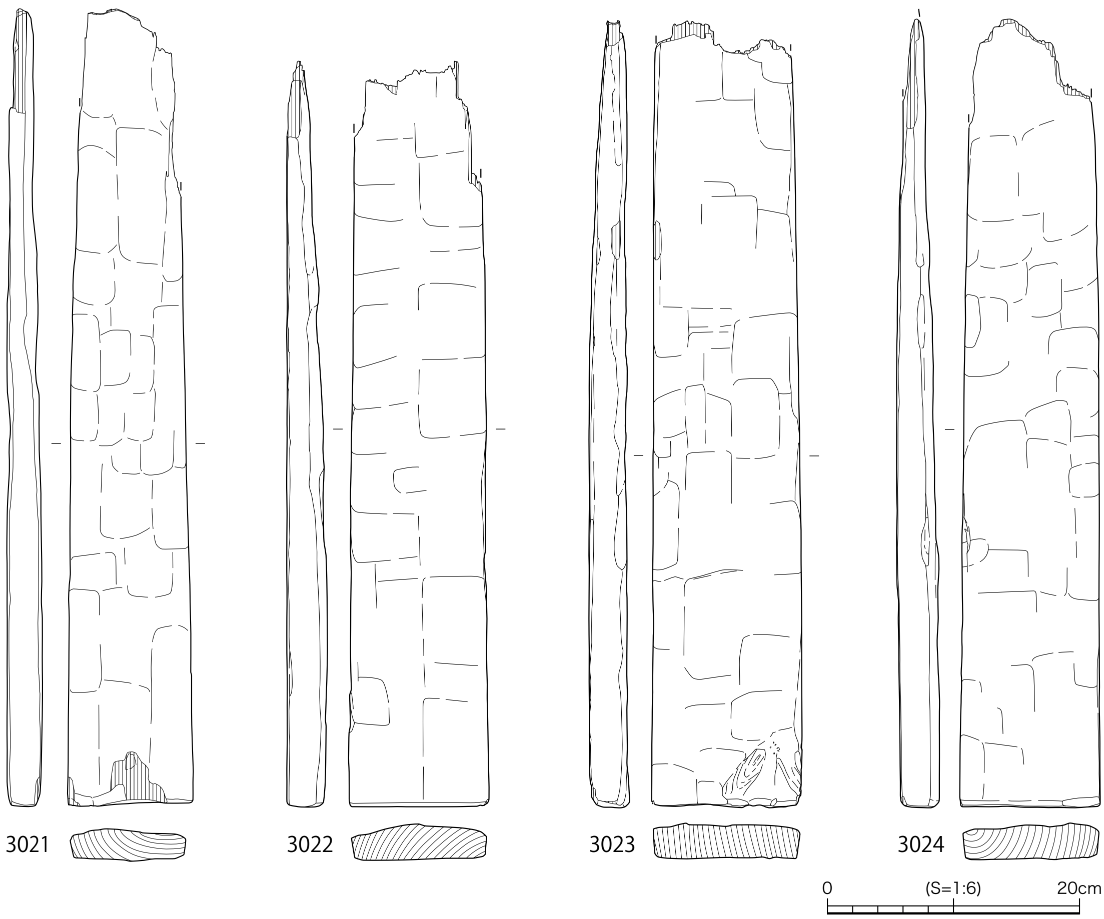


図 105　木製品２　212SE 出土 (2)　S=1/6



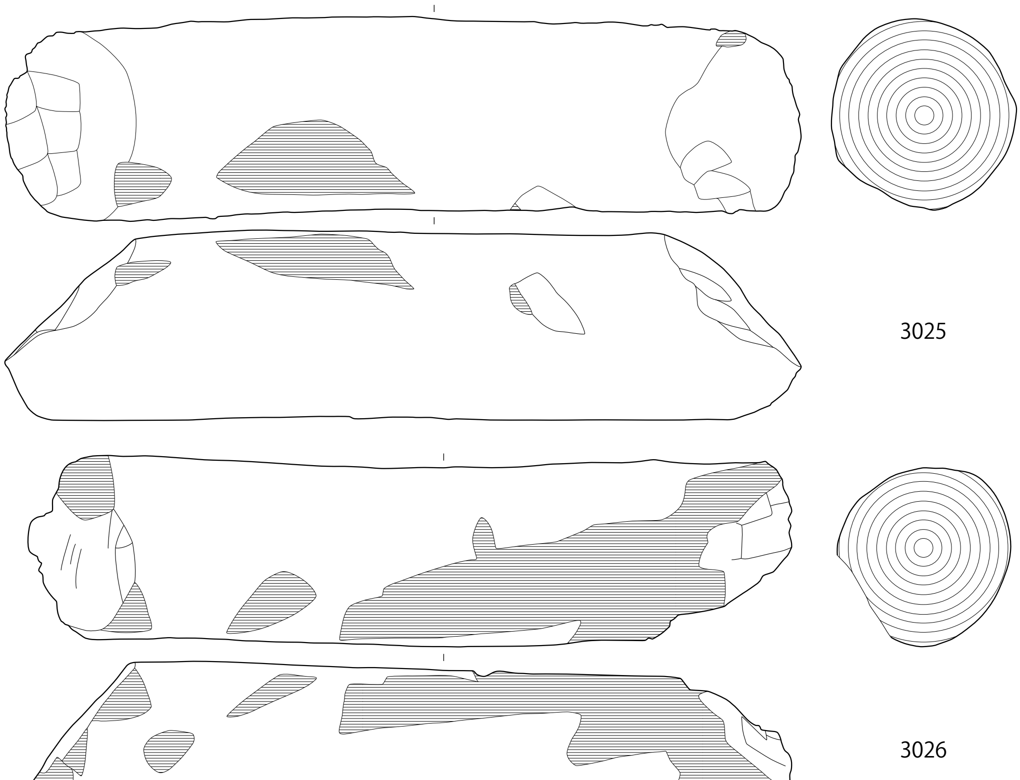
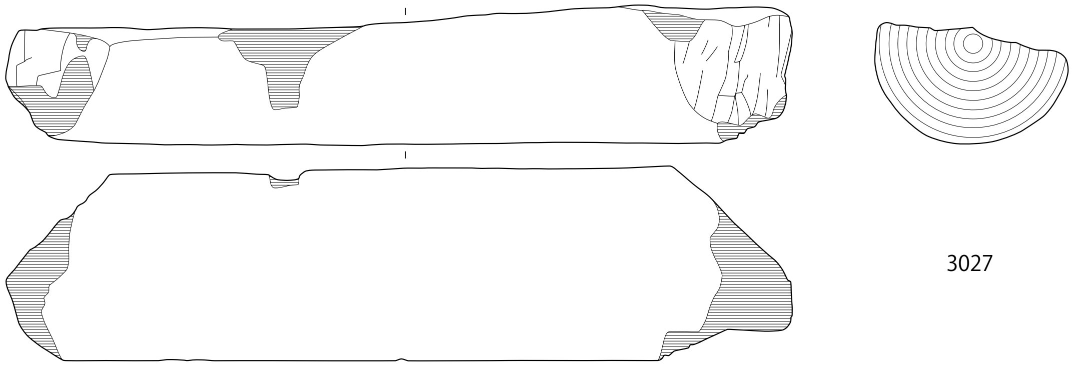
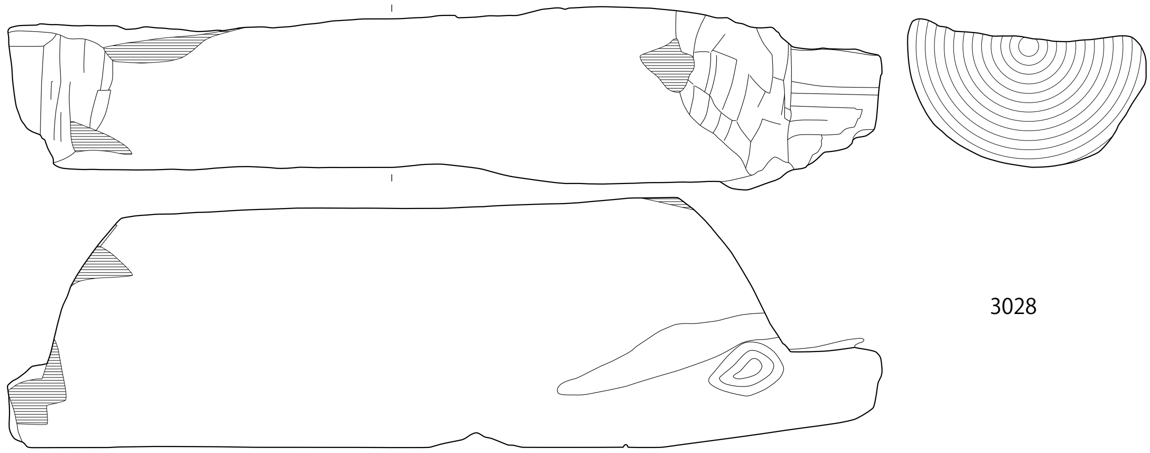


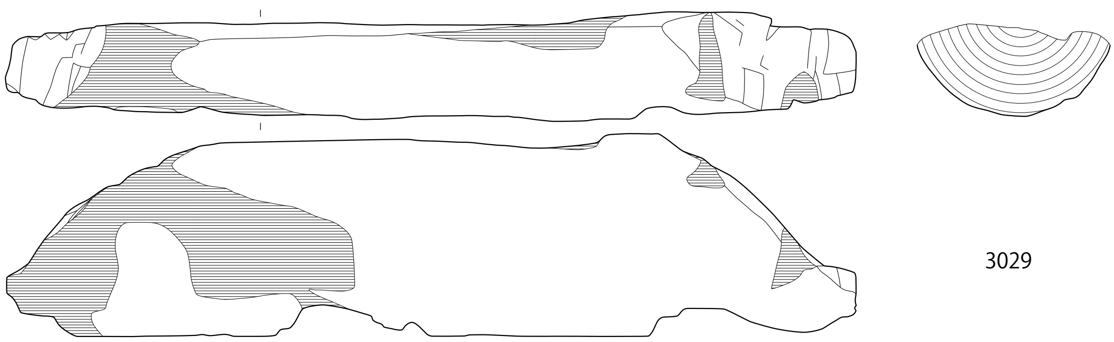
図 106　木製品 3　212SE 出土 (3)　S=1/6（3021 ～ 3024）、S=1/8（3025,3026）



3027

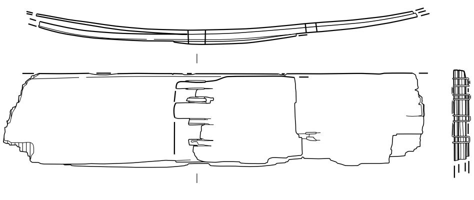


3028

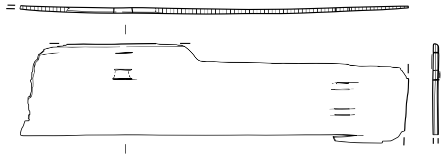


3029

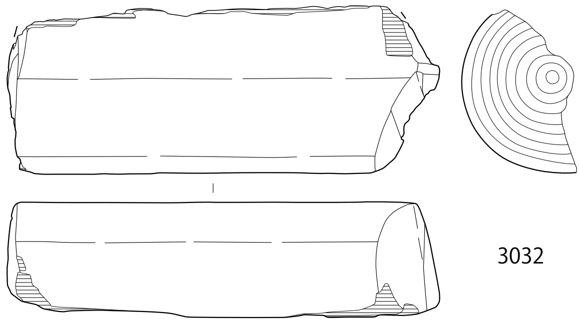
0　(S=1:8)　5cm



3030



3031



3032

0　(S=1:4)　10cm

図 107　木製品4　212SE 出土 (4)、1062SK 出土　S=1/8（3027 ～ 3029）、S=1/4（3030 ～ 3032）

第５節　金属製品

鈴木正貴

万瀬遺跡の金属製品は土葬土坑墓に伴うものが多く、主な製品は銭貨、煙管、鉄製刀子などである。このような状況から、明瞭に遺構に伴わないものも含めて多くの金属製品は、本来は副葬品であったものと推定される。

２１７８ＳＺ　土葬土坑墓 2178SZ からは銭貨５枚（1 ～ 5）が重なった状態で出土した。これを剥離した結果、１枚目の紹聖元寶（篆書背文なし）が裏向き、２枚目の聖宋元寶（篆書背文なし）が裏向き、３枚目の大観通寶（真書背文なし）が表向き、４枚目の熙寧元寶（真書背文なし）が裏向き、５枚目の元祐通寶（行書背文なし）が表向きの状態で重なっていたことが判明した。銭貨は全て北宋銭で、2178SZ の時期は中世（おそらく 15 ～ 16 世紀頃か）と位置付けられる。

２２２４ＳＺ　土葬土坑墓 2224SZ からは銭貨 12 枚（6 ～ 9）と銅製煙管（24）が出土した。銭貨は 6 を除き重複した状態で出土し各銭貨は白色粘土を間に挟み固着していた。6 は新寛永通寶１枚である。7 は７枚の銭貨が重複しそのうちの１枚が新寛永通寶である。8 と 9 は５枚の銭貨が重なった状態であったが、8 と 9 が分離できた。8 は３枚の銭貨が重複し１枚が新寛永通寶である。9 は２枚の銭貨が重複し１枚が新寛永通寶、もう１枚が新寛永通寶（文銭）である。これらの状況からみて、銭貨は全て新寛永通寶と推測され、2224SK の時期は 18 世紀以降と位置付けられる。24 は銅製煙管と思われるが、雁首か吸口かは特定できない。

２４６４ＳＺ　土葬土坑墓 2464SZ からは銭貨７枚（10 ～ 12）が出土した。銭貨は 10 を除き重複した状態で出土しており白色粘土を間に挟み固着していたが、１枚（11）のみ剥離することができた。10 と 11 はそれぞれ新寛永通寶１枚である。12 は５枚の銭貨が重複し１枚が新寛永通寶、もう１枚が新寛永通寶（文銭）である。銭貨は全て新寛永通寶と推測され、2464SK の時期は 18 世紀以降と位置付けられる。

１２２４ＳＫ　土坑 1224SK からは銭貨１枚（13）が出土した。元々の銭面の鋳出しが不明瞭な上に白色粘土を含む土砂が固着しており、銭種は不明であるが、寛永通寶と推測される。

０３６ＳＫ　柱穴 036SK からは新寛永通寶１枚（14）が出土した。

２３２６ＳＺ　土葬土坑墓 2326SZ からは煙管が１点出土した（22）。銅製雁首と竹製羅宇があり、吸口が欠損している。羅宇は雁首に装着された部分と単独に存在するものに分離している。雁首側面には僅かに重ね合わせた痕跡が認められ、受皿部との境界に低い突帯が確認できる。

２４６５ＳＤ　銅製煙管の吸口部が１点出土した（23）。雁首と羅宇は残存していない。

包含層等銭貨　15 は 14 区の攪乱から出土した新寛永通寶１枚、16 と 17 は 14 区２層から出土した銭貨６枚である。白色粘土を含む土砂が固着し重なった状態であったが、１枚が分離できた。16 は新寛永通寶１枚で、17 は５枚の銭貨が重複し１枚が新寛永通寶である。銭種は全て寛永通寶と推測され、本来は土葬土坑墓に伴う副葬品とみられる。

18 と 19 は 19C 区から出土した銭貨で、18 は新寛永通寶１枚、19 は銭面の鋳出しが

不明瞭な上に土砂が固着して銭種は不明であるが、寛永通寶と推測される。20は19A区、21は19B区のそれぞれ表土から出土した銭貨で、ともに新寛永通寶1枚である。この

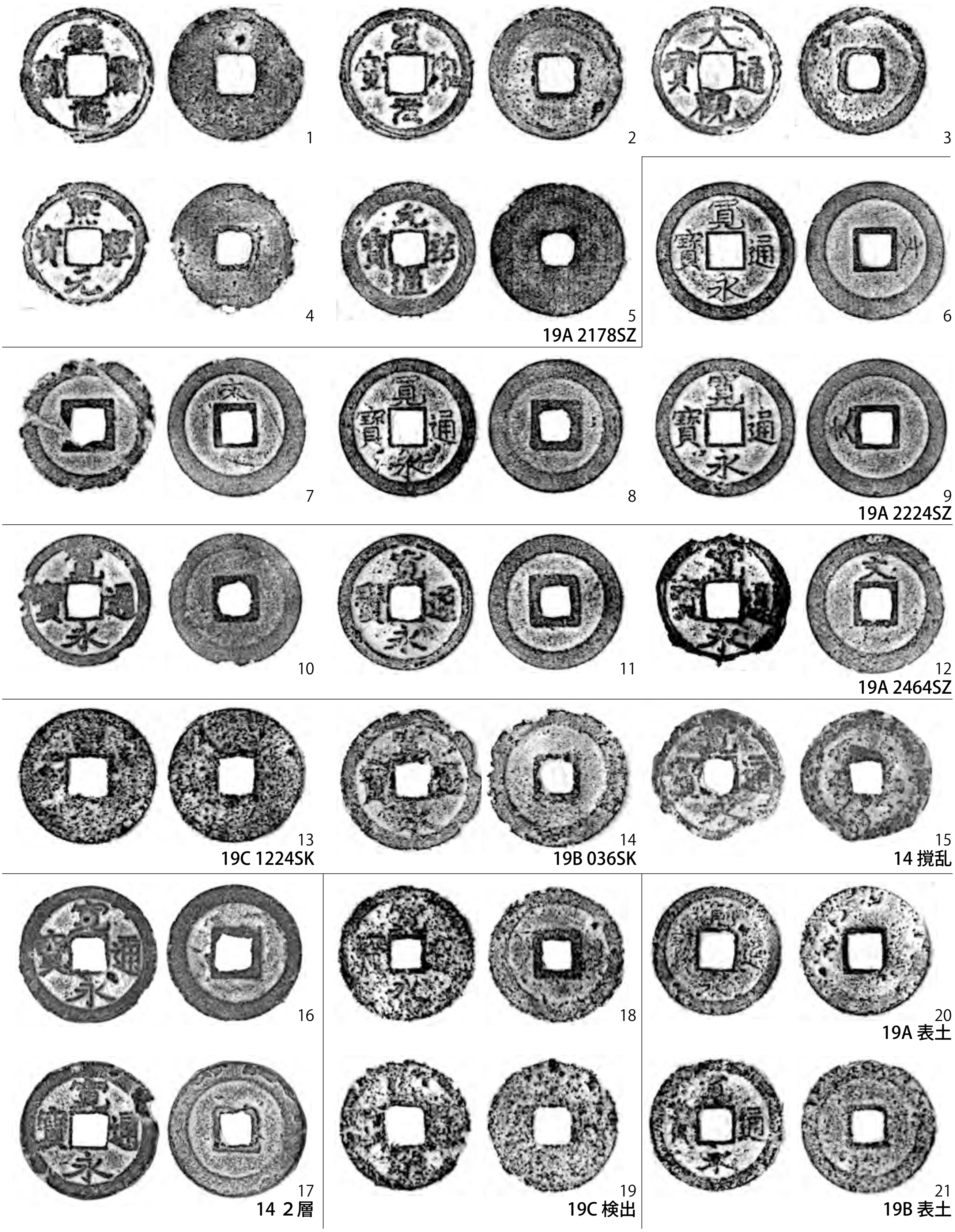


図108　万瀬遺跡出土銭貨

他に図示しなかったが、1020SK から出土した銭貨１枚？があるが、固着が激しく詳細は不明。

金属製品　25 ～ 28 は 14 区２層から出土した鉄製品であり、25 は鉄釘、26 と 27 は刀子、28 は鉄塊系遺物でおそらく鋳造品の破片の一部と推定される。

金属関連遺物　29 は 14 区トレンチから出土した２分の１分割椀型鉄滓である。上面は気泡がやや大きめで少なく比較的平坦で、下面は土砂が激しく固着していた。鍛錬鍛冶に伴う鉄滓と推定される。

なお、万瀬遺跡では中世段階の地床炉跡が複数確認されており、その一部が鍛冶炉の可能性が考えられた。このため、19C 区 1527SL、19A 区 2127SL、19A 区 2445SL、19A 区 2448SL、19A 区 2449SL について炉跡とその周辺の土壌をサンプル採取し水洗篩別作業を行って分析を進めた。この結果、19C 区 1527SL でわずかに鉄滓状微細遺物を２点ほど検出したにとどまっており、これらが鍛冶炉である可能性は極めて低いことが判明した。

近代以降の金属製品　これまでは近世まで遡る可能性のある遺物を紹介したが、近代に属する遺物も少なからず出土しているので、その一部を紹介する。1235SK では鉄釘２点と缶類１点が出土した（30 ～ 32）。また、33 は蹄鉄である。

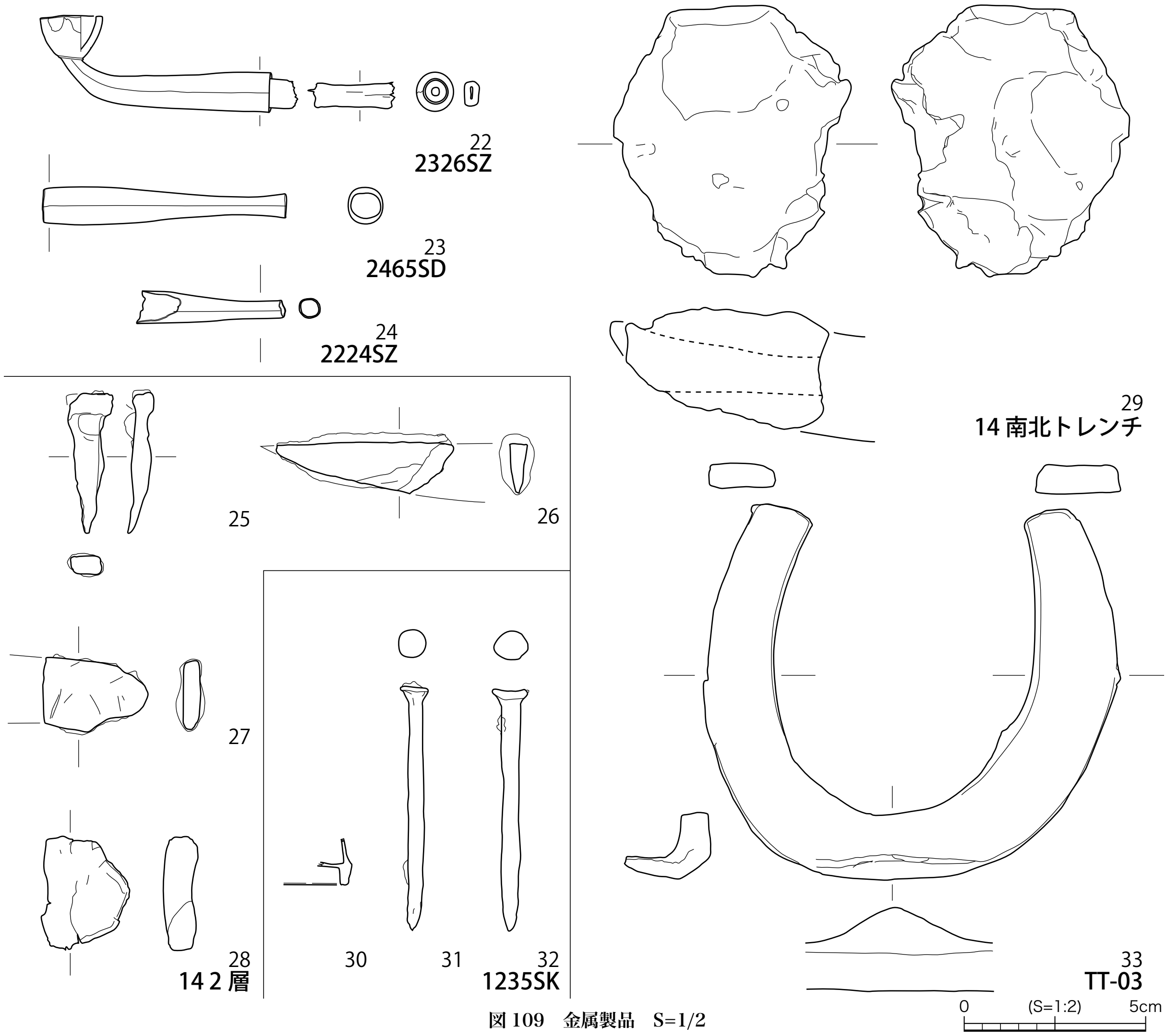


図 109　金属製品　S=1/2

第４章　自然化学分析

第１節　蛍光Ｘ線分析による黒曜石産地推定

㈱ 第四紀　地質研究所

実験条件　分析はエネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置（日本電子製ＪＳＸ－1000Ｓ）で行なった。

この分析装置は標準試料を必要としないファンダメンタルパラメータ法（ＦＰ法）による自動定量計算システムが採用されており、６Ｃ～９２Ｕまでの元素分析ができ、ハイパワーＸ線源(最大30ｋＶ、４ｍＡ）の採用で微量試料～最大290ｍｍφ×80ｍｍＨまでの大型試料の測定が可能である。分析はバルクＦＰ法でおこなった。ＦＰ法とは試料を構成する全元素の種類と濃度、Ｘ線源のスペクトル分布、装置の光学系、各元素の質量吸収係数など装置定数や物性値を用いて、試料から発生する各元素の理論強度を計算する方法である。

実験条件はバルクＦＰ法（スタンダードレス方式)、分析雰囲気＝真空、Ｘ線管ターゲット素材＝Ｒｈ、加速電圧＝30ｋＶ、管電流＝自動制御、分析時間＝24秒（有効分析時間）である。

分析対象元素はSi, Ti, Al, Fe, Mn, Mg, Ca, Na, K,　P, Rb, Sr, Y, Zrの１４元素、分析値は黒曜石の含水量＝０と仮定し、酸化物の重量％を100％にノーマライズし、表示した。

地質学的には分析値の重量％は小数点以下２桁で表示することになっているが、微量元素のRb, Sr, Y, Zrは重量％では小数点以下３～４桁の微量となり、小数点以下２桁では０と表示される。ここでは分析装置のソフトにより計算された小数点以下４桁を用いて化学分析結果を表示した。

主要元素と微量元素の酸化物濃度（重量％）でSiO_2-Al_2O_3,Fe_2O_3-TiO_2,K_2O-CaOの各相関図、Rb-Srは積分強度の相関図の４組の組み合わせで図を作成した。

分析結果　表７化学分析表には分析結果、表８には強被熱を受けた万瀬-27のEDS分析結果表、表９黒曜石原産地対比表には分析結果に基づいて原産地が記載してある。

１）　万瀬遺跡出土黒曜石遺物は図111 Fe_2O_3-TiO_2図、図112 K_2O-CaO図にみられるように和田峠系-2の星ケ塔産であることを示している。強被熱を受けている遺物は万瀬-27の１個である。

２）　万瀬遺跡の和田峠系-2（星ケ塔）とされた遺物は新鮮なもの、遺物表面が風化した風化１と風化２の３種類に分類される。風化１としたものは第２図,Fe_2O_3-TiO_2図の中でTiO_2の値が0.2～0.3の領域にあり、風化２としたものはTiO_2の値が0.05～1.5の領域にあり、領域を異にしている。

３）　図114 SiO_2-Al_2O_3図（付図）にみられるように万瀬-9，13，14の３個はSiO_2の値が71～73の領域にあり、明らかに異質であり、原産地は不明である。万瀬-31はSiO_2の値が99.7％あり、ガラス片のように見受けられる。

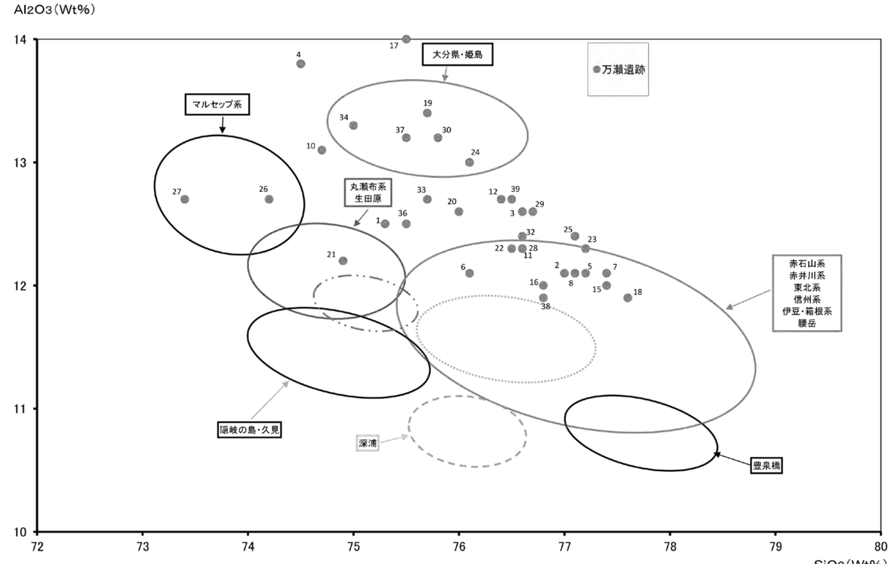


図 110　日本の黒曜石 SiO_2—Al_2O_3 図（万瀬遺跡）

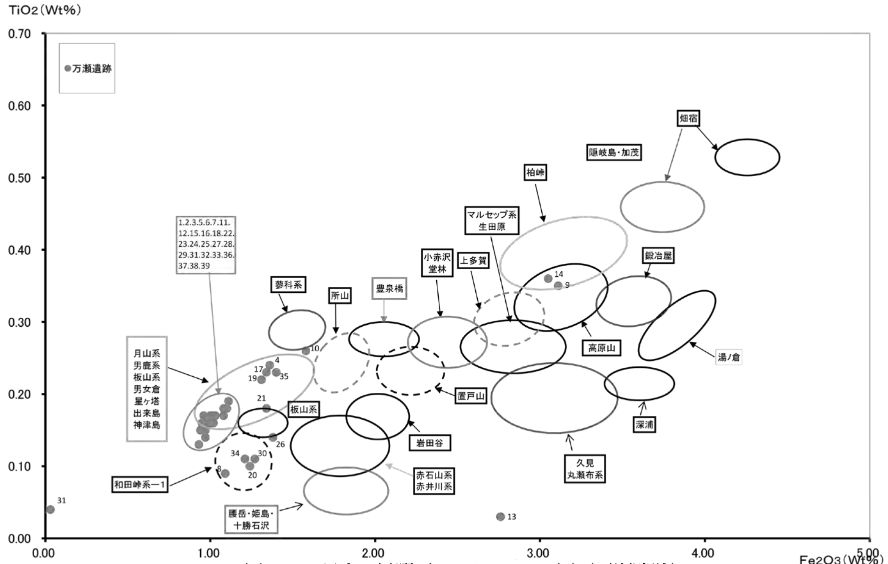


図 111　日本の黒曜石 Fe_2O_3—TiO_2 図（万瀬遺跡）

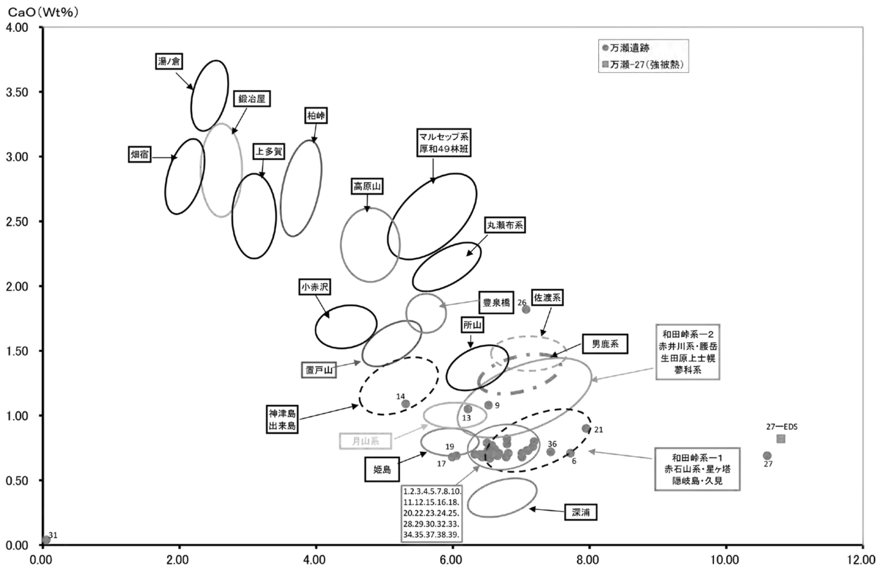


図 112　日本の黒曜石 K_2O—CaO 図（万瀬遺跡）

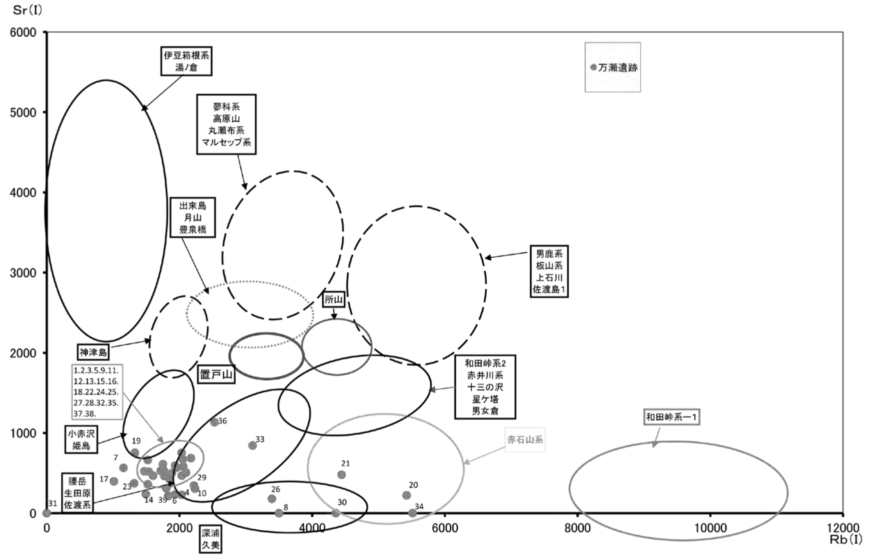


図 113　日本の黒曜石 Rb-Sr 図（万瀬遺跡）

表７　黒曜石化学分析表

試料名	Na2O	MgO	Al2O3	SiO2	P2O5	K2O	CaO	TiO2	MnO	Fe2O3	Rb2O	SrO	Y2O3	ZrO2	Total	Rb(I)	Sr(I)	原産地	器種
万瀬-1	2.7500	0.0000	12.5000	75.3000	0.0400	7.1900	0.8000	0.1700	0.1200	1.0100	0.0200	0.0100	0.0100	0.0100	99.9300	2033	753	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-2	2.3700	0.0000	12.1000	77.0000	0.0000	6.5100	0.7300	0.1400	0.1200	0.9700	0.0200	0.0100	0.0100	0.0200	100.0000	1961	567	和田峠系-2(星ケ塔)	石鏃
万瀬-3	1.8400	0.1100	12.6000	76.6000	0.0900	6.6100	0.7400	0.1700	0.1200	1.0300	0.0300	0.0100	0.0100	0.0200	99.9800	1602	468	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-4	1.7700	0.2200	13.8000	74.5000	0.3300	6.7900	0.8200	0.2400	0.1400	1.3600	0.0300	0.0000	0.0000	0.0200	100.0200	2032	230	和田峠系-2(風化1)	小型剥片
万瀬-5	1.9500	0.1000	12.1000	77.2000	0.0500	6.5500	0.7200	0.1600	0.1100	0.9500	0.0200	0.0100	0.0000	0.0200	99.9400	1716	528	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-6	1.9100	0.1000	12.1000	76.1000	0.0300	7.7200	0.7100	0.1700	0.1200	0.9600	0.0200	0.0000	0.0100	0.0200	99.9700	1930	233	和田峠系-2(星ケ塔)	スクレイパー
万瀬-7	1.5900	0.0000	12.1000	77.4000	0.0500	6.7800	0.6800	0.1500	0.1300	0.9700	0.0200	0.0100	0.0100	0.0100	99.9000	1155	566	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-8	2.3200	0.0000	12.1000	77.1000	0.0300	6.3200	0.7000	0.0900	0.1600	1.0900	0.0500	0.0000	0.0100	0.0200	99.9900	3501	0	和田峠系-2(風化2)	微細剥片
万瀬-9	1.3800	0.4100	15.6000	71.1000	0.2600	6.5200	1.0800	0.3500	0.0500	3.1100	0.0300	0.0100	0.0100	0.0400	99.9500	1885	499	産地不明・安山岩系？	微細剥片
万瀬-10	1.8600	0.1200	13.1000	74.7000	0.2300	7.1700	0.7600	0.2600	0.1500	1.5800	0.0400	0.0100	0.0100	0.0300	100.0200	2233	307	和田峠系-2(風化1)	微細剥片
万瀬-11	2.1600	0.0800	12.3000	76.6000	0.1000	6.6700	0.7100	0.1600	0.1200	1.0200	0.0200	0.0100	0.0000	0.0200	99.9700	1749	612	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-12	2.0700	0.1500	12.7000	76.4000	0.0700	6.5200	0.7100	0.1700	0.1100	1.0200	0.0200	0.0100	0.0100	0.0200	99.9800	1849	427	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-13	1.0600	0.3000	14.9000	73.0000	0.1800	6.2200	1.0500	0.0300	0.0600	2.7600	0.0300	0.0100	0.0100	0.0600	99.6700	1521	664	産地不明・安山岩系？	小型剥片
万瀬-14	0.9200	0.4400	16.3000	72.2000	0.2400	5.3100	1.0900	0.3600	0.0500	3.0500	0.0300	0.0000	0.0100	0.0700	100.0700	1493	237	産地不明・安山岩系？	小型石核
万瀬-15	1.9700	0.1400	12.0000	77.4000	0.0500	6.5400	0.6700	0.1300	0.1000	0.9300	0.0300	0.0100	0.0000	0.0200	99.9900	1802	310	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-16	2.1800	0.0000	12.0000	76.8000	0.0300	7.0100	0.6800	0.1600	0.1100	0.9600	0.0300	0.0100	0.0000	0.0200	99.9900	2034	469	和田峠系-2(星ケ塔)	微細剥片
万瀬-17	1.5500	0.4100	14.0000	75.5000	0.1200	5.9900	0.6800	0.2300	0.1100	1.3400	0.0400	0.0200	0.0100	0.0300	100.0300	1010	396	和田峠系-2(風化1)	微細剥片
万瀬-18	1.9000	0.1300	11.9000	77.6000	0.0000	6.5300	0.6900	0.1500	0.1200	0.9400	0.0300	0.0100	0.0000	0.0200	100.0200	1767	527	和田峠系-2(星ケ塔)	石鏃
万瀬-19	2.1400	0.2300	13.4000	75.7000	0.0900	6.0500	0.6900	0.2200	0.1100	1.3100	0.0200	0.0100	0.0000	0.0100	99.9800	1328	753	和田峠系-2(風化1)	微細剥片
万瀬-20	2.1100	0.0000	12.6000	76.0000	0.0500	6.7900	0.7800	0.1000	0.1900	1.2400	0.0600	0.0000	0.0100	0.0100	99.9400	5422	222	和田峠系-2(風化2)	小型剥片
万瀬-21	2.2100	0.1300	12.2000	74.9000	0.0000	7.9500	0.9000	0.1800	0.1500	1.3400	0.0500	0.0100	0.0100	0.0300	100.0600	4443	479	和田峠系-2(風化1)	小型剥片石器
万瀬-22	2.5600	0.1000	12.3000	76.5000	0.0000	6.5400	0.7400	0.1600	0.1100	0.9500	0.0200	0.0100	0.0000	0.0200	100.0100	2173	686	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-23	1.8100	0.0000	12.3000	77.2000	0.0400	6.6500	0.6900	0.1700	0.1100	1.0000	0.0200	0.0100	0.0100	0.0100	100.0200	1316	373	和田峠系-2(星ケ塔)	微細剥片
万瀬-24	2.2200	0.1000	13.0000	76.1000	0.0800	6.4000	0.7000	0.1800	0.1200	1.0800	0.0200	0.0100	0.0100	0.0100	100.0300	1470	522	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-25	1.7200	0.1200	12.4000	77.1000	0.0000	6.5900	0.7100	0.1700	0.1200	1.0200	0.0200	0.0100	0.0100	0.0200	100.0100	1771	465	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-26	2.3000	0.1200	12.7000	74.2000	0.0500	7.0700	1.8200	0.1400	0.1600	1.3800	0.0400	0.0000	0.0100	0.0200	100.0100	3393	179	和田峠系-2(風化2)	石鏃
万瀬-27	0.8800	0.2100	12.7000	73.4000	0.0700	10.6000	0.6900	0.1800	0.1200	1.1000	0.0200	0.0100	0.0100	0.0200	100.0100	1537	517	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-28	1.6100	0.1200	12.3000	76.6000	0.0400	7.1000	0.7300	0.1900	0.1300	1.1100	0.0300	0.0100	0.0100	0.0200	100.0000	2099	507	和田峠系-2(星ケ塔)	スクレイパー
万瀬-29	2.1900	0.0800	12.6000	76.7000	0.0000	6.4600	0.7000	0.1600	0.1200	0.9800	0.0300	0.0000	0.0000	0.0200	100.0400	2217	345	和田峠系-2(星ケ塔)	石錐
万瀬-30	1.8900	0.1700	13.2000	75.8000	0.0800	6.5000	0.7900	0.1100	0.1800	1.2700	0.0600	0.0000	0.0100	0.0200	100.0800	4355	0	和田峠系-2(風化2)	小型剥片
万瀬-31	0.0000	0.0000	0.0000	99.7000	0.0000	0.0500	0.0400	0.0400	0.0000	0.0300	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	99.8600	0	0	ガラス？	二次加工のある小型剥片
万瀬-32	2.4800	0.0000	12.4000	76.6000	0.0300	6.5000	0.6800	0.1500	0.1100	0.9400	0.0300	0.0100	0.0100	0.0200	99.9600	2057	583	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-33	2.4900	0.1200	12.7000	75.7000	0.0200	7.0100	0.7100	0.1600	0.1100	0.9500	0.0200	0.0100	0.0000	0.0200	100.0200	3102	844	和田峠系-2(星ケ塔)	小型石核
万瀬-34	2.6100	0.1300	13.3000	75.0000	0.0900	6.5700	0.7700	0.1100	0.1700	1.2100	0.0500	0.0000	0.0100	0.0200	100.0400	5513	0	和田峠系-2(風化2)	小型剥片
万瀬-35	1.4300	0.3000	14.1000	74.2000	0.2700	7.0800	0.7300	0.2300	0.1400	1.4000	0.0300	0.0100	0.0100	0.0200	99.9500	1933	592	和田峠系-2(風化1)	小型石核
万瀬-36	2.3800	0.1100	12.5000	75.5000	0.0200	7.4300	0.7200	0.1600	0.1200	0.9900	0.0200	0.0100	0.0100	0.0100	99.9800	2526	1134	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-37	2.6100	0.1000	13.2000	75.5000	0.0700	6.4300	0.6800	0.1700	0.1200	1.0800	0.0300	0.0100	0.0100	0.0200	100.0300	2050	671	和田峠系-2(星ケ塔)	小型剥片
万瀬-38	2.4200	0.0000	11.9000	76.8000	0.0000	6.8100	0.7100	0.1600	0.1200	1.0000	0.0200	0.0100	0.0000	0.0200	99.9700	1521	360	和田峠系-2(星ケ塔)	小型石核
万瀬-39	2.1900	0.1100	12.7000	76.5000	0.0300	6.4100	0.6900	0.1700	0.1100	1.0100	0.0200	0.0000	0.0000	0.0100	99.9500	1831	216	和田峠系-2(星ケ塔)	微細剥片

表８　強被熱黒曜石・EDS・化学表

試料名	Na2O	MgO	Al2O3	SiO2	P2O5	K2O	CaO	TiO2	MnO	Fe2O3	Total
万瀬-27	0.5000	0.0000	12.6000	70.2100	0.0000	10.8000	0.8200	0.4500	0.4900	4.1300	100.0000

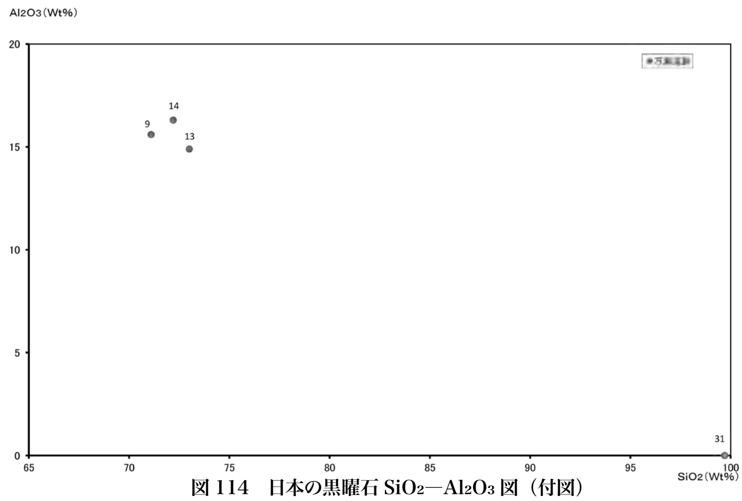


図 114　日本の黒曜石 SiO_2—Al_2O_3 図（付図）

表９　黒曜石原産地対比表

試料名	原産地	器種
万瀬-1	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-2	和田峠系-2（星ケ塔）	石鏃
万瀬-3	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-5	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-6	和田峠系-2（星ケ塔）	スクレイパー
万瀬-7	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-11	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-12	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-15	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-16	和田峠系-2（星ケ塔）	微細剥片
万瀬-18	和田峠系-2（星ケ塔）	石鏃
万瀬-22	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-23	和田峠系-2（星ケ塔）	微細剥片
万瀬-24	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-25	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-27	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-28	和田峠系-2（星ケ塔）	スクレイパー
万瀬-29	和田峠系-2（星ケ塔）	石錐
万瀬-32	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-33	和田峠系-2（星ケ塔）	小型石核
万瀬-36	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-37	和田峠系-2（星ケ塔）	小型剥片
万瀬-38	和田峠系-2（星ケ塔）	小型石核
万瀬-39	和田峠系-2（星ケ塔）	微細剥片
万瀬-4	和田峠系-2（風化1）	小型剥片
万瀬-10	和田峠系-2（風化1）	微細剥片
万瀬-17	和田峠系-2（風化1）	微細剥片
万瀬-19	和田峠系-2（風化1）	微細剥片
万瀬-21	和田峠系-2（風化1）	小型剥片石器
万瀬-35	和田峠系-2（風化1）	小型石核
万瀬-8	和田峠系-2（風化2）	微細剥片
万瀬-20	和田峠系-2（風化2）	小型剥片
万瀬-26	和田峠系-2（風化2）	石鏃
万瀬-30	和田峠系-2（風化2）	小型剥片
万瀬-34	和田峠系-2（風化2）	小型剥片
万瀬-31	ガラス？	二次加工のある小型剥片
万瀬-9	産地不明・安山岩系？	微細剥片
万瀬-13	産地不明・安山岩系？	小型剥片
万瀬-14	産地不明・安山岩系？	小型石核

引用文献

井上　巖（2000）東北・北陸北部における原産地黒曜石の蛍光Ｘ線分析（ＸＲＦ）北越考古学、第１１号、23-38.

井上　巖（2001）テフラ中の火山ガラスの同定に関する一提言、軽石学雑誌、第７号　23-51.

井上　巖（2008）東北日本の原産地黒曜石　関東・中部・東海編

井上　巖（2008）東北日本の原産地黒曜石　東北・北陸編

井上　巖（2008）東北日本の原産地黒曜石　北海道編

井上　巖（2008）東北日本の原産地黒曜石写真集

第２節　万瀬遺跡出土木製品の樹種同定

小林克也（パレオ・ラボ）

はじめに　愛知県設楽町の万瀬遺跡から出土した木製品の樹種同定を行った。

試料と方法　試料は、19B 区および 19C 区から出土した木製品、計 32 点である。時期についてはいずれも近世であると考えられている。各試料について、切片採取前に木取りの確認を行なった。

結果　同定の結果、針葉樹のマツ属複維管束亜属とヒノキの２分類群と、広葉樹のカエデ属１分類群の、計３分類群がみられた。マツ属複維管束亜属が最も多く 25 点で、カエデ属が５点、ヒノキが２点であった。同定結果を表 10 に、一覧を表 11 に示す。

以下に、同定された材の特徴を記載し、図 113 に光学顕微鏡写真を示す。

（1）マツ属複維管束亜属　Pinus subgen. Diploxylon　マツ科　図 115　1a-1c(No.3-4)

仮道管と垂直および水平樹脂道、放射柔細胞および放射仮道管で構成される針葉樹である。放射組織は放射柔細胞と放射仮道管によって構成される。放射仮道管の内壁の肥厚は鋸歯状であり、分野壁孔は窓状となる。

マツ属複維管束亜属には、アカマツとクロマツがある。どちらも温帯から暖帯にかけて分布し、クロマツは海の近くに、アカマツは内陸地に生育しやすい。材質は類似し、重硬で切削等の加工は容易である。

（2）ヒノキ　Chamaecyparis obtusa (Siebold et Zucc.) Endl.　ヒノキ科　図 115　2a-2c(No.5-1-2)

仮道管と放射組織、樹脂細胞で構成される針葉樹である。晩材部は薄く、早材から晩材への移行は急である。放射組織は単列で、高さ１～ 15 列である。分野壁孔はトウヒ～ヒノキ型で、１分野に２個みられる。

ヒノキは福島県以南の暖温帯に分布する常緑高木の針葉樹である。材はやや軽軟で加工しやすく、強度に優れ、耐朽性が高い。

（3）カエデ属　Acer　ムクロジ科　図 115　3a-3c(No.4-1)

小型の道管が単独ないし２～３個複合してやや疎らに散在する散孔材である。木部繊維の壁の厚さの違いで、木口面に雲紋状の文様がみられる。道管は単穿孔を有し、内壁にはらせん肥厚がみられる。放射組織は同性で、幅１～６列となる。

カエデ属にはイタヤカエデやウリハダカエデなどがあり、代表的なイタヤカエデは各地に普通にみられる落葉高木の広葉樹である。材はやや重硬で、切削加工はやや困難である。

表 10　万瀬遺跡出土木製品の樹種同定結果

樹種/器種	井戸部材	井戸枠	曲物側板	柱材？	合計
マツ属複維管束亜属		24		1	25
ヒノキ			2		2
カエデ属	5				5
合計	5	24	2	1	32

考　　察　井戸枠および柱材？は、いずれもマツ属複維管束亜属であった。マツ属複維管束亜属は、木理通直でまっすぐに生育し、加工性が良い樹種である。また油分が多く、耐朽性が高い（伊東ほか，2011）。

井戸部材はいずれもカエデ属、曲物側板はヒノキであった。ヒノキはマツ属複維管束亜属と同様にまっすぐで加工性が良く、カエデ属は堅硬な樹種である（伊東ほか，2011）。

井戸跡 212SE では、井戸枠にはマツ属複維管束亜属、井戸部材にはカエデ属のみが利用されており、部材ごとに堅硬な樹種や耐朽性の高い樹種を使い分けて利用していたと考えられる。

愛知県の江戸時代頃の井戸部材では、愛知県の郷上遺跡ではマツ属複維管束亜属の桟木が確認されているが、それ以外は概ねヒノキ属やスギであった（伊東・山田編，2012）。万瀬遺跡の井戸部材では、井戸枠にはマツ属複維管束亜属のみが利用され、底部木枠である井戸部材ではカエデ属のみが利用されており、異なる様相を示した。

引用文献

伊東隆夫・佐野雄三・安部　久・内海泰弘・山口和穂（2011）日本有用樹木誌．238p，海青社．
伊東隆夫・山田昌久編（2012）木の考古学ー出土木製品用材データベースー．449p，海青社．

表 11　万瀬遺跡出土木製品の樹種同定結果一覧

試料No.	整理No.	調査区	グリッド	遺構等	器種名	樹種	木取り	時期
1-1	1	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
1-2	2	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
1-3	3	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
1-4	4	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
1-5	5	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
1-6	6	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
1-7	7	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
2-1	8	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
2-2	9	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
2-3	10	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
2-4	11	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
2-5	12	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
2-6	13	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
2-7	14	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
2-8	15	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
2-9	16	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
3-1	17	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
3-2	18	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
3-3	19	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
3-4	20	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
3-5	21	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
3-6	22	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
3-7	23	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
3-8	24	19B	4027	212SE	井戸枠	マツ属複維管束亜属	追柾目	近世
4-1	25	19B	4027	212SE　底部木枠	井戸部材	カエデ属	芯持丸木	近世
4-2	26	19B	4027	212SE　底部木枠	井戸部材	カエデ属	芯持丸木	近世
4-3	27	19B	4027	212SE　底部木枠	井戸部材	カエデ属	半割	近世
4-4	28	19B	4027	212SE　底部木枠	井戸部材	カエデ属	半割	近世
4-5	29	19B	4027	212SE　底部木枠	井戸部材	カエデ属	半割	近世
5-1-1	30	19C	3232	1062SK　d-0094	曲物側板	ヒノキ	柾目	近世
5-1-2	31	19C	3232	1062SK　d-0094	曲物側板	ヒノキ	柾目	近世
5-6	32	19C	3232	1062SK　d-0094	柱材？	マツ属複維管束亜属	半割	近世

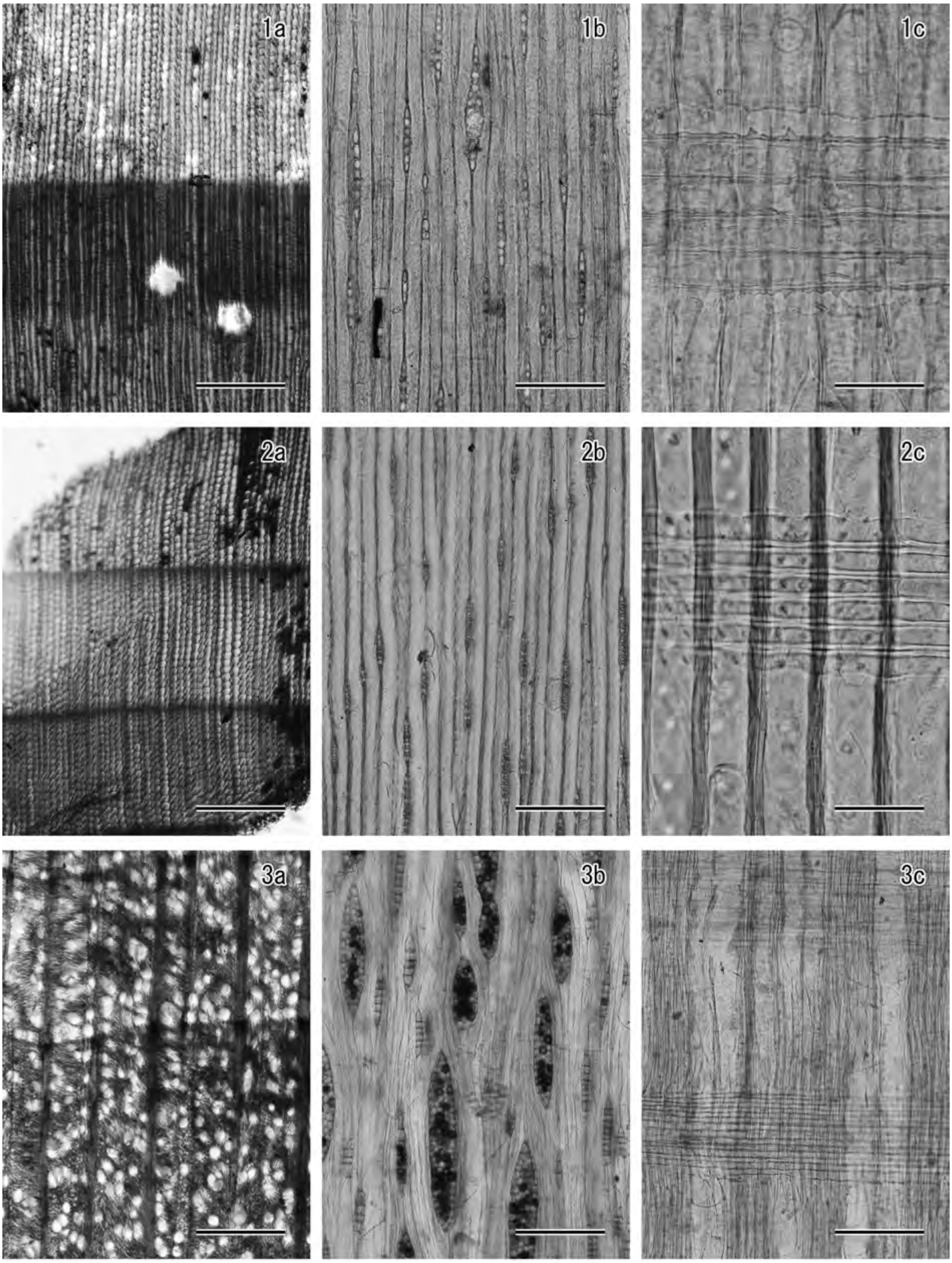


図 115　万瀬遺跡出土木製品の光学顕微鏡写真

1a-1c. マツ属複維管束亜属 (No.3-4)、2a-2c. ヒノキ (No.5-1-2)、3a-3c. カエデ属 (No.4-1)

a: 横断面 (スケール =500 µm)、b: 接線断面 (スケール =200 µm)、c: 放射断面 (スケール =1-2:50 µm・3:200 µm)

第３節　土壌出土および土器付着炭化物の放射性炭素年代測定

パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ
（Ⅰ）伊藤　茂・安昭炫・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・小林紘一・
Zaur Lomtatidze・Ineza Jorjoliani・小林克也
（Ⅱ）伊藤　茂・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・Zaur Lomtatidze・中村賢太郎
（Ⅲ）伊藤　茂・加藤和浩・廣田正史・佐藤正教・山形秀樹・
Zaur Lomtatidze・山本　華・小林克也

（編注）本節については、試料によって分析担当者および報文の執筆者が異なる。したがって、報文は（Ⅰ）～（Ⅲ）を付してどのグループによるものかを示し、共通する部分は（共通）とした。

はじめに(共通)　愛知県北設楽郡に位置する万瀬遺跡から出土した試料について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。

（Ⅲ）　なお、試料の採取、報告書作成は山本、小林が行った。

試料と方法（Ⅰ）　試料は、グリッド 3930 の２層で出土した鉢（登録番号 0133）の、胴部外面付着炭化物１点（PLD-29203）である。時期については、縄文時代後期末であると考えられている。測定試料の情報、調製データは表 12-1 のとおりである。

表 12-1　放射性炭素年代 測定試料および前処理（Ⅰ）

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-29203	グリッド：3930 層位：2層 登録番号：0133	器種：鉢 採取部位：胴部外面 種類：付着炭化物	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N, 水酸化ナトリウム：1.0N,塩酸：1.2N）

表 12-2　放射性炭素年代 測定試料および前処理（Ⅱ）

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-40567	調査区：4KMZ19A グリッド：3731 遺構：2116SL 取り上げ番号：d-0162 日付：20191113	種類：炭化材 試料の性状：不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L）
PLD-40568	調査区：4KMZ19A グリッド：3735 遺構：2400SI 登録番号：0394 日付：20191220	種類：土器付着炭化物 部位：胴部内面 備考：表裏縄文土器 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L）
PLD-40569	調査区：4KMZ19Ab グリッド：3336 遺構：2429SK 登録番号：0408 日付：20191224	種類：土器付着炭化物 部位：胴部外面 備考：表裏縄文土器 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L）
PLD-40570	調査区：4KMZ19C グリッド：3233 遺構：1527SL 日付：20191129	種類：炭化材 試料の性状：不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L）
PLD-40571	調査区：4KMZ19C グリッド：3433 遺構：1720SI 日付：20191126	種類：炭化材 試料の性状：不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L）
PLD-40572	調査区：4KMZ19C グリッド：3433 遺構：1730SI 日付：20191205	種類：炭化材 試料の性状：不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L）
PLD-40573	調査区：4KMZ19C グリッド：3433 遺構：1740SI 日付：20191205	種類：炭化材 試料の性状：不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L）

(Ⅱ) 測定試料の情報、調製データは表12-2のとおりである。

(Ⅲ) 試料は、土器の内外面に付着した炭化物25点である。各試料の時期および測定試料の情報、調製データは表12-3、12-4に示す。なお、登録番号0284（PLD-47195）、登録番号0317（PLD-47198）、登録番号0323（PLD-47202）の土器付着炭化物は、前処理の時点で年代測定に必要な炭素量が確保できなかったため、測定は行えなかった。よって測定試料は、22点となった。また、炭素量が十分に確保できた試料についてはグラファイト化を行ったが、登録番号0003（PLD-47186）、登録番号0245（PLD-47192）、登録番号0322（PLD-47200）の試料についてはグラファイト化を行うための炭素量が十分に確保できなかったため、セメンタイト化を行った。

(共通) 試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクトAMS：NEC製1.5SDH）を用いて測定した。得られた^{14}C濃度について同位体分別効果の補正を行った後、^{14}C年代、暦年代を算出した。

結　果(Ⅰ) 表13-1に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（δ13C）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した^{14}C年代を、図116-1に暦年較正結果をそれぞれ示す。

(Ⅱ) 表13-2に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（δ13C）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した^{14}C年代、暦年較正結果を、図116-2,3に暦年較正結果をそれぞれ示す。

(Ⅲ) 表13-3、13-4に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（δ13C）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した^{14}C年代を、図116-4~6に暦年較正結果を、図117にマルチプロット図をそれぞれ示す。

(共通) 暦年較正に用いた年代値は下1桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

^{14}C年代はAD1950年を基点にして何年前かを示した年代である。^{14}C年代（yrBP）の算出には、^{14}Cの半減期としてLibbyの半減期5568年を使用した。また、付記した^{14}C年代誤差（±1σ）は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の^{14}C年代がその^{14}C年代誤差内に入る確率が68.2%（※（Ⅲ）のみ68.27%）であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。暦年較正とは、大気中の^{14}C濃度が一定で半減期が5568年として算出された^{14}C年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の^{14}C濃度の変動、および半減期の違い（^{14}Cの半減期5730±40年）を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C年代の暦年較正にはOxCal4.2（較正曲線データ：IntCal13）を使用した。なお、1σ暦年代範囲は、OxCalの確率法を使用して算出された^{14}C年代誤差に相当する68.2%（※（Ⅲ）のみ68.27%）信頼限界の暦年代範囲であり、同様に2σ暦年代範囲は95.4%（※（Ⅲ）のみ95.45%）信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は^{14}C年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

表 12-3　放射性炭素年代 測定試料および前処理（Ⅲ−1）

測定番号	試料番号	試料データ	推定時期	前処理
PLD-47185	試料No.19 登録番号： 0048	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部下半外面 状態：dry	縄文時代後期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47186	試料No.55 登録番号： 0003	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代後期中葉	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） セメンタイト化
PLD-47187	試料No.84 登録番号： 0018	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代後期中葉	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47188	試料No.185 登録番号： 0103	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部内面 状態：dry	縄文時代後期中葉以降	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47189	試料No.193 登録番号： 0109	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部下半内面 状態：dry	縄文時代後期中葉～後葉	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47190	試料No.321 登録番号： 0237	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代後期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47191	試料No.324 登録番号： 0256	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代後期～晩期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47192	試料No.399 登録番号： 0245	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部内面 状態：dry	縄文時代後期中葉以降	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） セメンタイト化
PLD-47193	試料No.419 登録番号： 0266	種類：土器付着炭化物 器種：鉢 部位：胴部内面 状態：dry	縄文時代後期～晩期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47194	試料No.560 登録番号： 0280	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代後期中葉以降	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47195	試料No.635 登録番号： 0284	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部内面 状態：dry	縄文時代後期後葉	測定不可
PLD-47196	試料No.663 登録番号： 0163	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部内面 状態：dry	縄文時代後期～晩期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47197	試料 No.1005 登録番号： 0333	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部内面 状態：dry	縄文時代晩期～ 弥生時代前期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化

表 12-4　放射性炭素年代 測定試料および前処理（Ⅲ−2）

測定番号	試料番号	試料データ	推定時期	前処理
PLD-47198	試料 No.1012 登録番号： 0317	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代晩期後半	測定不可
PLD-47199	試料 No.1013 登録番号： 0320	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部下半・内面 状態：dry	縄文時代晩期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47200	試料 No.1024 登録番号： 0322	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部・外面 状態：dry	縄文時代晩期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） セメンタイト化
PLD-47201	試料 No.1027 登録番号： 0317	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部～底部・外面 状態：dry	縄文時代晩期後半	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47202	試料 No.1030 登録番号： 0323	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代晩期	測定不可
PLD-47203	試料 No.1058 登録番号： 0326	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代晩期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） セメンタイト化
PLD-47204	試料 No.1089 登録番号： 0349	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代晩期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47205	試料 No.1094 登録番号： 0363	種類：土器付着炭化物 器種：壺 部位：口縁部～頸部外面 状態：dry	弥生時代後期	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47206	試料 No.1129 登録番号： 0404	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代早期前半	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.01 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47207	試料 No.1137 登録番号： 0394	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部外面 状態：dry	縄文時代早期前半	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47208	試料 No.1138 登録番号： 0395	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：胴部内面 状態：dry	縄文時代早期前半	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化
PLD-47209	試料 No.1144 登録番号： 0429	種類：土器付着炭化物 器種：深鉢 部位：口縁部外面 状態：dry	縄文時代早期前半	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L,塩酸：1.2 mol/L） グラファイト化

表 13-1　放射性炭素年代測定および暦年較正の結果（I）

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
PLD-29203 登録番号0133	-23.64±0.18	3026±19	3025±20	1368-1363 cal BC (3.4%) 1292-1230 cal BC (64.8%)	1382-1343 cal BC (17.7%) 1306-1216 cal BC (77.7%)

表 13-2　放射性炭素年代測定および暦年較正の結果（II）

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲		^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲	1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
PLD-40567	-31.95±0.36	9427±40	9425±40	8756-8696 cal BC (40.9%) 8683-8640 cal BC (27.3%)	8807-8617 cal BC (95.4%)	10705-10645 cal BP (40.9%) 10632-10589 cal BP (27.3%)	10756-10566 cal BP (95.4%)
PLD-40568	-26.90±0.23	9455±35	9455±35	8791-8705 cal BC (61.1%) 8670-8656 cal BC (7.1%)	8836-8628 cal BC (95.4%)	10740-10654 cal BP (61.1%) 10619-10605 cal BP (7.1%)	10785-10577 cal BP (95.4%)
PLD-40569	-22.95±0.19	8331±27	8330±25	7471-7444 cal BC (18.0%) 7439-7421 cal BC (10.7%) 7415-7357 cal BC (39.5%)	7491-7331 cal BC (95.4%)	9420-9393 cal BP (18.0%) 9388-9370 cal BP (10.7%) 9364-9306 cal BP (39.5%)	9440-9280 cal BP (95.4%)
PLD-40570	-25.93±0.22	9378±31	9380±30	8711-8616 cal BC (68.2%)	8741-8569 cal BC (95.4%)	10660-10565 cal BP (68.2%)	10690-10518 cal BP (95.4%)
PLD-40571	-26.11±0.21	9502±31	9500±30	9109-9086 cal BC (9.4%) 9040-9031 cal BC (3.2%) 8837-8750 cal BC (55.6%)	9120-9005 cal BC (29.4%) 8917-8899 cal BC (2.0%) 8868-8716 cal BC (63.9%)	11058-11035 cal BP (9.4%) 10989-10980 cal BP (3.2%) 10786-10699 cal BP (55.6%)	11069-10954 cal BP (29.4%) 10866-10848 cal BP (2.0%) 10817-10665 cal BP (63.9%)
PLD-40572	-26.55±0.15	9569±34	9570±35	9123-9000 cal BC (40.0%) 8920-8834 cal BC (28.2%)	9141-8796 cal BC (95.4%)	11072-10949 cal BP (40.0%) 10869-10783 cal BP (28.2%)	11090-10745 cal BP (95.4%)
PLD-40573	-28.90±0.12	9603±35	9605±35	9151-9117 cal BC (11.4%) 9072-9058 cal BC (4.0%) 9013-8911 cal BC (34.1%) 8905-8845 cal BC (18.8%)	9188-8822 cal BC (95.4%)	11100-11066 cal BP (11.4%) 11021-11007 cal BP (4.0%) 10962-10860 cal BP (34.1%) 10854-10794 cal BP (18.8%)	11137-10771 cal BP (95.4%)

表 13-3　放射性炭素年代測定および暦年較正の結果（Ⅲ−1）

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
PLD-47185 試料No.19 登録番号：0048	-25.15±0.12	2519±20	2520±20	774-750 cal BC (20.19%) 684-667 cal BC (14.82%) 635-619 cal BC (10.52%) 615-590 cal BC (19.44%) 578-572 cal BC (3.31%)	778-742 cal BC (23.80%) 692-664 cal BC (18.41%) 647-547 cal BC (53.24%)
PLD-47186 試料No.55 登録番号：0003	-48.32±0.53	3793±130	3790±130	2455-2418 cal BC (5.85%) 2408-2372 cal BC (6.01%) 2365-2362 cal BC (0.43%) 2360-2122 cal BC (46.55%) 2094-2039 cal BC (9.43%)	2617-2612 cal BC (0.11%) 2580-1881 cal BC (95.14%) 1837-1829 cal BC (0.20%)
PLD-47187 試料No.84 登録番号：0018	-27.03±0.19	3320±23	3320±25	1615-1599 cal BC (16.54%) 1591-1543 cal BC (51.72%)	1666-1659 cal BC (0.88%) 1631-1516 cal BC (94.57%)
PLD-47188 試料No.185 登録番号：0103	-24.25±0.14	3425±22	3425±20	1862-1857 cal BC (2.29%) 1765-1760 cal BC (2.50%) 1750-1686 cal BC (60.80%) 1650-1645 cal BC (2.69%)	1871-1847 cal BC (8.50%) 1773-1629 cal BC (86.95%)
PLD-47189 試料No.193 登録番号：0109	-25.68±0.21	3464±24	3465±25	1873-1845 cal BC (23.61%) 1818-1801 cal BC (11.56%) 1776-1742 cal BC (28.98%) 1708-1701 cal BC (4.12%)	1881-1837 cal BC (28.88%) 1830-1735 cal BC (55.98%) 1717-1693 cal BC (10.59%)
PLD-47190 試料No.321 登録番号：0237	-26.60±0.12	2439±20	2440±20	723-706 cal BC (8.91%) 662-651 cal BC (6.34%) 544-461 cal BC (44.73%) 438-420 cal BC (8.29%)	747-689 cal BC (20.98%) 665-644 cal BC (8.57%) 566-410 cal BC (65.91%)
PLD-47191 試料No.324 登録番号：0256	-27.53±0.21	2474±23	2475±25	752-717 cal BC (16.68%) 710-683 cal BC (12.78%) 667-661 cal BC (2.95%) 654-633 cal BC (9.65%) 623-612 cal BC (4.09%) 592-542 cal BC (22.12%)	767-510 cal BC (92.59%) 505-482 cal BC (2.86%)
PLD-47192 試料No.399 登録番号：0245	-28.73±0.67	3464±38	3465±40	1876-1842 cal BC (20.86%) 1823-1795 cal BC (14.96%) 1779-1740 cal BC (24.66%) 1712-1697 cal BC (7.79%)	1890-1675 cal BC (94.22%) 1653-1642 cal BC (1.23%)
PLD-47193 試料No.419 登録番号：0266	-25.98±0.13	2566±21	2565±20	793-772 cal BC (68.27%)	803-754 cal BC (87.04%) 681-669 cal BC (3.86%) 629-626 cal BC (0.32%) 610-593 cal BC (4.23%)
PLD-47194 試料No.560 登録番号：0280	-26.86±0.14	3476±22	3475±20	1875-1844 cal BC (25.46%) 1820-1798 cal BC (17.77%) 1777-1747 cal BC (25.04%)	1882-1741 cal BC (92.15%) 1710-1700 cal BC (3.30%)
PLD-47196 試料No.663 登録番号：0163	-26.53±0.19	3407±22	3405±20	1742-1709 cal BC (30.67%) 1700-1671 cal BC (25.19%) 1654-1639 cal BC (12.42%)	1862-1857 cal BC (0.83%) 1765-1761 cal BC (0.70%) 1750-1623 cal BC (93.92%)
PLD-47197 試料No.1005 登録番号：0333	-26.65±0.15	2491±21	2490±20	757-740 cal BC (8.62%) 693-680 cal BC (7.02%) 671-664 cal BC (3.69%) 647-606 cal BC (22.64%) 597-548 cal BC (26.30%)	771-717 cal BC (19.61%) 710-661 cal BC (19.63%) 654-542 cal BC (56.21%)

表 13-4　放射性炭素年代測定および暦年較正の結果（Ⅲ-2）

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲 1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
PLD-47199 試料No.1013 登録番号：0320	-23.89±0.29	2499±23	2500±25	761-746 cal BC (7.95%) 690-676 cal BC (7.44%) 674-665 cal BC (5.11%) 645-564 cal BC (44.86%) 557-551 cal BC (2.90%)	773-720 cal BC (20.01%) 708-662 cal BC (19.25%) 652-543 cal BC (56.19%)
PLD-47200 試料No.1024 登録番号：0322	-34.28±0.82	2436±41	2435±40	735-695 cal BC (13.96%) 663-649 cal BC (5.07%) 546-414 cal BC (49.24%)	754-681 cal BC (21.32%) 669-628 cal BC (10.31%) 627-608 cal BC (2.78%) 594-405 cal BC (61.04%)
PLD-47201 試料No.1027 登録番号：0317	-26.14±0.22	2461±20	2460±20	749-686 cal BC (33.88%) 666-639 cal BC (12.79%) 587-581 cal BC (1.81%) 569-536 cal BC (13.69%) 533-516 cal BC (6.11%)	754-681 cal BC (35.83%) 669-608 cal BC (19.21%) 595-461 cal BC (37.92%) 437-420 cal BC (2.49%)
PLD-47203 試料No.1058 登録番号：0326	-29.88±0.83	2554±36	2555±35	797-751 cal BC (40.92%) 683-667 cal BC (9.83%) 633-622 cal BC (5.27%) 613-591 cal BC (12.25%)	805-738 cal BC (45.54%) 693-664 cal BC (13.26%) 648-546 cal BC (36.65%)
PLD-47204 試料No.1089 登録番号：0349	-24.40±0.14	2500±21	2500±20	761-747 cal BC (8.36%) 689-676 cal BC (7.77%) 674-665 cal BC (5.55%) 644-565 cal BC (46.60%)	772-724 cal BC (19.13%) 706-701 cal BC (1.04%) 699-662 cal BC (17.72%) 651-544 cal BC (57.55%)
PLD-47205 試料No.1094 登録番号：0363	-27.47±0.19	1957±21	1955±20	26-47 cal AD (20.76%) 56-83 cal AD (29.04%) 96-114 cal AD (18.48%)	23- 18 cal BC (0.75%) 8-124 cal AD (94.70%)
PLD-47206 試料No.1129 登録番号：0404	-26.93±0.19	9260±32	9260±30	8558-8428 cal BC (66.74%) 8365-8360 cal BC (1.53%)	8616-8582 cal BC (6.56%) 8571-8382 cal BC (80.33%) 8380-8342 cal BC (8.56%)
PLD-47207 試料No.1137 登録番号：0394	-26.44±0.15	9414±30	9415±30	8738-8696 cal BC (30.96%) 8683-8634 cal BC (37.31%)	8790-8617 cal BC (95.45%)
PLD-47208 試料No.1138 登録番号：0395	-26.02±0.24	9318±33	9320±35	8625-8548 cal BC (61.97%) 8504-8493 cal BC (6.30%)	8703-8672 cal BC (4.96%) 8645-8457 cal BC (90.49%)
PLD-47209 試料No.1144 登録番号：0429	-26.27±0.28	9388±33	9390±35	8729-8724 cal BC (2.70%) 8713-8621 cal BC (65.56%)	8751-8560 cal BC (95.45%)

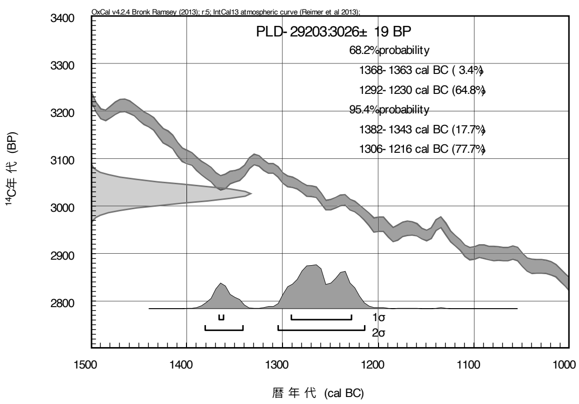
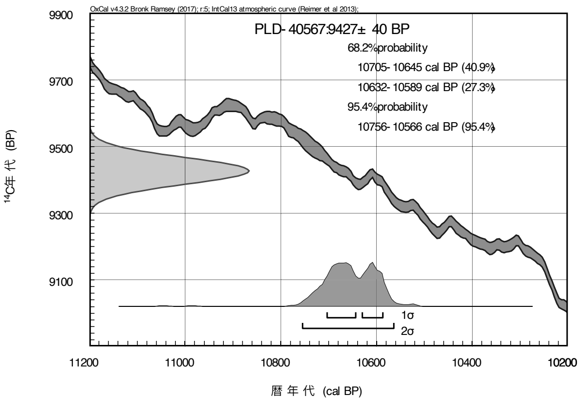
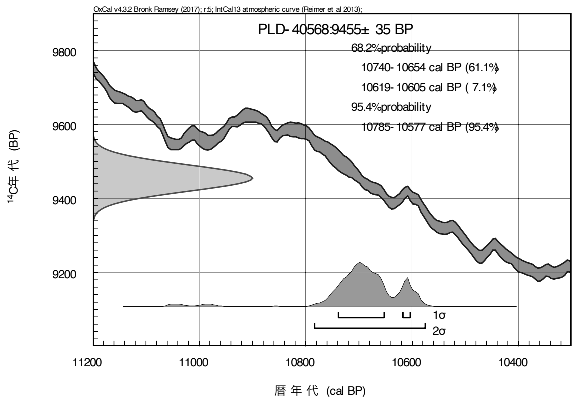
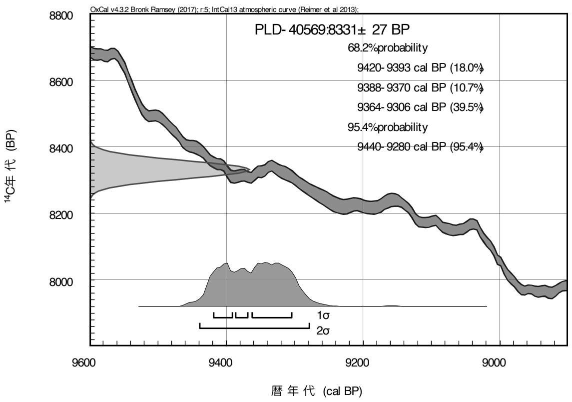
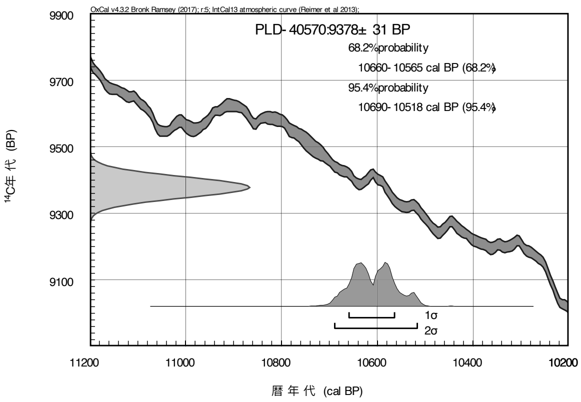


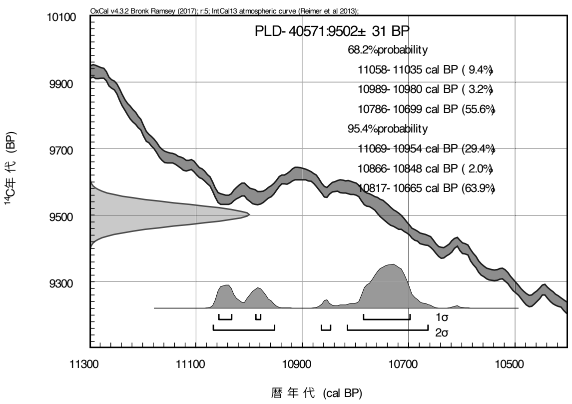
図 116-1　放射性炭素年代測定 暦年較正結果（I）（cal BC 単位）

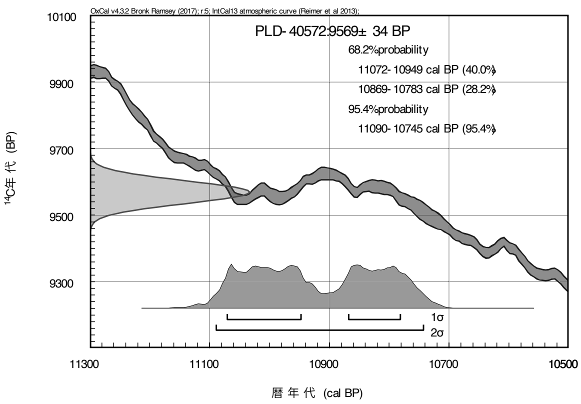












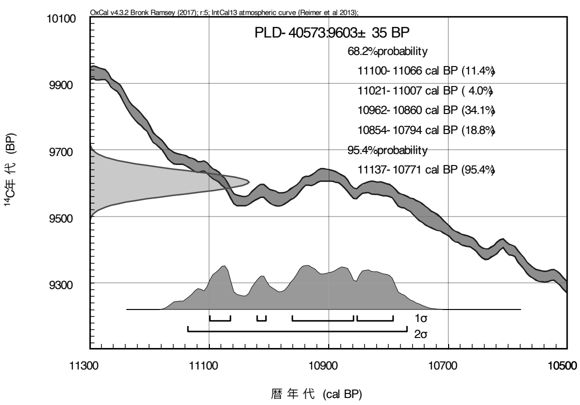


図 116-2　放射性炭素年代測定 暦年較正結果（II）（cal BP 単位）

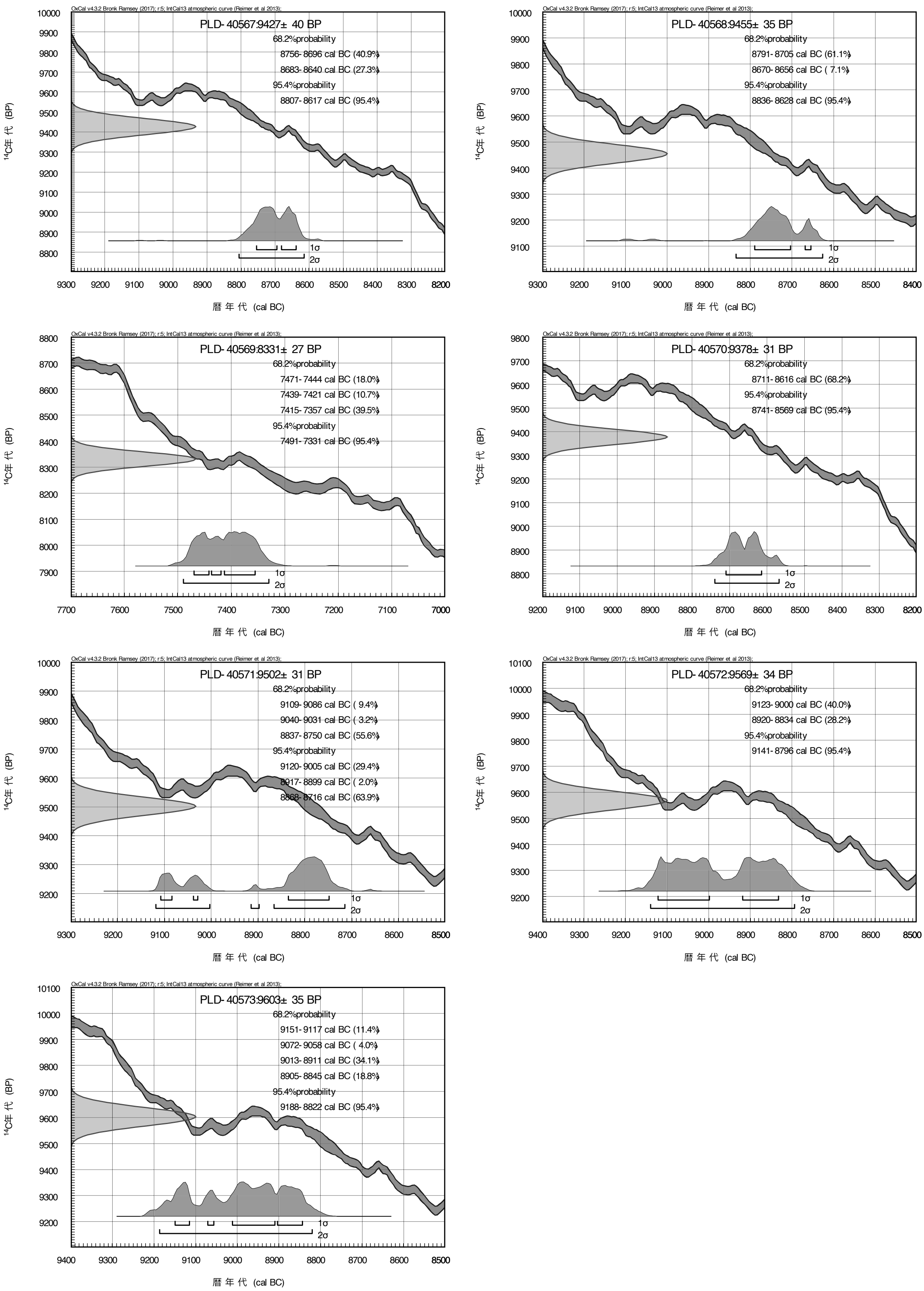


図 116-3　放射性炭素年代測定 暦年較正結果（II）（cal BC 単位）

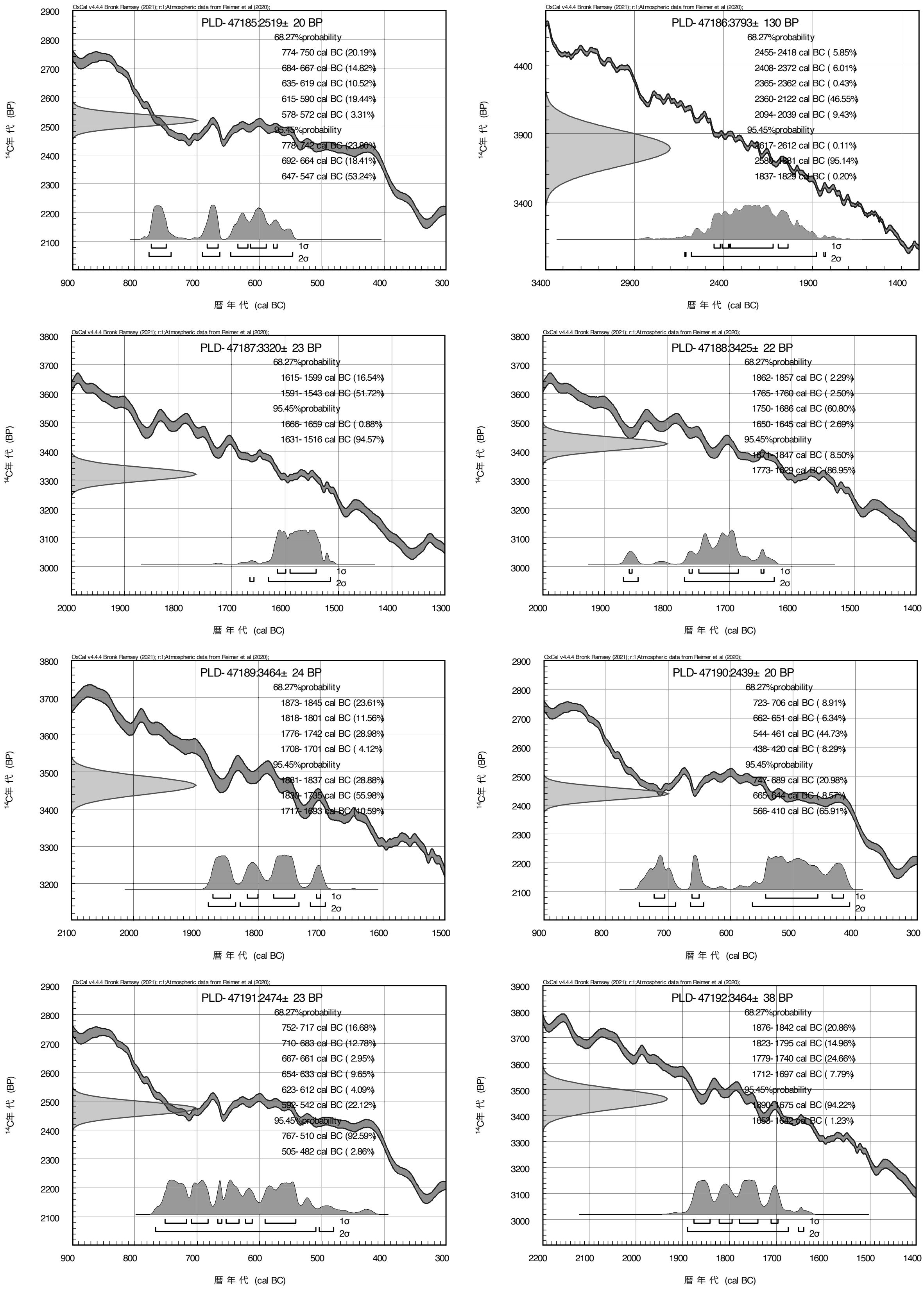
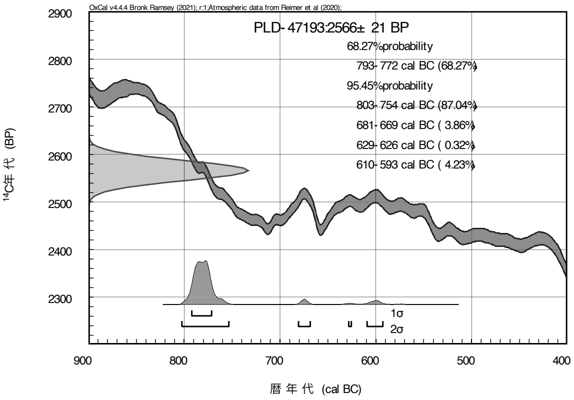
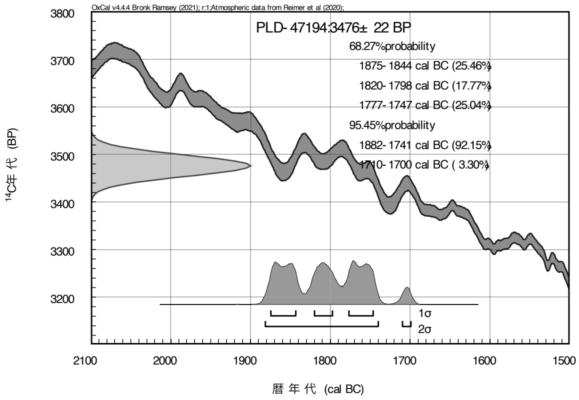
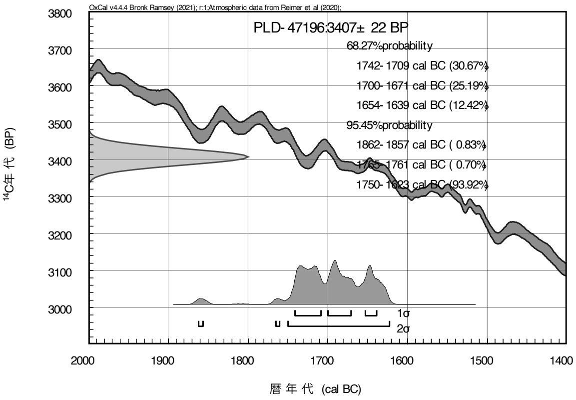
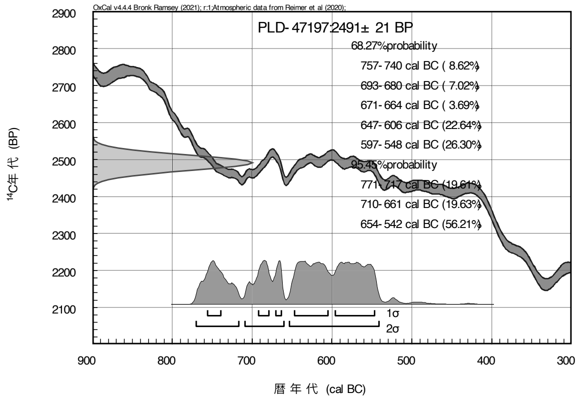


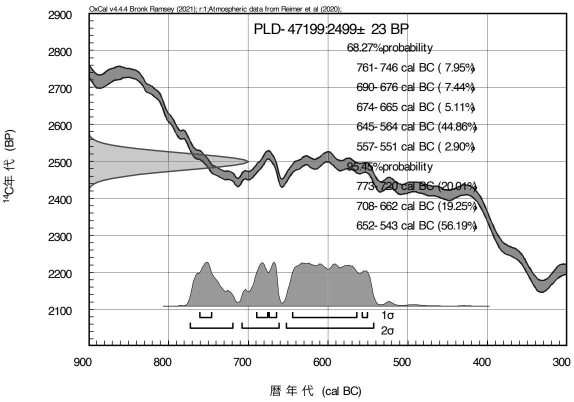
図 116-4　放射性炭素年代測定 暦年較正結果（Ⅲ−1）（cal BC 単位）

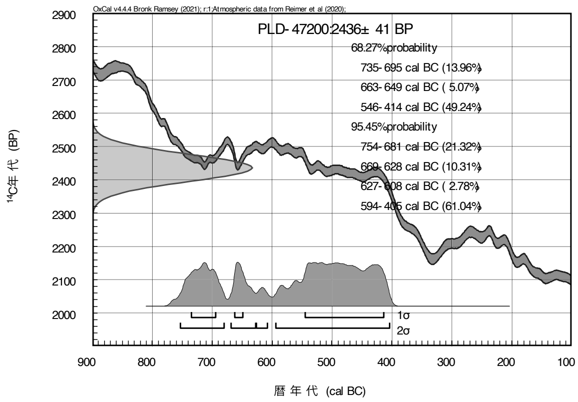


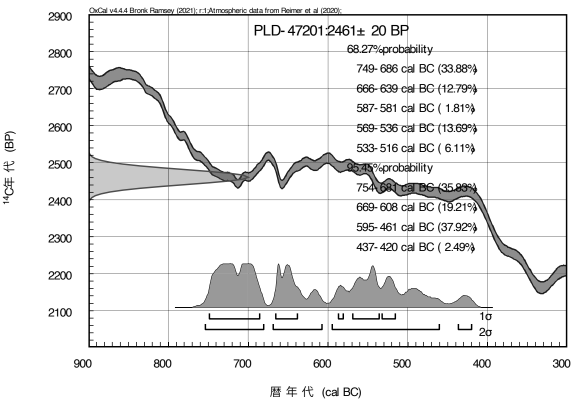












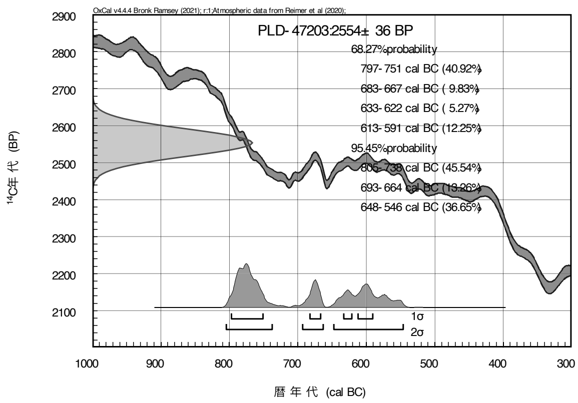


図 116-5　放射性炭素年代測定 暦年較正結果（Ⅲ−2）（cal BC 単位）

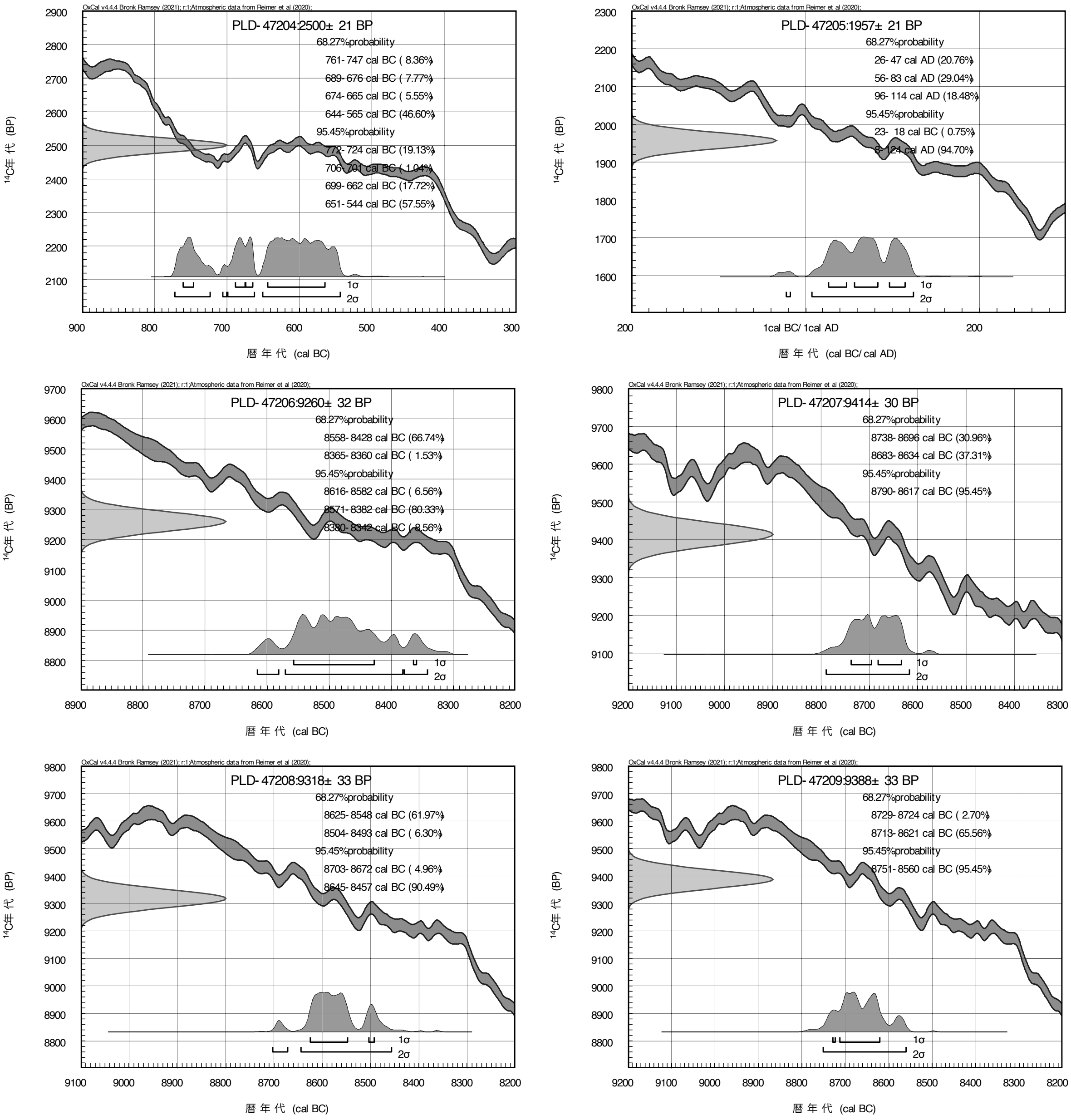


図 116-6　放射性炭素年代測定 暦年較正結果（Ⅲ–3）（cal BC 単位）

考　察(Ⅰ) 登録番号0133の胴部外面付着炭化物（PLD-29203）は、14C年代が3025±20 yr BP、2σ暦年代範囲（確率95.4%）は1382-1343 cal BC(17.7%) および 1306-1216 cal BC(77.7%) となった。これは小林（2008）、工藤（2012）、岡田（2008）を参照すると、縄文時代後期後葉に相当する。試料の時期は縄文時代後期末と考えられており、測定結果と調和的である。

(Ⅲ) 以下、14C年代および2σ暦年代範囲（確率95.45%）に着目して、測定結果を年代の古い順に整理する（図4）。なお、暦年代と縄文土器との対応については、小林（2017）を、弥生土器との対応については藤尾（2013）を参照した。

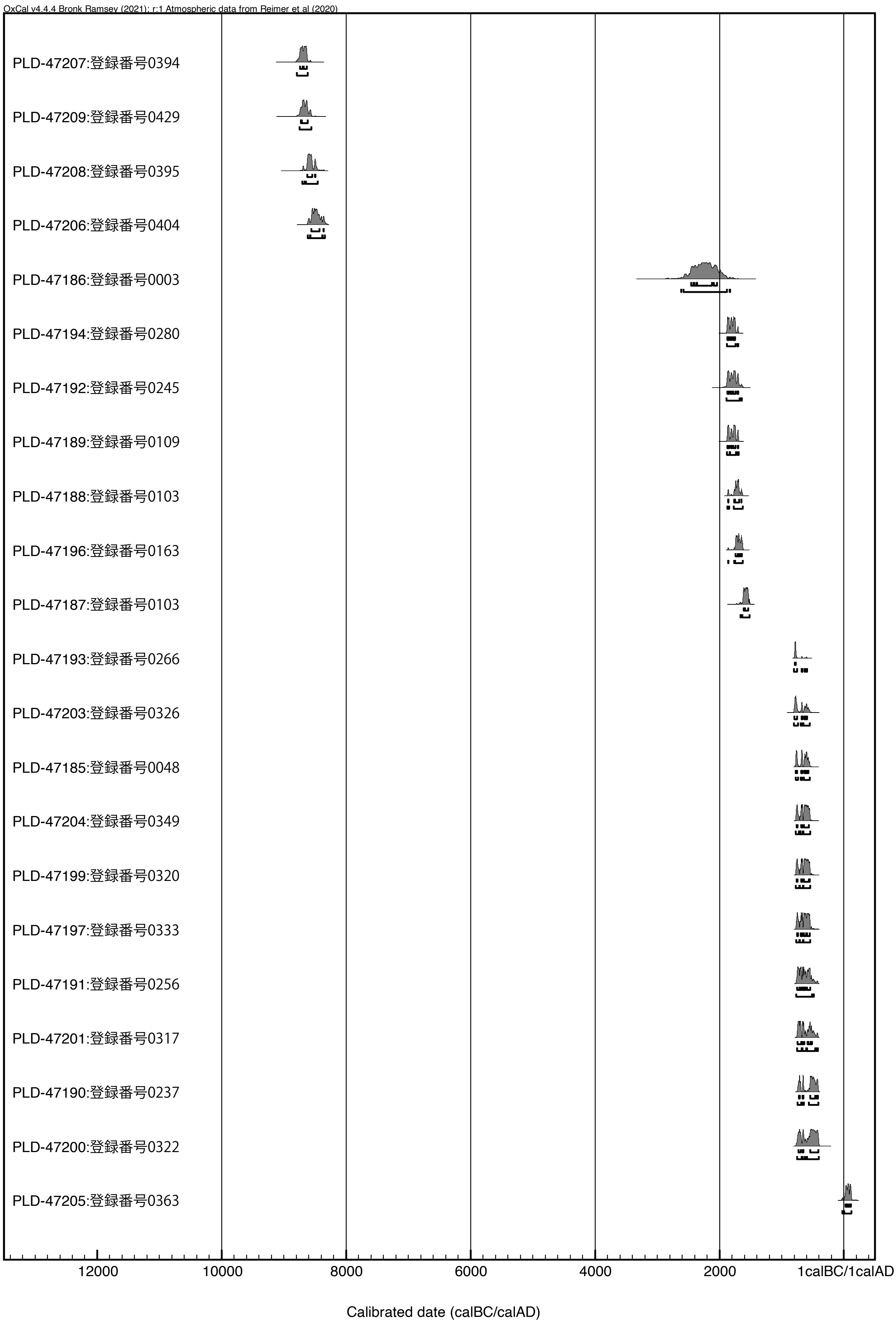


図 117　放射性炭素年代測定 マルチプロット図（III）

縄文早期前半

登録番号0394（PLD-47207）は、14C年代で9415±30 14C BP、2 σ暦年代範囲で8790-8617 cal BC (95.45%) の暦年代、

登録番号0429（PLD-47209）は、14C年代で9390±35 14C BP、2 σ暦年代範囲で8751-8560 cal BC (95.45%) の暦年代、

登録番号0395（PLD-47208）は、14C年代で9320±35 14C BP、2 σ暦年代範囲で8703-8672 cal BC (4.96%) および8645-8457 cal BC (90.49%) の暦年代、

登録番号0404（PLD-47206）は、14C年代で9260±30 14C BP、2 σ暦年代範囲で8616-8582 cal BC (6.56%)、8571-8382 cal BC (80.33%)、8380-8342 cal BC (8.56%) の暦年代をそれぞれ示した。

これらは、縄文時代早期前半に相当する。発掘調査所見では、試料はいずれも縄文時代早期前半と考えられており、測定結果と調査所見は整合的である。

縄文中期後半～後期中葉

登録番号0003（PLD-47186）は、14C年代で3790±130 14C BP、2 σ暦年代範囲で2617-2612 cal BC (0.11%)、2580-1881 cal BC (95.14%)、1837-1829 cal BC (0.20%) の暦年代を示した。これは、縄文時代中期後半～後期中葉に相当する。発掘調査所見では、試料は縄文時代後期中葉と考えられており、測定結果と調査所見は整合的である。

縄文後期前葉～中葉

登録番号0245（PLD-47192）は、14C年代で3465±40 14C BP、2 σ暦年代範囲で1890-1675 cal BC (94.22%) および1653-1642 cal BC (1.23%) の暦年代を示した。これは、縄文時代後期前葉～中葉に相当する。

縄文後期中葉

登録番号0280（PLD-47194）は、14C年代で3475±20 14C BP、2 σ暦年代範囲で1882-1741 cal BC (92.15%) および1710-1700 cal BC (3.30%) の暦年代、

登録番号0109（PLD-47189）は、14C年代で3465±25 14C BP、2 σ暦年代範囲で1881-1837 cal BC (28.88%)、1830-1735 cal BC (55.98%)、1717-1693 cal BC (10.59%) の暦年代、

登録番号0103（PLD-47188）は、14C年代で3425±20 14C BP、2 σ暦年代範囲で1871-1847 cal BC (8.50%) および1773-1629 cal BC (86.95%) の暦年代、

登録番号0163（PLD-47196）は、14C年代で3405±20 14C BP、2 σ暦年代範囲で1862-1857 cal BC (0.83%)、1765-1761 cal BC (0.70%)、1750-1623 cal BC (93.92%) の暦年代をそれぞれ示した。

これは、縄文時代後期中葉に相当する。

縄文後期中葉～後葉

登録番号0018（PLD-47187）は、14C年代で3320±25 14C BP、2 σ暦年代範囲で1666-1659 cal BC (0.88%) および1631-1516 cal BC (94.57%) の暦年代を示した。これは、縄文時代後期中葉～後葉に相当する。発掘調査所見では、登録番号0018、0103、0109、0163、0245、0280の試料は縄文時代後期～晩期と考えられており、測定結果は調査所見と整合的である。

縄文晩期前葉～後葉

登録番号 0266（PLD-47193）は、14C 年代で 2565±20 14C BP、2 σ 暦年代範囲で 803-754 cal BC (87.04%)、681-669 cal BC (3.86%)、629-626 cal BC (0.32%)、610-593 cal BC (4.23%) の暦年代、

登録番号 0326（PLD-47203）は、14C 年代で 2555±35 14C BP、2 σ 暦年代範囲で 805-738 cal BC (45.54%)、693-664 cal BC (13.26%)、648-546 cal BC (36.65%) の暦年代、

登録番号 0048（PLD-47185）は、14C 年代で 2520±20 14C BP、2 σ 暦年代範囲で 778-742 cal BC (23.80%)、692-664 cal BC (18.41%)、647-547 cal BC (53.24%) の暦年代、

登録番号 0349（PLD-47204）は、14C 年代で 2500±20 14C BP、2 σ 暦年代範囲で 772-724 cal BC (19.13%)、706-701 cal BC (1.04%)、699-662 cal BC (17.72%)、651-544 cal BC (57.55%) の暦年代、

登録番号 0320（PLD-47199）は、14C 年代で 2500±25 14C BP、2 σ 暦年代範囲で 773-720 cal BC (20.01%)、708-662 cal BC (19.25%)、652-543 cal BC (56.19%) の暦年代、

登録番号 0333（PLD-47197）は、14C 年代で 2490±20 14C BP、2 σ 暦年代範囲で 771-717 cal BC (19.61%)、710-661 cal BC (19.63%)、654-542 cal BC (56.21%) の暦年代をそれぞれ示した。

これは、縄文時代晩期前葉～後葉に相当する。発掘調査所見では、登録番号 0266、0320、0326、0333、0349 は縄文時代後期～晩期頃、および縄文時代晩期～弥生時代前期頃と考えられており、測定結果と調査所見は整合的である。

縄文晩期

また登録番号 0048 の試料は、調査所見では縄文時代後期と考えられており、測定結果の方が新しい暦年代を示した。試料は胴部外面の付着炭化物であり、海洋リザーバー効果の影響は受けていないと考えられる。縄文時代後期に作成された土器が、晩期頃に再利用されていた、もしくは土器が縄文時代晩期頃の試料であった、などの可能性が考えられる。

縄文晩期前葉～弥生前期

登録番号 0256（PLD-47191）は、14C 年代で 2475±25 14C BP、2 σ 暦年代範囲で 767-510 cal BC (92.59%) および 505-482 cal BC (2.86%) の暦年代を示した。これは、縄文時代晩期前葉～弥生時代前期に相当する。

縄文晩期中葉～弥生前期

登録番号 0317（PLD-47201）は、14C 年代で 2460±20 14C BP、2 σ 暦年代範囲で 754-681 cal BC (35.83%)、669-608 cal BC (19.21%)、595-461 cal BC (37.92%)、437-420 cal BC (2.49%) の暦年代、

登録番号 0237（PLD-47190）は、14C 年代で 2440±20 14C BP、2 σ 暦年代範囲で 747-689 cal BC (20.98%)、665-644 cal BC (8.57%)、566-410 cal BC (65.91%) の暦年代、

登録番号 0322（PLD-47200）は、14C 年代で 2435±40 14C BP、2 σ 暦年代範囲で 754-681 cal BC (21.32%)、669-628 cal BC (10.31%)、627-608 cal BC (2.78%)、594-405 cal BC (61.04%) の暦年代をそれぞれ示した。

これは、縄文時代晩期中葉～弥生時代前期に相当する。発掘調査所見では、登録番号 0256、0317、0322 は縄文時代後期～晩期頃と考えられており、測定結果と調査所見は整合的である。

縄文晩期　また登録番号 0237 の試料は、調査所見では縄文時代後期と考えられており、測定結果の方が新しい暦年代を示した。試料は胴部外面の付着炭化物であり、海洋リザーバー効果の影響は受けていないと考えられる。縄文時代後期に作成された土器が、晩期頃に再利用されていた、もしくは土器が縄文時代晩期頃の試料であった、などの可能性が考えられる。

弥生中期～後期　登録番号 0363（PLD-47205）は、23-18 cal BC (0.75%) および 8-124 cal AD (94.70%) で、紀元前 1 世紀後半および紀元後 1 世紀初頭～ 2 世紀前半の暦年代を示した。これは、弥生時代中期後半～後期に相当する。発掘調査所見では、試料は弥生時代後期と考えられており、測定結果と調査所見は整合的である。

参考文献

(共通)　Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), 337-360.

中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎．日本先史時代の 14C 年代編集委員会編「日本先史時代の 14C 年代」: 3-20，日本第四紀学会．

(Ⅰ・Ⅱ)　Reimer, P.J., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Haflidason, H., Hajdas, I., Hatte, C., Heaton, T.J., Hoffmann, D.L., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., Manning, S.W., Niu, M., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Staff, R.A., Turney, C.S.M., and van der Plicht, J.(2013) IntCal13 and Marine13 Radiocarbon Age Calibration Curves 0–50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 55(4), 1869-1887.

(Ⅰ)　小林謙一（2008）縄文時代の暦年代．小杉 康・谷口康浩・西田泰民・水ノ江和同・矢野健一編「縄文時代の考古学 2 歴史のものさし」: 257-269，同成社．

工藤雄一郎（2012）旧石器・縄文時代の環境文化史―高精度放射性炭素年代測定と考古学―．373p，神泉社．

岡田憲一 (2008) 凹線文系土器 (宮滝式・元住吉山Ⅱ式土器)．小林達雄編「総覧縄文土器」: 650-657，アム・プロモーション．

(Ⅲ)　藤尾慎一郎（2013）弥生時代文化像の新構築．275p，吉川弘文館．

小林謙一（2017）縄文時代の実年代―土器型式編年と炭素 14 年代―．263p，同成社．

大森貴之・山﨑孔平・椛澤貴行・板橋　悠・尾嵜大真・米田　穣（2017）微量試料の高精度放射性炭素年代測定．第 20 回 AMS シンポジウム報告集，55.

Reimer, P.J., Austin, W.E.N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kromer, B., Manning, S.W., Muscheler, R., Palmer, J.G., Pearson, C., van der Plicht, J., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Turney, C.S.M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S.M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A. and Talamo, S. (2020) The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). Radiocarbon, 62(4), 725-757, doi:10.1017/RDC.2020.41. https://doi.org/10.1017/RDC.2020.41 (cited 12 August 2020)

第４節　土器に確認された植物種実圧痕について

川添和暁

資　　料
出土状況　ここで報告する資料は、登録番号 0317 の弥生時代前期の深鉢である。19B 区の谷地形内の黒色土中から見つかった土器で、胴部上半から下半、そして底部にかけて残存ししている個体である。土器棺墓であった可能性も否定できないが、谷内からの出土で、積極的に埋納状態にあったとすることもできなかった。

試料と
方　　法　土器の表面を観察すると、小さな凹みが散在していた。いずれも外面胴部上半に集中しており、計８箇所を数え、それぞれをａ～ｈとし試料を採取した。採取された試料はシリコン樹脂で型取りされたレプリカで、走査型電子顕微鏡での観察および撮影を実施した。試料ａ～ｈの採取場所は、図 118 左下に示した。このうち、試料ｃは土器接合面にあたり接着剤のために試料採取が難しかった。また、試料ｄ・ｅは胎土に含まれる石の痕跡であった。以上を除いた、植物種実圧痕の可能性が高い試料ａ・ｂ・ｆ・ｇ・ｈについて報告をする。

結　　果

試料 a　平面形状は径 2.5mm ほどの正円形に近い。先端側には一段のクビレの上に突起があったと考えられる。反対側は茎部分で、試料では種実との接続部分が確認できる。アワ・キビの可能性が高い。

試料 b　平面形状は径 2mm ほどの紡錘形、あるいは山稜形の種実に近いかもしれない。反対側は茎部分で、試料では種実との接続部分が確認できる。ヒエの可能性があるものの、外殻残存状態とすると長軸方向への稜線の発達が弱く、特定は難しいか。

試料 f　平面形状は径 1.5mm ほどの正円形に近い。先端側には一段のクビレの上に突起があったと考えられる。反対側は茎部分で、試料では種実との接続部分が確認できる。法量は異なるが、形状は試料ａに酷似している。アワ・キビの可能性が高い。

試料 g　平面形状は 2×1.5mm ほどの二枚貝貝殻の形状を、側面観では球状を呈する。先端側の突起は不明瞭であるが、茎への接続部分は辛うじて確認できる。種の特定は難しい。

試料 h　平面形状は 3×1.5mm ほどの細長い紡錘形を呈する。先端側の突起はサヤがかぶせられたような高まりを確認することができる。身部表面は平滑であるが、長軸方向に明瞭な稜線が確認できる。茎への接続部分では明瞭な段差が形成されている。イネ科種実とは考えられるが、法量が小型の上、表面には乳頭状突起はおろか、格子目状の筋も明瞭ではない。

結　　論　この分析より、弥生時代前期において当地でのアワ・キビなどの雑穀類の存在を確認できたといえよう。

謝辞

走査型電子顕微鏡撮影については、名古屋大学微細構造解析プラットフォームの支援を受けて実施できた。その際、名古屋大学の荒井重勇氏からは格別のご配慮を賜った。

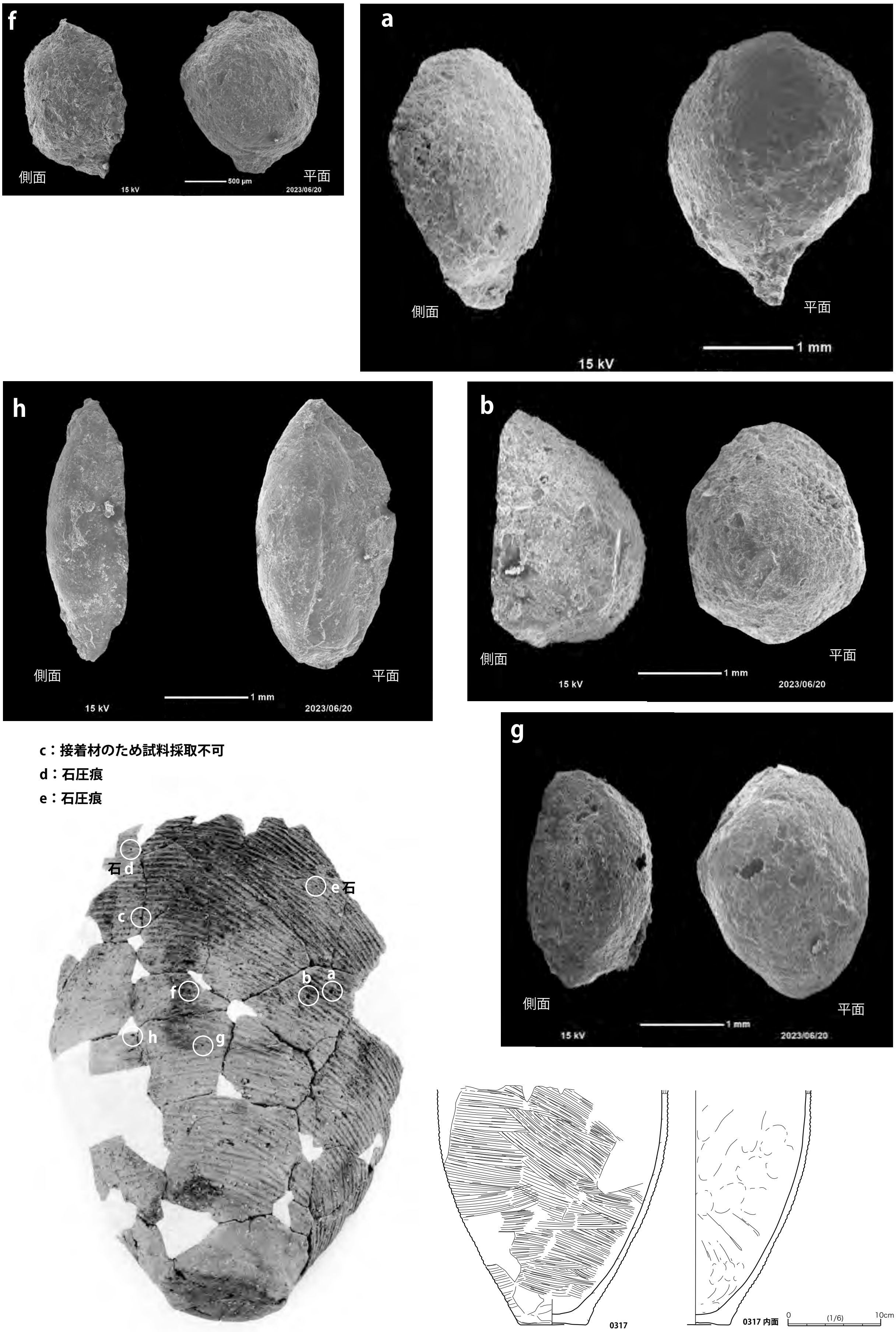


図 118　万瀬遺跡出土土器（弥生時代前期）植物種実圧痕 SEM 画像

第５節　万瀬遺跡における層序と堆積年代

鬼頭　剛・古澤　明・パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ

はじめに　万瀬遺跡にて地下層序を観察する機会を得た。その層序解析、火山灰分析および放射性炭素年代測定の結果を報告する。

試料および分析方法　各調査区で地表から、あるいは遺構検出面からバックホーにより掘削し層序断面を露出させ、層序断面図の作成と試料採取を行なった。層序断面図の作成にあたり、層相・粒度・色調・堆積構造・化石の有無などの特徴を詳細に記載した。また、調査地点の地下層序を解析するため試錐(ボーリング掘削)調査を実施した。試錐調査は株式会社アーキジオに依頼した。油圧式ロータリー型試錐機を使用し、コアパックスリーブ内蔵型サンプラー（φ 66mm）によりオールコアで実施した。また、コア資料および各調査区の層序断面からは火山灰分析、放射性炭素年代測定の試料を採取した。分析方法の詳細を以下に記す。

火山灰分析の試料は古澤（2003）の方法を基本に前処理を行なった。はじめにナイロン製♯ 255 メッシュシート（糸径 43 μ m、オープニングワイド 57 μ m）を用い、流水中で洗浄した。残渣を♯ 125 メッシュシート（糸径 70 μ m、オープニングワイド 133 μ m）を用い水中で篩い分けした。これにより極細粒砂サイズ（1/8 〜 1/16）に粒度調整した試料について超音波洗浄器を用いて洗浄し、表面に付着した粘土分などを洗い流した。薄片作成は、鉱物観察用スライドグラスの上に硬化後屈折率が 1.545 程度となる光硬化樹脂をのせ、この樹脂に洗浄・篩い分けを行なった試料を攪拌・封入させ、カバーガラスで覆い粒子組成観察用薄片を作成した。樹脂の屈折率を 1.545 とする目的は石英や長石類の識別にある。前処理・プレパラート封入した粒子に対して偏光顕微鏡（100 倍）を用いて観察し、火山灰純層の場合 300 粒子（1000 粒子の平均値）を古澤 (2003) の区別手法にしたがって区分した。また、火山灰固有で含有率の低い粒子の産出層準を特定するため 3000 粒子（10000 粒子の平均値）の粒子組成分析も行なった。屈折率の測定には、浸液の温度を直接測定しつつ屈折率を測定する温度変化型測定装置 ” MAIOT “ を使用した。測定精度は火山ガラスで ±0.0001、斜方輝石および角閃石で ±0.0002 程度である（古澤 , 1995）。火山ガラスの主成分分析について SEM は HITACHI 製 SU1510 を使用し、エネルギー分散型 X 線マイクロアナライザー (EDX) は HORIBA 製 EMAX ENERGY EX-270 を用いた。火山灰分析は古澤が行なった。

放射性炭素年代測定は加速器質量分析（AMS）法により測定を行なった。加速器質量分析法は 125 μ m の篩により湿式篩別を行ない、篩を通過したものを酸洗浄し不純物を除去した。石墨（グラファイト）に調整後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS: NEC 製 1.5SDH）にて測定した。測定された 14C 濃度について同位体分別効果の補正を行なった後、補正した 14C 濃度を用いて 14C 年代を算出した。14C 年代値の算出には、14C の半減期として Libby の半減期 5,568 年を使用した。14C 年代の暦年代への較正には OxCal4.4（較正曲線データ：INTCAL20）を使用した。なお、2 σ暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して産出された放射性炭素年代誤差に相当する 95.45% 信頼限界の暦年代範囲であり、カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代

が入る確率を意味する。放射性炭素年代測定は株式会社パレオラボAMS年代測定グループが行なった。

分析結果　14A区で1地点（地点1)、19A区で2地点（地点2・地点3）の計3地点（図119）でバックホウによる深掘を実施し、層序の観察・記載と分析試料を採取した。地点番号順に記す。

地点1は14区の北西端において遺構検出面よりバックホウによりさらに約3m掘り下げた（図119・図120)。黄色を呈する粘土層を基盤層とし、縁辺を垂直な潤辺とする埋積谷状の凹地形が確認された。埋積谷状の地形の中には標高411.61m〜412.79mまでを灰黒色を呈する角礫層と、その上を標高413.37mの遺構検出面まで、黒褐色を呈する角礫を含んだ粘土層が埋積する状況が確認された。基盤層となる黄色粘土層は塊状・均質で堆積構造はみられない。地層の固結度は高い。本層の標高411.24mで試料1を、標高411.99mで試料2を採取した。試料1の火山灰分析では火山灰は検出さ

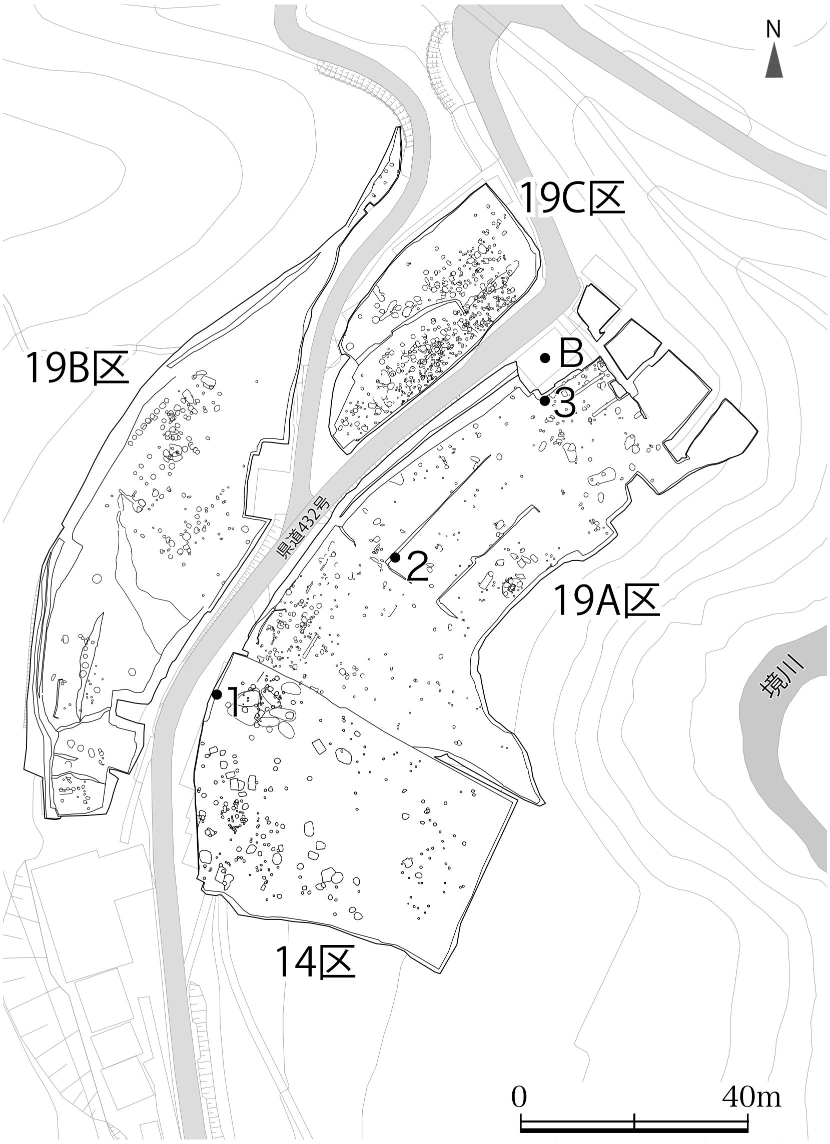


図119　万瀬遺跡における分析試料採取地点

黒丸は採取地点、数字は地点番号

Bは試錐調査地点を示す

れなかったが、試料２より姶良 Tn 火山灰（AT）が検出された（表 14）。姶良 Tn 火山灰（AT）の噴出年代は約２万 9000 年前～２万 6000 年前と見積もられている（町田・新井編 , 2003）。標高 411.61m ～ 412.79m の灰黒色の角礫層は大礫～巨礫サイズの礫を無秩序に含み、堆積構造はみられない。基質は粗粒砂～小礫からなる。灰黒色の角礫層の最下部、標高 411.61m で試料３を採取し、火山灰分析では姶良 Tn 火山灰（AT）とともに鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah）が検出された（表 14）。鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah）の噴出年代は約 7300 年前と見積もられている（町田・新井編 , 2003）。また、この角礫層を覆う黒褐色の粘土層の下部、標高 412.79m で試料４を採取し、火山灰分析では姶良 Tn 火山灰（AT）とともに鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah）が検出された（表 14）。また、同じ試料４を用いた放射性炭素年代測定では 10571-10367 cal yr BP（8622-8418 BC : PLD-50601）の数値年代が得られた（表 15）。

地点２は 19A 区の中央部で遺構検出面（標高 409.89m）よりバックホウによりさらに約 1.4m 掘り下げた（図 119・図 121）。最下位層より、標高 408.56m ～ 409.16m は青灰色の片麻岩のみからなる角礫を含む粘土層である。片麻岩塊が破断して角礫状になりつつある部分もみられ、破断した礫のすきまを暗褐色の粘土が埋めている。片麻岩の基盤岩が強風化を受けて形成された地層であると推定できる。本層の下部、標高 408.73m で試料１を採取し、火山灰分析では姶良 Tn 火山灰（AT）が検出された（表 14）。標高 409.16m ～ 409.89m は黄褐色を呈する粘土層である。塊状・均質で堆積構造はみられない。地層中に中礫サイズの片麻岩の礫を分散して含む。本層の下部、標高 409.28m で試料２を採取し、火山灰分析では姶良 Tn 火山灰（AT）が検出された（表 14）。

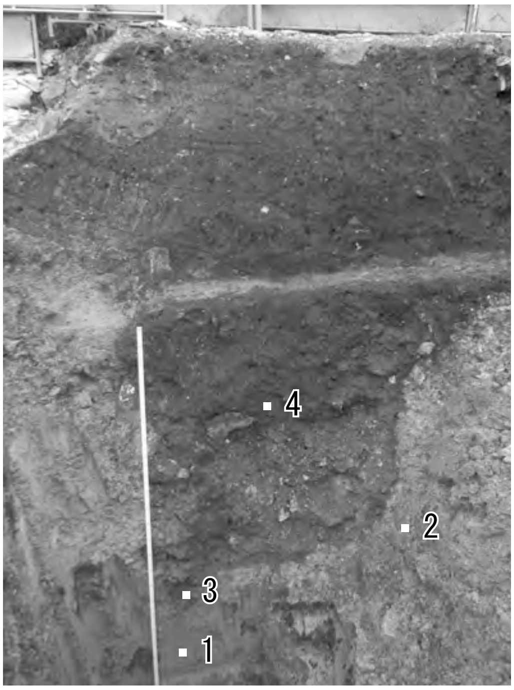


図 120　地点 1(14区)における深掘の地層断面

東から撮影、白丸は試料採取層準、数字は試料番号を示す

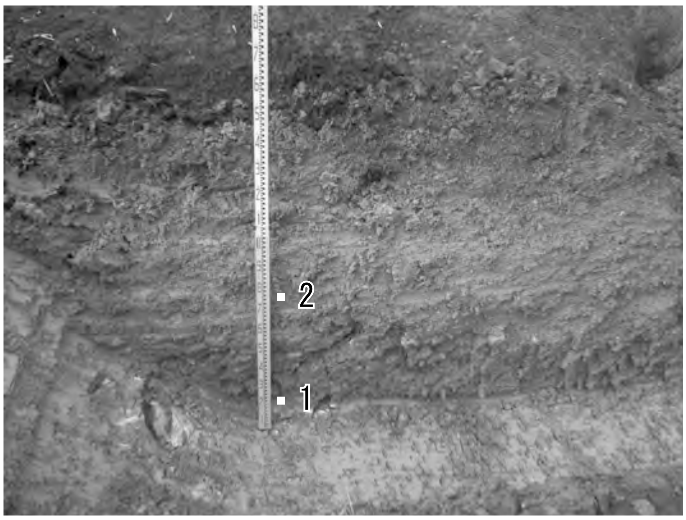


図 121　地点 2(19A区)における深掘の地層断面

東から撮影、白丸は試料採取層準、数字は試料番号を示す

表 14　万瀬遺跡における火山灰分析結果

地点 No.	調査区	試料No.	標高(m)	火山ガラスの形態別含有量(/3000)			重鉱物の含有量(/3000)			β石英 (/3000)	テフラ名
				Bw	Pm	O	Opx	Gho	Cum		
1	14区	1	411.24	0	0	0	0	223	0	0	
		2	411.99	1.5	0	0.1	0.2	68	0	0	AT
		3	411.61	0.6	0	0	0.2	37	0	0	AT (K-Ah混在)
		4	412.79	3.1	0	0	0.1	53	0	0	AT (K-Ah混在)
2	19A区	1	408.73	0.8	0	0	0	16	0	0	AT
		2	409.28	2.4	0	0	0.1	16	0	0	AT
3	19A区	1	409.74	0.3	0	0	0	62	0	0	
		2	410.80	4.9	0	0	0.3	88	0	0	AT
		3	411.48	32	0	0	9	211	0	0	AT
B		1	410.46	0	0	0	0.1	27	0	0	
		2	411.26	0	0	0	0	43	0	0	
		3	411.61	0	0	0	0	14	0	0	
		4	412.36	1.2	0	0.2	0	24	0	0	AT

Bw:バブルウォールタイプ　Opx :斜方輝石　AT　:姶良Tn火山灰
Pm:パミスタイプ　Gho :緑色普通角閃石　K-Ah:鬼界アカホヤ火山灰
O　:低発泡タイプ　Cum:カミングトン閃石

表 15　地点 1(14区)の放射性炭素年代測定結果

地点 No.	調査区	試料 No.	標高 (m)	堆積物	試料の種類	^{14}C年代 (yrs BP)	δ ^{13}C PDB (‰)	2σ暦年代範囲 (AD/BC, probability)	2σ暦年代範囲 (cal yrs BP, probability)	Lab code No.(method)
1	14区	4	412.79	黒褐色粘土層	土壌	9275 ± 30	−25.59 ± 0.16	8622 − 8418 BC (89.23 %)	10571 − 10367 (89.23 %)	PLD − 50601 (AMS)
								8371 − 8353 BC (3.30 %)	10320 − 10302 (3.30 %)	
								8408 − 8390 BC (2.92 %)	10357 − 10339 (2.92 %)	

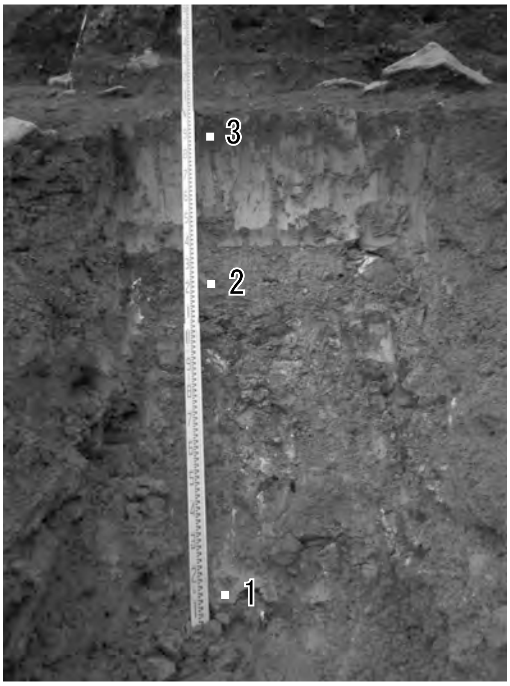


図 122　地点 3(19A区)における深掘の地層断面

東から撮影、白丸は試料採取層準、数字は試料番号を示す

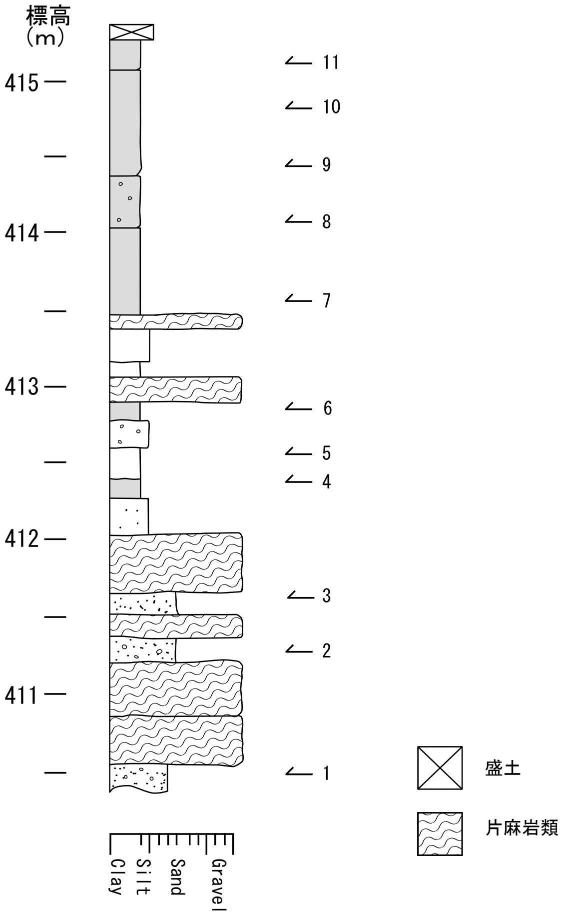


図 123　試錐地点 Bの地質柱状図

片矢印は試料採取層準、数字は試料番号

柱状図右に放射性炭素年代測定値 (表 4参照)と火山灰分析結果を示す

AT:姶良 Tn火山灰

地点3は19A区の北西端において、遺構検出面（標高411.63m）よりバックホウによりさらに約2m掘り下げた（図119・図122）。標高409.63m～410.73mは片麻岩である。新鮮な片麻岩から岩盤と、ブロック状になった片麻岩塊の間を褐色の粘土が埋める。岩塊の間を埋める粘土は片麻岩が強風化したものである。本層の下部、標高409.74mの強風化した褐色の粘土層で試料1を採取し火山灰分析を実施したが、火山灰は検出されなかった（表14）。標高410.73m～411.43mは黄褐色の粘土層からなる。塊状・均質で堆積構造はみられない。本層と下位層の片麻岩との層理面は不明瞭で地層境界の凹凸が激しい。本層の下部、標高410.80mで試料2を採取し、火山灰分析により姶良Tn火山灰（AT）が検出された（表14）。標高411.43m～411.63mは黒褐色を呈する粘土層からなる。堆積物の固結度は低く、草刈りガマで引っかくだけで簡単に崩れ、いわゆるボソボソした状態を示す。堆積構造はみられない。本層の頂部(標高411.63m)が縄文時代の検出面である。本層の下部、標高411.48mで試料3を採取し、火山灰分析では姶良Tn火山灰（AT）が検出された（表14）。また、同じ試料3を用いた放射性炭素年代測定では5323 – 5278 cal yr BP(3374 – 3329 BC：PLD-50602)の数値年代が得られた（表16）。

地点Bは試錐地点である。19A区の北端の調査区外において、移設された電柱のあった場所で試錐調査を行なった(図119)。試錐調査地点の地表面の標高は415.36mである。地下へ約4.5m掘削した（図123）。下位層より、標高410.36m～412.08mは片麻岩からなる基盤岩である。片麻岩塊の間に挟まれて肉眼で細粒砂層や中粒砂層に見える部分は堆積物にみえるものの、試錐資料であり側方への連続性が不明であるため、基盤岩である片麻岩の強風化により細粒化した部分を見ている可能性もある。砂層に似る層準の標高410.46mで試料1、標高411.26mで試料2、標高411.61mで試料3を採取し火山灰分析を実施したが、火山灰を検出することはできなかった（表14・図123）。標高412.08m～413.48mは褐色(10YR4/6)からにぶい黄褐色(10YR5/3)を呈する砂質シルト層と黒褐色(10YR3/2)を呈する粘土層との互層から構成される。砂質シルト層、粘土層とも塊状で堆積構造を示さない。互層の間に挟まれる標高412.90m～413.06mや標高413.36m～413.48mにみられる片麻岩は礫として取り込まれたものの断片をみている。標高412.28m～412.46mの黒褐色粘土層の標高412.36mの層準から試料4を採取し、火山灰分析では姶良Tn火山灰（AT）が検出された（表14・図123）。また、同じ試料4を用いた放射性炭素年代測定では3930 – 3831 cal yr BP(1981 – 1882 BC：PLD-50610)の数値年代が得られた（表17）。標高412.46m～412.59mの粘土層の標高412.54mの層準から試料5を採取し、放射性炭素年代測定では3379 – 3317 cal yr BP(1430 – 1368 BC：PLD-50609)、標高412.78m～412.90mの黒褐色粘土層の標高412.84mの層準から試料6を採取し、本試料の放射性炭素年代測定では5042 – 4872 cal yr BP(3093 –

表16　地点2(19A区)の放射性炭素年代測定結果

地点 No.	調査区	試料 No.	標高 (m)	堆積物	試料の種類	^{14}C年代 (yrs BP)	δ^{13}C PDB (‰)	2σ暦年代範囲 (AD/BC, probability)	2σ暦年代範囲 (cal yrs BP, probability)	Lab code No.(method)
3	19A区	3	411.48	黒褐色粘土層	土壌	4575 ± 25	-24.32 ± 0.20	3374 – 3329 BC (66.57 %)	5323 – 5278 (66.57 %)	PLD – 50602 (AMS)
								3218 – 3185 BC (14.78 %)	5167 – 5134 (14.78 %)	
								3154 – 3116 BC (7.51 %)	5103 – 5065 (7.51 %)	
								3490 – 3468 BC (6.59 %)	5439 – 5417 (6.59 %)	

2923 BC : PLD-50608) の数値年代が得られた（表 17）。標高 413.48m ～ 415.26m は黒色 (10YR1.7/1) ないし、黒褐色 (10YR2/2) を呈する粘土層が累重する。粘土層は塊状・均質で堆積構造はみられない。径 2mm の礫が含まれる場合もある。標高 413.48m ～ 414.02m の黒色粘土層の下部、標高 413.56m で試料 7 を採取し、放射性炭素年代測定では 3562 – 3449 cal yr BP(1613 - 1500 BC : PLD-50607)、標高 414.02m ～ 414.36m の黒色粘土層の下部、標高 414.06m で試料 8 を採取し、放射性炭素年代測定では 4408 – 4232 cal yr BP(2459 – 2283 BC : PLD-50606)、標高 414.36m ～ 415.06m の黒色粘土層の下部、標高 414.41m で試料 9 を採取し、放射性炭素年代測定では 3007 – 2875 cal yr BP(1058 - 926 BC : PLD-50605)、中部の標高 414.80m で試料 10 を採取し、放射性炭素年代測定では 4731 - 4574 cal yr BP(2782 - 2625 BC : PLD-50604)、標高 415.06m ～ 415.26m の黒褐色粘土層の下部、標高 415.10m で試料 11 を採取し、放射性炭素年代測定では 2789 - 2752 cal yr BP(840 - 803 BC : PLD-50603) のそれぞれ数値年代が得られている（表 17）。標高 415.26m ～ 415.36m は人工的な盛土であり、標高 415.36m が地表面である。

表 17　試錐地点 Bの放射性炭素年代測定結果

試料 No.	標高 (m)	堆積物	試料の種類	^{14}C年代 (yrs BP)	$\delta^{13}C$ PDB (‰)	2σ暦年代範囲 (AD/BC, probability)	2σ暦年代範囲 (cal yrs BP, probability)	Lab code No.(method)
4	412.36	黒褐色粘土層	土壌	3580 ± 20	−24.29 ± 0.14	1981 – 1882 BC (83.91 %)	3930 – 3831 (83.91 %)	PLD – 50610 (AMS)
						2021 – 1995 BC (10.82 %)	3970 – 3944 (10.82 %)	
						1836 – 1831 BC (0.72 %)	3785 – 3780 (0.72 %)	
5	412.54	にぶい黄褐色細礫混じりシルト質粘土層	土壌	3105 ± 20	−23.98 ± 0.16	1430 – 1368 BC (50.17 %)	3379 – 3317 (50.17 %)	PLD – 50609 (AMS)
						1358 – 1296 BC (45.28 %)	3307 – 3245 (45.28 %)	
6	412.84	黒褐色粘土層	土壌	4400 ± 20	−22.94 ± 0.18	3093 – 2923 BC (95.45 %)	5042 – 4872 (95.45 %)	PLD – 50608 (AMS)
7	413.56	黒色粘土層	土壌	3275 ± 20	−22.72 ± 0.14	1613 – 1500 BC (95.45 %)	3562 – 3449 (95.45 %)	PLD – 50607 (AMS)
8	414.06	黒色粘土層	土壌	3865 ± 20	−24.00 ± 0.22	2459 – 2283 BC (89.92 %)	4408 – 4232 (89.92 %)	PLD – 50606 (AMS)
						2250 – 2234 BC (3.92 %)	4199 – 4183 (3.92 %)	
						2218 – 2210 BC (1.61 %)	4167 – 4159 (1.61 %)	
9	414.41	黒色粘土層	土壌	2850 ± 20	−24.37 ± 0.14	1058 – 926 BC (88.36 %)	3007 – 2875 (88.36 %)	PLD – 50605 (AMS)
						1085 – 1066 BC (3.83 %)	3034 – 3015 (3.83 %)	
						1108 – 1092 BC (3.26 %)	3057 – 3041 (3.26 %)	
10	414.80	黒色粘土層	土壌	4140 ± 20	−24.45 ± 0.17	2782 – 2625 BC (64.95 %)	4731 – 4574 (64.95 %)	PLD – 50604 (AMS)
						2872 – 2798 BC (30.50 %)	4821 – 4747 (30.50 %)	
11	415.10	黒褐色粘土層	土壌	2680 ± 20	−26.31 ± 0.20	840 – 803 BC (73.79 %)	2789 – 2752 (73.79 %)	PLD – 50603 (AMS)
						898 – 863 BC (21.66 %)	2847 – 2812 (21.66 %)	

謝辞

本論を作成するにあたり、放射性炭素年代測定では株式会社パレオ・ラボ AMS 年代測定グループの伊藤　茂氏・佐藤正教氏・廣田正史氏・山形秀樹氏・小林紘一氏・Zaur Lomtatidze 氏・小林克也氏にお世話になった。図表の作成では国際文化財株式会社にお手伝いいただいた。分析試料の整理・保管と原図の作成では整理補助員の前田弘子氏・鈴木好美氏にお手伝いいただいた。記して厚くお礼申し上げます。

引用文献

古澤　明 1995「火山ガラスの屈折率測定・形態分類とその統計的な解析」『地質学雑誌』101, pp.123-133

古澤　明 2003「洞爺火山灰降下以降の岩手火山のテフラの識別」『地質学雑誌』109, pp.1-19

町田　洋・新井房夫 2003『新篇　火山灰アトラス［日本列島とその周辺］』東京大学出版会 , p.336

第５章　考察と総括

第１節　縄文時代・弥生時代遺物分布状況

川添和暁

はじめに　室内整理調査では、土器は総計 900 点程度・総重量 8,930.5g、石器・石製品は総計 866 点を確認した。出土遺物を器種・帰属時期に分類後、該当種別を抽出して分布図を作成した。分布図では、10m グリッド別に点数と総重量、さらには総重量を点数で割り算した数値を示した。この計算値は土器･陶器であれば値が小さいほど細片化が進行したこと（ここでは細片化値と称する）を示しており、遺跡の形成状況・場の利用を示すのに有益な値となる。報告者は、主に担当あるいは関わることのできた整理調査にあっては、遺跡の時期・時代・種別に関係なく一貫して報告してきた（川添編 2012※）。なお、この整理のような報告を実施するには、発掘調査時からの一貫した方針があって初めて有効であることを、ここでは改めて提示しておく。なお、トーンは遺物の出土グリッドを示しており、その濃淡は、点数・総重量・細片化値、いずれかあるいは複数項目で保存が良好であると、相対的に考えられるグリッドをより濃く示した。

縄文土器・弥生土器　これまで報告した通り、遺物の出土分布は、遺跡調査範囲全体の北東部の 19A 区・19C 区と、遺跡調査範囲全体の南西部の 14 区・19B 区とに大きく二分される（図 124-1,2)。前者は縄文時代草創期末～早期前半の遺物が、後者は縄文時代後期～弥生前期までの遺物がまとまって出土している。状態が良好なグリッドは、3223･3336･3434･3435･3735 で、竪穴建物跡内ではなく、むしろ炉穴や包含層（捨て場）に偏る傾向がある。また、グリッド 3336 では 2429SK 内から横位で深鉢が出土している(0408)。検出されている遺構内容や、細片化値の高い（つまり細片化の進行程度が低い）遺物の存在は､当地が活動当時の地形･地盤に近い状態状態であることを示している。19A 区・19C 区は遺跡外北西側から延びる片麻岩を岩盤とする細い尾根状地形が南東方向に向かって伸びる場所に当たる。この地山地形を南西方向に辿ると、14 区・19B 区では谷地形となっており、当時の活動範囲の境を示している。万瀬遺跡の中でみると、当時の集落の境とも言えるかもしれないが、川向南地区全体で見るならば､同様の活動痕跡は大栗遺跡でも確認されている。今回の報告で、大畑遺跡が立地する岬状の尾根の付け根部の両側に、縄文時代早期前半の活動痕跡が確認されたことになろう。

縄文時代中期後半～晩期初頭については、19C 区でごくわずかな出土があるものの、14 区での出土が目立つ。いずれもグリッド 3930 での出土が著しく集中している。出土点数も 500 点ほどと、今回の調査で出土した縄文・弥生土器の半数がこのグリッドから出土していることとなるが、細片化値も 10 ～ 20 と決して低くはなく、細片化の進行もそれほどではない。発掘調査進行時は、出土層をオリジナルと判断して進めたところではあったが、出土層下から中世の活動痕跡が見つかったことから、この層は二次堆積層であるこ

※　川添和暁編 2012「塚原１号窯跡」『塚原１号窯跡・若宮１号墳・山口堰堤３号墳』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第 169 集

とが判明した経緯がある。以上の状況を整理すると、これらの遺物は、二次堆積であってもその移動距離はとても近く、細片化の進行がそれほどでもなかった可能性が考えられよう。例えば、県道（遺跡範囲内中央に貫く道路）付近にあった堆積層がなにかの要因で流れ込んで来た可能性が高いのできないかと考えられる。なお､19C 区での出土に関しては、当地にもともとオリジナルな活動痕跡が存在していた可能性が高い。19C 区では斜面上方からの土砂の供給が認められない場所であり、活動痕跡は削平される一方であることは、遺跡の残存という点では条件がいいとは言えない。大型石棒に相当する使用のなされた遺物も出土しており（1301）、このことを傍証する根拠であると言えよう。

縄文晩期中葉～弥生前期に関しては､19B 区での分布が主体となる。この場所は､19B 区・14 区に向かって展開する谷状地形に堆積した黒色土内からの出土である。注目されるのは、3728・3729 グリッドでの出土状況である。特に弥生前期の深鉢（0317）は残存状況が良好であり、当時の捨て場など、オリジナルの遺物包含状況であった可能性も考えられる。

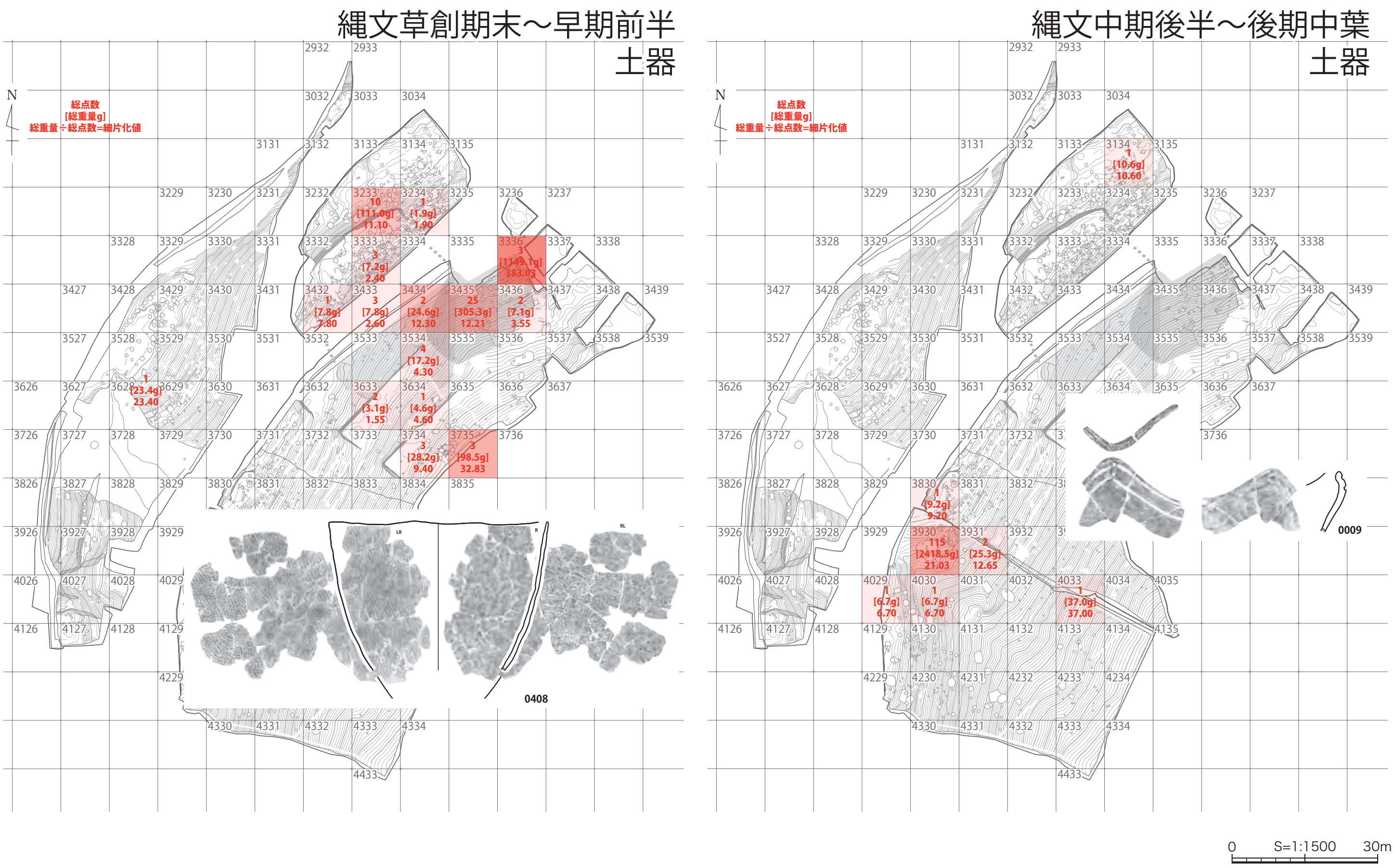
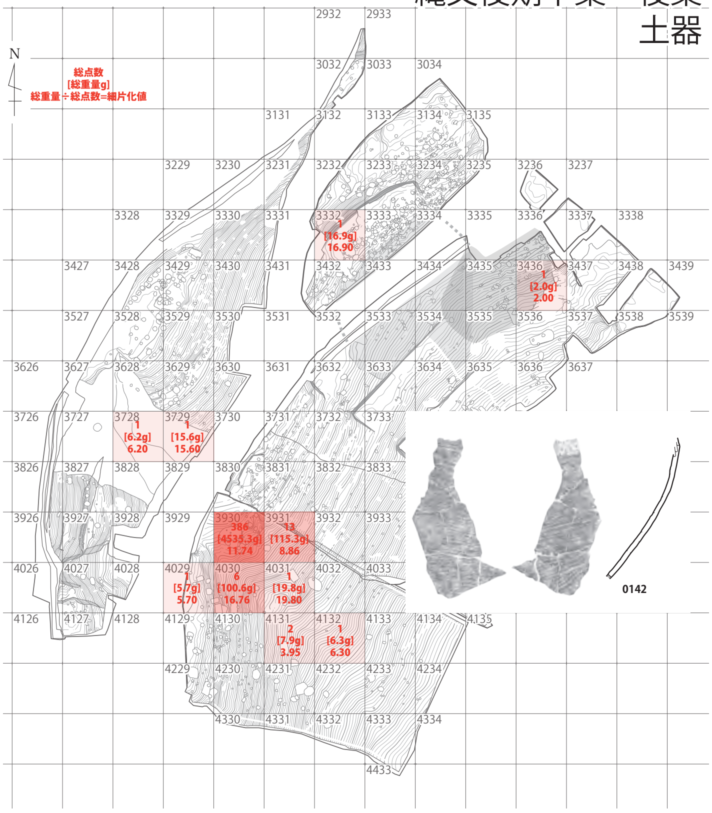
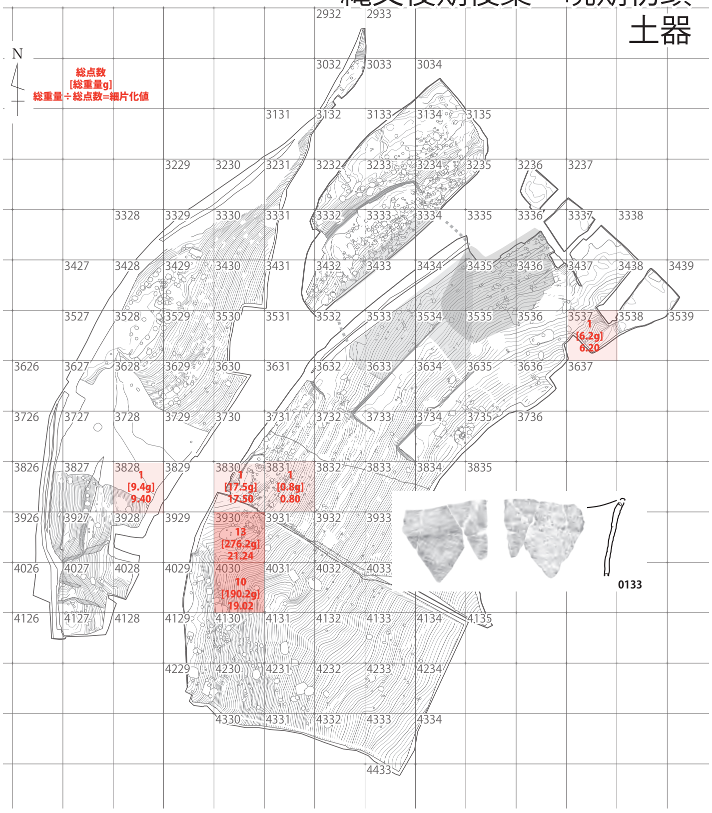


図 124-1　万瀬遺跡 縄文時代遺物分布図 土器 (1) (S=1/1500)

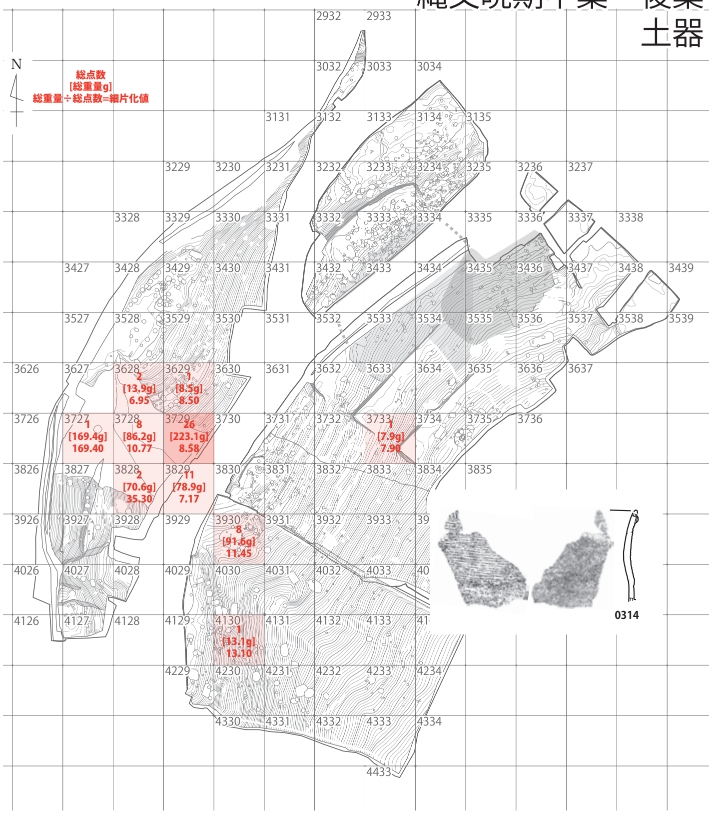
縄文後期中葉～後葉
土器



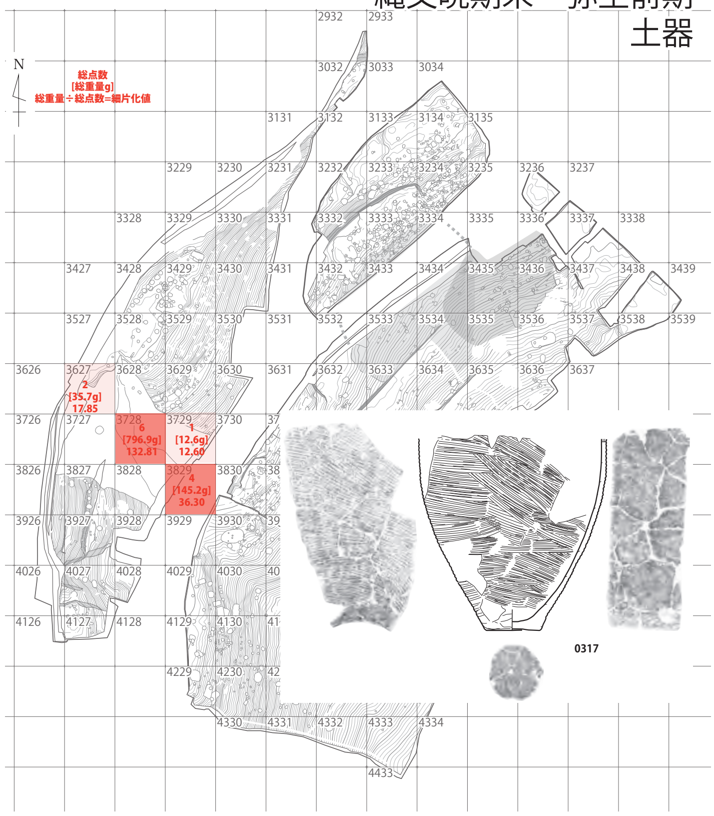
縄文後期後葉～晩期初頭
土器



縄文晩期中葉～後葉
土器



縄文晩期末～弥生前期
土器



0 S=1:1500 30m

図 124-2　万瀬遺跡 縄文時代遺物分布図 土器 (2) (S=1/1500)

石　　器　上記のように土器片の出土状況から、遺跡の状態を推測してみた。それに照らし合わせる形で、石器の出土状況を、器種・石材別に同様の分析・検討をした（図 125-1~5）。石器に関しては、二次堆積になっても端部の磨滅化は進行するものの、身自体の細片化は土器片ほど進行しない。むしろ器種法量の平均値を示しているとみていいであろう。

木葉形尖頭器・有舌尖頭器は 19A 区から出土している。当地の地形がそのまま残っているのであれば、出土は当然ではあるが、特に有舌尖頭器の状態を見ると著しい欠損状況での出土であり（1046・1105）、石器使用当時、当地は狩り場であり、狩猟後に道具の回収がなされなかったことを示すものであろう。

石鏃やそれに関連する小型剥片石器剥片・石核の出土を見ると、19A 区・19C 区と、14 区・19B 区との状況が対照的である。もともと 14 区・19B では、この小型剥片石器の出土が極めて少ないのが、注目される。その一方で、19A 区・19C 区に溶結凝灰岩・凝灰岩の出土が集中していること、点数は少ないが下呂石が 14 区から出土していることは、主たる使用時期に対応した石材使用状況を示しているといえる。

上記の傾向は、安山岩各種の分布にも認められるが、安山岩Ｂの剥片石核を見ると全体に分布が広がり、打製石斧に関しては、14 区・19B 区に集中する。この打製石斧の分布状況は、万瀬遺跡内での縄文後期～弥生前期の場の利用状況を反映しているといえる。

磨石敲石類は、19A 区・19C 区と、14 区・19B 区でともに出土している。植物加工道具として、付近には集落や加工場であったことを示すものであり、当時の積極的な場の利用があったことを示しているといえよう。

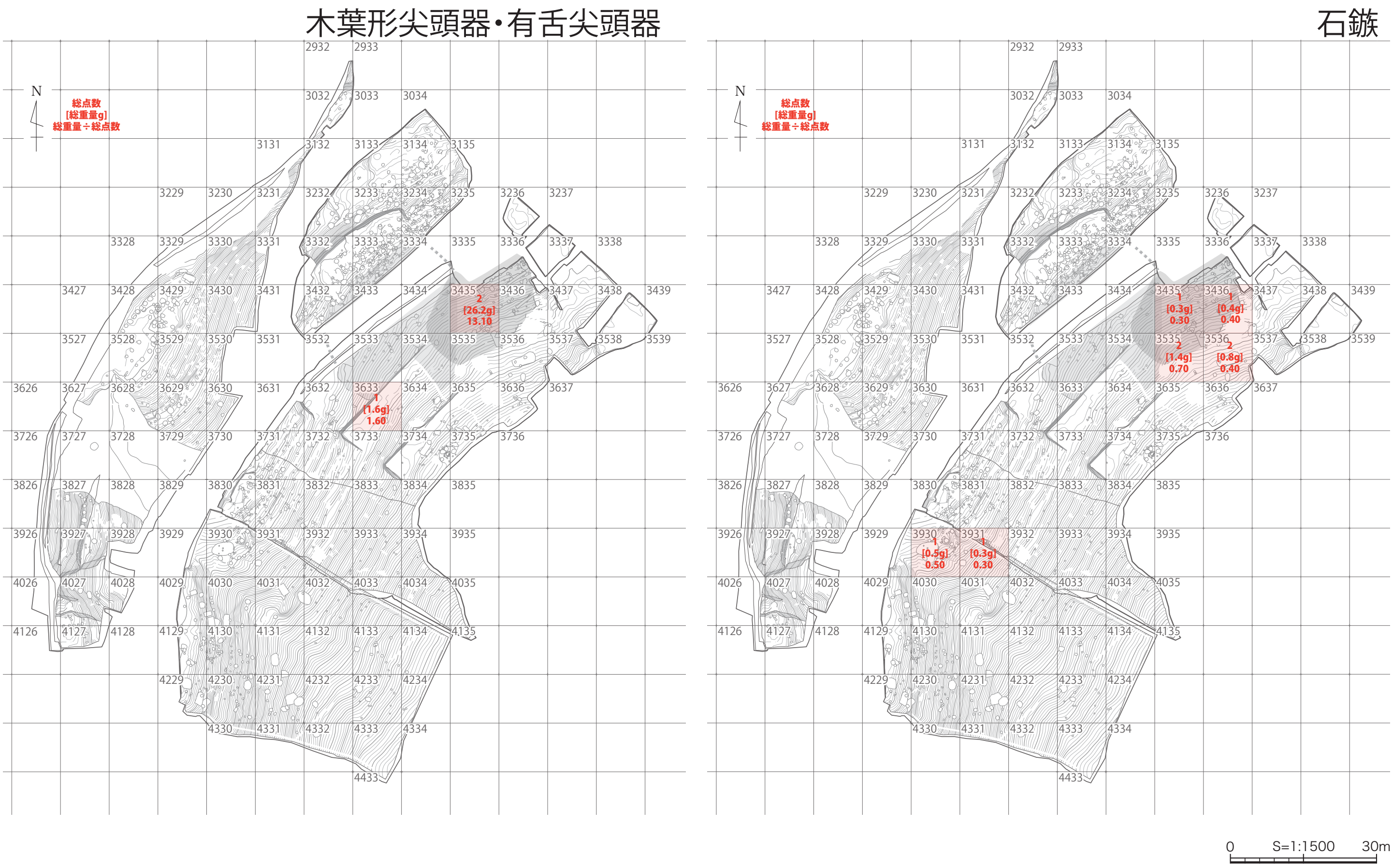
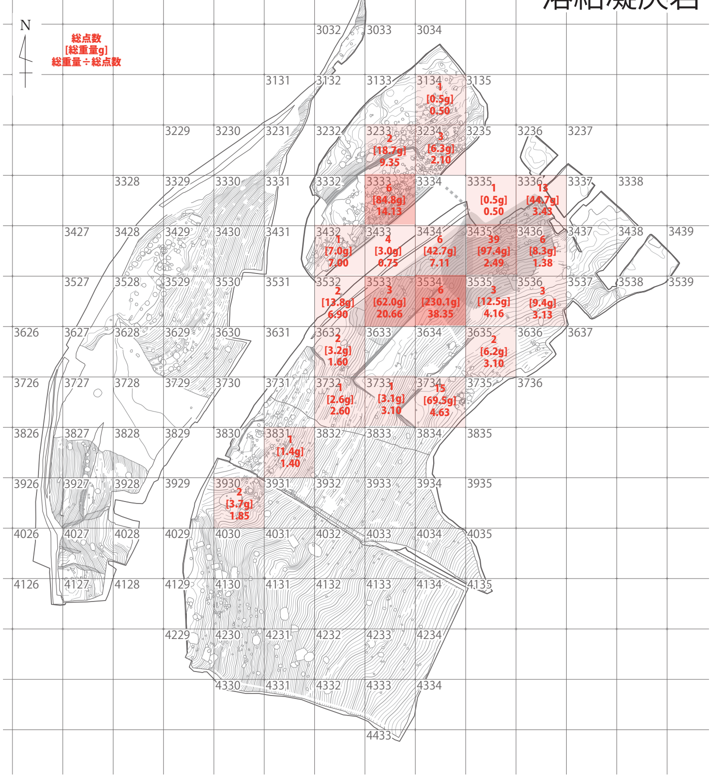


図 125-1　万瀬遺跡 縄文時代遺物分布図 石器 (1) (S=1/1500)

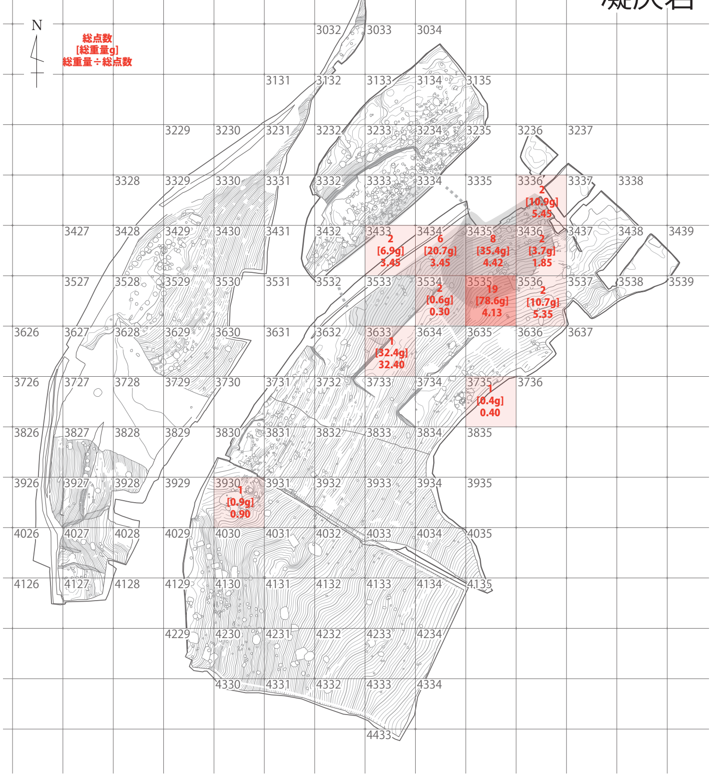
スクレイパー・使用痕のある小型剥片

小型剥片石器剥片・石核 黒曜石

小型剥片石器剥片・石核 溶結凝灰岩



小型剥片石器剥片・石核 凝灰岩

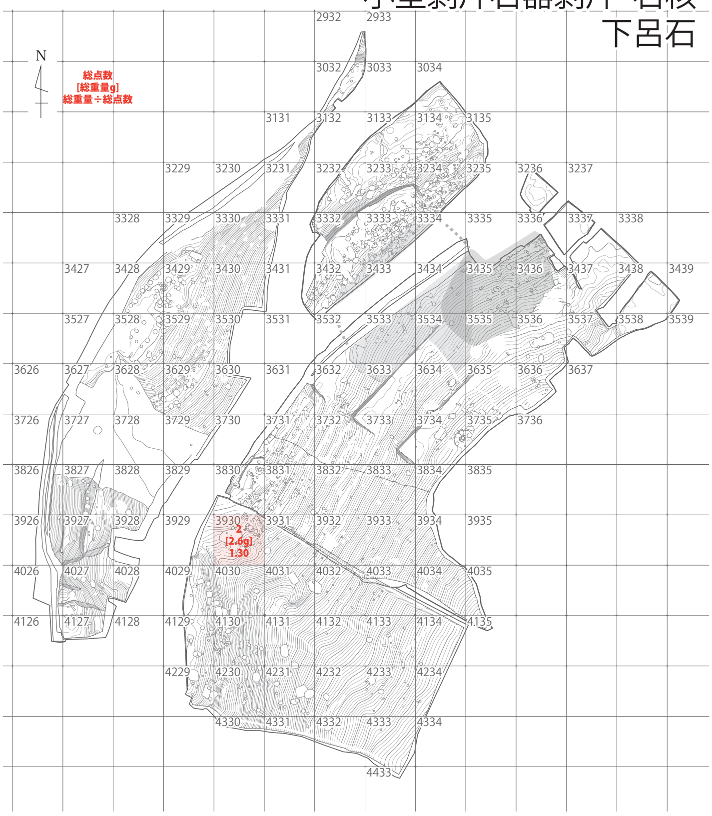


0 S=1:1500 30m

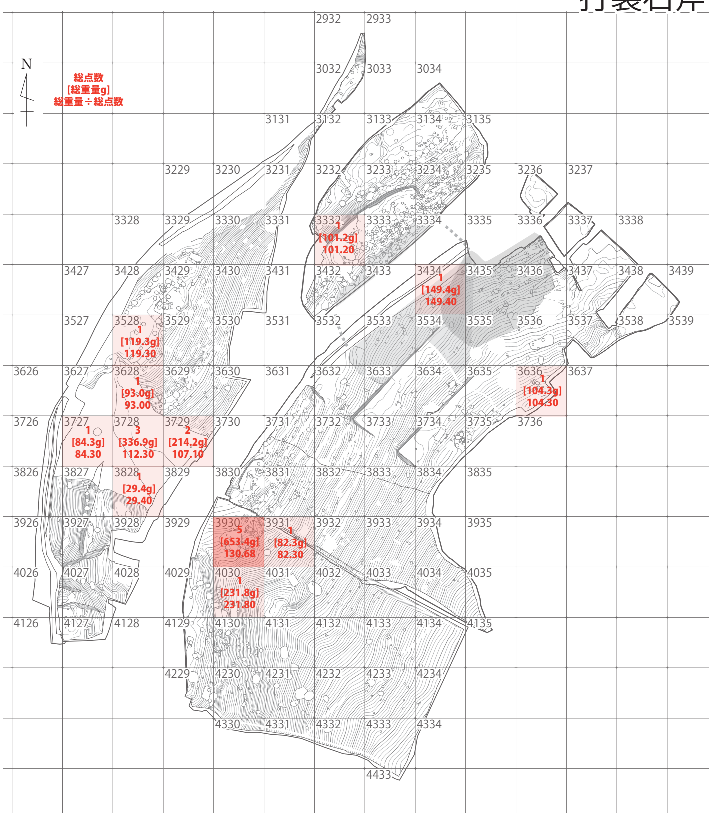
図 125-2 万瀬遺跡 縄文時代遺物分布図 石器 (2) (S=1/1500)

小型剥片石器剥片・石核 チャート

小型剥片石器剥片・石核 下呂石



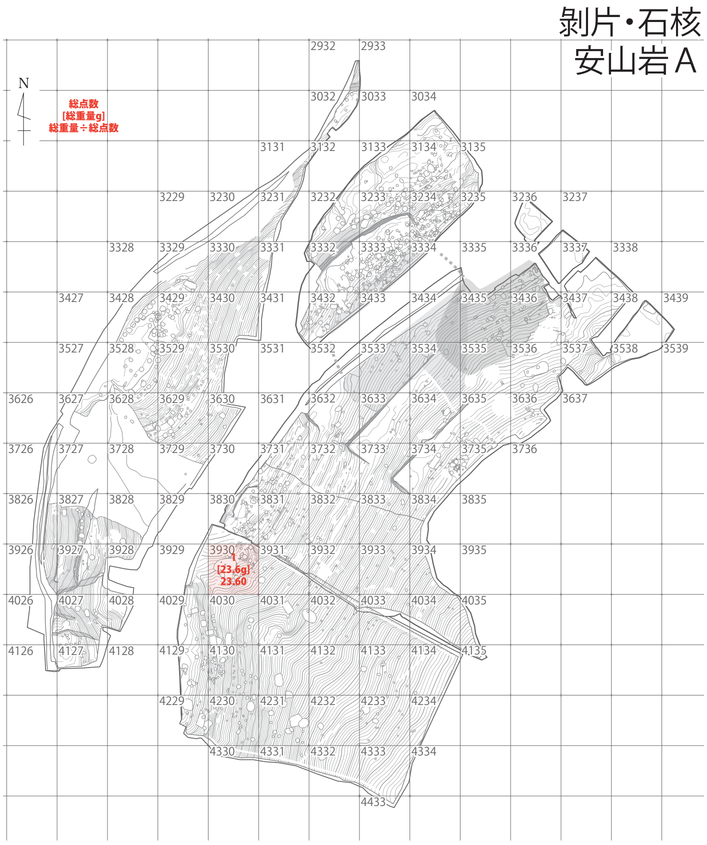
打製石斧



刃器

0　S=1:1500　30m

図 125-3　万瀬遺跡 縄文時代遺物分布図 石器 (3) (S=1/1500)



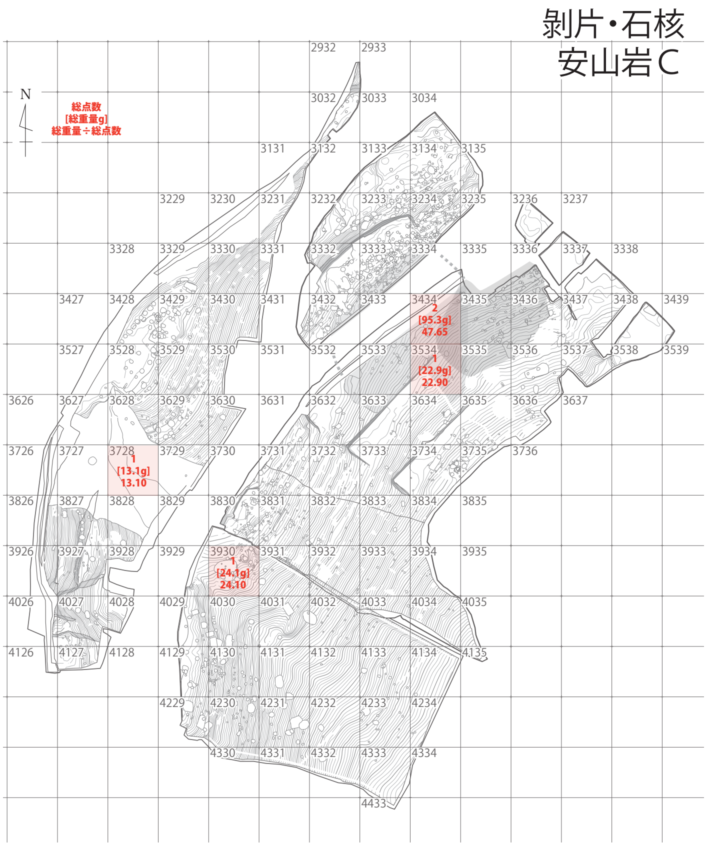


図 125-4　万瀬遺跡 縄文時代遺物分布図 石器 (4) (S=1/1500)

図 125-5　万瀬遺跡 縄文時代遺物分布図 石器 (5) (S=1/1500)

第２節　陶磁器類・土師器の出土状況・分布について

はじめに　万瀬遺跡の平成26年度・令和元年度調査では、図化掲載したもの以外にも多くの古代以降の遺物が出土しており、木製品・金属製品を除いても729点を数える。本節ではそれらの集計を行い、器種ごとの多寡や産地、帰属時期の状況や、グリッド別の出土点数分布などを示すものである。なお、器種名や型式・窯式名などは節末の参考文献に依る。

集計結果　表18にカテゴリ、産地等、器種別での点数および重量を示した。

山茶碗　山茶碗では渥美･湖西型、尾張型、東濃型の３種が確認でき、渥美･湖西型が点数･重量の両面で優位である。

古瀬戸・瀬戸美濃　古代以降の遺物の６割近くを施釉陶器が占め、うち９割以上を古瀬戸および大窯期以降の瀬戸美濃製品が占める。器種別に見ると、古瀬戸では平椀、大窯期以降では丸碗、天目茶碗、擂鉢が目立ち、次いで尾呂茶碗、腰錆茶碗･湯呑、志野丸皿、片口鉢などが出土数の多い器種として挙げられる。一方で、古瀬戸では縁釉小皿、大窯期以降では鉄絵鉢や灯明皿・灯明具などの器種が欠ける。

磁器製品　産地の特定できないものが多かったが、肥前産磁器が瀬戸美濃産の半数弱出土している。器種では碗類、特に端反椀が多く、次いで皿類も見られる。

土師器　圧倒的に鍋の破片が多いが、形状や時期を特定できるものは少ない。鍋以外では土人形、かわらけなどが次いで多い。

時期別点数　表19～22に時期別の点数を示した。縦軸が器種、横軸が時期となり、該当する時期の該当器種が何点出土しているかを示している。複数期にまたがるものは帰属時期がその間で特定できていないものの点数を示す。なお、器種不明、時期不明は省いた。

山茶碗（表19）　碗では、尾張型は4-5型式が主体であり、渥美・湖西型および東濃型は尾張型5-7型式併行期のものが主体となる。小碗・小皿でもその様相は同様で、尾張型のものは４型式までしか見られず､時期の下るものは渥美･湖西型である。数量の面では、尾張型４型式併行期から数を増し、6-7型式併行期ごろにピークが見られ、９型式併行期以降は確実なものがない。

古瀬戸（表20）　確実なもののみ見ると、中期様式Ⅳ期に遡ると見られる筒型香炉が１点出土するが、その他は全て後期様式のものである。また、後期Ⅲ期に比定されるものはなく、後期Ⅰ～Ⅱ期、後期Ⅳ期の２時期に分かれる。

瀬戸美濃（表22、図126）　数量が多いため点数の集計とグラフ化を行った。点数の集計は３種の方法によるものを示した。Aは時期が段階まで絞り込めているもののみを集計したもので､Bは更に小期まで絞り込めているもののみを集計した。参考値であるCは、時期が不確定のものも各時期に加算したもので、例えば大窯第１段階に比定されるものは、第１小期、第２小期にそれぞれ１点としてカウントされている。

グラフ（図126）上で段階ごとの点数（A）を見ると、大窯第1･第４段階に低いピークがあり、第２・第３・第５段階は谷となっている。ただし、大窯第５段階には連房式登窯による生産が開始されているため（瀬戸市1994)、そちらの製品が主体になっているものと思われる。点数は連房式期に入ると急増し、第１・第２段階はほぼ横ばいで、第３段階には再び急増する。さらに細かく小期まで絞り込めたものの点数(B)を見ると、連房式期にもピークが見られ、第２・第７・第11小期に比定されるものが多いことが

表 18　陶磁器・土師器その他の遺物　点数・重量集計表

カテゴリ・産地等		器種		点数	重量(g)
須恵器	不明	不明		2	60.3
山茶碗 計43点 919.9g	渥美・湖西 計25点 508.3g	碗類	輪花碗	2	22.6
			碗	15	395.2
			小皿	2	19.5
		不明		4	10.7
	尾張 計15点 379.0	碗類	碗	8	122.5
			小碗	4	97.2
		片口鉢		2	155.5
		不明		1	3.8
	東濃	碗類	碗	2	16.6
		不明		1	16.0
施釉陶器 計437点 5966.9g	古瀬戸 計15点 487.3g	碗類	平椀	5	50.8
			天目茶碗	1	3.7
		皿類	腰折皿	1	56.4
			折縁深皿・直縁大皿	2	149.5
		鉢類	擂鉢	3	182.3
		香炉	筒型香炉	1	9.2
		盤		1	21.1
		壺・甕・瓶類		1	14.3
	瀬戸美濃 計388点 5302.7g	碗類	丸碗	48	350.1
			端反碗	1	180.6
			天目茶碗	36	644.1
			広東碗	5	117.7
			尾呂茶碗	11	127.8
			拳骨茶碗	1	55.7
			御室茶碗	2	6.3
			柳茶碗	3	62.6
			腰錆茶碗・湯呑	9	126.2
			小碗	5	40.4
			小天目	2	6.1
			段付き天目	1	7.4
			湯呑	5	43.6
			箱型湯呑	3	21.8
			鎧湯呑	3	53.2
			せんじ	1	24.2
			小杯	1	7.9
			不明	83	338.9
		皿類	丸皿	3	9.3
			大皿	1	21.3
			志野丸皿	8	98.3
			端反皿	4	10.5
			鉄絵皿	2	3.9
			輪禿皿	4	145.4
			折縁小皿	1	4.5
			摺絵皿	1	2.9
			不明	8	201.8
		鉢・壺・甕・瓶・徳利類	擂鉢	24	823.6
			片口鉢	8	183.4
			練鉢	1	9.0
			黄瀬戸鉢	6	110.8
			掛け分け鉢	1	7.6
			折縁輪禿鉢	2	37.7
			半胴	1	24.5
			徳利	4	26.0
			尾呂徳利	3	76.9
			錆徳利	1	52.8
			瓢箪型徳利	1	36.6
			不明	20	410.5
		土瓶・鍋・急須類	糸目土瓶	1	6.4
			土瓶類蓋	1	8.3
			行平鍋・行平鍋蓋	3	217.9
			不明	4	27.4
		香炉	筒型香炉	3	19.4
			不明	3	22.4
		仏具	仏花瓶	1	31.6
			仏餉具	1	38.9
		小型製品	水滴	1	99.9
			盒子・盒子蓋	2	27.3
			鬢盥	2	15.7
			蓋	1	4.0
			不明	4	5.9
		加工円盤・加工品		7	193.0
		不明		30	72.7
	産地不明 計34点 176.9g	碗類	丸碗	1	4.2
			天目茶碗	2	6.5
			不明	4	7.6
		皿類	輪禿皿	1	53.1
			不明	1	1.9
		鉢・壺・甕・瓶・徳利類	擂鉢	2	17.5
			練鉢	1	9.7
			徳利	1	2.0
			不明	3	20.3
		火鉢類		1	23.8
		不明		17	30.3
炻器 計26点 209.2g	瀬戸	碗類	箱型湯呑	1	19.8
	美濃 計25点 189.4点	碗類	丸碗	3	27.1
			広東碗	4	34.5
			箱型湯呑	10	93.4
			湯呑	2	19.7
			不明	4	9.8
		鉢類		1	3.3
		不明		1	1.6
磁器 計98点 1141.2g	瀬戸美濃 計30点 393.7g	碗類	端反椀	9	144.1
			広東碗	2	34.8
			小盃・小碗	2	20.9
			猪口	1	18.0
			不明	7	30.6
		皿類	端反皿	2	6.6
			型打皿	1	18.1
			寿文皿	1	8.8
			不明	2	28.1
		鉢類		1	11.3
		蓋類		2	72.4
	関西系 計6点 32.1g	碗類	丸碗	1	4.2
			広東碗	1	16.6
			不明	2	2.6
		蓋類		1	8.0
		不明		1	0.7
	肥前 計13点 146.1g	碗類	丸碗	3	27.1
			くらわんか	2	49.5
			箱型湯呑	3	21.7
			小杯	1	7.9
			蕎麦猪口	1	6.0
			不明	1	2.6
		皿	染付皿	1	29.2
		不明		1	2.1
	産地不明 計49点 569.3g	碗類	小碗	1	17.3
			不明	10	269.7
		皿類	菊皿	2	42.4
			不明	1	7.9
		徳利・瓶・壺		1	23.0
		小瓶		1	68.3
		盒子・急須		1	5.7
		不明		32	135.0
常滑 計9点 627.9g	真焼	壺・甕・瓶		2	92.1
		甕・鉢		1	10.7
	赤物	火具・焜炉		4	191.5
		甕		1	322.8
		植木鉢		1	10.8
土師器 計92点 439.1g		鍋類 計71点 359.3g	伊勢型鍋	1	47.0
			くの字型内耳鍋	4	22.0
			半球形内耳鍋	4	130.5
			焙烙	1	1.4
			不明	61	158.4
		釜		1	6.2
		かわらけ		3	19.5
		土人形		6	29.3
		火器・火具類		3	14.3
		不明		8	10.5
無釉陶器		植木鉢		2	17.0
瓦		桟瓦		3	104.5
瓦質土器		鍋	双耳鍋	1	6.9
			不明	4	36.4
		不明		1	8.0
骨角製品		歯ブラシ		1	3.5
ガラス製品 計8点 40.8g		薬瓶		1	6.0
		ビン類		1	3.8
		おはじき		2	2.7
		蓋類		2	10.4
		ガラス玉		1	4.1
		円盤状製品		1	13.8
不明				4	3.7
			総計	729	9525.0

表 19　山茶碗　時期別点数表

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>型式</th><th>3</th><th>4古</th><th>4新</th><th>5古</th><th>5新</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th></tr>
<tr><td rowspan="7">尾張</td><td rowspan="3">碗</td><td rowspan="7"></td><td></td><td colspan="2">1</td><td>1</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="3">1</td><td colspan="2">3</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="11">1</td></tr>
<tr><td rowspan="3">小碗・小皿</td><td colspan="2"></td><td>1</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">2</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td colspan="3">1</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td>片口鉢</td><td colspan="3"></td><td>1</td><td colspan="2"></td><td>1</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>型式</th><th>1古</th><th>1新</th><th>2古</th><th>2新</th><th>3-1</th><th>3-2</th><th>3-3</th></tr>
<tr><td rowspan="8">渥美・湖西</td><td>輪花碗</td><td rowspan="8"></td><td colspan="2"></td><td>2</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">碗</td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">1</td><td colspan="2">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">1</td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="5">4</td></tr>
<tr><td colspan="7">1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">小碗・小皿</td><td colspan="5"></td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td colspan="3">1</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>窯式</th><th>谷迫間
2</th><th>浅間窯下
1</th><th>釜洞
1</th><th>白土原
1</th><th>明和
1</th><th>大畑大洞
4古</th><th>大畑大洞
4新</th><th>大洞東
1</th><th>脇之島
3</th></tr>
<tr><td>東濃</td><td>碗</td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">1</td><td>1</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

表 20　古瀬戸製品　時期別点数表

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th>様式</th><th>前期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">後期</th></tr>
<tr><th>小期</th><th></th><th>Ⅰ〜Ⅲ期</th><th>Ⅳ期</th><th>Ⅰ</th><th>Ⅱ</th><th>Ⅲ</th><th>Ⅳ古</th><th>Ⅳ新</th></tr>
<tr><td rowspan="10">古瀬戸</td><td rowspan="3">平椀</td><td rowspan="10"></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="3"></td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="5">2</td></tr>
<tr><td>天目茶碗</td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td>1</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>折縁深皿・直縁大皿</td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">2</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>腰折皿</td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="4"></td><td>1</td></tr>
<tr><td>擂鉢</td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="4"></td><td>3</td></tr>
<tr><td>筒型香炉</td><td></td><td></td><td>1</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>盤</td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="5">1</td></tr>
<tr><td>壷・甕・瓶類</td><td colspan="8">1</td></tr>
</table>

表 21　肥前磁器製品　時期別点数表

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>Ⅱ-1</th><th>Ⅱ-2</th><th>Ⅲ</th><th>Ⅳ-1</th><th>Ⅳ-2</th><th>Ⅴ</th></tr>
<tr><td rowspan="8">肥前磁器</td><td rowspan="2">丸碗</td><td colspan="2"></td><td>2</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">1</td></tr>
<tr><td>くわらんか</td><td colspan="2"></td><td></td><td colspan="2"></td><td>2</td></tr>
<tr><td>小杯</td><td></td><td>1</td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>蕎麦猪口</td><td colspan="2"></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">箱型湯呑</td><td colspan="2" rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td colspan="2">1</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td>染付皿</td><td colspan="2"></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td></tr>
</table>

表 22　瀬戸美濃大窯・連房式登窯製品　時期別点数表

<table>
<tr><td colspan="3" rowspan="3"></td><td>窯体</td><td colspan="11">大窯</td><td colspan="11">連房式登窯</td></tr>
<tr><td>段階</td><td colspan="2">第1</td><td colspan="2">第2</td><td colspan="2">第3</td><td colspan="2">第4</td><td colspan="3">第5</td><td colspan="4">第1</td><td colspan="3">第2</td><td colspan="4">第3</td></tr>
<tr><td>小期</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr>
<tr><td>瀬戸美濃陶器</td><td>碗類</td><td>丸碗</td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td colspan="4">4</td><td colspan="3">4</td><td colspan="4">7</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5">1</td><td></td><td>1</td><td colspan="2">2</td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">4</td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">11</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="12">1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="15">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="11">1</td><td colspan="11">2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>天目茶碗</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>7</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">6</td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">3</td><td colspan="2">2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="8">1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="15">1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>端反椀</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>広東碗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">3</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>尾呂茶碗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">2</td><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>拳骨茶碗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>御室茶碗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>柳茶碗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>腰錆茶碗
腰錆湯呑</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td><td>1</td><td></td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5">1</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="7">3</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">2</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>小碗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5">1</td><td></td><td colspan="2">1</td><td>1</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>小天目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="6">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>段付き天目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>湯呑</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">3</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>箱型湯呑</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>鐙湯呑</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">2</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>せんじ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>小杯</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>皿類</td><td>丸皿</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="7">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>大皿</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td colspan="3">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>志野丸皿</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>端反皿</td><td></td><td>1</td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>鉄絵皿</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>輪禿皿</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>折縁小皿</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>摺絵皿</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>鉢・壺・甕・瓶・徳利類</td><td>擂鉢</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td colspan="3">2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">2</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="7">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="7">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="11">2</td><td colspan="11">2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="15">2</td><td colspan="6">3</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>片口鉢</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="9">1</td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="6">1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>練鉢</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>黄瀬戸鉢</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="10">1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="12">4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>掛け分け鉢</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>折縁輪禿鉢</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>半胴</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>徳利</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td colspan="4">2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="11">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>尾呂徳利</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>錆徳利</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>瓢箪型徳利</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>糸目土瓶</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>土瓶類蓋</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>行平鍋・蓋</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr>
<tr><td></td><td>香炉</td><td>筒型香炉</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td><td colspan="4">1</td></tr>
<tr><td></td><td>仏具</td><td>仏花瓶</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="11">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>仏餉具</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td></tr>
<tr><td></td><td>小型製品</td><td>盒子・蓋</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>鬢盥</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>蓋</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td></tr>
<tr><td>瀬戸美濃炻器</td><td>碗類</td><td>丸碗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>広東碗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>箱型湯呑</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">5</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">3</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>湯呑</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">2</td></tr>
<tr><td>瀬戸美濃磁器</td><td>碗類</td><td>端反椀</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>5</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>広東碗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>小碗・小盃</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td></td><td>皿類</td><td>型打皿</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>端反皿</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>寿文皿</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td></tr>
<tr><td>合計点数</td><td colspan="2">A(段階ごと、確定のみ)</td><td></td><td colspan="2">6</td><td colspan="2">2</td><td colspan="2">0</td><td colspan="2">6</td><td colspan="3">0</td><td colspan="4">40</td><td colspan="3">39</td><td colspan="4">97</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">B(小期ごと、確定のみ)</td><td></td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>10</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>16</td><td>8</td><td>3</td><td>5</td><td>12</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">C(不確定含む)</td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>13</td><td>11</td><td>10</td><td>10</td><td>19</td><td>24</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>47</td><td>53</td><td>38</td><td>40</td><td>68</td><td>61</td><td>68</td><td>80</td><td>72</td><td>82</td><td>88</td></tr>
</table>

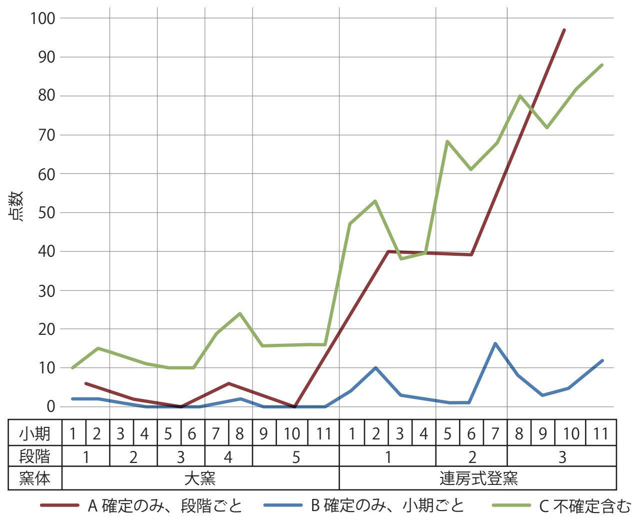


図 126　瀬戸美濃大窯・連房式登窯製品　時期別点数グラフ

分かる。参考値（C）を見ても、時期が下るとともに点数が増加する傾向とともに、A・Bで見られたようなピークが出現している。

肥前磁器（表 21）　古いものではⅡ–1 期の小杯が 1 点あり、Ⅲ期には丸碗、Ⅳ～Ⅴ期には箱型湯呑などが出土する。点数の面ではほぼ横ばいである。

遺跡の時期設定

以上の結果を踏まえて、遺物の量の多さを基準として万瀬遺跡の古代以降には以下の時期を設定し、対応する遺物の型式等を示した。

中世 1 期（12 世紀前葉～ 13 世紀中葉）山茶碗尾張型第 4 ～ 7 型式併行期製品、伊勢型鍋

中世 2 期（14 世紀後葉～ 16 世紀初頭）古瀬戸後期様式～大窯第 1 段階製品、くの字型内耳鍋

近世 1 期（16 世紀末～ 17 世紀後葉）　大窯第 4 段階～連房式第 1 段階製品、肥前Ⅱ・Ⅲ期製品、半球形内耳鍋

近世 2 期（18 世紀中葉～ 19 世紀中葉）連房式第 7 小期～第 11 小期製品、肥前Ⅴ期製品、焙烙

各期に対応する遺物の数は、中世 1 期が 41 点、中世 2 期が 20 点、近世 1 期が 80 点、近世 2 期が 143 点である。

遺物分布の変遷　図127に10mグリッドごとの遺物出土点数、図128には出土重量の分布を示した。濃い色で示されているグリッドほど相対的に出土量が多いことを示している。なお、出土グリッドが確定しないものは省いた。

中世1期では14区北西部の3930グリッドを中心とするエリアに遺物が集中し、19C区の3333グリッドにも若干であるが出土が見られる。19B区では3729グリッドでのみ出土が見られるが、これは14区北西部を中心としたエリアの周縁部と捉えうる。

中世2期では、14区北西部での出土は減少し、3333グリッド周辺が優越するようになり、19B区での出土地点は山側へ移っている。ただしこの時期の遺物は他の時期と比較して少なく、活動は低調であったものと考えられる。

近世1期では3930グリッドを中心とした14区北西部～19A区南西部での出土が再び増加するのに対し、19C区では、出土点数では微増しているが、重量ではむしろ減少している。また、3428グリッドで一定数の遺物が出土するようになり、このころに19B区中央部の平坦面が利用され始めたことを示している。

近世2期では、19B区中央部での出土が点数・重量ともに最大となり、19C区でも再び出土量が増加する。一方で14区北西部での出土量は減少するが、14区・19A区の広い範囲で遺物が出土するようになることが見て取れる。

中心域の変遷　以上の出土分布の変遷からみると、中世以降の万瀬遺跡には3つの活動の中心域が見いだせる。14区北西部～19A区南西部(1)、19C区(2)、19B区中央部(3)である。

中世1期に(1)で活動が始まり、中世2期には遺跡全体が衰微するも、(2)を中心とした活動が見られる。近世1期には再び(1)での活動が活発化して(2)での活動が衰え、(3)での活動が始まる。近世2期には(1)が再び低調となり、(2)が活発化するとともに、(3)が最盛期を迎える。

参考文献

山茶碗　藤澤良祐1994「山茶碗研究の現状と課題」『研究紀要3』三重県埋蔵文化財センター
愛知県2007『愛知県史別編 窯業2 中世・近世 瀬戸系』
古瀬戸　愛知県2007『愛知県史別編 窯業2 中世・近世 瀬戸系』
瀬戸美濃　瀬戸市1994『瀬戸市史 陶磁史編4』
〃　1994『瀬戸市史 陶磁史編5』
〃　1998『瀬戸市史 陶磁史編6』
肥前　九州近世陶磁学会2000『九州陶磁の編年　九州近世陶磁学会10周年記念』

謝辞

遺物の産地、時期の比定に関しては愛知県埋蔵文化財センター鈴木正貴氏、瀬戸市文化振興財団の金子健一氏の御両名のご教示を得た。末筆ながら記して感謝を申し上げる。

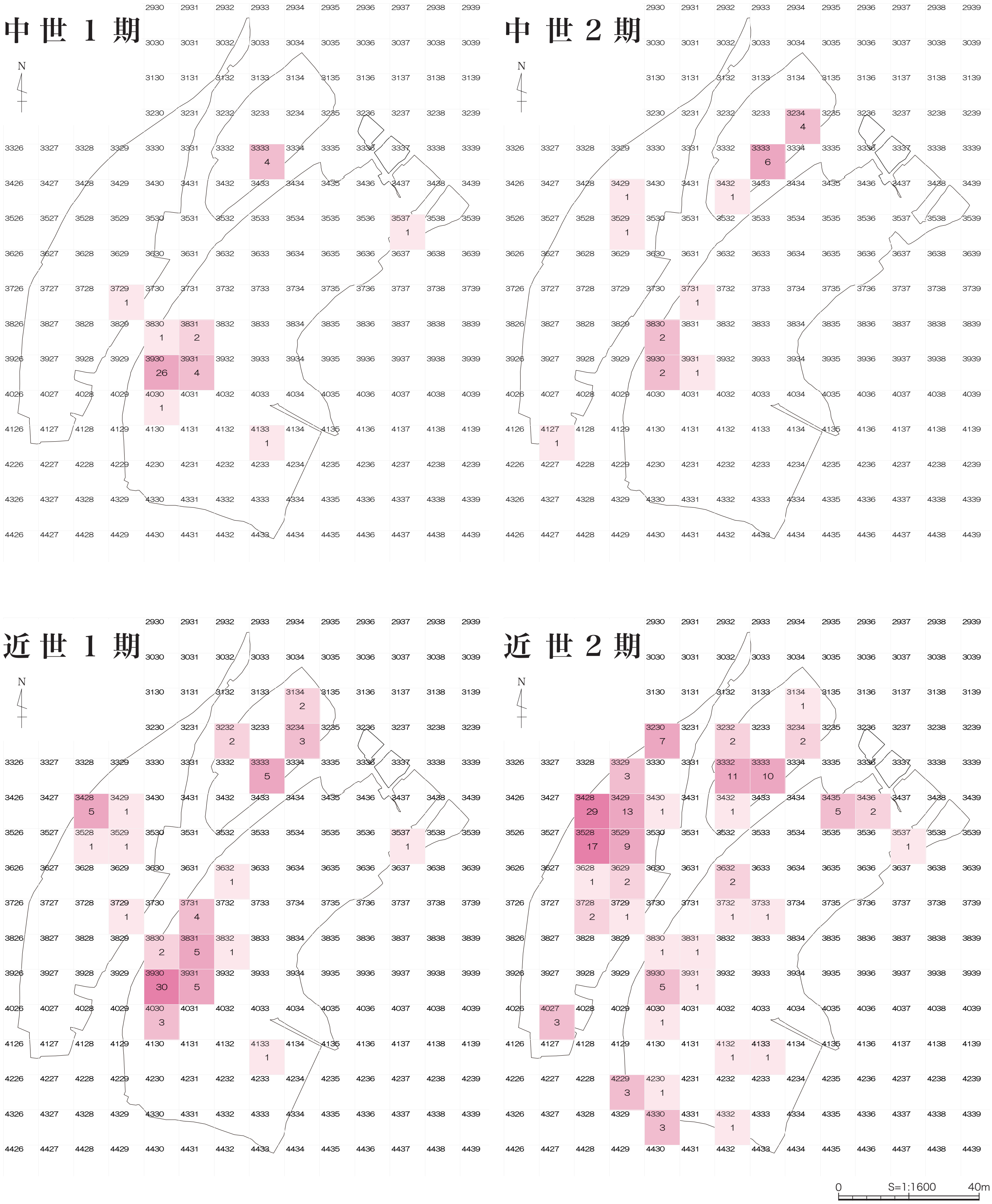


図 127　中近世遺物出土点数分布図（S=1/1600）

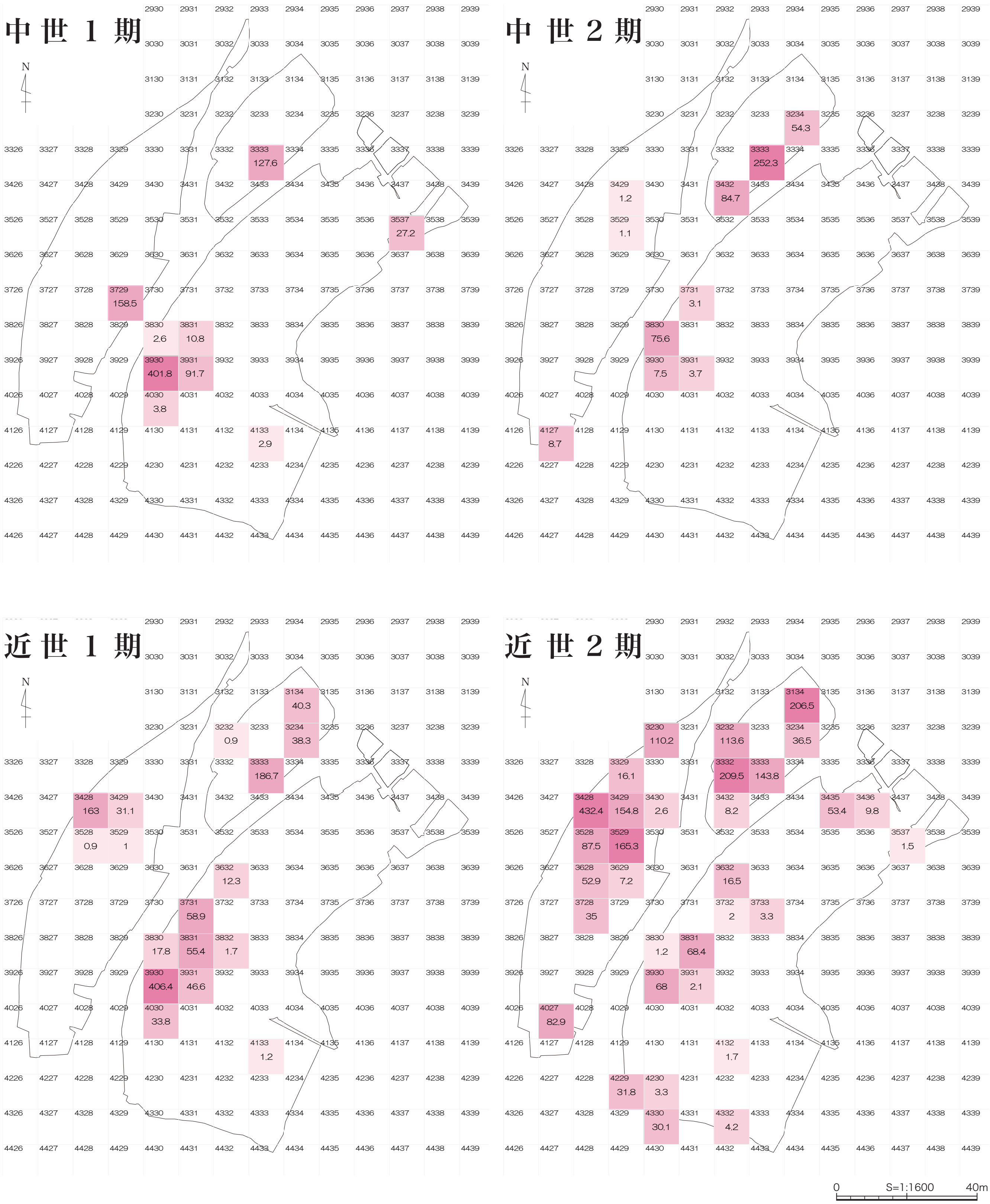


図128　中近世遺物出土重量(g)分布図（S=1/1600）

第３節　遺構の変遷について

はじめに　遺構からの出土遺物を参考に、万瀬遺跡で遺構がどのように変遷したかを示す（図129・図130)。なお、時期が判明していないものは基本的に省いている。

縄文時代早　期　19C区南部から19A区中部にかけて、1700～1740SI、2400SIの6基の竪穴建物が営まれる。付近では炉穴（1527SL　2116SL　2127SL　2445SL）が利用され、2400SI廃絶後には集石炉2447～2449SLが造られる。付近では自然の谷地形に包含層2500SXが形成され、対岸には土器が横位で出土した土坑2429SKがある。

中世１期　14区北西部から19B区南西部にかけて、鍛冶遺構14区013SLとその作業場14区043SIが造られ、付近に土坑が2基確認されている。19C区南部にも土坑が3基あるが、この時期の住居などは確認できない。

中世２期　19C区南部で大型掘立柱建物1650SBが建てられ、規模や形状から倉としての機能が想定される。その周辺には土坑・溝（1467SK・1263SP・1265SK・1266SK・1557SK・1252SD）が展開する。土葬土坑墓のうち2178SZはこの時期に属する。

近世１期　19C区南部で、おそらくは建て替えを挟みつつ継続していた1650SBがこの時期のうちに廃絶する。19A区の南西部で柱列2600SAが建てられ、2610SAに建て替わる。19B区中央部の平坦面で遺構からの遺物の出土が見られるようになり、320SBはこの時期か、あるいは近世1期と2期の間に属する。340SAの出土遺物は近世1期が主体であるが、近世2期のものを含んでおり、隣接する320SBと主軸方位が一致することも考慮すると、320SBと同時期に整備されたものと推測される。

近世２期　19B区中央部の平坦面では320SBが310SBに建て替わるとともに、330SBが建てられる。付近では焼土・炭化物・被熱礫を含む炉跡（廃棄土坑？）105SLが連続して使われ、大型の土坑017・031・032SXが掘り込まれる。平坦面の山側では340SA、川側の斜面では350SAが建てられており、土留めなどの機能が想定される。平坦面の南側には自然流路081NRがあり、この時期におおよそ埋没する。谷の対岸には212SEが存在する。19A区では土葬土坑墓2224SZ・2464SZが造られるが、建物は見られず、主に墓域として扱わ

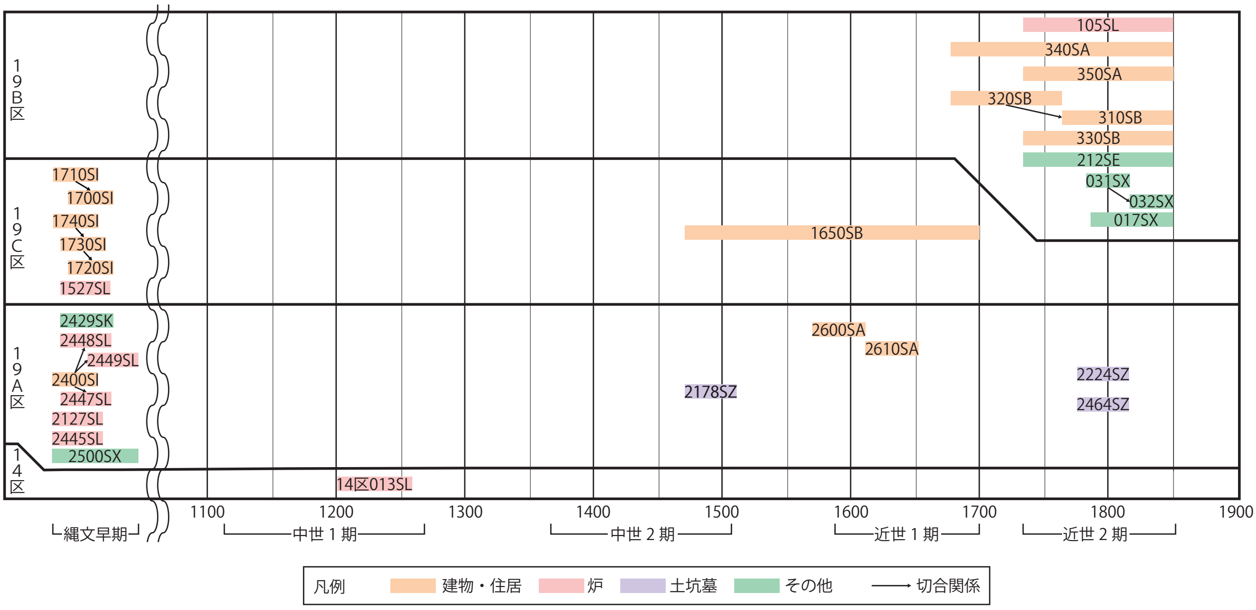


図129　主要遺構変遷図

れたものと考えられる。

時期不明遺　　構　時期不明とした遺構のうち、掘立柱建物跡と考えられるものには、19C 区の 1600SB、1630・1640SB があるが、出土遺物から、後者は近世２期の初め頃に建て替えが行われたか廃絶したものと思われる。1600SB については直接の出土遺物がないが、周辺の出土遺物を考慮すると、少なくとも中世２期以降に位置づけられよう。

図 130　主要遺構分布図

第４節　総括

万瀬遺跡の平成 26 年度・令和元年度調査では、縄文時代草創期から近世に至るまでの成果が得られた。以下に時期ごとの主要な成果を示す。

縄文時代　早期前半に比定される竪穴建物群（1700SI ～ 1740SI、2400SI)、煙道付き炉穴 (2127SL) を含む炉穴および捨て場 (2500SX) が確認され､それ以外の時期の遺構は確認できない。

土器では、縄文時代草創期～早期前半、縄文時代後期前葉～中葉前半、後期後葉～弥生時代前期のものが出土する。中でも遺存状態のよいものとしては、縄文時代草創期～早期前半の表裏に縄文を施す深鉢（0408)、縄文時代晩期中葉～弥生時代前期の二枚貝条痕を施す深鉢（0317）などが挙げられる。

石器では、木葉形尖頭器（1083)、有舌尖頭器（1046・1105）が草創期に遡る。剥片・石核は小型のものを含め多量に出土し、製品としては石鏃、スクレイパー、打製石斧、礫器、磨石敲石類などが一定数見られるほか、大型石棒？（1301)、岩偶岩版類（1302）なども見られる。

弥生時代中期から古代　遺物がごく少なく、この時期の遺構も確認されない。

中世　14 区北西部に 13 世紀前葉ごろの鍛冶遺構（14 区 013SL）とその作業場（14 区 043SI）が確認され、遺物もその周辺に集中する。15 世紀後葉には 19C 区で倉と想定される大型掘立柱建物（1650SB）が成立し、同時期かやや遅れて、19A 区には土葬土坑墓（2178SZ）が掘られる。

遺物は､12 世紀前葉から 13 世紀後葉にかけての山茶碗が一定数､伊勢型鍋(2059)が 1 点出土し、空白期の後、古瀬戸中期様式Ⅳ期の筒型香炉（2064）を皮切りに、古瀬戸後期様式～大窯期の施釉陶器が出土するようになる。輸入陶磁器は出土しない。

近世　19C 区では 17 世紀後半頃までに 1650SB が廃絶するが、その後も複数の掘立柱建物 (1600SB、1630・1640SB) が建てられる。19B 区では 18 世紀～ 19 世紀中葉にかけて、掘立柱建物（310SB・320SB・330SB）や柱列（340SA・350SB)、炉（または廃棄土坑）105SL や大型土坑（17SX、31SX・32SX）などからなる遺構群が現れ、遺物も集中して出土する。また、南側の谷地形 081NR を挟んだ対岸、やや離れた位置には丸木の加工材、礫積み、板材の三段構造を持つ井戸 212SE が掘り込まれる。19A 区では 16 世紀末～ 17 世紀初頭に南西部で 2600SA、2610SA が立て続けに築かれ、この時期の遺物も集中するが、掘立柱建物として認識できるものはない。現道下など未調査の区画に当該期の建物が存在する可能性がある。19A 区ではその後、土葬土坑墓（2224SZ、2464SZ）が展開するようになり、生活域の 19B 区・19C 区に対する墓域として利用されたものと考えられる。

遺物は大窯期から連房式登窯期の瀬戸美濃産施釉陶磁器が半分以上を占め、途切れなく出土しているが、18 世紀前葉ごろのものはやや少なく、その後再び大量に出土するようになる。これは 19B 区の遺構群の成立とも連動するものと推定される。他地域の陶磁器では、少数の常滑製品とともに、肥前磁器が少量ながら近世を通して出土している。その他、鍋類を中心とした土師器が一定数出土する。

万瀬遺跡では、縄文時代早期前半に加え、中世に端を発し近世後半に最盛期を迎える集落の様子を確認することができただけでなく、それ以外の時期の活動域についても存在を示唆する結果が得られた。本報告が、本遺跡の立地する川向地域、ひいては設楽町域や周辺地域の歴史の理解において、少しでも助けになれば幸いである。

表 23-1　土器　掲載遺物一覧表（1）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	土器群別	器種	時期	型式名	部位	調整・文様				胎土含有物				胎土色		点数	1cm以上	重量(g)	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
									表面	裏面	上面	底面	長石	雲母	石英	他	表面	裏面						
0001	14	3930	001SX-3 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	堀之内2式併行	胴部	3本沈線・縄文LR・ナデ	ナデ			○	○	○		2.5Y 7/3 浅黄	10YR 8/4 浅黄橙	1	1	14.3	1507	43	
0002	14	3930	3層	第4群土器-A		後期中葉	堀之内2式併行	胴部	弧状沈線・平行沈線	ナデ			○	○	○		2.5Y 7/3 浅黄	2.5Y 7/3 浅黄	1	1	14.1	303	430	
0003	14	3930	001SX-1 2面 005SX 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線・中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		2.5Y 7/3 浅黄	10YR 8/3 浅黄橙	1	1	45.5	1620,1623	55	表面炭化物付着 AMS実施
0004	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線・中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		2.5Y 8/3 淡黄	10YR 8/3 浅黄橙	1	1	17.1	1651	78	
0005	14	3930	001SX-1 2面	第5群土器-A	深鉢	後期末	寺津下層併行	口縁部	太沈線・縄文LR・ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	26.0	1662	88	
0006	14	3930	001SX-1 2面	第5群土器-A	深鉢	後期末	寺津下層併行	口縁部	中型巻貝	中型巻貝	中型巻貝・口縁部折り返し		○	○	○		10YR 6/2 灰黄褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	11.5	1648	75	
0007	14	3930	3層	第4群土器-A		後期中葉	八王子式	口縁部	平行沈線・縄文LR・中型巻貝	中型巻貝	ナデ		○	○	○		10YR 5/2 灰黄褐	10YR 5/2 灰黄褐	1	1	31.3	317	439	
0008	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	八王子式	口縁部	平行沈線区画内に縄文LR充填・ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	123.8	1624,1625	56	
0009	14	3930	001SX-1 2面 3層(4層直上)	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	八王子式	口縁部	平行沈線区画内に縄文RL充填・巻貝刺突・中型巻貝(ナデ)	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	104.9	180,261,1643	70	
0010	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	9.7	190	333	
0011	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	沈線区画内に縄文l充填・ナデ	中型巻貝	ナデ?		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	21.9	1618	52	
0012	14	3930	001SX-3	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	平行沈線区画内に縄文l充填	中型巻貝	ナデ		○	○	○		7.5YR 7/6 橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	15.5	1112	23	
0013	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	八王子式?	口縁部直下	沈線区画内に縄文l充填・ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	10.0	1638	65	表面炭化物付着痕
0014	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部直下	沈線・ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	6.9	1673	99	
0015	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部直下	沈線区画内に縄文LR充填・ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 4/1褐灰	1	1	6.2	1687	107	
0016	14	3930	001SX-1 2面一括	第4群土器-A	深鉢	後期		口縁部	ナデ(沈線?)	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 8/4 浅黄橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	4.4	-	153	
0017	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線・縄文LR・ナデ	中型巻貝・ナデ			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	19.9	1419	37	
0018	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文LRL充填・中型巻貝	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	17.2	1658	84	表面炭化物付着痕 AMS実施
0019	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	八王子式	胴部	平行弧状沈線区画内に縄文l充填・巻貝刺突・ナデ	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	14.2	1626	57	
0020	14	3930	001SX-3	第4群土器-A	深鉢	後期前葉～中葉		胴部	三本沈線・縄文l・ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	10.7	1111	22	
0021	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期		胴部	沈線・ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	9.9	1688	108	
0022	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文LR充填・ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	7.1	1669	95	
0023	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線・中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 7/6 橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	5.6	1674	100	
0024	14	3930	001SX-1 一括	第4群土器-A	深鉢	後期中葉以降		胴部	沈線区画内に縄文RL充填	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	4.0	-	671	
0025	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線・縄文LR・ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	3.7	-	145	
0026	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線・縄文LR・中型巻貝	ナデ			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	2.0	-	144	
0027	14	3930	001SX 3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	平行沈線・縄文LR・中型巻貝	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	24.2	174,314	175	
0028	14	3930	2層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	ナデ?	ナデ?	ナデ・口縁部折り返し		○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	10YR 6/6 明黄褐	1	1	19.6	012	238	
0029	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ・口縁部折り返し		○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 6/6 明黄褐	1	1	9.5	1639	66	
0030	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ・裏面に口縁部の折り返し		○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	10YR 6/6 明黄褐	1	1	8.6	-	156	
0031	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝(ケズリ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	7.3	1689	109	
0032	14	3930	001SX 3面	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝(ケズリ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	2.5Y 4/2 暗灰黄	1	1	6.2	1744	116	
0033	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	12.6	-	141	
0034	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	6.1	-	142	
0035	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	26.0	1627	58	
0036	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	ナデ・オサエ	中型巻貝	ナデ・口縁部折り返し		○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	25.1	1628	59	
0037	14	3930	001SX 3面	第4群土器-B	深鉢	後期		口縁部	ナデ	中型巻貝(ナデ)	ナデ		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	19.7	1735	112	
0038	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	17.6	1621	54	
0039	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	ナデ		○	○	○		7.5YR 7/6 橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	17.4	1649	76	
0040	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期		口縁部	ナデ・ケズリ	ナデ・オサエ	ナデ		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	15.7	1640	67	
0041	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部直下	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	6.7	1672	98	
0042	14	3930	001SX-1 一括	第4群土器-B	深鉢	後期		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		5YR 7/6 橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	3.1	-	122	
0043	14	3930	001SX-1 一括	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	-	中型巻貝	縄文LR		○	○	○		7.5YR 7/4 にぶい橙	10YR 8/4 浅黄橙	1	1	2.5	-	672	
0044	14	3930	001SX-3 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	ナデ		○	○	○		10YR 3/2 黒褐	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	13.1	1344	27	
0045	14	3930	001SX-3 2面	第5群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	巻貝条痕	?	ナデ		○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	21.2	1390	29	
0046	14	3930	001SX-3 052SK	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	36.0	1109,1770	20	裏面圧痕
0047	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	5YR 4/4 にぶい赤褐	1	1	17.3	1652	79	表面炭化物付着痕
0048	14	3930	001SX-3	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部下半	ケズリ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	2.5Y 5/2 暗灰黄	1	1	15.2	1108	19	表面・裏面炭化物付着 AMS実施
0049	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝(ナデ・ケズリ)	中型巻貝(ケズリ)			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	15.0	1637	64	表面炭化物付着痕
0050	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	12.8	1641	68	
0051	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		胴部	中型巻貝(ケズリ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		2.5Y 3/1 黒褐	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	12.8	-	129	
0052	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	5YR 6/4 にぶい橙	1	1	10.7	1503	39	
0053	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	8.6	1676	102	
0054	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	ナデ	中型巻貝			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	8.1	-	137	
0055	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 7/2 にぶい黄橙	2.5Y 6/2 灰黄	1	1	8.0	1668	94	

表 23-2　土器　掲載遺物一覧表（2）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	土器群別	器種	時期	型式名	部位	調整・文様				胎土含有物				胎土色		点数	1cm以上	重量(g)	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
									表面	裏面	上面	底面	長石	雲母	石英	他	表面	裏面						
0056	14	3930	001SX 3面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	6.6	1746	118	表面炭化物付着痕
0057	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	5YR 6/6 橙	1	1	6.2	1509	45	
0058	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	5.2	-	130	表面炭化物付着痕
0059	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		胴部	沈線・ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	3.6	-	133	
0060	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	鉢	後期		胴部下半	中型巻貝(ケズリ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	2.5YR 5/6 明赤褐	1	1	24.0	1635	62	
0061	14	3930	001SX-3 2面	第6群土器	鉢or浅鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝(ミガキ)	中型巻貝(ミガキ)			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	9.7	1341	24	
0062	14	3930	001SX-1 2面	第4群土器-B	鉢	後期		胴部	中型巻貝(ケズリ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	2.5Y 4/1 黄灰	1	1	7.1	1661	87	
0063	14	3930	001SX-1 2面一括	第4群土器-B	鉢	後期		口縁部	ナデ・ミガキ	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	3.9	-	150	
0064	14	3930	001SX-1 2面 052SK	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉	八王子式～西北出	口縁部～胴部	沈線区画内に縄文LR充填・ミガキ・装飾貼付	ナデ・オサエ	ナデ		○	○	○		10YR 7/6 明黄褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	117.9	1644,1757, 1774	71	
64に同封	14	3930	南北トレンチ 4層直上	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉	八王子式～西北出	口縁部～胴部	沈線区画内に縄文LR充填・ミガキ・装飾貼付	ナデ・オサエ	ナデ		○	○	○		10YR 7/6 明黄褐	10YR 7/6 明黄褐	1	1	82.6	089	283	
64に同封	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉	八王子式～西北出	胴部	沈線区画内に縄文l充填・ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 7/6 明黄褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	28.5	1659	85	
64に同封	14	3930	001SX- 3	第7群土器-A	深鉢	後期中葉	八王子式～西北出	口縁部	沈線区画内に縄文LR充填	ナデ・オサエ	ナデ		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	13.1	-	157	破断面圧痕あり
64に同封	14	3930	052SK	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉	八王子式～西北出	胴部	沈線区画内に縄文LR充填・ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 7/6 明黄褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	24.8	1752	192	
0065	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉以降		胴部	ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	12.9	1506	42	
65に同封	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉以降		胴部	ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	6.8	1505	41	
0066	14	3930	001SX-3 2面	第7群土器-B	注口土器	後期中葉		注口部	ナデ・粘土の貼付	ナデ・オサエ			○	○	○		2.5Y 6/3 にぶい黄	2.5Y 6/2 灰黄	1	1	100.5	1343	26	
0067	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		頸部	中型巻貝(ミガキ)	中型巻貝			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	68.6	1512	48	
0068	14	3930	001SX-1	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		頸部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 6/2 灰黄褐	10YR 6/2 灰黄褐	1	1	27.3	763	14	
0069	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	平行沈線区画内に縄文LR充填・ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	21.5	1633	61	
0070	14	3930	001SX-3 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文LR充填・ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 7/6 明黄褐	10YR 7/6 明黄褐	1	1	16.1	1392	30	
0071	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	縄文LR・沈線	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		10YR 6/2 灰黄褐	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	10.6	1653	80	表面炭化物付着痕
0072	14	3930	001SX-3	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	沈線・ナデ・ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	10.7	1110	21	
0073	14	3930	001SX-3 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	沈線・縄文RL・ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	7.2	1508	44	
0074	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	ミガキ(中型巻貝)	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	19.3	1690	110	
0075	14	3930	001SX-2 サブトレンチ	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉以降		胴部	ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	18.2	605	4	
0076	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	中型巻貝(ケズリ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	17.5	1650	77	
0077	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	中型巻貝(ミガキ)	中型巻貝(オサエ)			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	17.2	1645	72	
0078	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉以降		胴部	ナデ・ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 6/6 明黄褐	10YR 6/6 明黄褐	1	1	12.9	-	138	
0079	14	3930	001SX-1 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	中型巻貝(ミガキ)	ナデ・オサエ			○	○	○	赤色鉱物	10YR 5/3 にぶい黄褐	5YR 6/4 にぶい橙	1	1	9.9	1502	38	
0080	14	3930	001SX-3 2面	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉以降		胴部	中型巻貝(ミガキ)	中型巻貝・ ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	9.6	1396	34	
0081	14	3930	001SX-1 2面	第10群	深鉢	後期中葉		底部	中型巻貝	中型巻貝		編組製圧痕(ゴザ目)	○	○	○		2.5Y 6/2 灰黄	2.5Y 6/2 灰黄	1	1	76.4	1685	105	裏面に工具の圧痕
0082	14	3930	001SX-1 2面	第10群	深鉢	後期中葉		底部	中型巻貝・オサエ	ナデ・オサエ		ナデ	○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	58.4	1681	104	
0083	14	3930	001SX-1 001SX-1 2面	第10群	深鉢	後期中葉?		底部	ナデ・オサエ	ナデ・オサエ		編組製圧痕(ゴザ目)	○	○	○		5YR 7/6 橙	5YR 6/4 にぶい橙	1	1	36.6	751,1665	91	
0084	14	3930	001SX-1 2面	第10群	深鉢	後期		底部	ナデ	ナデ		編組製品圧痕(網代)	○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	25.0	1642	69	
0085	14	3930	001SX-1 2面	第10群	深鉢	後期		底部	ナデ・オサエ	ナデ		編組製品圧痕(ゴザ目)	○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 8/4 浅黄橙	1	1	20.6	1636	63	
0086	14	3930	001SX-1 2面	第10群	深鉢	後期		底部	ナデ・オサエ	ナデ・オサエ		編組製圧痕	○	○	○	赤色鉱物	10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	19.2	1663	89	
0087	14	3930	001SX-1 2面	第10群	壺or注口土器	後期中葉		底部	ナデ・ミガキ	ナデ		編組製品圧痕(網代)	○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	47.7	1510	46	
0088	14	3930	002SX	第4群土器-B	深鉢	後期?		口縁部	ナデ?	ナデ?	ナデ?・裏面に口縁部の折り返し		○	○	○		10YR 8/4 浅黄橙	10YR 8/4 浅黄橙	1	1	4.4	872	162	
0089	14	3930	005SX 2面	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	2.5Y 6/2 灰黄	1	1	8.2	-	166	
0090	14	3930	005SX	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		頸部	ナデ?	中型巻貝(ナデ)			○	○	○	赤色鉱物	10YR 8/4 浅黄橙	10YR 8/4 浅黄橙	1	1	8.3	1011	164	
0091	14	3930	008SK	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		2.5Y 6/3 にぶい黄	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	12.5	1740	170	
0092	14	3930	008SK	第10群	深鉢	後期		底部	ナデ	ナデ・オサエ		ナデ	○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	25.1	1732	168	
0093	14	3930	013SL	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝(ケズリ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		10YR 4/3 にぶい黄褐	10YR 3/2 黒褐	1	1	15.9	1812	172	
0094	14	3930	013SL	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	ナデ	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	10.3	1813	173	
0095	14	3930	013SL	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		10YR 5/1 褐灰	10YR 6/2 灰黄褐	1	1	10.4	1814	174	
0096	14	3930	017SK	第5群土器-B	深鉢	後期中葉～後葉		口縁部	巻貝条痕	巻貝条痕?	ナデ		○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	12.0	1115	178	
0097	14	3930	017SK	第10群	深鉢	後期		底部	ナデ	中型巻貝(ナデ)・オサエ		未調整	○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	35.0	1113	176	
0098	14	3930	017SK	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部下半	ナデ	中型巻貝(ナデ)・オサエ			○	○	○		10YR 7/2 にぶい黄橙	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	10.2	1114	177	
0099	14	3930	040SP	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	7.4	1743	179	
0100	14	3930	041SP	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	ナデ・ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 8/3 浅黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	11.8	1742	181	
0101	14	3930	043SI 直下	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	ナデ・中型巻貝	沈線・ナデ	中型巻貝		○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	4.8	1809	182	
0102	14	3930	043SI 直下周辺	第4群土器-A	深鉢	後期		胴部	沈線・ナデ	不明			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	5.3	-	184	
0103	14	3930	043SI 直下周辺	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		5YR 6/6 橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	4.2	-	185	裏面炭化物付着 AMS実施
0104	14	3930	046SK	第8群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		2.5YR 4/4 にぶい赤褐	2.5YR 4/4 にぶい赤褐	1	1	7.0	1683	188	
0105	14	3930	052SK 一括	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	沈線区画内に縄文l充填・中型巻貝	中型巻貝	ナデ		○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 4/1褐灰	1	1	7.7	-	218	
0106	14	3930	052SK 一括	第5群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	巻貝条痕	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	15.3	-	215	
0107	14	3930	052SK	第5群土器-B	深鉢	後期末		口縁部	半截竹管・巻貝条痕	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	8.1	1751	191	
0108	14	3930	001SX-1 2面 052SK	第10群	深鉢	後期中葉～後葉		底部	ナデ	ナデ・オサエ		編組製品圧痕(ゴザ目)	○	○	○	赤色鉱物	10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	61.1	1647, 1764,1772	202	
108に同封	14	3930	052SK	第4群土器-B	深鉢	後期中葉～後葉		胴部下半	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	14.2	1755	195	裏面炭化物付着
0109	14	3930	052SK	第4群土器-B	深鉢	後期中葉～後葉		胴部下半	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	22.1	1753	193	裏面炭化物付着 AMS実施
0110	14	3930	052SK	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝(ケズリ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	15.4	1763	201	

表 23-3　土器　掲載遺物一覧表（3）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	土器群別	器種	時期	型式名	部位	調整・文様				胎土含有物				胎土色		点数	1cm以上	重量(g)	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
									表面	裏面	上面	底面	長石	雲母	石英	他	表面	裏面						
0111	14	3930	052SK	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	13.8	1750	190	
0112	14	3930	052SK	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	13.2	1766	204	
0113	14	3930	052SK	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/3 にぶい褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	12.9	1754	194	表面炭化物付着痕
0114	14	3930	052SK	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 6/6 橙	1	1	9.4	1776	210	
0115	14	3930	052SK	第4群土器-B	鉢	後期中葉以降		胴部下半	中型巻貝(ケズリ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		2.5YR 5/6 明赤褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	41.3	206,1771	207	
0116	14	3930	052SK	第7群土器-B	注口土器	後期中葉		注口部	中型巻貝	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	99.6	1775	209	
0117	14	3930	052SK	第7群土器-A	注口土器	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文LR充填・ナデ・ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	10YR 7/6 明黄褐	1	1	35.9	1756,1769	196	
0118	14	3930	052SK	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部・注口部	沈線区画内に縄文LR充填・ナデ・ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	25.7	1761	199	
0119	14	3930	052SK	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文LR充填・ナデ・ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	7.7	1762	200	
0120	14	3930	052SK	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文LR充填・中型巻貝(ミガキ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	8.3	1765	203	
0121	14	3930	052SK	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	沈線・縄文l・ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	14.2	1785	211	
0122	14	3930	052SK	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	2.6	1805	212	
0123	14	3930	052SK	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		頸部	沈線・ナデ・ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 3/1 黒褐	7.5YR 4/1 褐灰	1	1	8.4	1759	197	
0124	14	3930	052SK	第10群	深鉢	後期中葉		底部	中型巻貝	ナデ・オサエ		編組製品圧痕(ゴザ目)	○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 4/4 褐	1	1	123.1	1773,1777,1804	208	
0125	14	4029	189SK 直下SP	第4群土器-A	深鉢	後期前葉～中葉		口縁部	平行する短沈線	ナデ	ヘラ状工具によるキザ		○	○	○		7.5YR 7/4 にぶい橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	6.7	341	221	
0126	14	3930	2層 3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	縄文RL・ナデ	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	24.6	132,196	299	
0127	14	3930	2層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	平行沈線・縄文l・ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	9.5	014	240	
0128	14	3930	2層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	平行沈線	ナデ?	ナデ?		○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	8.9	-	492	
0129	14	4030	2層	第5群土器-B	深鉢	後期末～晩期		胴部	櫛状工具による集合沈線・中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 6/2 灰黄褐	1	1	10.7	032	617	
0130	14	3930	2層(検出)	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	八王子式	胴部	沈線・縄文l・ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	7.6	003	229	
0131	14	3930	2層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線・縄文l・ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	5.7	-	509	
0132	14	3930	2層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文LR充填・ナデ・ミガキ	ナデ			○	○	○		7.5YR 7/4 にぶい橙	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	3.3	-	494	
0133	14	3930	2層 検出 2層	第5群土器-A	深鉢	後期末	伊川津2式	口縁部付近	櫛状工具(巻貝)・巻貝条痕	巻貝条痕・オサエ			○	○	○		7.5YR 4/2 灰褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	93.5	021	247	表面炭化物付着痕 AMS実施
0134	14	3930	2層(検出)	第5群土器-A	深鉢	後期末	伊川津2式	口縁部	櫛状工具による集合沈線（巻貝）	巻貝条痕	ナデ		○	○	○		5YR 6/6 橙	5YR 6/6 橙	1	1	19.5	-	457	
0135	14	3930	2層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴口縁部	中型巻貝	中型巻貝・ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	30.0	108	287	
0136	14	3930	2層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉～後葉		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	22.0	028	250	
0137	14	4030	2層	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		口縁部	巻貝条痕	巻貝条痕	ナデ		○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	8.4	-	630	
0138	14	3930	2層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部直下	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/6 明褐	1	1	8.2	-	496	
0139	14	4030	2層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	ナデ	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	6.7	030	251	
0140	14	3931	2層　一括	第4群土器-B	深鉢	後期		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ・口縁部折返し		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	5.9	-	604	
0141	14	3930	2層	第8群土器-A	深鉢	晩期?		口縁部	二枚貝条痕	ナデ	ナデ		○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	2.4	-	502	
0142	14	3930	表土掘削 2層(検出)	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	153.0	001	227	表面炭化物付着痕
0143	14	-	2層（表土掘削）	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	26.7	-	665	
0144	14	3930	2層	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝(ナデ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		5YR 6/6 橙	5YR 6/4 にぶい橙	1	1	9.7	008	234	
0145	14	3930	2層	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	8.8	011	237	裏面圧痕
0146	14	3930	2層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ・オサエ			○	○	○		5YR 5/6 明赤褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	9.4	019	245	
0147	14	3930	2層	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部下半	中型巻貝(ケズリ)	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	18.8	038	253	
0148	14	3930	2層	第8群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	二枚貝条痕			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 5/2 灰黄褐	1	1	30.5	091	284	
0149	14	3930	2層	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/3 にぶい褐	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	9.9	121	294	
0150	14	3930	2層	第8群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	17.5	133	300	
0151	14	3930	2層(検出)	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		口縁部	巻貝条痕	巻貝条痕	ナデ		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	11.4	-	458	
0152	14	3930	2層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		5YR 6/4 にぶい橙	5YR 6/4 にぶい橙	1	1	11.1	-	476	
0153	14	3930	2層	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	ナデ			○	○	○		5YR 6/4 にぶい橙	10YR 5/1 褐灰	1	1	9.4	-	478	
0154	14	3930	2層	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		7.5YR 7/3 にぶい橙	7.5YR 7/3 にぶい橙	1	1	5.4	-	485	
0155	14	3930	2層	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	9.1	-	500	
0156	14	3930	2層	第8群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	5.1	-	510	
0157	14	4030	2層	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	2.5Y 6/2 灰黄	1	1	14.0	033	618	
0158	14	4030	2層	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	8.3	034	619	
0159	14	4030	2層	第5群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	巻貝条痕?	ナデ			○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	6.5	040	620	
0160	14	4030	2層	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	7.6	044	621	
0161	14	4030	2層	第5群土器-B	深鉢	後期末～晩期		胴部	二枚貝条痕	中型巻貝			○	○	○		10YR 5/2 灰黄褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	5.7	-	622	表面炭化物付着痕
0162	14	4030	2層	第5群土器-B	深鉢	後期末～晩期		胴部	巻貝条痕	ナデ			○	○	○		5YR 6/4 にぶい橙	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	5.1	-	627	
0163	14	-	表土掘削	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 7/4 にぶい橙	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	9.1	-	663	裏面炭化物付着 AMS実施
0164	14	-	表土掘削	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		10YR 8/3 浅黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	11.3	-	664	
0165	14	-	2層(表土掘削)	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	19.3	-	667	

表 23-4　土器　掲載遺物一覧表（4）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	土器群別	器種	時期	型式名	部位	調整・文様				胎土含有物				胎土色		点数	1cm以上	重量(g)	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
									表面	裏面	上面	底面	長石	雲母	石英	他	表面	裏面						
0166	14	4030	2層(表土掘削)	第4群土器-B	鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○	赤色鉱物	5YR 4/3 にぶい赤褐	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	23.8	-	634	裏面炭化物付着痕
0167	14	3930	2層	第6群土器	鉢or浅鉢	後期～晩期		口縁部	中型巻貝	ナデ・ミガキ	ナデ		○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	12.4	130	298	
0168	14	3930	2層(検出)	第4群土器-A	鉢	後期～晩期		胴部	沈線・単沈線・ナデ	ナデ・ミガキ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	7.6	-	460	
0169	14	3930	2層	第5群土器-B	鉢	後期中葉～晩期		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	ナデ		○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	7.4	147	304	
0170	14	3930	2層	第4群土器-B	鉢	後期		胴部	中型巻貝(ミガキ)	中型巻貝(ミガキ)			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	4.6	006	232	
0171	14	-	2層(表土掘削)	第10群	深鉢	後期～晩期		底部	ナデ	ナデ		-	○	○	○		7.5YR 7/6 橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	74.1	-	668	
0172	14	3930	2層	第10群	鉢	後期		底部	ナデ・オサエ	ナデ		編組製品圧痕	○	○	○		5YR 6/6 橙	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	25.4	015	241	
0173	14	3930	2層	第10群	鉢	後期中葉		底部	中型巻貝	ナデ・ミガキ		編組製品圧痕(ゴザ目)	○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	37.0	111	288	
0174	14	3930	3層 集石付近	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文LR充填・ナデ	中型巻貝			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	8.3	-	562	
0175	14	3930	3層 集石付近	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝(ナデ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	12.7	-	565	表面炭化物付着痕
0176	14	3930	3層 集石付近	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	ナデ・ケズリ	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	8.6	265	398	
0177	14	3930	3層 集石付近	第4群土器-B	鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝	中型巻貝(ナデ)	ナデ		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	15.8	-	564	
0178	14	3930	3層 集石付近	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		口縁部	巻貝工具による刺突・沈線	ナデ	巻貝工具による刺突		○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	10.9	256	392	
0179	14	3930	3層 集石付近	第4群土器-A	鉢	後期中葉		胴部	沈線・縄文LR・中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	10.2	-	561	
0180	14	3930	3層 集石付近	第4群土器-A	鉢	後期中葉以降		胴部	沈線・縄文RL・中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	4.8	-	567	
0181	14	3930	3層 集石付近	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉以降		胴部	中型巻貝・ミガキ	ナデ			○	○	○		10YR 5/2 灰黄褐	10YR 6/2 灰黄褐	1	1	3.0	-	570	
0182	14	3930	3層 集石付近 3層	第10群	壺or注口土器	後期		底部	ナデ	ナデ・オサエ		不明	○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	40.2	264,323	397	表面圧痕
0183	14	3930	3層 集石付近	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	三本の平行沈線	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 7/6 橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	9.7	263	396	
0184	14	3930	3層 ベルト外し	第4群土器-A	深鉢	後期中葉以降		口縁部	平行沈線・縄文RL・中型巻貝	中型巻貝	ナデ		○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	14.0	334	447	
0185	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	沈線区画内に縄文LR充填	ナデ	ナデ		○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	5.7	166	319	
0186	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	八王子式	口縁部	弧状沈線・平行沈線・縄文RL	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	5YR 6/4 にぶい橙	1	1	5.3	301	429	
0187	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	沈線区画内に縄文l充填	ナデ	ナデ		○	○	○		7.5YR 7/4 にぶい橙	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	5.3	-	529	
0188	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	八王子式	口縁部	同心円文・巻貝工具による刺突	ナデ	ナデ		○	○	○		2.5Y 4/1 黄灰	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	4.3	294	421	
0189	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	沈線・縄文LR	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	3.3	-	532	
0190	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	沈線・縄文LR・ナデ	沈線・ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	3.2	273	406	
0191	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期前葉	堀之内1式併行か	胴部	沈線・縄文RL・中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 4/3 褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	14.6	197	340	
0192	14	3930	3層(検出)	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部直下	沈線・縄文LR・中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	9.0	-	464	
0193	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	沈線・縄文RL	ナデ	中型巻貝		○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	5.4	201	343	
0194	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	平行沈線内に縄文RL充填	中型巻貝			○	○	○		5YR 5/6 明赤褐	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	13.3	274	407	
0195	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文LR充填・ナデ	ナデ・ミガキ			○	○	○		2.5Y 4/1 黄灰	2.5Y 6/3 にぶい黄	1	1	10.3	292	420	
0196	14	3930	3層 一括	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	平行沈線	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	10YR 6/6 明黄褐	1	1	6.9	-	548	
0197	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文LR充填	中型巻貝			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	2.2	-	522	
0198	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	八王子式	胴部	平行沈線・縄文l	ナデ			○	○	○		2.5Y 5/2 暗灰黄	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	5.1	297	425	
0199	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線区画内に縄文r充填	中型巻貝	ナデ		○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	7.5YR 5/6 明褐	1	1	5.1	257	393	
0200	14	3930	3層	第4群土器-A	深鉢	後期		胴部	集合沈線	ナデ			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	3.3	-	525	
0201	14	3930	3層 一括	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線・ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	2.5	-	557	
0202	14	3930	3層 一括	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	平行沈線・縄文LR	不明			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	剥離	1	1	2.1	-	558	
0203	14	3930	3層 ベルト外し	第5群土器-A	深鉢	後期後葉	元住吉山II式	胴部	凹線(なでられている)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	27.2	331	445	
0204	14	3930	3層	第5群土器-A	深鉢	後期後葉	宮滝(古)式	胴部	凹線(なでられている)・巻貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	8.3	1124	455	
0205	14	3930	3層	第5群土器-A	深鉢	後期後葉	宮滝(新)式	口縁部直下	凹線(撫でられていない)	ナデ			○	○	○		5YR 4/4 にぶい赤褐	5YR 4/4 にぶい赤褐	1	1	7.6	209	351	
0206	14	3931	3層	第3群土器-B	深鉢	中期後半?		胴部	粘土の貼付・ナデ	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	10YR 6/2 灰黄褐	7.5YR 7/3 にぶい橙	1	1	10.5	1125	599	
0207	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	ナデ		○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	25.7	312	435	
0208	14	3930	3層 ベルト外し	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	ナデ		○	○	○		10YR 5/2 灰黄褐	10YR 5/2 灰黄褐	1	1	19.7	330	444	
0209	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		口縁部直下	ナデ	ナデ			○	○	○		5YR 5/6 明赤褐	5YR 5/6 明赤褐	1	1	17.7	320	441	
0210	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		口縁部	ナデ・ケズリ	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	5YR 7/6 橙	1	1	9.5	-	518	
0211	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	7.7	-	526	
0212	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		口縁部	ナデ	巻貝条痕	ナデ		○	○	○		5YR 5/6 明赤褐	5YR 5/6 明赤褐	1	1	7.7	227	366	
0213	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		5YR 6/6 橙	5YR 7/6 橙	1	1	7.7	283	416	
0214	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	6.8	277	411	
0215	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	6.8	-	517	
0216	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	6.1	278	412	
0217	14	3930	3層 検出	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		口縁部	ナデ・ケズリ	ナデ	ナデ		○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	5.1	153	307	
0218	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	ナデ		○	○	○		5YR 5/6 明赤褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	4.3	318	440	
0219	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	ナデ	中型巻貝	中型巻貝		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	3.6	-	540	
0220	14	3930	3層(検出)	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝	ナデ	ナデ		○	○	○		7.5YR 7/4 にぶい橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	6.4	-	466	

表 23-5　土器　掲載遺物一覧表（5）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	土器群別	器種	時期	型式名	部位	調整・文様				胎土含有物				胎土色		点数	1cm以上	重量(g)	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
									表面	裏面	上面	底面	長石	雲母	石英	他	表面	裏面						
0221	14	3930	3層(検出)	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ・内面に口縁で折返し		○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	6.0	-	469	
0222	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	ナデ		○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	2.5YR 4/4 にぶい赤褐	1	1	21.3	178,240,248	375	
0223	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	ナデ・ミガキ	中型巻貝	ナデ		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	13.1	192	335	
0224	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		口縁部	中型巻貝	中型巻貝	ナデ		○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	10.4	204	347	表面炭化物付着痕
0225	14	3930	3層	第8群土器-A	深鉢	晩期中葉	稲荷山式	口縁部	ナデ	ナデ	指による押圧		○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 4/1褐灰	1	1	7.8	141	302	
0226	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		口縁部直下	ナデ	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	14.2	232	370	
0227	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	15.2	296	424	
0228	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 8/2 灰白	10YR 8/2 灰白	1	1	10.4	281	414	
0229	14	3930	3層	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	17.4	282	415	
0230	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	5YR 6/6 橙	1	1	13.8	297	426	
0231	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 7/3 にぶい黄橙	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	23.6	307	431	
0232	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	ケズリ	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 5/2 灰黄褐	1	1	8.6	-	530	
0233	14	3930	3層	第5群土器-B	深鉢	後期末		胴部	巻貝条痕	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	5.6	-	531	
0234	14	3930	3層	第8群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 7/6 明黄褐	10YR 8/4 浅黄橙	1	1	6.2	-	537	
0235	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 5/2 灰褐	1	1	3.2	160	317	破断面圧痕
0236	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 4/2 灰黄褐	10YR 5/2 灰黄褐	1	1	18.4	167	320	
0237	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 4/1褐灰	10YR 4/2 灰黄褐	1	1	11.1	168	321	表面炭化物付着 AMS実施
0238	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ・ケズリ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	9.3	188	331	
0239	14	3930	3層	第8群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	15.1	195	338	
0240	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	中型巻貝(ケズリ)	中型巻貝			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	20.6	205	348	
0241	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝(ケズリ)	ナデ			○	○	○		10YR 4/1褐灰	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	5.9	216	358	
0242	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		7.5YR 4/3 褐	7.5YR 4/4 褐	1	1	6.5	222	363	
0243	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 4/3 褐	7.5YR 4/4 褐	1	1	7.1	224	365	
0244	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	ナデ・ケズリ	ナデ			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	12.0	254	390	
0245	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	2.5Y 6/3 にぶい黄	1	1	5.9	266	399	裏面炭化物付着 AMS実施
0246	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	5YR 6/6 橙	1	1	10.6	276	410	
0247	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	11.9	284	417	
0248	14	3930	3層	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	ナデ			○	○	○		7.5YR 7/6 橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	10.1	285	418	
0249	14	3930	3層 検出	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 5/2 灰黄褐	1	1	10.3	151	305	
0250	14	3930	3層 検出	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	12.8	153	309	
0251	14	3931	3層(検出)	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 4/1 褐灰	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	15.8	-	600	裏面炭化物付着痕
0252	14	4130	3層	第8群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		7.5YR 7/4 にぶい橙	10YR 3/1 黒褐	1	1	13.1	328	646	
0253	14	4030	3層	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	8.7	-	636	
0254	14	4030	3層	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	ナデ・ケズリ	中型巻貝			○	○	○		5YR 4/4 にぶい赤褐	5YR 4/4 にぶい赤褐	1	1	9.4	-	639	
0255	14	3930	3層(検出)	第5群土器-B	深鉢	後期中葉～後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		10YR 5/2 灰黄褐	10YR 6/2 灰黄褐	1	1	15.2	057	264	
0256	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	ナデ・ケズリ	ナデ			○	○	○		10YR 3/1 黒褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	24.0	177	324	表面炭化物付着痕 AMS実施
0257	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	7.5YR 5/6 明褐	1	1	18.1	203	346	
0258	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	5YR 5/6 明赤褐	1	1	6.2	228	367	
0259	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	ケズリ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	5YR 5/6 明赤褐	1	1	17.7	244	380	
0260	14	3930	3層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 5/2 灰褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	15.9	246	381	表面炭化物付着痕
0261	14	3930	3層 一括	第4群土器-B	鉢	後期中葉以降		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	5.9	-	555	
0262	14	3930	3層 一括	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		口縁部	細い工具による刺突列	粘土の貼付	ヘラ状工具によるキザミ目		○	○	○		10YR 8/4 浅黄橙	10YR 8/4 浅黄橙	1	1	3.6	-	550	
0263	14	3930	3層	第4群土器-A	鉢	後期中葉以降		口縁部直下	沈線・縄文LR	ナデ			○	○	○		5YR 5/6 明赤褐	5YR 5/6 明赤褐	1	1	4.4	229	368	
0264	14	3930	3層	第4群土器-A	鉢	後期中葉		胴部	沈線・ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	6.8	309	432	
0265	14	3930	3層 ベルト外し	第4群土器-B	鉢	後期～晩期		胴部	ケズリ	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 6/6 橙	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	20.6	333	446	
0266	14	3930	3層	第4群土器-B	鉢	後期～晩期		胴部	ケズリ	ナデ			○	○	○		2.5Y 6/2 灰黄	2.5Y 6/2 灰黄	1	1	15.7	291	419	裏面炭化物付着痕 AMS実施
0267	14	3930	3層	第4群土器-B	鉢	後期		胴部	ナデ	ナデ・ミガキ			○	○	○		7.5YR 7/6 橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	10.9	270	403	
0268	14	3930	3層	第4群土器-B	鉢	後期中葉以降		胴部	ナデ	ナデ・ミガキ			○	○	○		7.5YR 7/6 橙	5YR 7/6 橙	1	1	10.8	271	404	
0269	14	3930	3層	第6群土器	浅鉢	後期～晩期		胴部	ケズリ	ナデ・ミガキ			○	○	○		5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	9.7	267	400	
0270	14	3930	3層	第7群土器-B	注口土器	後期中葉		注口部	ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 8/4 浅黄橙	10YR 8/4 浅黄橙	1	1	57.2	310	433	
0271	14	3930	3層	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉	八王子式	口縁部	細い連続刺突のある沈線	中型巻貝	連続した刻み目		○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	10.5	181	327	
0272	14	3930	3層	第4群土器-C	深鉢装飾部	後期中葉		装飾部・胴部	ナデ・巻貝工具による刺突	ナデ			○	○	○		10YR 8/3 浅黄橙	装飾部の為裏は無し	1	1	14.8	235	372	
0273	14	3930	3層	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	貼付隆帯状に縄文LR・中型巻貝	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/6 橙	1	1	8.0	212	354	
0274	14	3930	3層	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉		胴部	沈線・縄文l・ナデ・ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	5.7	231	369	
0275	14	3930	3層	第10群	深鉢	後期		底部	中型巻貝	ナデ		未調整	○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	38.0	247	382	

表 23-6　土器　掲載遺物一覧表（6）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	土器群別	器種	時期	型式名	部位	調整・文様				胎土含有物				胎土色		点数	1cm以上	重量(g)	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
									表面	裏面	上面	底面	長石	雲母	石英	他	表面	裏面						
0276	14	3930	3層	第10群	深鉢	後期		底部	-	ナデ・オサエ		編組製品圧痕	○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	22.9	315	437	
0277	14	3930	3層	第10群	深鉢	後期		底部	不明	ナデ・オサエ		編組製品圧痕	○	○	○		5YR 6/6 橙	10YR 5/2 灰黄褐	1	1	3.3	-	538	
0278	14	3930	3層	第4群土器-B	加工円盤	後期中葉		胴部	中型巻貝	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 7/2 にぶい黄橙	10YR 6/1 褐灰	1	1	4.7	-	546	
0279	14	3930	4層(検出)	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝(ナデ)	ナデ	ナデ		○	○	○		5YR 7/4 にぶい橙	5YR 7/4 にぶい橙	1	1	7.2	-	472	
0280	14	3930	4層	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	ナデ	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		10YR 5/1 褐灰	10YR 5/1 褐灰	1	1	8.0	-	560	表面炭化物付着 AMS実施
0281	14	3930	4層(検出)	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉以降		胴部	中型巻貝(ナデ)	中型巻貝(ナデ)			○	○	○		10YR 6/2 灰黄褐	10YR 6/2 灰黄褐	1	1	9.3	-	471	
0282	14	4030	サブトレンチ	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		口縁部	巻貝条痕	巻貝条痕	巻貝条痕		○	○	○		7.5YR 7/6 橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	19.3	-	640	
0283	14	3930	サブトレンチ	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	8.4	-	588	
0284	14	4030	サブトレンチ	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕・ナデ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/2 灰褐	1	1	72.5	-	635	表面裏面炭化物付着 AMS実施
0285	14	4030	サブトレンチ	第5群土器-A	深鉢	後期後葉	宮滝(新)式・伊川津1式	口縁部	凹線(撫でられていない)・巻貝条痕	巻貝条痕・ナデ	巻貝条痕		○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	38.0	-	641	表面炭化物付着痕
0286	14	-	北西ベルト清掃	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		10YR 6/2 灰黄褐	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	3.2	-	656	
0287	14	4332	壁清掃	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	5YR 7/6 橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	6.3	-	654	
0288	14	4133	ベルト壁 清掃	第3群土器-B	深鉢	中期後半	島崎Ⅲ式以降	口縁部直下	粘土の貼り付け	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	10YR 6/3 にぶい黄橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	37.0	-	651	
0289	14	3830	北壁際トレンチ	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		口縁部	巻貝条痕	ナデ	ナデ		○	○	○		5YR 6/6 橙	5YR 4/1褐灰	1	1	17.5	055	224	補修孔あり
0290	14	3930	南北トレンチ	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		7.5YR 7/6 橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	7.0	-	592	
0291	14	3930	南北トレンチ	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		口縁部	中型巻貝	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 8/4 浅黄橙	1	1	6.3	-	596	
0292	14	3930	南北トレンチ	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	6.2	-	594	
0293	14	3930	南北トレンチ	第4群土器-B	深鉢	後期中葉～後葉		胴部	巻貝条痕	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	8.9	046	256	
0294	14	3930	南北トレンチ	第10群	深鉢	後期		底部	中型巻貝	ナデ・オサエ		木葉痕	○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	26.6	062	267	
0295	14	3930	南北トレンチ	第4群土器-B	深鉢	後期中葉以降		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	19.8	074	273	表面炭化物付着痕
0296	14	3930	南北トレンチ	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝	中型巻貝			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/6 明黄褐	1	1	17.7	077	276	
0297	14	3930	南北トレンチ	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		2.5YR 6/6 橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	15.7	080	277	
0298	14	3930	南北トレンチ	第4群土器-A	鉢	後期		胴部	沈線・縄文LR	ナデ			○	○	○		10YR 5/2 灰黄褐	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	8.5	067	268	
0299	14	3930	南北トレンチ	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉以降		胴部	ナデ・ミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 5/5 にぶい褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	16.9	047	257	
0300	14	3930	南北トレンチ	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉以降		胴部	ナデ・ミガキ	中型巻貝・オサエ			○	○	○		10YR 5/2 灰黄褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	11.8	069	269	
0301	14	3930	北西端 東西ベルト1	第3群土器-A	深鉢	中期初頭		胴部	平行沈線・ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	11.7	-	576	
0302	14	3930	北西端 東西ベルト1	第3群土器-A	深鉢	中期初頭		胴部	平行沈線・ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	4.9	-	578	
0303	14	3931	北西端 東西ベルト1	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	八王子式	胴部	平行沈線・縄文LR	ナデ			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	14.8	1121	598	
0304	14	3930	東西ベルト2外し	第4群土器-A	深鉢	後期中葉	堀之内2式併行?	口縁部	弧状沈線	中型巻貝	ナデ		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	14.8	-	582	
304に同封	14	3930	東西ベルト2外し	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	不明	中型巻貝			○	○	○		剥離	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	5.7	-	583	
304に同封	14	3930	東西ベルト2外し	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	沈線	中型巻貝			○	○	○		10YR 3/1 黒褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	3.6	-	584	
304に同封	14	3930	東西ベルト2外し	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		胴部	不明	中型巻貝			○	○	○		剥離	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	3.3	-	585	
0305	14	3930	東西ベルト2外し	第4群土器-A	深鉢	後期		胴部	沈線・中型巻貝	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	5.6	-	586	表面炭化物付着痕
0306	14	-	北壁清掃一括	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	6.1	-	657	
0307	14	4030	ベルト廃土	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		5YR 6/6 橙	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	8.0	-	645	
0308	14	-	排土	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○		5YR 6/6 橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	36.4	-	659	表面炭化物付着痕
0309	19B	3828	081NR	第5群土器-B	深鉢	後期後葉		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		10YR 6/6 明黄褐	10YR 6/6 明黄褐	1	1	9.4	0352	1023	
0310	19B	3728	081NR	第5群土器-B	深鉢	後期		胴部	巻貝条痕	巻貝条痕			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	10YR 6/6 明黄褐	1	1	6.2	0389	1034	
0311	19B	3729	081NR	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	条痕?	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	7.5YR 6/3 にぶい褐	1	1	15.6	0066	1003	
0312	19B	3829	081NR	第8群土器-B	浅鉢	晩期末～弥生前期		口縁部	太い凹線状の凹みによる細い浮文	ナデ	ナデ・ミガキ		○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	7.5YR 4/2 灰褐	1	1	9.3	0350	1077	表面上面赤彩
0313	19B	-	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		口縁部	二枚貝条痕	ナデ	ナデ		○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	8.2	-	1085	
0314	19B	3829	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期後半	五貫森式	口縁部直下	二枚貝条痕・ケズリ	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	105.8	0355	1025	
0315	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期後半～弥生前期		口縁部直下	条痕	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	10YR 7/6 明黄褐	1	1	12.9	0382	1029	
0316	19B	3729	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期後半～弥生前期		口縁部	二枚貝条痕	ケズリ	ナデ		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	12.6	0395	1037	
0317	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	弥生前期		胴部	二枚貝条痕	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 3/4 暗褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	29.1	0332	1012	表面炭化物付着痕 AMS実施
317に同封	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	弥生前期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	10YR 4/4 褐	7.5YR 6/6 橙	1	1	12.0	0331	1011	
317に同封	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	弥生前期		胴部									10YR 5/6 黄褐	10YR 4/4 褐	1	1	1.0	0356	1026	
317に同封	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	弥生前期		胴部～底部	二枚貝条痕	ナデ・オサエ		ナデ	○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	688.6	0331,0356,0357	1027	表面炭化物付着 AMS実施
0318	19B	3628	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	9.1	0078	1007	表面炭化物付着痕
0319	19B	3727	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕・ナデ・オサエ	ナデ		未調整・圧痕	○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	169.4	0330	1010	裏面炭化物付着痕
0320	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部下半	条痕・ケズリ	ナデ			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 5/2 灰黄褐	1	1	36.0	0336	1013	裏面炭化物付着 AMS実施
0321	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 6/6 明黄褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	12.7	0340	1016	裏面炭化物付着痕
0322	19B	3828	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 4/4 褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	21.0	0353	1024	表面炭化物付着痕 AMS実施
0323	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	8.8	0383	1030	表面炭化物付着 AMS実施
0324	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	8.6	0387	1032	裏面炭化物付着痕
0325	19B	3729	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	16.7	0419	1056	表面裏面炭化物付着痕
0326	19B	3729	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	条痕・ケズリ	ナデ			○	○	○		10YR 4/2 灰黄褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	17.6	0421	1058	表面炭化物付着 AMS実施
0327	19B	3729	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	条痕			○	○	○		10YR 4/4 褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	15.3	0424	1061	表面炭化物付着痕
0328	19B	3729	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 4/2 灰黄褐	10YR 3/2 黒褐	1	1	11.2	0425	1062	
0329	19B	3729	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 5/6 黄褐	1	1	17.8	0427	1063	裏面炭化物付着痕
0330	19B	3829	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	15.3	0432,0438	1068	

表 23-7　土器　掲載遺物一覧表（7）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	土器群別	器種	時期	型式名	部位	調整・文様				胎土含有物				胎土色		点数	1cm以上	重量(g)	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
									表面	裏面	上面	底面	長石	雲母	石英	他	表面	裏面						
0331	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期～弥生前期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	7.8	0343	1018	
0332	19B	3627	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期～弥生前期		胴部	ケズリ	ナデ			○	○	○		2.5Y 6/4 にぶい黄	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	26.5	0019	1001	
0333	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期～弥生前期		胴部	ケズリ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	7.5YR 2/1 黒	1	1	9.9	0071	1005	裏面炭化物付着 AMS実施
0334	19B	3728	081NR	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部下半	ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	15.3	0384	1031	
0335	19B	3729	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部下半	ナデ・ケズリ	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 6/6 橙	2.5Y 6/4 にぶい黄	1	1	24.2	0401	1041	
0336	19B	3729	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	10YR 6/6 明黄褐	1	1	9.3	0411,0431	1049	
0337	19B	3729	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	ケズリ	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 6/3 にぶい褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	9.3	0412	1050	
0338	19B	3729	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	ケズリ	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	13.1	0414	1051	
0339	19B	3729	081NR	第８群土器-C	壺	弥生中期前半		口縁部	貼付突帯・二枚貝条痕	ナデ	ヘラ状工具によるキザミ		○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	16.5	0420	1057	
0340	19B	3829	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期～弥生前期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	10YR 7/6 明黄褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	7.4	0431	1066	
0341	19B	3829	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	6.4	0435	1071	
0342	19B	3829	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	ナデ	二枚貝条痕			○	○	○		10YR 4/3 にぶい黄褐	5YR 5/3 にぶい赤褐	1	1	7.2	0436	1072	
0343	19B	3829	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/3 にぶい黄橙	1	1	4.4	0439	1075	
0344	19B	-	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	条痕・ケズリ	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	8.5	-	1079	
0345	19B	-	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	条痕・ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	15.6	-	1082	
0346	19B	-	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	2.5Y 6/4 にぶい黄	1	1	12.0	-	1083	
0347	19B	-	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		口縁部	ナデ	条痕	ナデ・オサエ		○	○	○		7.5YR 7/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	10.3	-	1084	
0348	19B	-	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	16.0	-	1086	
0349	19B	-	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期		胴部	二枚貝条痕	ナデ			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	12.6	-	1089	表面炭化物付着 AMS実施
0350	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	弥生前期	樫王式	口縁部	二又工具による条痕	ナデ・オサエ	ナデ		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	18.3	0069	1004	
0351	19B	-	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期～弥生前期		口縁部	二又工具による条痕	ナデ	ナデ		○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	5.2	-	1087	
0352	19B	-	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期～弥生前期		口縁部	二又工具による条痕	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	2.9	-	1091	
0353	19B	3829	081NR	第８群土器-A	鉢	晩期		口縁部	ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	7.8	0434	1070	
0354	19B	3729	081NR	第6群土器	鉢or浅鉢	晩期	黒色磨研	口縁部	ケズリ・ナデ	ナデ			○	○	○		2.5Y 4/2 暗灰黄	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	16.0	0398	1039	
0355	19B	-	081NR	第6群土器	鉢or浅鉢	晩期		口縁部	ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ		○	○	○	赤色鉱物	10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	12.4	-	1081	
0356	19B	3829	081NR	第８群土器-A	鉢	晩期		胴部	ナデ・ミガキ	ナデ			○	○	○		10YR 6/6 明黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	8.8	0440	1076	
0357	19B	3729	081NR	第6群土器	鉢or浅鉢	晩期	黒色磨研	胴部	ケズリ・ミガキ	ナデ			○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	7.0	0405	1045	表面炭化物付着痕
0358	19B	3829	081NR	第8群土器-C	壺	弥生前期	水神平式	口縁部	袋状突帯・条痕	ナデ・オサエ	ナデ・オサエ		○	○	○	赤色鉱物	10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	22.7	0430	1065	
0359	19B	3828	081NR	第10群	深鉢	晩期		底部	二枚貝条痕	条痕・ナデ		ナデ	○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	49.6	0225	1009	裏面炭化物付着痕
0360	19B	3728	081NR	第８群土器-A	深鉢	晩期後半		胴部～底部	ナデ・ケズリ	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 5/6 明褐	1	1	17.3	0339	1015	
0361	19B	3629	085SK	第８群土器-A	深鉢	晩期		頸部～胴部	ナデ・ケズリ	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	8.5	0026	1093	
0362	19B	3630	093SK	第11群	甕	弥生中期～後期		胴部	ハケ	ハケ			○	○	○		10YR 4/2 灰黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	4.3	-	1099	
0363	19B	3630	093SK	第11群	壺	弥生後期		口縁部～頸部	ハケ	ハケ	ナデ		○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	45.8	0024	1094	表面炭化物付着痕 AMS実施
0364	19B	3630	093SK	第11群	壺	弥生後期		胴部～底部	ナデ	ナデ・オサエ			○		○		10YR 8/4 浅黄橙	10YR 8/3 浅黄橙	1	1	15.8	0025	1095	
0365	19B	3630	093SK	第11群	壺	弥生後期		底部	ナデ	ナデ・オサエ	ナデ		○	○	○		10YR 8/6 黄橙	10YR 8/4 浅黄橙	1	1	43.2	0031,0032	1098	
0366	19B	3630	093SK	第11群	高杯器台	弥生後期		脚部	タテミガキ	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 7/6 橙	7.5YR 7/6 橙	1	1	94.7	0027	1096	
0367	19B	3628	包含層	第1群土器-D	深鉢	早期前半	黄島式	胴部下半	楕円押型文(ポジティブ)	ナデ			○	○	○	繊維	10YR 7/3 にぶい黄橙	2.5Y 5/3 黄褐	1	1	23.4	0011	1183	表面炭化物付着痕
0368	19B	-	南側谷	第7群土器-A	壺or注口土器	後期中葉以降		胴部	沈線・ナデ・ミガキ	ナデ			○	○	○		10YR 5/2 灰黄褐	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	22.1		1188	
0369	19C	3234	1211SK	第1群土器-A	深鉢	早期初頭		胴部	押捺縄文	ナデ			○	○	○	繊維	7.5YR 7/6 橙	7.5YR 4/3 褐	1	1	1.9	-	1101	
0370	19C	3432	1442SK	第1群土器-E	深鉢	早期前半		口縁部	撚糸文	ナデ・オサエ	ナデ		○	○	○		7.5YR 4/2 灰褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	7.8	0116	1102	表面炭化物付着痕
0371	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	35.7	0165,0166	1103	
0372	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	口縁部	ネガティブ押型文	ナデ	ヘラ状工具による刺突列		○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	11.0	0172	1108	
0373	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文・ナデ	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	5.8	0170	1107	
0374	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文・ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	4.9	0167	1104	裏面炭化物付着痕
0375	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 6/3 にぶい褐	1	1	13.4	0168	1105	表面炭化物付着痕
0376	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	3.3	0169	1106	
0377	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 3/2 黒褐	1	1	4.5	0174	1109	裏面炭化物付着痕
0378	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	7.5	0175	1110	
0379	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	5.3	0180	1112	
0380	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期初頭		胴部	ネガティブ押型文?	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	4.5	0191	1113	
0381	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	10.3	0192	1114	
0382	19C	3233	1527SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		10YR 3/2 黒褐	2.5Y 5/3 黄褐	1	1	4.3	0193	1115	
0383	19C	3333	1536SX	第1群土器-B	深鉢	早期前半		胴部	撚糸文	ナデ			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	2.5Y 4/3 オリーブ褐	1	1	3.3	0196	1116	
0384	19C	3134	1126SK・1127SK	第4群土器-A	深鉢	後期中葉		口縁部	平行沈線・縄文l・ナデ	ナデ	ナデ		○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	10.6	-	1100	
0385	19C	3333	にぶい黄褐色土	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		5YR 5/6 明赤褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	1.7	0099	1176	

表 23-8　土器　掲載遺物一覧表（8）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	土器群別	器種	時期	型式名	部位	調整・文様				胎土含有物				胎土色		点数	1cm以上	重量(g)	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
									表面	裏面	上面	底面	長石	雲母	石英	他	表面	裏面						
0386	19C	3333	にぶい黄褐色土	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		5YR 5/4 にぶい赤褐	5YR 5/3 にぶい赤褐	1	1	2.2	0100	1177	
0387	19A	3731	2067SK	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	ケズリ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	7.5YR 6/6 橙	1	1	1.7	-	1119	
0388	19A	3830	2273SS	第4群土器-B	深鉢	後期前葉～中葉		胴部	中型巻貝	ナデ			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	5YR 6/6 橙	1	1	9.2	-	1194	
0389	19A	3733	2114SK	第6群土器	浅鉢	晩期	橿原式	胴部	集合沈線・斜行沈線	ナデ			○	○	○		10YR 4/2 灰黄褐	10YR 6/6 明黄褐	1	1	7.9	-	1120	
0390	19Ab	3436	2301SK・2302SK	第4群土器-B	深鉢	後期～晩期		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	7.5YR 5/6 明褐	1	1	16.5	-	1124	
0391	19A	3634	2016	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	4.6	0118	1118	表面炭化物付着痕
0392	19Ab	3633	2424	第1群土器-B	深鉢	早期前半		胴部	ネガティブ押型文?	ナデ?			○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	7.5YR 5/6 明褐	1	1	1.8	0519	1134	
0393	19A	3735	2127SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		10YR 3/3 暗褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	45.3	0989	1121	表面炭化物付着多
0394	19A	3735	2448SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		10YR 2/2 黒褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	27.4	0552	1137	表面炭化物付着 AMS実施
0395	19A	3735	2448SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文・ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 5/4 にぶい黄褐	7.5YR 4/1 褐灰	1	1	21.0	0558	1138	裏面炭化物付着 AMS実施
0396	19Ab	3336	2296SK	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	15.2	0529	1123	
0397	19Ab	3436	2317SK	第1群土器-B	深鉢	早期前半		口縁部直下	ナデ	ネガティブ押型文	不明		○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	5.9	-	1125	
0398	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-F	深鉢	早期前半	大川式	口縁部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ	ネガティブ押型文		○	○	○	繊維	7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	186.5	0276,0783	1170	穿孔あり
398に同封	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-F	深鉢	早期前半		胴部	押型文?	ナデ			○	○	○				1	1	4.5	0282	1145	1142（欠番）と接合
398に同封	19Ab	3435	2324SK	第1群土器-F	深鉢	早期前半		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○	繊維			1	1	3.0	-	1196	
0399	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-F	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ			○	○	○	繊維	7.5YR 5/6 明褐	7.5YR 4/3 褐	1	1	7.3	0679	1163	
0400	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-F	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ			○	○	○	繊維	7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 4/3 褐	1	1	4.4	0676	1161	
0401	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-F	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ			○	○	○	繊維	7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 4/3 にぶい黄褐	1	1	1.3	0678	1162	
0402	19Ab	3536	2325SK	第2群土器	深鉢	早期後半		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○	繊維	7.5YR 5/4 にぶい褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	6.7	-	1126	
0403	19Ab	3435	2326SZ	第1群土器-B	深鉢	早期前半		胴部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 4/2 灰褐	2.5Y 5/3 黄褐	1	1	8.0	-	1127	
0404	19A	3735	2400SI	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		7.5YR 2/1 黒	10YR 3/2 黒褐	1	1	4.8	0551	1129	表面炭化物付着 AMS実施
0405	19A	3734	2400SI	第1群土器-C	深鉢	早期前半		胴部	ネガティブ押型文	ナデ?			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	2.4	0555	1130	表面炭化物付着痕
0406	19A	3734	2400SI	第1群土器-A	深鉢	早期前半?		胴部	不明	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	19.3	0557	1131	
0407	19A	3734	2400SI	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 5/2 灰褐	1	1	6.5	0559	1132	
0408	19Ab	3336	2429SK	第1群土器-A	深鉢	早期初頭～前半		口縁部～底部	縄文LRL・ナデ	縄文LRL・ナデ			○	○	○		10YR 6/4 にぶい黄橙	10YR 6/3 にぶい黄橙	1	1	1128.7	0618～0629, 0758～0782, 0784～0789, 0795～801, 803,805～ 807,809,815	1202	表裏縄文 表面裏面炭化物付着痕 AMS実施
0409	19A	3534	2445SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文・ナデ	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	3.1	0863	1135	
0410	19A	3534	2445SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文・ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 4/3 褐	1	1	1.7	0982	1136	
0411	19A	3534	2445SL	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文・ナデ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/4 にぶい褐	7.5YR 4/2 灰褐	1	1	1.6	0863	1193	
0412	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-B	深鉢	早期前半		胴部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	7.5YR 6/6 橙	1	1	9.7	0264	1140	
0413	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		5YR 5/6 明赤褐	5YR 5/6 明赤褐	1	1	1.2	0284	1146	
0414	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	3.2	0681	1164	
0415	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	6.0	0498	1150	
0416	19Ab	3633	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 4/2 灰褐	7.5YR 4/4 褐	1	1	1.3	0518	1153	
0417	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		7.5YR 4/3 褐	10YR 5/6 黄褐	1	1	6.9	0652	1155	
0418	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-B	深鉢	早期前半		胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	1.9	0675	1160	
0419	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○	赤色鉱物	5YR 5/4 にぶい赤褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	3.6	0683	1165	
0420	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ?			○	○	○	赤色鉱物	5YR 5/4 にぶい赤褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	2.3	0702	1169	
0421	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	7.5YR 5/3 にぶい褐	1	1	1.2	0874	1171	
0422	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-C	深鉢	早期前半		胴部	山形押型文	ナデ			○	○	○		10YR 3/2 黒褐	10YR 5/4 にぶい黄褐	1	1	4.6	0290	1147	
0423	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-E	深鉢	早期前半		胴部	撚糸文	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 6/3 にぶい黄橙	10YR 5/2 灰黄褐	1	1	5.6	0487	1149	
0424	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-A	深鉢	早期前半		胴部	縄文?	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/6 明褐	7.5YR 5/2 灰褐	1	1	2.0	0272	1141	
0425	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-G	深鉢	早期前半		胴部	条痕?	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 5/3 にぶい黄褐	10YR 4/3 にぶい黄褐	1	1	6.4	0277	1143	
0426	19Ab	3436	2500SX	第1群土器-E	深鉢	早期前半		胴部	撚糸文	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	1.2	0670	1159	
0427	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-G	深鉢	早期前半		口縁部直下	微隆起線・ナデ?	ナデ			○	○	○		10YR 7/4 にぶい黄橙	10YR 7/4 にぶい黄橙	1	1	5.9	0691	1168	
0428	19Ab	3435	2500SX　にぶい黄褐色土	第1群土器-A	深鉢	早期初頭		口縁部	縄文LRL	縄文LRL	縄文による押圧		○	○	○		10YR 4/3 にぶい黄褐	10YR 4/2 灰黄褐	1	1	18.6	0262	1139	表裏縄文
0429	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-G	深鉢	早期前半		口縁部	ナデ	ナデ・オサエ			○	○	○	繊維	10YR 4/2 灰黄褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	6.4	0278	1144	表面炭化物付着痕 AMS実施
0430	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	第1群土器-G	深鉢	早期前半?		胴部	ナデ	ナデ			○	○	○		10YR 4/2 灰黄褐	2.5Y 6/4 にぶい黄	1	1	19.0	0483	1148	
0431	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-G	深鉢	早期前半		胴部	ナデ?	ナデ	びさ		○	○	○		7.5YR 7/4 にぶい橙	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	5.1	0689	1167	
0432	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	第1群土器-G	深鉢	早期前半?		口縁部直下	剥落	ナデ・オサエ			○	○	○	赤色鉱物	10YR 6/3 にぶい黄橙	7.5YR 7/4 にぶい橙	1	1	4.8	0504	1152	
0433	19Ab	3537	検出	第4群土器-B	深鉢	後期以降		胴部	ケズリ	ナデ			○	○	○		5YR 5/6 明赤褐	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	6.2	-	1182	
0434	19A	395320	検出	第4群土器-B	深鉢	後期以降		胴部	条痕	ナデ			○	○	○		7.5YR 6/4 にぶい橙	10YR 6/4 にぶい黄橙	1	1	6.6	0148	1187	
0435	19Ab	3436	検出	第4群土器-A	深鉢	後期		胴部	沈線・縄文LR	ナデ			○	○	○		5YR 5/6 明赤褐	5YR 5/4 にぶい赤褐	1	1	2.0	-	1181	
0436	19A	3433	検出1	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 4/2 灰黄褐	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	5.3	0948	1179	
0437	19A	3433	検出1	第1群土器-B	深鉢	早期前半	大川式	胴部	ネガティブ押型文	ナデ・オサエ			○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 4/3 褐	7.5YR 5/4 にぶい褐	1	1	2.4	0949	1180	
0438	19Ab	3336	検出	第1群土器-A	深鉢	早期初頭		胴部	縄文RL	ナデ・オサエ			○	○	○		10YR 4/3 にぶい黄褐	10YR 5/3 にぶい黄褐	1	1	5.2	0212	1178	
0439	19A	-	表土掘削	第4群土器-B	深鉢	後期		胴部	ナデ・ミガキ	ナデ			○	○	○		7.5YR 5/3 にぶい褐	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	14.0	-	1191	表面裏面炭化物付着痕
0440	19A	-	表土掘削	第10群	深鉢	後期		底部	-	ナデ		編組製品圧痕	○	○	○	赤色鉱物	7.5YR 6/6 橙	7.5YR 6/4 にぶい橙	1	1	52.7	-	1190	

表 24-1 石器 掲載遺物一覧表（1）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	法量(cm)			重さ(g)	石材	器種	分類	残存状況	被熱	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
				長さ	幅	厚さ									
1001	14	3930	001SX-1(2面)	11.3	5.0	2.4	145.7	安山岩E	打製石斧	撥形	完形		1631	28	
1002	14	3930	004SX	8.1	5.8	2.1	160.1	安山岩D	打製石斧	短冊形			0319	39	
1003	14	3930	043SI 直下	8.6	7.0	2.0	92.8	安山岩B	スクレイパー				1680	60	
1004	14	3930	052SK	32.0	26.5	7.7	10400.0	花こう岩	石皿台石類	台石		○	1778	66	金床石
1005	14	3930	2層	2.4	1.2	0.2	0.5	黒曜石	石鏃	無茎、凹基	脚部欠		0105	82	
1006	14	3931	2層　一括	1.3	0.9	0.2	0.3	安山岩B	石鏃		先端部のみ		-	142	
1007	14	4030	2層	14.7	6.2	2.0	231.8	安山岩B	打製石斧	短冊型	完形		0041	153	
1008	14	3930	2層	11.1	4.0	3.1	129.8	安山岩D	打製石斧	短冊形	完形		0098	80	
1009	14	3931	表土掘削（2層）	8.8	3.9	2.0	82.3	安山岩B	打製石斧	短冊形			-	141	
1010	14	3930	3層	10.3	5.8	2.6	119.3	安山岩B	打製石斧	撥形			0163	94	
1011	14	3930	3層	4.0	3.1	0.6	7.1	塩基性岩	磨製石斧		一部のみ		0302	109	
1012	14	3930	4層	11.1	4.9	2.0	98.5	安山岩D	打製石斧	撥形			1817	115	
1013	14	4332	壁際トレンチ	11.7	6.0	3.1	183.9	安山岩B	二次加工のある剥片	打製石斧に対応			0896	168	
1014	14	-	排土	9.0	4.4	1.5	85.9	安山岩B	打製石斧	短冊形			-	175	
1015	14	-	排土	10.0	8.5	4.4	310.7	安山岩B	石核				-	176	
1016	19B	3628	081NR	7.4	3.4	0.8	21.5	安山岩B	スクレイパー		完形		0077	1013	
1017	19B	3729	081NR	2.4	1.3	0.6	1.6	黒曜石	スクレイパー				0428	1037	
1018	19B	3728	081NR	10.5	5.4	2.6	170.5	安山岩B	打製石斧	撥形	完形		0072	1010	
1019	19B	3628	081NR	9.4	5.3	1.6	93.0	安山岩B	打製石斧	撥形	完形		0083	1016	
1020	19B	3728	081NR	9.8	4.6	1.9	97.0	安山岩B	打製石斧	撥形	完形		0334	1018	
1021	19B	3729	081NR	8.2	5.0	1.7	66.9	安山岩B	打製石斧	分銅形	基部欠		0335	1019	
1022	19B	3729	081NR	9.3	8.2	2.0	147.3	安山岩B	打製石斧	撥形	刃部のみ		0399	1032	使用痕明瞭
1023	19B	3728	081NR	6.9	4.6	2.2	69.4	安山岩E	打製石斧	短冊形	刃部のみ		0385	1026	使用痕明瞭
1024	19B	3729	081NR	11.6	6.7	5.0	271.3	安山岩E	二次加工のある剥片	打製石斧製作途上			0397	1031	
1025	19B	3729	081NR	7.5	5.4	2.6	102.3	安山岩E	二次加工のある剥片	打製石斧製作途上			0441	1038	
1026	19B	3829	081NR	8.8	4.0	2.4	74.2	砂質凝灰岩	二次加工のある剥片	打製石斧製作途上			0351	1023	
1027	19B	3629	検出	11.3	4.3	2.0	125.7	凝灰岩	礫器				0021	1821	
1028	19B	3529	⑤トレンチ	6.1	0.4	1.2	31.2	安山岩B	二次加工のある剥片	尖頭器の製作途上?			-	1804	
1029	19B	3132	表土	16.8	16.6	5.3	2241.8	片麻岩	石皿台石類	台石			-	1743	
1030	19C	3134	1015SK	3.6	3.4	1.1	11.2	オパール?	使用痕のある小型剥片		完形		0086	1065	
1031	19C	3133	1050SP	7.0	5.1	3.4	121.7	安山岩B	石核				-	1070	
1032	19C	3134	1089SK	6.5	3.8	1.9	38.4	安山岩D	二次加工のある剥片	打製石斧製作途上			-	1071	
1033	19C	3234	1100SP	4.5	2.4	1.0	11.2	凝灰岩	二次加工のある小型剥片				-	1072	
1034	19C	3333	1228SK	8.1	5.3	4.4	192.3	安山岩B	二次加工のある剥片	打製石斧製作途上			-	1099	
1035	19C	3233	1527SL	4.0	2.4	1.7	17.7	溶結凝灰岩	小型石核				0177	1124	
1036	19C	3433	1700SI	11.0	8.8	6.1	635.2	安山岩B	礫器				0181	1139	
1037	19C	3433	1720SI	2.2	1.9	1.2	3.7	黒曜石	小型石核				0206	1147	
1038	19C	3433	1730SI	11.0	7.8	7.1	765.2	花こう岩	磨石敲石類	磨石+敲石、楕円形		○	0231	1153	
1039	19C	3433	1730SI	1.8	1.5	0.3	0.7	溶結凝灰岩	二次加工のある小型剥片	石鏃製作途上			0234	1155	
1040	19C	3233	検出	2.8	2.3	0.9	5.4	黒曜石	二次加工のある小型剥片	石鏃製作途上		○	0091	1746	
1041	19C	3134	にぶい黄褐色土	1.5	1.0	0.3	0.6	黒曜石	小型剥片				0117	1744	
1042	19C	3333	にぶい黄褐色土	4.8	2.4	1.1	11.3	溶結凝灰岩	小型剥片				0202	1756	
1043	19C	3432	にぶい黄褐色土	4.6	3.4	0.6	7.0	溶結凝灰岩	小型剥片				0186	1772	
1044	19C	3333	にぶい黄褐色土	5.6	3.6	2.3	26.9	泥質凝灰岩	小型剥片				0199	1762	
1045	19C	3333	にぶい黄褐色土	6.0	5.1	0.9	28.7	安山岩B	剥片				0093	1760	
1046	19A	3633	2019SK	2.6	1.5	0.5	1.6	溶結凝灰岩	有舌尖頭器		先端部欠 基部欠		0121	1163	
1047	19A	3735	2126SK	9.3	5.3	3.2	266.5	片麻岩	磨石敲石類	磨石+敲石、楕円形			0142	1172	
1048	19A	3734	2139SK	3.2	3.0	2.2	30.0	砂質凝灰岩	磨石敲石類	磨石+敲石、円形			0149	1186	
1049	19A	3735	2165SK	1.6	1.3	0.5	0.8	溶結凝灰岩	二次加工のある小型剥片	石鏃製作途上			0139	1188	
1050	19A	3735	2165SK	4.0	1.0	0.8	4.5	松脂岩	小型石核				0140	1189	
1051	19Ab	3435	2282SK	6.3	6.0	3.0	120.8	安山岩B	二次加工のある剥片	打製石斧製作途上			-	1197	
1052	19Ab	3436	2302SK	19.0	10.0	7.0	1522.5	花こう岩	石皿台石類	台石		○	-	1211	金床石か?
1053	19Ab	3456	2312SK	5.9	4.1	2.0	49.3	泥質凝灰岩	二次加工のある剥片				-	1213	
1054	19Ab	3537	2314SK	6.2	5.2	2.7	86.8	安山岩B	二次加工のある剥片	打製石斧製作途上			-	1215	
1055	19Ab	3536	2320SK	8.2	6.2	3.3	232.9	安山岩D	磨石敲石類	磨石+敲石、円形			0293	1219	
1056	19Ab	3425	2324SK	8.1	3.8	1.9	65.5	安山岩B	二次加工のある剥片	打製石斧製作途上			0305	1221	
1057	19Ab	3435	2335SK	9.6	5.8	2.9	203.1	安山岩E	石核				0304	1227	
1058	19Ab	3435	2335SK	1.5	1.2	0.2	0.4	溶結凝灰岩	二次加工のある小型剥片	石鏃製作途上			0310	1228	
1059	19Ab	3535	2388SK	2.9	2.2	2.0	8.1	溶結凝灰岩	小型石核				0755	1670	
1060	19Ab	3434	2391SK	8.5	5.1	2.7	149.4	安山岩	打製石斧	短冊形	基部のみ		0524	1253	
1061	19A	3734	2400SI	3.1	1.5	0.4	2.3	溶結凝灰岩	小型剥片				0990	1317	
1062	19A	3734	2400SI	4.3	2.8	2.7	36.4	溶結凝灰岩	小型石核				0549	1260	
1063	19A	3734	2400SI	6.4	4.3	0.9	23.8	安山岩E	剥片				0553	1262	
1064	19A	3734	2400SI	6.1	5.5	1.6	59.3	安山岩D	剥片				0554	1263	
1065	19A	3734	2400SI	10.1	5.3	2.5	62.5	安山岩E	二次加工のある剥片	打製石斧製作途上			0569	1274	
1066	19A	3735	2400SI	6.8	6.2	2.6	132.6	安山岩E	二次加工のある剥片				0570	1275	
1067	19Ab	3533	2411SK	6.0	2.9	0.5	15.5	安山岩E	剥片				0521	1318	
1068	19Ab	3434	2420SK	2.7	1.8	0.6	3.4	溶結凝灰岩	二次加工のある小型剥片				-	1320	
1069	19Ab	3633	2424	12.2	7.6	2.6	225.8	安山岩E	剥片				0517	1323	
1070	19Ab	3532	2427	7.8	5.5	1.3	77.1	安山岩B	スクレイパー				0535	1327	
1071	19Ab	3336	2429SK	1.5	1.2	0.3	0.4	黒曜石	石鏃	無茎			0603	1334	
1072	19Ab	3534	2433SK	3.8	3.7	1.1	15.8	凝灰岩	二次加工のある小型剥片				-	1340	
1073	19A	3534	2445SL	8.7	7.0	2.8	207.1	溶結凝灰岩	小型石核				0808	1345	
1074	19A	3735	2446SL	9.9	6.3	1.0	74.9	安山岩B	剥片				0817	1352	
1075	19A	3734	2449SL	12.3	8.5	8.1	1161.1	安山岩E	礫器もしくは石核				0929	1398	
1076	19A	3734	2449SL	8.5	7.7	7.3	661.7	珪質岩	磨石敲石類	磨石+敲石、円形	完形		0918	1387	
1077	19A	3734	2449SL	10.8	5.5	4.8	367.4	片麻岩	磨石敲石類	磨石+敲石、楕円形	完形		0924	1393	
1078	19A	3734	2449SL	10.3	6.6	5.5	492.4	花こう岩	磨石敲石類	磨石+敲石、楕円形	完形		0953	1412	
1079	19A	3436	2465SD	8.7	4.3	1.4	48.1	安山岩D	剥片				-	1428	
1080	19A	3436	2465SD	5.4	3.2	1.5	29.3	安山岩E	剥片				-	1429	

表 24-2　石器　掲載遺物一覧表（2）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	法量(cm)			重さ(g)	石材	器種	分類	残存状況	被熱	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
				長さ	幅	厚さ									
1081	19Ab	3335	2466SK	7.3	7.1	1.4	78.9	砂質凝灰岩	砥石	置き砥石、有溝		○	-	1434	
1082	19Ab	3632	2470SK	2.7	1.0	1.0	2.5	溶結凝灰岩	小型石核				-	1436	
1083	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.9	3.2	1.0	17.9	溶結凝灰岩	木葉形尖頭器		完形		0873	1696	
1084	19Ab	3533	2500SX	2.3	2.2	1.5	6.1	溶結凝灰岩	小型石核				0742	1657	
1085	19Ab	3436	2500SX にぶい黄褐色土	2.2	1.9	1.0	4.4	黒曜石	小型剥片石器				0287	1455	
1086	19Ab	3336	2500SX にぶい黄褐色土	4.1	3.4	1.9	22.9	溶結凝灰岩	小型石核				0289	1456	
1087	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	8.9	5.4	4.8	238.2	安山岩E	石核				0307	1462	
1088	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	10.6	7.2	5.1	501.8	安山岩B	礫器				0273	1445	
1089	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	6.9	6.4	3.5	175.8	安山岩E	礫器				0470	1517	
1090	19Ab	3436	2500SX にぶい黄褐色土	11.7	8.0	1.8	168.0	安山岩B	刃器				0292	1458	
1091	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	6.7	4.4	2.6	80.0	安山岩B	剥片				0472	1519	
1092	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	6.4	4.9	2.0	67.0	安山岩B	剥片				0479	1526	
1093	19Ab	3433	2500SX にぶい黄褐色土	5.9	3.9	1.2	26.2	安山岩B	剥片				0964	1726	
1094	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	7.9	4.5	1.7	64.7	安山岩E	剥片				0291	1457	
1095	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	6.9	2.7	1.5	34.1	安山岩E	剥片				0469	1516	
1096	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	3.9	2.9	1.1	10.3	安山岩E	剥片				0682	1602	
1097	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	5.9	4.6	1.3	22.8	安山岩	剥片				0738	1653	
1098	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	5.7	4.6	1.4	29.3	凝灰岩	剥片				0295	1459	
1099	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	5.8	2.4	0.8	11.4	凝灰岩	剥片				0714	1630	
1100	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	3.8	3.3	1.3	16.7	凝灰質泥岩	剥片				0266	1439	
1101	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土	9.8	7.9	5.7	529.6	花こう岩	磨石敲石類	磨石+敲石、台形			0286	1454	
1102	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	10.7	9.8	6.0	912.5	アプライト	磨石敲石類	磨石+敲石、円形			0967	1728	
1103	19Ab	3535	2500SX にぶい黄褐色土	9.2	8.2	5.7	562.9	アプライト	磨石敲石類	磨石+敲石	1/2	○	0308	1463	
1104	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	10.8	7.2	5.7	633.3	片麻岩	磨石敲石類	磨石+敲石、台形			0480	1527	
1105	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	3.7	3.2	0.7	8.3	凝灰岩	有舌尖頭器		先端基部欠		0315	1464	
1106	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	1.7	1.6	0.4	1.1	溶結凝灰岩	石鏃	無茎、凹基	先端部欠		0358	1473	
1107	19Ab	3436	2500SX にぶい黄褐色土 下	1.4	0.9	0.3	0.3	溶結凝灰岩	石鏃	無茎、凹基	先端部脚部欠		0637	1567	
1108	19Ab	3436	2500SX にぶい黄褐色土 下	1.2	1.2	0.4	0.5	溶結凝灰岩	石鏃	無茎、凹基	完形		0640	1570	
1109	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	1.2	0.9	0.3	0.3	黒曜石	石鏃	無茎、凹基	完形		0659	1586	
1110	19Ab	3436	2500SX にぶい黄褐色土 下	2.3	1.2	0.6	1.3	黒曜石	石錐				0975	1735	
1111	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.6	3.1	1.0	14.0	溶結凝灰岩	二次加工のある小型剥片	尖頭器の製作途上?			0539	1560	
1112	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	3.5	2.9	1.1	12.4	溶結凝灰岩	二次加工のある小型剥片				0877	1698	
1113	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	2.3	1.6	0.8	1.7	溶結凝灰岩	二次加工のある小型剥片				0722	1637	
1114	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.3	3.3	1.4	15.2	溶結凝灰岩	使用痕のある小型剥片				0499	1543	
1115	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	4.9	3.4	0.8	7.8	凝灰岩	使用痕のある小型剥片				0900	1720	
1116	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	2.3	1.1	0.3	1.0	黒曜石	小型剥片				0505	1547	
1117	19Ab	3535	2500SX にぶい黄褐色土 下	1.6	1.1	0.3	0.5	黒曜石	小型剥片				0316	1465	
1118	19Ab	3436	2500SX にぶい黄褐色土 下	3.3	1.2	0.4	1.5	溶結凝灰岩	小型剥片				0642	1572	
1119	19Ab	3533	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.3	5.7	1.4	50.0	溶結凝灰岩	小型剥片				0750	1665	
1120	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.1	5.0	1.2	36.1	溶結凝灰岩	小型剥片				0492	1538	
1121	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.0	3.6	0.8	12.0	溶結凝灰岩	小型剥片				0744	1659	
1122	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	4.3	2.2	1.2	9.3	溶結凝灰岩	小型剥片				0693	1609	
1123	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	3.6	2.9	0.7	6.9	溶結凝灰岩	小型剥片				0968	1729	
1124	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	3.4	2.6	0.9	6.2	溶結凝灰岩	小型剥片				0662	1588	
1125	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	2.9	2.5	0.9	6.0	溶結凝灰岩	小型剥片				0821	1679	
1126	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	4.3	2.3	0.6	5.2	溶結凝灰岩	小型剥片				0978	1736	
1127	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	3.2	1.7	0.8	3.5	溶結凝灰岩	小型剥片				0496	1541	
1128	19Ab	3436	2500SX にぶい黄褐色土 下	2.1	1.8	0.7	2.4	溶結凝灰岩	小型剥片				0639	1569	
1129	19Ab	3436	2500SX にぶい黄褐色土 下	3.2	1.2	0.6	1.5	溶結凝灰岩	小型剥片				0974	1734	
1130	19Ab	3633	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.3	5.1	1.8	32.4	凝灰岩	小型剥片				0446	1493	
1131	19Ab	3535	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.1	4.9	1.2	27.5	凝灰岩	小型剥片				0323	1470	
1132	19Ab	3535	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.0	3.0	1.0	14.3	凝灰岩	小型剥片				0322	1469	
1133	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	4.6	2.9	0.9	8.5	凝灰岩	小型剥片				0704	1620	
1134	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.7	2.0	1.6	14.2	凝灰岩	小型石核				0888	1709	
1135	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.3	2.2	1.2	20.4	泥質凝灰岩	小型石核				0481	1528	
1136	19Ab	3533	2500SX にぶい黄褐色土 下	2.1	1.7	1.5	5.9	溶結凝灰岩	小型石核				0451	1498	
1137	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	13.6	4.7	3.0	301.6	閃緑岩	丸ノミ形石斧		完形		0359	1474	
1138	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	13.6	11.9	5.1	1147.8	安山岩E	礫器もしくは石核				0823	1681	
1139	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	10.3	6.2	2.8	225.4	安山岩E	礫器				0887	1708	
1140	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	12.5	10.0	3.6	668.5	安山岩D	礫器				0512	1553	
1141	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	11.6	7.7	3.5	415.8	安山岩B	礫器				0461	1508	
1142	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.7	5.5	3.2	121.8	安山岩B	礫器				0791	1674	
1143	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	16.5	8.9	6.0	1282.0	片麻岩	礫器				0824	1682	
1144	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.8	3.6	2.3	49.2	安山岩D	二次加工のある剥片				0453	1500	
1145	19Ab	3535	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.8	3.6	1.8	18.5	凝灰岩	使用痕のある剥片				0321	1468	
1146	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.8	5.6	1.4	36.3	安山岩B	使用痕のある剥片				0511	1552	
1147	19Ab	3533	2500SX にぶい黄褐色土 下	10.6	8.3	3.2	300.2	安山岩B	剥片				0450	1497	
1148	19Ab	3533	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.4	6.2	2.1	85.3	安山岩B	剥片				0447	1494	
1149	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.2	4.7	2.0	85.0	安山岩B	剥片				0971	1731	
1150	19Ab	3336	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.0	4.5	2.8	74.3	安山岩B	剥片				0649	1578	
1151	19Ab	3535	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.0	5.8	2.2	73.5	安山岩B	剥片				0540	1561	
1152	19Ab	3533	2500SX にぶい黄褐色土 下	8.8	4.1	1.4	54.5	安山岩B	剥片				0452	1499	
1153	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.4	4.8	1.6	45.1	安山岩B	剥片				0724	1639	
1154	19Ab	3532	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.3	3.9	1.1	39.9	安山岩B	剥片				0444	1491	
1155	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.1	3.6	1.7	38.1	安山岩B	剥片				0730	1645	
1156	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.0	3.6	2.1	27.7	安山岩B	剥片				0462	1509	
1157	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.3	2.8	1.5	21.8	安山岩B	剥片				0875	1697	
1158	19Ab	3436	2500SX にぶい黄褐色土 下	3.8	3.3	1.3	18.0	安山岩B	剥片				0633	1564	
1159	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.5	3.3	1.1	20.3	安山岩D	剥片				0513	1554	
1160	19Ab	3533	2500SX にぶい黄褐色土 下	3.9	3.4	1.4	18.9	安山岩D	剥片				0752	1667	

表 24-3　石器　掲載遺物一覧表（3）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	法量(cm)			重さ(g)	石材	器種	分類	残存状況	被熱	取り上げ番号(d番号)	整理番号	備考
				長さ	幅	厚さ									
1161	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.4	4.2	2.1	76.3	安山岩E	剥片				0666	1592	
1162	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	9.3	4.6	2.2	72.9	安山岩E	剥片				0902	1722	
1163	19Ab	3336	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.8	4.6	1.0	45.6	安山岩E	剥片				0972	1732	
1164	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.5	3.4	1.0	34.2	安山岩E	剥片				0491	1537	
1165	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.8	4.4	1.3	32.2	安山岩E	剥片				0710	1626	
1166	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.2	4.3	1.2	22.9	安山岩	剥片				0747	1662	
1167	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	8.8	5.1	1.2	46.3	凝灰岩	剥片				0500	1544	
1168	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.5	4.2	1.4	31.1	凝灰岩	剥片				0319	1466	
1169	19Ab	3535	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.0	4.0	1.1	25.6	凝灰岩	剥片				0793	1676	
1170	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	4.9	3.7	1.5	16.1	凝灰岩	剥片				0790	1673	
1171	19Ab	3535	2500SX にぶい黄褐色土 下	4.7	3.7	0.9	12.8	凝灰岩	剥片				0364	1479	
1172	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.1	2.1	0.7	10.4	凝灰岩	剥片				0716	1631	
1173	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.3	3.1	0.9	13.4	凝灰質泥岩	剥片				0489	1534	
1174	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.0	6.1	4.0	227.4	安山岩B	石核				0705	1621	
1175	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	6.6	4.9	3.1	112.5	安山岩D	石核				0473	1520	
1176	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	5.3	3.8	1.8	34.9	安山岩E	剥片				0697	1613	
1177	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.3	4.5	1.9	72.5	安山岩	石核				0734	1649	
1178	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	4.5	3.6	1.8	34.2	凝灰質砂岩	砥石?	置砥石			0463	1510	
1179	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	12.2	8.9	7.1	1075.0	片麻岩	磨石敲石類	磨石+敲石、楕円形	一部欠		0725	1640	
1180	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	9.8	8.7	5.3	687.8	片麻岩	磨石敲石類	磨石+敲石、円形	完形		0826	1684	
1181	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	12.2	7.6	4.3	552.6	片麻岩	磨石敲石類	磨石+敲石、楕円形			0820	1678	
1182	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	9.9	7.3	3.6	382.4	片麻岩	磨石敲石類	磨石+敲石、楕円形	完形		0827	1685	
1183	19Ab	3534	2500SX にぶい黄褐色土 下	10.2	5.6	5.6	492.1	花こう岩	磨石敲石類	磨石+敲石、円形	1/2欠		0508	1550	
1184	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	8.6	7.5	4.6	467.1	花こう岩	磨石敲石類	磨石+敲石、円形	一部欠		0890	1711	
1185	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	7.1	5.3	3.9	244.9	花こう岩	磨石敲石類	磨石+敲石、石けん形	1/2欠		0889	1710	
1186	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土 下	34.5	26.5	7.2	12400.0	片麻岩	石皿台石類	台石			0831	1689	
1187	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土 下	27.4	19.4	9.5	8900.0	片麻岩	石皿台石類	台石			0828	1686	
1188	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	2.7	2.4	0.9	7.0	黒曜石	スクレイパー				0733	1648	
1189	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	2.4	1.7	0.5	2.4	ャ-トor溶結凝灰	小型剥片				0708	1624	
1190	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	5.4	4.0	1.5	15.8	溶結凝灰岩	小型剥片				0717	1632	
1191	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	5.9	1.8	1.5	13.0	凝灰岩	小型剥片				0464	1511	
1192	19Ab	3436	検出	3.9	1.6	0.4	2.3	溶結凝灰岩	縦長剥片				0218	1781	
1193	19A	3734	検出	1.9	0.6	0.4	0.3	溶結凝灰岩	二次加工のある小型剥片	石鏃製作途上か			0136	1829	
1194	19A	3833	検出	3.1	2.5	0.8	5.0	溶結凝灰岩	使用痕のある小型剥片				0132	1825	
1195	19A	390315	-	6.4	4.1	0.9	33.5	安山岩D	打製石斧	短冊形か	基部欠		-	1850	使用痕あり
1196	19Ab	3537	検出	8.3	7.7	5.1	393.9	安山岩E	石核				-	1818	
1197	19A	3830	検出	16.0	4.6	2.4	284.1	溶結凝灰岩	礫器				-	1843	
1198	19Ab	3336	北西壁トレンチ	7.3	4.2	1.2	26.8	溶結凝灰岩	スクレイパー				-	1768	
1199	19Ab	3335	試掘坑埋土	2.1	1.0	0.3	0.3	溶結凝灰岩	石鏃	無茎、凹基	脚部欠		-	1763	
1200	19A	-	表土	3.5	2.4	1.2	11.9	溶結凝灰岩	スクレイパー				-	1861	
1201	19Ab	3636	表土	9.8	4.4	2.2	104.3	安山岩B	打製石斧	撥形			0216	1823	使用痕あり
1202	19Ab	-	表採	36.0	34.2	12.5	22600.0	花こう岩	石皿台石類	台石		○	-	1881	
1203	19B	3529	105SL	36.0	34.5	11.5	16100.0	片麻岩	礫	板状、角礫		○	0040	1041	
1204	19B	3529南西	105SL-2 底部	13.5	8.0	2.7	403.6	片麻岩	礫	角礫		○	-	1043	炭化物付着
1205	19B	3529南西	105SL-2 底部	14.1	5.5	3.6	465.8	片麻岩	礫	円礫		○	-	1044	炭化物付着
1206	19B	-	105SL-4 礫A	16.3	6.5	4.7	874.3	片麻岩	礫	角礫		○	-	1047	炭化物付着
1207	19B	-	105SL-4 礫A	16.0	13.3	6.2	1501.0	花こう岩	礫	円礫		○	-	1048	炭化物付着
1208	19B	3529	147SP	20.0	17.4	8.5	5500.0	片麻岩	礫	角礫		○	0057	1055	炭化物付着
1209	19C	-	1174SL 南西	18.5	13.2	9.3	2900.0	花こう岩	礫	角礫		○	-	1089	炭化物付着
1210	19C	-	1174SL 北東	19.8	15.2	4.0	1824.3	片麻岩	礫	板状、角礫		○	-	1090	炭化物付着
1211	19C	3333	1266SK	25.7	14.6	4.7	2245.3	片麻岩	礫	角礫		○	0107	1102	炭化物付着
1212	19A	3731	2065SP	17.0	14.5	8.7	3101.6	花こう岩	礫	円形		○	-	1167	炭化物付着
1213	19A	3635	2127SL	33.0	26.0	6.4	8400.0	片麻岩	敲打のある礫	板状、角礫			0816	1176	
1214	19A	3734	2400SI	20.0	12.7	4.4	1712.4	片麻岩	敲打のある礫	角礫			0582,0586	1287	
1215	19A	3734	2400SI	19.0	14.3	8.5	2492.8	閃緑岩	礫	角礫		○	0598	1303	
1216	19Ab	3435	2500SX にぶい黄褐色土	13.3	8.2	8.0	1102.5	安山岩B	原石もしくは石核				0269	1442	
1301	19C	3232	1018SK	37.0	11.9	10.5	6000.0	閃緑岩	大型石棒?		基部欠		0087	1066	
1302	19A	-	表土	3.5	2.8	0.8	6.4	砂質凝灰岩	岩偶岩版類		一部のみ		-	1856	
1501	19B	3428	071SK	30.5	9.8	8.0	4300.0	片麻岩	砥石	置砥石	完形		0047	1002	
1502	19C	3333	1259SK	17.0	7.0	2.1	363.1	片麻岩	砥石	置砥石			-	1101	
1503	19C	3333	1280SK	9.0	6.0	1.7	98.0	凝灰岩	砥石	置砥石・手持砥石	完形		-	1105	
1504	19A	3830	2014SK	9.9	5.1	4.1	214.5	凝灰岩	砥石	手持砥石	完形		-	1160	
1505	19A	3831	2062SK	7.7	2.7	0.8	13.0	砂質凝灰岩	砥石	置砥石	一部のみ		-	1166	
1506	19A	385305	2112SX	9.5	3.9	1.4	88.0	砂質凝灰岩	砥石	手持砥石		○	-	1170	
1507	19Ab	3337	検出	7.2	4.0	1.5	40.9	片麻岩	砥石	手持砥石			-	1770	
1508	19Ab	3434	検出	7.3	6.0	2.0	58.5	片麻岩	砥石	置砥石	一部のみ	○	0306	1774	
1509	19A	3932	検出	8.0	3.9	2.5	50.2	砂質凝灰岩	砥石	手持砥石		○	0147	1849	
1510	19A	3830・3831	表土	13.0	8.8	1.8	340.0	片麻岩	砥石	置砥石		○	-	1844	
1177と同封	19Ab	3434	2500SX にぶい黄褐色土	3.1	2.1	0.7	3.7	安山岩	小型剥片				0494	1540	1178と接合
1214と同封	19A	3734	2400SI	20.7	10.6	4.5	1470.2	片麻岩	礫	角礫			0591	1296	1217と接合

表 25-1　陶磁器類・土師器　掲載遺物一覧表（1）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	カテゴリ	産地等	器種	型式・時期	部位	調整・文様・施釉		備考	重量(g)	法量（cm）括弧内は復元径または残存高				
									外面	内面			口縁部径	最大径	底部・高台径	底部・高台最大径	器高
2001	14	3930	043SI床面	山茶碗	渥美・湖西	碗	第3型式第1小期	体部～底部	ロクロナデ	ロクロナデ		30.6	-	-	(7.6)	(8.0)	(2.6)
2002	14	3930	025SP	山茶碗	東濃	碗	釜洞窯式～白土原窯式か	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ,自然釉		10.4	(12.8)	(13.0)	-	-	(3.1)
2003	19B	3528	053SP	炻器	美濃	広東碗	連房式第9～11小期	口縁部	染付,透明釉	染付,透明釉		3	(10.7)	(10.8)	-	-	(1.6)
2004	19B	3629	101SP	施釉陶器	美濃	掛け分け鉢	連房式第5～7小期	口縁部	鉄釉,灰釉	鉄釉,灰釉		7.6	-	-	-	-	(2.1)
2005	19B	3428	024SK	施釉陶器	瀬戸	皿	連房式第8小期	口縁部～底部	灰釉	灰釉, 鉄釉・緑釉上絵付け	高台周辺露胎	101.4	12.6	12.8	-	-	(4.6)
2006	19B	3428	027SK	施釉陶器	美濃	尾呂茶碗	連房式第5・6小期	口縁部	鉄釉（飴釉）	鉄釉（飴釉）		9.2	(11.6)	(12.0)	-	-	(3.9)
2007	19B	3428	027SK	磁器	肥前	丸碗	III期	口縁部	透明釉	染付,透明釉		13	(10.9)	(11.0)	-	-	(3.8)
2008	19B	3429	033SK	炻器	美濃	箱型湯呑	連房式第11小期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		34.4	(7.1)	(7.3)	-	-	(5.2)
2009	19B	3428	036SK	施釉陶器	瀬戸美濃	丸碗	連房式第8・9小期	口縁部～体部	鉄釉,灰釉流し掛け	鉄釉		16.4	(10.7)	(11.1)	-	-	(5.3)
2010	19B	3428	036SK	施釉陶器	瀬戸美濃	丸碗	連房式第8・9小期	口縁部	鉄釉	鉄釉		2.9	(11.4)	(11.8)	-	-	(2.4)
2011	19B	3428	036SK	施釉陶器	瀬戸美濃	御室茶碗	連房式第8・9小期	口縁部	灰釉	灰釉		4.3	(10.7)	(11.1)	-	-	(3.1)
2012	19B	3428	036SK	施釉陶器	美濃	摺絵皿か	連房式第8・9小期	口縁部	灰釉	灰釉		2.9	(12.8)	(13.0)	-	-	(1.5)
2013	19B	3428	042SK	施釉陶器	美濃	擂鉢	大窯第8小期	口縁部,体部	錆釉	錆釉	外面炭化物付着	90.4	(29.5)	(29.8)	-	-	(6.3)
2014	19B	3428	045SK	土師器		かわらけ	15～16世紀	口縁部	ナデ,オサエ	ナデ,ミガキ		4	-	-	-	-	(1.8)
2015	19B	3428	046SK	施釉陶器	瀬戸美濃	輪禿皿	連房式第4小期か	口縁部	灰釉	灰釉,輪禿,自然釉		2.9	(11.3)	(11.4)	-	-	(1.0)
2016	19B	3628	074SK	施釉陶器	瀬戸美濃	筒型香炉	連房式第5・6小期	口縁部	鉄釉（飴釉）	鉄釉（飴釉）		5.8	(10.9)	(11.2)	-	-	(2.0)
2017	19B	3628	074SK	施釉陶器	瀬戸	筒型香炉	連房式第5・6小期	体部～底部	灰釉	灰釉	内面一部露胎	10.1	-	-	-	-	(5.4)
2018	19B	3528	145SK	施釉陶器	美濃	丸碗	連房式第7小期	口縁部～体部	灰釉	灰釉		29.2	(10.0)	(10.4)	-	-	(5.0)
2019	19B	3528	145SK	炻器	美濃	鉢か	連房式第9～11小期	口縁部	灰釉	灰釉		3.3	(9.7)	(9.8)	-	-	(2.9)
2020	19B	3528	145SK	施釉陶器	瀬戸	湯呑	連房式10・11小期	口縁部	鉄絵,透明釉	透明釉		2.6	-	-	-	-	(2.5)
2021	19B	3528	145SK	施釉陶器	瀬戸	大皿	連房式第8小期	口縁部	灰釉	灰釉		21.3	-	-	-	-	(4.2)
2022	19B	3429	155SP	施釉陶器	美濃	折縁輪禿鉢	連房式第7小期	口縁部	灰釉	灰釉		31.1	(17.8)	(18.4)	-	-	(3.2)
2023	19B	3429	155SP	施釉陶器	瀬戸美濃	黄瀬戸鉢	連房式第7小期	口縁部	灰釉	灰釉		9.9	(25.4)	(25.8)	-	-	(2.2)
2024	19B	3529	105SL-3	施釉陶器	瀬戸美濃	丸碗	連房式第5・6小期か	口縁部	鉄釉（漆黒釉）	鉄釉（漆黒釉）		4.4	-	-	-	-	(2.5)
2025	19B	3528	105SL	施釉陶器	美濃	拳骨茶碗	連房式第5・6小期	口縁部～体部	鉄釉（漆黒釉）	鉄釉（漆黒釉）		55.7	(11.6)	(12.2)	-	-	(6.3)
2026	19B	3529	105SL	施釉陶器	瀬戸	腰錆湯呑	連房式第10・11小期	口縁部	鉄釉,染付, 透明釉,沈線	灰釉		5.7	(8.5)	(8.6)	-	-	(2.1)
2027	19B	3528	105SL-1	施釉陶器	瀬戸	丸皿	連房式第9～11小期	口縁部～体部	灰釉	灰釉		3.3	(10.8)	(11.0)	-	-	(2.1)
2028	19B	3529	105SL-4	施釉陶器	瀬戸美濃	片口鉢	連房式第8小期	口縁部	鉄釉（飴釉）	鉄釉（飴釉）		12.4	(19.0)	(19.4)	-	-	(3.5)
2029	19B	3529	105SL-3	施釉陶器	瀬戸	鉢	連房式第9～11小期	口縁部～体部	灰釉	灰釉		114.9	(20.0)	(20.2)	-	-	(6.8)
2030	19B	3529	105SL-4	施釉陶器	瀬戸美濃	盒子蓋	連房式第8～11小期か	全体	灰釉	無釉		11.8	-	6.9	-	-	1.1
2031	19B	3529	105SL	瓦質土器	不明	鍋類	18世紀以降	体部	ナデ,ミガキ	ナデ,ミガキ		17.4	-	-	-	-	(2.9)
2032	19B	4027	212SE	施釉陶器	美濃	尾呂茶碗	連房式第7小期	口縁部	鉄釉（飴釉）	鉄釉（飴釉）		3.7	(10.1)	(10.4)	-	-	(2.2)
2033	19B	4027	212SE	施釉陶器	美濃	仏餉具	連房式第9～11小期か	脚部	灰釉	灰釉	脚部下半露胎	38.9	-	-	5.4	5.6	(2.6)
2034	19B	4027	212SE	施釉陶器	瀬戸美濃	水滴	17世紀後半か	全体	御深井釉, 灰釉・鉄釉流し掛け	不明	扇面形,立ち沢瀉文, 底部周辺露胎	99.9	長16.5	-	幅13.8	-	厚5.5
2035	19B	3429	017SX	施釉陶器	瀬戸	広東碗	連房式第10・11小期	口縁部	染付,透明釉	透明釉		3.5	(11.6)	(12.0)	-	-	(2.2)
2036	19B	3429	017SX	炻器	美濃	広東碗	連房式第10・11小期	口縁部	透明釉	染付,透明釉		9.9	(11.1)	(11.2)	-	-	(3.4)
2037	19B	3429	017SX	施釉陶器	瀬戸	皿	連房式第1～4小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉,灰釉流し掛け		31.1	(13.3)	(14.2)	-	-	(2.5)
2038	19B	3429	017SX	施釉陶器	美濃	筒型香炉か	連房式第9～11小期	口縁部	鉄釉	鉄釉		3.5	(9.2)	(10.0)	-	-	(3.1)
2039	19B	3329	031SX	施釉陶器	瀬戸美濃	丸碗	連房式第9～11小期	口縁部	鉄釉,灰釉流し掛け	鉄釉		6.8	(11.0)	(11.4)	-	-	(2.4)
2040	19B	3329	031SX	施釉陶器	瀬戸美濃	土瓶類蓋	連房式第9～11小期	口縁部	鉄釉	無釉		8.3	-	(8.3)	-	-	(1.1)
2041	19B	3729	034SX	山茶碗	渥美・湖西	碗	第3型式第1小期	口縁部～底部	ナデ	ナデ	底部回転糸切り痕	158.5	15.1	15.6	7.8	8.0	4.7
2042	19B	3728	081NR	施釉陶器	瀬戸美濃	皿	連房式第10～11小期	底部	灰釉	染付,灰釉	高台露胎, 断面一部研磨	31.7	-	-	(7.4)	(7.6)	(1.5)
2043	19C	3333	1263SP	施釉陶器	古瀬戸	擂鉢	古瀬戸後期IV期新段階	口縁部～体部	錆釉	錆釉		105.5	(22.9)	(24.0)	-	-	(7.3)
2044	19C	3333	1263SP	磁器	肥前	丸碗	III期	口縁部～体部	染付,透明釉	透明釉		8.4	(12.4)	(12.5)	-	-	(3.8)
2045	19C	3232	1022SK	施釉陶器	瀬戸	行平鍋	連房式第11小期	口縁部～体部	灰釉	灰釉	外面下方露胎	108.9	(16.9)	(17.2)	-	-	(7.8)
2046	19C	3134	1085SP	施釉陶器	瀬戸	擂鉢	連房式第9～11小期	体部～底部	錆釉	錆釉		206.5	-	-	(13.4)	(14.6)	(7.3)
2047	19C	3234	1123SK	施釉陶器	瀬戸美濃	端反皿	大窯第2・3小期	口縁部	灰釉	灰釉		4.8	(12.8)	(13.0)	-	-	(2.1)
2048	19C	3134	1126・1127SK	土師器		半球形内耳鍋	17世紀	口縁,体部	ナデ,ミガキ	ナデ	外面炭化物付着	29.6	(20.0)	(21.1)	-	-	(5.0)
2049	19C	3234	1135SK	施釉陶器	瀬戸	皿	連房式第1～4小期	口縁部～体部	鉄釉（飴釉）	鉄釉（飴釉）		7.1	(13.5)	(13.8)	-	-	(1.9)
2050	19C	3234	1143SK	施釉陶器	瀬戸美濃	天目茶碗	大窯第2小期	口縁部	鉄釉	鉄釉		18.2	(13.2)	(13.4)	-	-	(3.4)
2051	19C	3234	1149SK	施釉陶器	古瀬戸	平椀	古瀬戸後II期	口縁部	灰釉	灰釉		5.1	-	-	-	-	(3.0)
2052	19C	3234	1214SK	施釉陶器	古瀬戸	擂鉢	古瀬戸後期IV期新段階	口縁部～体部	錆釉	錆釉		26.8	(30.0)	(30.7)	-	-	(4.6)
2053	19C	3134	1224SK	土師器		半球形内耳鍋	16世紀中葉～後葉	口縁,体部	ナデ,ハケ	ナデ		69.7	(22.0)	(23.4)	-	-	(5.7)
2054	19C	3333	1226SK	山茶碗	渥美・湖西	碗	第2型式～第3型式第1小期	口縁部	ナデ,オサエ	ナデ,オサエ	外面炭化物付着	14.9	(15.2)	(15.4)	-	-	(2.9)
2055	19C	3333	1265SK	施釉陶器	古瀬戸	擂鉢	古瀬戸後期IV期新段階	口縁部	鉄釉	鉄釉		50	(27.1)	(28.0)	-	-	(3.4)

表 25-2　陶磁器類・土師器　掲載遺物一覧表（2）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	カテゴリ	産地等	器種	型式・時期	部　位	調整・文様・施釉		備　考	重量(g)	法量（cm）括弧内は復元径または残存高				
									外面	内面			口縁部径	最大径	底部・高台径	底部・高台最大径	器高
2056	19C	3333	1266SK	施釉陶器	古瀬戸	腰折皿	古瀬戸後期Ⅳ期新段階	全体	灰釉	灰釉	外面下方露胎	56.4	10.4	10.9	4.6	4.8	2.8
2057	19C	3333	1300SK	山茶碗	渥美・湖西	碗	第3型式第2小期	口縁部～体部	ロクロナデ	ロクロナデ		53.5	(14.7)	(14.9)	-	-	(4.5)
2058	19C	3333	1300SK	山茶碗	渥美・湖西	輪花碗	第Ⅱ型式古段階	口縁部～体部	ロクロナデ, 灰釉漬け掛けか	ロクロナデ, 灰釉漬け掛けか		12.2	(16.0)	(16.4)	-	-	(2.2)
2059	19C	3333	1309SK	土師器		伊勢型鍋	13世紀	口縁,肩部	ナデ,ハケ	ナデ,ハケ	折返し口縁	47	-	-	-	-	(1.3)
2060	19C	3234	1310SK	施釉陶器	瀬戸	擂鉢	大窯第2小期	口縁部	錆釉	錆釉		4.2	(27.6)	(28.0)	-	-	(1.6)
2061	19C	3332	1360SK	施釉陶器	瀬戸	腰錆湯呑	連房式第8小期	体部～底部	鉄釉	灰釉	高台端部露胎	51.6	-	-	-	-	(2.8)
2062	19C	3432	1378SK	施釉陶器	古瀬戸	折縁深皿・ 直縁大皿	古瀬戸後期Ⅰ・Ⅱ期	体部～底部	無釉	灰釉ハケ塗り		84.7	-	-	(16.3)	(16.3)	(2.9)
2063	19C	3333	1426SK	施釉陶器	瀬戸美濃	天目茶碗	連房式第4小期	口縁部～底部	鉄釉	鉄釉	高台周辺露胎	90.1	10.7	11.0	4.0	4.2	6.9
2064	19C	3332	1468SK	施釉陶器	古瀬戸	筒型香炉	古瀬戸中期Ⅳ期	口縁部～体部	灰釉,印花	無釉		9.2	(9.8)	(10.0)	-	-	(3.2)
2065	19C	3332	1468SK	施釉陶器	瀬戸美濃	不明	不明	脚部	鉄釉	無釉		36.2	-	-	-	-	(4.4)
2066	19C	3333	1557SK	土師器		くの字型内耳鍋	15世紀後半～16世紀	口縁部	ナデ,ハケ	ナデ,ハケ		6	-	-	-	-	(2.2)
2067	19C	3333	1252SD	施釉陶器	古瀬戸	平椀	古瀬戸後期Ⅳ期	口縁部～体部	灰釉	灰釉	外面下方露胎	27.4	(15.0)	(15.4)	-	-	(4.5)
2068	19A	3731	2039SP	施釉陶器	瀬戸美濃	碗類	連房式第1～4小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉		26	(12.0)	(12.2)	-	-	(5.0)
2069	19A	3731	2053SP	施釉陶器	瀬戸美濃	天目茶碗	連房式第2小期か	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉,灰釉流し掛け		16.3	(11.6)	(11.8)	-	-	(5.2)
2070	19A	3831	2031SK	施釉陶器	瀬戸	片口鉢	連房式7・8小期	口縁部～体部	灰釉	灰釉	高台周辺露胎	68.4	(13.4)	(13.6)	-	-	(4.3)
2071	19A	3831	2037SK	施釉陶器	瀬戸美濃	擂鉢	大窯第3小期	口縁部	錆釉	錆釉		36	(29.6)	(30.2)	-	-	(3.9)
2072	19A	3835	2073SP	施釉陶器	瀬戸美濃	端反碗	連房式第4・5小期	全体	鉄釉	鉄釉	高台周辺露胎	180.6	11.0	11.5	4.7	5.0	7.1
2073	19A	3831	2221SK	山茶碗	渥美・湖西	小皿	第3型式第2小期	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ		7.7	(8.3)	(8.4)	-	-	(1.9)
2074	19A	390310	2112SX	山茶碗	尾張	小碗	第4型式新段階	底部	ロクロナデ	ロクロナデ,自然釉	底部静止糸切り痕, 高台端部籾殻痕	64.9	-	-	4.7	5.2	(2.0)
2075	19A	3830	2273SS	施釉陶器	古瀬戸	折縁深皿・ 直縁大皿	古瀬戸後期Ⅰ・Ⅱ期	体部～底部	無釉	灰釉ハケ塗り		64.8	-	-	(14.4)	(14.6)	(2.2)
2076	14	4133	ベルト壁	山茶碗	尾張	碗	第3・4型式	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ		2.9	-	-	-	-	(2.1)
2077	14	4132	ベルト壁	施釉陶器	瀬戸美濃	加工円盤	連房式第5～7小期か	全体	長石釉か灰釉	長石釉か灰釉	丸碗底部の加工品	29.2	長5.5	-	幅5.4	-	厚1.6
2078	14	3930	南北トレンチ	施釉陶器	瀬戸美濃	志野丸皿	連房式第1・2小期	口縁部～底部	長石釉	長石釉		23.5	(11.0)	(11.2)	(5.8)	-	2.1
2079	14	3930	南北トレンチ	施釉陶器	瀬戸美濃	志野丸皿	連房式第3小期	口縁部	長石釉	長石釉		13.9	(10.6)	(10.8)	-	-	(1.7)
2080	14	3931	トレンチ	山茶碗	尾張	小碗	第3型式～第4型式古段階	口縁部～体部	ロクロナデ	ロクロナデ		15.1	(9.1)	(9.2)	-	-	(2.6)
2081	19B	3529	3トレンチ	施釉陶器	美濃	鉢類	連房式第5～7小期	口縁部～体部	鉄釉（飴釉）	鉄釉（飴釉）		20.6	(16.5)	(17.2)	-	-	(4.5)
2082	14	3930	検出	山茶碗	尾張	片口鉢	第5型式	底部	ロクロナデ,ナデ	ロクロナデ	底部糸切り痕	75.8	-	-	(8.6)	(9.0)	(2.5)
2083	14	3930	検出	山茶碗	尾張	碗	第5型式	体部～底部	ロクロナデ	ロクロナデ		26	-	-	(5.4)	(6.2)	(3.4)
2084	14	3930	検出	山茶碗	尾張	小碗	第4型式	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ		9.1	(9.9)	(10.0)	-	-	(1.9)
2085	14	3930	検出	施釉陶器	美濃	折縁輪禿鉢	連房式第6～7小期	口縁部	灰釉	灰釉		6.6	(15.8)	(16.1)	-	-	(1.7)
2086	14	3930	検出	施釉陶器	美濃	湯呑	連房式第9～11小期	口縁部	灰釉	灰釉		5.7	(8.7)	(9.0)	-	-	(2.3)
2087	14	3930	2層	山茶碗	尾張	碗	第5型式古段階	口縁部	ロクロナデ,自然釉	ロクロナデ		43.9	(17.8)	(17.9)	-	-	(3.7)
2088	14	3931	2層	山茶碗	渥美・湖西	碗	第2型式	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ,自然釉		9.6	(16.2)	(16.6)	-	-	(3.1)
2089	14	3930	2層	山茶碗	尾張	碗	第5型式	口縁部	ロクロナデ,自然釉	ロクロナデ,自然釉		26	(17.4)	(17.5)	-	-	(4.0)
2090	14	3930	2層	山茶碗	渥美・湖西	碗	第3型式第1小期	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ		7.2	(13.6)	(13.8)	-	-	(2.8)
2091	14	3930	2層	山茶碗	渥美・湖西	輪花碗	第2型式古段階	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ,自然釉		10.4	(15.3)	(15.5)	-	-	(3.5)
2092	14	3930	3層	山茶碗	渥美・湖西	碗	第2型式新段階	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ,自然釉		26.3	(15.8)	(16.0)	-	-	(3.9)
2093	14	3930	2層	山茶碗	尾張	碗	第4型式	口縁部～体部	ロクロナデ	ロクロナデ		7.4	(15.8)	(15.9)	-	-	(3.3)
2094	14	3930	2層	山茶碗	尾張	碗	第5型式	口縁部	ロクロナデ,自然釉	ロクロナデ,自然釉		9.8	(15.6)	(16.0)	-	-	(3.0)
2095	14	3930	2層	山茶碗	渥美・湖西	碗	第3型式第1・2小期	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ		9.5	(13.1)	(13.4)	-	-	(3.5)
2096	14	3930	2層	山茶碗	尾張	小碗	第4型式	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ		8.1	(8.9)	(9.1)	-	-	(2.5)
2097	14	3930	2層	施釉陶器	美濃	折縁小皿	大窯第7・8小期	口縁部	長石釉	長石釉		4.5	(11.8)	(12.0)	-	-	(1.9)
2098	14	3930	2層	施釉陶器	瀬戸美濃	天目茶碗	連房式第1小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉		27.6	(11.2)	(11.4)	-	-	(5.0)
2099	14	3930	2層	施釉陶器	瀬戸美濃	天目茶碗	連房式第1小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉		9.6	(10.0)	(10.2)	-	-	(3.0)
2100	14	3930	2層	施釉陶器	瀬戸美濃	天目茶碗	連房式第1・2小期	全体	鉄釉	鉄釉,灰釉流し掛け	高台周辺露胎	71.7	11.5	11.7	4.4	4.6	7.2
2101	14	3930	2層	施釉陶器	瀬戸美濃	小杯	連房式第1～4小期	口縁部	灰釉	灰釉	高台周辺露胎	7.9	(7.5)	(7.7)	-	-	(3.1)
2102	14	3930	2層	施釉陶器	瀬戸美濃	志野丸皿	連房式第2小期	口縁部,底部	長石釉	長石釉		5	(9.4)	(9.6)	-	-	(1.7)
2103	14	4030	2層	施釉陶器	瀬戸美濃	志野丸皿	連房式第2小期	口縁部～体部	長石釉	長石釉		5	(11.7)	(11.8)	-	-	(1.7)
2104	14	4030	2層	施釉陶器	瀬戸美濃	志野丸皿	連房式第2小期	口縁部,底部	長石釉	長石釉		20	-	-	(6.6)	-	(0.9)
2105	14	3930	2層	施釉陶器	瀬戸美濃	皿	連房式第5小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉	体部外面下方露胎	15.3	(12.0)	(12.8)	(6.9)	-	(2.2)
2106	14	3930	2層	施釉陶器	瀬戸	鉢	連房式第8～11小期	口縁部～体部	透明釉	鉄絵,透明釉		46.3	(24.5)	(25.4)	-	-	(3.5)
2107	14	3930	2層	施釉陶器	瀬戸	擂鉢	連房式第3小期	口縁部	錆釉	錆釉		16.9	-	-	-	-	(3.65)
2108	14	3930	2層	施釉陶器	瀬戸美濃	加工円盤	連房式第1～4小期	全体	露胎	鉄釉	丸碗底部の加工品	33.7	長5.2	-	幅5.1	-	厚1.4
2109	14	3930	2層～3層	施釉陶器	瀬戸美濃	加工円盤	連房式第1～4小期	全体	露胎	鉄釉	丸碗底部の加工品	40.3	長5.4	-	幅5.3	-	厚1.7
2110	19B	3428	検出	磁器	瀬戸美濃	広東碗	連房式第11小期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		13.3	(11.8)	(11.9)	-	-	(4.2)

表 25-3　陶磁器類・土師器　掲載遺物一覧表（3）

登録番号	調査区	グリッド	遺構	カテゴリ	産地等	器種	型式・時期	部位	調整・文様・施釉 外面	調整・文様・施釉 内面	備考	重量(g)	法量（cm）括弧内は復元径または残存高 口縁部径	最大径	底部・高台径	底部・高台最大径	器高
2111	19B	3428	検出	炻器	美濃	広東碗	連房式第10・11小期	口縁部	透明釉	染付,透明釉		7.2	(10.3)	(10.5)	-	-	(3.3)
2112	19B	3428	検出	炻器	美濃	広東碗	連房式第10小期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		14.4	(11.9)	(12.1)	-	-	(4.2)
2113	19B	3428	検出	施釉陶器	瀬戸	箱型湯呑	連房式第8～11小期	口縁部～体部	透明釉	染付,透明釉		6.2	(8.6)	(8.8)	-	-	(2.7)
2114	19B	3428	検出	炻器	美濃	箱型湯呑	連房式第10・11小期	口縁部～体部	染付	染付,透明釉		12.1	(7.2)	(7.3)	-	-	(4.9)
2115	19B	3428	検出	炻器	瀬戸	箱型湯呑	連房式第10・11小期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		19.8	(7.2)	(7.4)	-	-	(4.5)
2116	19B	3428	検出	施釉陶器	瀬戸	小碗	連房式第9～11小期	口縁部～体部	灰釉	灰釉	高台周辺露胎	19.4	(6.6)	(6.7)	-	-	(2.9)
2117	19C	3333	検出	磁器	瀬戸美濃	端反椀L	連房式第10・11小期	口縁部	染付,透明釉	染付,透明釉		11.9	(10.4)	(10.5)	-	-	(3.7)
2118	19C	3333	検出	施釉陶器	瀬戸美濃	天目茶碗	連房式第1・2小期	体部～底部	鉄釉	鉄釉	高台周辺露胎	76.7	-	-	4.8	4.9	(3.7)
2119	19C	3333	検出	炻器	美濃	湯呑	連房式第9～11小期	口縁部～体部	鋸歯文,鉄釉,染付,透明釉	染付,透明釉		18.6	(8.3)	(8.5)	-	-	(4.1)
2120	19C	3333	検出	施釉陶器	美濃	鎧湯呑	連房式第8小期	体部～底部	鉄釉（飴釉）,鉄釉	鉄釉	高台端部露胎	45.8	-		(3.9)	(4.3)	(4.4)
2121	19C	3333	検出	磁器	肥前	小杯	II-2期	口縁部	透明釉	透明釉		7.9	(8.0)	(8.2)	-	-	(3.9)
2122	19C	3333	検出	磁器	瀬戸美濃	皿	連房式第11小期	体部～底部	染付,透明釉	染付,透明釉	蛇の目凹型高台	23.7	-	-	(7.2)	(7.6)	(1.7)
2123	19C	3333	検出	磁器	肥前	染付皿	IV期	体部～底部	染付,透明釉	染付,透明釉	蛇の目凹型高台	29.2	-	-	(8.5)	(9.2)	(1.0)
2124	19C	3332	撹乱	磁器	瀬戸	端反皿	連房式第10・11小期	口縁部	透明釉	染付,透明釉		5	(13.8)	(13.9)	-	-	(2.1)
2125	19C	3333	検出	磁器	瀬戸	鉢類か	連房式第10・11小期	口縁部	染付,透明釉	透明釉		11.3	(15.9)	(16.4)	-		(2.9)
2126	19C	3332	撹乱	施釉陶器	美濃	盒子	連房式第7～11小期	口縁部～底部	灰釉	灰釉	一部露胎,底部に墨痕	15.5	(6.0)	(7.2)	(4.8)	-	2.9
2127	19A	3830	検出	施釉陶器	古瀬戸	平椀	古瀬戸後期IV期古段階	口縁部～体部	灰釉	灰釉		10.8	-	-	-	-	(3.1)
2128	19A	3435	検出	炻器	美濃	箱型湯呑	連房式第10・11小期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		16.9	-	-	-	-	(4.8)
2129	14	3931	表土掘削	施釉陶器	瀬戸美濃	天目茶碗	連房式第3小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉		20.2	(11.2)	(11.5)	-	-	(3.6)
2130	14	-	表土掘削	施釉陶器	美濃	天目茶碗	連房式第8小期か	口縁部～体部	灰釉	灰釉		8.7	(11.7)	(11.8)	-	-	(3.7)
2131	14	4332	壁清掃	炻器	美濃	箱型湯呑	連房式第10・11小期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		4.2	(7.4)	(7.6)	-	-	(3.3)
2132	19C	-	表土	施釉陶器	瀬戸	天目茶碗	大窯第1・2小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉		19.8	(11.2)	(11.4)	-	-	(5.0)
2133	19C	-	表土	施釉陶器	瀬戸美濃	天目茶碗	大窯第7小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉	高台周辺露胎,破断面に漆継ぎ痕跡	43	(11.5)	(11.8)	-	-	(5.1)
2134	19C	3432	表土	施釉陶器	美濃	尾呂茶碗	連房式第7小期	口縁部	鉄釉（飴釉）	鉄釉（飴釉）		8.2	(10.9)	(11.1)	-	-	(3.9)
2135	19C	-	表土	磁器	瀬戸美濃	端反椀L	連房式第11小期	体部～底部	染付,透明釉	染付,透明釉		31.6	-	-	-	-	(5.8)
2136	19C	-	表土	炻器	美濃	箱型湯呑	連房式第10・11小期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		8.8	-	-	-	-	(3.9)
2137	19C	-	表土	施釉陶器	美濃	錆徳利	連房式第7小期	頸部～体部	鉄釉（飴釉）	無釉		52.8	-	-	-	-	(5.1)
2138	19C	-	表土	施釉陶器	瀬戸	行平鍋蓋	連房式第11小期か	全体	灰釉	灰釉	口縁部露胎	96.8	15.0	15.3	鈕径5.4	鈕径5.7	2.4～2.8
2139	19C	-	表土	土師器		くの字形内耳鍋	15世紀後半～16世紀前半	口縁部	ナデ,ハケ	ナデ,ケズリ		5.1	-	-	-	-	(2.4)
2140	19C	-	表土	土師器		かわらけ	15世紀後半～16世紀前半	口縁部～底部	ロクロナデ	ロクロナデ,オサエ	底部回転糸切り痕,一部被熱	14.9	(8.4)	(8.6)	(4.8)	-	1.65
2141	19B	-	表採	山茶碗	尾張	片口鉢	第7型式	体部～底部	ロクロナデ,ケズリ	ロクロナデ,ケズリ		79.7	-	-	(11.2)	(11.4)	(5.6)
2142	19B	3628	表土	施釉陶器	美濃	尾呂茶碗	連房式第7小期	口縁部～底部	鉄釉（飴釉）	鉄釉（飴釉）	底部周辺露胎	52.9	11.7	12.0	3.7	4.2	6.6
2143	19B	3428	表土	施釉陶器	瀬戸	湯呑	連房式第8～11小期	口縁部～体部	鉄釉（漆黒釉）	鉄釉（漆黒釉）		25.5	(9.8)	(10.2)	-	-	(4.9)
2144	19B	-	表採	施釉陶器	瀬戸	天目茶碗	連房式第5小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉	高台周辺露胎	21.2	(11.0)	(11.6)	-	-	(6.0)
2145	19B	-	表土	磁器	瀬戸美濃	小碗	連房式第10・11小期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		17.2	(10.9)	(11.0)	-	-	(4.2)
2146	19B	3230	表土	磁器	瀬戸美濃	端反椀L	連房式第11小期	口縁部	染付,透明釉	染付,透明釉		6.3	(11.2)	(11.3)	-	-	(2.9)
2147	19B	-	表土	磁器	瀬戸美濃	端反椀L	連房式第11小期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		6.6	(10.7)	(10.8)	-	-	(3.0)
2148	19B	-	表採	施釉陶器	瀬戸	広東碗	連房式第11小期	体部～底部	染付,透明釉	染付,透明釉		104.6	-	-	5.2	6.2	(3.4)
2149	19B	-	表土	磁器	瀬戸	端反椀M	連房式第10小期	口縁部～底部	染付,透明釉	染付,透明釉	やや焼成不良	51.8	10.0	10.2	3.6	3.9	5.1
2150	19B	3428	表土	磁器	肥前	箱型湯呑	IV～V期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		12.7	(7.2)	(7.4)	-	-	(4.8)
2151	19B	-	表土	炻器	美濃	箱型湯呑	連房式第10小期	口縁部～体部	染付,透明釉	染付,透明釉		7	(8.0)	(8.1)	-	-	(3.5)
2152	19B	-	表土	施釉陶器	瀬戸	輪禿皿	連房式第6小期	全体	灰釉	灰釉,輪禿	高台周辺露胎	128.6	11.2	11.4	5.7	5.9	2.7
2153	19B	3230	表土	施釉陶器	美濃	片口鉢	連房式第8小期	口縁部～体部	灰釉	灰釉		46.5	(15.4)	(15.8)	-	-	(4.8)
2154	19B	3230	表土	施釉陶器	瀬戸美濃	行平鍋	連房式第11小期	口縁部	灰釉	灰釉	外面下部露胎、炭化物付着	12.2	(12.9)	(13.5)	-	-	(3.1)
2155	19A	3830・3831	表土	施釉陶器	瀬戸美濃	天目茶碗	連房式第2小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉	高台周辺露胎	30.8	(10.9)	(11.0)	-	-	(5.4)
2156	19A	3830	表土	施釉陶器	産地不明	輪禿皿	不明	体部～底部	灰釉	灰釉,輪禿	高台周辺露胎	53.1	-	-	(5.8)	(6.3)	(2.7)
2157	19A	-	表土	施釉陶器	瀬戸美濃	鉢	連房式第1～4小期か	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉		63.3	(29.4)	(31.0)	-	-	(3.7)
2158	19A	-	表土	施釉陶器	瀬戸	擂鉢	連房式第8小期	口縁部～体部	鉄釉	鉄釉		40.8	(31.0)	(32.2)	-	-	(3.8)
2159	19A	3830・3831	表土	施釉陶器	美濃	瓢箪型徳利	連房式第8～11小期か	肩部～体部	鉄釉,灰釉流し掛け	錆釉		36.6	-	-	-	-	(7.6)
2160	19A	390310	-	施釉陶器	瀬戸美濃	加工品	江戸時代末～近代	全体	鉄釉	鉄釉	擂鉢の加工品	8.8	長2.8	-	幅3.3	-	厚0.9
2161	14	-	TT04	施釉陶器	美濃	小碗	連房式第7・8小期	口縁部～体部	灰釉	灰釉		6.2	(7.4)	(7.8)	-	-	(2.9)

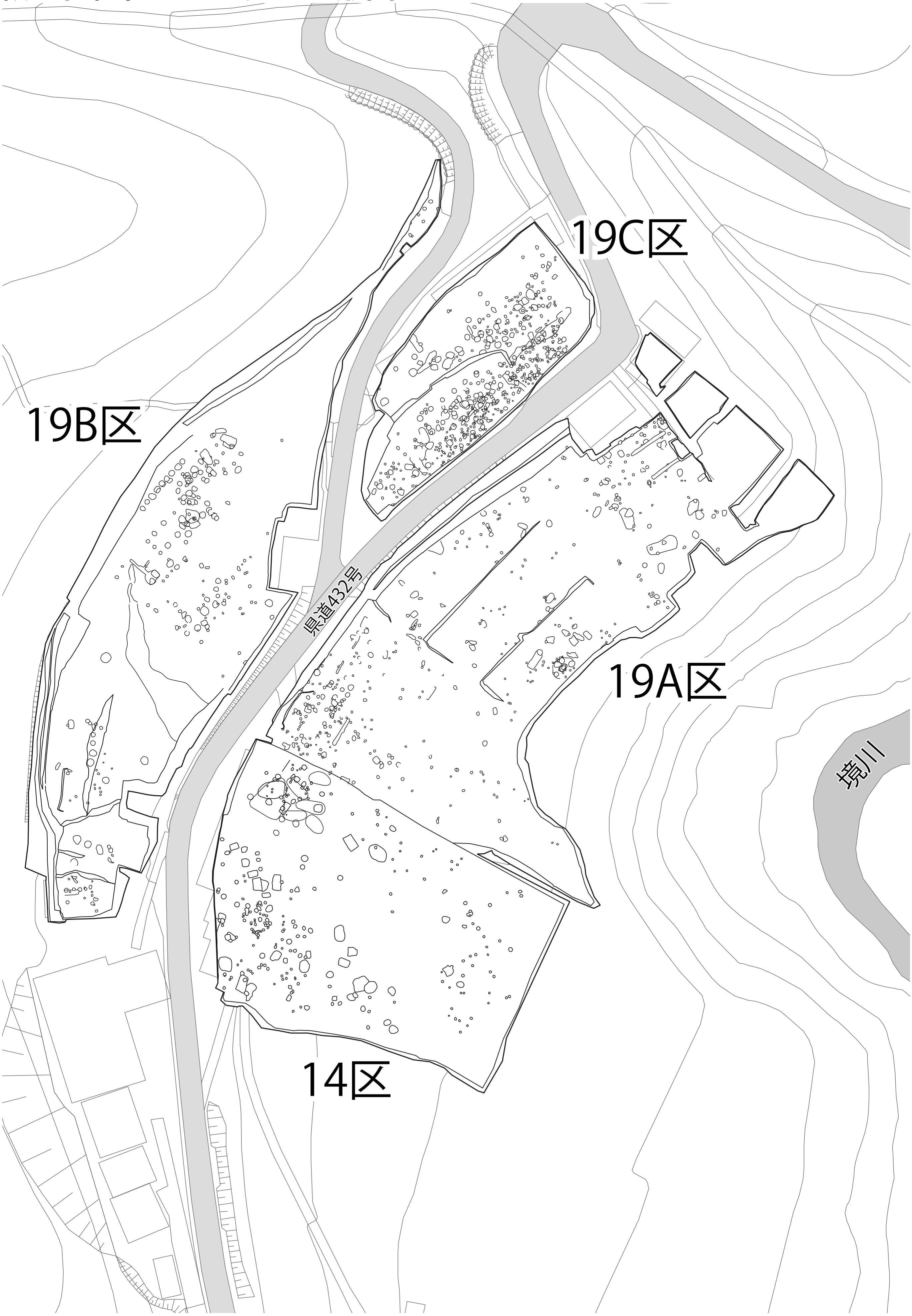
表 26　木製品　掲載遺物一覧表

掲載番号	調査区	グリッド	遺構	カテゴリ	法量（cm）括弧内は復元径または残存高		
					最大長	最大幅	最大厚
3001	19B	4027	212SE	井戸枠	(63.0)	11.5	3.2
3002	19B	4027	212SE	井戸枠	(59.2)	11.5	2.9
3003	19B	4027	212SE	井戸枠	(65.5)	11.0	2.9
3004	19B	4027	212SE	井戸枠	(60.8)	11.7	3.2
3005	19B	4027	212SE	井戸枠	(60.3)	11.2	3.0
3006	19B	4027	212SE	井戸枠	(60.4)	11.2	3.2
3007	19B	4027	212SE	井戸枠	(50.4)	11.4	2.9
3008	19B	4027	212SE	井戸枠	(60.3)	10.7	3.1
3009	19B	4027	212SE	井戸枠	(57.8)	10.9	2.9
3010	19B	4027	212SE	井戸枠	(62.4)	11.3	3.2
3011	19B	4027	212SE	井戸枠	(58.2)	11.6	3.2
3012	19B	4027	212SE	井戸枠	(60.4)	11.5	3.4
3013	19B	4027	212SE	井戸枠	(58.9)	10.9	3.1
3014	19B	4027	212SE	井戸枠	(55.9)	11.1	2.9
3015	19B	4027	212SE	井戸枠	(44.9)	12.3	3.2
3016	19B	4027	212SE	井戸枠	(47.4)	10.8	3.0
3017	19B	4027	212SE	井戸枠	(59.3)	10.9	2.9
3018	19B	4027	212SE	井戸枠	(59.7)	11.4	2.9
3019	19B	4027	212SE	井戸枠	(58.5)	11.3	3.1
3020	19B	4027	212SE	井戸枠	(59.6)	11.6	3.1
3021	19B	4027	212SE	井戸枠	(63.7)	10.8	3.1
3022	19B	4027	212SE	井戸枠	(59.2)	11.2	3.1
3023	19B	4027	212SE	井戸枠	(62.5)	12.0	3.2
3024	19B	4027	212SE	井戸枠	(62.6)	11.1	3.4
3025	19B	4027	212SE	井戸部材	84.1	21.4	20.1
3026	19B	4027	212SE	井戸部材	81.0	20.2	19.4
3027	19B	4027	212SE	井戸部材	83.1	14.4	20.6
3028	19B	4027	212SE	井戸部材	92.6	16.4	26.4
3029	19B	4027	212SE	井戸部材	89.7	10.9	21.4
3030	19C	3232	1062SK	曲物側板	(5.0)	(22.3)	0.8
3031	19C	3232	1062SK	曲物側板	(5.2)	(20.5)	0.3
3032	19C	3232	1062SK	柱材か	(22.8)	(8.9)	(6.1)

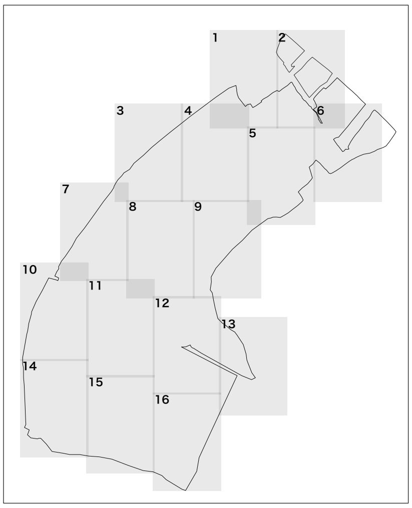
表 27　金属製品　掲載遺物一覧表

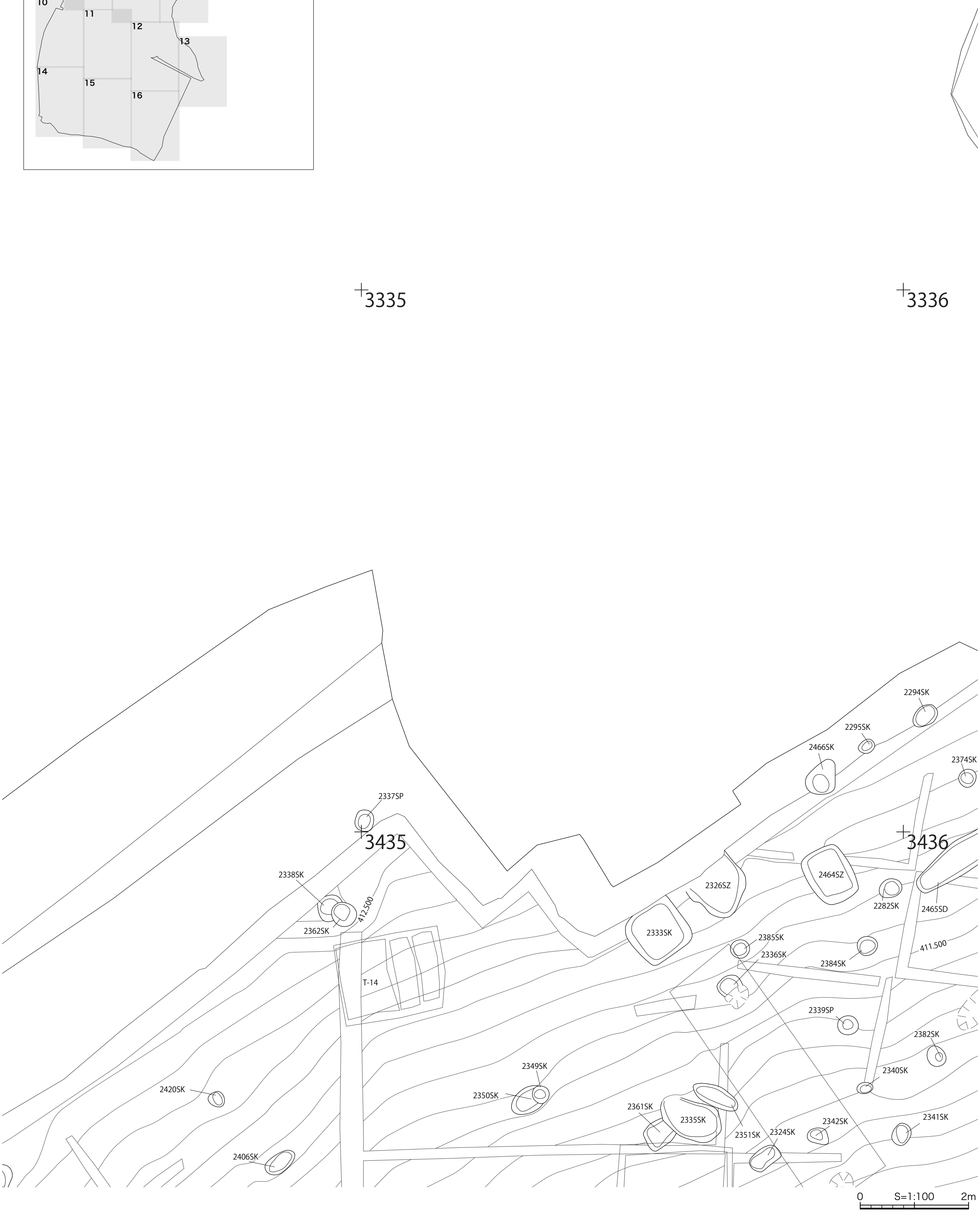
掲載番号	調査区	グリッド	遺構	重量 (g)	カテゴリ	産地等	器種	型式・時期	部　位	調整・文様・施釉		備　考	法量（cm）括弧内は残存高		
										表面	裏面		最大長	最大幅	最大厚
1	19A	3833	2178SZ	2.8	銅製品	北宋	銭貨（紹聖元寶）	1094年初鋳	全体	紹聖元寶（篆書）	背文なし		2.5	2.5	0.1
2	19A	3833	2178SZ	3.1	銅製品	北宋	銭貨（聖宋元寶）	1101年初鋳	全体	聖宋元寶（篆書）	背文なし		2.4	2.4	0.1
3	19A	3833	2178SZ	2.5	銅製品	北宋	銭貨（大観通寶）	1107年初鋳	全体	大観通寶（真書）	背文なし		2.3	2.3	0.1
4	19A	3833	2178SZ	2.8	銅製品	北宋	銭貨（熈寧元寶）	1068年初鋳	全体	熈寧元寶（真書）	背文なし		2.4	2.4	0.1
5	19A	3833	2178SZ	2.4	銅製品	北宋	銭貨（元祐通寶）	1086年初鋳	全体	元祐通寶（行書）	背文なし		2.4	2.4	0.1
6	19A	3831	2224SZ	3.2	銅製品	日本	銭貨（寛永通寶）	1694年初鋳	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし		2.5	2.5	0.1
7	19A	3831	2224SZ	21.3	銅製品	日本	銭貨7枚	1694年初鋳か	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし	白色粘土固着	2.7	2.6	0.8
8	19A	3831	2224SZ	9.8	銅製品	日本	銭貨3枚	1694年初鋳か	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし	白色粘土固着	2.6	2.6	0.4
9	19A	3831	2224SZ	6.6	銅製品	日本	銭貨2枚	1665年初鋳か	全体	寛永通寶（ハ寶）	上に「文」	白色粘土固着	2.7	2.6	0.3
10	19A	3435	2464SZ	2.5	銅製品	日本	銭貨（寛永通寶）	1694年初鋳	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし		2.4	2.4	0.1
11	19A	3435	2464SZ	3.3	銅製品	日本	銭貨（寛永通寶）	1694年初鋳	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし	白色粘土固着	2.5	2.5	0.1
12	19A	3435	2464SZ	16.1	銅製品	日本	銭貨5枚	1665年初鋳か	全体	寛永通寶（ハ寶）	上に「文」	白色粘土固着	2.7	2.7	0.6
13	19C	3134	1224SK	3.2	銅製品	日本	銭貨（不明）	不明	全体	不明	背文なし		2.5	2.5	0.1
14	19B	3428	036SK	1.8	銅製品	日本	銭貨（寛永通寶）	1694年初鋳	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし		2.6	2.5	0.1
15	14	3930	撹乱	2.8	銅製品	日本	銭貨（寛永通寶）	1694年初鋳	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし		2.4	2.4	0.1
16	14	3931	2層	3	銅製品	日本	銭貨（寛永通寶）	1694年初鋳	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし	白色粘土固着	2.5	2.5	0.1
17	14	3931	2層	17.3	銅製品	日本	銭貨5枚	1694年初鋳か	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし	白色粘土固着	2.8	2.7	0.7
18	19C	3034	検出	3.4	銅製品	日本	銭貨（寛永通寶）	1694年初鋳	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし		2.5	2.5	0.1
19	19C	3134	検出	2.2	銅製品	日本	銭貨（不明）	不明	全体	不明	背文なし		2.4	2.4	0.1
20	19A	3835	表土	1.7	銅製品	日本	銭貨（寛永通寶）	1694年初鋳	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし		2.4	2.4	0.1
21	19B	3231	表土	2.4	銅製品	日本	銭貨（寛永通寶）	1694年初鋳	全体	寛永通寶（ハ寶）	背文なし		2.5	2.5	0.1
22	19A	3435	2326SZ	10.1	銅製品と竹製品	不明	煙管	不明	雁首と羅宇				(8.9)	2.5	1.1
23	19A	3336	2465SD	9.4	銅製品	不明	煙管	不明	吸口				(4.7)	(1.1)	1.0
24	19A	3831	2224SZ	1.6	銅製品	不明	煙管	不明	吸口か				(4.1)	(0.9)	0.9
25	14	3930	2層	3.7	鉄製品	不明	釘	不明	全体				3.8	1.2	0.5
26	14	3930	2層	8.1	鉄製品	不明	刀子	不明	先端部				(4.9)	(1.4)	0.5
27	14	3930	2層	5.6	鉄製品	不明	刀子	不明	中央部				(2.9)	(2.1)	0.5
28	14	3930	2層	7.5	鉄製品	不明	鉄塊系遺物	不明	一部				(3.1)	(2.4)	0.8
29	14	3930	南北トレンチ	182.5	金属関連遺物	不明	椀型鉄滓	不明	半分				(7.4)	(6.5)	(3.4)
30	19C	3333	1235SK	4.5	鉄製品	不明	缶類	近代以降	一部				-	-	(0.3)
31	19C	3333	1235SK	4.3	鉄製品	不明	釘	近代以降	全体				6.7	0.8	0.8
32	19C	3333	1235SK	4.7	鉄製品	不明	釘	近代以降	全体				6.6	0.9	0.9
33	15		T.T.03	189.4	鉄製品	不明	蹄鉄	近代以降	全体				11.0	10.4	2.3

調査区配置および周辺地形図



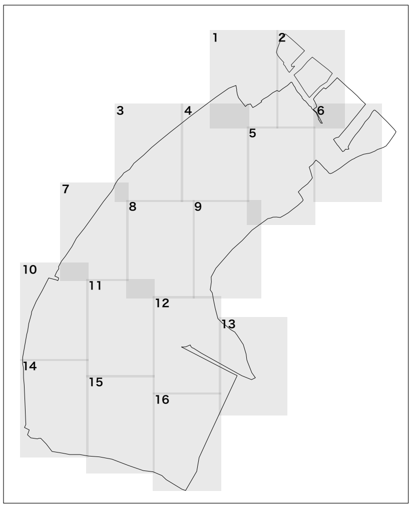
調査区平面図　1 (14 区・19A 区 1)





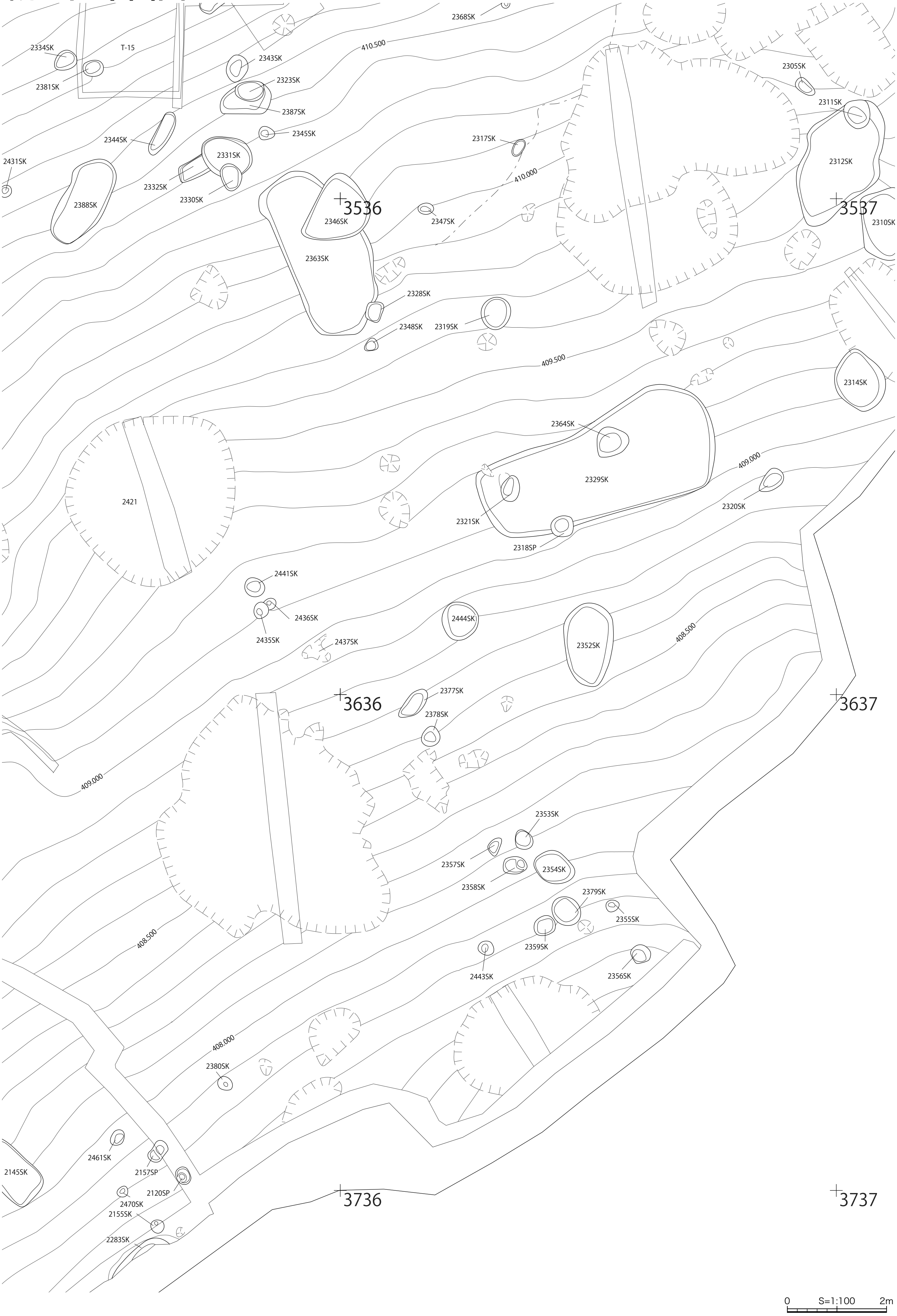
調査区平面図　2 (14 区・19A 区 2)

調査区平面図　3（14区・19A区3）

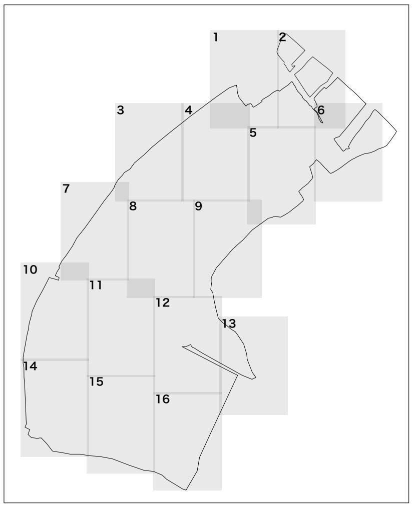


調査区平面図　4 (14 区・19A 区 4)

調査区平面図　5（14 区・19A 区 5）

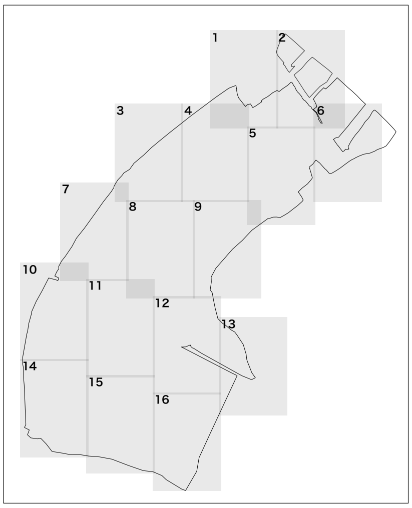


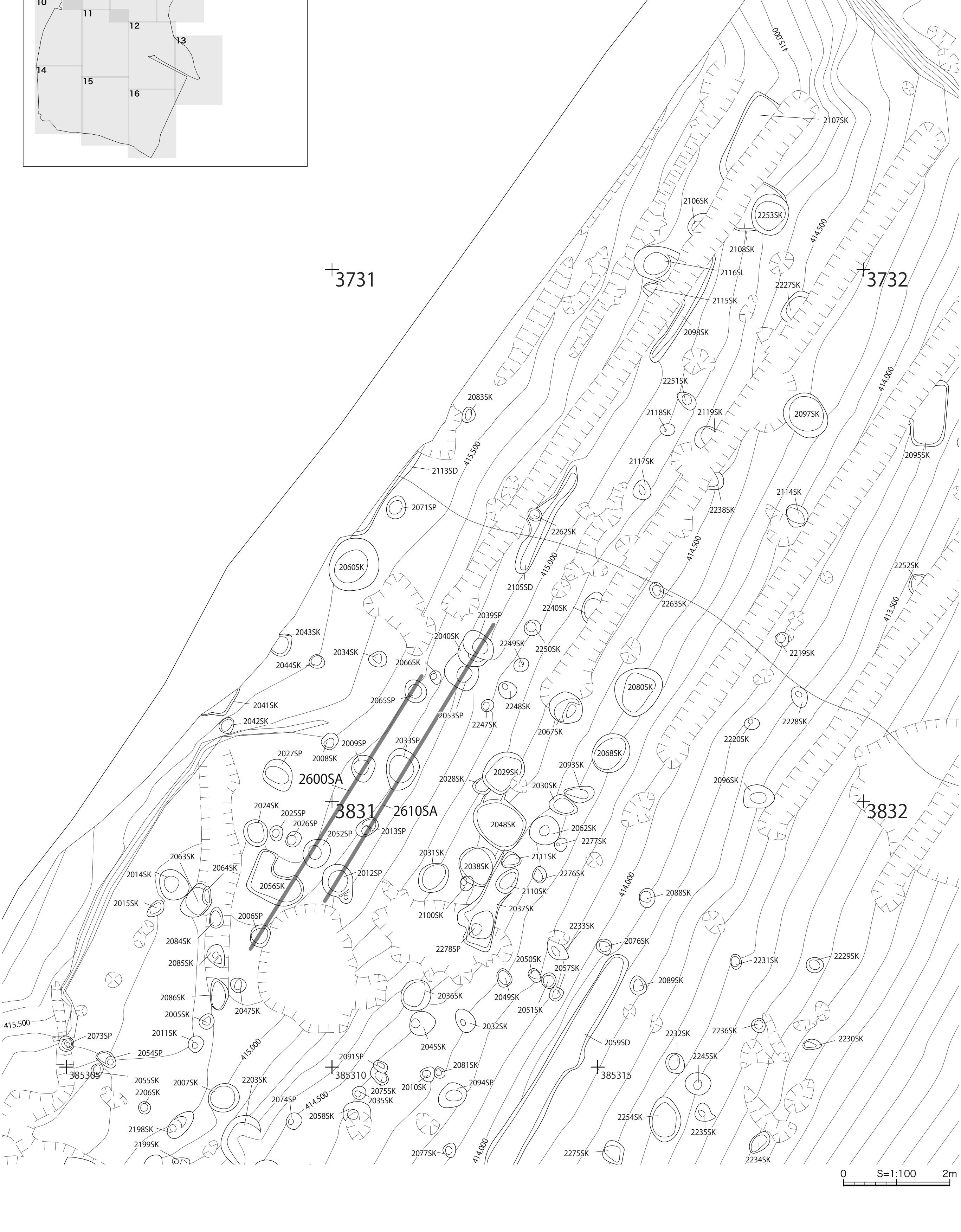
調査区平面図　6 (14 区・19A 区 6)



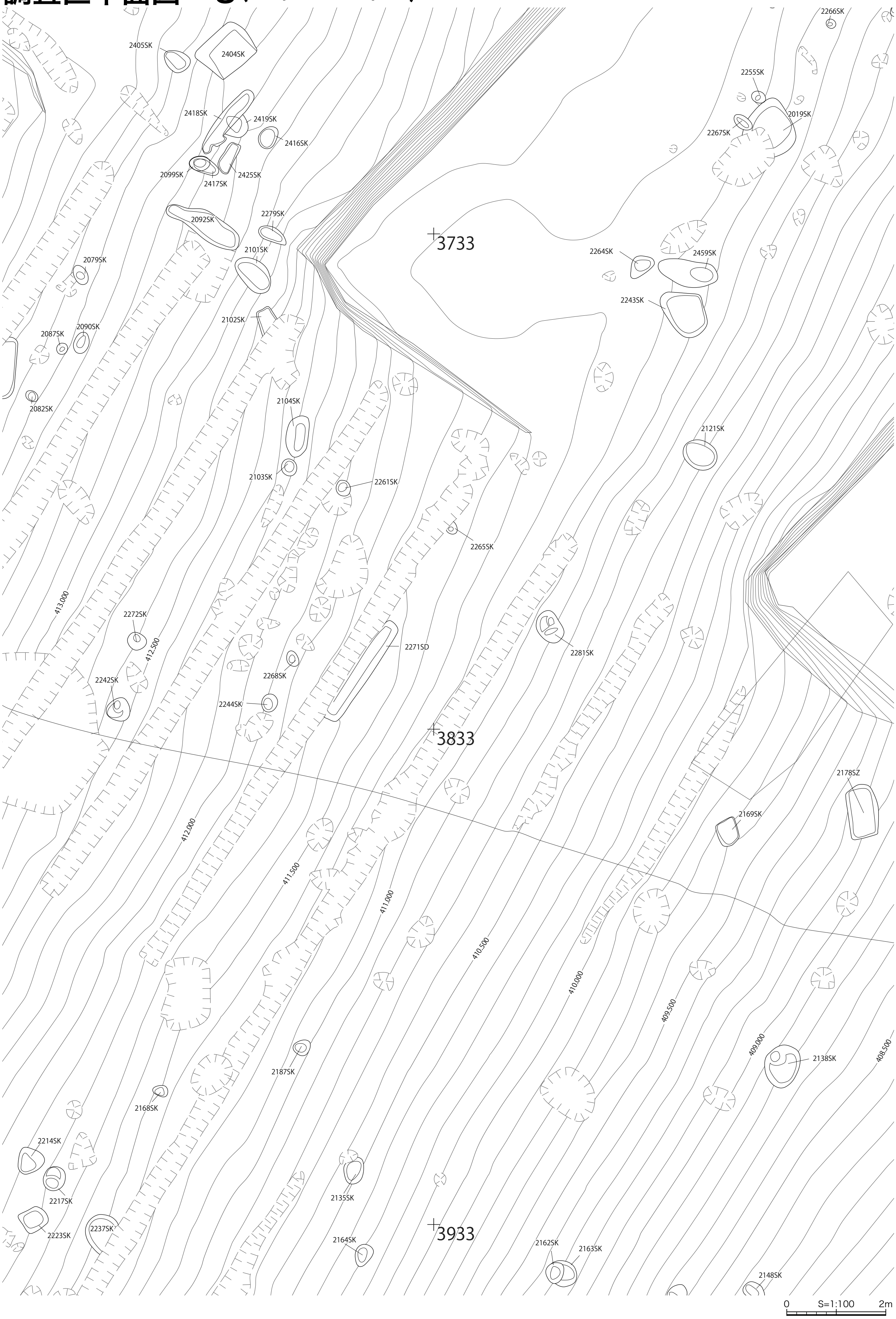
0 S=1:100 2m

調査区平面図　7 (14 区・19A 区 7)

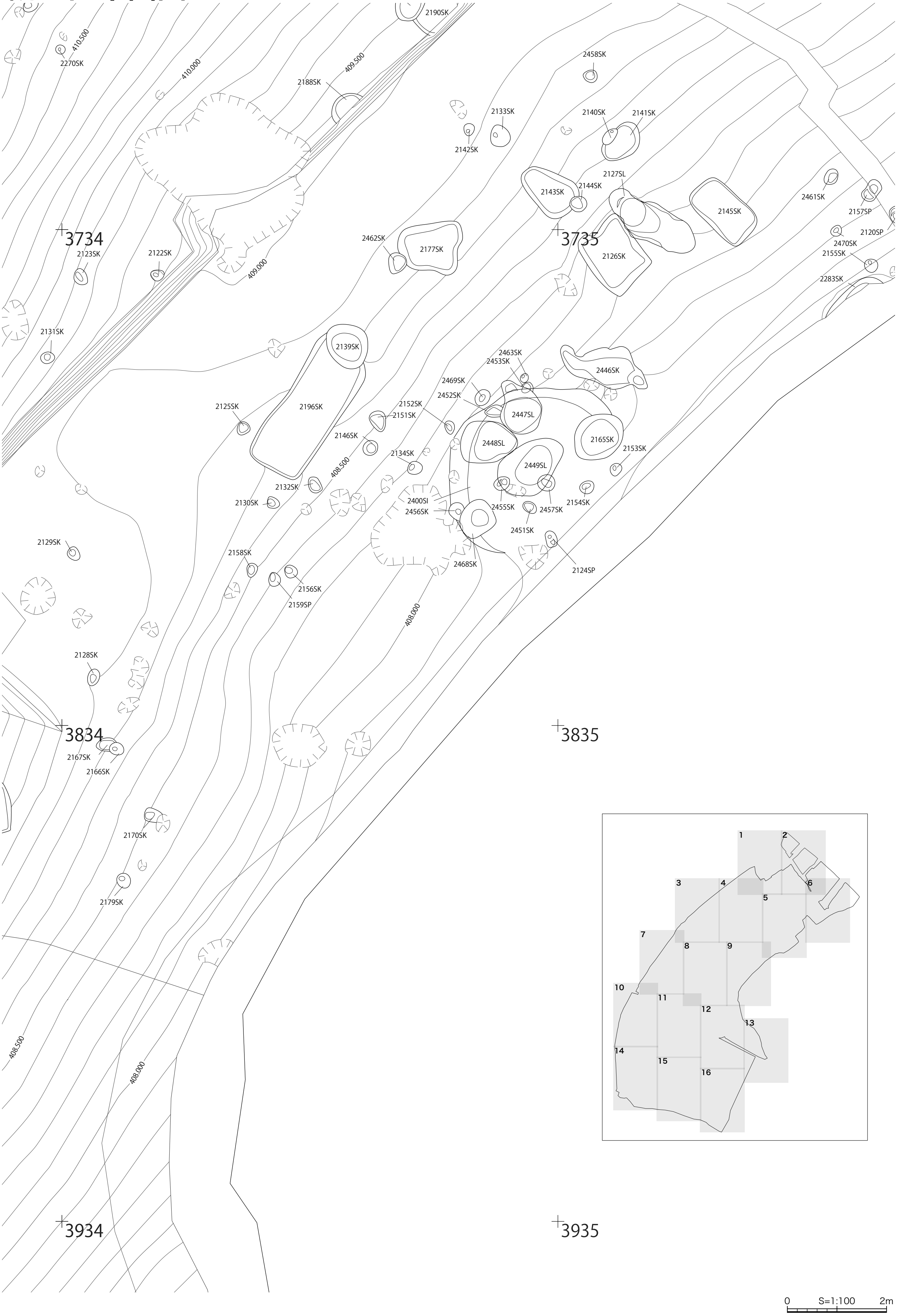




調査区平面図　8（14区・19A区8）



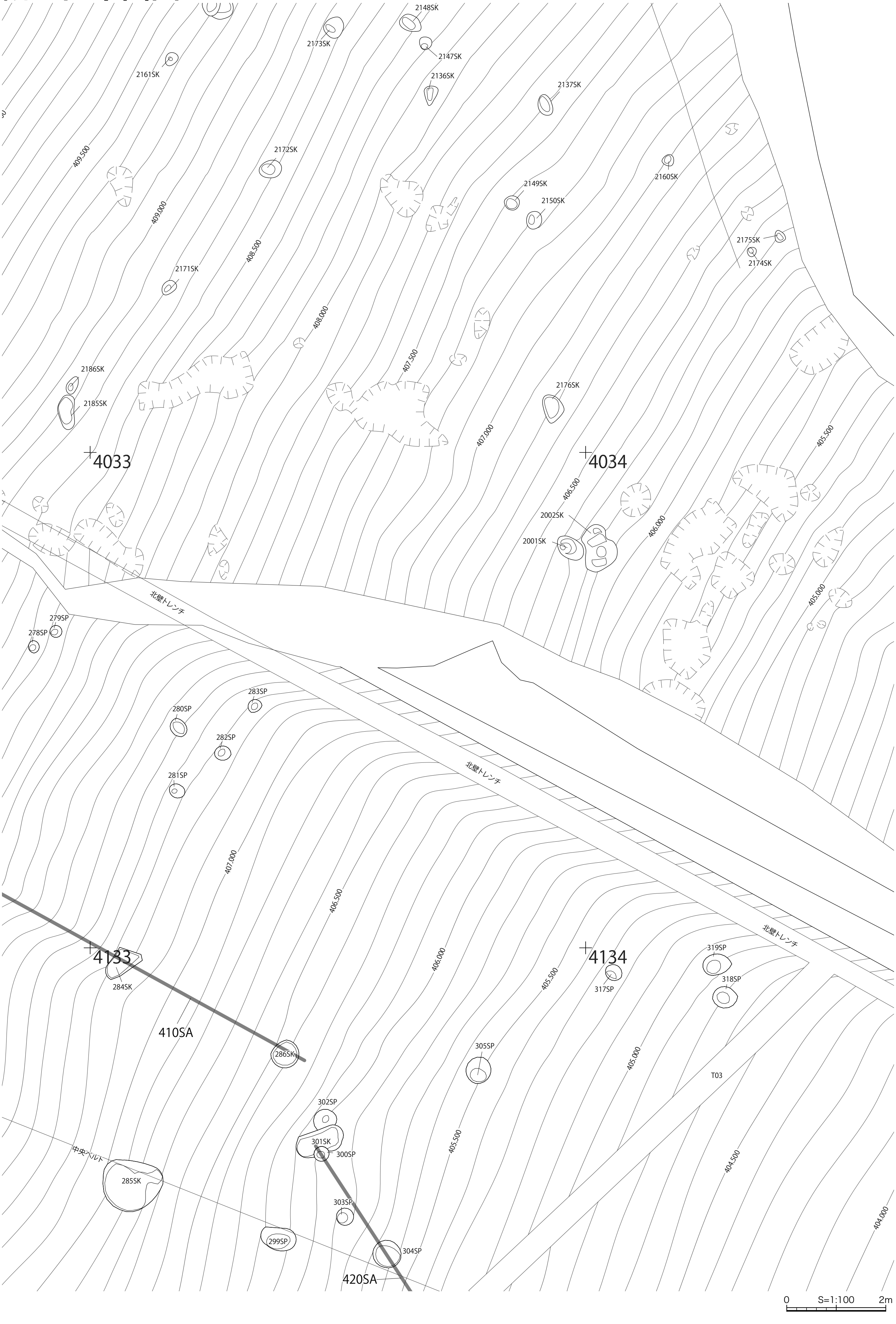
調査区平面図　9 (14 区・19A 区 9)



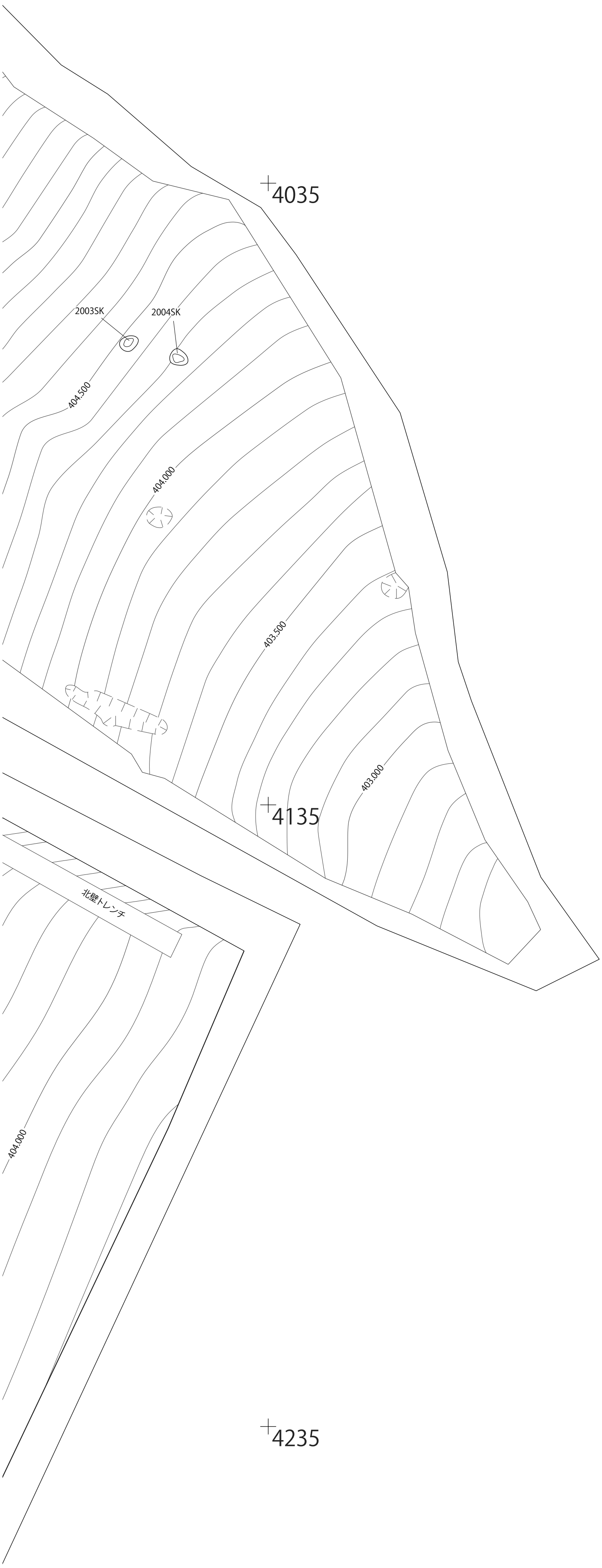
調査区平面図　１０(14区・19A区10)

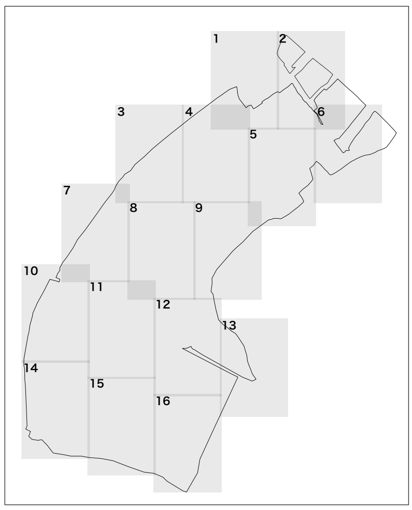
調査区平面図　１１(14 区・19A 区 11)

調査区平面図　１２(14 区・19A 区 12)



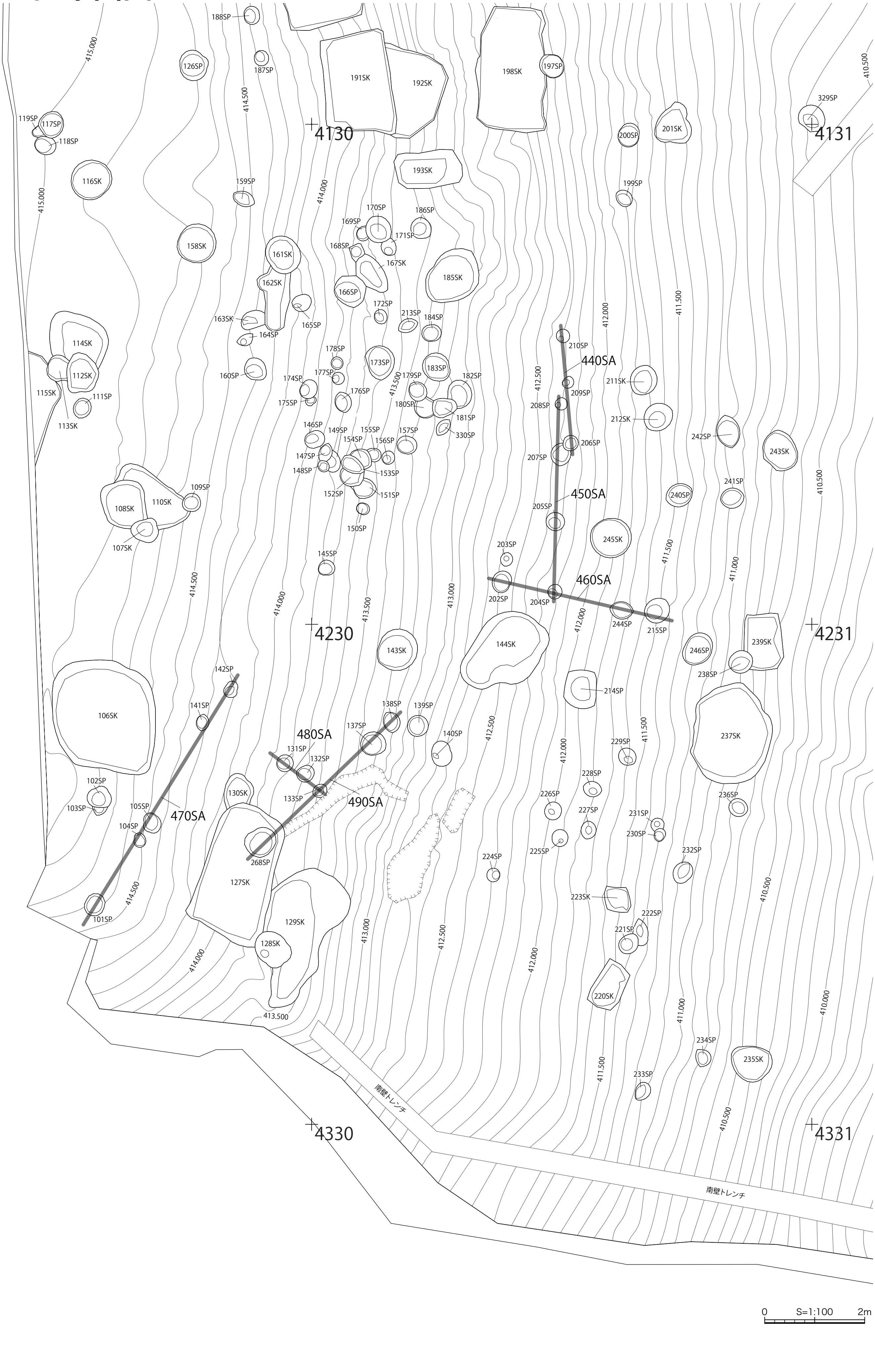
調査区平面図　１３(14 区・19A 区 13)





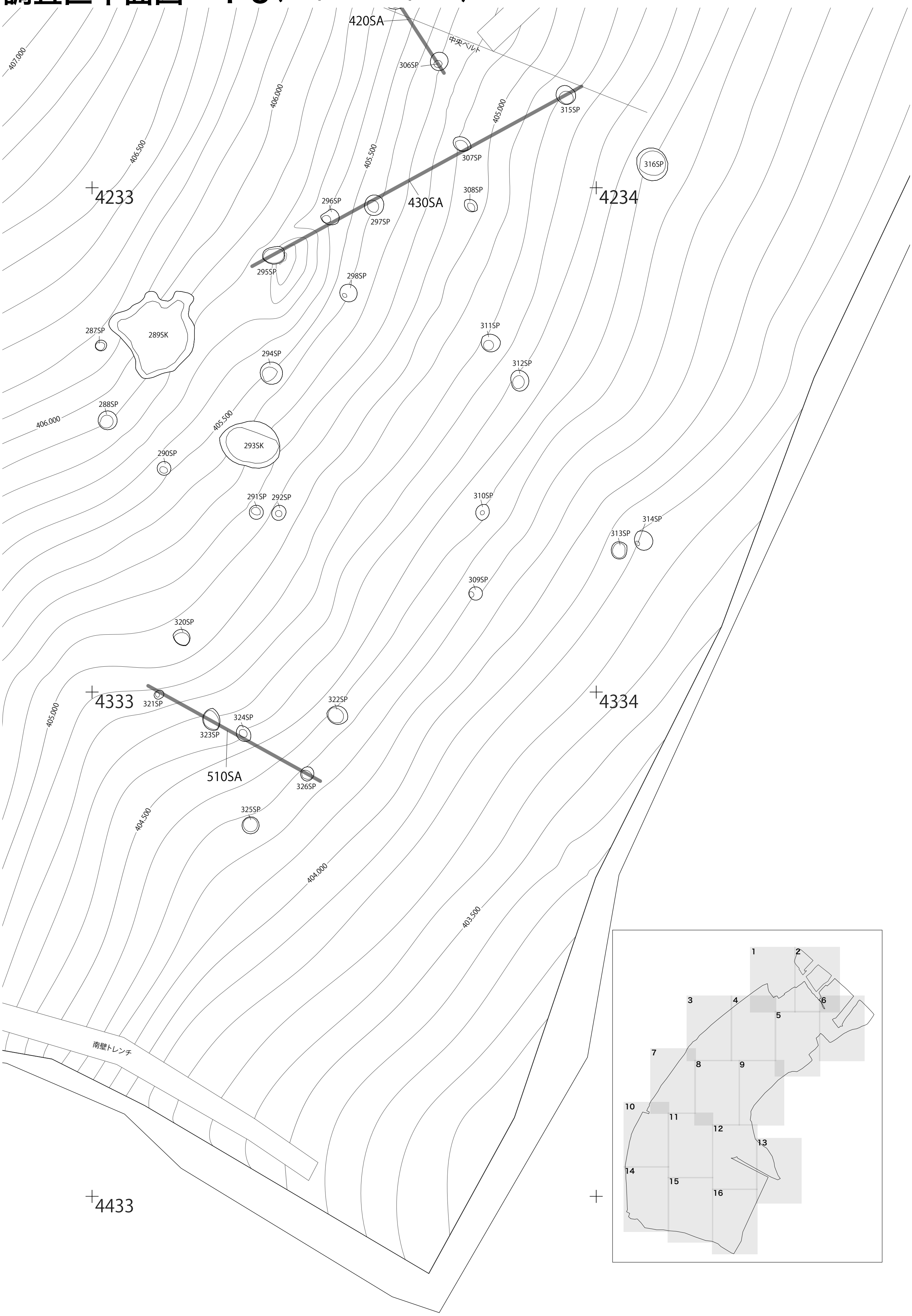
0　S=1:100　2m

調査区平面図　１４(14 区・19A 区 14)

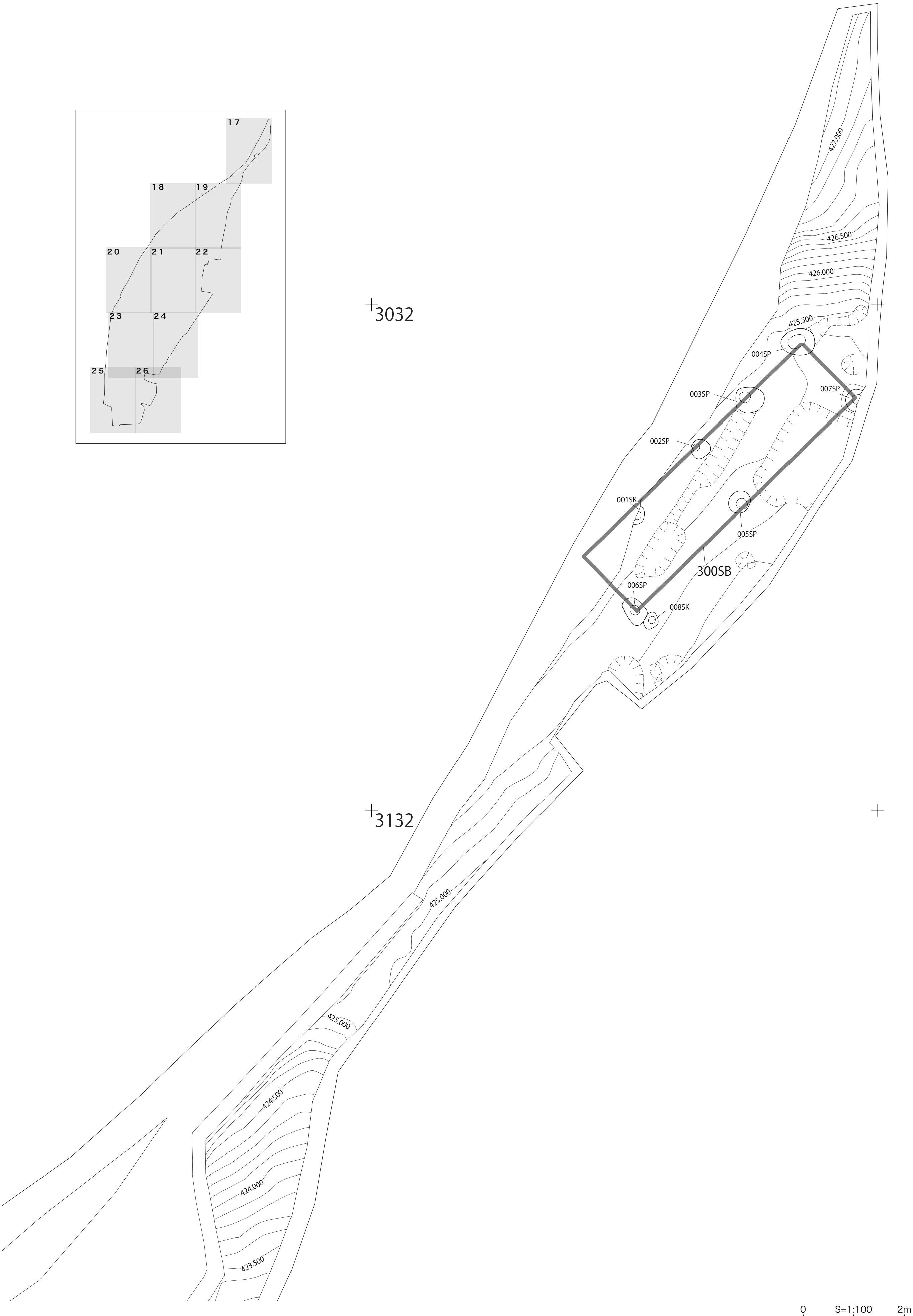


調査区平面図　１５(14 区・19A 区 15)

調査区平面図　１６ (14 区・19A 区 16)



調査区平面図　１７(19B 区 1)

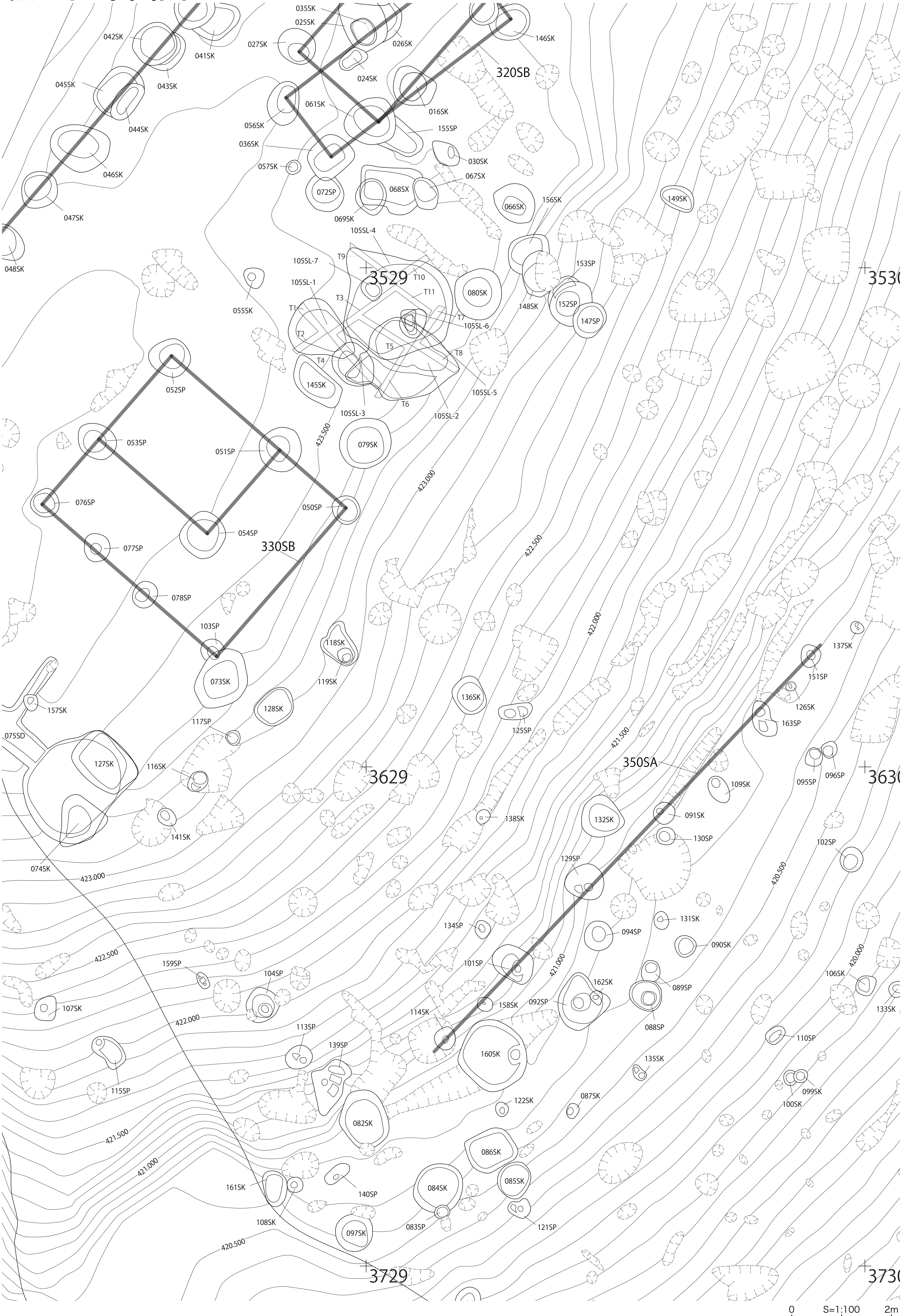


調査区平面図　１８(19B 区 2)

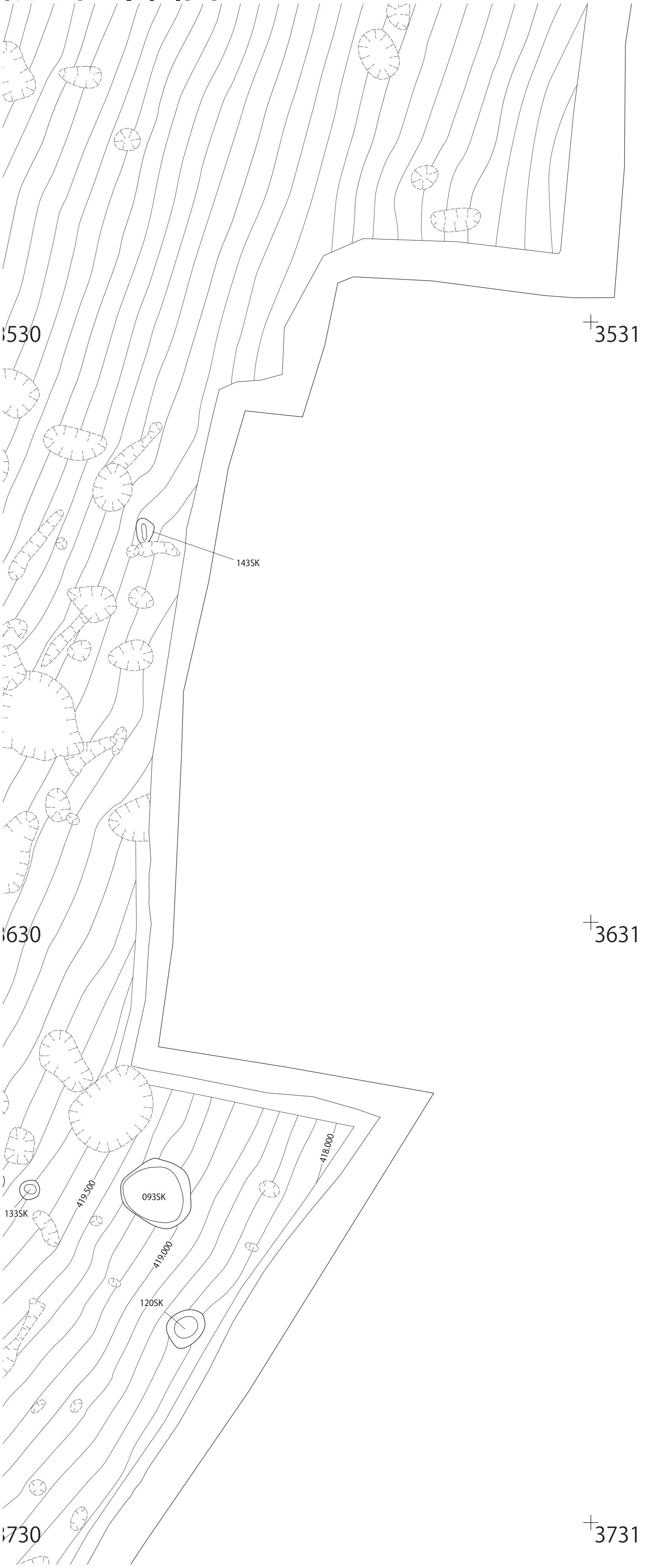
調査区平面図　１９(19B 区 3)

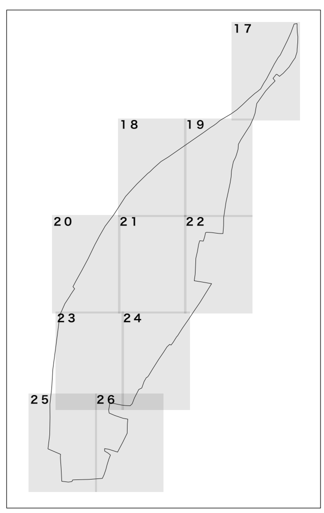
調査区平面図　２０(19B 区 4)

調査区平面図　２１ (19B 区 5)



調査区平面図　２２(19B 区 6)





0　S=1:100　2m

調査区平面図　２３(19B 区 7)

調査区平面図　２４(19B 区 8)

調査区平面図　２５(19B 区 9)

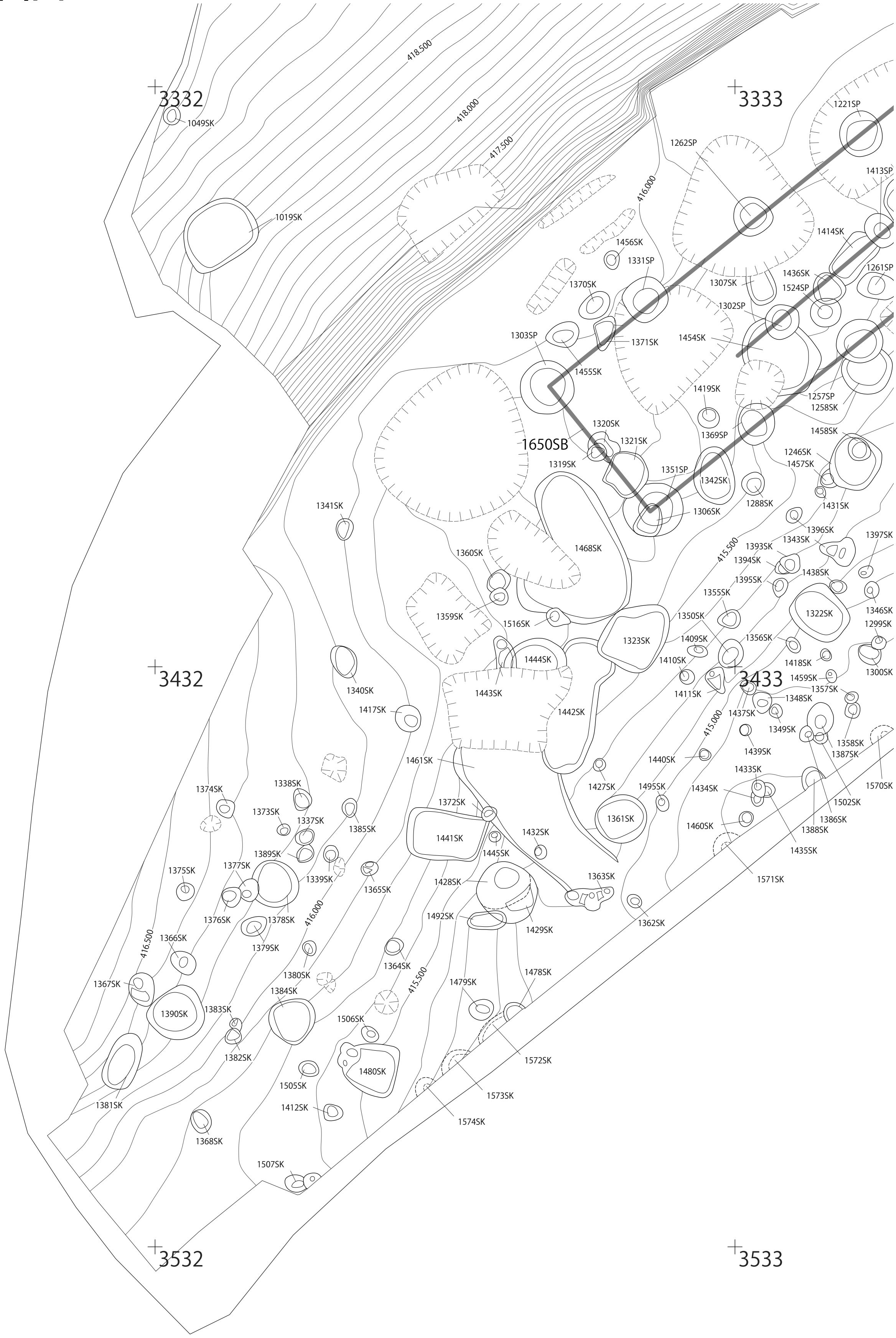
調査区平面図　２６(19B 区 10)

0　S=1:100　2m

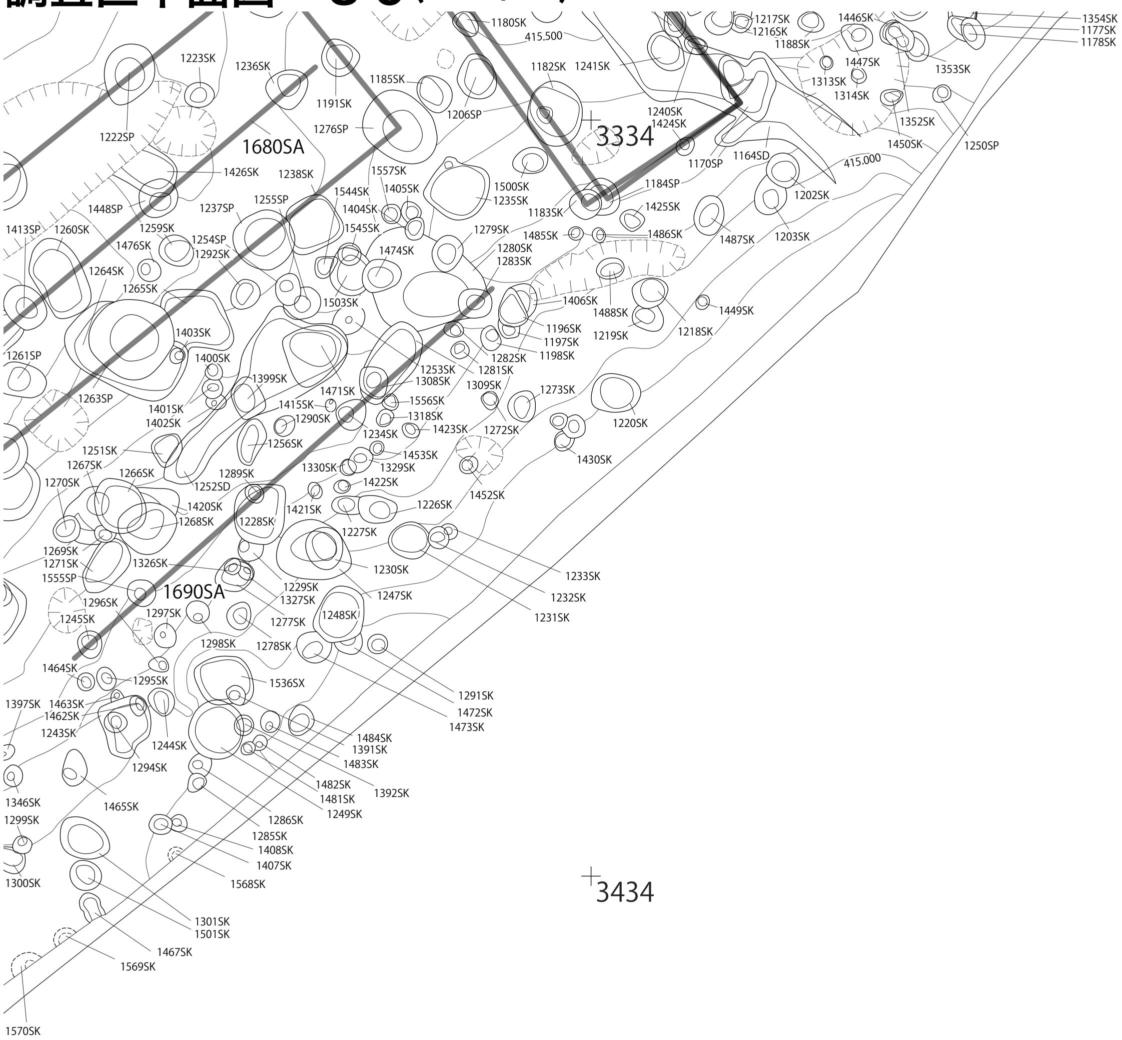
調査区平面図　２７(19C 区 1)

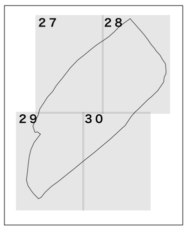
調査区平面図　２８(19C 区 2)

調査区平面図　２９(19C 区 3)



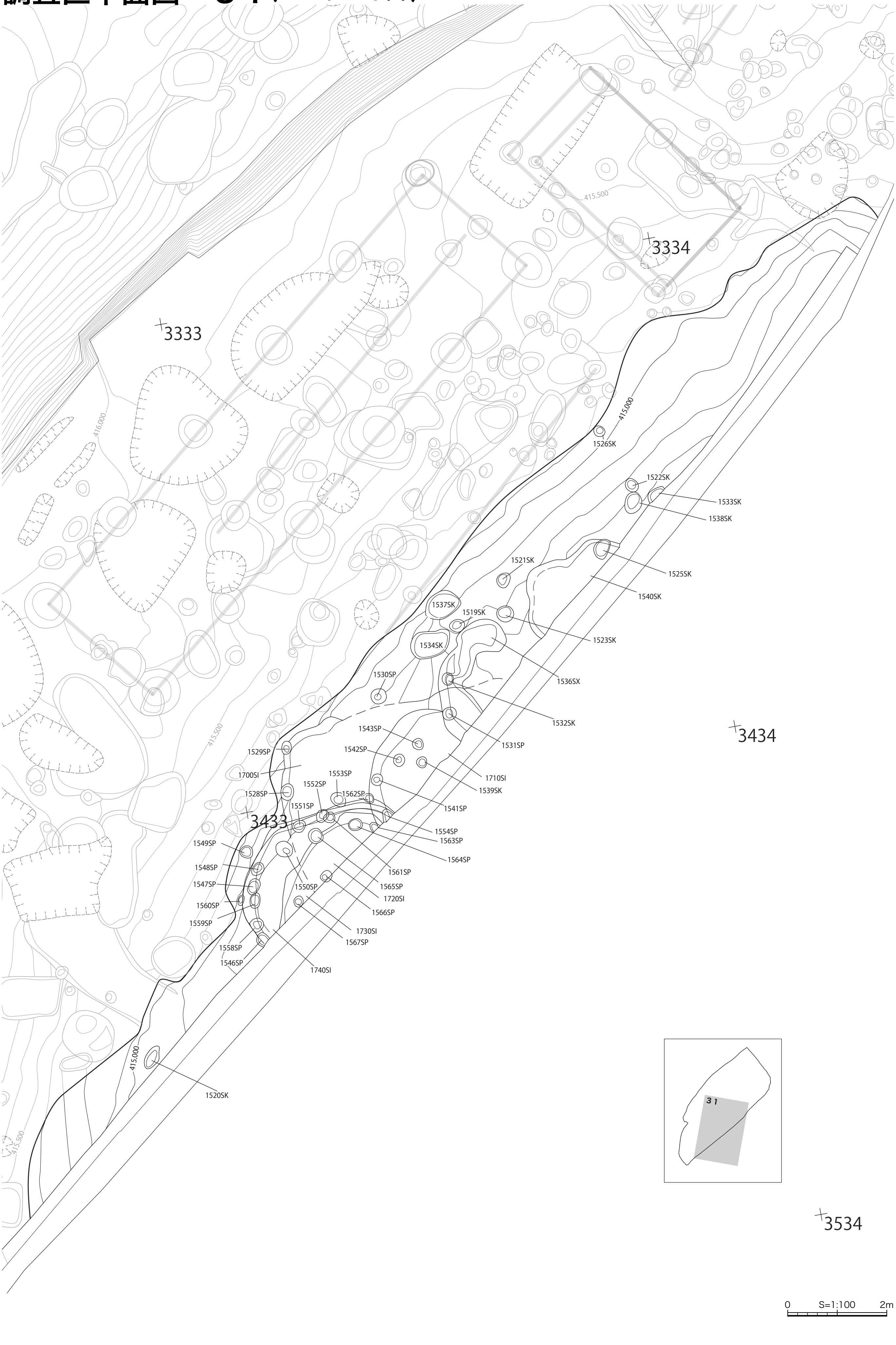
調査区平面図　３０(19C 区 4)





0　S=1:100　2m

調査区平面図　３１（19C 区　下面）



写真図版　1　遺跡・調査区全景（1）

万瀬遺跡遠景（手前左：万瀬遺跡、手前右：笹平遺跡
中央右寄り：上ヲロウ・下ヲロウ遺跡、右奥：石原遺跡）

14 区全景（上が南西）

19Ba 区全景（北東より）

19Bb 区全景（北より）

19C 区全景（南西より）

写真図版　2　遺跡・調査区全景（2），遺構 14 区（1）

19Aa 区全景（上が南東）

19Ab 区全景（上が北東）

14 区 001SX-1（南西より）

14 区 043SI 完掘状況（南より）
（写真下部……013SL）

14 区 013SL 土層断面

写真図版　3　遺構 14 区（2）


14 区 052SK　上層遺物出土状況


14 区 052SK　下層集石検出状況


14 区 052SK　最下部　金床石（か）出土状況


14 区 218SP 土層断面（500SA 構成柱穴）


14 区 327SE 土層断面


14 区 328SE 土層断面


14 区完掘状況　南西部（北より）


14 区中央ベルト土層断面（南西より）

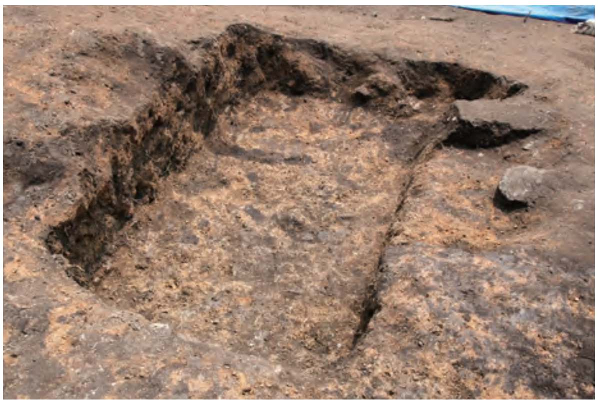
写真図版　4　遺構 19B 区（1）


300SB 完掘状況（北東より）


005SP 完掘状況（南より）
（300SB 構成柱穴）


19B 区中央西部平坦面（上が北西）
（17SX・31SX・32SX、075SD、310 ～ 330SB・340SA、105SL 等完掘・掘削状況）


017SX 集石検出状況（西より）


031SX 完掘状況（南西より）

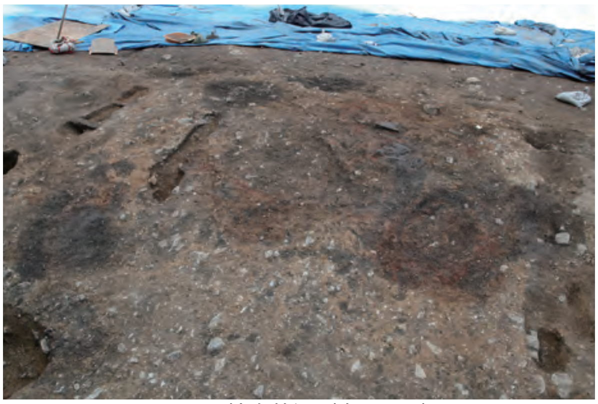
写真図版　5　遺構 19B 区（2）


310SB・330SB　柱穴配置（南西より）


019SP 土層断面（310SB 構成柱穴）


022SP 土層断面


147SP 礎板石検出状況（南より）


105SL 検出状況（南西より）


105SL-1 土層断面


105SL-2 土層断面


105SL-4 礫検出状況（北東より）

写真図版　6　遺構 19B 区（3）


081NR 完掘状況（北西より）


081NR 土器（0317）出土状況


199SL 東側落ち込み検出状況（東より）


199SL 土層断面


212SE 上段外面


212SE 上段土層断面


212SE 中段最上部


212SE 中・下段土層断面

写真図版　7　遺構 19C 区（1）


1710SI 完掘（西より）


1710SI 土層断面


1730SI 床面検出状況（南より）


1740SI 完掘状況（北西より）


1700 ～ 1740SI 完掘状況（西より）


1527SL 土層断面


1527SL 焼土層検出状況（南東より）


1527SL 完掘状況（南より）


23B 区東半部（南から）


1018SK 石製品（1301）出土状況


1204SP（1630SB 構成柱穴）・1205SK（1640SB 構成柱穴）
土層断面


1040SL・1116SL・1117SL 土層断面
（左奥……1174SL）


1174SL 被熱礫検出状況

写真図版　9　遺構 19C 区（3）

1650SB・1680SA・1690SA 完掘状況（南より）

1257SP（1650SB 構成柱穴）土層断面

1303SP（1650SB 構成柱穴）底面柱痕跡（南西より）

1147SP（1660SA 構成柱穴）土層断面

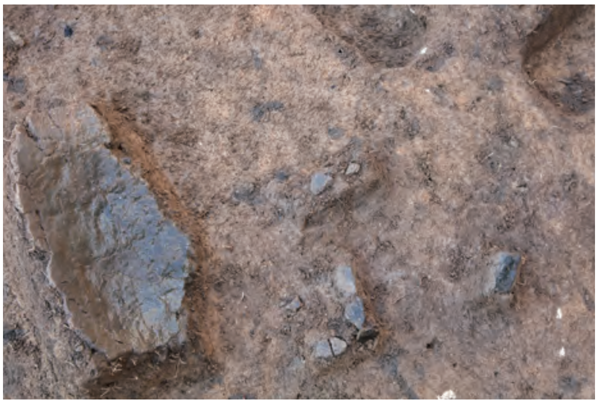
1448SP（1680SA 構成柱穴）土層断面

2500SX 全景（東より）

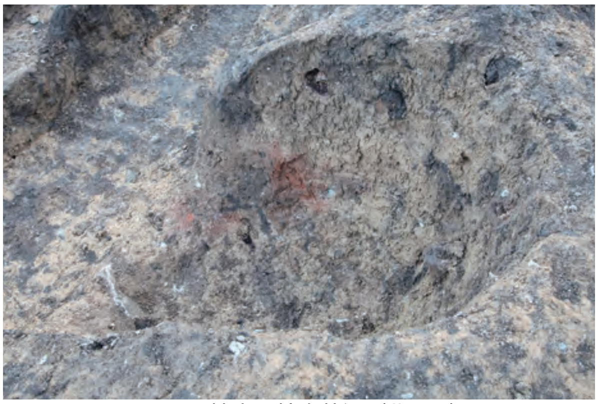
2500SX　土器（0398）出土状況

2500SX 石器（1105）出土状況

2429SK 土器（0408）出土状況 1 面（南東より）



2429SK 土器（0408）出土状況 3 面（東より）


2116SL 焼土面検出状況（北より）


2116SL 土層断面


2127SL 土層断面


2127SL 完掘状況（南東より）


2445SL Ⅲ 段階　礫検出状況（南より）


2445SL　完掘状況（南東より）


2460SI・2447 ～ 2449SL 検出状況（東より）


2460SI・2447 ～ 2449SL 礫検出状況（東より）

写真図版　１２　遺構 19A 区（3）


2447SL 礫検出状況（南東より）


2448SL 土層断面


2460SI・2447 〜 2449SL 完掘状況（東より）


19Aa 区南西部（北より）
（2600SA・2610SA 完掘状況）

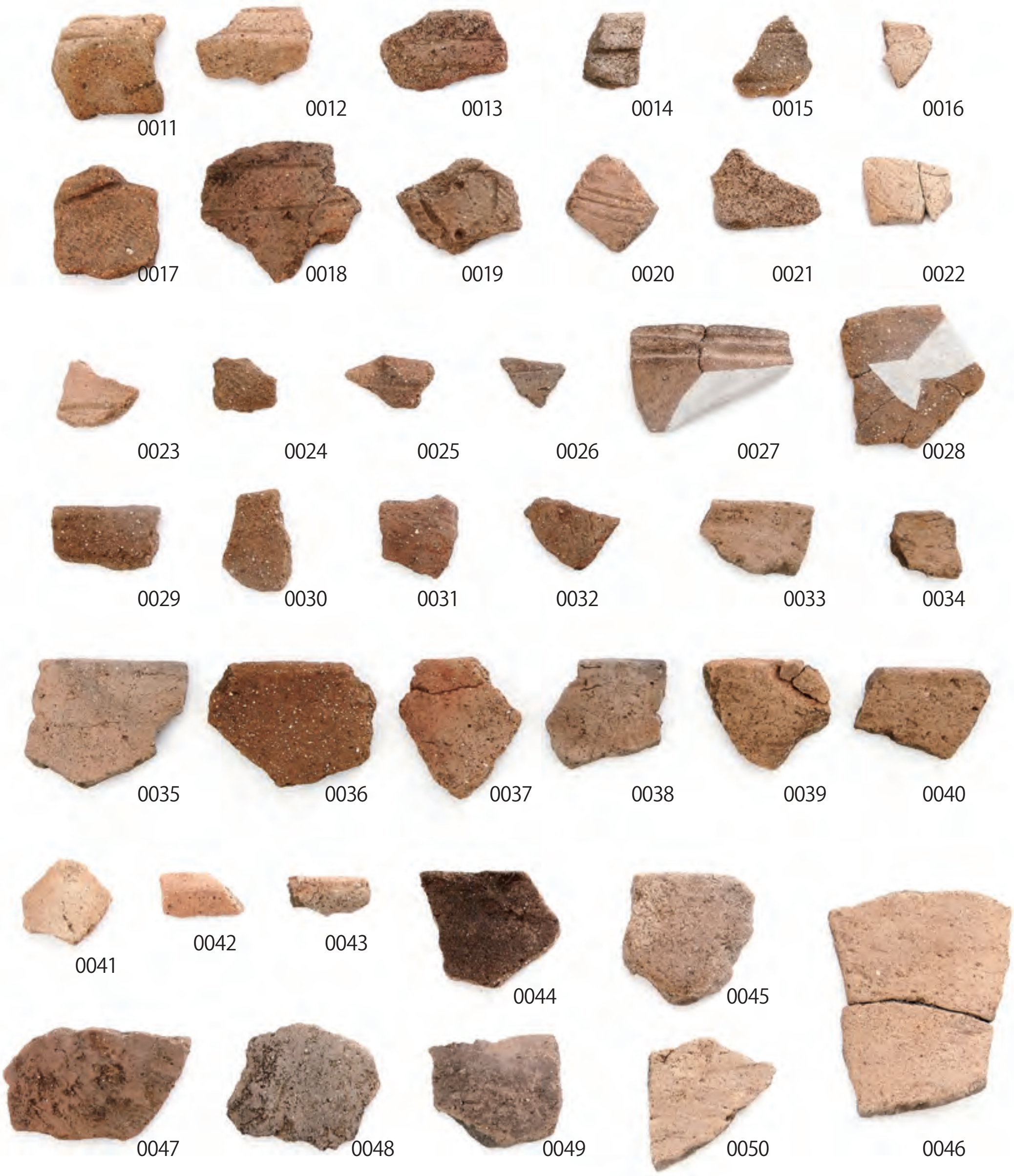

2052SP（2600SA 構成柱穴）土層断面


2224Z 銭貨・煙管出土状況（南西より）


2326SZ 土層断面・煙管出土状況

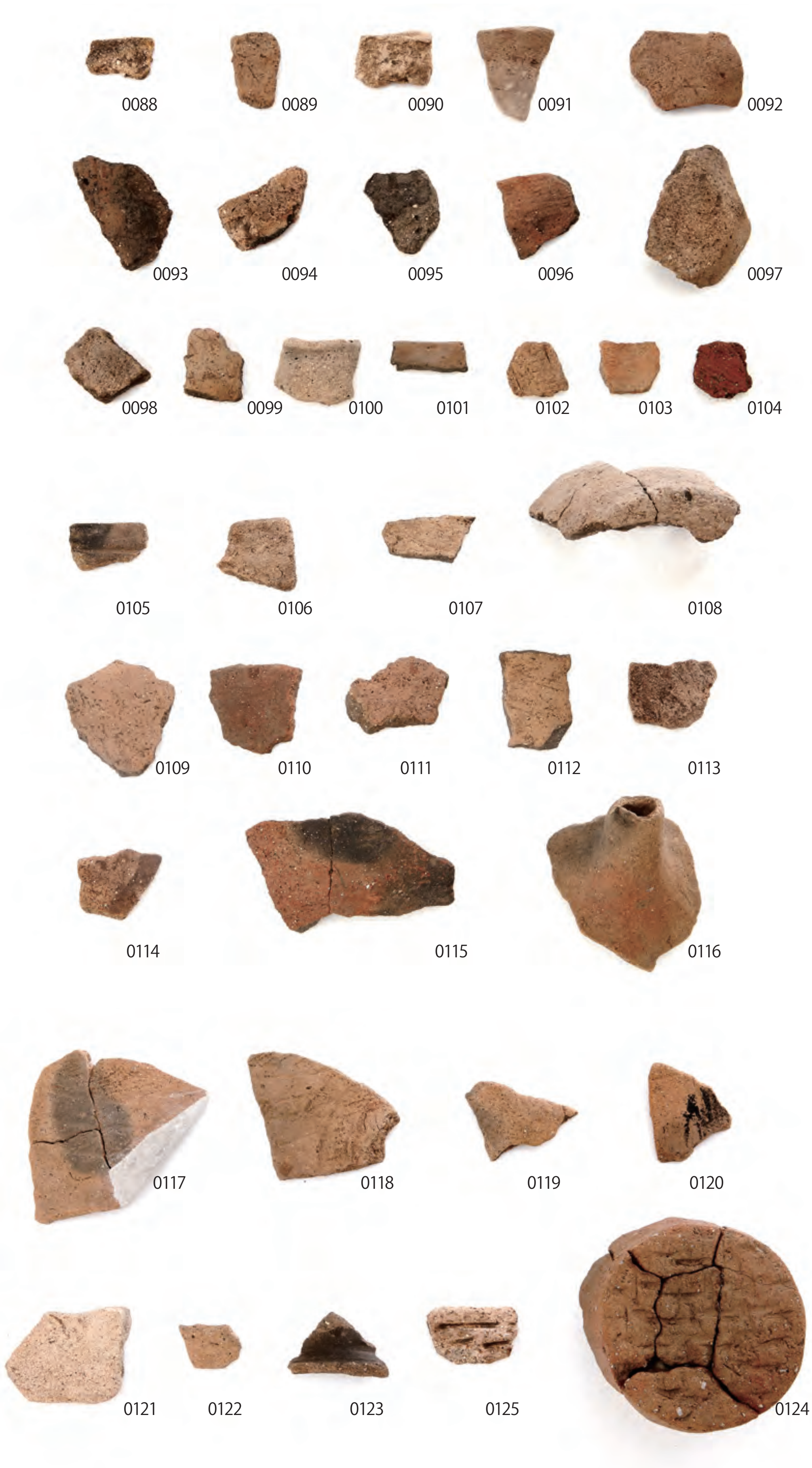

2464SZ 銭貨出土状況（南東より）

写真図版　１３　土器（1）14 区 001SX(1)



写真図版　１４　土器（2）14 区 001SX(2)

写真図版　１５　土器（3）14 区 002SX ～ 052SK



写真図版　１６　土器（4）14 区２層 (1)

写真図版　１７　土器（5）14区２層 (2)

写真図版　１８　土器（6）14 区３層 (1)

写真図版　１９　土器（7）14 区 3 層 (2)

写真図版　２０　土器（８）14 区３層 (3), ４層, トレンチ・ベルトなど (1)

写真図版　２１　土器（９）14区トレンチ・ベルトなど(2), 19B区081NR(1)

写真図版　２２　土器（１０）19B 区 081NR(2)

0317

0323

0324

0325

0326

0327

0328

0329

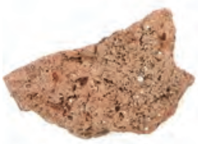
0330

0331

0332

0333

0334



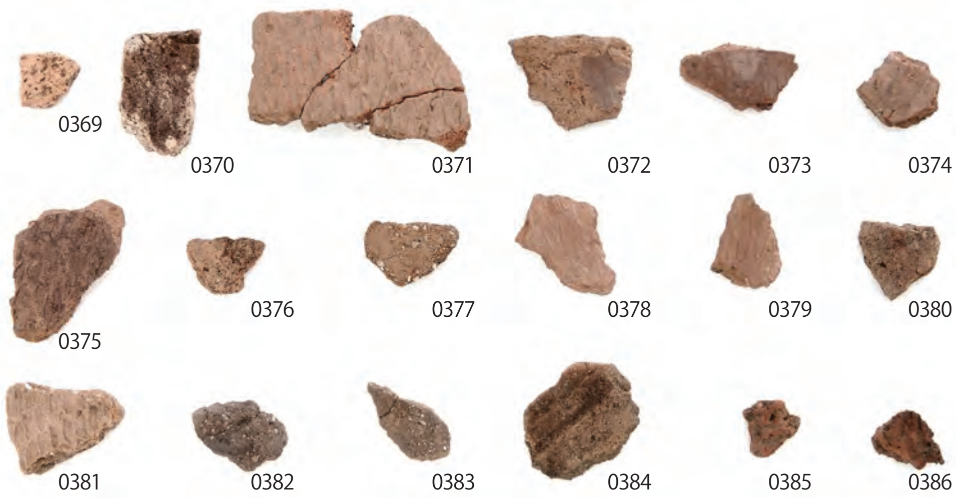
0335

0336

0337

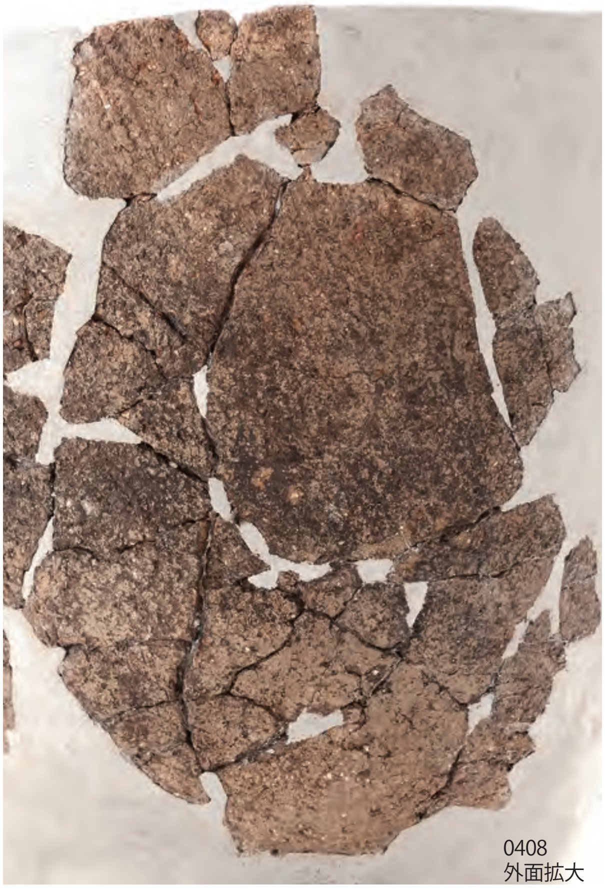
0338

写真図版　２３　土器（１１）19B 区 081NR(3)，085SK，093SK，19C 区 1211SK ～ 1242SK

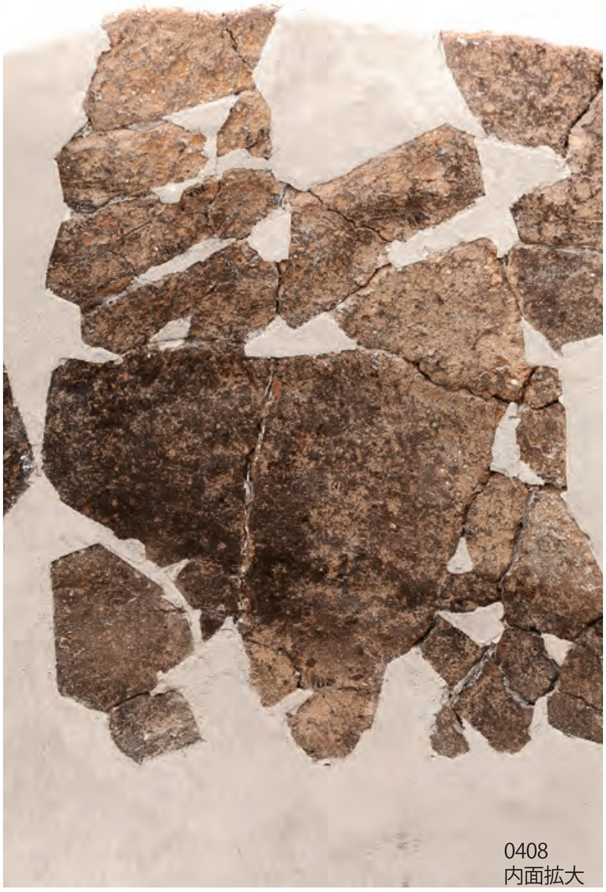


写真図版　２４　土器（１２）19A 区 2067SK ～ 2445SL

0408

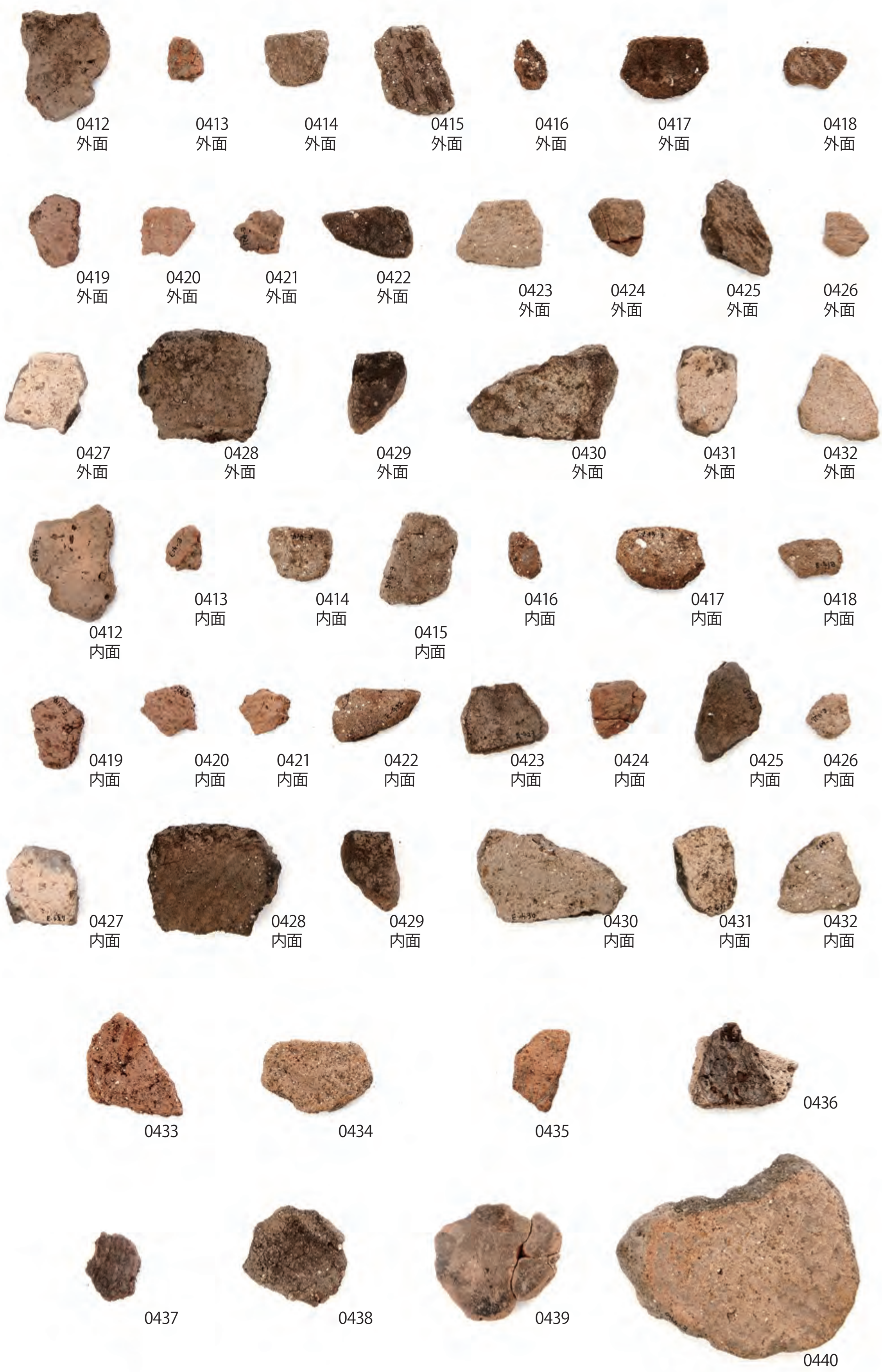


0408
外面拡大



0408
内面拡大

写真図版　２６　土器（１４）19A 区 2500SX，19A 区検出など



写真図版　２７　石器（1）14区

1001　1002　1003
1004
1005　1006
1007　1008　1009　1010　1011
1012　1013　1014　1015

写真図版　２８　石器（2）19B 区


1016


1017


1018


1019


1020


1021


1022


1023


1024


1025


1026


1027


1028


1029

写真図版　２９　石器（3）19C 区


1030


1035


1037


1039

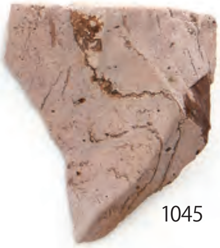

1040


1041


1042


1043


1044


1045


1031


1032


1033


1034


1036


1038

写真図版　３０　石器（4）19A 区 2019SK ～ 2400SI

1046　1049　1050　1058　1059

1048　1047　1052　1055

1051　1053　1054　1056　1057　1060

1061　1062　1063　1064　1065　1066

石器（5）19Ab 区 2411SK ～ 2449SL


1067


1069


1070


1068


1071


1072


1073


1074


1075


1076


1077


1078

写真図版　３２　石器（6）19Ab 区 2465SD ～ 2470SK，2500SX(1)


1079


1080


1081


1082


1083


1084


1085


1086


1087


1088

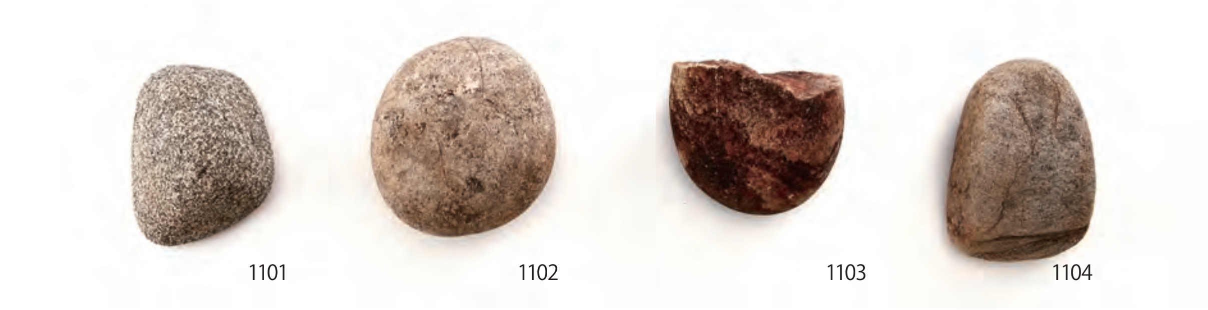

1089


1090


1091


1092

写真図版　３３　石器（7）19Ab 区 2500SX(2)




1116
1117
1118
1119
1120
1121
1122
1123
1124
1125
1126
1127
1128
1129
1130
1131
1132
1133
1134
1135
1136
1137
1138
1139

写真図版　３５　石器（9）19Ab 区 2500SX(4)

1140 1141 1142 1143

1144 1145 1146 1147 1148

1149 1150 1151 1152 1153

1154 1155 1156 1157 1158 1159

1160 1161 1162 1163 1164 1165

1166 1167 1168 1169 1170 1171

1172 1173 1174 1175 1176 1177

写真図版　３６　石器（１０）19Ab 区 2500SX(5)


1178


1179


1180


1181


1182


1183


1184


1185


1186


1187

写真図版　３７　石器（１１）19Ab 区 2500SX(6)，検出・表採など

1202

写真図版　３８　石器（１２）古代以降の石器


1301


1302


1501


1502


1503


1504


1505


1506


1507


1508


1509


1510

写真図版　３９　古代以降（1）14 区 043SI ～ 101SP,
19B 区 024SK ～ 155SP

2024 2025 2026 2027 2028

2030 2031 2029

2025 内面

2030 下面

2032 2033 2034

2035 2036 2037 2038

2039 2040 2041 2042

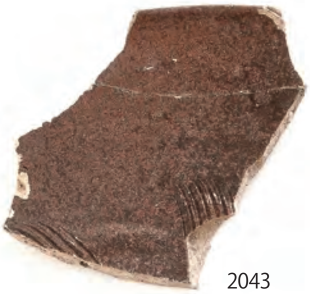
写真図版　４１　古代以降（3）19B 区 017SX，031SX，081NR
19C 区 1263SP ～ 1360SK


2036
内面


2037
外面


2040
下面


2042
外面

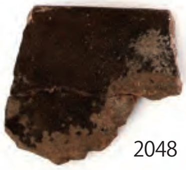

2043


2045


2046


2044


2047


2048


2049


2050


2051


2052


2055


2054


2053


2057


2061


2056


2058


2059


2060


2056
外面


2061
内面

写真図版　４２　古代以降（4）19C 区 1378SK ～ 1252SD, 19A 区 2039SP ～ 2273SS, 14 区・19B 区トレンチ等

2062 2063 2064 2065 2066

2067 2068 2069 2070 2071

2072 2073 2074 2075

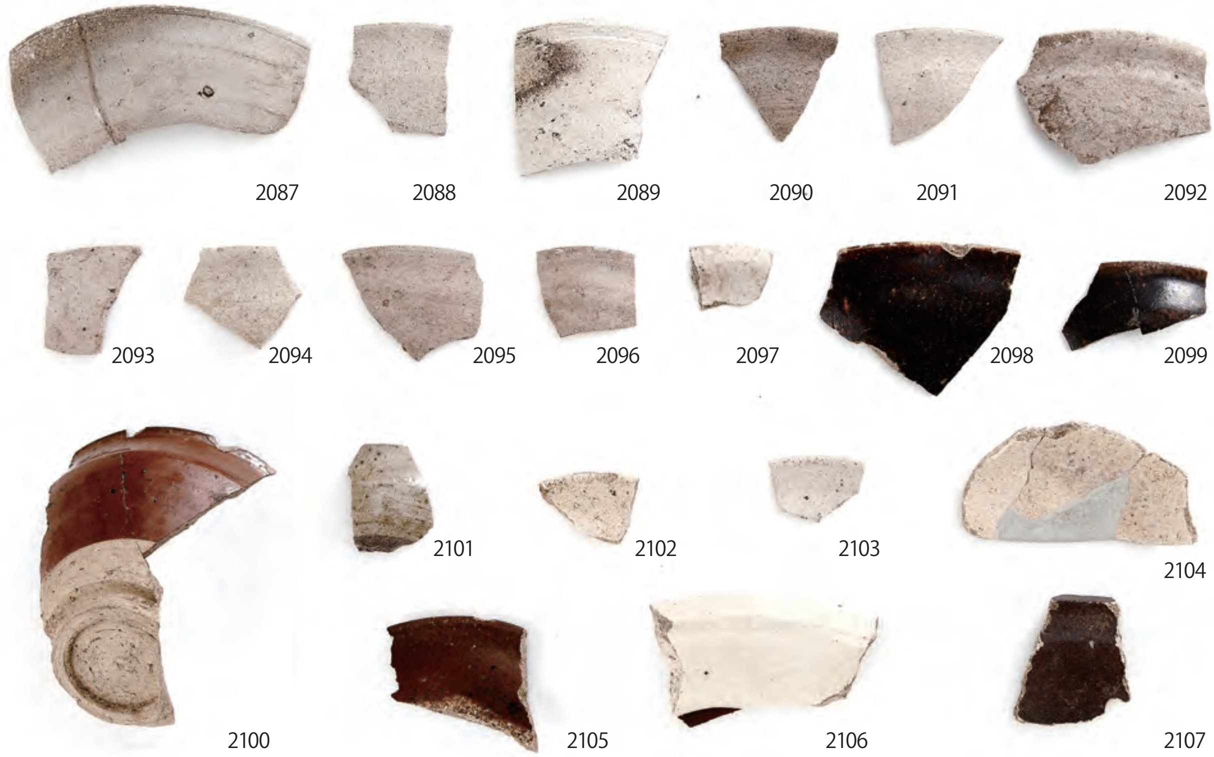
2056 外面 2069 内面 2075 外面

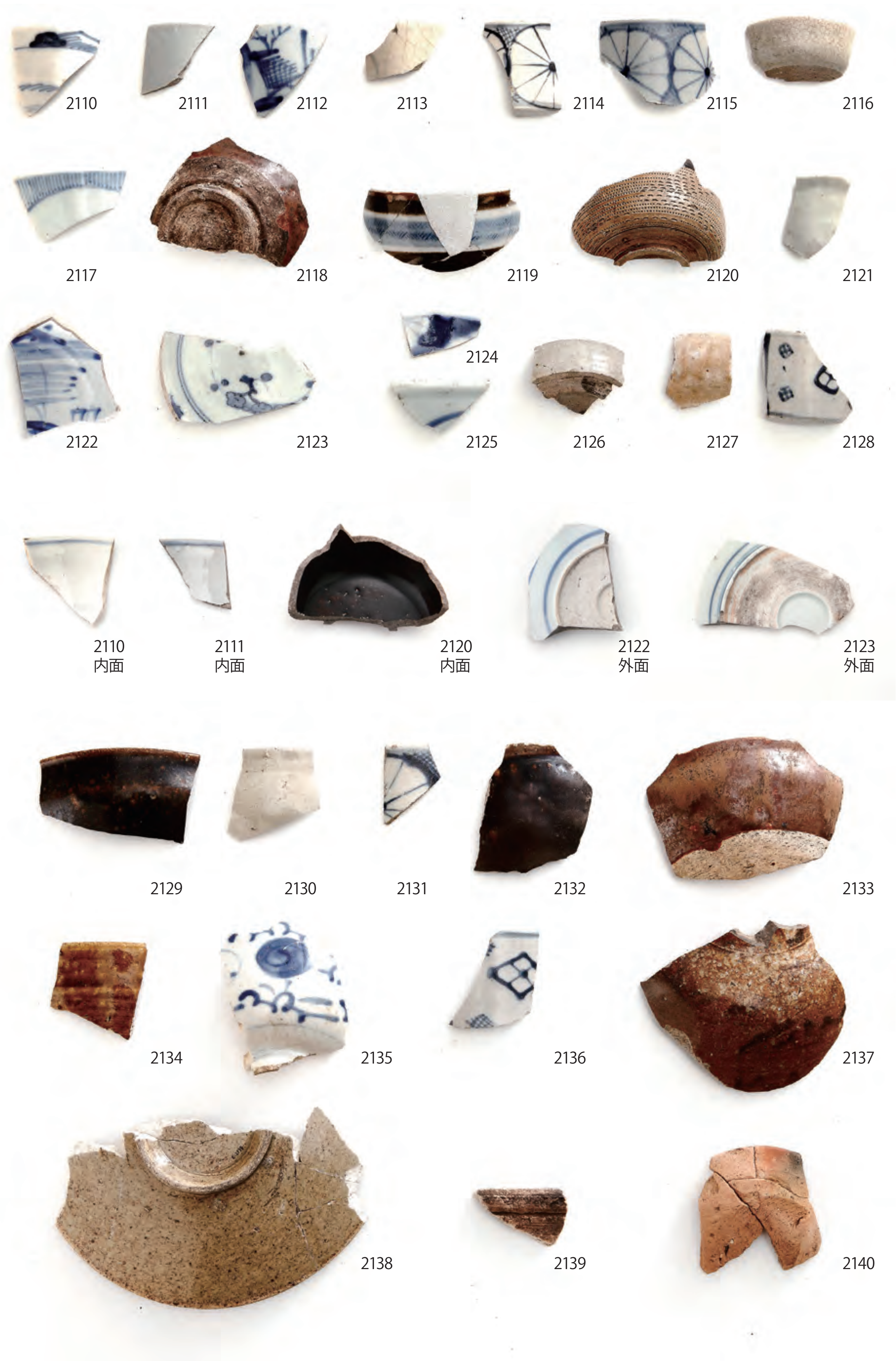
2076 2078 2079

2080 2081 2082

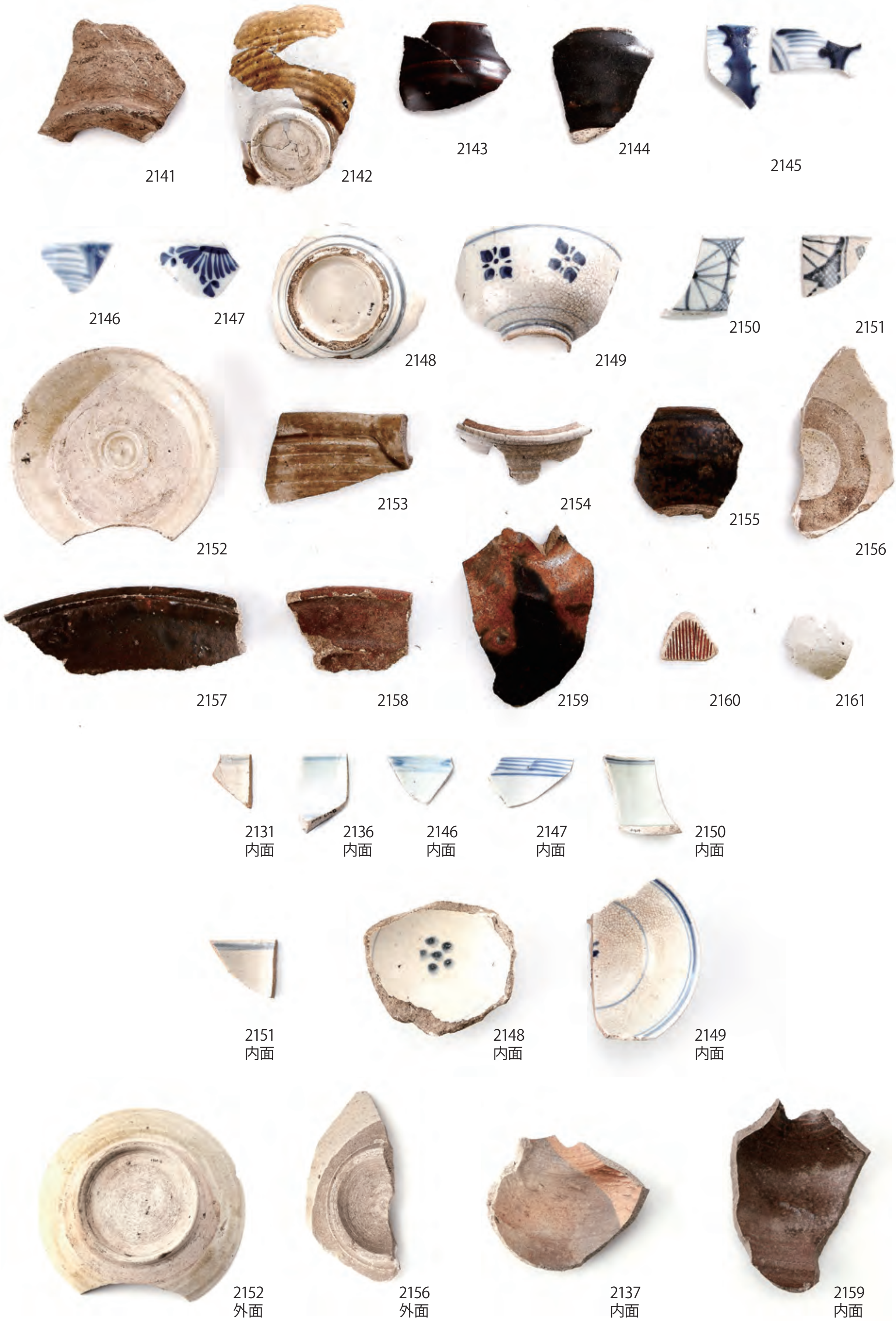
2083 2084 2085 2086

写真図版　４３　古代以降（5）14区２層・３層




2110
2111
2112
2113
2114
2115
2116
2117
2118
2119
2120
2121
2122
2123
2124
2125
2126
2127
2128
2110
内面
2111
内面
2120
内面
2122
外面
2123
外面
2129
2130
2131
2132
2133
2134
2135
2136
2137
2138
2139
2140

写真図版　４５　古代以降（7）表土・遺構検出面 (2)，トレンチ



写真図版　４６　木製品（１）19B 区 212SE(1)


3001

3002

3003

3004

3005

3006

3007

3008

3009

3010

3011

3012

3013

3014

3015

3016

3017

3018

写真図版　４７　木製品（２）19B 区 212SE(2)


3019


3020


3021


3022


3023


3024


3025


3026

写真図版　４８　木製品（３）19B 区 212SE(3)，19C 区 1062SK

3027

3028

3029

3030

3031

3032

ふりがな	まんぜ
書名	万瀬遺跡
副書名	
巻次	
シリーズ名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第222集
編著者名	河嶋優輝、川添和暁、鬼頭　剛・古澤　明・パレオ・ラボAMS年代測定グループ、小林克也（パレオ・ラボ）、 鈴木正貴、パレオ・ラボAMS年代測定グループ、㈱ 第四紀 地質研究所
編集機関	公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター
所在地	〒498-0017　愛知県弥富市前ヶ須町字野方802-24　TEL0567(67)4161
発行年	西暦2024年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
まんぜいせき 万瀬遺跡	あいちけんきたしたらぐんしたらちょう 愛知県北設楽郡設楽町 かわむきあざまんぜ 川向字マンゼ	23561	700165	35度 06分 43秒	137度 33分 54秒	2014.6.～ 2014.10. 2019.6.～ 2020.1.	10,250㎡	設楽ダム

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
万瀬遺跡	集落	縄文時代	竪穴建物跡・煙道付炉穴・集石炉	土器・石器	草創期の尖頭器 早期前半の竪穴建物群
	集落・墓地	中～近世	掘立柱建物跡・柱穴列・鍛冶遺構・土葬土坑墓	陶磁器・土師器・銅銭・煙管	大型掘立柱建物

文書番号			
	発掘届出	(26埋セ第28-1号・平成26年5月2日	/ 31埋セ第5号・平成31年4月10日)
	通知	(26教生第566号・平成26年5月2日	/ 31教生第277号・平成31年4月19日)
	終了届・保管証・発見届	(26埋セ第88号・平成26年11月4日	/ 31埋セ第117号・令和2年1月24日)
	監査結果通知	(26教生第2082号・平成26年11月20日	/ 31教生第3671号・令和2年2月18日)

要約

万瀬遺跡の発掘調査成果は大きく二時期に分かれ、縄文時代では草創期に遡る石器の出土をみたほか、早期前半の竪穴建物跡を複数棟確認した。一方、中近世では中世の鍛冶場と思われる遺構を確認したほか、中世から近世に及ぶ、倉と思われる大型の掘立柱建物なども含まれる居住域が確認された。居住域から離れた位置では複数の土葬土坑墓も発見され、当時の土地利用についての知見も得られる結果となった。

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第222集

万瀬遺跡

2024年３月31日

発行　公益財団法人　愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

印刷　西濃印刷株式会社